令 和 6 年

うるま市議会会議録

── 合 併 号 ──

第177回臨時会　令和６年７月８日　（１日間）

第178回臨時会　令和６年８月22日　（１日間）

第179回定例会　令和６年９月３日
令和６年９月30日　（28日間）

うるま市議会

目　　次

◎第177回（臨時会）
o 招集告示 ---- 1
o 会期及び日程 ---- 2
o 上程案件の処理結果 ---- 3
o 応招議員 ---- 4
○７月８日（議事日程第１号） ---- 5
o 諸般の報告 ---- 6
o 会議録署名議員の指名 ---- 6
o 会期の決定 ---- 6
o 議会運営委員長報告 ---- 6
o 議案の説明・質疑・討論・採決（発議８号外１件） ---- 7

◎第178回（臨時会）
o 招集告示 ---- 13
o 会期及び日程 ---- 14
o 上程案件の処理結果 ---- 15
o 応招議員 ---- 16
○８月22日（議事日程第１号） ---- 17
o 諸般の報告 ---- 19
o 会議録署名議員の指名 ---- 19
o 会期の決定 ---- 19
o 議会運営委員長報告 ---- 19
o 行政報告 ---- 20
o 議案の説明・質疑及び議案の付託（承認第９号外５件） ---- 20
o 総務委員長報告・質疑・討論・採決（承認第９号外２件） ---- 26
o 建設委員長報告・質疑・討論・採決（承認第10号外１件） ---- 28
o 討論・採決（議案第67号） ---- 29

◎第179回（定例会）
o 招集告示 ---- 31
o 会期及び日程 ---- 32
o 上程案件の処理結果 ---- 34
o 応招議員 ---- 37
○９月３日（議事日程第１号） ---- 39
o 諸般の報告 ---- 42
o 会議録署名議員の指名 ---- 42
o 会期の決定 ---- 42

o 議会運営委員長報告 ---- 42
o 行政報告 ---- 43
o 議案の説明（認定第１号外41件） ---- 45
o 請願・陳情の付託 ---- 64
○９月９日（議事日程第２号） ---- 67
o 会議録署名議員の指名 ---- 70
o 質疑及び議案の付託（認定第１号外42件） ---- 70
○９月17日（議事日程第３号） ---- 91
o 会議録署名議員の指名 ---- 93
o 一般質問
幸　喜　　勇　議員 ---- 93
１．全島獅子舞フェスティバル
２．障がい福祉ガイドブック
３．認知症のみまもり自動販売機導入
４．空家等対策計画策定事業
５．公民連携の取組
糸　数　昌　宗　議員 ---- 101
１．クーリングシェルターについて
２．市道68号線について
３．石川庁舎周辺の利活用推進について
４．うるま市の畜産業について
５．防災行政について
真　壁　朝　弘　議員 ---- 110
１．石川ヨゼフ幼稚園から石川消防署坂通りの交差点の信号機の件
２．うるま市石川赤崎一丁目石川警察署前交差点渋滞対策について
３．石川2345番地前の交差点で事故が多く見られるため信号機の設置を要請
４．自動販売機に防犯カメラの設置要請について
５．緊急時のシェルターやその他イベントの活用について
６．石川海岸付近にレジャーボートなどが下ろせる場所の新設について
７．石川岳へのロープウェイ設置について
８．令和５年６月に一般質問しました市ＰＴＡ連合会、うるま市子ども会育成連絡協議会の復活のその後の進捗状況について
９．石川体育館東側トイレのベニヤ目隠しの進捗状況について
神　田　洋　一　議員 ---- 115
１．ワクチンについて
２．予算等に関して
３．修繕などに関して

○９月18日（議事日程第４号） 127
o 会議録署名議員の指名 129
o 一般質問
国　吉　　亮　議員 129
１．石川地域まちづくり推進計画について
２．市民からの要望を問う
３．教育行政について
４．予算の内訳について
５．歳出削減対策への新たな提案
６．今後実施に向けて話し合ってほしいこと
宮　城　一　寿　議員 139
１．クルーズ船受入れ旅客ターミナル建設について
２．教育行政について
３．仲嶺・上江洲区について
４．川田区について
５．字具志川について
６．勝連・平敷屋地区について
７．島しょ地域の地区別課題
８．市民の声
國　場　正　剛　議員 149
１．社会教育
２．福祉行政
３．都市建設
４．雨水幹線
５．教育行政
玉　元　哉　世　議員 154
１．地域課題の進捗状況について
２．赤道区・米原区の課題について
３．勝連城跡周辺整備事業について
４．期日前投票所について
５．本市のペーパーレス化及び経費節減活動について
○９月19日（議事日程第５号） 165
o 会議録署名議員の指名 167
o 総務委員長報告（議案第70号） 167
o 建設委員長報告（議案第70号） 169
o 教育福祉委員長報告（議案第70号） 169
o 市民経済委員長報告（議案第70号） 169
o 質疑・討論・採決（議案第70号） 170
o 建設委員長報告・質疑・討論・採決（議案第72号） 171
o 教育福祉委員長報告・質疑・討論・採決（議案第73号） 171

o 市民経済委員長報告・質疑・討論・採決（議案第74号） ---- 172
o 一般質問
池宮城　善　伸　議員 ---- 174
１．うるま市火葬場整備事業について
２．県道８号線渋滞対策について
３．安慶名西原雨水幹線について
４．ごみ袋について
５．平良川３－18号線道路整備について
６．小学校周辺のグリーンベルト化進捗について
７．次世代エネルギーペロブスカイト太陽電池について
仲　程　　孝　議員 ---- 179
１．教職員の働き方改革について
２．うるま市と基地の発刊について
３．自治会管理の防犯灯について
４．ふるさと納税返礼品について
５．災害時受援応援計画について
金　城　加奈栄　議員 ---- 187
１．市民行政について
２．環境問題について（ＰＦＯＳ・ＰＦＯＡ）について
３．離島住民等の生活支援について
４．教育行政について
５．歩道整備について
６．石川庁舎について
７．家賃補助について
○９月20日（議事日程第６号） ---- 193
o 会議録署名議員の指名 ---- 195
o 一般質問
伊　盛　サチ子　議員 ---- 195
１．入札制度
２．河川対策
３．福祉行政
４．農業振興
５．環境対策
玉　城　政　哉　議員 ---- 205
１．小学校不登校問題について
２．学習困難を抱える児童・生徒について
３．若年無業者問題と学力保障・就業支援について
４．「地域包括支援」を通じた孤立予防対策について
５．県道沿いの街路樹伐採について

伊　礼　　正　議員 …… 210
１．うるま市文化財保存活用地域計画について
２．ハラスメントについて
３．プロ野球阪神タイガース（２軍）キャンプについて
４．南海トラフ地震防災対策推進地域について
５．２市２町合併について
６．具志川火葬場について
７．うるま祭り等案内状送付基準について
８．うるま市民所得について
高　屋　　優　議員 …… 221
１．高江洲中学校区の地域における課題
２．教育行政
３．福祉行政
４．経済活性化に向けて
○９月24日（議事日程第７号） …… 239
o 会議録署名議員の指名 …… 241
o 一般質問
真栄城　　隆　議員 …… 241
１．保育事業
２．児童手当
３．こども政策
４．防災・減災
５．アピアランスケア
６．帯状疱疹ワクチン
兼　本　光　治　議員 …… 251
１．与那城社会福祉センター機能回復補修事業について
２．与那城総合公園多種目球技場の整備について
３．屋慶名河川（無名）橋について
大　城　　直　議員 …… 255
１．津堅港整備について
２．漁港整備について
３．水産業について
佐久田　　悟　議員 …… 260
１．消防行政
２．教育行政
３．不登校対策
４．障害者支援施策
５．保育行政
○９月25日（議事日程第８号） …… 271
o 会議録署名議員の指名 …… 273

o 一般質問
下　門　　勝　議員 …… 273
１．勝連総合グラウンド及び周辺整備等
２．防災・災害対策等
３．市内企業育成等
４．水産業振興等
５．観光振興等
伊　波　良　明　議員 …… 283
１．石川地域まちづくりについて
２．タイムカプセル開封について
３．森林環境譲与税について
伊　波　　洋　議員 …… 291
１．コストコについて
２．運転免許更新時の高齢者講習について
３．友好都市締結について
４．市長選挙について
天　願　久　史　議員 …… 298
１．農水産業振興に関連する事項について
２．教育行政に関連する事項について
３．文化財に関連する事項について
４．地域行政に関連する事項について
５．うるま市エイサーまつりに関連する事項について
６．観光振興に関連する事項について
○９月26日（議事日程第９号） …… 311
o 会議録署名議員の指名 …… 313
o 仮議長の選任を議長に委任する件 …… 313
o 一般質問
藏　根　　武　議員 …… 313
１．こどもの貧困対策について
２．地域活性化について
３．教育行政について
平　良　一　雄　議員 …… 320
１．行政改革について
２．うるま市財政計画について
３．石川ゲートウェイ拠点形成基本計画について
４．中部病院建設計画について
５．ＰＦＩ事業について
又　吉　法　尚　議員 …… 330
１．2024年度「全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）」の結果に関連する事項について

２．小・中学校閉庁日（業務停止日）及びリフレッシュウィークに関連する事項について
３．ライフジャケット着用による水難事故未然防止に関連する事項について
４．熱中症警戒アラートに関連する事項について
５．川崎ルーシー河線道路改良工事に関連する事項について
６．不登校の生徒の高校進学に関連する事項について
７．保育行政に関連する事項について
８．牛のオブジェに関連する事項について
○９月30日（議事日程第10号） 343
o 諸般の報告 345
o 会議録署名議員の指名 345
o 総務委員長報告（認定第１号外４件） 345
o 建設委員長報告（認定第１号） 348
o 教育福祉委員長報告（認定第１号） 349
o 市民経済委員長報告（認定第１号） 351
o 質疑・討論・採決（認定第１号外４件） 352
o 建設委員長報告・質疑・討論・採決（認定第４号外８件） 352
o 教育福祉委員長報告・質疑・討論・採決（認定第３号外３件） 358
o 市民経済委員長報告・質疑・討論・採決（認定第２号外６件） 360
o 討論・採決（諮問第１号外４件） 364
o 総務委員長報告・質疑・討論・採決（陳情第７号外１件） 365
o 建設委員長報告・質疑・討論・採決（請願第９号） 367
o 市民経済委員長報告・質疑・討論・採決（陳情第29号外１件） 368
o 議案の説明・質疑・討論・採決（発議第10号） 369
o 議員派遣の件 371
o 閉会中の継続審査及び調査の申出について（各委員会） 376
o 発言取り消しの件 380

令和６年

第177回うるま市議会会議録

── 臨　時　会 ──

第177回臨時会　令和６年７月８日（開　会）
令和６年７月８日（閉　会）

うるま市告示第１４７号

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第１０１条第１項の規定により、令和６年７月第１７７回うるま市議会臨時会を次のとおり招集する。

令和６年７月５日

うるま市長　中村　正人

１　招集の期日
令和６年７月８日

２　招集の場所
うるま市議会議場

３　付議すべき事件
（１）米軍人による性的暴行事件に対する意見書
（２）米軍人による性的暴行事件に対する抗議決議

会 期 及 び 日 程

自　令和６年７月８日
至　令和６年７月８日　　１日間

月　日	曜	種　別	日　　程	備　　考
７月８日	月	本会議	会期の決定、議案提案説明、 質疑、討論、採決	全員協議会

上 程 案 件 の 処 理 結 果

議案番号	件名	発案者	提出月日	処理月日	結果
発議第８号	米軍人による性的暴行事件に対する意見書	國場　正剛 議員外７名	令和６年 ７月８日	令和６年 ７月８日	原案可決
発議第９号	米軍人による性的暴行事件に対する抗議決議	〃	〃	〃	〃

◎　応招した議員

真栄城　　隆　議員	伊　礼　　正　議員
糸　数　昌　宗　議員	宮　城　一　寿　議員
伊　盛　サチ子　議員	仲　程　　孝　議員
金　城　加奈栄　議員	又　吉　法　尚　議員
国　吉　　亮　議員	下　門　　勝　議員
伊　波　良　明　議員	天　願　久　史　議員
神　田　洋　一　議員	比　嘉　直　人　議員
平　良　一　雄　議員	國　場　正　剛　議員
真　壁　朝　弘　議員	大　城　　直　議員
幸　喜　　勇　議員	兼　本　光　治　議員
玉　元　哉　世　議員	藏　根　　武　議員
玉　城　政　哉　議員	伊　波　　洋　議員
池宮城　善　伸　議員	

◎　応招しなかった議員

高　屋　　優　議員	佐久田　　悟　議員

◎　欠員３名

第177回うるま市議会（臨時会）会議録
（１日間）

◎　令和６年７月８日（月）　　（１０時００分　開会）

◎　出席議員（25名）

１番	真栄城　　隆　議員	15番	伊　礼　　正　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	17番	仲　程　　孝　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
６番	国　吉　　亮　議員	19番	下　門　　勝　議員
７番	伊　波　良　明　議員	20番	天　願　久　史　議員
８番	神　田　洋　一　議員	23番	比　嘉　直　人　議員
９番	平　良　一　雄　議員	24番	國　場　正　剛　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	25番	大　城　　直　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	28番	兼　本　光　治　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	29番	藏　根　　武　議員
13番	玉　城　政　哉　議員	30番	伊　波　　洋　議員
14番	池宮城　善　伸　議員		

◎　欠席議員（２名）

２番	高　屋　　優　議員	27番	佐久田　　悟　議員

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　事務局出席者

議会事務局長	知　念　義　浩	調査広報係長	伊　禮　君　人
議　事　課　長	石　川　秀　吉	調査広報係主任主事	山　城　　太
議　事　係　長	森　根　元　気	議事係主任主事	長　嶺　由　樹

◎　議事日程第１号

第１．会議録署名議員の指名

第２．会期の決定

第３．発議第８号　米軍人による性的暴行事件に対する意見書

第４．発議第９号　米軍人による性的暴行事件に対する抗議決議

◎　会議に付した事件

議事日程に同じ

○議長（比嘉　直人）　ただいまから令和６年７月第177回うるま市議会臨時会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります議事日程第１号のとおりです。

この際、諸般の報告を行います。

令和６年６月27日付、監査委員から令和６年５月分の例月現金出納検査の結果について報告がありました。

令和６年７月２日、全国市議会議長会第237回理事会が東京都砂防会館別館で、また全国市議会議長会及び全国市議会議員互助会の会計監査が東京都全国都市会館で開催され、議長が出席をいたしました。

令和６年７月５日、議会運営委員会を開き臨時会の招集について協議し、当委員会の議決を経て令和６年７月５日付、議長より市長へ臨時会の招集請求を行いました。

これを受け、令和６年７月５日付、市長から第177回市議会臨時会の招集及び付議事件について通知がありました。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第１．会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、又吉法尚議員、下門勝議員を指名します。

日程第２．会期の決定を議題とします。

今臨時会の会期については、あらかじめ議会運営委員会で御協議をいただいております。その結果について、議会運営委員長へ報告を求めます。

大城直議会運営委員長。

○議会運営委員長（大城　直）　皆様、おはようございます。議会運営委員長報告を行います。

去る７月５日に開かれました議会運営委員会の協議結果について御報告をいたします。

まず今臨時会の会期につきましては、本日７月８日の１日間とすることで合意を得ております。

日程等につきましては、議事日程第１号のとおり、議事を進行することとし、会期の決定の後、休憩を設け、その間に全員協議会を開催し議事対応を確認いたします。その後、本会議を再開し、発議第８号　米軍人による性的暴行事件に対する意見書、発議第９号　米軍人による性的暴行事件に対する抗議決議については、提出者の説明の後、質疑、委員会付託を省略し、直ちに採決を行うことで合意を得ております。報告は以上であります。

○議長（比嘉　直人）　ただいま今臨時会の会期については、日程等も含めて御報告をいただきました。

お諮りします。今臨時会の会期は、議会運営委員長の報告のとおり、本日７月８日の１日間とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、今臨時会の会期は、本日７月８日の１日間とすることに決定しました。

暫時休憩します。

休　憩（１０時０６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時１６分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

日程第３．発議第８号　米軍人による性的暴行事件に対する意見書、日程第４．発議第９号　米軍人による性的暴行事件に対する抗議決議の２件を一括して議題とします。

提出者の説明を求めます。國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員

発議第８号

米軍人による性的暴行事件に対する意見書

令和６年７月８日

うるま市議会議長　比嘉　直人　様

上記の議案を別紙のとおり、うるま市議会会議規則第14条の規定により提出します。

提出者　うるま市議会議員　國　場　正　剛
賛成者　うるま市議会議員　真栄城　　隆
藏　根　　武
伊　波　良　明
仲　程　　孝
平　良　一　雄
伊　盛　サチ子
伊　波　　洋

提案理由

相次ぐ米軍人による性的暴行事件に対して厳重に抗議し、被害者への謝罪及び完全な補償を早期に行うとともに、綱紀粛正・人権教育の徹底を求めるため提案する。

米軍人による性的暴行事件に対する意見書

昨年12月、嘉手納基地所属の米空軍兵長が沖縄本島中部の公園で16歳未満の少女を連れ去り、同意なく性的暴行を加えたとして、わいせつ目的誘拐及び不同意性交等罪により３月27日付で起訴されていた。また、５月には在沖米海兵隊の上等兵が性的暴行をしようとした女性にけがをさせたとして、不同意性交等致傷罪で起訴されているとの報道があった。

女性への性的暴行事件という重大事件にもかかわらず、起訴後も外務省や県警等から県に対し速やかな情報提供もなく、公表していなかったことが明らかになった。

これまで、うるま市議会は米軍人・軍属等による事件・事故が発生するたびに、日米両政府に対して再発防止策と綱紀粛正を訴えてきたが、それにもかかわらず沖縄県内における米軍関係者による事件・事故が後を絶たないのは、米軍の管理体制が全く不十分であり、強い憤りを禁じえない。

よって、うるま市議会は、市民・県民の生命・財産、人権を守る立場から関係機関に対し、今回の事件への強い怒りをもって厳重に抗議するとともに下記事項について強く要請する。

記

１．被害者への謝罪及び完全な補償を早期に行うこと。
２．米軍人・軍属への綱紀粛正及び人権教育を徹底し実効性のある再発防止策を確立すること。
３．米軍人・軍属に係る事件・事故が発生した場合は、関係自治体へ速やかに情報を提供すること。
４．日米地位協定の抜本的改定を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和６年７月８日

沖縄県うるま市議会

あて先
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、警察庁長官、
沖縄及び北方対策担当大臣、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長

引き続き、発議第９号について説明いたします。

発議第９号

米軍人による性的暴行事件に対する抗議決議

令和６年７月８日

うるま市議会議長　比嘉　直人　様

上記の議案を別紙のとおり、うるま市議会会議規則第14条の規定により提出します。

提出者　うるま市議会議員　國　場　正　剛
賛成者　うるま市議会議員　真栄城　　隆
藏　根　　武
伊　波　良　明
仲　程　　孝
平　良　一　雄
伊　盛　サチ子
伊　波　　洋

提案理由

相次ぐ米軍人による性的暴行事件に対して厳重に抗議し、被害者への謝罪及び完全な補償を早期に行うとともに、綱紀粛正・人権教育の徹底を求めるため提案する。

米軍人による性的暴行事件に対する抗議決議

昨年12月、嘉手納基地所属の米空軍兵長が沖縄本島中部の公園で16歳未満の少女を連れ去り、同意なく性的暴行を加えたとして、わいせつ目的誘拐及び不同意性交等罪により３月27日付で起訴されていた。また、５月には在沖米海兵隊の上等兵が性的暴行をしようとした女性にけがをさせたとして、不同意性交等致傷罪で起訴されているとの報道があった。

女性への性的暴行事件という重大事件にもかかわらず、起訴後も外務省や県警等から県に対し速やかな情報提供もなく、公表していなかったことが明らかになった。

これまで、うるま市議会は米軍人・軍属等による事件・事故が発生するたびに、日米両政府に対して再発防止策と綱紀粛正を訴えてきたが、それにもかかわらず沖縄県内における米軍関係者による事件・事故が後を絶たないのは、米軍の管理体制が全く不十分であり、強い憤りを禁じえない。

よって、うるま市議会は、市民・県民の生命・財産、人権を守る立場から関係機関に対し、今回の事件への強い怒りをもって厳重に抗議するとともに下記事項について強く要求する。

記

１．被害者への謝罪及び完全な補償を早期に行うこと。
２．米軍人・軍属への綱紀粛正及び人権教育を徹底し実効性のある再発防止策を確立すること。
３．米軍人・軍属に係る事件・事故が発生した場合は、関係自治体へ速やかに情報を提供すること。
４．日米地位協定の抜本的改定を行うこと。

以上、決議する。

令和６年７月８日

沖縄県うるま市議会

あて先
駐日米国大使、在日米軍兼第５空軍司令官、在沖米国総領事、
在日米軍沖縄地域調整官

文案については意見書と同様のため省略いたします。

議員諸賢の御賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　ただいま提出者の説明が終わりました。

お諮りします。ただいま議題となっております発議第８号及び発議第９号については、質疑、委員会付託及び討論を省略し、直ちに採決に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、質疑、委員会付託及び討論を省略し、直ちに採決に入ることに決定しました。

これより採決に入ります。採決は、電子表決システムにより行います。まず初めに、発議第８号米軍人による性的暴行事件に対する意見書に賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対のボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成全員）

賛成全員です。よって、本案は可決されました。

なお、宛先につきましては、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、警察庁長官、沖縄及び北方対策担当大臣、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長へ送付することといたします。

次に発議第９号を採決します。採決は、電子表決システムにより行います。発議第９号　米軍人による性的暴行事件に対する抗議決議に賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対のボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成全員）

賛成全員です。よって、本案は可決されました。

なお、宛先につきましては、駐日米国大使、在日米軍兼第５空軍司令官、在沖米国総領事、在日米軍沖縄地域調整官へ送付することといたします。

お諮りします。今臨時会で議決された事件の条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、今臨時会で議決されました事件の条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任することに決定しました。

以上で、今臨時会の日程は全て終了しましたので、会議を閉じます。

これをもって令和６年７月第177回うるま市議会臨時会を閉会します。

閉　会（１０時２７分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

議　　長　　比　嘉　直　人

１８番議員　　又　吉　法　尚

１９番議員　　下　門　　勝

令和６年

第178回うるま市議会会議録

── 臨　時　会 ──

第178回臨時会　令和６年８月22日（開　会）
令和６年８月22日（閉　会）

うるま市告示第１７６号

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第１０１条第１項の規定により、令和６年８月第１７８回うるま市議会臨時会を次のとおり招集する。

令和６年８月１５日

うるま市長　中村　正人

１　招集の期日
令和６年８月２２日

２　招集の場所
うるま市議会議場

３　付議すべき事件
（１）専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号））
（２）専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号））
（３）専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）
（４）物品の取得について（沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器））
（５）物品の取得について（高規格救急自動車）
（６）教育委員会委員の任命について

会 期 及 び 日 程

自　令和６年８月22日
至　令和６年８月22日　　１日間

月　日	曜	種　別	日　　程	備　　考
８月22日	木	本会議	会期の決定、議案提案説明、質疑、委員会付託、委員長報告、質疑、討論、採決	各常任委員会終了後全員協議会

上 程 案 件 の 処 理 結 果

議案番号	件名	発案者	提出月日	処理月日	結果
承認第９号	専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号））	市長	令和６年８月22日	令和６年８月22日	承認
承認第10号	専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号））	〃	〃	〃	〃
承認第11号	専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）	〃	〃	〃	〃
議案第65号	物品の取得について（沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器））	〃	〃	〃	原案可決
議案第66号	物品の取得について（高規格救急自動車）	〃	〃	〃	〃
議案第67号	教育委員会委員の任命について	〃	〃	〃	同意

◎　応招した議員

真栄城	隆	議員	伊　礼	正	議員
高　屋	優	議員	宮　城　一	寿	議員
糸　数　昌	宗	議員	仲　程	孝	議員
伊　盛　サチ	子	議員	又　吉　法	尚	議員
金　城　加奈	栄	議員	下　門	勝	議員
国　吉	亮	議員	天　願　久	史	議員
伊　波　良	明	議員	比　嘉　直	人	議員
神　田　洋	一	議員	國　場　正	剛	議員
平　良　一	雄	議員	大　城	直	議員
真　壁　朝	弘	議員	佐久田	悟	議員
幸　喜	勇	議員	兼　本　光	治	議員
玉　元　哉	世	議員	藏　根	武	議員
玉　城　政	哉	議員	伊　波	洋	議員
池宮城	善　伸	議員			

◎　欠員３名

第178回うるま市議会（臨時会）会議録
（１日間）

◎　令和６年８月22日（木）　　（１０時００分　開会）

◎　出席議員（27名）

１番	真栄城　　隆	議員	
２番	高　屋　　優	議員	
３番	糸　数　昌　宗	議員	
４番	伊　盛　サチ子	議員	
５番	金　城　加奈栄	議員	
６番	国　吉　　亮	議員	
７番	伊　波　良　明	議員	
８番	神　田　洋　一	議員	
９番	平　良　一　雄	議員	
10番	真　壁　朝　弘	議員	
11番	幸　喜　　勇	議員	
12番	玉　元　哉　世	議員	
13番	玉　城　政　哉	議員	
14番	池宮城　善　伸	議員	
15番	伊　礼　　正	議員	
16番	宮　城　一　寿	議員	
17番	仲　程　　孝	議員	
18番	又　吉　法　尚	議員	
19番	下　門　　勝	議員	
20番	天　願　久　史	議員	
23番	比　嘉　直　人	議員	
24番	國　場　正　剛	議員	
25番	大　城　　直	議員	
27番	佐久田　　悟	議員	
28番	兼　本　光　治	議員	
29番	藏　根　　武	議員	
30番	伊　波　　洋	議員	

◎　欠席議員（なし）

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	財務部長	島　袋　史　朗
副　市　長	佐久川　　篤	水道部長	座間味　　修
教　育　長	嘉手苅　弘　美	消防本部参事	福　地　常　勝
総務部長	山入端　立　也	社会教育部長	川　端　　登
企画部長	金　城　和　明	総務政策課長	諸見里　直　樹

◎　事務局出席者

議会事務局長	知　念　義　浩	調査広報係長	伊　禮　君　人
議　事　課　長	石　川　秀　吉	議事係主査	伊　藤　　靖
議　事　係　長	森　根　元　気	調査広報係 主　任　主　事	山　城　　太

◎　議事日程第１号

第１．会議録署名議員の指名

第２．会期の決定

第３．承認第９号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号））

第４．議案第65号　物品の取得について（沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器））

第５．議案第66号　物品の取得について（高規格救急自動車）

第６．承認第10号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号））

第７．承認第11号　専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）

第８．議案第67号　教育委員会委員の任命について

◎　会議に付した事件

議事日程に同じ

○議長（比嘉　直人）　ただいまから令和６年８月第178回うるま市議会臨時会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります議事日程第１号のとおりです。

この際、諸般の報告を行います。

令和６年７月11日、全国離島振興市町村議会議長会、令和６年度第１回総会が開催され、オンラインにより議長が出席いたしました。

令和６年７月25日付、監査委員から令和６年６月分の例月現金出納検査の結果について報告がありました。

令和６年８月２日に、うるま市・宇都宮市友好都市提携記念レセプションが、翌８月３日にうるま市・宇都宮市友好都市提携調印式が栃木県宇都宮市で開催され、議長が出席いたしました。

令和６年８月14日、第182回沖縄県市議会議長会定期総会が沖縄市で開催され、議長が出席いたしました。

令和６年８月15日付、市長から第178回市議会臨時会の招集及び付議事件について通知がありました。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第１．会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、天願久史議員、國場正剛議員を指名します。

日程第２．会期の決定を議題とします。

今臨時会の会期については、あらかじめ議会運営委員会で御協議をいただいております。その結果について、議会運営委員長へ報告を求めます。大城直議会運営委員長。

○議会運営委員長（大城　直）　皆様、おはようございます。議会運営委員長報告を行います。

去る８月19日に開かれました議会運営委員会の協議結果について、御報告いたします。

まず今臨時会の会期は、本日８月22日の１日間とすることで協議が整っております。日程等につきましては、執行部提出議案の提案説明を受けた後、議案研究として20分間の休憩時間を設け、その間に質疑を予定している議員は、事務局に質疑通告書を提出すること。

次に、執行部提出議案の質疑終了後は、各議案をそれぞれの所管の常任委員会へ付託し、審査を行います。委員会審査終了後は、全員協議会を開催し、委員会審査結果の報告及び各議員の議事対応等を確認いたします。その後、本会議を再開し、委員長報告、質疑、討論、採決の流れで議事を進めることで合意を得ております。報告は以上であります。

○議長（比嘉　直人）　ただいま今臨時会の会期については、日程等も含めて御報告をいただきました。

お諮りします。今臨時会の会期は、議会運営委員長の報告のとおり、本日８月22日の１日間とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、今臨時会の会期は、本日８月22日の１日間とすることに決定しました。

休憩します。

休　憩（１０時０６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時０６分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

市長より行政報告の申出がありますので、これを許可します。市長。

○市長（中村　正人）　改めまして議員の皆さん、おはようございます。それでは第178回うるま市議会臨時会が開催されるに当たり、行政報告を申し上げます。

８月３日に宇都宮市・うるま市友好都市提携調印式を「第49回ふるさと宮まつり」において、宇都宮市の佐藤栄一市長及び馬上剛議長をはじめ、多くの関係者が列席する中で執り行ってまいりました。また調印式に御列席いただきました比嘉議長をはじめ、市議会議員並びに実行委員会の皆様にはこの場をもって御礼を申し上げます。

さて、ふるさと宮まつりでは江洲青年会及び南風原青年会によるエイサーの演舞、南風原の獅子舞を華やかに披露し、沿道の多くの観衆から拍手喝采を受け、感動を届けることができました。今後、宇都宮市とは経済、農水産業及びスポーツ、観光、教育など様々な分野での交流を通じ、両市の市民が互いを理解し合う機会を重ね、友好都市関係を築き発展させてまいりたいと考えております。

さらに８月31日、９月１日の両日に開催されます「第19回うるま市エイサーまつり」において、宇都宮市との友好都市提携のお披露目式を執り行ってまいります。市議会議員並びに多くの市民の方々に佐藤市長をはじめとする宇都宮市一行の皆様を熱烈に歓迎し出迎えてくださいますよう、よろしくお願いを申し上げます。以上で行政報告を終わります。

なお、本議会には承認３件、議案３件を御提案しております。後ほど、担当部長から説明をいたしますので、議員皆様の御審議のほどよろしくお願いを申し上げます。

○議長（比嘉　直人）　日程第３．承認第９号専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号））から日程第８．議案第67号　教育委員会委員の任命についてまでの６件を一括して議題とします。

順次、提出者の説明を求めます。財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　おはようございます。承認第９号について御説明いたします。

承認第９号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号））。

地方自治法第179条第１項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第３項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

令和６年８月22日提出、うるま市長　中村正人。

次のページの専決処分書をお願いいたします。専決処分書。地方自治法第179条第１項の規定により、議会を招集する時間的余裕がないと認め、次のとおり専決処分する。

令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号）。

理由　デフレ完全脱却のための総合経済対策を踏まえ、足元の急激な物価高騰から国民の負担を緩和することを目的として、令和６年度所得税及び個人住民税の定額減税の実施に伴い、減額しきれないと見込まれる方へ、生活の支援を行う観点から、速やかに定額減税補足給付金の給付を実施する必要があるが、議会を招集する時間的余裕がないことから、地方自治法第179条第１項の規定により専決処分する。

令和６年８月８日、うるま市長　中村正人。

次に専決処分の内容について御説明いたします。

令和６年度うるま市一般会計補正予算書（第３号）の１ページをお願いいたします。

令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号）。

令和６年度うるま市の一般会計補正予算（第３号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第１条第１項　歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ10億7,800万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ756億533万3,000円とする。

第２項　歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表　歳入歳出予算補正」による。

令和６年８月８日、うるま市長　中村正人。

３ページをお願いいたします。第１表　歳入歳出予算補正。１歳入。16款国庫支出金10億7,800万円の補正増は、物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金の追加によるものでございます。

４ページをお願いいたします。２歳出。２款総務費10億7,800万円の補正増は、定額減税補足給付金事業の追加によるものでございます。

なお５ページ以降に予算説明書としまして、事項別明細書等を添付してございますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　消防本部参事。

○消防本部参事（福地　常勝）　おはようございます。議案第65号、議案第66号について、続けて御説明いたします。

議案第65号　物品の取得について（沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器））。

次のように物品売買契約を締結したいので、地方自治法第96条第１項第８号の規定により議会の議決を求める。１契約の目的　沖縄県消防指令センター指令機器の購入。２契約の方法　公募型プロポーザル方式による随意契約。３契約の金額37億2,006万9,980円。４契約の相手方　沖縄県浦添市牧港５丁目４番10号、光通信工業株式会社、代表取締役　島袋剛。

令和６年８月22日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器）における物品の取得については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第３条の規定により議会の議決を必要とするため提案する。

なお、次のページに物品売買仮契約書及び電子契約を証する合意締結証明書を添付してございますので、御参照ください。

概要としましては、沖縄県消防指令センターが運用開始から令和８年度で10年を迎えるに当たり、法定協議会での承認に基づき指令センターシステム（指令機器）を更新するものでございます。

続きまして議案第66号について御説明いたします。

議案第66号　物品の取得について（高規格救急自動車）。

次のように物品売買契約を締結したいので、地方自治法第96条第１項第８号の規定により議会の議決を求める。１契約の目的　高規格救急自動車購入。２物品の数量　１台。３契約の方法　指名競争入札。４契約金額　2,728万円。５契約の相手方　浦添市勢理客４丁目18番１号、沖縄トヨタ自動車株式会社、代表取締役　野原朝昌。

令和６年８月22日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　高規格救急自動車購入事業における物品売買契約については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第３条の規定により議会の議決を必要とするため提案する。

なお、次のページに物品売買仮契約書を添付してございますので、御参照ください。

取得物品の概要としましては、当該車両は平成25年に登録されてから10年以上が経過し、故障等による修繕も発生していることから、うるま市消防本部機械器具管理規程及び車両更新計画に基づき更新をするものでございます。今回更新する車両については、石川消防署への配置を予定しております。以上、議案第65号、議案第66号について、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　議員の皆さん、おは

ようございます。承認第10号、承認第11号を続けて御説明いたします。

承認第10号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号））。

地方自治法第179条第１項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第３項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

令和６年８月22日提出、うるま市長　中村正人。

次のページの専決処分書をお願いいたします。専決処分書。地方自治法第179条第１項の規定により、議会を招集する時間的余裕がないと認め、次のとおり専決処分する。

令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号）。

理由　令和６年６月の大雨で赤野中継ポンプ場に繋がる下水道管の管理の瑕疵により、家屋の一部を浸水させ、当該家屋の一部を毀損した。速やかに復旧工事等に係る賠償金を支払うための予算措置が必要であるが、議会を招集する時間的余裕がないことから、地方自治法第179条第１項の規定により専決処分する。

令和６年７月24日、うるま市長　中村正人。

次に専決処分の内容について御説明いたします。

令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号）の１ページをお願いいたします。

第２条の収益的支出の予定額の補正でございます。

支出、第１款下水道事業費用、第１項営業費用451万3,000円の補正増は、承認第11号　専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）で提案しております損害賠償金の予算措置でございます。

なお、３ページ以降に予算に関する説明書を添付してございます。御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

続きまして承認第11号について御説明いたします。

承認第11号　専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）。

地方自治法第179条第１項の規定により、別紙のとおり専決処分したので、同条第３項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

令和６年８月22日提出、うるま市長　中村正人。

次のページをお願いいたします。専決処分書。地方自治法第179条第１項の規定により、議会を招集する時間的余裕がないと認め、次のとおり専決処分する。

下水道事業に係る損害賠償の額を定めることについて。

１事故発生日時から４事故の概要について御説明いたします。

令和６年６月11日及び、同年６月14日の両日に発生した大雨により、本市管理のうるま市赤野中継ポンプ場につながる下水道管の継ぎ手や汚水ますなどから大量の雨水、地下水の不明水が流入し、ポンプ場の処理能力を超えた水量が流入したことで、ポンプ場の電気設備等が水没の危険が出たため、緊急措置として流入量を調整するゲート操作を行いましたが、水圧及びゲートの不具合により、ゲートが全部閉まりポンプ場付近で一番低い住宅１軒へ汚水が逆流し、家屋の一部を浸水させ床、壁及び動産の扇風機などを毀損させたものでございます。５損害賠償額　451万2,280円（復旧工事費等）。

令和６年７月24日、うるま市長　中村正人。

理由　浸水被害により、本件物件に居住することができず、早急に復旧工事をするため賠償金を支払う必要があり、地方自治法第179条第１項の規定により専決処分する。

相手方とは451万2,280円の損害賠償金を支払うことで示談が令和６年７月24日成立し、令和６年７月29日支払いを行ったものでございます。今回、市民に対し御迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げます。

対策といたしましては、下水道管等へ流入する不明水の実態調査を行い、必要箇所の修繕を予定しております。ポンプ場施設の水没対策としては、電気設備のかさ上げを完了し、不具合のあったゲート操作設備の改修を行う予定でございます。以上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　副市長。

○副市長（佐久川　篤）　おはようございます。議案第67号について御説明を申し上げます。

議案第67号　教育委員会委員の任命について。

次の者をうるま市教育委員会委員に任命することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４条第２項の規定により、議会の同意を求める。

住所　うるま市石川。氏名　宮城華織。生年月日　昭和53年。

令和６年８月22日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　うるま市教育委員会委員を任命するには、議会の同意を得る必要があり提案する。

うるま市教育委員会委員の任命については、宮城華織氏を任命したく提案いたします。

次のページに履歴書を添付しておりますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　以上で提出者の説明は終わりました。提案された議案に対する質疑につきましては、先ほど議会運営委員長の報告にもありましたように、これより20分間の休憩時間を設けますので、質疑を予定している議員はその間に質疑通告書を事務局に提出してください。

暫時休憩します。

休　憩（１０時２７分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時２９分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

日程第３．承認第９号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号））を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、総務委員会へ付託します。

日程第４．議案第65号　物品の取得について（沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器））を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので、順次発言を許します。仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　皆さん、こんにちは。議長の許可を得ましたので、議案第65号　物品の取得について質疑を行います。

今般は、沖縄県消防通信指令施設運営協議会として実施するということで理解しておりますが、多くの構成団体があるであろうその協議会と、また今回37億2,000万円という大きな額でありますので、なかなか提案説明で分からなかったのでお聞きしたいことがありますが、まずこの契約金額約37億2,000万円の財源の内訳を伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　消防本部参事。

○消防本部参事（福地　常勝）　仲程孝議員の御質疑にお答えいたします。

今回の沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器）の財源につきましては、各構成市町村が緊急防災・減災事業債を申請し、負担金として本市に支払います。その後、整備主体である本市が事業費として支出いたします。

○議長（比嘉　直人）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　それでは再質疑を行いたいと思います。

負担金として本市に支払った後に支出していくということでありますが、この沖縄県消防通信指令施設運営協議会と本市の関係性をもう少し詳細に説明していただきたいということと、予算執行に至る経緯ですね。この額をこのうるま市議会の議決だけでという部分が少し私も疑問に思ったものですから、そこら辺を併せてお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（比嘉　直人）　消防本部参事。

○消防本部参事（福地　常勝）　仲程孝議員の再質疑にお答えいたします。

法定協議会において、本市に消防指令センターの整備及び整備主体として承認され、沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器）の整備を進めているところです。法定協議会での承認及び構成市町村で、既に本事業に係る予算の議会

の議決を得ており、本市の特別会計で事業費を支出するため、本契約に係る議会の議決が必要となります。

○議長（比嘉　直人）　以上で質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、総務委員会へ付託します。

日程第５．議案第66号　物品の取得について（高規格救急自動車）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、総務委員会へ付託します。

日程第６．承認第10号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号））を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、建設委員会へ付託します。

日程第７．承認第11号　専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので、発言を許します。金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　皆さん、こんにちは。承認第11号　専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）について質疑を行います。

説明資料において、本市管理の赤野中継ポンプ場につながる下水道管の継ぎ手や、汚水ます等から大量の雨水、地下水の不明水が流入し家屋の一部を浸水によって451万2,280円の損害賠償金の支払いとなっております。まず１点目に、下水道管の継ぎ手とあるが、老朽化によっての原因なのか伺います。また、汚水ます等の詰まりによっての原因で大量の雨水があふれたのか伺います。

２点目、気候変動によって雨天時の浸入水対策として、どのように今後を考えているのか伺いたいと思います。

○議長（比嘉　直人）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　議員の皆さん、こんにちは。金城加奈栄議員の質疑にお答えいたします。

１点目の下水道管の継ぎ手の老朽化によっての原因なのかにつきましては、老朽化による継ぎ手のずれや破損によるものと考えております。

次に、汚水ます等の詰まりによって大量の雨水があふれたのかにつきましては、汚水ますの詰まりではなく、大量の不明水の流入により汚水が逆流したものでございます。

２点目の気候変動による雨天時の浸入対策につきましては、下水道管等に流入する不明水の実態調査を行い、必要箇所の修繕を行ってまいります。

○議長（比嘉　直人）　以上で質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、建設委員会へ付託します。

日程第８．議案第67号　教育委員会委員の任命についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので、順次発言を許します。伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　議案第67号　教育委員会委員の任命について、５点を一括して質疑したいと思います。

まず１点目、委員の任命をするに当たっての経緯ということで説明を求めたいと思います。

２点目、委員は任命になるのか、それとも自薦、他薦によるものなのか、伺いたいと思います。

３点目、任命になれば誰が任命するのかということで、お聞きしたいと思っております。

４点目、また自薦、他薦ならばその決定についての諮問機関があって、協議の上で決定しているのか伺いたいと思います。

５点目、もし決定するに当たっての諮問機関があれば、その諮問機関のメンバー構成はどうなっているのかということで、５点一括してお聞きしたいと思います。

○議長（比嘉　直人）　副市長。

○副市長（佐久川　篤）　伊波洋議員の御質疑にお答えをいたします。

まず１点目の経緯でございますけれども、前任の教育委員が令和６年７月31日をもって任期が終了しておりますので、その後任としての提案でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４条第５項において、委員のうちに保護者である者が含まれるようにしなければならないとの規定がございまして、今回の提案につきましては保護者として、また、うるま市社会教育委員を長年務め、社会教育への知見が深く、今後うるま市の教育分野の推進に尽力していただけるものであり、教育委員会会議において保護者の立場から意見が言える方だと考え提案をしているところでございます。

次に２点目でございますが、これは自薦、他薦ではなく市長からの提出議案として市議会へ提案をしているところでございます。

３点目の教育委員の任命については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４条第２項において、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命するとの規定がございまして、市長が任命するものでございます。

４点目、５点目の御質疑ですが、教育委員の任命に関する諮問機関はございません。先ほど答弁いたしましたとおり、議会の同意を得て任命することとなっております。

○議長（比嘉　直人）　次の質疑者、金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　議案第67号　教育委員委員の任命について質疑を行います。

経歴について、令和６年７月、うるま市社会教育委員を退任とされておりますが、教育としてどのようなことに関わってきたのか伺いたいと思います。

○議長（比嘉　直人）　副市長。

○副市長（佐久川　篤）　お答えいたします。

御質疑の件につきましては、社会教育委員は社会教育法及びうるま市社会教育委員に関する条例に基づき委嘱された委員となっております。年間２回程度の会議を行い、本市の社会教育に関する計画立案に指導・助言を行っているところでございます。

○議長（比嘉　直人）　以上で質疑を終結します。

お諮りします。ただいま議題となっております案件は人事案件につき、委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって本案は委員会付託を省略することに決定しました。

以上で議案に対する質疑は全て終了しました。

議 案 付 託 一 覧 表

◎　総務委員会

議案番号	案　　件　　名	備　考
承認第９号	専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号））	
議案第65号	物品の取得について（沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器））	
議案第66号	物品の取得について（高規格救急自動車）	

◎　建設委員会

議案番号	案　　件　　名	備　考
承認第10号	専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号)）	
承認第11号	専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）	

◎　付託省略（人事案件）

議案番号	案　　件　　名	備　考
議案第67号	教育委員会委員の任命について	

これより委員会審査のため暫時休憩します。

休　憩（１３時４３分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１５時４６分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

お諮りします。本日の会議は議事の都合により、あらかじめ延長したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって本日の会議時間を延長することに決定いたしました。

休憩します。

休　憩（１５時４６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１６時４１分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

日程第３．承認第９号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号)）から日程第５．議案第66号　物品の取得について（高規格救急自動車）までの３件を一括して議題とします。総務委員長へ委員会審査の報告を求めます。伊波良明総務委員長。

○総務委員長（伊波　良明）　これより総務委員会委員長報告を行います。

令和６年８月22日

うるま市議会議長　比嘉　直人　様

総　務　委　員　会
委員長　伊波　良明

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
承認第９号	専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号)）	承　　認
議案第65号	物品の取得について（沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器)）	原案可決
議案第66号	物品の取得について（高規格救急自動車）	原案可決

続きまして、審査の経過と結果を御報告いたします。

承認第９号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号)）について、委員から「定額減税補足給付金事業の補正内容について」質疑があり、当局から「通信運搬費725万4,000円の減額補正は、手数料774万2,000円へ組み替えている。組み替えた手数料と通信運搬費の差額48万8,000円は、10月から郵便料金が改定されることから通信運搬費を増額したことによるものである。業務委託料251万2,000円の増額補正は、当初支給対象者を約２万3,000人としていたが８月１日時点で抽出したところ約２万4,000人に増えたことによる増額である。また、給付費10億7,500万円は、８月１日時点の支給対象者から算定した金額を計上している」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は承認すべきものと決しております。

次に、議案第65号　物品の取得について（沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器)）について、委員から「購入する物品の数量等について」質疑があり、当局から「今回購入する指令機器は、うるま市消防指令センターに設置する機器の種類として約40種類あり、数量は、その他構成市町村等に設置する機器も全て合わせると約1,800器となる」との答弁がありました。また、委員から「プロポーザルの選定方法と参加した会社数について」質疑があり、当局から「プロポーザルは、選定委員会を設置し、その中で公平・公正に審査を行い、選定していただいた。また、公募に参加した会社数は２社となっている」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

次に、議案第66号　物品の取得について（高規格救急自動車）について、委員から「購入する財源と契約の落札率について」質疑があり、当局から「財源は、緊急防災・減災事業債を活用し、契約の落札率は85.9％となっている」との答弁がありました。また、委員から「旧車両については、下取り等も考えているのか」との質疑があり、当局から「現在の旧車両は、取得から10年以上が経過し、走行距離も20万キロ以上走行しているため老朽化が激しく、現段階では、廃車にする予定となっている」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

○議長（比嘉　直人）　ただいま総務委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告はありません。質疑

なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。初めに、承認第９号専決処分の承認について（令和６年度うるま市一般会計補正予算（第３号））を採決します。

本案に対する委員長の報告は、承認です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決定しました。

次に、議案第65号　物品の取得について（沖縄県消防指令センターシステム整備事業（指令機器））を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第66号　物品の取得について（高規格救急自動車）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第６．承認第10号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号））、日程第７．承認第11号　専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）の２件を一括して議題とします。建設委員長へ委員会審査の報告を求めます。真栄城隆建設委員長。

○建設委員長（真栄城　隆）　建設委員会委員長報告を行います。

令和６年８月22日

うるま市議会議長　比嘉　直人　様

建　設　委　員　会
委員長　真栄城　隆

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
承認第10号	専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号））	承　　認

事件の番号	件　　名	審査結果
承認第11号	専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）	承　　認

引き続き、審査の経過と結果を御報告いたします。

承認第10号　専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号））及び承認第11号　専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）の２件については、関連する内容となっており、本委員会において一括議題として審査を行ったため、一括して御報告いたします。審査に当たっては、執行部より説明を受けた後、質疑を行いました。委員より「損害賠償金の内訳について」質疑があり、当局から「当該家屋の床や壁の復旧工事で約440万円、その他扇風機などの動産類の毀損に対する賠償額が約11万円となっている」との答弁がありました。

また委員より「今回、市の瑕疵による逆流とのことだが、他の原因はないか」との質疑があり、当局から「流入した不明水については原因が様々であり、今後調査が必要である。顧問弁護士に相談したところ、今回の件は管理の瑕疵に該当するということで市の瑕疵と判断した」との答弁がありました。

また委員より「今後も想定を超えた雨量が発生した場合、ゲートが完全に閉じて逆流が発生する可能性があるのか」との質疑があり、当局から、「対策として今後は完全に閉まらないように機械的に調整している。また、ポンプ場が水没した場合に備え、コンセントなど電気設備を３メートルほど高い位置に設置し直した」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、承認第10号、承認第11号の２件につきましては、いずれも承認すべきものと決しております。

○議長（比嘉　直人）　ただいま建設委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告はありません。質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。初めに、承認第10号専決処分の承認について（令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第２号））を採決します。

本案に対する委員長の報告は、承認です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決定しました。

次に、承認第11号　専決処分の承認について（下水道事業に係る損害賠償の額を定めること）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、承認です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は承認されました。

日程第８．議案第67号　教育委員会委員の任命についてを議題とします。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより議案第67号　教育委員会委員の任命についてを採決します。

本案は、同意することに御異議ありませんか。

（「異議あり」と言う者あり）

異議がありますので、採決は電子表決システムにより行います。

本案は、同意することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は同意することに決定しました。

お諮りします。今臨時会で議決された事件の条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、今臨時会で議決されました事件の条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任することに決定しました。

以上で、今臨時会の日程は全て終了しましたので、会議を閉じます。

これをもって令和６年８月第178回うるま市議会臨時会を閉会します。

閉　会（１６時５８分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

議　　長　　比　嘉　直　人

２０番議員　　天　願　久　史

２４番議員　　國　場　正　剛

令和６年

第179回うるま市議会会議録

── 定　例　会 ──

第179回定例会　令和６年９月３日（開　会）
令和６年９月30日（閉　会）

うるま市告示第１８０号

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第１０１条第１項の規定により、令和６年９月第１７９回うるま市議会定例会を次のとおり招集する。

令和６年８月２７日

うるま市長　中村　正人

１　招集の期日
　令和６年９月３日

２　招集の場所
　うるま市議会議場

会 期 及 び 日 程

自　令和６年９月３日
至　令和６年９月30日　　28日間

月　日	曜	種　別	日　　程	備　　考
９月３日	火	本会議 １日目	会期の決定、議案提案説明等	※一般質問通告締切り（午後３時）
４日	水	休　会	議案研究	
５日	木	休　会	議案研究	※質疑通告締切り（正午）
６日	金	休　会	事務整理	
７日	土	休　日		
８日	日	休　日		
９日	月	本会議 ２日目	質疑、委員会付託（１日目）	
10日	火	本会議 ３日目	質疑、委員会付託（２日目）	
11日	水	委員会 １日目	付託案件の審査	
12日	木	委員会 ２日目	付託案件の審査	
13日	金	委員会 ３日目	付託案件の審査	
14日	土	休　日		
15日	日	休　日		
16日	月	休　日	敬老の日	
17日	火	本会議 ４日目	一般質問（１日目）	
18日	水	本会議 ５日目	一般質問（２日目）	全員協議会（本会議終了後：「先議」協議）
19日	木	本会議 ６日目	先議案件に関する委員長報告、質疑、討論、採決、一般質問（３日目）	
20日	金	本会議 ７日目	一般質問（４日目）	
21日	土	休　日		
22日	日	休　日	秋分の日	
23日	月	休　日	振替休日	
24日	火	本会議 ８日目	一般質問（５日目）	
25日	水	本会議 ９日目	一般質問（６日目）	
26日	木	本会議 10日目	一般質問（７日目）	全員協議会（本会議終了後：協議）
27日	金	休　会	事務整理	
28日	土	休　日		
29日	日	休　日		
30日	月	本会議 11日目	委員長報告、質疑、討論、採決	

※９月10日は、本会議（質疑・委員会付託）の予定だったが、９月９日に全ての質疑及び委員会付託を終えたため、休会となった。

上 程 案 件 の 処 理 結 果

議案番号	件名	発案者	提出月日	処理月日	結果
認定第１号	令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について	市長	令和６年９月３日	令和６年９月30日	認定
認定第２号	令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	〃	〃
認定第３号	令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	〃	〃
認定第４号	令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	〃	〃
認定第５号	令和５年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃	〃	〃
認定第６号	令和５年度うるま市水道事業会計決算認定について	〃	〃	〃	〃
認定第７号	令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定について	〃	〃	〃	〃
報告第11号	令和５年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	〃	〃	令和６年９月９日	報告
報告第12号	放棄した債権の報告について（不当利得返還金）	〃	〃	〃	〃
報告第13号	放棄した債権の報告について（生活保護費返還金）	〃	〃	〃	〃
報告第14号	放棄した債権の報告について（介護給付費返納金）	〃	〃	〃	〃
報告第15号	放棄した債権の報告について（児童扶養手当返還金）	〃	〃	〃	〃
報告第16号	放棄した債権の報告について（幼稚園保育料等）	〃	〃	〃	〃
報告第17号	放棄した債権の報告について（不当利得返還金）	〃	〃	〃	〃
報告第18号	放棄した債権の報告について（損害賠償請求金）	〃	〃	〃	〃
諮問第１号	人権擁護委員候補者の推薦について（照屋フジ子）	〃	〃	令和６年９月30日	適任
諮問第２号	人権擁護委員候補者の推薦について（長堂純吉）	〃	〃	〃	〃

議案番号	件名	発案者	提出月日	処理月日	結果
諮問第３号	人権擁護委員候補者の推薦について（佐久川長儀）	市長	令和６年９月３日	令和６年９月30日	適任
諮問第４号	人権擁護委員候補者の推薦について（目取真淳）	〃	〃	〃	〃
諮問第５号	人権擁護委員候補者の推薦について（西新屋光男）	〃	〃	〃	〃
議案第68号	令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃	〃	原案可決
議案第69号	令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	〃	〃	〃	〃
議案第70号	令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）	〃	〃	令和６年９月19日	〃
議案第71号	令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）	〃	〃	令和６年９月30日	〃
議案第72号	令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）	〃	〃	令和６年９月19日	〃
議案第73号	令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）	〃	〃	〃	〃
議案第74号	令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	〃	〃	〃	〃
議案第75号	令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	〃	〃	令和６年９月30日	〃
議案第76号	訴えの提起について（土地明渡請求事件）	〃	〃	〃	〃
議案第77号	車両事故に係る和解をすることについて	〃	〃	〃	〃
議案第78号	沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾について	〃	〃	〃	〃
議案第79号	物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）	〃	〃	〃	〃
議案第80号	うるま市税条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃	〃
議案第81号	アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃	〃
議案第82号	うるま市都市公園条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃	〃

議案番号	件名	発案者	提出月日	処理月日	結果
議案第83号	うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	市長	令和６年９月３日	令和６年９月30日	原案可決
議案第84号	うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃	〃
議案第85号	うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃	〃
議案第86号	うるま市都市公園以外の公園に関する条例	〃	〃	〃	〃
議案第87号	うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例	〃	〃	〃	〃
議案第88号	訴えの提起について（建物明渡等請求事件）	〃	〃	〃	〃
議案第89号	うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例	〃	〃	〃	〃
発議第10号	所得税法第56条の廃止を求める意見書	総務委員会委員長伊波　良明	令和６年９月30日	〃	〃
請願第９号	生活道路の整備に関する請願	－	令和６年９月３日	〃	趣旨採択
陳情第７号	うるま市印刷物入札制度改善に関する陳情	－	令和５年２月21日	〃	採択
陳情第29号	県産品の優先使用について（要請）	－	令和６年９月３日	〃	〃
陳情第30号	違法駐車対策に関する陳情	－	〃	〃	〃
陳情第31号	所得税法第56条の廃止を求める陳情	－	〃	〃	〃

◎　応招した議員

真栄城　　隆	議員	伊　礼　　正	議員
高　屋　　優	議員	宮　城　一　寿	議員
糸　数　昌　宗	議員	仲　程　　孝	議員
伊　盛　サチ子	議員	又　吉　法　尚	議員
金　城　加奈栄	議員	下　門　　勝	議員
国　吉　　亮	議員	天　願　久　史	議員
伊　波　良　明	議員	比　嘉　直　人	議員
神　田　洋　一	議員	國　場　正　剛	議員
平　良　一　雄	議員	大　城　　直	議員
真　壁　朝　弘	議員	佐久田　　悟	議員
幸　喜　　勇	議員	兼　本　光　治	議員
玉　元　哉　世	議員	藏　根　　武	議員
玉　城　政　哉	議員	伊　波　　洋	議員
池宮城　善　伸	議員		

◎　欠員３名

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（１日目）

◎　令和６年９月３日（火）　　（１０時０１分　開会）

◎　出席議員（27名）

１番	真栄城　　隆　議員	15番	伊　礼　　正　議員
２番	高　屋　　優　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	17番	仲　程　　孝　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	19番	下　門　　勝　議員
６番	国　吉　　亮　議員	20番	天　願　久　史　議員
７番	伊　波　良　明　議員	23番	比　嘉　直　人　議員
８番	神　田　洋　一　議員	24番	國　場　正　剛　議員
９番	平　良　一　雄　議員	25番	大　城　　直　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	27番	佐久田　　悟　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	28番	兼　本　光　治　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	29番	藏　根　　武　議員
13番	玉　城　政　哉　議員	30番	伊　波　　洋　議員
14番	池宮城　善　伸　議員		

◎　欠席議員（なし）

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	防災広報対策部長	大　田　義　浩
副　市　長	佐久川　　篤	福　祉　部　長	幸　地　美　和
教　育　長	嘉手苅　弘　美	こども未来部長	上　原　利恵子
総　務　部　長	山入端　立　也	こども未来部参事	上運天　　健
企　画　部　長	金　城　和　明	市民生活部長	松　岡　秀　光
財　務　部　長	島　袋　史　朗	市民生活部参事	古　謝　哲　也

経済産業部長	岸　本　　力	消防本部参事	福　地　常　勝
農林水産部長	座喜味　達　也	社会教育部長	川　端　　登
都市建設部長	名嘉眞　　睦	社会教育部参事	兼　城　哲　夫
都市建設部参事	田　場　直　樹	学校教育部長	大　里　元　児
水　道　部　長	座間味　　修	会　計　管　理　者	安慶名　優　子
消　　防　　長	新　垣　　隆	総務政策課長	諸見里　直　樹

◎　事務局出席者

議会事務局長	知　念　義　浩	調査広報係長	伊　禮　君　人
議　事　課　長	石　川　秀　吉	議事係主査	伊　藤　　靖
議　事　係　長	森　根　元　気	調査広報係 主　任　主　事	山　城　　太

◎　議事日程第１号

第１．会議録署名議員の指名

第２．会期の決定

第３．認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について

第４．認定第２号　令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

第５．認定第３号　令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

第６．認定第４号　令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

第７．認定第５号　令和５年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

第８．認定第６号　令和５年度うるま市水道事業会計決算認定について

第９．認定第７号　令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定について

第10．報告第11号　令和５年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

第11．報告第12号　放棄した債権の報告について（不当利得返還金）

第12．報告第13号　放棄した債権の報告について（生活保護費返還金）

第13．報告第14号　放棄した債権の報告について（介護給付費返納金）

第14．報告第15号　放棄した債権の報告について（児童扶養手当返還金）

第15．報告第16号　放棄した債権の報告について（幼稚園保育料等）

第16．報告第17号　放棄した債権の報告について（不当利得返還金）

第17．報告第18号　放棄した債権の報告について（損害賠償請求金）

第18．諮問第１号　人権擁護委員候補者の推薦について

第19．諮問第２号　人権擁護委員候補者の推薦について

第20．諮問第３号　人権擁護委員候補者の推薦について

第21．諮問第４号　人権擁護委員候補者の推薦について

第22．諮問第５号　人権擁護委員候補者の推薦について

第23．議案第68号　令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

第24．議案第69号　令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

第25．議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）

第26．議案第71号　令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）

第27．議案第72号　令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）

第28．議案第73号　令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）

第29．議案第74号　令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）

第30．議案第75号　令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）

第31．議案第76号　訴えの提起について（土地明渡請求事件）

第32．議案第77号　車両事故に係る和解をすることについて

第33．議案第78号　沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾について

第34．議案第79号　物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）

第35．議案第80号　うるま市税条例の一部を改正する条例

第36．議案第81号　アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例

第37．議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例

第38. 議案第83号　うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第39. 議案第84号　うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例
第40. 議案第85号　うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
第41. 議案第86号　うるま市都市公園以外の公園に関する条例
第42. 議案第87号　うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例
第43. 議案第88号　訴えの提起について（建物明渡等請求事件）
第44. 議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例

◎　会議に付した事件
議事日程に同じ

○議長（比嘉　直人）　ただいまから令和６年９月第179回うるま市議会定例会を開会します。

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第１号のとおりです。

この際、諸般の報告を行います。

令和６年８月14日付、教育委員会教育長から議長宛てに、令和６年度うるま市教育委員会事務点検・評価報告書（令和５年度事業分）の提出がありましたので、全議員へ配付しております。

令和６年８月26日付、監査委員から令和６年７月分の例月現金出納検査の結果について報告がありました。

令和６年８月27日付、市長から第179回市議会定例会の招集について通知がありました。

令和６年８月30日、令和６年第２回沖縄県市町村総合事務組合議会定例会が沖縄県市町村自治会館で開催され、議長が出席いたしました。

令和６年８月30日、沖縄県市議会議長会会長から、沖縄県知事及び沖縄県議会議長宛て、学校給食費無償化実現を早急に求める要請書の手交が行われ、議長が同席いたしました。

令和６年９月１日、うるま市と宇都宮市の友好都市提携に係るレセプション及びうるま市エイサーまつりでのお披露目パレードが開催され、議長が出席いたしました。

以上で諸般の報告を終わります。

日程第１．会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、大城直議員、佐久田悟議員を指名します。

日程第２．会期の決定を議題とします。

今定例会の会期については、あらかじめ議会運営委員会で御協議をいただいております。その結果について議会運営委員長へ報告を求めます。大城直議会運営委員長。

○議会運営委員長（大城　直）　皆様、おはようございます。議会運営委員長報告を行います。

去る８月28日及び９月２日に開かれました、議会運営委員会の協議結果について御報告いたします。

まず、今定例会の会期につきましては、本日から９月30日までの28日間とすることで合意を得ております。

次に、会期中の日程等につきましては、お手元に配付してあります会期及び日程表のとおり進めていくことで、協議が整っております。なお、日程表の備考欄に記載してありますように、執行部提出議案に対する質疑通告書の提出締切りは、９月５日の正午とし、一般質問通告書の本受付の締切りは、本日の午後３時までとなっております。

次に、執行部より議案第70号及び議案第72号か

ら議案第74号の４件の議案について、先議の申出があり、協議の結果９月19日に先議案件として処理することで協議が整っております。

次に、請願・陳情につきましては、招集告示日の前日までに受理した請願は２件、陳情は８件で、そのうち請願１件、陳情１件については、その後撤回の申出がありましたので、議長において承認されております。よって、請願・陳情につきましては、お手元に配付してあります請願・陳情付託一覧表のとおり取り扱うことで合意を得ております。

○議長（比嘉　直人）　ただいま今定例会の会期について、日程等も含めて御報告をいただきました。

お諮りします。今定例会の会期は、議会運営委員長の報告のとおり、本日から９月30日までの28日間とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、今定例会の会期は、本日から９月30日までの28日間とすることに決定しました。

休憩します。

休　憩（１０時０７分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時０８分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

市長より行政報告の申出がありますので、これを許可します。市長。

○市長（中村　正人）　議員の皆様、おはようございます。第179回うるま市議会定例会が開会されるに当たり、行政報告を申し上げます。

初めに６月18日、梅雨前線による大雨の影響により、与那城屋慶名藪地島の市道17号線において斜面の土砂が約40メートルにわたり崩落し、道路を遮断する被害が発生いたしました。藪地島の畜産農家６軒の牛116頭が島内に取り残されたことを受け、土砂災害警報解除後、６月19日から都市建設部道路整備課において、土砂撤去作業を迅速に行い、６月22日には道路片側が応急的に通行可能となり、６月28日には安全対策を含む道路の仮復旧が完了をしております。その際に兼本議員より緊急的な要請があり、さらにその後、役所に来ていただいて農家の皆様からお礼の申入れがございました。誠にありがとうございます。

また、昨年の８月に襲来した台風６号の影響により、宮城島の県営一般農道宮城線の道路斜面が崩落し、つきましては国の災害認定を経て、復旧工事が本年５月より始まり、来年２月までには完了する予定となっております。

次に、航海の安全と豊漁を祈願する夏の伝統行事のハーリー大会が６月９日の桃原ハーリー、平安座ハーリーを皮切りに市内各地の漁港において開催されました。ハーリーのかいをさばく漕ぎ手の勇姿に観客が声援を送り、観衆を魅了しておりました。

次に、６月16日の投開票のあった沖縄県議会選挙において、照屋大河県議、山内末子県議が連続当選をし、さらに前市議会議員の大屋政善議員と喜屋武力議員が初当選を果たしております。誠におめでとうございます。本市選出の県議会議員の皆様が本市の行政運営並びに市民生活の向上のために御尽力されることを切に願っております。

次に、６月に市内で発生した２件の交通死亡事故が連続で発生したことを受け、７月１日にうるま警察署において、うるま市、うるま警察署、石川警察署が共同で交通事故の抑止と交通死亡数の減少を目的に交通死亡事故緊急アピールを行い、広く市民の皆様に交通ルール遵守と交通マナー向上、そして交通安全行動の訴えをしております。

次に、昨年度のシティプロモーション事業で作成した現代版組踊「肝高の阿麻和利」の関連映像が全国規模のコンクールで数々の映像部門で受賞をいたしました。まず、ドキュメンタリー動画として作成した映像が一般社団法人日本イベント産業振興協会主催のＪＡＣＥイベントアワードにおいてブロンズ賞、広告の甲子園と言われる公益社団法人日本広告協会主催の全国広告コンクールの映像部門において、全国３位及びＢＳよしもと賞の２部門で受賞をしております。さらに沖縄広告協会主催の沖縄広告賞において、Ｗｅｂフィルム

単発部門、チャレンジ部門の２部門で銅賞を受賞しております。今後とも感動産業特区を軸に本市の魅力を県内外に発信し、官民一体となったまちづくりに取り組んでまいります。

次に、７月18日に沖縄県議会中川京貴議長及び沖縄県議会文教厚生委員会新垣新委員長に対し、県立中部病院将来構想について要請書の手交をしてまいりました。要請内容といたしましては、県立中部病院南病棟の耐震化、本館建物の狭隘化と増改築による医療サービスの低下や環境問題、現地建て替えによる工事期間中の医療機能低下や救急搬送の滞りが生じ、地域医療・救急搬送への悪影響など本市を含む中部地域医療体制に影響が生じることから現地建て替えではなく、本市への移転建て替えによる新病棟の整備の要請をしてまいりました。

次に、８月５日、６日の日程で東京都において、中城湾港新港地区協議会桑江浩会長をはじめとする役員の皆様と、中城湾港新港地区の港湾整備の早期実現、中部東道路早期実現うるま市期成会新垣壮大会長、石川裕憲副会長と共に中部東道路の早期実現について、内閣府特命担当大臣自見英子氏、国土交通大臣斉藤鉄夫氏及び自由民主党沖縄振興調査会岡田直樹会長、自由民主党港湾議連森山裕会長、前内閣総理大臣菅義偉氏、さらに沖縄選出国会議員並びに各省庁へ要請書を手交してまいりました。

次に、パリパラリンピックの陸上車椅子マラソンに出場する喜納翼選手の激励会を８月８日に本庁舎において、執り行っております。激励会に出席した喜納翼選手からパリパラリンピックは東京パラリンピックに次ぐ２回目の出場となり、最後まで諦めずに全力を尽くしてまいりますと力強い決意を述べていただきました。喜納翼選手が出場する車椅子マラソンは９月８日となっておりますので、市民の皆様にはぜひ声援を送っていただければと思っております。

次に、第12回夏の全島闘牛大会が８月11日にうるま市石川多目的ドームにおいて開催され、全島各地から多くの闘牛ファンが会場に詰めかけ、闘牛の熱い対戦に声援を送り、各試合とも大いに盛り上がりを見せました。

次に、８月31日、９月１日の２日間の日程において、第19回うるま市エイサーまつりを従来の開催場所であった与那城総合運動公園陸上競技場が改修工事のため、会場を変更して県道75号線の安慶名十字路から琉球銀行安慶名支店までの約400メートルの区間の道路を全面封鎖し、３エリアに区分し、道ジュネー方式でエイサーまつりを開催いたしました。同まつりには８月３日に友好都市提携を締結した宇都宮市の酒井副市長、馬上議長をはじめとする一行の皆様が友好都市お披露目パレードに参加をいたしました。また、宇都宮市とは防災分野において、大規模災害が発生した場合に、迅速かつ円滑な応急復旧活動を相互に支援するための災害時相互応援協定を８月30日に締結しております。うるま市エイサーまつりでは市内11の青年会が参加し、夜空に響く三味線、華やかな衣装と演舞、力強いばちさばき、一糸乱れないパーランクーの勇壮は多くの観客を魅了し、感動を与えることができました。さらに土曜日のパレードに参加をいただきました比嘉議長をはじめとする市議会議員の皆様並びにうるま市・宇都宮市友好都市実行委員会関係各位の皆様には、御多忙中御参加をいただきまして、心より感謝と御礼を申し上げます。

最後に、９月１日より救急安心センター事業、おきなわ＃7119救急電話相談窓口が沖縄県の一部地域を除いて運用がスタートをしております。おきなわ＃7119救急電話相談窓口は既に全国各地で運用が始まっており、急な病気やけがをしたときに救急車を呼ぶか、病院を受診するかを迷った際に、相談員の看護師が訴えや症状などを基に緊急度を判定し、緊急性や救急車要請の要否の助言、応急手当方法などのアドバイスを行うサービスとなっております。近年では、うるま市のみならず全国的に救急出動件数が年々増加傾向にあり、救急車の現場到着時間が遅延するなど問題が生じております。おきなわ＃7119救急電話相談窓口が定着することで、救急車の適切な利用、救急医療機

関の受診の適正化、住民への安全・安心の提供につながることが期待をされております。

以上で行政報告を終わります。なお、本会議には認定７件、報告８件、諮問５件、議案22件を御提案しております。後ほど、担当部長から説明いたしますので、議員皆様の御審議のほど、よろしくお願いを申し上げます。

○議長（比嘉　直人）　日程第３．認定第１号令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定についてから日程第44．議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例までの42件を一括して議題とします。

順次、提出者の説明を求めます。財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　議員の皆様、おはようございます。認定第１号について御説明いたします。

令和５年度決算書の表紙をお開きください。令和５年度うるま市一般会計・特別会計歳入歳出決算書。

このことについて、地方自治法第233条第３項の規定により別紙監査委員の意見を付けて議会の認定に付します。認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

これより決算の内容についての御説明をいたしますが、予算現額の読み上げ、また歳入歳出合計額以外につきましては、1,000円単位未満の読み上げを省略させていただきます。あらかじめ御了承をお願いいたします。

それでは５ページ、６ページをお開きください。歳入歳出決算書。歳入。１款市税は、調定額139億9,112万6,000円に対し、収入済額136億334万3,000円、前年度比2.5％の増額で、不納欠損額は2,494万8,000円です。収入未済額は３億6,815万7,000円であります。

２款地方譲与税は、収入済額が３億1,336万2,000円で、前年度比1.7％の減額であります。

３款利子割交付金から９款環境性能割交付金までの各交付金の収入の合計は、30億1,691万円で前年度比1.4％の増額であります。

10款国有提供施設等所在市町村助成交付金は、収入済額が５億9,752万円で、前年度比1.6％の減額でございます。

11款地方特例交付金は、収入済額が１億1,002万4,000円で、前年度比7.2％の増額でございます。

７ページ、８ページをお願いいたします。12款地方交付税は、収入済額が150億4,747万7,000円で、前年度比0.2％の減額でございます。

13款交通安全対策特別交付金は、収入済額が803万8,000円で、前年度比14.1％の減額でございます。

14款分担金及び負担金は、調定額２億7,571万円に対し、収入済額２億6,730万8,000円で、前年度比4.7％の増額、不納欠損額は61万5,000円で、収入未済額は787万3,000円でございます。

15款使用料及び手数料は、調定額７億9,685万6,000円に対し、収入済額７億8,049万5,000円で、前年度比2.5％の増額、不納欠損額は39万4,000円で、収入未済額は1,596万9,000円でございます。

16款国庫支出金は、調定額212億6,951万8,000円に対し、収入済額205億1,431万9,000円で、前年度比9.7％の減額、収入未済額は７億5,519万9,000円であります。

17款県支出金は、調定額99億6,422万4,000円に対し、収入済額90億7,289万5,000円で、前年度比8.7％の増額、収入未済額は８億9,132万9,000円であります。

18款財産収入は、調定額６億3,185万1,000円に対し、収入済額６億1,622万9,000円で、前年度比21.7％の増額、収入未済額は1,562万2,000円であります。

19款寄附金から21款の繰越金までの合計の収入済額は81億8,526万1,000円で、前年度比14.9％の増額でございます。

22款諸収入は、調定額12億1,412万5,000円に対し、収入済額８億8,326万7,000円で、前年度比11.6％の減額、不納欠損額は1,017万7,000円で、収入未済額が３億2,068万5,000円でございます。

９ページ、10ページをお願いいたします。23款市債は、収入済額24億6,583万4,000円で、前年度

比16.7％の減額であります。

歳入合計は、調定額778億8,784万1,808円に対し、収入済額が754億8,228万6,889円で、前年度比0.7％の減額、不納欠損額が3,613万5,239円、収入未済額は23億7,483万6,467円であります。収入率は予算に対し95.8％で、調定額に対しましては96.9％となっております。

続きまして11ページ、12ページをお願いいたします。歳出の御説明になりますが、予算現額と不用額の読み上げは割愛させていただきます。

１款議会費は、支出済額３億5,354万2,000円、前年度比5.8％の増額でございます。

２款総務費は、支出済額65億2,815万5,000円で、前年度比7.3％の減額、翌年度繰越額が3,584万1,000円であります。

３款民生費は、支出済額378億5,499万9,000円で、前年度比4.6％の増額、翌年度繰越額は１億2,700万4,000円でございます。

４款衛生費は、支出済額47億603万円で、前年度比７％の増額、翌年度繰越額は１億7,079万9,000円でございます。

５款労働費は、支出済額１億1,257万4,000円で、前年度比34.3％の減額でございます。

６款農林水産業費、支出済額15億2,381万1,000円で、前年度比15.6％の増額、翌年度繰越額は9,051万5,000円であります。

７款商工費、支出済額21億9,662万2,000円で、前年度比13.2％の増額、翌年度繰越額は3,804万6,000円でございます。

８款土木費、支出済額48億8,099万5,000円で、前年度比16％の減額、翌年度繰越額は12億7,436万9,000円でございます。

13ページ、14ページをお願いいたします。９款消防費は、支出済額19億672万5,000円で、前年度比41.6％の増額、翌年度繰越額は2,212万1,000円であります。

10款教育費は、支出済額75億6,783万6,000円で、前年度比11.1％の減額、翌年度繰越額は８億6,418万2,000円でございます。

11款災害復旧費は、支出済額１億2,344万6,000円で、前年度比314.1％の増額。翌年度繰越額は２億5,684万7,000円でございます。

12款公債費、支出済額49億2,500万4,000円で、前年度比1.5％の減額でございます。

14款予備費の充用額は３億7,143万4,000円でございます。

歳出合計は、支出済額726億7,974万4,725円、前年度比0.8％の増額で、翌年度繰越額は28億7,972万5,356円でございます。予算の執行率は92.3％、歳入歳出差引残額は28億254万2,164円でございます。

以降、17ページから426ページまでは、歳入歳出決算事項別明細書。

427ページは実質収支に関する調書で、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源５億8,198万3,840円を差し引いた実質収支額は22億2,055万8,324円でございます。

544ページ以降は、財産に関する調書で、決算年度中における各財産の増減について示してございます。

なお決算の附属資料としまして主要施策の成果説明書、一般会計・特別会計歳入歳出決算書及び基金運用状況に関する監査委員の審査意見書を添付してございます。併せて御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　次の説明者、市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　認定第２号令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について御説明いたします。

決算書の429ページ、430ページをお願いいたします。歳入であります。１款国民健康保険税は、調定額27億3,347万4,807円に対し、収入済額が22億5,744万83円で、対前年度比8.2％の減となっております。また不納欠損額が4,311万8,219円で、収入未済額が４億4,118万7,051円となっております。

２款一部負担金及び３款分担金及び負担金は、調定、収入ともにございませんでした。

４款使用料及び手数料は、調定額364万7,395円

に対し、収入済額が366万2,695円で、対前年度比1.4％の増となっております。

５款国庫支出金は調定額、収入済額ともに154万7,000円となっており、前年度の収入済額9,000円から大幅増となっております。

６款県支出金は調定額、収入済額ともに115億5,478万4,245円で、対前年度比1.40％の増となっております。

７款連合会支出金、８款財産収入及び９款寄附金につきましては調定、収入ともにございませんでした。

10款繰入金は調定額、収入済額ともに21億６万9,973円で、対前年度比40.0％の増となっております。

11款繰越金は調定額、収入済額ともに４億5,818万1,821円で、対前年度比37.5％の減となっております。

12款諸収入は、調定額5,582万54円に対し、収入済額が3,376万1,660円で、対前年度比38.3％の減となっております。また不納欠損額が263万7,898円で、収入未済額が1,942万1,496円となっております。

13款市債は調定、収入ともにございませんでした。

続きまして431ページ、432ページをお開きください。歳入の合計は、調定額169億752万5,295円に対し、収入済額が164億944万7,477円で、不納欠損額が4,575万6,117円、収入未済額が４億6,060万8,547円となっております。なお、収入率は対予算ベースで約100.7％、対調定ベースで約97.1％となっております。

続きまして433ページ、434ページをお開きください。歳出であります。１款総務費は、予算現額３億5,108万3,000円に対し、支出済額３億3,665万7,653円、対前年度比7.0％の減、不用額は1,442万5,347円となっております。

２款保険給付費は、予算現額108億4,059万9,000円に対し、支出済額が107億5,297万9,312円で、対前年度比1.4％の増、不用額は8,761万9,688円となっております。

３款国民健康保険事業費納付金は、予算現額47億1,534万6,000円に対し、支出済額が47億1,534万3,349円で、対前年度比9.0％の増、不用額は2,651円となっております。

４款共同事業拠出金及び５款財政安定化基金支出金の支出はございませんでした。

６款保健事業費は、予算現額１億4,442万4,000円に対し、支出済額が１億2,983万3,040円で、対前年度比5.8％の増、不用額は1,459万960円となっております。

７款基金積立金は予算現額、支出済額ともに１億円で、対前年度比54.5％の減となっております。

８款公債費は、予算現額20万1,000円に対し、支出済額はありませんので、不用額は予算現額と同額の20万1,000円となっております。

９款諸支出金は、予算現額9,817万4,000円に対し、支出済額が6,658万142円で、対前年度比9.0％の増、不用額は3,159万3,858円となっております。

続きまして435ページ、436ページをお開きください。10款予備費は、予算現額5,000万円に対し、支出済額はありませんので、不用額は予算現額と同額の5,000万円となっております。

歳出の合計は、予算現額162億9,982万9,000円に対し、支出済額は161億139万3,496円、対前年度比2.6％の増で、不用額が１億9,843万5,504円、予算の執行率は98.8％となっております。また、歳入歳出差引残額は、３億805万3,981円となっております。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

なお、歳入歳出決算の事項別明細書及び実質収支に関する調書につきましては、439ページから470ページに掲載してありますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　認定第３号　令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について御説明いたします。

決算書の473ページ、474ページをお開きください。歳入歳出決算書、歳入についてであります。

１款介護保険料は、第１号被保険者の保険料で、調定額22億7,206万5,930円に対し、収入済額21億6,488万7,962円、対前年度比2.1％の増額で、不納欠損額2,677万9,824円、収入未済額8,424万1,979円となっております。

２款使用料及び手数料は調定額、収入済額ともに115万3,148円、対前年度比7.7％の増額となっております。

３款国庫支出金は調定額、収入済額ともに26億8,520万2,421円で、対前年度比1.7％の増額となっております。

４款県支出金は調定額、収入済額ともに14億3,440万8,450円で、対前年度比2.1％の増額となっております。

５款支払基金交付金は調定額、収入済額ともに26億8,772万908円で、対前年度比3.3％の増額となっております。

６款相互財政安定化事業交付金及び７款財産収入は調定額、収入済額ともにありません。

８款繰入金は調定額、収入済額ともに24億739万8,000円で、対前年度比7.4％の増額となっております。

９款繰越金は調定額、収入済額ともに５億547万1,876円で、対前年度比25％の増額となっております。

10款諸収入は、調定額906万462円に対し、収入済額510万7,086円、対前年度比93.4％の増額で、不納欠損額２万6,715円、収入未済額392万6,661円となっております。

11款市債は調定額、収入済額ともにございません。

歳入合計では、予算現額121億7,383万円に対しまして、調定額120億248万1,195円、収入済額118億9,134万9,851円、対前年度比4.1％の増額で、不納欠損額2,680万6,539円、収入未済額8,816万8,640円となっております。なお、収入率は対予算額で97.7％、対調定額で99.1％となっております。

次に475ページ、476ページをお開きください。歳出についてでございます。１款総務費は、予算現額３億3,069万円に対し、支出済額が３億1,617万6,910円、対前年度比14.6％の増額で、不用額1,451万3,090円となっております。

２款保険給付費は、予算現額101億2,852万円に対し、支出済額95億7,003万3,216円、対前年度比2.6％の増額で、不用額５億5,848万6,784円となっております。

３款財政安定化基金拠出金及び４款相互財政安定化事業負担金の支出済額はございません。

５款地域支援事業費は、予算現額７億1,587万1,000円に対し、支出済額６億3,296万8,837円、対前年度比4.9％の増額で、不用額8,290万2,163円となっております。

６款基金積立金は予算現額、支出済額ともに７億952万5,000円で、対前年度比53.9％の増額となっております。

７款公債費は、一時借入金の利子として計上しておりましたが、一時借入れがありませんでしたので、全額不用額となっております。

８款諸支出金は、予算現額２億8,561万6,000円に対し、支出済額２億8,436万5,914円、対前年度比15.2％の増額で、不用額125万86円となっております。

次に477ページ、478ページをお開きください。９款予備費につきましては、充用額は149万8,000円となっております。

歳出合計で、予算現額121億7,383万円に対し、支出済額115億1,306万9,877円、対前年度比5.5％の増額で、不用額６億6,076万123円となっております。歳入歳出差引残額は３億7,827万9,974円となっております。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

なお、歳入歳出決算事項別明細書等を481ページから510ページに添付してございますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　認定第４号　令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について御説明いたします。

決算書の513ページ、514ページをお願いいたします。歳入、１款使用料は、調定額111万8,604円に対し、収入済額93万4,947円で、対前年度比11.4％の減額、収入未済額は18万3,657円でございます。

２款県支出金は調定額、収入済額ともに1,424万7,000円で、対前年度比302.2％の増額となっております。

３款繰入金は調定額、収入済額ともに1,403万7,000円で、対前年度比10.2％の増額となっております。

４款繰越金は調定額、収入済額ともに190万6,328円で、対前年度比5.7％の増額となっております。

５款諸収入は調定額、収入済額ともに18円となっております。

６款市債は調定額、収入済額ともに320万円で、対前年度比皆増となっております。

歳入合計は、調定額3,450万8,950円に対し、収入済額3,432万5,293円、対前年度比79.3％の増額、収入未済額18万3,657円となっております。収入率は対予算額99.7％、対調定額99.5％となっております。

次に515ページ、516ページをお願いいたします。歳出、１款農業集落排水事業費は、予算現額3,253万8,000円に対し、支出済額2,768万6,430円、対前年度比79.4％の増額、不用額は485万1,570円となっております。

２款公債費は、予算現額180万3,000円に対し、支出済額180万1,462円、前年度同額で不用額は1,538円となっております。

３款予備費の支出はございませんでした。

歳出合計は、予算現額で3,444万1,000円、支出済額2,948万7,892円、対前年度比71.1％の増額、不用額は495万3,108円となっております。執行率は、対予算額に対し85.6％となっております。歳入歳出差引残額は、483万7,401円でございます。なお、この残額は、農業集落排水事業について地方公営企業法が適用されたことに伴い、同法の規定による特別会計へ引き継いでおります。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

なお、歳入歳出決算事項別明細書等を519ページから527ページに添付してございます。御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　認定第５号令和５年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について御説明いたします。

決算書の529ページ、530ページをお開きください。歳入であります。１款後期高齢者医療保険料は、調定額９億479万6,086円に対し、収入済額が８億9,221万3,149円で、対前年度比5.3％の増となっております。また不納欠損額が106万8,235円で、収入未済額が1,264万64円となっております。

２款使用料及び手数料は、調定額30万6,100円に対し、収入済額が30万7,200円で、対前年度比3.4％の増となっております。

４款繰入金は調定額、収入済額ともに３億2,070万1,915円となっており、対前年度比では3.5％の増となっております。

５款繰越金は調定額、収入済額ともに1,259万1,779円で、対前年度比77.4％の増となっております。

６款諸収入は調定額、収入済額とも82万3,047円で、対前年度比85％の減となっております。

歳入の合計は、調定額12億3,921万8,927円に対し、収入済額が12億2,663万7,090円で、不納欠損額が106万8,235円、収入未済額が1,264万64円となっております。なお、収入率は、対予算ベースで約100.1％、対調定ベースで約98.6％となっております。

続きまして531ページ、532ページをお開きください。歳出であります。１款総務費は、予算現額3,871万3,000円に対し、支出済額3,711万3,863円、対前年度比16.3％の減、不用額は159万9,137円となっております。

２款後期高齢者医療広域連合納付金は予算現額11億8,474万9,000円に対し、支出済額11億8,227万888円対前年度比6.5％の増となっております。不用額は247万8,112円となっております。

３款諸支出金は、予算現額247万1,000円に対し、支出済額が211万7,610円で、対前年度比8.5％の増、不用額は35万3,390円となっております。

４款予備費は、予算現額50万円に対し、支出済額はございませんので、不用額は予算現額と同額の50万円となっております。

歳出の合計は、予算現額12億2,643万3,000円に対し、支出済額12億2,150万2,361円、対前年度比5.5％の増で、不用額が493万639円、予算の執行率は99.6％となっております。また歳入歳出差引残額は513万4,729円となっております。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

なお、歳入歳出決算の事項別明細書及び実質収支に関する調書につきましては、535ページから542ページに掲載してありますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　次の説明者、水道部長。

○水道部長（座間味　修）　認定第６号、認定第７号の２件を続けて御説明いたします。

初めに、認定第６号について御説明いたします。認定第６号　令和５年度うるま市水道事業会計決算認定について。

地方公営企業法第30条第４項の規定により、令和５年度うるま市水道事業会計の決算を、別紙監査委員の決算審査意見をつけて議会の認定に付する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

決算書の１ページ、２ページをお願いいたします。令和５年度うるま市水道事業決算報告書。

（１）収益的収入及び支出のうち、収入の第１款水道事業収益は、予算額合計31億7,022万7,000円に対し、決算額31億5,444万7,057円で、対前年度比0.2％の減額となっております。支出の第１款水道事業費は、予算額合計29億1,812万9,000円に対し、決算額28億4,893万4,028円で、対前年度比3.4％の減額となっております。

次に３ページ、４ページをお願いいたします。

（２）資本的収入及び支出のうち、収入の第１款資本的収入は、予算額合計１億6,079万円に対し、決算額１億6,006万5,500円で、対前年度比156.2％の増額となっております。支出の第１款資本的支出は、予算額合計13億1,123万4,000円に対し、決算額12億2,392万1,220円で、対前年度比111.7％の増額となっております。

５ページの令和５年度うるま市水道事業損益計算書をお願いいたします。当年度純利益は２億6,492万4,891円でございます。その他未処分利益剰余金変動額を加えた当年度未処分利益剰余金は、４億344万7,847円となっております。

６ページ、７ページをお願いいたします。令和５年度うるま市水道事業剰余金計算書をお願いいたします。資本剰余金合計の当年度末残高は、５億1,582万9,313円となっております。

次に、利益剰余金合計の当年度末残高は、12億7,048万7,696円となっております。

６ページの下段は、水道事業剰余金処分計算書（案）でございます。当年度末残高の未処分利益剰余金４億344万7,847円のうち、減債積立金の積立へ２億6,492万4,891円。資本金への組入れ１億3,852万2,956円としております。なお決算における利益の処分は、議会の議決を経て行う必要があり、議案第68号として提案してございます。

８ページをお願いいたします。令和５年度うるま市水道事業貸借対照表。資産の部、資産合計は143億7,129万8,849円となっております。

９ページ、負債の部、負債合計は59億7,562万29円。

10ページ、資本の部、資本合計は83億9,567万8,820円で、負債資本合計は143億7,129万8,849円となっております。

なお、13ページ以降に決算附属書類及び決算審査意見書を添付してございます。御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、認定第７号について御説明いたします。

認定第７号　令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定について。

地方公営企業法第30条第４項の規定により、令和５年度うるま市下水道事業会計の決算を、別紙監査委員の決算審査意見をつけて議会の認定に付

する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

決算書の１ページ、２ページをお願いいたします。令和５年度うるま市下水道事業決算報告書。

（１）収益的収入及び支出のうち、収入の第１款下水道事業収益は、予算合計額25億6,486万円に対し、決算額25億6,096万9,022円で、対前年度比１％の減額となっております。

支出の第１款下水道事業費は、予算合計額24億7,056万円に対し、決算額23億9,654万9,044円で、対前年度比1.7％の減額となっております。

次に３ページ、４ページをお願いいたします。

（２）資本的収入及び支出のうち、収入の第１款資本的収入は、予算合計額17億8,916万7,058円に対し、決算額10億4,978万4,450円で、対前年度比0.4％の減額となっております。支出の第１款資本的支出は、予算合計額24億7,455万3,000円に対し、決算額は15億5,812万1,162円で、対前年度比2.9％の増額となっております。

５ページをお願いいたします。令和５年度うるま市下水道事業損益計算書。当年度純利益は１億5,279万2,841円でございます。その他未処分利益剰余金変動額を加えた当年度未処分利益剰余金は２億8,565万2,638円となっております。

次に６ページ、７ページをお願いいたします。令和５年度うるま市下水道事業剰余金計算書。資本剰余金合計の当年度末残高は、４億3,732万3,974円となっております。次に、利益剰余金合計の当年度末残高は、２億8,565万2,638円となっております。

６ページの下段は、下水道事業剰余金処分計算書（案）でございます。当年度末残高の未処分利益剰余金２億8,565万2,638円のうち、減債積立金の積立へ１億5,279万2,841円、資本金への組入れへ１億3,285万9,797円としております。なお決算における利益の処分は、議会の議決を経て行う必要があり、議案第69号として提案してございます。

８ページをお願いいたします。令和５年度うるま市下水道事業貸借対照表。資産の部、資産合計は342億2,559万2,141円となっております。

９ページをお願いいたします。負債の部、負債合計は323億9,903万6,087円。

10ページ、資本の部、資本合計は18億2,655万6,054円で、負債資本合計は342億2,559万2,141円となっております。

なお、13ページ以降に決算附属書類及び決算審査意見書を添付してございます。御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　暫時休憩します。

休　憩（１１時１２分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時２６分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

次の説明者、財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　報告第11号について御説明いたします。

報告第11号　令和５年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第３条第１項及び第22条第１項の規定により、令和５年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率を監査委員の意見を付けて、別紙のとおり報告する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

１ページをお願いいたします。報告書の内容でございますが、１健全化判断比率について、実質赤字比率及び連結実質赤字比率はともに赤字ではありませんので該当いたしません。実質公債費比率は6.2％、将来負担比率につきましては、将来負担額を充当可能金額が上回ったことにより、当該比率がマイナスとなったため該当せず、いずれも早期健全化基準を下回っております。

２資金不足比率でございます。水道事業会計、下水道事業会計及び農業集落排水事業特別会計とも、資金不足は生じておりませんので該当いたしません。

なお、２ページ以降からは監査委員による審査意見書でございます。併せて御参照ください。

○議長（比嘉　直人）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　報告第12号につい

て御説明いたします。

報告第12号　放棄した債権の報告について（不当利得返還金）。

うるま市債権管理条例第13条第１項の規定により、別紙のとおり債権を放棄したので、同条第２項の規定によりこれを報告する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

次のページ、債権放棄報告書をお開きください。不当利得返還金として放棄した債権名は、若者就業支援プログラム給付金返還金、放棄額は50万円であります。債権を放棄するに至った経緯としては、令和４年度の若者就業支援プログラム事業において、当該プログラム給付金支給要綱第12条で定めた支給取消しに該当する事象が発生したため、支給取消し及び返還命令や裁判所へ申し立てを行い、債権回収の手続等を行ってきたが、債務者がうるま市債権管理条例第13条第１項第１号に該当するものであることから債権を放棄したものであります。

○議長（比嘉　直人）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　報告第13号、報告第14号の２件を続けて御説明いたします。

初めに、報告第13号について御説明いたします。報告第13号　放棄した債権の報告について（生活保護費返還金）。

うるま市債権管理条例第13条第１項の規定により、別紙のとおり債権を放棄したので、同条第２項の規定によりこれを報告する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

報告の内容としましては、生活保護法第63条に規定する生活保護費に係る返還金、債権について地方自治法第236条第１項に定める時効５年間が完成したことから債権を放棄したものでございます。

次のページの債権放棄報告書を御覧ください。放棄した債権の件数は59件で、債権放棄合計額は519万7,012円となっております。債権放棄年月日は令和６年３月29日、放棄根拠といたしましては、うるま市債権管理条例第13条第１項第４号、当該市の債権について消滅時効が完成したことによるものでございます。

続きまして、報告第14号について御説明いたします。

報告第14号　放棄した債権の報告について（介護給付費返納金）。

うるま市債権管理条例第13条第１項の規定により、別紙のとおり債権を放棄したので、同条第２項の規定によりこれを報告する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

報告の内容としましては、高額介護サービス費に係る返納金債権について、地方自治法第236条第１項に定める時効５年間が完成したことから債権を放棄したものでございます。

次のページの債権放棄報告書を御覧ください。

放棄した債権の件数は１件で、債権放棄合計額は２万6,715円となっております。債権放棄年月日は令和６年３月31日、放棄根拠といたしましては、うるま市債権管理条例第13条第１項第４号、当該市の債権について消滅時効が完成したことによるものでございます。

○議長（比嘉　直人）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　おはようございます。報告第15号と報告第16号について、続けて御説明いたします。

報告第15号　放棄した債権の報告について（児童扶養手当返還金）。

うるま市債権管理条例第13条第１項の規定により、別紙のとおり債権を放棄したので、同条第２項の規定によりこれを報告する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

次のページの債権放棄報告書を御覧ください。

放棄した債権の内容といたしましては、児童扶養手当返還金４件で224万8,900円でございます。債権放棄の根拠といたしましては、うるま市債権管理条例第13条第１項第４号、債権について消滅時効が完成したことによるものでございます。

続きまして報告第16号　放棄した債権の報告について（幼稚園保育料等）。

うるま市債権管理条例第13条第１項の規定により、別紙のとおり債権を放棄したので、同条第２

項の規定によりこれを報告する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

次のページの債権放棄報告書を御覧ください。放棄した債権の内容といたしましては、うるま市立幼稚園保育料39万4,650円であります。その内訳は保育料が10件、11万8,400円。預かり保育料が30件、27万6,250円となっております。債権放棄の根拠といたしましては、うるま市債権管理条例第13条第１項第４号、債権について消滅時効が完成したことによるものでございます。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　報告第17号及び報告第18号について御説明いたします。

報告第17号　放棄した債権の報告について（不当利得返還金）。

うるま市債権管理条例第13条第１項の規定により、別紙のとおり債権を放棄したので、同条第２項の規定によりこれを報告する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

報告の内容について御説明いたします。今回の不当利得返還金は、遡って社会保険等へ加入したことにより、うるま市の国民健康保険の資格を喪失したにもかかわらず、うるま市の国民健康保険被保険者証を使用して病院等を受診したことや労働者災害保険法の適用により医療費の返還が発生したもので、非強制徴収公債権となります。これまで返還請求を求めてまいりましたが、支払いがなされないまま地方自治法第236条第１項の定める５年の時効が完成したこと及び債務者が著しい生活困窮の状態にあり、資力の回復が困難であると認められることから債権を放棄するものであります。

次のページ、債権放棄報告書を御覧ください。

債権名、不当利得返還金、放棄する合計金額239万7,089円、内訳としましては療養費返納金分が165万7,718円、高額療養費分返納金が73万9,371円、債権放棄年月日、令和６年３月22日。放棄根拠としましては、うるま市債権管理条例第13条第１項第４号に規定する消滅時効が完成したとき及び同項第１号の資力の回復が困難であると認められるときによるものであります。また、件数としましては、レセプトベースで延べ157件となっております。

続きまして、報告第18号について御説明いたします。

報告第18号　放棄した債権の報告について（損害賠償請求金）。

うるま市債権管理条例第13条第１項の規定により、別紙のとおり債権を放棄したので、同条第２項の規定によりこれを報告する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

報告の内容について御説明いたします。今回の損害賠償請求金は第三者行為により、被害者にかかった医療給付費を加害者に請求したもので私債権となります。これまで返還請求を求めてまいりましたが、旧民法724条に定める３年の時効が完成したことから債権を放棄するものであります。

次のページ、債権放棄報告書を御覧ください。

債権名、損害賠償請求金、放棄する合計金額24万809円、債権放棄年月日、令和６年３月22日、放棄根拠としましては、うるま市債権管理条例第13条第１項第４号に規定する消滅時効が完成したときによるものであります。また、件数としましては２件となっております。

○議長（比嘉　直人）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　諮問第１号から諮問第５号は人権擁護委員候補者の推薦となりますので一括して、御説明いたします。

人権擁護委員候補者の推薦につきましては、人権擁護委員法第６条第３項により、市町村長が当該市町村の議会の議員の選挙権を有する住民の中から候補者を選び、当該議会の意見を聞いて、法務大臣に推薦しなければならないと規定されております。任期は３年で本市は13人の人権擁護委員数となっております。今回は任期満了に伴う再度推薦者３人及び退任に伴う新任者２人、合計５人を候補者として法務大臣へ推薦するものでございます。

それでは、諮問第１号をお願いいたします。

諮問第１号　人権擁護委員候補者の推薦につ

いて。

下記の者を人権擁護委員の候補者として推薦したいので、人権擁護委員法第６条第３項の規定により、議会の意見を求める。記、氏名　照屋フジ子。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　当該委員の任期満了に伴い、再度推薦する必要があり提案する。

続きまして、諮問第２号から諮問第５号につきましては、先ほど諮問第１号と同様の内容でございますので、諮問番号、諮問名、氏名、提案理由の説明とさせていただきます。

それでは、諮問第２号をお願いいたします。

諮問第２号　人権擁護委員候補者の推薦について。氏名　長堂純吉。

提案理由　当該委員の任期満了に伴い、再度推薦する必要があり提案する。

次に、諮問第３号をお願いいたします。

諮問第３号　人権擁護委員候補者の推薦について。氏名　佐久川長儀。

提案理由　当該委員の任期満了に伴い、再度推薦する必要があり提案する。

次に、諮問第４号をお願いいたします。

諮問第４号　人権擁護委員候補者の推薦について。氏名　目取真淳。

提案理由　人権擁護委員の退任に伴い、推薦する必要があり提案する。

次に、諮問第５号をお願いいたします。

諮問第５号　人権擁護委員候補者の推薦について。氏名　西新屋光男。

提案理由　人権擁護委員の退任に伴い、推薦する必要があり提案する。

各諮問とも履歴書を添付してございますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　議案第68号、議案第69号の２件を続けて御説明いたします。

初めに、議案第68号について御説明いたします。

議案第68号　令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について。

令和５年度うるま市水道事業会計決算に伴う未処分利益剰余金を別紙のうるま市水道事業剰余金処分計算書のとおり処分することについて、地方公営企業法第32条第２項の規定により議会の議決を求める。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　未処分利益剰余金の処分について、地方公営企業法第32条第２項の規定により、議会の議決を必要とするため提案する。

２ページをお願いいたします。令和５年度うるま市水道事業剰余金処分計算書。当年度末残高の未処分利益剰余金４億344万7,847円は、減債積立金へ２億6,492万4,891円の積立てと、資本金へ１億3,852万2,956円を組入れ会計処理したいので、御審議のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、議案第69号について御説明いたします。

議案第69号　令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について。

令和５年度うるま市下水道事業会計決算に伴う未処分利益剰余金を別紙のうるま市下水道事業剰余金処分計算書のとおり処分することについて、地方公営企業法第32条第２項の規定により議会の議決を求める。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　未処分利益剰余金の処分について、地方公営企業法第32条第２項の規定により、議会の議決を必要とするため提案する。

２ページをお願いいたします。令和５年度うるま市下水道事業剰余金処分計算書。当年度末残高の未処分利益剰余金２億8,565万2,638円は、減債積立金へ１億5,279万2,841円の積立てと、資本金へ１億3,285万9,797円を組入れ会計処理したいので、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　議案第70号について御説明いたします。

１ページをお願いいたします。議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）。

令和６年度うるま市の一般会計補正予算（第４号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第１条第１項　歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ26億916万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ782億1,449万7,000円とする。第２項　歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表　歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費）第２条　地方自治法第213条第１項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第２表　繰越明許費」による。

（債務負担行為の補正）第３条　債務負担行為の追加、変更及び廃止は、「第３表　債務負担行為補正」による。

（地方債の補正）第４条　地方債の追加及び変更は、「第４表　地方債補正」による。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

２ページをお願いいたします。第１表　歳入歳出予算補正。１歳入。１款市税２億4,213万円の補正減は、主に住民税の定額減税の実施に伴う減額でございます。

11款地方特例交付金４億7,780万7,000円の補正増は、本年度分の決定によるもので住民税の定額減税の影響を補塡するものでございます。

12款地方交付税２億70万円の補正減は、普通交付税の決定によるものでございます。

15款使用料及び手数料334万8,000円の補正増は、公立小規模保育所利用料の増額によるものでございます。

16款国庫支出金１億1,927万2,000円の補正増は、主に法人保育所運営費国庫負担金などの増額によるものでございます。

17款県支出金3,963万7,000円の補正増は、法人保育所運営費県負担金などの増額によるものでございます。

18款財産収入241万円の補正増は、土地売払収入及び物品売払収入によるものでございます。

20款繰入金3,318万7,000円の補正減は、主に工期の延長などにより翌年度において事業を行うため、補正減する事業に合わせ公共施設等総合管理基金繰入金などを減額するものでございます。

21款繰越金22億2,055万7,000円の補正増は、前年度の決算剰余金でございます。

22款諸収入１億2,374万5,000円の補正増は、主に新型コロナ定期接種ワクチン確保事業助成金などの増額によるものでございます。

23款市債9,840万5,000円の補正増は、主に道路整備事業債などの増額によるものでございます。

３ページをお願いいたします。２歳出。１款議会費43万5,000円の補正増は、主にバス借上料など議会管理費の増額によるものでございます。

２款総務費18億4,784万4,000円の補正増は、主に財政調整基金費や公共施設等総合管理基金費への積立金の増額によるものでございます。

３款民生費４億3,649万円の補正増は、主に障害児通所支援給付事業や法人保育所運営費などの増額によるものでございます。

４款衛生費6,006万2,000円の補正増は、主に予防接種事業、新型コロナウイルスワクチン接種委託料の増額などによるものでございます。

６款農林水産業費6,862万9,000円の補正減は、主に農業基盤整備促進事業などの減額によるものでございます。

７款商工費6,704万5,000円の補正増は、主にうるま特別感動体験創造事業や産業基盤整備推進事業（仲嶺・上江洲地区）などの増額によるものでございます。

８款土木費１億5,930万2,000円の補正増は、主に与那城39号線道路整備事業などの増額によるものでございます。

９款消防費999万9,000円の補正減は、主に防火衣購入事業などの減額によるものでございます。

10款教育費5,690万1,000円の補正増は、主に新石川調理場整備運営事業や中学校施設修繕費などの増額によるものでございます。

11款災害復旧費971万3,000円の補正増は宮城西地区農道3040号災害復旧事業の増額によるものでございます。

14款予備費5,000万円の補正増は、今後台風などの新たな災害に対する緊急対応分として増額するものでございます。

４ページ、５ページをお願いいたします。第２表　繰越明許費は、新規事業２件。第３表　債務負担行為補正は、庁舎西棟外壁タイル及び屋上防水改修事業ほか８件の追加。中学校ＬＥＤ化事業１件の変更及び戸籍住民基本台帳管理費１件を廃止するものでございます。

６ページをお願いいたします。第４表　地方債補正は、文化施設整備事業債ほか１件の事業債の追加と庁舎整備事業債ほか７事業債の限度額を変更するものでございます。

なお、７ページ以降に予算説明書として事項別明細書等を添付してございますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　議案第71号、議案第72号の２件を続けて御説明いたします。

初めに、議案第71号について御説明いたします。

１ページをお願いいたします。議案第71号　令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）。

初めに、第２条は収益的支出の予定額の補正でございます。

支出、第１款水道事業費1,576万6,000円の補正増は、主に給料、手当などの人件費の増額によるものでございます。

第３条は、資本的収入額が、資本的支出額に対し不足する額及びその補填財源の内訳を改め記載し、資本的支出の予定額の補正でございます。

支出、第１款資本的支出626万円の補正増は、給料、手当などの人件費と庁舎工事費、空調設備取替え工事の増額によるものでございます。

２ページをお願いいたします。第４条は、経費の金額の補正で、（１）職員給与費2,052万6,000円の補正増でございます。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

なお、３ページ以降に予算に関する説明書を添付してございます。御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、議案第72号について御説明いたします。

１ページをお願いいたします。議案第72号　令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）。

初めに、第２条は、業務の予定量の補正でございます。（４）主要な建設改良事業、終末処理場改築更新等1,900万円の補正増でございます。

第３条は、収益的収入及び支出の予定額の補正でございます。収入、第１款下水道事業収益275万1,000円の補正増は、人件費や維持管理費など分流式下水道等に要する経費の増に伴う一般会計からの繰入金の増額によるものでございます。

支出、第１款下水道事業費用は2,690万7,000円の補正増は、主に給料、手当などの人件費の増額と下水道施設の維持管理費の増額によるものでございます。第４項予備費の補正増につきましては、令和６年６月の大雨により、屋慶名第２雨水幹線において、水路側壁の倒壊及び土砂崩れが発生したことにより、雨水幹線の一部が埋まり応急工事として土砂の撤去工事等に予備費を使用したことから今後の緊急的な支出に対応するため、500万円を増額補正するものでございます。

第４条は、資本的収入額が資本的支出額に対し、不足する額の補塡財源の内訳を改め記載し、資本的収入及び支出の予定額の補正でございます。

収入、第１款資本的収入2,243万円の補正増は、人件費に対する一般会計からの繰入金と石川終末処理場、し尿処理施設更新工事の実施設計に係る工事負担金の補正によるものでございます。

支出、第１款資本的支出3,098万円の補正増は、給料、手当などの人件費の増額と処理場及びポンプ場の施設整備に係る経費の増額によるものでございます。第６項予備費の補正増につきましては、収益的支出の予備費の補正で説明いたしました屋慶名第２雨水幹線の速やかな本復旧工事に向けた災害復旧調査測量設計業務を実施するため、予備費を使用したことから、今後の緊急的な支出に対応するため655万円を増額補正するものでござい

ます。

２ページをお願いいたします。第５条は、特例的収入及び支出の補正でございます。農業集落排水事業特別会計の公営企業会計移行に伴う打ち切り決算による令和６年３月末時点における未収金及び未払い金の金額が確定したので補正を行うものでございます。

第６条は、債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額の補正で石川終末処理場及び中継ポンプ場維持管理業務委託ほか１件の追加でございます。

第７条は、経費の金額の補正で、（１）職員給与費648万7,000円の補正増でございます。

第８条は、他会計からの補助金の補正でございます。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

なお、３ページ以降に予算に関する説明書を添付してございます。御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　午前の日程をこの程度にとどめ、午後１時30分より会議を開きます。

暫時休憩します。

休　憩（１２時０２分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時２９分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

執行部より発言の申出がありますので、これを許可します。防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　皆様に石川地区でおきました停電の件につきまして、御報告いたします。

現在、午前中の10時40分頃から石川一丁目付近の430戸の停電が発生しておりまして、その停電に伴いまして、近くにある宮森小学校も停電しているということで、空調設備が使えない。クーラーが使えないということで、宮森小学校におきましては給食の時間を繰上げまして、午前の日程にとどめて、午後は下校しているということで伺っております。さらに熱中症などが懸念されますので、介護施設や学童また一人暮らしの御高齢の方にも連絡をするようにということで、今全庁を挙げて皆で連絡体制を取りまして、注意喚起をしているところでございます。この原因につきましては、石川地区の電力に問合わせたところ、飛来物が高圧線に接触したものであるということであります。全面復旧の見込みにつきましては、13時30分頃をめどにしているということでございますが、まだ全面復旧したという情報の確認は取れておりません。ということで、今市の防災対策本部におきましても各部署の連携をいたしまして、この地域の猛暑が続く中の注意喚起を行っているところでございます。

○議長（比嘉　直人）　再び提出者の説明を求めます。福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　議案第73号　令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）について御説明いたします。

１ページをお願いいたします。令和６年度うるま市の介護保険特別会計補正予算（第２号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第１条第１項　歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ４億4,036万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ121億1,473万7,000円とする。第２項歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表　歳入歳出予算補正」による。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

２ページをお願いいたします。第１表　歳入歳出予算補正について。歳入について御説明いたします。

３款の国庫支出金９万8,000円は、一般介護予防事業費の増額補正に伴うものです。４款の県支出金1,459万6,000円の増額補正、５款の支払基金交付金1,168万2,000円の増額補正につきましては、主として令和５年度事業費確定と一般介護予防事業費の増額補正に伴うものであります。

８款の繰入金は、3,571万3,000円の増額補正となっております。こちらは主として１項の低所得者保険料軽減繰入金4,026万2,000円の減額と２項

の基金繰入金6,881万8,000円の増額に伴うものとなっております。

９款の繰越金３億7,827万9,000円の増額補正は、令和５年度決算剰余金に伴うものであります。

３ページをお願いいたします。歳出について御説明いたします。１款の総務費185万3,000円の増額補正は、主として会計年度任用職員報酬の増額に伴うものであります。

５款の地域支援事業費39万7,000円の増額補正は、介護予防教室謝礼金の増額に伴うものであります。

６款の基金積立金４億2,591万6,000円の増額補正は、主として令和５年度決算剰余金の介護保険給付費等準備基金への積立てに伴うものであります。

８款の諸支出金1,220万2,000円の増額補正は、令和５年度事業費確定等による償還金1,626万円の減額補正及び一般会計繰出金2,846万2,000円の増額に伴うものであります。

なお、説明書として事項別明細書等を添付してございますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　議案第74号及び議案第75号について御説明いたします。

議案第74号　令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）。

令和６年度うるま市の国民健康保険特別会計補正予算（第２号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第１条第１項　歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,654万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ160億9,542万円とする。第２項　歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表　歳入歳出予算補正」による。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

２ページをお開きください。第１表　歳入歳出予算補正について御説明いたします。

１歳入であります。５款国庫支出金は110万円の補正増であります。内容としましては、マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けた被保険者に対する加入者情報の通知にかかる費用に対する補助金となっております。

10款繰入金は、２億4,261万円の補正減であります。内容としましては、一般会計からの職員給与費等繰入金が344万3,000円の増額及び令和５年度の国民健康保険特別会計決算剰余金の処理に伴い、国民健康保険財政調整基金からの繰入金を２億4,605万3,000円減額しております。

11款繰越金は、３億805万2,000円の補正増であります。内容としましては、令和５年度の国民健康保険特別会計の決算で生じた剰余金でございます。

次に、３ページを御覧ください。２歳出であります。１款総務費は300万3,000円の補正増であります。内容としましては、１項総務管理費で公用車の一元管理に伴い、燃料費等を53万8,000円減額。郵便料金の改定に伴い、通信運搬費を130万3,000円増額しております。また、２項の徴税費及び４項の特別対策事業費においても、郵便料金の改定に伴い、通信運搬費を合わせて223万8,000円を増額しております。

６款保健事業費は、154万円の補正増であります。内容としましては、１項保健事業費で会計年度任用職員の報酬及び職員手当で68万6,000円の増額。郵便料金の改定に伴い、通信運搬費で85万4,000円の増額となっております

７款基金積立金は、6,199万9,000円の補正増であります。基金積立てにつきましては、令和５年度の国民健康保険特別会計決算の剰余金の処理の一環として行うものであり、１項基金積立金に6,199万9,000円を計上し、当初予算での費目存置分1,000円と合わせて6,200万円を積み立てる予定としております。

なお、事項別明細書につきましては、５ページ以降に掲載しておりますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

続きまして、議案第75号について御説明いたします。

議案第75号　令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）。

令和６年度うるま市の後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）第１条第１項　歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ897万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ14億8,342万8,000円とする。第２項　歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表　歳入歳出予算補正」による。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

２ページをお開きください。第１表　歳入歳出予算補正について御説明いたします。１歳入であります。４款繰入金は、384万5,000円の補正増であります。内容としましては、一般会計からの事務費繰入金となっております。５款繰越金は、513万4,000円の補正増であります。内容としましては、令和５年度の決算で生じた決算剰余金であります。

３ページをお願いいたします。２歳出であります。１款総務費は、384万5,000円の補正増であります。内容としましては、１項総務管理費で会計年度任用職員の報酬を201万円減額し、再任用職員の給料や職員手当等で550万9,000円増額しております。また、２項徴収費で郵便料金の改定に伴い、通信運搬費を34万6,000円増額しております。２款後期高齢者医療広域連合納付金は、328万3,000円の補正増であります。内容としましては、前年度収納された保険料の納付金であります。

３款諸支出金は、185万1,000円の補正増であります。内容としましては、一般会計への繰出金であります。

なお、事項別明細書につきましては、５ページ以降に掲載しておりますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　議案第76号について御説明いたします。

議案第76号　訴えの提起について（土地明渡請求事件）。

次のように土地明渡請求事件の訴えの提起をすることについて、地方自治法第96条第１項第12号の規定により議会の議決を求める。

１事件名、土地明渡請求事件。２事件の概要、（１）被告アは、３ページ、別紙物件目録記載の①及び②の土地を不法に占有しており、再三にわたる明渡しの催告にも応じない状況でございます。（２）被告イは、隣接する土地の所有者から②及び③の土地を含めて土地を購入したと主張するとともに、仮に②及び③の土地が前所有者の土地でなかったとしても、前所有者が20年以上占有しているとして、時効取得も主張しているところでございます。（３）そこで、本市は、被告ア及び被告イに対し、物件目録記載の①②③の土地の所有権に基づき土地明渡請求訴訟を提起するものでございます。３当事者、（１）原告うるま市みどり町一丁目１番１号、うるま市、代表者中村正人。（２）被告ア、イの２人。４請求の趣旨、（１）被告アは、原告に対し、別紙物件目録記載①及び②の各土地を明け渡せ。（２）被告イは、原告に対し、別紙物件目録記載②及び③の各土地を明け渡せ。（３）訴訟費用は被告の負担とする。５訴訟遂行の方針、必要がある場合は、訴えの取下げをし、上訴し、又は和解するものとする。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　土地明渡請求事件について、訴えを提起するには、地方自治法第96条第１項第12号の規定により議会の議決を必要とするため提案する。

３ページは物件目録でございます。御審議のほどお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　消防長。

○消防長（新垣　隆）　議案第77号について御説明いたします。

議案第77号　車両事故に係る和解をすることについて。

次のように、和解することについて、地方自治法第96条第１項第12号の規定により議会の議決を求める。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　車両事故について、相手方と和解をするため、地方自治法第96条第１項第12号の規定により議会の議決を必要とするため提案する。

事故の状況から御説明いたします。３ページの消防機械器具等事故報告書を御参照ください。事故は、令和６年５月14日12時頃、急病人発生の救急要請があり、具志川消防署配備の救急車が要請者宅前市道の路肩に赤色灯とハザードランプを点灯させ停車し、車外での救急活動中のため、無人となった救急車の後部に原付バイクが追突し、その運転手が転倒して負傷したものでございます。当該事故により救急車に設置のストレッチャー架台の一部が破損したため、救急搬送が困難となり、応援で到着した救急車２台で急病人と原付バイクの負傷者、それぞれを近隣病院へ搬送しております。このことにより、２ページの示談書に記載のありますとおり、当事者乙の保険契約に基づき本市に458万5,900円が支払われ、架台取替えによる修繕を完了しております。なお、当該事故により救急車本体には損傷はございませんでした。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　議案第78号について御説明いたします。

議案第78号　沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾について。

道路法第８条第４項の規定により、次のとおり沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾をしたいので、議会の議決を求める。

承諾範囲は、起点江洲2172番から終点江洲2172番まで。幅員8.9メートルから10.6メートル。延長190.1メートルの区間であります。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　沖縄市において、うるま市区域を含めた路線認定を行うにあたり市の承諾を得る必要があるため提案する。

次のページに位置図を添付しております。江洲土地区画整理事業と美里第二区画整理事業の境界にある県道について、沖縄市へ移管することが決定していることから提案するものであります。

○議長（比嘉　直人）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　議案第79号について御説明いたします。

議案第79号　物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）。

次のように物品売買契約を締結したいので、地方自治法第96条第１項第８号の規定により議会の議決を求める。

１契約の目的　小中学校教育系基幹ネットワークスイッチの更改。２物品の数量　基幹レイヤ３スイッチ26台。３契約の方法　制限付き一般競争入札。４契約金額　1,320万円。５契約の相手方、住所、沖縄県那覇市字安謝638番地、商号、株式会社興洋電子、代表者、代表取締役　多良間洋二。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務における物品売買契約については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第３条の規定により議会の議決を必要とするため提案する。

２ページに物品売買仮契約書。３ページに合意締結証明書を添付してございます。

業務の概要について御説明いたします。この業務はうるま市立小学校において、教職員が使用する教育系ネットワークの情報通信に中心的な役割を担っている機器の更新となります。この機器に故障等の不具合が発生した場合、学校内の教育系ネットワーク全体が使用できなくなり、その影響は大きく設置から既に８年が経過し、老朽化していることから計画的に更新するものです。事業者の選定につきましては、令和６年８月５日に制限付き一般競争入札を執り行い、株式会社興洋電子が落札しています。本件では電子契約による契約締結が行われたことから、仮契約書では発注者及び発注者の押印が省略されているほか、印紙が不要となっております。

３ページには、契約締結を明らかにする書面として電子契約システムから発行されます合意締結証明書を添付しています。併せて、御参照ください。御審議のほどお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　議案第80号、議案第81号の２件を御説明いたします。

まず初めに、議案第80号について御説明いたします。

議案第80号　うるま市税条例の一部を改正する条例。

うるま市税条例の一部を次のように改正する。

今回の主な改正内容といたしまして、２点ございます。

１点目は、地方税法の改正による字句及び附則条文の削除でございます。地方税法の改正により、公益信託の信託財産とするために支出した金銭が正式に特定寄附金として扱われることに伴い、市条例における「若しくは金銭」の字句を削除し、寄附金と明確に規定する改正でございます。また、税務申告の簡素化などの観点から、地方税法と市税条例との規定の重複を許容する見直しが行われたことから、類似条文であります市税条例附則第４条の２の規定を削除するものでございます。

２点目の改正の主なものは、私立学校法の改正に伴って生じた私立学校等の固定資産税の非課税に関するうるま市税条例の引用条文の条ずれを解消するための改正でございます。

附則においては、施行期日をそれぞれ定めてございます。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、当該条例を改正する必要があり提案する。

参考資料としまして、新旧対照表と概要説明書をタブレットのほうに配信してございます。御参照の上、御審議のほどお願いいたします。

続きまして、議案第81号について御説明いたします。

議案第81号　アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例。

アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を次のように改正する。

今回の主な改正内容といたしましては、地方税法の改正に伴って生じた当該条例の引用条文の条ずれを解消するための改正及び字句の修正でございます。

内容は、アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車税の徴収方法を定める根拠となる地方税法の引用条文の条ずれを解消するための改正です。また、証紙徴収の手続を定める第３条第２項では「押印」の表記を「納税済の検印」と改め、より具体的な表現とするものでございます。この条例は、公布の日から施行する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　地方税法の改正等に伴い、当該条例を改正する必要があり提案する。

なお、参考資料といたしまして、新旧対照表と概要説明書をタブレットに配信してございます。御参照の上、御審議のほどお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　議案第82号について御説明いたします。

議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例。

うるま市都市公園条例の一部を次のように改正する。

今回の改正は、公園施設の設置基準及び管理の見直しに伴い改正するものであります。

改正内容につきましては、主に４点ございます。１点目、公園の敷地面積に対する公園施設の建築面積の割合、いわゆる建蔽率は現行で２％と定めておりますが、自治会等が集会所を設置する公園については、さらに２％を上乗せすることができるよう追加するものであります。

２点目、公園内に設置している自動販売機を公園施設として取扱い、公園施設使用料を徴収するため、別表第２に自動販売機に係る使用料を追加するものであります。

３点目、ＰＦＩ事業またはＰａｒｋ－ＰＦＩ事業による公園を設置、管理または運営する場合、幅広く民間のノウハウを導入する観点から公園使

用料を事業者からの提案とすることができるよう追加するものであります。

４点目は、都市公園以外の公園は新たに制定する、うるま市都市公園以外の公園に関する条例に規定するため、第18条の２は削除するものであります。

また、４ページの附則では施行期日及び経過措置について規定をしております。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　都市公園の設置基準及び管理の見直しに伴い、当該条例を改正する必要があり提案する。

以上、配信しております関係資料についても御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　議案第83号について御説明いたします。

議案第83号　うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例。

今回の改正は、国のデジタル原則に照らした規制の一括見直しプランにおいて、書面掲示、目視などを義務づけるアナログ規制については点検見直しをすることとされ、内閣府令、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準において、施設の重要事項の書面掲示の義務づけを見直し、書面掲示に加え、インターネットを利用して公衆の閲覧に供しなければならないこととする改正と併せて、磁気ディスク及びＣＤ－ＲＯＭ等の使用による記録の交付を定めた規定について、媒体の種類を示さない形の電磁的記録媒体に改め、文言の適正化を図ることとする改正が行われたことに伴い、当該条例を改正する必要があり提案するものです。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴い、当該条例を改正する必要があり提案する。以上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　議案第84号について御説明いたします。

議案第84号　うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例。

今回の改正は、児童福祉法等の一部を改正する法律が令和６年４月から施行され、障害児通所支援において、肢体不自由のある児童を支援対象とした医療型児童発達支援が、児童発達支援に一元化されたことによるものであります。

改正の内容といたしまして、改正後の児童福祉法において、医療型児童発達支援を定めた条項が削られ、それ以降の条項が１つずつ繰り上がっております。それに伴い、本条例において改める内容となっております。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　児童福祉法の改正に伴い、当該条例を改正する必要があり提案する。以上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　議案第85号について御説明いたします。

議案第85号　うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例。

うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を次のように改正する。

今回の改正は、うるま市スポーツ推進審議会委員の報酬額について、これまで学識経験者の定めがなかったことから、当該条例別表中「スポーツ推進審議会委員」の欄を「学識経験者」と「その他」で区分し、報酬額を「学識経験者　日額１万円」、「その他　日額4,000円」として改める内容となっております。

附則、この条例は、公布の日から施行する。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　スポーツ推進審議会委員の報酬の額

を見直すため、当該条例を改正する必要があり提案する。

新旧対照表と概要説明資料をタブレットへ配信しておりますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　議案第86号うるま市都市公園以外の公園に関する条例について御説明いたします。

議案第86号　うるま市都市公園以外の公園に関する条例。

今回、提案いたしますうるま市都市公園以外の公園に関する条例については、これまでうるま市都市公園条例に規定されておりました都市公園以外の公園に係る管理運営等を適正に行うため、新たに条例制定するものでございます。都市公園以外の公園については、うるま市都市公園条例第18条の２において、条例の一部を準用することで管理を規定しておりましたが、都市公園以外の公園は都市公園法に基づいたものではなく、都市公園条例で管理を規定することが難しい状況もあることから、今回、うるま市都市公園条例の改正に併せ、独立したうるま市都市公園以外の公園に関する条例案を提案するものでございます。

なお、条例案の内容については、これまでどおりの公園管理が行われるよう、うるま市都市公園条例の内容を基本に管理規定を定めております。

また、使用料等についてもうるま市都市公園条例の使用料と同様としております。さらにこれまで準用している項目にはなかった指定管理についてもこの規定を加え、指定管理者制度の活用が可能となる条例となっております。

附則については、施行期日及び経過措置を規定しております。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　うるま市都市公園条例の改正に伴い、都市公園以外の公園の適正な管理を図るため、当該条例を制定する必要があり提案する。

なお、議案第86号の概要資料等については、タブレットのほうに配信してありますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　議案第87号について御説明いたします。

議案第87号　うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例。

うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例は、廃止する。

今回、提案しておりますうるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例につきましては、医療機関等の利用者が負担する一部負担金について、自己の資金のみでは支払いが困難な被保険者に対して行っている基金からの高額療養費相当額の貸付を、本市が直接医療機関等に対して高額療養費を支払う受領委任払いへ見直すことから基金が不要となるため、当該基金条例を廃止するものであります。当該事務の見直しは事務改善を目的としたもので、基金の廃止により被保険者に不利益等が生じることはございません。

附則については、廃止条例の施行期日及び積み立てられている基金は国民健康保険特別会計に繰り入れることを規定してございます。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　国民健康保険高額療養費支給事務の見直しに伴い、当該条例を廃止する必要があり提案する。

なお、提案内容の詳細については参考資料を配信してございますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　議案第88号について御説明いたします。

議案第88号　訴えの提起について（建物明渡等請求事件）。

次のように訴えの提起をすることについて、地方自治法第96条第１項第12号の規定により、議会の議決を求める。

１事件名、建物明渡等請求事件。２事件の概要、市営住宅の家賃を長期間にわたって滞納している別紙記載の入居者に対して、家賃を納入するよう

請求し、履行誓約を交わしたが、当該入居者が再三にわたり不履行を繰り返していることから、裁判所に提訴するものである。３当事者、（１）原告、うるま市みどり町一丁目１番１号、うるま市代表者、うるま市長　中村正人。（２）被告、別紙のとおり。４請求の趣旨、（１）被告らは、原告に対し、被告らの入居している市営住宅を明け渡すこと。（２）被告らは、原告に対し、被告らの入居している市営住宅を明け渡すべき日までの家賃で未納のもの及び明け渡すべき日の翌日から明け渡しの日までの期間について、住宅の家賃の２倍に相当する額の損害賠償金を支払うこと。（３）訴訟費用は、被告らの負担とする。５訴訟遂行の方針、必要がある場合は、上訴し、又は和解するものとする。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　建物明渡等請求について訴えを提起するには、地方自治法第96条第１項第12号の規定により議会の議決を必要とするため提案する。

次のページに別紙当事者目録を添付してございます。以上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　議案第89号について御説明いたします。

議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例。

うるま市国民健康保険条例の一部を次のように改正する。

今回、提案しておりますうるま市国民健康保険条例の一部改正につきましては、令和５年に公布されました行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律により、令和６年12月２日から被保険者証が廃止されることに伴い、国民健康保険法に基づき、罰則規定を設けている当該条例第９条から「被保険者証の返還を求められて、これに応じない場合」を削る必要があり改正しております。なお、併せて「過料に」を「過料を」に改める字句の整理を行っております。

附則については、改正条例の施行期日及び経過措置を規定しております。

令和６年９月３日提出、うるま市長　中村正人。

提案理由　行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行等に伴い、当該条例を改正する必要があり提案する。

なお、改正内容の詳細につきましては、参考資料を配信しておりますので、御参照の上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（比嘉　直人）　以上で提出者の説明は終わりました。

休憩します。

休　憩（１４時１１分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時１３分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

招集告示日の前日までに受理した請願及び陳情は請願が２件、陳情が８件です。そのうち請願１件、陳情１件については、その後提出者より撤回の申出がありましたので、これを承認しております。これを受け、先日の議会運営委員会における請願及び陳情の取扱いについての協議を踏まえた結果、お手元に配付してあります請願・陳情付託一覧表のとおり所管の常任委員会へ付託いたします。

請願・陳情付託一覧表

◎　総務委員会

ｏ陳情第31号　所得税法第56条の廃止を求める陳情

◎　建設委員会
　o請願第９号　生活道路の整備に関する請願

◎　教育福祉委員会
　o陳情第28号　乳幼児の「命と健康を守る」為の寄り添い支援体制についてに関する陳情

◎　市民経済委員会
　o陳情第29号　県産品の優先使用について（要請）
　o陳情第30号　違法駐車対策に関する陳情
　o陳情第32号　子どもの医療費自己負担設定で評価する保険者努力支援制度の見直しと国庫負担の増額で国保財政の改善を求める陳情書

◎　配付
　o母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情
　（うるま市議会における請願書及び陳情書の取扱い規程第４条第３項第10号の規定による議員配付）
　o県民大会の開催を求める陳情
　（うるま市議会における請願書及び陳情書の取扱い規程第４条第３項第10号の規定による議員配付）

以上で本日の日程は終了しました。
９月４日から６日までの３日間は議案研究及び事務整理のため、休会となっております。
次回は、９月９日月曜日午前10時から会議を開きます。
本日は、これで散会します。
散　会（１４時１４分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

議　　長　　比　嘉　直　人

２５番議員　　大　城　　直

２７番議員　　佐久田　　悟

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（２日目）

◎　令和６年９月９日（月）　　（１０時００分　開議）

◎　出席議員（27名）

１番	真栄城　　隆　議員	15番	伊　礼　　正　議員
２番	高　屋　　優　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	17番	仲　程　　孝　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	19番	下　門　　勝　議員
６番	国　吉　　亮　議員	20番	天　願　久　史　議員
７番	伊　波　良　明　議員	23番	比　嘉　直　人　議員
８番	神　田　洋　一　議員	24番	國　場　正　剛　議員
９番	平　良　一　雄　議員	25番	大　城　　直　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	27番	佐久田　　悟　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	28番	兼　本　光　治　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	29番	藏　根　　武　議員
13番	玉　城　政　哉　議員	30番	伊　波　　洋　議員
14番	池宮城　善　伸　議員		

◎　欠席議員（なし）

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	防災広報対策部長	大　田　義　浩
副　市　長	佐久川　　篤	福　祉　部　長	幸　地　美　和
教　育　長	嘉手苅　弘　美	こども未来部長	上　原　利恵子
総　務　部　長	山入端　立　也	市民生活部長	松　岡　秀　光
企　画　部　長	金　城　和　明	市民生活部参事	古　謝　哲　也
財　務　部　長	島　袋　史　朗	経済産業部長	岸　本　　力

農林水産部長	座喜味　達　也	社会教育部参事	兼　城　哲　夫
都市建設部長	名嘉眞　　睦	学校教育部長	大　里　元　児
水　道　部　長	座間味　　修	総務政策課長	諸見里　直　樹
社会教育部長	川　端　　登		

◎　事務局出席者

議会事務局長	知　念　義　浩	調査広報係長	伊　禮　君　人
議　事　課　長	石　川　秀　吉	議事係主査	伊　藤　　靖
議　事　係　長	森　根　元　気	調査広報係 主任主事	山　城　　太

◎　議事日程第２号

第１．会議録署名議員の指名
第２．認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について
第３．認定第２号　令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
第４．認定第３号　令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
第５．認定第４号　令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
第６．認定第５号　令和５年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
第７．認定第６号　令和５年度うるま市水道事業会計決算認定について
第８．認定第７号　令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定について
第９．報告第11号　令和５年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
第10．報告第12号　放棄した債権の報告について（不当利得返還金）
第11．報告第13号　放棄した債権の報告について（生活保護費返還金）
第12．報告第14号　放棄した債権の報告について（介護給付費返納金）
第13．報告第15号　放棄した債権の報告について（児童扶養手当返還金）
第14．報告第16号　放棄した債権の報告について（幼稚園保育料等）
第15．報告第17号　放棄した債権の報告について（不当利得返還金）
第16．報告第18号　放棄した債権の報告について（損害賠償請求金）
第17．諮問第１号　人権擁護委員候補者の推薦について
第18．諮問第２号　人権擁護委員候補者の推薦について
第19．諮問第３号　人権擁護委員候補者の推薦について
第20．諮問第４号　人権擁護委員候補者の推薦について
第21．諮問第５号　人権擁護委員候補者の推薦について
第22．議案第68号　令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
第23．議案第69号　令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
第24．議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）
第25．議案第71号　令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）
第26．議案第72号　令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）
第27．議案第73号　令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）
第28．議案第74号　令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
第29．議案第75号　令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
第30．議案第76号　訴えの提起について（土地明渡請求事件）
第31．議案第77号　車両事故に係る和解をすることについて
第32．議案第78号　沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾について
第33．議案第79号　物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）
第34．議案第80号　うるま市税条例の一部を改正する条例
第35．議案第81号　アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例
第36．議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例

第37．議案第83号　うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第38．議案第84号　うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例
第39．議案第85号　うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
第40．議案第86号　うるま市都市公園以外の公園に関する条例
第41．議案第87号　うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例
第42．議案第88号　訴えの提起について（建物明渡等請求事件）
第43．議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例

◎　会議に付した事件
議事日程に同じ

○議長（比嘉　直人）　これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第２号のとおりです。

日程第１．会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、兼本光治議員、藏根武議員を指名します。

休憩します。

休　憩（１０時０１分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時０２分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

日程第２．認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので、順次発言を許します。仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　皆さん、おはようございます。それでは議長の許可を得ましたので、認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について、歳入で３点、歳出で３点質疑をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず初めに、27ページ、14款１項３目土木費負担金であります。3,017万4,000円についてです。令和４年度決算額が955万7,000円でしたので、それと比較すると大幅に増額しておりますので、その要因をお聞かせ願いたいと思います。

続きまして、71ページから72ページ、17款３項６目教育費県委託金、備考欄（２）であります。地域スポーツクラブ体制整備事業34万5,000円について事業の実績を確認したいと思います。よろしくお願いいたします。

３点目、93ページから94ページ、22款４項７目雑入における教育費、備考欄（25）ふるさとゆかりの偉人マンガの製作と活用事業助成金300万円の内容を伺いたいと思います。どこからの助成金なのか決算書では分かりませんので、どこからの助成金でどのように活用するのか詳細をお聞きしたいと思います。

次は、歳出に移って行きます。147ページから148ページ、２款１項18目防災対策費、備考欄８でありますが、津堅島緊急防災ヘリポート整備事業897万6,390円、事業の委託先と令和５年度での実績を伺いたいと思います。

続きまして、361ページから362ページ、10款１項２目事務局費の備考欄20、小中学校水泳プール集約化事業について、368万5,000円について事業の委託先と内容についてお聞かせください。

最後６点目であります。401ページから402ページ、10款５項５目文化財保護費、備考欄６、伝統文化・民俗芸能伝承活動事業422万340円、事業の

内容と補助を行った対象団体をお聞きしたいと思います。以上６点、よろしくお願いいたします。
○議長（比嘉　直人）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　おはようございます。仲程孝議員の御質疑にお答えいたします。
歳入27ページ、14款１項３目土木費負担金のうち道路橋梁費負担金について。令和４年度決算額に比較し、令和５年度決算額が増額となっている要因を御説明いたします。
まず、当該負担金は川崎ルーシー河線道路改良事業に係るルーシー河橋架け替え工事に伴い、川崎川を管理する沖縄県による負担金でございます。令和４年度につきましては、一部工事費等の前払金に関する負担金のみでしたが、令和５年度分は精算払い及び残る工事の前払金負担金を合わせたことによる増額となっております。
○議長（比嘉　直人）　学校教育部長。
○学校教育部長（大里　元児）　おはようございます。仲程孝議員の御質疑にお答えいたします。
歳入71ページから72ページ、17款３項６目教育費県委託金、備考欄（２）地域スポーツクラブ体制整備事業34万5,000円についての事業実績についてお答えいたします。
本事業は、中学校の運動部活動の地域移行に向けた実証事業となっております。実績としまして、高江洲中学校の硬式テニス部１部活動を地域クラブ活動として実施いたしました。
○議長（比嘉　直人）　社会教育部長。
○社会教育部長（川端　登）　仲程孝議員の質疑にお答えいたします。
歳入93ページから94ページ、22款４項７目８節教育費、備考欄（25）ふるさとゆかりの偉人マンガの製作と活用事業助成金300万円についてお答えいたします。
本助成金は、公益財団法人Ｂ＆Ｇ財団からの助成金であります。その助成金を活用し、本市出身でハワイに移民していた安慶名良信氏を中心とした７人が約30日間の困難な航海を経て、550頭の豚を沖縄に送り届け、太平洋戦争で荒廃した沖縄の復興に食料面で貢献した史実を題材とした漫画を製作しました。漫画は1,500部製作し、市内の小・中学校や市立図書館に配布しており、多くの方に読んでいただくことで、この史実を継承していきたいと考えております。この漫画を活用した小・中学校の総合的な学習での取組や資料館において企画展を開催する予定となっております。また、本市が製作した漫画については、公益財団法人Ｂ＆Ｇ財団のホームページにおいて公開されており、ウェブ上で無料で読むことができます。
○議長（比嘉　直人）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　おはようございます。仲程孝議員の御質疑にお答えいたします。
歳出147ページから148ページ、２款１項18目、備考欄８、津堅島緊急防災ヘリポート整備事業の決算額897万6,390円のうち880万円につきましては、ヘリポート整備に関するコンサルティング等を手がけるエアロファシリティー株式会社に対する基本計画策定業務委託料の支払い分となっております。また、同基本計画の実績といたしましては、ヘリポート施設整備に向けた条件の整理や場所の選定、施設設備などの整備計画及び事業スケジュールなどの事業計画策定などとなっております。
○議長（比嘉　直人）　社会教育部参事。
○社会教育部参事（兼城　哲夫）　おはようございます。仲程孝議員の御質疑、歳出361ページから362ページ、10款１項２目、備考欄20、小中学校水泳プール集約化事業について御説明いたします。
同事業の委託先につきましては、日本工営都市空間株式会社沖縄支店となっております。事業内容としましては、老朽化の進む学校プールに関し、良質な水泳授業の環境を整え、学校職員の負担軽減、ライフサイクルコスト削減など、効率的・効果的な学校プールの在り方の検討に向け、現状把握・分析を行い、課題整理の基礎調査を実施した事業となっております。
○議長（比嘉　直人）　社会教育部長。
○社会教育部長（川端　登）　歳出401ページか

ら402ページ、10款５項５目文化財保護費、備考欄６、伝統文化・民俗芸能伝承活動事業についてお答えいたします。

本事業は、伝統文化や民俗芸能の保存と継承を目的に、伝統芸能保存団体等に用具の購入や修繕、発表する際の経費を補助する事業であります。令和５年度は江洲獅子舞保存会、屋慶名青年会、上江洲獅子舞保存会、赤野区青年会、田場区伝統芸能保存会、平安名区ウスデーク、兼箇段エイサーの７団体へ計422万340円を助成しました。主な交付内容としましては、用具や衣装などの購入費として補助金が充てられております。

○議長（比嘉　直人）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　答弁ありがとうございました。歳出のみ３点再質疑を行いたいと思います。よろしくお願いします。

147ページから148ページ、２款１項18目防災対策費の津堅島緊急防災ヘリポート整備事業でありますが、当該整備事業については令和６年度も9,171万円の予算が計上されておりますが、現在の進捗状況と今年度の事業の見通しについて確認をしたいと思います。よろしくお願いいたします。

続いて、361ページから362ページ、10款１項２目、備考欄20、小中学校水泳プール集約化事業でありますが、先ほど課題整理の基礎調査を実施したとのことですが、今年度の予算書は学校プールのあり方検討事業というふうに名前が変わっております。1,280万円余り予算が計上されていますが、基礎調査を踏まえて、今後取り組む事業内容を伺いたいと思います。

最後であります。401ページから402ページ、10款５項５目文化財保護費でありますが、伝統文化・民俗芸能伝承活動事業、先ほど７団体へ補助をしたとの答弁でありましたが、補助を行った団体の選定方法をお聞きしたいと思います。また、今年度も500万円が予算計上されておりますが、今年度補助金を交付する団体が決定していれば、併せて確認をしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（比嘉　直人）　副市長。

○副市長（佐久川　篤）　休憩お願いします。

○議長（比嘉　直人）　休憩します。

休　憩（１０時１５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時１７分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　仲程孝議員の再質疑にお答えいたします。

津堅島緊急防災ヘリポート整備事業の令和６年度の進捗につきましては、８月初旬に県内のコンサルタント共同企業体と基本設計業務委託契約を締結し、現在、現地の測量業務等を行っている段階でありまして、その後、事業用地の購入に向けて取り組む予定でございます。

○議長（比嘉　直人）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質疑にお答えいたします。

令和５年度に実施した基礎調査を踏まえ、今年度は将来の児童数、生徒数の動向や地域の実情も見極めつつ、既存ストックの有効活用や民間活力導入も視野に入れ、保有する学校プール施設について総合的かつ客観的な評価の実施と適正な規模への見直しに向け、学校プールのあり方基本方針及び基本計画の策定に取り組んでいるところでございます。

○議長（比嘉　直人）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　伝統文化・民俗芸能伝承活動事業の再質疑にお答えします。

選定方法につきましては、保存団体や自治会などから提出された申請書類を文化財課にて内容を精査し、予算の範囲内において補助団体を決定しております。今年度はエイサーが旭区、赤野、宇堅、具志川、田場、勝連、南風原の６団体。獅子舞が江洲、具志川、田場の３団体。そして、赤野の浜千鳥を保存・継承する会の合計10団体に補助金の交付を決定しております。

○議長（比嘉　直人）　休憩します。

休　憩（１０時１９分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時２０分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

次の質疑者、伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　おはようございます。それでは、認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について質疑をいたします。

237ページ、238ページです。４款１項１目保健衛生総務費、備考欄10、健康福祉センター長寿命化事業4,125万9,548円。この全体の修繕費になっておりますので、全体の修繕内容についてお聞かせください。

続きまして、250ページ、４款１項６目の老人保健費、備考欄４、がん検診総合支援事業1,308万3,215円、事業実施の目的、委託項目、実績及び成果について御案内ください。

４款１項７目の環境衛生費については、これは所管の委員会になっておりますので、割愛をいたします。

続きまして、254ページ、４款１項８目公害対策費、これの備考欄２、生活排水対策事業1,501万6,000円。前年度対比で事業費が950万円ほど減になっておりますので、その説明とそしてそれにおいて市民への影響及び地区別の申請状況についてお聞かせください。

続きまして、同ページ、備考欄３、自然環境再生事業で２万583円ということで、これは職員手当等のみになっておりますので、その理由について。そして、全体事業の取組の実績はどのようになっているのか。

続きまして、256ページ、４款２項２目の塵芥処理費、備考欄３、不法投棄対策事業532万6,038円。事業強化の取組の強化。監視カメラの設置箇所など台数について伺います。

続きまして、258ページ、４款２項３目し尿処理費、備考欄１、中部衛生施設組合負担金8,109万2,000円、備考欄２、石川終末処理場負担金が2,088万3,555円で、昨年度より2,700万円余り増額になっておりますので、その理由についてお聞かせください。

270ページ、６款１項３目農業振興費、備考欄19、耕作放棄地再生事業86万4,820円、事業実施の効果及び補助金申請件数についてお聞かせください。

続きまして、同ページ、備考欄21、頑張る農業を応援します事業1,365万6,000円、前年度より補助金が減っておりますので、その理由。事業に対する評価、そして補助金減の事業への影響はないのかどうかお尋ねいたします。

272ページ、備考欄30、家畜飼料価格高騰緊急対策事業8,371万2,625円、事業実施の実績、補助金の交付状況についてお聞かせください。

続きまして、284ページ、６款２項２目林業振興費、備考欄３、森林環境譲与税基金費960万8,000円、それの譲与税の仕組み、そして積立目的、活用の計画、年間の配分額についてお聞かせください。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　伊盛サチ子議員の御質疑にお答えします。

238ページ、歳出４款１項１目保健衛生総務費、備考欄10、健康福祉センター長寿命化事業4,125万9,548円の修繕内容につきましては、６点ほどございます。うるみんプールろ過装置取替え修繕1,320万円、うるみんタイルカーペット取替え修繕373万8,768円、うるみん室外機更新310万2,000円、うるみん駐車棟電線管取替え修繕128万2,600円、うるみんプールろ過装置取替え修繕1,598万7,180円、そして６点目に、うるみん消防用設備取替え修繕394万9,000円となっております。

続きまして、御質疑250ページ、歳出４款１項６目老人保健費、備考欄４、がん検診総合支援事業1,308万3,215円の事業実施目的、委託項目、実績及び成果についてお答えいたします。

事業実施の目的につきましては、がんの早期発見、がんによる死亡者数の減少を目指す中において、各種がん検診に係る個別通知書やチラシなどによる受診勧奨や啓発等の強化を図り、がん検診の受診を促進することを目的としております。

委託項目につきましては、健康診査等受診券及び健診ガイドの封入封緘業務委託料でございます。

実績及び成果につきましては、令和５年度の各種受診率が肺がん16.1%、胃がん10.6%、大腸がん13.2%、乳がん16.2%、子宮頸がん16.3%で、令和３年度及び令和４年度に比べますと令和４年度と令和５年度の肺がん受診率は同率でありますが、それ以外のがん受診率は増加しております。

○議長（比嘉　直人）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　おはようございます。伊盛サチ子議員の御質疑にお答えいたします。

歳出254ページ、４款１項８目公害対策費、備考欄２、生活排水対策事業1,501万6,000円について、前年度比較で事業費減の理由についてお答えいたします。

生活排水対策事業におきましては、合併処理浄化槽設置補助金として、１基当たり最大50万円の設置補助を行っております。令和４年度の申請件数が49件で、令和５年度は30件の実績となっており、前年度比較で19件の減、事業費で949万9,000円の減額となっております。減額の理由につきましては、例年30件前後の申請に対し、令和４年度は住宅開発による申請件数が多かったことが令和５年度の事業費減額に大きく影響したものと考えております。

次に、市民への影響及び地区別申請の内訳についてお答えいたします。令和５年度の減額による市民への影響はございません。令和５年度の申請件数30件の地区別内訳につきましては、具志川地区19件、石川地区２件、勝連地区９件となっております。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　おはようございます。伊盛サチ子議員の御質疑253ページから254ページ、４款１項８目公害対策費、備考欄３、自然環境再生事業２万583円、事業内容及び全体事業の取組の実績について説明いたします。

本事業は、自然環境再生支援事業補助金を活用し、令和元年度から令和３年度にわたって、文献調査や現地調査、海中道路周辺海域自然再生全体構想、海中道路周辺海域自然再生事業実施計画の策定、干潟域の浄化試験を行い、令和４年度は与那城庁舎横悪水路排水直接浄化設備設置計画を策定しております。今後は同計画に基づいた施策を検討していくことになります。令和５年度につきましては、引き続き沖縄県、地元自治会との意見交換、住民ワークショップへの参加等に要した経費となっております。

続きまして、256ページ、４款２項２目塵芥処理費、説明欄３、不法投棄対策事業532万6,038円、事業強化の取組の効果及び監視カメラの設置箇所についてお答えいたします。

不法投棄対策事業として、監視カメラの設置及び警告看板等を製作、警察署と連携を行い、合同パトロールや投棄物からの個人情報や監視カメラでの映像を提供し、不法投棄を行った者の特定を行っております。その効果といたしまして、不法投棄の減少や不法投棄そのものがなくなるなど、一定の効果は出てきておりますが、新たな不法投棄が見つかるなど、引き続き対策を講じる必要がございます。監視カメラの設置箇所につきましては、場所の特定につながるため、設置箇所については公表を控えさせていただきますが、現在７か所においてカメラを稼働させております。

続きまして、258ページ、４款２項３目し尿処理費、備考欄１、中部衛生施設組合負担金、備考欄２、石川終末処理場負担金についてお答えいたします。

まず、中部衛生施設組合負担金につきましては、原油価格の高騰及び円高の影響による電気料金、薬品代等の処理費用の高騰並びに県道沿いの樹木伐採業務を実施したことによります増額となっております。石川終末処理場負担金につきましては、同様に原油価格の高騰及び円高の影響による電気料金、薬品代等の増額と１台当たりのし尿処理単価の改定による増額となっております。

○議長（比嘉　直人）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　おはようございます。伊盛サチ子議員御質疑の歳出269ページから270ページ、６款１項３目農業振興費、備考欄19、耕作放棄地再生事業の事業効果及び補助金申請件数について御説明いたします。

耕作放棄地再生事業の事業実施効果としましては7,149平方メートルの耕作放棄地が農地として再生され、生産農地の拡大及び対象農家における生産量及び所得の向上につながったと考えております。また、補助金の申請件数につきましては７件となっております。

続きまして、歳出269ページ、270ページ、６款１項３目農業振興費、備考欄21、頑張る農業を応援します事業について補助金減額の理由、事業に対する評価、補助金減の事業への影響について御説明いたします。

本事業は、必要な農業用機械の導入及び生産施設の整備を目的に補助金を交付する事業であり、市広報紙や農業委員会会議等において、広く周知して要望調査を実施いたしましたが、当初計画より要望件数が少なかったことから補助金交付額が減額となっております。事業評価といたしましては、生産農家の安定生産と農業振興を図るため、強化型パイプハウスの設置により、災害等に強い生産環境を整えることができたことから、事業効果は高いものと考えております。また、補助金減額による当該事業への影響はないものと考えております。

続きまして、歳出271ページ、272ページ、６款１項３目農業振興費、備考欄30、家畜飼料価格高騰緊急対策事業の事業実績及び補助金交付状況について御説明いたします。

家畜飼料価格高騰緊急対策事業における交付実績は185戸の畜産農家に対して給付金を交付しております。交付件数の内訳につきましては、肉用牛農家141件、乳用牛農家１件、肉用豚農家10件、養鶏農家５件、ヤギ農家28件となっております。

続きまして、歳出283ページ、284ページの６款２項２目林業振興費、備考欄３、森林環境譲与税基金費の譲与税の仕組み、積立目的、活用計画、年間配分額について御説明いたします。

森林環境税は、令和６年度から個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として一人年額1,000円を市町村が賦課徴収し、森林環境譲与税は、市町村による森林整備の財源として、令和元年度から市町村と都道府県に対し、私有林人工林面積55％、林業就業者数20％及び人口25％を基準に案分して譲与される仕組みとなっております。

積立目的につきましては、国から譲与される森林環境譲与税を市が実施する森林の整備に関する施策等に要する費用に充てるため、森林環境譲与税基金を設置しております。基金の活用につきましては、令和５年度において森林病害虫防除調査業務、薬剤注入、植樹祭の会場設営を実施し、386万2,000円（後に「364万2,000円」に訂正。）を充当しております。今後の活用計画について、庁内の使途検討委員会において議論し、森林環境譲与税の有効的な活用に取り組みたいと考えております。

○議長（比嘉　直人）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　それでは４点ほど再質疑をいたします。

まず１点目、250ページのがん検診総合支援事業、先ほど受診率の件の答弁がありましたけれども、この受診率20％にも満たないというふうな現状であります。この目標達成についてはどのようになっているのか。また、がん検診の対象者について御案内ください。

そして、次に２点目です。258ページのし尿処理費についてであります。先ほど中部衛生施設組合ということで構成団体があるかと思いますので、この構成団体について御案内ください。そして中部衛生施設組合、そして石川終末処理場の支出が増えた場合、うるま市からの負担金も増えるものと考えますけれども、この負担金の財源についてはどのようになるのかお聞かせください。

３点目、270ページ、農業振興についてであります。耕作放棄地再生事業について、前年度と比較して250万円ほど減になっておりますけれども、その要因についてお聞かせください。

それと４点目、284ページ、林業振興費、森林環境譲与税ということでありました。その基金として積み立てられている現在の累計金額はどのようになっているのかお聞かせください。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　伊盛サチ子議員の再質疑250ページ、歳出４款１項６目老人保健費、備考欄４、がん検診総合支援事業についてお答えいたします。

沖縄県内の平均受診率を目標値としており、令和元年度の県平均が肺がん10.0％、胃がん10.6％、大腸がん8.2％、乳がん16.8％、子宮頸がん20.4％となっており、本市の令和５年度と比較いたしますと肺がん、胃がん、大腸がんは同率または達成となっておりますが、乳がん、子宮頸がんは達成していない状況でございます。対象者につきましては、胃がんは40歳以上の偶数年齢、大腸がん及び肺がんは40歳以上、子宮頸がんは二十歳以上の偶数年齢、乳がんは40歳以上の偶数年齢が対象者となっております。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　伊盛サチ子議員の再質疑258ページ、４款２項３目し尿処理費、備考欄１、中部衛生施設組合負担金、備考欄２、石川終末処理場負担金についてお答えいたします。

中部衛生施設組合の構成団体につきましては、うるま市、嘉手納町、読谷村となっております。財源につきましては、両施設ともに一般財源となっております。

○議長（比嘉　直人）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　伊盛サチ子議員の再質疑について、歳出269ページ、270ページ、６款１項３目農業振興費、備考欄19、耕作放棄地再生事業について、前年度と比較して減額になった要因について御説明いたします。

令和４年度におきましては、補助金336万9,205円、再生面積１万8,223平方メートル、申請件数は９件でございました。

補助金が減額した要因としましては、再生面積の減少及び農地の荒廃状況により補助する金額が変動すると考えております。

○議長（比嘉　直人）　休憩します。

休　憩（１０時４４分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時４４分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　すみません、伊盛サチ子議員の再質疑について御説明いたします。

令和元年度から積み立てられてきた森林環境譲与税基金は、令和５年度末時点で4,724万1,000円となっております。

○議長（比嘉　直人）　以上で質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により総務委員会へ付託し、そのうち他の委員会が関係する歳入歳出決算認定については、お手元に配付しました議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の委員会へ分割して付託します。

日程第３．認定第２号　令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により市民経済委員会へ付託します。

日程第４．認定第３号　令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により教育福祉委員会へ付託します。

日程第５．認定第４号　令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により建設委員会へ付託します。

日程第６．認定第５号　令和５年度うるま市後

期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により市民経済委員会へ付託します。

日程第７．認定第６号　令和５年度うるま市水道事業会計決算認定について、日程第８．認定第７号　令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定についての２件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により建設委員会へ付託します。

日程第９．報告第11号　令和５年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

ただいま議題となっております案件は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第３条第１項及び第22条第１項に基づく報告でありますので、報告どまりとなります。

日程第10．報告第12号　放棄した債権の報告について（不当利得返還金）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので、発言を許します。伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　報告第12号　放棄した債権の報告について（不当利得返還金）ということですけれども、３点お聞きしたいと思います。

まず１点目、若者就業支援プログラム給付金の給付の経緯について。それから２点目、給付金の返還を求める事案説明。それから３点目、給付金の返還できない事由がなんであるかお聞きしたいと思います。

○議長（比嘉　直人）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　伊波洋議員の御質疑３点について御説明いたします。

１点目の若者就業支援プログラム給付金の給付の経緯についてですが、うるま市若者就業支援プログラム給付金支給要綱に基づき、うるま市子どもの貧困対策推進計画委員会設置規程第１条で規定する、うるま市子どもの貧困対策推進計画委員会を組織する課からの推薦を受け決定をしております。

２点目の給付金の返還を求める事案につきましては、給付金の全額支給を受け養成機関へ入所したものの自己都合による継続困難で退所となったことから生じたものであります。

３点目の返還できない事由につきましては、これまで分割納付誓約を交わし、一部納付をいただいたものの不履行となったため、債務者へ市からの督促状の送付や裁判所からの支払督促申立書の送付、仮執行宣言申立書の送達を行ったが、強制執行可能な収入や資産もないことからうるま市債権管理条例第13条第１項に該当すると判断し、債権放棄を行ってございます。

○議長（比嘉　直人）　以上で質疑を終結します。

ただいま議題となっております案件は、うるま市債権管理条例第13条第２項に基づく報告でありますので、報告どまりとなります。

日程第11．報告第13号　放棄した債権の報告について（生活保護費返還金）から日程第16．報告第18号　放棄した債権の報告について（損害賠償請求金）までの６件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

ただいま議題となっております案件は、うるま市債権管理条例第13条第２項に基づく報告でありますので、報告どまりとなります。

日程第17．諮問第１号　人権擁護委員候補者の推薦についてから日程第21．諮問第５号　人権擁護委員候補者の推薦についてまでの５件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

ただいま議題となっております案件は、人事案件につき委員会付託を省略します。

暫時休憩します。

休　憩（１０時５４分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時０９分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

日程第22．議案第68号　令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてから日程第23．議案第69号　令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての２件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により建設委員会へ付託します。

日程第24．議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので、順次発言を許します。伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　それでは議案第70号令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）について、８点質疑をしたいと思います。

まず１点目、28ページ、29ページ、３款１項３目老人福祉費、説明欄（４）、介護予防支援緊急対策事業補助金2,520万円の事業説明を求めます。

２点目、30ページ、31ページ、３款２項１目児童福祉総務費、説明欄（５）第三の居場所学力等調査事業312万8,000円、補正減の事業説明と補正減の説明を求めます。

３点目、34ページ、35ページ、４款２項２目塵芥処理費、説明欄（３）指定ごみ袋事業印刷製本費6,484万円の補正減の説明を求めます。

続きまして、４点目、34ページ、35ページ、６款１項５目農地費、説明欄（２）農業基盤整備促進事業（具志川地区）8,289万5,000円の補正減の説明と事業進捗の説明を求めます。

５点目、36ページ、37ページ、７款１項３目観光振興費、説明欄（２）うるま特別感動体験創造事業業務委託料3,000万円の補正。事業説明と業務委託の説明を求めます。

６点目、38ページ、39ページ、８款４項３目街路事業費、説明欄（１）兼箇段高江洲線道路改築事業、説明欄（２）安慶名田場線道路改築事業物件移転等補償金2,900万円で事業別での補正、予算組替えの説明を求めます。

７点目、38ページ、39ページ、８款４項７目区画整理推進費、説明欄（１）地域交流センターＬＥＤ化事業、説明欄（２）地域交流センター維持管理費工事請負費352万2,000円の予算組替えの説明、事業説明を求めます。

最後に８点目、44ページ、45ページ、10款６項４目給食施設費、説明欄（１）新石川調理場整備運営事業磁気探査委託料3,373万9,000円の補正予算の説明と委託契約の説明を求めます。

○議長（比嘉　直人）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　伊波洋議員の御質疑にお答えいたします。

歳出28ページから29ページ、３款１項３目老人福祉費、説明欄（４）、介護予防支援緊急対策事業補助金2,520万円について御説明いたします。事業内容につきましては、地域包括支援センターが指定介護予防事業で実施する要支援に係る介護予防支援のプラン作成に受託法人の経済的負担が生じている現状が把握されており、地域包括支援センターへの相談件数が増加傾向にある中、包括職員においてもプラン作成業務を担うなどの負担が増加しております。このため、包括職員が相談業務に注力できる体制を整える人員経費や業務効率化などの負担軽減策に対し、補助を行うことで包括全体の安定的な運営を後押しする事業となっております。なお、事業実施の際には事業経費の精査や実績報告の確認を行いながら市内７か所の地域包括支援センターに対し、上限額360万円の補助を行うことになります。

○議長（比嘉　直人）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　伊波洋議員の御質疑にお答えいたします。

歳出30ページ、31ページ、児童福祉総務費、説明欄（５）第三の居場所学力等調査事業業務委託料312万8,000円減の事業説明と補正減についてお

答えいたします。

事業内容といたしましては、こどもの第三の居場所の効果検証を行うための学力調査及び意識調査を実施する事業でございます。こどもの第三の居場所とは、様々な困難な状況にある子供たちに家庭及び学校のほかに第三の居場所となる場所を提供する事業であり、事業開始からの３年間は、うるま市、公益財団法人日本財団、運営法人の３者にて居場所の運営、事業効果の検証を行う事業でございます。事業目的の一つとして、効果検証の結果に基づき、日本財団から国に対し、本事業の必要性について政策の提言を行う目的がございましたが、こども家庭庁において、児童育成支援拠点事業として学校や家以外の居場所事業の法制度が決まったことから目的が達成されたため、居場所事業の効果検証は不要となり、全額補正減となっております。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　伊波洋議員の御質疑にお答えいたします。

令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）、34ページから35ページ、４款２項２目塵芥処理費、指定ごみ袋事業印刷製本費6,484万円の補正減について。本事業は指定ごみ袋の印刷業務となっておりますが、今回、課の名称が環境課から環境政策課に変更になったことによる印刷版製作経費と併せ、取っ手付きごみ袋への形状変更、原油をはじめとする原材料費等の高騰を見込み、当初予算を計上しておりましたが、指名競争入札執行後、多額の入札残が生じたことに加え、通常追加発注に備えるための余剰予算の活用についても現在の在庫数で対応可能であると判断し、減額するものでございます。

○議長（比嘉　直人）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　伊波洋議員の御質疑にお答えします。

令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）、歳出34ページ、35ページ、６款１項５目農地費、説明欄（２）農業基盤整備促進事業（具志川地区）減額補正と進捗状況について御説明いたします。本事業は、与勝地下ダムを水源とした水田かんがい施設の整備と排水路整備を行い、安定したかんがい用水の供給と排水処理を図ることで農業生産活動の労力を軽減し、持続ある農業経営の向上を図ることを目的としております。今回の補正減の主な要因といたしまして、令和６年度における沖縄県の予算配分により県の補助金割当額が減額となったため、当初事業費１億9,759万5,000円から8,289万5,000円減額補正となり、補正後は１億1,470万円となります。事業進捗については、実施設計及び用地測量、土地評価業務が完了し、令和４年度から用地買収を行い、排水路施設等整備工事については、令和５年度から実施し、令和５年度末で27％となりますが、令和８年度事業完了を目指しております。

○議長（比嘉　直人）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　伊波洋議員の御質疑、歳出36ページから37ページ、７款１項３目観光振興費、説明欄（２）うるま特別感動体験創造事業について御説明いたします。

当事業は観光庁の補助金を活用し、これまでにないインバウンド需要を創出し、特別な体験として提供することを通して、地域への波及効果について調査・検証することを目的とした事業となっております。うるま市の観光コンテンツである世界遺産勝連城跡、エイサーや闘牛などを活用し、魅力的な高付加価値イベントコンテンツとして創造したツアーの実施を令和７年１月下旬に予定しております。ツアーの中身につきましては、貸切闘牛大会や勝連城跡でのエイサーなどの伝統芸能鑑賞と琉球薬膳料理ディナー体験を計画しており、160人ほどの参加を見込んだ業務として委託する予定でございます。なお、歳入歳出ともに同額の3,000万円であり、補助率は100％となっております。

○議長（比嘉　直人）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　伊波洋議員の御質疑にお答えいたします。

歳出38ページから39ページ、８款４項３目街路事業費、説明欄（１）兼箇段高江洲線道路改築事

業、説明欄（２）安慶名田場線道路改築事業について御説明いたします。

既に契約済みの兼箇段高江洲線の補償物件において、当初予定していないアスベストが確認されたことにより、安慶名田場線で執行予定であった物件移転補償費を組替えて執行するものでございます。なお、安慶名田場線における物件移転補償につきましては、次年度以降執行する予定でございます。

続きまして、同ページ、８款４項７目区画整理推進費、説明欄（１）地域交流センターＬＥＤ化事業について御説明いたします。本事業は、うるま市地域交流センター２階、屋外作業場の既設照明設備８基及び交流広場の既設照明設備８基、合計16基のＬＥＤ化を行う事業でございます。また、説明欄（２）地域交流センター維持管理費については、当初当該事業名において実施する予定としておりましたが、起債計画書提出時に沖縄県からの指摘により事業名、地域交流センターＬＥＤ化事業として新たに設定し、必要予算の組替えを行ったものでございます。

○議長（比嘉　直人）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　伊波洋議員の御質疑、歳出44ページから45ページ、10款６項４目給食施設費、説明欄（１）新石川調理場整備運営事業磁気探査委託料3,373万9,000円についてお答えいたします。

当事業委託料は、新調理場建設に伴い工事施工の安全を確認するための調査費用でございます。主な内訳といたしまして、水平磁気探査、鉛直磁気探査、解析費、諸経費となっております。予算成立後発注を行い、履行期間は約４か月の予定となっております。

○議長（比嘉　直人）　次の質疑者、真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　では、議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）について、８点質疑いたします。

まず１点目でございます。歳出26ページから27ページ、２款３項１目、説明欄（２）戸籍住民基本台帳管理費、戸籍総合システム改修委託料1,058万2,000円ですが、５ページ、債務負担行為を廃止し、４ページ、繰越明許費となっています。その理由をお聞きいたします。

次に、歳入14ページから15ページ、17款２項５目、説明欄、農業費補助金（１）農業基盤整備促進事業（具志川地区）7,878万7,000円が減額されております。事業内容は同僚議員の質疑で理解しましたので、減額理由についてお聞きいたします。

３点目、20ページ、23款１項11目臨時財政対策債1,840万5,000円の補正により合計１億373万4,000円となりますが、発行理由をお聞きいたします。

４点目、22ページから23ページ、２款１項５目、説明欄（５）資産マネジメント課管理費、土地測量委託料712万1,000円が計上されております。業務内容をお聞きいたします。

５点目、24ページから25ページ、歳出２款１項14目防犯対策費、10節需用費、説明欄（１）防犯対策事業修繕費20万円、修繕内容について説明を求めます。

６点目、同ページ、２款１項17目、説明欄（１）電子計算管理費システム使用料3,339万5,000円について減額理由をお聞きいたします。

７点目、同ページ、２款１項18目防災対策費、説明欄（１）防災対策費、機械器具購入費66万円の減額理由。説明欄（２）災害対策用備蓄品整備事業において、備蓄倉庫換気口設置業務委託料745万2,000円の必要性と減額される消耗品についてお聞きいたします。説明欄（３）避難所等環境整備事業において、購入する184万8,000円の備品の必要性と減額される118万8,000円の消耗品についてお聞きいたします。

最後に８点目、28ページから29ページ、３款１項３目、説明欄（１）介護保険特別会計繰出金、低所得者保険料軽減3,500万7,000円減額された理由を伺います。

次の説明欄（４）介護予防支援緊急対策事業2,520万円増額補正については同僚議員の質疑で理解しましたので削除します。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　真栄城隆議員の御質疑にお答えいたします。

歳出27ページ、２款３項１目、説明欄（２）戸籍住民基本台帳管理費、戸籍総合システム改修委託料1,058万2,000円の予算計上に伴う令和７年度債務負担行為を廃止、及び繰越明許費となった理由についてお答えいたします。

本事業は、既存の戸籍システムからガバメントクラウドを活用した全国標準準拠システムへの移行に伴うシステム改修委託業務となっております。令和６年度当初予算計上時点では令和６年度内に事業者を選定し、令和７年４月より業務着手を想定した債務負担行為を設定しておりましたが、同システムへ移行するには１年前倒しで現行システムへの比較分析などを行う必要があり、本年度中に業務着手することが必要になることが判明したため、補正予算に1,058万2,000円の委託費を計上し、併せて債務負担行為の廃止及び事業期間延長を見越した繰越明許費を計上しております。

○議長（比嘉　直人）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　真栄城隆議員の御質疑についてお答えします。

歳入14ページ、15ページ、17款２項５目農林水産業費県補助金、説明欄、農業費補助金（１）農業基盤整備促進事業（具志川地区）7,878万7,000円の減額理由について御説明いたします。

今回の補正減の主な要因といたしまして、令和６年度における沖縄県の予算配分により補助金の割当てが当初の要望額１億6,068万7,000円に対し、8,190万円となったことから7,878万7,000円の歳入の減額補正となっております。

○議長（比嘉　直人）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　真栄城隆議員の御質疑にお答えいたします。

歳入20ページ、23款１項11目臨時財政対策債の発行理由についてお答えいたします。臨時財政対策債は、地方公共団体の財政収支の不足額を補塡するため、各地方公共団体が発行できる地方債ですが、その償還金相当額全額が後年度の地方交付税に算入されるため、本市の財政運営に支障が生じないよう措置されている特例の地方債でございます。今回の補正予算では令和６年度の臨時財政対策債の発行額が確定したことにより増額発行するものでございます。

続きまして、歳出22ページ、23ページ、２款１項５目、説明欄（５）資産マネジメント課管理費土地測量委託料712万1,000円の内容についてお答えをいたします。土地測量委託料の業務内容につきましては、普通財産である市有地を売却するに当たり分筆業務を行うための委託料でございます。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　令和６年度うるま市一般会計補正予算、24ページから25ページ、歳出、２款１項14目防犯対策費、防犯対策事業修繕費は市が管理しております防犯カメラ71台と併せて整備いたしました防犯灯78灯に係る１台分の修繕費でございます。現在、修繕対象の機器はございませんが、今後の台風等の襲来に備え補正予算を計上するものでございます。

○議長（比嘉　直人）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　真栄城隆議員の御質疑にお答えいたします。

24ページから25ページ、歳出２款１項17目、説明欄（１）電子計算管理費システム使用料3,339万5,000円の減額理由につきましては、当初予算において自治体システム標準化に伴うガバメントクラウド利用料を計上しておりましたが、令和６年３月22日付でデジタル庁が令和６年度分の費用を負担することが決定したことから減額補正をしております。

○議長（比嘉　直人）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　真栄城隆議員からの御質疑、歳出24ページ、25ページ、２款１項18目防災対策費、説明欄の各事項の内容についてお答えいたします。

まず、説明欄（１）防災対策費の機械器具購入費66万円の減額理由につきましては、避難所などでの活用を目的とした冷風機の購入分となっておりましたが、その内容が説明欄（３）避難所等環

境整備事業と重複していたため、減額して避難所等環境整備事業の備品購入費に組み替えたものでございます。

次に、説明欄（２）災害対策用備蓄品整備事業の備蓄倉庫換気口設置業務委託料745万2,000円の必要性については、現在市の備蓄倉庫の多くが湿気対策等が施されていないことから備蓄食料等の劣化が危惧される状況にあり、早急に保存環境の改善を図らなければならないことから各備蓄倉庫に換気口を設置するものでございます。また、減額される消耗品費については、当初は備蓄食料品１万5,000食及び飲料水１万5,000本の入替え分の予算として745万2,000円分を消耗品に組み込んで計上しておりましたが、現状では入替えを実施しなくても市の備蓄計画での目標量は十分確保できる見通しとなっていることから今回減額し、早急に対応しなければならない備蓄倉庫換気口設置業務委託料へ組替えを行っております。

次に、説明欄（３）避難所等環境整備事業の備品購入費184万8,000円の必要性につきましては、当初購入予定の冷風機及び扇風機よりも効果の高いスポットクーラーの購入を予定しており、避難者の居住環境の向上を図るためのものでございます。減額される消耗品費118万8,000円につきましては、消耗品として冷風機、扇風機の購入費を予定しておりましたが、スポットクーラー購入に変更するため減額し、備品購入費に組替えて計上しているものでございます。

○議長（比嘉　直人）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　真栄城隆議員の御質疑にお答えいたします。

歳出28ページから29ページ、３款１項３目老人福祉費、説明欄（１）介護保険特別会計繰出金、低所得者保険料軽減3,500万7,000円の減額理由についてお答えいたします。

この制度は、所得が少ない方または一部の生活保護世帯等を対象に、介護保険料の負担を軽減する内容となっております。今回、減額の理由は国の方針により第９期介護保険計画の低所得者に対する負担割合の軽減があり、低所得者の介護保険料総額が減額となりました。その結果、国、県、市の負担総額が減少したため、減額補正となっております。

○議長（比嘉　直人）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　答弁いろいろありがとうございました。１点だけ再質疑させていただきます。

６点目の電子計算管理費システム使用料についてお聞きいたします。デジタル改革関連法が３年前に成立し、これまでばらばらだった自治体のシステムを国の基準に統一することにより利便性向上を目指すものと理解しておりますが、ガバメントクラウドを利用するメリットと県内各自治体の利用状況をお聞きいたします。

○議長（比嘉　直人）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　24ページから25ページ、歳出、２款１項17目、説明欄（１）電子計算管理費、システム使用料の再質疑にお答えいたします。

自治体システムの標準化は、令和３年９月に地方公共団体情報システムの標準化に関する法律として施行され、対象となる20業務の移行に向けて、デジタル基盤改革支援補助金を活用しながら進めている事業でございます。メリットとしましては、自治体業務の効率化やシステム運用のコスト削減がございます。また、本市では標準化対応に備えたリスクとなり得るデータ移行やデータ整備を早急に進めるため、令和５年度よりデジタル庁から発出されたガバメントクラウド早期移行団体検証事業に応募し、採択を受け取組を行っております。なお、県内市町村においては今年度から那覇市、宜野湾市、石垣市、名護市がガバメントクラウド早期移行団体検証事業に採択され、取組を行っている状況でございます。

○議長（比嘉　直人）　次の質疑者、平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）について、２点御質疑させていただきます。

歳出、まず１点目、32ページ、33ページ、４款

１項２目、説明欄（１）予防接種事業１億981万2,000円の内容についてお伺いいたします。

２点目、36ページ、37ページ、７款１項３目、説明欄（２）うるま特別感動体験創造事業3,000万円の内容については伊波洋議員への答弁で理解しましたが、後ほど再質疑をさせていただきます。お願いします。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　平良一雄議員の御質疑にお答えします。

32ページから33ページ、歳出４款１項２目、予防接種事業の増額補正内容につきましては、10月１日より定期予防接種として実施される新型コロナウイルスワクチン接種の医療機関等へ支払う委託料及び令和５年度緊急風しん抗体検査等事業において受診者が少ないなどの理由により、実績に伴う国庫への償還金の合計額となっております。

○議長（比嘉　直人）　休憩します。

休　憩（１１時４２分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時４４分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　それでは再質疑をいたします。

まず１点目ですが、10月１日より実施される新型コロナウイルスワクチン接種の対象者の自己負担額をお伺いいたします。

２点目、先ほどの伊波洋議員の答弁の中で全額補助の事業で160人程度の参加ということですが、参加者負担金はないのか。また、高付加価値の商品開発だが参加者募集の方法をお伺いします。

○議長（比嘉　直人）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　平良一雄議員の再質疑についてお答えいたします。

10月１日より実施される新型コロナウイルスワクチン接種の対象者自己負担額を伺うとのことでございましたのでお答えします。定期接種の対象者につきましては、65歳以上の方及び60歳以上65歳未満で障害者手帳１級程度の者となっております。本市では約３万200人を見込んでございます。自己負担額につきましては、3,000円としてございます。

○議長（比嘉　直人）　休憩します。

休　憩（１１時４４分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時４６分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　平良一雄議員の再質疑について御説明いたします。

まずは、参加者が負担する料金につきましては、複数の特別体験メニューによって、１人当たり６万円から45万円の料金設定を検討しております。それから参加募集の方法につきましては、大手旅行会社と連携し、インバウンド向け情報発信サイトを活用するなど、台湾や香港など東アジアをターゲットとした販売活動を行う計画となっております。

○議長（比嘉　直人）　以上で質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、総務委員会へ付託し、そのうち他の委員会が関係する予算につきましては、お手元に配付してあります議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の委員会へ分割して付託します。

日程第25．議案第71号　令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）、日程第26．議案第72号　令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）の２件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、建設委員会へ付託します。

日程第27．議案第73号　令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、教育福祉委員会へ付託します。

日程第28．議案第74号　令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）、日程第29．議案第75号　令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）の２件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、市民経済委員会へ付託します。

午前の日程をこの程度にとどめ、午後１時30分より会議を開きます。

暫時休憩します。

休　憩（１１時５０分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時２９分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

日程第30．議案第76号　訴えの提起について（土地明渡請求事件）、日程第31．議案第77号　車両事故に係る和解をすることについての２件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、総務委員会へ付託します。

日程第32．議案第78号　沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾についてを議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、建設委員会へ付託します。

日程第33．議案第79号　物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、教育福祉委員会へ付託します。

日程第34．議案第80号　うるま市税条例の一部を改正する条例、日程第35．議案第81号　アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例の２件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、総務委員会へ付託します。

日程第36．議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありますので、発言を許します。伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　皆さん、こんにちは。それでは、議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例について質疑をいたします。

提案理由といたしまして、都市公園の設置基準及び管理の見直しに伴い、当該条例の改正を行う必要があるためとされております。そこで改正点が４つほど挙げられております。まずは、その件から質疑をしたいと思います。

１点目、都市公園内に設置している自動販売機を公園施設として取扱い、公園施設として使用料を徴収するため、別表第２に自動販売機に係る使用料を追加した。また、使用料の適用時期を明確にするために附則に経過措置を追加したということでありますので、その御説明をお願いいたします。

２点目に、公園施設として設けられる建築物の建蔽率を緩和するため、第２条の５第３項を追加したとあります。この説明も求めます。

３点目、公募により決定したＰＦＩ事業者等が公園使用料を提案できるようにするため、第13条第２項を追加したとありますので、この御説明を

求めます。

４点目に、都市公園以外の公園は、新たに制定するうるま市都市公園以外の公園に関する条例に規定するため第18条の２を削除したということであります。制定がされたらどのような位置づけになるのかも含めて、御説明をお願いします。

○議長（比嘉　直人）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　伊盛サチ子議員の御質疑にお答えいたします。

まず１点目の自動販売機の設置に伴う使用料の徴収でございますが、現在、都市公園に設置している自動販売機はうるま市都市公園条例第４条第１項第３号の興行に類する営業行為として使用料を徴収しておりますが、自動販売機は都市公園法第２条第２項に規定する公園施設、便益施設に該当するため、公園施設として使用料を徴収することが適切と考え、別表第２に自動販売機に係る使用料を追加しております。

続きまして、２点目の建蔽率の緩和についてでございます。現行での建蔽率は２％と定めておりますが、自治会等が集会所を設置する行為についてはさらに２％上乗せすることができるよう追加しております。なお、災害時の広場の確保など公園機能を低下させない範囲として緩和を行うものであります。

３点目について、ＰＦＩ事業では民間の資金、経営能力、技術的能力を活用する事業になります。公募を行い、ＰＦＩ事業の可能性を広げることを目的とし、設計、建設、管理・運営と使用料を含めた広い範囲で民間のノウハウを生かした提案とすることができるよう追加しております。

最後に、都市公園以外の公園とは、都市公園法第２条の２に基づき、都市公園の供用を開始するに当たり、都市公園の区域その他政令で定める事項の公告がされていない公園でございます。また、これまでと同様に公園としての位置づけが変わることはありませんが、うるま市都市公園以外の公園に関する条例が制定されることで公園施設の管理において、指定管理者制度の活用が可能となってまいります。

○議長（比嘉　直人）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　再質疑をさせていただきます。

３点ほどありますので、よろしくお願いいたします。１点目、建蔽率の緩和については、公園面積の建蔽率は緑地面積やオープンスペースの観点から定められていると思いますけれども、建蔽率が改正されることにより、市民が使える面積、スペースを失うことにはなりませんか。

２点目、公園内に民間施設を設置する際に公募による事業者の公募方法、選定、決定のプロセスはどのようになりますか。

３点目、施設の面積などを含め、どこまで公園の管理を任せるのですか、御説明をお願いします。

○議長（比嘉　直人）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質疑にお答えいたします。

１点目の建蔽率について。議員御指摘のとおり、緑地面積等は最大２％減少いたしますが、対象公園は自治会のコミュニティ活動として、多く活用されている街区公園等を対象としていることから地域コミュニティーの向上、里親制度に基づく公園管理の質の向上、また災害時には集会所を活用した防災拠点の確保などが期待されると考えております。

２点目の決定プロセスについてですが、一般的には募集要項等の公表を行い、参加表明を受け付け、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、うるま市ＰＦＩ事業者選定等委員会において、優先交渉権者を決定いたします。

３点目についてですが、各公園の面積や事業規模に応じて募集要項等で管理する面積を定めてまいります。

○議長（比嘉　直人）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　再度、質疑をいたします。

２点になりますので、よろしくお願いいたします。１点目、公園の中で実施されるＰＦＩ事業は民間出資の会社組織が事業展開をし、その収益で公園の維持管理を行うことが想定されているので

しょうか。

２点目、市有地の長期間の借地や権利関係等、抵当権の設定はありますか。

○議長（比嘉　直人）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質疑にお答えいたします。

まず、ＰＦＩ事業による公園の維持管理については、３つの手法が想定されます。

１つ目に、通常の指定管理と同様に市が維持管理に係る経費を全て賄うサービス購入型。

２つ目に、市の財政負担はなく、民間の収益を公園の維持管理費に充ててもらう独立採算型。

３つ目に、市が一部の維持管理費を負担し、民間の収益と合わせて維持管理を行う混合型という３つの手法がございます。

最後に、民間事業者が公園用地を用いて経済活動を行う場合、都市公園法に基づく公園施設の設置管理許可、もしくは公園の使用許可が必要でございます。設置管理許可及び使用許可については借地契約には当たらないため、権利関係の設定等はございません。

○議長（比嘉　直人）　以上で質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、建設委員会へ付託します。

日程第37．議案第83号　うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、日程第38．議案第84号　うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例の２件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、教育福祉委員会へ付託します。

日程第39．議案第85号　うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例から日程第41．議案第87号　うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例までの３件を一括して議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、市民経済委員会へ付託します。

日程第42．議案第88号　訴えの提起について（建物明渡等請求事件）を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、建設委員会へ付託します。

日程第43．議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

議案を付託します。ただいま議題となっております案件は、会議規則第37条第１項の規定により、市民経済委員会へ付託します。

以上で通告のありました質疑は全て終了しました。

議 案 付 託 一 覧 表

◎　総務委員会

議案番号	案　　件　　名	備　考
認定第１号	令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について	分割付託
議案第70号	令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）	分割付託 先議
議案第76号	訴えの提起について（土地明渡請求事件）	
議案第77号	車両事故に係る和解をすることについて	
議案第80号	うるま市税条例の一部を改正する条例	
議案第81号	アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例	

◎　建設委員会

議案番号	案　　件　　名	備　考
認定第１号	令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について	分割付託
認定第４号	令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第６号	令和５年度うるま市水道事業会計決算認定について	
認定第７号	令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定について	
議案第68号	令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
議案第69号	令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
議案第70号	令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）	分割付託 先議
議案第71号	令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）	
議案第72号	令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）	先議
議案第78号	沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾について	
議案第82号	うるま市都市公園条例の一部を改正する条例	
議案第88号	訴えの提起について（建物明渡等請求事件）	

◎　教育福祉委員会

議案番号	案　　件　　名	備　考
認定第１号	令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について	分割付託
認定第３号	令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第70号	令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）	分割付託 先議
議案第73号	令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）	先議
議案第79号	物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）	
議案第83号	うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第84号	うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例	

◎　市民経済委員会

議案番号	案　　件　　名	備　考
認定第１号	令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について	分割付託
認定第２号	令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第５号	令和５年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第70号	令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）	分割付託 先議
議案第74号	令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	先議
議案第75号	令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	
議案第85号	うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第86号	うるま市都市公園以外の公園に関する条例	
議案第87号	うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例	
議案第89号	うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例	

◎　付託省略（報告等）

議案番号	案　　件　　名	備　考
報告第11号	令和５年度決算に基づくうるま市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
報告第12号	放棄した債権の報告について（不当利得返還金）	
報告第13号	放棄した債権の報告について（生活保護費返還金）	
報告第14号	放棄した債権の報告について（介護給付費返納金）	
報告第15号	放棄した債権の報告について（児童扶養手当返還金）	
報告第16号	放棄した債権の報告について（幼稚園保育料等）	
報告第17号	放棄した債権の報告について（不当利得返還金）	
報告第18号	放棄した債権の報告について（損害賠償請求金）	
諮問第１号	人権擁護委員候補者の推薦について	
諮問第２号	人権擁護委員候補者の推薦について	
諮問第３号	人権擁護委員候補者の推薦について	
諮問第４号	人権擁護委員候補者の推薦について	
諮問第５号	人権擁護委員候補者の推薦について	

休憩します。

休　憩（１３時４３分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時４４分）

○議長（比嘉　直人）　再開します。

お諮りします。本定例会の議案に対し、通告された質疑は全て終了しました。よって、明日９月10日は質疑の日となっておりますが、休会したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、明日９月10日は休会することに決定しました。

以上で本日の日程は終了しました。

なお、９月11日から９月13日までの３日間は委員会審査の日となっております。次回は、９月17日火曜日午前10時から会議を開きます。

本日は、これで散会します。

散　会（１３時４５分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

議　　長　　比　嘉　直　人

２８番議員　　兼　本　光　治

２９番議員　　藏　根　　武

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（３日目）

◎　令和６年９月17日（火）　　（１０時１１分　開議）

◎　出席議員（25名）

１番	真栄城　　隆　議員	15番	伊　礼　　正　議員
２番	高　屋　　優　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	17番	仲　程　　孝　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	19番	下　門　　勝　議員
６番	国　吉　　亮　議員	20番	天　願　久　史　議員
７番	伊　波　良　明　議員	24番	國　場　正　剛　議員
８番	神　田　洋　一　議員	25番	大　城　　直　議員
９番	平　良　一　雄　議員	27番	佐久田　　悟　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	28番	兼　本　光　治　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	29番	藏　根　　武　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	30番	伊　波　　洋　議員
14番	池宮城　善　伸　議員		

◎　欠席議員（２名）

13番	玉　城　政　哉　議員	23番	比　嘉　直　人　議員

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	防災広報対策部長	大　田　義　浩
副　市　長	佐久川　　篤	福　祉　部　長	幸　地　美　和
教　育　長	嘉手苅　弘　美	こども未来部参事	上運天　　健
総　務　部　長	山入端　立　也	市民生活部長	松　岡　秀　光
企　画　部　長	金　城　和　明	市民生活部参事	古　謝　哲　也
財　務　部　長	島　袋　史　朗	経済産業部長	岸　本　　力

農林水産部長	座喜味　達　也	社会教育部長	川　端　　登
都市建設部長	名嘉眞　　睦	社会教育部参事	兼　城　哲　夫
都市建設部参事	田　場　直　樹	総務政策課長	諸見里　直　樹

◎　事務局出席者

議会事務局長	知　念　義　浩	議事係主査	伊　藤　　靖
議　事　課　長	石　川　秀　吉	調査広報係 主任主事	山　城　　太
議　事　係　長	森　根　元　気		

◎　議事日程第３号
　　第１．会議録署名議員の指名
　　第２．一般質問

◎　会議に付した事件
　　議事日程に同じ

○副議長（藏根　武）　これより本日の会議を開きます。
　本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第３号のとおりです。
　日程第１．会議録署名議員の指名を行います。
　本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、伊波洋議員、真栄城隆議員を指名します。
　休憩します。
　　休　憩（１０時１１分）
　　～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
　　再　開（１０時１２分）
○副議長（藏根　武）　再開します。
　日程第２．これより一般質問を行います。
　発言時間は当局答弁を含まず、30分以内です。通告がありますので、順次発言を許します。幸喜勇議員。
○１１番　幸喜　勇議員　執行部の皆様、議員の皆様、市民の皆様、おはようございます。会派かけはしの幸喜勇です。議長の許可を得ましたので、通告した５点について一般質問させていただきます。
　初めに、全島獅子舞フェスティバルについての質問です。先日、自治会長から「今年は全島獅子舞フェスティバルが開催されないということだけれども、何の確認もなく市が決めて、開催しないという報告だけで驚いている」との相談を受けました。なぜ、今年度は全島獅子舞フェスティバルを開催しないという判断をしたのか、その経緯を伺います。
○副議長（藏根　武）　社会教育部長。
○社会教育部長（川端　登）　おはようございます。幸喜勇議員の質問にお答えいたします。
　教育委員会では、全島獅子舞フェスティバルをうるま市のみならず、沖縄の獅子舞文化の保存・継承・発展を図る目的で開催し、昭和61年度の開催以来昨年度で36回を数え、毎回多くの方に御来場いただいております。しかしながら、近年は本フェスティバルを開催することに注力してしまい、本来の趣旨、目的である獅子舞の保存・継承・発展に資するイベントとなっているのかという点について検証を行う必要があると考えております。そのため、教育委員会では、今年度は本フェスティバルの開催方法を含め、獅子舞の保存・継承について検討するため、開催を見送っております。
○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。
○１１番　幸喜　勇議員　上江洲区では40年間ほど獅子舞の伝承が途絶えていましたが、1994年の保存会結成後は、毎年旧盆明けの旧暦７月16日と、本日の８月15日の十五夜に本獅子の演舞を奉納しています。上江洲区獅子舞保存会では、伝統文化を継承するために、子供たちにも獅子舞に触れてもらい、新聞でも、ここ４年で子供たちが３人から18人に急増していて、地域の子供たちに獅子舞ブームを起こしていると紹介されました。獅子舞保存会の方から「共催の沖縄タイムス社も開催しないとの連絡を受けて驚いていた。全島獅子舞フェスティバルを開催してほしいという要請書を作成して、市に提出している。地域で盛り上がってきている子供たちの獅子舞演舞を全島獅子舞フェスティバルで披露できなくなったので、どうやれば開催していただけるのか」との相談を受けました。他地域の獅子舞保存会の方からも数年前から「各地域の獅子舞保存会で話し合う機会をつ

くってくれないかと担当課に伝えているが、動いてくれない」と相談を受けていました。令和５年11月20日に相談者と共に担当課で話し合うことができ、令和６年１月19日に各地域の獅子舞保存会に声かけをしてもらい、どのようにしたら伝統を保存・継承できるのかとの意見交換会を開催していただきました。それにもかかわらず、全島獅子舞フェスティバルが開催されないということは私にとっても驚きでしたが、本市として伝統芸能を守るために必要だと感じていることは何かを伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　再質問にお答えいたします。

伝統芸能を含めた文化財の保存・継承には、これまでのような文化財保護部局のみならず、市民、民間団体、庁内の関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、生かし、伝える体制の構築が大切だと考えております。また、教育委員会では市内の獅子舞保存団体と個別に意見交換会を行っております。その中で、保存団体の皆様も、特に伝統芸能を継承する担い手の不足に関する意見が多くありました。教育委員会でも、その担い手の育成や獅子舞を披露する場が大切であると感じております。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　本市は伝統芸能を守るためにも、地域の要望を聞いて、必要な備品などを助成してサポートしていることは知っていますが、全島獅子舞フェスティバルが開催されずに、披露の場がなくなることはどうかと感じています。獅子舞の保存・継承を意識して、今後はどのように取り組んでいく予定かを伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

教育委員会としましては、獅子舞フェスティバルをより充実・発展させるために、事業の検証を行うとともに、保存団体との意見交換会を実施しております。その意見交換会の内容を踏まえ、獅子舞の保存・継承・発展の視点から行政としての支援の在り方を整理する予定にしております。今年度は様々なイベント等で獅子舞を披露する場を設けてきましたが、今後も多くの市民にうるま市の獅子舞を知っていただくための機会をどのように設けていくか、そして、それを獅子舞の保存・継承にどうつなげていくのかについて、引き続き保存団体と協議を重ね、連携を深めていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　本市が市内に数多く存在する有形・無形の文化財を維持・継承するために策定した、うるま市文化財保存活用地域計画が令和６年７月19日、文化庁の文化審議会文化財分科会の答申を経て、文化庁長官の認定を受け、県内初と新聞でも報道されました。エイサーを演舞するイベントは各地域で開催されていますが、各地域の獅子舞が演舞するイベントはほとんど開催されていないので、保存・継承のためには全島獅子舞フェスティバルは必要だと思うとの報道関係者からの意見もありました。先日、開催場所を変更して開催したうるま市エイサーまつりのように、発表の場をなくすことなく、市内の獅子舞保存団体と個別に意見交換することや、行政としての支援の在り方を整理することはできると思います。本市の第２次うるま市総合計画の基本構想に掲げられているまちづくりの基本目標５には「郷土に誇りをもち未来を拓く人づくり」とあり、先人の残した歴史・文化遺産を大切に保護し、それを活用するとともに、その歴史・文化遺産を次の代へ継承していけるまちを目指しますとあります。先ほどの答弁でもありましたが、教育委員会の文化財保護部局のみならず、市民、民間団体、庁内の関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、生かし、伝える体制の構築が大切だと思います。当局はどのように考えているのか、中村市長の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　おはようございます。幸喜勇議員にお答えをいたします。

獅子舞をはじめ、地域に残る伝統芸能は、地域

コミュニティーを支える大切な伝統行事であります。この伝統芸能を支える方々は、地域文化活動の担い手であると認識をしております。その担い手を支援するために、本市では伝統文化・民俗芸能伝承活動事業や青年会エイサーへの支援も行っております。今年度は獅子舞フェスティバルの開催を見送っておりますが、宇都宮市ふるさと宮まつりへの勝連南風原獅子舞の派遣、こども文化祭での上江洲獅子舞保存会こども獅子舞の出演、うるま市エイサーまつりでの天願獅子舞の出演など、発表の場の創出をしております。今回の獅子舞フェスティバルに関してではありますが、私の考えるところからすると、フェスティバルをやめるというようなことではなく、一旦立ち止まってしっかりと検証をし、さらには、うるま市には15の地域で獅子舞があると伺っております。今は５団体がその活動をしております。しかしながら我々は、このままだと幸喜議員がおっしゃっている地域コミュニティー、さらには多くの伝統芸能を失う可能性もあるということに物すごく危機感を感じているところであります。一旦立ち止まるということは、私は発展的な考えであり、それが後退をするものではないと思っております。今回、いろいろな地域に出向いて、教育委員会がしっかりと寄り添い、膝を交えていろいろな話をしておりますので、来年はすばらしいフェスティバルが開催されるよう、我々も一生懸命、今いろいろなことに対してしっかりと現場の意見、地域の意見を聞いて歩いているところでありますので、今後とも御支援・御指導のほどよろしくお願いを申し上げます。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　今年度は他のイベントで、獅子舞の出演の発表の場を実際に創出していて、次年度以降は庁内関係部局が連携して保存・継承・発展に取り組んでいく。また、一旦立ち止まって、今後、地域の獅子舞保存会をいかに活性化させていくかということの今回は場ということで受け取りました。ぜひとも、この関係団体とも連携強化して、獅子舞フェスティバルを含めた発表の場が充実することを期待しています。

２番目は、障がい福祉ガイドブックについての質問です。令和６年２月議会の教育福祉委員会での令和６年度の予算審査の際に障がい福祉ガイドブック作成事業について質疑があり、「令和４年度に1,500部作成したが、評判がよく、想定よりも早く在庫がなくなった。事業所の名称が変更している箇所などの内容を一部修正した形で、新たに2,000部を増刷する予定である。印刷製本に当たっては、障害者施設の利用も考慮しながら進めることができればと考えている」との答弁がありましたが、本年度の予算に計上されている障がい福祉ガイドブック作成事業の進捗状況を伺います。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　おはようございます。幸喜勇議員の一般質問にお答えいたします。

議員御質問の障がい福祉ガイドブックの増刷につきましては、現在、業務委託事業所選定に係る事務に取り組んでおります。今後につきましては、９月中に市内障害者就労支援事業所を契約相手方とする業務委託契約を締結し、令和７年３月に納品いただく予定となっております。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　今回は市内障害者就労支援事業所を契約相手方とする業務委託契約を締結するとのことで、そこに通う方々の自己肯定感にもつながると思います。来年の３月の納品を今から楽しみにしています。よろしくお願いします。

３番目は、認知症支援についての質問です。地域を見守るミマモライドプロジェクトというものがあります。この事業概要は、タグを持った認知症の方が通常の行動範囲とは異なるエリアの自動販売機の前を通過すると、センサーが保護者にＬＩＮＥで通知。保護者は、その情報を包括支援センターなどとＬＩＮＥで共有して捜索を行います。今年の４月中旬、浦添市内で行方不明になっていた80代男性が数キロメートル離れた隣の宜野湾市で保護されました。午後６時頃、男性が浦添市の自宅からいなくなっていることに家族が気づき、捜索を開始。その後、宜野湾市の国道沿いで男性

が携帯していたある装置が反応し、「おじぃを探知しました」とスマートフォンに通知が届いたとのことで、認知症患者の迷子捜索をスピード解決したのは、まちの自販機だったとテレビのニュースでも紹介されていました。みまもり自販機ミマモライドは、人的・時間的な労力をかけずに地域貢献ができる仕組みで、宜野湾市では73か所、浦添市では20か所、県全体では150か所に設置されているとのことでした。地域によって設置数が異なり、利用者からは多くの地域で設置してほしいとの要望もあるとのことでした。本市でもこのような取組が必要だと思いますが、みまもり自販機ミマモライド導入について伺います。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　幸喜勇議員の一般質問にお答えいたします。

認知症高齢者の見守りについては、道迷いなどの課題があり、御家族関係者も行方不明の際には多大な労力が必要となりますので、議員御提案のシステムについては有効なものと考えております。事業を実施している宜野湾市に伺ったところ、ミマモライドでは通信機器の設置が必要であり、設置に当たっては事業所を含む地域の皆様に事業への理解と協力を得る必要があるため、課題もあり、設置率も芳しくない状況であると伺っております。認知症の方を地域で見守る有効的な方法につきましては、効率的かつ効果的な方策を検討する必要があると考えております。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　みまもり自販機ミマモライドには、設置等での課題があることを確認しました。上江洲区で行方不明者が出たときに、地域外の方も含めて多くの方の協力を得て集中的に約１か月間捜索し、その後もそれぞれの生活の中での捜索をしていますが、いまだに行方不明のままです。今後は、高齢化が進む中、認知症での道迷いが増える可能性があると感じています。本来であれば、御家族の方がＧＰＳ機能のタグを持たせて、認知症になった方を見守る自助努力は大切ですが、地域で連携して捜索しても見つけられないこともあるので、ＩＣＴを活用しての行政での支援体制も必要だと感じています。本市における認知症高齢者が道迷いにより行方不明になった場合に取り組んでいる事業について、お聞かせください。また今後、事業をどのように強化していくのかも併せて伺います。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　幸喜議員の再質問にお答えいたします。

本市では、認知症の方の道迷い等に対応するＳＯＳネットワーク事業を実施しております。この事業は、対象者の方の特徴などを協力事業所等に発信し、地域の協力を得て早期発見につなげる事業となっており、令和５年度のＳＯＳネットワーク事業による捜索の依頼件数は７件で、全て解決に至っております。今後、高齢化の進展に伴い、認知症高齢者も増加の傾向にあります。市では、ＳＯＳネットワーク事業や認知症サポーター養成講座による地域で見守る体制づくりの促進と、講演会や認知症カフェ等による認知症への理解を深める周知啓発等の強化を行いながら、ＩＣＴの活用についても調査・研究を行ってまいります。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　令和５年度のＳＯＳネットワーク事業による捜索の実績件数は、依頼件数分全部の７件となっていることを確認しました。地域の方々の認知症への理解を深め、地域で見守る体制づくり、共助の視点で、ふだんからお互いに顔を合わせていくことは大変重要だと思います。今後も、地域の方々の声に耳を傾けて、サポートしていただき、よい取組が広まることを期待しています。

４番目は、空家等対策計画策定事業についての質問です。令和６年７月に空家等対策計画策定事業の公募型プロポーザルが実施されましたが、その目的を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　幸喜勇議員の一般質問にお答えいたします。

空家等対策計画策定事業につきましては、本市

においても空き家に係る苦情・相談等が多く寄せられていることを受け、空家対策特措法に基づき、空家等対策計画を策定することを目的としております。今回公募した業務は、市内における空家等の分布状況など、その全体的な傾向を探る実態把握調査及び調査結果のデータベース作成業務であります。これは、今後策定を予定している空家等対策計画の基礎資料となるものでございます。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　参加要件は、何を意識して決めているのかを伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　お答えいたします。

本業務は、市内全域の実態を調査することや多くの個人情報を取り扱うことから、類似業務の実績を有することや情報セキュリティシステムの取得等を意識しております。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　契約締結は令和６年９月６日予定となっていますが、応募数と契約の相手方を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　お答えいたします。

応募が１社からあり、株式会社ゼンリンインターマップと契約を締結いたしております。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　市内全域の実態調査をすることや多くの個人情報を取り扱うことから、類似業務の実績を有することや情報セキュリティシステムの取得等を意識しての参加要件になっていましたが、今までに取り組んだことのある大手企業しか対応できないのではないかと感じました。今後、策定を予定している空家等対策計画の基礎資料となるものとありますが、個々の空き家の課題については把握しているはずなので、それを解決するための空家等対策計画になると思います。先に、目的になる空家等対策計画を本市がどのようなゴールを描いているのかを契約の相手方に伝えることで、業務への取組方も変わってくると感じています。提案書の提出前に事前相談期間を設けることで、市の思いや課題を伝えて提案内容に組み込むことができ、提案の精度を高めることができた事例もあり、何度も提案事業者と対話できる環境を整え、提案事業者と市の双方の思いやリスクを確認できる体制が必要だと思いますが、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　再質問にお答えいたします。

空家等対策計画の策定には、まず市内全体の傾向を把握することが必要であり、これにより市が取り組むべき課題が見えてくるものと考えております。今回の公募要件は、小規模事業者が参入しにくいものではございましたが、業務内容からして妥当であったと考えております。また、今回の調査結果を基に空家等対策計画の方向性を検討していきたいと考えており、議員御提案の体制づくりにつきましては、空家等対策計画の方針を踏まえ、事例の収集・調査をしてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　令和６年６月議会の答弁では、今後行う実態調査や、今後公表される令和５年度住宅・土地統計調査の結果等を踏まえ、次年度以降に空家等対策計画を策定するとのことですが、いつ頃予定しているのかを伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　お答えいたします。

来年度の予算及び実施計画は未確定ではございますが、現時点では令和７年度着手、同年度内の完了を目指しております。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　令和７年度着手、同年度内の完了を目指していることを確認しました。空家等対策の推進に関する特別措置法第16条には空家等対策計画について規定されています。本市はもちろん、全国における空家等の課題は、国民

や市民の財産権を保全する結果、行政が空き家の取壊しができるという代執行のハードルが高くなるため、全国のほとんどの空き家は活用しなければならない対象となっていると感じています。しかし、空き家の実態は、取壊しまではできないものの草木に覆われていたり、仏壇が置かれて、所有者がお盆等の時期に利用したりするだけの物件となっています。空家等対策の推進に関する特別措置法第15条に規定する市町村の空家等及び空家等の跡地の活用等は、市町村の努力義務となっています。それを実現するためには、空き家対策総合支援事業により、市町村等に対して効果的な支援を行うための要件になっている同法第16条の空家等対策計画の策定が急務であると感じています。国土交通省の令和６年３月31日時点の調査では、全国1,740市区町村のうち、空家等対策計画は1,501市区町村の86％が策定しているとのことです。中村市長のこれまでの様々な取組を見ていますと、感動産業特区の取組等、法に規定されていない取組まで、うるま市民のため、大変積極的に取り組んでいます。空家等対策を推進するために、これから近い将来に空き家になる物件を所有する市民に対しても、空家等対策計画は早めに策定すべきだと考えますが、中村市長の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　幸喜勇議員にお答えをいたします。

適切な管理が行われていない空家等については、全国的にも重要な問題となっており、その危険の除去を最重要課題として、空家等対策計画は早急に策定すべきであると認識をしております。さらに、先ほど来から幸喜勇議員がおっしゃるとおり、全国的な問題になっているということは認識をしております。しかしながら、空き家の対策と言われまして、その中身を我々に照らし合わせていきますと、やはり今は災害が多いこの日本国でありますので、沖縄県もしかりであります。そういったところで、津波・地震・台風というところで、空き家がどのような管理をされているのかということを我々もしっかりと調査をして、危険性の除去というようなことに対して、まずはしっかり対策を行っていきたいなと思っております。その後に、対して家主・地権者がおりますので、そこをどのように活用するのか、どういうことなのかということもしっかりと考えていかなければならないということではあります。しかしながら、人口が減少している島しょ地域であったり、そういったところも我々はしっかりと見ておりますが、この部分に対して、移住・定住的なものの事業も活用していきたいということではありますけれども、その空いている持ち主の方々にそのお話しをしてもなかなか前に進まない例が多くて、そういった問題も含めながら、今後はこういった空き家の対策というようなことに関しては、まずは危険の除去をさせていただきたいなと思っておりますので、その計画づくりにまた今回の一般質問も反映してまいりたいと思っておりますので、御理解のほどよろしくお願いをいたします。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　この４番目の質問は、次の最後の質問の公民連携の取組につなげるための前段階の質問でもあります。現在のうるま市では、何度も提案事業者と対話できる環境を整えておらず、公募型プロポーザルが実施されて、参加要件で一部の大手企業だけの応募で締結する可能性があり、県内や市内の業者のアイデアを集める仕組みになっていないのが現状だと感じています。

それでは最後の質問、公民連携の取組について伺います。中村市長が議員時代に、会派の視察で共に学んだ三重県桑名市で取り組んでいる公民連携の仕組みを令和２年２月議会でも、本市でも取り組んでもらえないかと前市長のときに提案しましたが、まだ仕組みがないのが現状です。本市にも必要な取組だと感じていますので、再提案します。まずは、本市の現状を確認しながら進めていきます。中村市長になってからの公民連携の取組を伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　幸喜勇議員の御質問にお答えいたします。

自治体における官民連携の取組につきましては、市民に対しまして、より効果的・効率的な公共サービスを提供するため、民間事業者が有する技能やノウハウ、資金などを活用するものとなっておりますが、本市におきましても、これまで指定管理制度の導入、事務のアウトソーシング、連携協定のほか、様々な分野で官民連携の取組を実施しております。中村市長就任後の令和３年５月以降におきましては、さらに民間活力の積極的な活用に取り組んでおり、新石川調理場整備運営事業、勝連城跡周辺整備事業におけるＰＦＩ制度の活用、水素の地産地消体制の構築や市民の健康増進の取組など、まちづくり分野における連携を目的とした７件の包括連携協定の締結、その他災害協定やイベントにおける民間事業者との協働など、官民連携の取組がございます。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　市税や地方交付税などの使い道が自由な一般財源に対して、必ず支出しなければならない経費の割合を経常収支比率といいますが、本市の過去５年の経常収支比率の推移をお聞かせください。また、財政健全化するための本市の取組も併せて伺います。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　幸喜勇議員の質問にお答えいたします。

本市の過去５年間の経常収支比率の推移は、令和元年度92.6％、令和２年度93.8％、令和３年度91.3％、令和４年度92.2％、令和５年度は96％となっております。なお、経常収支比率が増加となった理由としましては、人事院勧告や会計年度任用職員の処遇改善等に伴い、人件費が増加となったこと、障害者自立支援給付事業や生活保護費などの扶助費が増加したことなどが主な要因でございます。

次に、財政を健全化するための本市の取組といたしましては、持続可能な財政運営を実現するため、歳入では主に市税の徴収強化、市有地における遊休地等の売却、ふるさと納税の取組の強化などの取組を進めているところでございます。歳出につきましては、維持管理コストの縮減としまして、公共施設のＬＥＤ化や公用車一括管理による車両台数の削減など、経常経費の圧縮に努めているところでございます。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　財政健全化するための取組をしていることと、令和５年度の経常収支比率は外部的な要因もあって、前年度より3.8ポイント高くなり96％になっていることを確認しました。経常収支比率の割合が高いほど、市が自由に使うことができるお金が少ないことになりますので、それを踏まえて提案させていただきます。社会情勢の変化に伴い、人口減少問題、高齢化社会など市の将来を見据えた現実的な対応が急務であり、加えて市民の価値観も多様化し、行政のみで全ての公共サービスを維持することが困難になってきています。国土交通省が官民連携での先進事例で紹介した資料によりますと、三重県桑名市では行財政改革の取組として、行政の持つ「ヒト・モノ・カネ」の限られた資源を無駄なく最適に配分・活用し、効率的に事業を行うことを心がけていますが、これだけで行政サービスを維持していくことは非常に困難な状況で、経常収支比率が平成26年度に99.7％となりました。財政の健全化を目指して持続可能なまちづくりを進めるため、従来の考え方にとらわれず、民間事業者等の力を積極的に活用した市民サービスの実現を目指す公民連携の考え方を取り入れ、民間事業者等と役割分担をしながら協力し、民間事業者等の資源やノウハウ、アイデアの活用に積極的に取り組んできたとのことです。桑名市の社会課題・地域課題の解決を目指し、民間事業者等からのユニークな発想やアイデアを活用するために、公民連携ワンストップ対話窓口コラボ・ラボ桑名では、主に、１、事前に民間事業者等の皆様から広く意見・提案をいただく「対話」を通して市場を把握するサウンディング調査を実施することもあるテーマ型提案。２、民間事業者等の皆様から自由な提案をいただく制度で、歳出削減・歳入確保・市民サービスの向上に係る提案。原則、市に新たな財政負担を生

じさせないフリー型提案。３、市と民間事業者等の皆様双方の強みを生かして、協力しながら、福祉・環境・防災・まちづくりなどの課題解決に対応するための大枠を定める包括連携協定等を募集しています。また、令和元年度からは公民連携の推進によるさらなる市民サービスの向上、地域活性化を図るため、民間事業者等のインセンティブを強化した新フリー型提案の募集を開始しています。桑名市が民間活力に取り組んで分かってきたことは、行政の思いとしては、１、先進事例を参考にしてもうまくいかない。２、行政から提案募集して民間が対応する提案制度の企画設計の限界があるとのことでした。民間事業者の思いとしては、１、どこの窓口に行けばいいのか分からない。２、いつでも自由に提案したい。３、事業の企画段階から携わりたいとのことで、公民連携、対話の場を創出したとのことでした。公民連携ワンストップ対話窓口コラボ・ラボ桑名では、係長以下２人で対応して、重要施策の調整・実行、公民連携による事業を推進しているとのことです。官民対話がうまくいかない５か条には、１、要求水準に要望を記載しすぎて、民間事業者の自由度を抑制してしまう職員の知識や経験不足。２、庁内の横連携ができていない縦割り行政。３、市と地域住民の対話が不十分な合意形成の不足。４、市のビジョンが示せずに、サウンディングが目的になり、本来の目的が達成できない行政の目的設定が不十分。５、市民・行政への継続的サポートがない提案事業者がノーリスクを挙げていました。官民対話の心構え５か条には、１、前例踏襲。事例がないから断るなど、固定概念にとらわれない。２、行政側が最初から民間ノウハウを阻害しては駄目で、民間ノウハウを最大限生かす。３、どんな内容でも対話することを意識して、提案・対話は断らない。４、対話や提案に来てもらえるような関係を築き、提案事業者を大切にする。５、双方が同じ目的に向かってサービスを提供することを意識して、行政と民間の壁を壊すことを挙げていました。平成28年度から令和４年度までの合計218件の提案件数に対して、実現したのは67件で、約３分の１が民間に負けないスピード感で実現しています。経常収支比率が最も高かったのは平成26年度の99.7％で、コラボ・ラボ桑名を開設した平成28年度から５年連続で改善して、13.9ポイント改善し、令和３年度には85.8％になったとのことで、財政の健全化にもつながっていました。民間事業者等と行政をつなぐパイプ役としての知恵とノウハウを結集して、新たな解決方法、新たな価値を創出する公民連携ワンストップ対話窓口の導入が本市でも必要だと感じていますが、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

官民連携の取組につきましては、各分野において様々な手法がある中、本市におきましては包括連携協定などの分野横断的となる取組を総括する窓口を設置しており、個別の分野における連携につきましては、個別具体的に効果的な手法が検討できるよう、それぞれの担当部署において取り組んでいるところでございます。議員御提案の公民連携ワンストップ対話窓口の導入につきましては、官民連携の手法が様々であることや、本市の各分野におけるこれまでの取組への影響などを踏まえて一元化することの効果を検証の上、検討すべきものと考えております。官民連携の取組が、市民に対してより効果的・効率的な公共サービスを提供するものであることから、議員御提案の公民連携ワンストップ対話窓口の導入可能性も含めて、さらなる官民連携推進の方策について検討した上、取り組んでまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　中村市長におかれましては、市長就任後からいろいろな行政改革を進めています。共に学んだ三重県桑名市の公民連携ワンストップ対話窓口の事例を紹介しましたが、本市の財政の健全化につなげるためにも、民間の有益なアイデアを本市に集める仕組みは大変重要な視点だと感じていますが、中村市長の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　幸喜勇議員にお答えをいたします。

私は、まちづくりは人づくりであり、行政が一方的に提示するものではないと考えております。住民からいろいろなことを引き出し、互いに責任を持つ形が理想であると考えております。そのため、就任直後から自治会や市民団体、企業などに直接出向いて、多くの意見を拝聴しております。地域の課題解決に今後も努力をしてまいりたいと思います。さらに、地域課題が複雑化・多様化する中で、官民連携の取組が公共サービスをより効果的・効率的なものにし、持続可能なまちづくりに資するものであると認識もしているところであります。議員御提案の公民連携ワンストップ対話窓口も参考の上、本市の実情に合致した推進体制を検討し、さらなる官民連携の取組を推進してまいりたいと思います。御理解のほどよろしくお願いを申し上げます。

○副議長（藏根　武）　幸喜勇議員。

○１１番　幸喜　勇議員　中村市長自身も直接御意見を伺い、地域課題の解決につなげていることを確認しました。公民連携ワンストップ対話窓口をつくることで、市民の皆さん、民間企業の皆さんがアイデアを提供する場をつくり、市民の皆さんの課題解決やサービスの充実につながるよう、同じ目的で取り組むことで、本市の実情に合致した推進体制を構築することができると思います。公民連携ワンストップ対話窓口も参考の上、本市の実情に合致した推進体制を検討し、さらなる官民連携の取組を推進していくとのことなので、民間の有益なアイデアを集める仕組みができることを期待しています。

今議会も現状を確認し提案しましたが、中村市長をはじめとする執行部の皆さん、今後とも市民サービスにつながるよう、よろしくお願いします。これにて私の一般質問を終わります。

○副議長（藏根　武）　暫時休憩します。

休　憩（１１時００分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時１５分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　執行部の皆様、議員の皆様、市民の皆様、こんにちは。執行部には時には厳しく、市民には常に優しく、見た目はやんちゃ、心はカスミソウの花言葉の持ち主であります会派新政クラブの糸数昌宗です。それでは議長の許可を得ましたので、一般質問を始めます。大きい項目、事前に６点通告していますので、当局の簡明な御答弁をよろしくお願いいたします。

それでは１番目に、クーリングシェルターについて伺ってまいります。うるま市では、熱中症対策強化のため、熱中症特別警戒情報が発表された場合に、冷房設備を有する等の要件を満たす施設を申請に基づいてクーリングシェルターとして指定されておりますが、クーリングシェルターとして指定される施設の基準と、またその基準がどのようにして決定されるのか、具体的なプロセスを教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　糸数議員の一般質問にお答えいたします。

クーリングシェルターとは、令和６年４月１日より施行された改正気候変動適応法に基づき、暑さをしのげる場所として市町村が指定した施設のことで、施設の基準としましては、国が示す指定暑熱避難施設の指定・設置に関する手引きに基づき、適当な冷房施設が備わっていること、熱中症特別警戒情報が発表されたときは、開放可能日時において市民に開放することができること、市民が滞在のために適切な空間を確保すること、本市と施設等の管理者の間において別に定める指定及び運用に関する協定を締結し、施設管理者がその内容を履行できることの条件を満たす施設であることとなります。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　現在、うるま市内に指定されているクーリングシェルターの数と、その場所はどれくらいありますか。また、市内全域をカバーできていると考えていますか、伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

現時点で本市が指定した施設は、うるま市役所本庁舎（東棟・西棟）、石川保健相談センター及びあまわりパークの４か所を指定しております。また、現在の指定数では市内全域をカバーしている状況にはないため、今後も公共及び民間施設を含めて指定数を増やしてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　クーリングシェルターの利用状況について、これまでの実績を教えてください。また、市民への周知方法についても詳しく教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

クーリングシェルターの利用状況につきましては、これまで沖縄県において熱中症特別警戒情報が発表されておらず、シェルターとしての開設実績はございません。また、市民への周知方法につきましては、ホームページにおいて施設名、開放日（時間）、受入れ可能人数（定員数）及び注意事項を掲載しております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　クーリングシェルターの維持管理にかかる費用はどのようになっているのか、市内の予算内でどの程度の割合を占めているのかも教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

クーリングシェルターにおいては、通常運営されている施設を指定しておりますので、クーリングシェルターとしての維持管理費等の直接的な経費はなく、予算等の追加もございません。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　クーリングシェルター以外に、うるま市が取り組んでいる熱中症予防のための対策について教えてください。特に高齢者や子供など、リスクの高い人々に対する特別な対策があるのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

現在取り組んでいる対策としましては、広報紙、ホームページ、ＬＩＮＥによる広報、防災行政無線を利用した広報、大型ビジョンを活用した広報などにおいてエアコンの適切な利用、こまめな水分・塩分補給などの周知を行っております。また、熱中症による救急搬送状況をホームページに掲載し、注意喚起も行っております。高齢者や子供など、リスクの高い人々に対する特別な対策につきましては、基本的な対策を徹底しながら、症状が気づかれにくい特徴があるため、見守りや声かけが大事であると考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　クーリングシェルターに関する市民の意見や要望は、どのように収集し、反映されているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

これまで、市民の御意見・御要望を収集する機会がございませんでしたが、制度を運用する中で今後検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　市民の意見や要望を収集する機会がこれまでなかったとのことですが、クーリングシェルターのような重要な施策においては、早期に市民へ周知し、声を反映させることが重要だと思います。また、うるま市消防本部によると、７月１日から９月８日までに熱中症救急搬送、これは疑いも含みますが、69人搬送されております。ぜひ、このクーリングシェルターを多くの市民へ周知していただき、１件でも熱中症患者を出さないよう、周知徹底のお願いを申し上げ、次の質問に移ります。

大きい項目２、市道石川68号線について伺って

まいります。市道石川68号線について、令和４年12月第165回定例会、令和５年６月第168回定例会、令和５年12月第171回定例会において、市道石川68号線について全面舗装、拡幅工事などを依頼してきましたが、令和５年12月第171回定例会の執行部の答弁では、令和６年度に交通量調査を実施すべく、関係部局と予算に関する協議を行っていると答弁しておりますが、現在どのようになっているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　糸数昌宗議員の御質問にお答えいたします。

市道石川68号線交通量調査につきましては、本年７月に調査を実施しております。現在、調査結果を踏まえた概略設計業務の発注準備を行っているところでございます。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　７月に実施された交通量調査の結果について、詳細な報告を伺います。また、概略設計業務の発注後、次の段階として具体的にどのような工事計画が検討されているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質問にお答えいたします。

交通量調査につきましては、平日の午前７時から午後７時まで12時間実施しており、交通量の内訳は大型車36台、乗用車817台、二輪車19台、自転車17台、歩行者18人という結果となっております。今後の整備計画といたしましては、概略設計業務により当該地区にふさわしい道路構造の検討及び整備に要する概算事業費の算出を行う予定でございます。その成果を踏まえ、事業費に応じた国庫補助等の財源確保による整備検討や、現在実施中である道路事業の進捗状況等を総合的に勘案し、道路整備の検討を進めてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　交通量調査結果に基づいた具体的な内訳を伺い、今後の整備計画に関しても概略設計業務を踏まえた内容を御教示いただきました。特に大型車や乗用車の割合が顕著であり、今後の道路整備に向けた重要なデータとなることが理解できました。また、財源の確保に関しても国庫補助金の活用を視野に入れている点も、実現可能な事業推進のための適切なアプローチだと思います。この市道石川68号線については、約15年前から多くの議員が質問されております。やっと一歩前進できたのではないかなと思っております。今後の進捗についても引き続き注目してまいりますので、次の質問に移ります。

議長、休憩をお願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１１時２５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時２５分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　大きい項目３、石川庁舎周辺の利活用推進について伺ってまいります。計画地における誘客戦略について。沖縄本島の中央に位置するという交通アクセスのよさを生かして、市内への誘客を増やすための具体的な施策について伺います。また、観光客や市内に取り込むためのマーケティングやプロモーション活動の計画についても教えてください。さらに、現在の誘客状況と新しい計画による目標誘客数を比較したデータがあれば、お聞かせください。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　糸数昌宗議員の御質問にお答えいたします。

石川庁舎周辺の利活用推進に関するプロジェクトにおきましては、メインターゲットを市民、県民に定め、サブターゲットを県外観光客として新たな滞在拠点の形成を目指しております。今年度は、計画をより具現化し実現可能なものとするため、民間事業者とのサウンディング調査並びに地域と連携したまちのにぎわいに資する実証イベントを実施する予定でございます。御質問の内容につきましては、今年度の成果を踏まえ、今後具体

的な取組や成果指標などを検討していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　石川地域の市民文化・地域資源の活用について伺ってまいります。石川地域の市民文化や地域資源が十分に活用されていない現状について、具体的な課題をどのように分析しているのか教えてください。また、市民文化や地域資源を活用するための具体的な施策やプログラムは計画されているのか。さらに、地元住民や地域団体との協働はどのように進められているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

石川地域には戦後、沖縄の政治、経済、文化、芸能の拠点として発展した経緯を背景に、地域への誇りや愛着を持つアイデンティティーの根強さや闘牛文化が色濃く残っておりまして、石川ビーチをはじめとする地域資源も豊富であると認識しております。課題といたしましては、それらの資源をまちのにぎわいに生かせていない現状がございますので、まちづくりとうまく連動させる視点や取組が重要であり、地域で活動する事業者や住民が持つ地域への思いをまちづくりに反映するための実証イベントを開催するなど、地域とのコミュニケーションを通して、まちづくりを推進していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　石川庁舎周辺の公共施設の今後の在り方について伺ってまいります。既存公共施設の老朽化が進んでいるとのことですが、具体的にどの施設が対象となっているのか。また、公共施設の今後の施設の在り方について、その具体的な内容を教えてください。さらに公園、ビーチ、埠頭用地の利活用に関する具体的な計画がどのように進んでいるのかについてもお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

石川庁舎周辺の老朽化が進行している公共施設につきましては、石川庁舎、石川会館、石川保健相談センター、石川体育館、石川野球場、石川プール、石川テニス場の７つの施設がございます。どの施設も建築から30年以上が経過し、公共施設等総合管理計画では、重複している施設の集約化や異なる機能との複合化などが基本方針として示されておりますので、公共施設等マネジメント検討委員会で今後の在り方を検討し、まちづくり計画の中に反映していきたいと考えております。

次に、公園やビーチ、埠頭エリアにつきましては、施設管理者との協議、さらには民間事業者の参入意向を踏まえ、今後の利活用の方向性について検討していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　石川庁舎周辺の導入機能、サービスについて伺ってまいります。レクリエーション、食、滞在、交通といった導入機能の選定基準について教えてください。また、これらの導入機能が地域の活性化にどのように寄与するのかについての考えをお聞かせください。さらに、導入機能に関して、既存の施設やサービスの競合や重複の可能性についてどのように評価しているのか教えてください。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

導入機能につきましては、市民アンケートやワークショップ、事業者サウンディングなどを通じ、様々な意見を多角的に捉え、計画に落とし込んでおります。また、石川インターチェンジ周辺と庁舎周辺の各エリアのターゲットを明確化し、石川インターチェンジを玄関口として、通過するだけだった人々をワンストップさせる新たな拠点を形成し、そこから地域内へ人々を誘導し、その効果を面で波及させるような導入機能として選定してまいりました。今年度は、地域住民のニーズ、社会情勢や市場性などの事業者意見並びに実証イベントの結果を踏まえながら、総合的な評価を通じて導入機能を絞り込む必要があると考えております。

次に、既存施設やサービスとの重複につきまし

ては、競合と捉えるのではなく、相乗効果によりエリア一帯のにぎわいにつながるよう、地域とのコミュニケーションや実証イベントなどの協働の取組を通して検討していく予定でございます。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　野球場の撤去について伺います。モデルプランでは野球場が撤去されることについて、その具体的な理由を教えてください。また、撤去に伴い、地域のスポーツ活動にどのような影響があると考えているのか。さらに、野球場の代替施設やスポーツ活動の継続を支援する計画があるかについてもお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

昨年度の調査におきまして、市民アンケートやワークショップ、事業者サウンディングからの意見を通じ、海への眺望を確保したプランとして提案させていただいたもので、今年度はさらに詳細なモデルプランについて検討していきたいと考えております。一方で、既存の公共施設の在り方につきましては、まだ方向性が決定しておりませんので、現在の対象地内に機能として残す方法や周辺への配置及び代替施設の在り方などを含め、公共施設マネジメント検討委員会で総合的に検討していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　今後、石川庁舎周辺の利活用推進に向けて、環境負荷の低減や持続可能性を考慮した設計・計画について、どのように進めていますか。また、老朽化した施設を再利用することで、新たな地域コミュニティーの形成を目指すアイデアがあれば教えてください。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

石川庁舎周辺の利活用につきましては、基本的に民間の資金やノウハウを十分に活用できる公民連携によるエリア開発を前提とした計画でございます。設計・計画における環境負荷の低減につきましては、脱炭素化の推進方針を踏まえ、取り組んでいくべき内容だと考えております。また、老朽化した施設の再利用につきましては、希望する施設があるのかを民間事業者へのヒアリングを通じて判断していきたいと考えておりますが、これまでのサウンディング調査では、多くの事業者が建物を撤去した上での開発について興味を示しているところでもございます。今年度の調査において、最終的な確認を含め、施設の再利用につきましても引き続きヒアリングしていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　老朽化した施設の再利用に関しては、石川市民の思いや民間事業者の意見を十分に取り入れつつ、再利用が可能な場合はその利点を最大限に生かし、新たな地域コミュニティー形成を目指すことが考えられます。例えば、コミュニティセンターや創造的なスペースとしての再利用が地域住民のつながりを強化する一助となり得ます。ただし、これまでの調査により、多くの事業者が建物の撤去を希望していることも踏まえた柔軟な対応が求められますので、引き続き市民に寄り添ったヒアリング等を実施していただきたいと思います。

大きい項目４、うるま市の畜産業について伺ってまいります。これまでに畜産業から提出されている要望書の内容について教えてください。また、畜産業からの要望や課題、問題点をどのように改善していく予定なのかについてもお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　糸数昌宗議員の一般質問にお答えします。

令和６年１月30日付で、中部地区和牛改良組合うるま支部より、家畜ふん尿の運搬費の助成に関する要望書が提出されております。これまで、株式会社沖縄有機において無料で家畜ふん尿を引き取っておりましたが、燃料費の高騰などにより資金繰りが厳しくなってきたことから、今年度より運搬費の有料化を実施したため、その費用負担軽減について要望書が提出されております。畜産業の課題や問題については、家畜飼料の高騰や子牛

競り価格の下落、家畜ふん尿の処理問題等がありますが、これらの諸問題について、農家やＪＡ、その他関係機関と情報を共有し経営改善に向けての協議・調整を行い、県や各関係機関に対してアドバイスを求めるなど、経営改善などに資する事業計画案を検証しているところでございます。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　運搬費の有料化によって、畜産農家に負担がかかっている状況です。市として、運搬費の軽減に向けてどのような具体的な支援策を検討しているのか。また、燃料費の高騰の長期化を考慮した中長期的な対策について、市や県の補助金活用の可能性があるのか伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　再質問にお答えいたします。

運搬費の有料化について、運搬される家畜ふん尿の搬送量を減らしていくことが中長期的な対策や改善になるものと考えております。各農家が家畜ふん尿の堆肥化に取り組むことを要件に、運搬費等の支援が可能か、財源の確保も踏まえ、現在検討しているところであります。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　子牛競り価格の下落が畜産農家の収入に大きく影響を与えていますが、この問題に対してどのようなマーケティング戦略や価格支援策が考えられているのでしょうか。また、地域ブランドの確立や付加価値を高めるための取組が進められているのかについても教えてください。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　再質問にお答えします。

子牛競り価格の下落について、令和元年の新型コロナウイルス感染によるコロナ禍で、外出制限等による牛肉の消費が急激に落ち込んだことなどが子牛競り価格の下落の要因の一つであると伺っております。子牛の競り価格を改善させる解決策については、農家をはじめとする関係機関から情報収集をしながら、行政の対応策を検討したいと考えております。競り価格の下落により農家経営が著しく悪化している状況から、令和４年度より家畜飼料価格高騰対策緊急支援を実施し、畜産農家経営の負担軽減対策に努めているところでございます。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　今後も各関係機関との連携を強化し、持続可能な畜産業の発展を支えるために、適切な支援策を実施していただきたいと思います。

続きまして、８月１日に会派のメンバーとうるま市の畜産農家、琉球大学の教授と共に石垣島と西表島で循環型農業に関する視察研修を実施しました。視察先である西表島農業青年クラブが行っている堆肥舎整備と牛ふん堆肥づくりの取組を紹介します。この取組では、自治体のサポートを受けて堆肥舎を建設し、畜産農家と連携して牛ふんを処理し堆肥化しています。これにより、土壌の改良、化学肥料の削減、コストダウンが実現されています。私たち地域において、畜産農家からふん尿の処理に困っているとの声があり、家畜排せつ物の処理が適切になされなければ、環境への影響や悪臭、地下水汚染などのリスクが高まります。これらの問題を解決するために、次の効果を期待できる堆肥舎の建設を提案します。期待できる効果として、１つ目に環境保護として悪臭軽減と地下水汚染防止、２つ目に資源活用として持続可能な農業の推進、３つ目に地域経済活性化と農業生産の向上、４つ目に技術支援と教育として琉球大学の協力による技術支援と教育。この堆肥舎の建設を進めることで、地域農業の未来を支える重要な基盤を築くことができると考えています。そこで、当局におかれましてはこの提案に基づき、堆肥舎の建設に向けた具体的な計画を進めていただけるようお願いいたします。どのような御見解をお持ちか、ぜひお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えします。

家畜排せつ物の処理については、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律によ

り、営農の一環として農家自身で適切に処理しなければならないと定められており、実際に個人で積極的に堆肥化に取り組んでいます農家もいらっしゃいます。しかしながら、物理的かつ経済的に堆肥化に向けた対応が厳しいと農家からの声があることから、市の附属機関として設置しました、うるま市循環型農業推進協議会において、様々な問題解決に向け協議を重ねているところでございます。協議の内容としましては、国などの補助金を活用した共同堆肥舎の設置にかかる費用の補助、個人または複数人による堆肥化の推進に必要な施設及び機械類の購入に要する費用の助成などを検討すると同時に、堆肥化に必要な知識や技術支援及び運営方法や、実際に堆肥化した堆肥の出口戦略等を検討しております。畜産農家においては、家畜ふん尿の適切な処理が農家の責務であると認識してもらった上で、ＪＡや各種関連団体と連携を図りながら、市としても積極的にサポートしてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　市が循環型農業推進協議会を通じて、堆肥舎の建設や堆肥化設備の補助、知識や技術の支援に向けた協議が進行している点は、地域の課題解決に向けた前向きなステップだと評価できます。また、農家の責務という枠組みを認識しつつ、ＪＡや関連団体との連携強化を図り、適切なサポートを行う姿勢も重要です。今回の提案に基づく共同堆肥舎の建設は、地域の畜産業の環境保護を両立させるための重要な施策であり、特に悪臭軽減や地下水汚染の防止、資源活用の観点からも期待が持てるものです。さらに、技術支援や出口戦略についても具体的な検討が進められているとのことで、これらの取組が円滑に進むことが地域農業の未来を支える基盤になると確信しております。引き続き、農家や関連団体との対話を重ねながら、具体的な計画が策定されることを期待し、地域全体で持続可能な農業を推進していくことを目指してほしいと思います。御答弁いただいた内容に関して、さらなるサポートや具体的な進展がありましたら、御報告を楽しみにしております。

最後の５、防災行政について伺ってまいります。2024年８月８日に発生しました日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震を受けて、南海トラフ沿いでの後発地震の可能性が高まったことから、同日午後７時15分に南海トラフ地震臨時情報が発表されました。この状況を受け、うるま市ではどのように市民への啓発活動を行いましたか。具体的には、どのような媒体を利用し、どの時間帯にどのような内容で実施されたのか。また、市民の意識向上のために講習会や説明会が行われたのかについて伺います。さらに、どの程度の市民に情報が届いたと考えているのか。また、高齢者や障がい者など情報入手が困難な市民に対して、各部署がどのような配慮を行ったのかについてもお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　糸数昌宗議員にお答えいたします。

先日の気象庁等による南海トラフ地震臨時情報の発表を受け、本市でも国が呼びかけた期間を目安とした８月９日から８月15日までの１週間、午後３時及び午後６時半の１日２回にわたり、地震及び津波への備えにつきまして、防災行政無線放送での呼びかけや同放送と連動した防災アプリでの注意喚起を行いました。そのほかにも、ホームページやＬＩＮＥ及び市内４か所の大型液晶ビジョンなど、市のあらゆる媒体を活用し周知を行ったところでございます。また、高齢者や障がい者など、災害時の緊急情報入手が困難な要支援者の方々につきましては、市の関係部署を通し、直ちに市内の高齢者関連事業所及び障がい者関連事業所等への避難について一斉伝達をしたほか、社会福祉協議会を通して各支援団体へ一斉に連絡を入れており、御自身たちの避難を優先にしながらも要支援者へ避難情報が届くよう、配慮もお願いしたところでございます。なお、南海トラフ地震臨時情報につきましては、本市からの注意喚起のほかにもＮＨＫや民間テレビ、ラジオ、ニュース等でも頻繁に取り上げられていたため、多くの

市民に情報が行き届いていたものと推察しておりますが、どの程度市民に情報が届いたのか、具体的な割合等の数値については把握は困難と考えております。また、市民の意識向上のための講習会や説明会を行ったのかということにつきましては、地震や津波に関する防災意識の啓発を目的に、９月２日には県内を中心に活動を行っている方を講師に迎え、自治会長などを対象とした防災講座を実施したところでございます。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　うるま市では、第５編南海トラフ地震防災対策推進編を策定しているとのことですが、今回の地震を受けて、市としてどのような対応や対策を実施しましたか。その中で特に重視した点や課題があれば教えてください。また、南海トラフ地震に関する市の防災計画の具体的な内容、他自治体や国との連携状況についても伺います。これまでに浮かび上がった課題や、今回の地震を踏まえた今後の防災対策の強化方針、市民の防災意識を高めるための新たな取組についてもお聞かせください。併せて、計画されている訓練やシミュレーションの内容、その目的や期待される効果についても教えてください。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

市地域防災計画における第５編南海トラフ地震防災対策推進編では、臨時情報等が発表された場合、地域住民に対し日頃からの地震の備えを再確認するなど、防災対応を取る旨を呼びかけるものと位置づけられており、さきの答弁のとおり、その周知徹底を図っております。南海トラフ地震における本市への影響は津波による被害が予想されておりますが、地域防災計画上における具体的な対策等については、ほかの地震・津波への対応と同様なものとなっております。また、他自治体との連携につきましても、現在友好都市を締結しております盛岡市並びに宇都宮市との間で、災害時における相互応援に関する協定を締結しており、お互いの市が被災した場合の食料、飲料水等の生活物資の提供や医療活動や防疫活動に関する応援などを実施する内容となっております。なお、課題といたしましては、各関係機関とのスムーズな連絡体制の構築や市内各所での交通渋滞、避難場所と避難所の区別が浸透していない点などがあると認識しております。これらの課題につきましては、今後自主防災会や自治会などの関係団体と防災講習会、避難訓練等を通し、さらなる情報の共有や連携の強化を図るとともに、広報紙や市ホームページ等を活用し、市民への情報提供や意識啓発を図ってまいりたいと考えております。また、交通渋滞につきましても基本的には徒歩での呼びかけを継続するとともに、州崎地区をはじめとした企業の皆様、所轄の警察署や消防、その他の関係機関との意見交換を踏まえ、改善に向け取り組んでまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　防災用品の整備状況や避難所の準備はどのように進められていますか。現在の進捗や課題についても伺います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

現在、市が指定避難所としている施設につきましては27か所ございますが、これらの避難所用防災用品につきましては、毎年度予算の範囲内で順次購入を進めており、令和５年度末現在、簡易テント、更衣室が130張、簡易ベッドが90台、簡易トイレ101個、備蓄毛布が500枚（後に「5,000枚」に訂正。）となっております。なお、現時点では整備数が足りておらず、今後具体的な基準を定めた整備計画を策定し、購入などを進めていく必要があるものと考えておりますが、そのための予算や保管場所などの確保が課題となるものと想定しております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　教育機関との連携による防災教育の強化について、どのような取組が行われていますか。具体的な活動内容を教えてください。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。
学校をはじめとした教育機関との連携につきましては、新型コロナの影響により中断されておりましたが、津波避難訓練を地域の自主防災組織と協力・連携し、11月上旬に実施する方向で取り組むとともに、児童・生徒の避難に当たる学校の先生や市内の保育事業者向けの防災講座を９月下旬に実施する予定としております。
○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。
○３番　糸数　昌宗議員　市内企業や地域コミュニティーとの連携はどのように進められていますか。防災における彼らの役割強化について伺います。
○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。
現在、市内の全ての自治会で自主防災組織が構成されており、市ではこれらの自主防災組織の強化や活動支援を行っておりますが、これらの自主防災会につきましては、それぞれの地域における共助の中心的役割を担えるよう期待しているものでございます。なお、防災面における市内企業との連携につきましては、これまでなかなか進んでおりませんでしたが、現在、市で実施を予定しております11月上旬の大規模避難訓練に市内企業、事業者の皆様に参加していただけるよう、経済産業部と協力して呼びかけているところでございます。
○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。
○３番　糸数　昌宗議員　次に、通信インフラの強化について伺ってまいります。令和５年12月第171回定例会にて、企画部参事よりスターリンク導入に関して、今後、調査・研究等を図り、関連部署と協議を重ねて必要な措置を講じてまいりたいと考えておりますと答弁しておりますが、現在の進捗状況をお伺いします。
○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。
衛星通信サービス、いわゆるスターリンクの導入につきましては、昨年度の実施計画等で事業化の検討を行ったところでございますが、費用対効果などを考慮し、今年度は予算化を見送っております。
○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。
○３番　糸数　昌宗議員　南海トラフ地震のリスクが高まっている現在、うるま市では地震発生時の通信インフラの脆弱性についてどのように評価していますか。また、通信インフラの強化策としてスターリンクの導入を検討しているのか、その計画について教えてください。さらに、スターリンク導入が地震発生後の迅速な情報伝達や市民の安全確保にどのように貢献するのか、具体的なメリットについてもお伺いします。
○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。
スターリンクにつきましては、現時点における本市での導入計画はございませんが、実際に沖縄県や石垣市をはじめ、既に多くの自治体で導入されていることから、大規模災害時等における通信インフラの確保という観点からは非常に有効な手段だと認識しております。なお、スターリンクが導入できた場合は、既存の通信インフラが大規模災害等で遮断された場合でも、インターネットを介した情報収集や情報発信が可能となるため、市民の安心・安全の確保に資するものだと評価しております。
○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。
○３番　糸数　昌宗議員　ぜひスターリンクを導入してほしいことから、５つのメリットを紹介いたします。１つ目、災害対策強化について。石垣市がスターリンクを導入した背景には、災害時における通信インフラの強化があると考えられます。うるま市も台風や地震などの自然災害のリスクが高く、災害時における迅速かつ安定した通信が市民の安全確保に直結します。スターリンクの導入は、緊急時においても途絶えることのない通信手

段を提供し、災害対策を強化する上で非常に有効です。２つ目にデジタルデバイドの解消。地理的条件によって通信環境が不十分な地域が存在する可能性があります。スターリンクは、光ファイバーや既存の地上インフラではカバーしきれない地域においても、高速で安定したインターネット接続を提供することができます。これにより、うるま市全域でのデジタルデバイドの解消が期待できます。３つ目に経済的発展と教育機会の拡大。安定した高速インターネット環境が整うことで、地域のビジネス活動が促進され、リモートワークやオンライン教育の機会が広がります。特に、観光産業が重要なうるま市において、地域外との迅速な通信手段は観光客に対する付加価値を提供し、市の経済発展にも寄与します。４つ目に長期的なコスト削減。衛星通信サービスは初期投資が必要ですが、従来の地上インフラに比べて保守コストが低く、長期的に市の通信インフラの維持費を削減する可能性があります。最後の５つ目に、先進技術の導入による市のイメージ向上。うるま市が先進技術を積極的に導入する姿勢を示すことで、テクノロジーを活用したまちづくりを推進していることも内外にアピールできます。これは、市のブランド価値向上にもつながります。

以上のことから、うるま市においてもスターリンクの導入は、市民の安全と福祉の向上、市の持続的な発展に寄与するものとして極めて有益であると考えております。南海トラフ地震のリスクが高まっている現在、地震発生時における迅速かつ確実な情報伝達手段の確保は、市民の生命と財産を守るために欠かせない要素です。スターリンクの導入は、通信インフラの脆弱性を補い、災害時におけるリスク軽減に大いに役立つことが期待されます。このような背景から、今後、調査・研究や関連部署との協議を進めるという曖昧な答弁ではなく、スターリンクの導入を明確に決定し、迅速に進めていただきたいと考えます。市民の安全を最優先に考えるうるま市として、どのようにこの提案を受け止め、実行に移すかについて、明確な見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

スターリンクの導入につきましては、議員御提言のとおり、大規模災害時等における通信インフラの確保という観点からは非常に有効な手段として認識しております。危機管理担当部局といたしましては、改めて導入に向け、庁内の関係部署と協議・調整してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　糸数昌宗議員。

○３番　糸数　昌宗議員　ありがとうございます。スターリンクの導入が大規模災害時の通信インフラの確保に有効であるという認識は、非常に重要であると感じます。しかし、市民の安全を守るためには、単なる協議や調整ではなく、具体的な実行計画と導入スケジュールの策定が必要です。南海トラフ地震のリスクが高まっている今、時間の猶予はないと考えております。庁内の関係部署との協議・調整にとどまらず、スターリンク導入に向けた明確な意思表示を、実施に向けたロードマップを早急に示していただきたいです。市民の安全を最優先にするという観点からも、迅速な対応を期待し、私の一般質問を終わりたいと思います。執行部の皆様、簡明な御答弁ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　午前の日程をこの程度にとどめ、午後１時30分より会議を開きます。

暫時休憩します。

休　憩（１２時０２分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時３０分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　執行部の皆様、議員の皆様、そして市民の皆様、こんにちは。会派新政クラブの真壁朝弘でございます。議長より許可をいただきましたので、一般質問を始めたいと思います。

議長、休憩をお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１３時３１分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時３１分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　今回、大きな項目９点を通告しておりますので、よろしくお願いいたします。

道路行政について質問いたします。石川ヨゼフ幼稚園から石川消防署坂通りの交差点で、朝の通勤時間に伊波小学校側に向かう車両が右折しにくく、約一、二台しか通過できないこともあります。時差式信号機の設置、もしくは右折矢印の信号機を整備できないか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　真壁議員の御質問にお答えいたします。

同交差点について石川警察署へ確認したところ、当該交差点には信号機が設置されておりますが、時差式信号機や右折専用信号機が設置されていないことを確認しております。横断歩道や信号機の設置につきましては、当該警察署が調査の上、公安委員会において決定がされるものであり、沖縄県全体で優先箇所を決定し、かつ予算の範囲内において設置が決定されることから、時差式信号機や右折矢印の信号機の設置などは大変厳しい状況と伺っております。

○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　この地域には、県営団地も168世帯、およそ500人から600人の方々が住んでおり、一般の住宅街も多くある地域であります。朝夕の渋滞を将来改善できますように、前向きに要請などの御検討をよろしくお願いいたします。

次の質問に入ります。うるま市石川赤崎一丁目石川警察署前交差点渋滞対策についての質問です。令和５年２月第167回定例会、３月10日に質問しましたうるま市石川赤崎一丁目石川警察署前交差点の渋滞について進捗状況を伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　まず、市民生活部関連の部分をお答えいたします。

所轄の石川警察署へ確認したところ、信号機サイクルをこれ以上変更すると、別の交差点において渋滞が発生する可能性があることから、信号機サイクルの変更は困難と伺っております。

○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　再質問いたします。

うるま市石川赤崎交差点の交通渋滞は、今計画されています本部町今帰仁に建設予定のテーマパークであるジャングリアができると、大渋滞が予想されます。南城市にできましたコストコの渋滞はニュースでも取り上げられるほど、付近の住民の方々が外出するのに相当な時間がかかるため、ストレスや不便さ、日常生活への悪影響が懸念されます。そこで質問です。赤崎交差点にロータリーや、将来的に高架橋の設置はできないでしょうか。また、短期計画で一時的に沖縄北インターチェンジ出口のように３車線に大きくすることで、渋滞緩和にもつながると思いますが、赤崎交差点の入り口を１車線から２車線にできないのか、県と一緒に協議していただけないでしょうか。また。石川インターチェンジから恩納村向け仲泊付近での渋滞は見たことがありません。なぜなら、仲泊交差点は北向き、南向き、仲泊住宅地向けに高架橋があるからだと思います。ぜひ前向きに推進し、御検討をよろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　真壁議員の御質問にお答えいたします。

赤崎交差点につきましては、令和４年度の沖縄地方渋滞対策推進協議会において、主要渋滞箇所に特定されております。現在の進捗状況について沖縄県中部土木事務所に確認したところ、県道側の渋滞対策を検討しているとの回答がございました。

○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　主要渋滞箇所に特定されているとのことですので、ぜひ将来的に、先ほどのロータリー交差点や高架橋の道路ができま

すように、これからも執行部のお力をお貸しください。よろしくお願いいたします。

大きな項目３……休憩お願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１３時３７分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時３７分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　質問３、石川トンネルに向かって石川2345番地前の交差点で、画像にもありますように多くの事故が見られるため、信号機の設置を早急に要請できないのか、当局の見解をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

先ほどと同様に石川警察署へ確認したところ、接触事故の防止や歩行者の安全確保などを前提に当該交差点への信号機の設置を検討した場合、中央分離帯を閉じることなども視野に入れて検討する必要があることから、別の問題が発生する可能性があると回答を得ております。先ほども答弁いたしましたが、信号機の設置につきましては沖縄県全体での優先箇所を決定し、かつ予算の範囲内において設置が決定されることから、当該交差点への信号機設置は大変厳しい状況であると伺っております。

○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　信号機の設置は予算もあるとのことですのでなかなか厳しいと思いますが、事故は同じ場所で起きやすいと思いますので、引き続き注意喚起の看板設置や対策を御検討よろしくお願いいたします。

次の質問に行きます。大きな項目４、自動販売機に防犯カメラの設置要請について伺います。宜野湾市では、2023年３月から、認知症患者を早期に発見し御家族に知らせる機能などを自動販売機に設置している。防犯カメラを設置する取組は全国でも進んでおり、メリットと特徴としましては、１、画像送信ユニットが内蔵されており、撮影データをクラウドに保存・管理するシステムがある。２、映像は犯罪や事故の調査に活用できる。３、自販機荒らしをすることが難しくなる。４、大規模災害に飲料の無料提供が行える機能が取り付けられる。５、自販機に記載された所在地住所が避難地の地番特定に役立つ。６、避難場所の状況確認も行える。このような多くのメリットがあり、うるま市でも自動販売機に防犯カメラの設置要請を行うことができないか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　真壁議員の御質問にお答えいたします。

自動販売機を活用した防犯カメラの設置につきましては、民間事業者より自動販売機からの収益を活用した防犯カメラの設置及び運用保守の軽減化の提案等をいただいているところであり、既に運用を行っております他の自治体もあることから、導入の可能性について調査・研究を行ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　このうるま市でも、今月９月８日日曜日にうるま市みどり町の住宅街でひったくり事件がありました。このような事件を早期に解決し、安心で安全なまちにするためにも、うるま市での導入を促進していただけますようよろしくお願いいたします。

次の質問に入ります。

議長、休憩をお願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１３時４１分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時４２分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　大きな項目５、緊急時のシェルターやその他イベントの活用についてお伺いいたします。緊急時のシェルターやその他イベントの活用について、石川伊波交差点、県道６号線と国道329号の交わる交差点に、画像にも

ありますように地下通路がありますが、発電機を設置し、緊急時のシェルターやその他のイベント等に活用できないか伺います。また、うるま市でこのような活用できる場所の調査・研究をしていただけないか伺います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　真壁朝弘議員にお答えいたします。

石川伊波交差点付近の地下通路につきましては、管理している北部国道事務所に問い合わせしたところ、緊急時のシェルターやイベント等を想定した建築ではないため活用は難しいとの回答でございましたので、御理解くださいますようお願いいたします。なお、議員御提案の緊急時にシェルターとして活用できる施設につきましては、本市としても重要であると認識しておりますので、今後、調査・研究に取り組んでまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　イベントなどの活用は難しいとのことで理解できました。シェルターに関しては、備えあれば憂いなしという言葉もあります。今後とも調査・研究を引き続き取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。

大きな項目６、石川海岸付近にレジャーボートなどが下ろせる場所の新設について伺います。石川海岸付近にレジャーボートが下ろせる場所の新設について、石川地域の若者や御高齢の方々からの要望ですが、以前に石川ビーチはレジャーボートやウインドサーフィンなどでにぎわっていました。そのにぎわいを復活できるよう、石川海岸付近にレジャーボートやジェットスキーなどが下ろせるスロープを新設できないか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　真壁朝弘議員の御質問にお答えいたします。

石川海岸付近におけるレジャーボートなどが下ろせる場所といたしましては、港湾施設内から海へ下ろすことは可能であると考えられますが、議員御質問の新設となりますと、海岸管理者である沖縄県や関係機関などと協議を行う必要があり、設置の是非については総合的に判断されるものと考えております。

○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　今後の石川地域まちづくり推進計画の中で取り入れていただき、魅力ある石川ビーチ構想実現に向けて取り組んでいただけますよう、要望をお願いいたします。

次の質問７に入ります。石川岳にロープウェイの新設について質問です。石川岳に障がい者や高齢の方々もすばらしい景色を見られるようにロープウェイを新設できないか質問いたします。令和６年３月に策定されました石川ゲートウェイ拠点形成基本計画にも、画像にありますように……すみません、休憩をお願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１３時４６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時４６分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　石川ゲートウェイ拠点形成基本計画にも、画像にありますようにイメージ図に石川岳までのロープウェイが描かれておりましたが、以前に地域の御高齢の方々から一生石川岳に登れないのかという寂しい声がありました。また、けが人や体調不良の方々の救助など、いろいろな観点から必要なものだと考えます。そして、何よりも石川地域の活性化の起爆剤にもなり、観光をはじめ商業や飲食店の大きな経済効果を生むのは間違いないと思います。東京八王子にあります高尾山は、登山や観光を目的として年間300万人が訪れ、日本一にもなりました。その高尾山には私も訪れて見てきましたが、そこで気づいたことは、登山客のほかに障がい者や車椅子、お年寄り、小さな子供連れの御家族まで頂上へ行ける、利便性が提供されているケーブルカーや二人乗り観光リフトが整備されていました。そこで質問です。石川地域まちづくり推進計画において、今後のロープウェイ設置に向けての取組や計画の

在り方を教えてください。
○副議長（藏根　武）　企画部長。
○企画部長（金城　和明）　真壁朝弘議員の御質問にお答えいたします。
令和５年度に策定いたしました石川ゲートウェイ拠点形成基本計画におきましては、石川インターチェンジの立地ポテンシャルを生かした乗り換えや乗り継ぎ拠点としまして交通結節機能の充実が望まれており、市民ワークショップにおきましては、新たな交通手段の一つとして石川岳までのロープウェイについて要望がございましたので、現段階ではあくまでもイメージとしてお示ししているところでございます。同基本計画では、インターチェンジ周辺を玄関口としまして、訪れる人や通過する人をワンストップさせる新たな拠点を形成することで、石川地域周辺に人々を誘導するような方向性を示しており、目的地化を図る意味から、ロープウェイなどの新たな交通手段の調査・研究を行っていきたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。
○１０番　真壁　朝弘議員　再質問です。以前に、新聞報道で豊見城市が瀬長島までのロープウェイを検討するとの記事がございましたが、本市におけるロープウェイの導入実現の可能性について伺います。
○副議長（藏根　武）　企画部長。
○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。
ロープウェイにつきましては、まだ情報を収集している段階でございますが、まずは整備費用、そして運行ルートによってどの程度の用地買収が生じるのか、それらを踏まえた費用対効果などについても十分な検討を行う必要があることから、今後も引き続き情報収集に努めてまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。
○１０番　真壁　朝弘議員　ありがとうございます。この地域は山、川、海に囲まれ、また石川岳から見る景色は東西南北を見下ろすことのできるすばらしい地域でもあります。このような地域特性を生かしたまちづくりを、今後とも引き続き実現に向けて、前向きに御検討と御協力をお願いいたします。
次の質問です。大きな項目８の１になります。令和５年６月第168回定例会でも質問しました、市ＰＴＡ連合会、うるま市子ども会育成連絡協議会の復活について、その後の進捗状況をお聞かせください。
○副議長（藏根　武）　社会教育部長。
○社会教育部長（川端　登）　真壁朝弘議員の質問にお答えいたします。
ＰＴＡ連合会、子ども会育成連絡協議会ともに、コロナ禍以前と同様に活発な事業展開がなされております。ＰＴＡ連合会では、童話お話・意見発表大会や各学校ＰＴＡ会員の交流を目的としたボウリング大会、生涯学習フェスティバルや各種研究大会への参加などが実施、または予定されているとのことでございます。次に子ども会育成連絡協議会においては、各種ジュニアリーダー育成研修会への派遣や大運動会、生涯学習フェスティバルへの出展などが予定されているとのことです。また、去る７月には新たな取組として勝連城跡見学会が実施され、親子約50人の参加があったとのことです。
各団体との連携につきましては、今年度、ＰＴＡ連合会、子ども会育成連絡協議会、そして青少年健全育成協議会の各団体の役員と教育委員会とで打合せを行い、各団体が連携・協力して子供たちを支えることを協議しております。教育委員会としても各団体との連携を深め、各団体の事業の充実と横展開へつながるよう支援を行ってまいります。
○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。
○１０番　真壁　朝弘議員　新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでＰＴＡ活動や子ども会育成連絡協議会の活動は一時的に中断を余儀なくされていました。しかし、2023年５月よりコロナウイルス感染症が５類感染症へ移行されたことに伴い、様々な活動が再開され、子供たちがすばらしい学習を学ぶことができたと思います。ありがとうございます。引き続き、ＰＴＡ連合会や

うるま市子ども会育成連絡協議会の方々との意見交換を密に行い、これからも充実した活動を支援していただけますようお願いいたします。

次の質問、大きな項目９に入ります。石川体育館東側トイレのベニヤ目隠しの状況について。令和６年６月第176回定例会で一般質問しました石川体育館東側トイレのベニヤの目隠しの進捗状況をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　真壁朝弘議員の御質問にお答えいたします。

本年６月の市議会定例会において、議員より御提言のありました石川体育館東側トイレの対応につきましては、ベニヤによる目隠しで対応済みとなっております。

○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　この周辺の野球場やテニスコートを利用する方々からの多くの声がありましたので、対応していただきありがとうございました。

次の（２）みほそまつりの際、グラウンド西側トイレ後、屋根の溝に子供が足を踏み落とし、けがをしました。早急な修繕対応は可能か伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

議員御指摘の箇所は、石川公園内の修景施設でございますが、施設の一部が抜け落ちており、緊急性の高い箇所から早急な修繕を行ってまいります。また、修景施設へ立ち入らない対策についても検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　真壁朝弘議員。

○１０番　真壁　朝弘議員　この場所の周辺では、少年野球大会や今年11月30日、12月１日のうるままるごと音楽祭などのイベントがこれからも開催される予定となっております。早急な対応をよろしくお願いいたします。

以上で、私の一般質問を閉じたいと思います。執行部の皆様、ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　次の質問者、神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　皆様、こんにちは。会派津梁、神田洋一です。執行部の皆様、本日もどうぞよろしくお願いします。それでは早速、質問に移ります。

ワクチンについて、まずは過去の振り返りから質問をさせていただきたいと思います。初めに、新型コロナウイルス感染症により大切な人を失われた方々、そして今なお、感染し後遺症に苦しんでおられる方々、ワクチン接種により健康被害でつらい思いをされている皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。コロナ禍は私たち全員に大きな影響を与えました。いまだに苦しんでいる方々への支援やこれからの取組は私たちに与えられた課題と考え、一般質問をしていきたいと思います。コロナ禍で直接的・間接的に被害を受けた方々は様々いらっしゃいますが、今回私はワクチンに焦点を絞って質問してみたいと思います。本市における過去５年間の接種された回数を最初に確認したいと思います。インフルエンザ定期予防接種の接種回数と新型コロナワクチンの特例臨時予防接種、この２つの65歳以上のこれまでの接種回数を教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　神田議員の御質問にお答えいたします。

本市における過去５年間の65歳以上に接種された高齢者インフルエンザ定期予防接種数が６万7,955回、新型コロナウイルスワクチン特例臨時予防接種数が15万7,993回となっております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　それでは、インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンの違いについて教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

ワクチンの違いにつきましては、インフルエンザワクチンは感染力をなくした病原体で製造した不活化ワクチン、新型コロナウイルスワクチンは

２種類使用されており、一つは病原体を構成した組換えたんぱく質で製造した不活化ワクチン、もう一つはウイルスを構成するたんぱく質の遺伝子情報を投与するメッセンジャーＲＮＡワクチンとなっております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　インフルエンザは、１種類で不活化ワクチンという種類。新型コロナワクチンには２種類あり、１つ目が不活化ワクチンの仲間でＢ型肝炎などで長い実績のある組換えタンパクワクチン、２つ目がメッセンジャーＲＮＡワクチンです。2020年12月に世界で初めて実用化され、日本ではその２か月後の2021年２月に承認されたワクチンと聞いていますが、このような認識で正しいのでしょうか。そして、本市においてインフルエンザワクチンを打ったことによる健康被害の件数と新型コロナワクチンを打ったことによる健康被害の件数、それぞれ過去５年間の65歳以上の件数を教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

ワクチンの種類や経緯等につきましては、その御認識で問題はないと考えております。本市における過去５年間の65歳以上の予防接種健康被害につきましては、令和６年４月１日現在、高齢者インフルエンザ予防接種がゼロ件、新型コロナウイルスワクチン予防接種では３件が認定されております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　新型コロナワクチン接種では、65歳以上の方の健康被害は３件とありましたが、本市全体で健康被害を申請された方の延べ人数は何人でしょうか。認定された人または否認された人、そして現在申請中の方は何人かお伺いします。また、メーカー別、ワクチン別が分かれば、併せて教えていただけますか。お願いします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

本市における新型コロナウイルスワクチン予防接種に係る健康被害の申請者数は延べ20人となっており、認定者数が15人、否認者は３人、申請中が２人で、うち１人は再申請となっております。内訳としましては、メーカー別ではファイザー社ワクチンの認定が10件で否認２件、モデルナ社ワクチンの認定が５件で否認が１件。申請中のものにおいても、ファイザー社ワクチン２件となっております。なお、ワクチンの種類につきましては、全てメッセンジャーＲＮＡワクチンとなっております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　本市のインフルエンザの予防接種による健康被害は現在まで出ていないことと、メッセンジャーＲＮＡの予防接種の健康被害に関して申請者は20人、認定された方が15人ということが分かりました。全申請者20人が全てメッセンジャーＲＮＡワクチン接種だったことに正直驚きを隠せませんが、それでは予防接種健康被害救済制度の内容と健康被害認定までの流れをお伺いします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

予防接種健康被害救済制度は、予防接種法に基づく、予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村より医療費等を給付する制度でございます。認定の流れといたしましては、御本人から市へ申請し、市長は本市が設置する予防接種健康被害調査委員会へ調査を諮問し、委員会は調査した内容を市長へ報告いたします。市長は調査内容を反映した資料と申請書を県知事へ進達し、県知事は厚生労働大臣へ進達を行います。厚生労働大臣は疾病・障害認定審査会へ諮問し、審議後、厚生労働大臣へ答申を行い、厚生労働大臣は認定あるいは否認の結果を県知事へ通知し、県知事は市長へ通知を行います。通知を受けた市長は、申請者に対し医療

費等の支給・不支給決定の通知を行う流れとなっており、支給決定がされた申請者は手続を行った上で支給を受けることとなります。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　今後について質問します。10月から新型コロナワクチン定期予防接種が開始されるわけですが、その定期予防接種について教えてください。また、今回の新型コロナワクチンの種類はどのようなものがあるか、併せてお伺いします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　御質問にお答えいたします。

今回の定期予防接種では、対象者は本市に住所がある65歳以上の方、60歳以上64歳以下で心臓等に障害があり、生活を極度に制限される方や日常生活がほとんど不可能な方、おおむね障害者手帳１級の方となります。自己負担額は3,000円としており、生活保護受給者においては無料となります。接種期間は令和６年10月１日から令和７年２月28日までとなり、接種する際は事前に指定医療機関に予約を行い、接種します。

続いてワクチンの種類ですが、病原体を構成したたんぱく質で製造した不活化ワクチンとメッセンジャーＲＮＡワクチンの２種類で接種が予定されております。また、メッセンジャーＲＮＡワクチンでは、これまでのウイルスを構成するたんぱく質の遺伝子情報を投与するメッセンジャーＲＮＡワクチンと自己増殖型メッセンジャーＲＮＡワクチンとなります。この自己増殖型メッセンジャーＲＮＡワクチンはレプリコンワクチンと呼ばれ、細胞内にメッセンジャーＲＮＡが送達されると自己増殖されるよう設計されております。そのため、既存のワクチンよりも少ない接種量で高い中和抗体価が持続するのが特徴でございます。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　10月１日から定期予防接種が開始されます。例年どおりのインフルエンザワクチンと、今年から新たな新型コロナワクチンが加わる予定です。インフルエンザワクチンにはこれまでどおりの不活化ワクチン、そして新型コロナワクチンに関して種類は２種類あり、組換えタンパクワクチンと、もう１種類は３年６か月前から接種されている、私も２度ほど打ちました従来型のメッセンジャーＲＮＡワクチンに加え、通称レプリコンワクチンという世界初のワクチンが加わる予定です。このレプリコンワクチンですが、アメリカ合衆国の会社が開発し、ベトナムにおいて大規模治験が実施され、昨年11月、世界で初めて日本で承認されたワクチンだと聞いています。先月８月の時点では、開発国のアメリカや治験を実施したベトナムでも、また世界中どの国でも承認されていないワクチンのようです。どのようなタイプのワクチンかというと、答弁でもありましたように、メッセンジャーＲＮＡの一種ではあるのですが、体内に入るとメッセンジャーＲＮＡが自己増殖されるよう設計され、少量でもワクチンの効果が長持ちすると言われています。新型コロナワクチンが始まった当初は、メッセンジャーＲＮＡを体内に入れても本当に大丈夫なのかと不安の声もありましたが、厚生労働省の説明では、メッセンジャーＲＮＡは体内ですぐ分解されるので心配ないと聞かされていました。すぐに分解され、安心であったはずのメッセンジャーＲＮＡワクチンですが、世界で初めて日本のみで承認されたこのレプリコンワクチンの特徴は、体内に入ったメッセンジャーＲＮＡがすぐには消えず、自己複製を繰り返すことで長期間体内に残るため、有効であるとのことです。これまで、メッセンジャーＲＮＡワクチンはすぐに消えるから安心と言われていたのに、今は、メッセンジャーＲＮＡは自己複製され、長期間残るから安心と言われております。この逆になった説明に不安を感じるのは私だけでしょうか。当局の見解をお伺いします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

レプリコンワクチンについては様々な御意見がございますが、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の安全性等に関する調査報告により国が承認

したもので、新型コロナウイルスワクチン予防接種に使用することとなっております。本市といたしましては、予防接種法に基づく定期予防接種を実施しなければならないことから、接種希望者が様々なワクチンを選択できるよう環境を整え、御案内する必要があると考えております。接種希望者におきましては、接種する医師と相談しながら効果及び副反応等に納得した上でワクチンを選択し、接種に臨んでいただきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　再質問します。

次に、同時接種について質問します。政府は、2022年７月に新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンを同時に接種してもよいとの方針を発表しました。同時に接種する場合のリスクや、新たに承認されたワクチンによる健康被害への不安について、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

現在、インフルエンザ予防接種と新型コロナウイルスワクチンを同時接種することは認められており、本人の同意及び接種する医師の判断によって接種することができます。同時接種することによる健康被害の判断につきましては、診察した医師により、インフルエンザ予防接種か新型コロナウイルスワクチンかを判断することとなります。新しいワクチンにつきましては、国が承認したワクチンの一つであることから、接種を希望する場合は効果や副反応などについて医師と相談し、理解の上接種することとなりますが、万が一健康被害が生じた場合は、健康被害救済制度を活用することが可能でございます。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　接種を希望する市民や接種に不安を持つ市民もいます。それぞれいろいろな考え方もありますが、大事なことは、ワクチンに関する情報や接種可能な医療機関などをしっかりと市民に周知することだと思います。定期接種に向け、どのような情報発信を行うのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

新型コロナウイルスワクチン予防接種は、今年度から定期予防接種として実施されることから、対象者に対しては接種案内のはがきを送付する予定でございます。

ワクチンに対する不安や心配などにつきましても、医療機関などでの丁寧な説明をお願いするとともに、接種できる医療機関やワクチンに関する情報収集においてもホームページやＳＮＳなどで配信し、常に最新の情報となるよう随時更新してまいります。また、広く市民の皆様に知っていただくよう、広報紙へのチラシ配布も行う予定でございます。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　これまで新型コロナワクチンは特例臨時接種でしたが、来月よりインフルエンザ同様の定期予防接種となります。その節目に当たり、過去を振り返り、また今後について長々と質問させていただきました。

最後に、私のお願いを２点だけ。１点目は、今回の新型コロナワクチンの定期接種ですが、現時点で５つの会社から各一つずつ、計５つのワクチンの供給が予定されています。製法で分類すると２種類あり、これまでの特例臨時接種においてメインとして供給され多くの方が接種したメッセンジャーＲＮＡワクチン、それに新しく加わった世界初の自己増殖型メッセンジャーＲＮＡワクチン、別名レプリコンワクチンがあり、細かく分類するとこの２つ。そしてもう１種類がＢ型肝炎のワクチンなどで長い実績のある組換えタンパクワクチンです。定期接種をする方は、それぞれのワクチンの特徴をしっかりと認識していただき、自身が選んだワクチンがどこの医療機関で提供しているのか事前に問い合わせて接種に臨んでほしいというのが１点目。２点目は、同時接種を希望する際は十分検討してほしいという点です。接種後にもし体調不良になってしまった場合、その原因がイ

ンフルのワクチンなのかコロナのワクチンなのか、相関関係が分かりづらくなってしまう可能性もあるかもしれません。この２点に留意していただくことで、ほんの少しでもリスクの軽減につながればと思い、今回質問させていただきました。本市としては、対象者へはがきを送付するとのことですが、記載可能でしたらホームページのアドレスのＱＲコードと、接種するリスクあるいは接種しないリスクを分かりやすく記載することをお願いし、次の質問に移りたいと思います。

予算に関して質問したいと思います。維持管理課に関する予算。１つ目、交通安全特別交付金事業について。交通安全対策特別交付金制度の概要について簡単に説明をお願いします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　神田洋一議員の御質問にお答えいたします。

交通安全対策特別交付金とは、交通反則通知制度に基づき納付された反則金収入を原資として、地方公共団体が単独で行う道路交通安全施設整備の財源として交付されるものでございます。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　歳入の交通安全対策特別交付金の過去３年間の推移と、歳出の交通安全特別交付金事業の過去３年間の推移も併せてお伺いします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　令和３年度から令和５年度の過去３年間の推移について、決算書からお答えいたします。令和３年度交付額1,061万4,000円、歳出額1,154万100円。令和４年度交付額936万2,000円、歳出額1,340万6,800円。令和５年度交付額803万8,000円、歳出額1,308万6,700円です。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　交通安全特別交付金事業で整備を行っている交通安全施設の種類と、令和５年度の交通安全施設の新規設置や修繕要望の総数並びに新規設置と修繕実績を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質問にお答えいたします。

当該事業において整備を行っている交通安全施設の種類といたしましては、防護柵類の転落防止柵、ガードレール、ガードパイプ、カーブミラー、区画線などがございます。令和５年度の施工実績は、新設でガードパイプ設置約44メートル、カーブミラー１基。修繕では、カーブミラー８基、区画線約8,000メートル、転落防止柵約64メートルとなっております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　歳出で約1,300万円とのことですが、新規設置と多数の修繕を行ったと知ることができました。特に区画線、道路の白線ですが、8,000メートルも行ったとお聞きし、予算額の割に実績が多いと感じ、正直驚きました。修繕などの要望の総数は確認することができなかったのですが、うるま市は県内６番目の面積ですので、きっと多くの修繕要望があるものだと推察しています。私の感覚で申し上げますと、市民は日頃生活している中で不安やストレスに感じているところが改善されると、市行政に対するよい評価につながるものだと感じています。交通安全対策特別交付金の交付額は年々減少しており、市財政も苦しいかと存じますが、道路の白線やカーブミラーなどの整備によって、市民は生活インフラが改善されたとすぐに感じ取れ、即効性のある市民福祉の向上であると考えています。ゆえに、次年度の交通安全施設整備の予算の増額をお願い申し上げます。

次に、公園里親制度について確認します。概要の簡単な説明をお願いします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

公園里親制度とは、地域住民が市との合意に基づき、ボランティアとして定期的かつ継続的に公園等の清掃、美化活動を行っていただく制度となっております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　市が管理している公園の総数と、里親を引き受けている公園数を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

維持管理課における管理公園数は115公園あり、公園里親制度に基づく管理公園数は32公園となっております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　比較するため、里親の公園の平米単価及びシルバー人材センターへの外部委託の平米単価の算出は可能でしょうか、伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

公園里親制度では、報奨金を交付しているものの、ボランティアにより清掃、美化活動を行っていることから、単価の算出は適さないものと考えております。また、シルバー人材センターとの公園維持管理委託業務については、大小様々な公園を緊急性も含め、公園当たり年３回程度の草刈り作業としているため、単価の算出は困難でございます。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　調べたところによると、公園里親制度は平成22年３月の要綱の策定を経て、令和２年４月には要綱の一部改正が行われました。改正により、公園面積の細分化と報奨金の増額が行われておりますが、まだまだ増額が必要と感じています。具体的な事例として、みどり町一・二丁目自治会が市役所横にある市民広場全体の草刈りとトイレの清掃を毎週１回、公園里親として引き受けて現在まで継続しています。草刈りに関しては毎月１回程度、約20人前後の区民で清掃していますが、トイレと草刈りを合わせて月の報奨金は１万2,000円です。トイレの作業人数と草刈りの作業人数、おおよその計算にはなりますが、月間で動員される延べ人数を合計で35人とすると、１人当たり月間約350円の計算です。草刈り作業後に出されるドリンクとおにぎり代でこの350円は消えていきます。本来は、里親ボランティアを通して、その報奨金で必要な備品を購入したり、または字のお祭りの運営資金を積み立てるなど行いたいところですが、とても厳しい状況です。公園里親制度のよいところは、草刈りなどを通して汗をかき、チームとして一丸となって作業することで区民の連帯感が生まれることだと思っています。連帯感・信頼関係が生まれることにより、自治会内で共助の醸成が育まれます。これは、字の活性はもとより災害時も強い力を発揮するものと信じています。多くの自治会が公園里親制度を採用することで、うるま市の地域力の強化につながりますので、令和７年度も報奨金の増額を切に願っております。

次の質問に移ります。市民協働政策課に関する予算。自治会関係ですが、防犯灯に関する補助について質問します。以前より、天願区民の方から区内に防犯灯が少なく不安であるという声がありますと同時に、うるま市には基地の負担割合に応じて防衛省より予算が交付されているが、この基地負担を担う自治会に耳を傾けてくれず、負担だけが押しつけられているとの苦言も聞こえてきます。天願簡易郵便局前から川崎交差点までの間、県道224号線に街路灯や道路照明、防犯灯が少ない現状があります。また、既存の電信柱もこの区間は少ないことから、自治会単独で防犯灯などの設置が難しいと感じています。この沿線は、日頃から軍属の方や区民が散歩やジョギングコースとして利用されますが、足元が暗く、危ないこともあり、明るさを求める方が特に多い区間です。取り急ぎ、この区間への防犯灯の設置が可能か伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　神田洋一議員の御質問にお答えいたします。

現在、自治会等の設置する防犯灯につきましては、うるま市防犯灯設置事業補助金交付要綱に基づき、防犯灯の新設に要する経費及び既存の防犯

灯をＬＥＤ防犯灯に取り替えるために要する経費に補助金を活用することが可能となっております。防犯灯の電気料金、修繕費等の維持管理費につきましては、各自治会の負担となっております。令和６年９月６日付、天願区自治会より防犯灯の新規設置についての要請書が提出されておりますが、7,000基余りもございます既設防犯灯の長期更新計画や修繕等を要する防犯灯への対応等につきましては、市と自治会との費用負担や役割分担、防犯灯の設置基準、今後の補助の在り方について庁内で検討している状況であることから、この区間の防犯灯設置につきましても、時間を要するものと考えております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　防犯灯に対する要望は、私たちにも行政へも多数寄せられているかと思います。この２年間ほど予算がない状態が続いていますが、次年度はぜひとも予算復活に向け、よろしくお願いします。

次の質問に移ります。自治会長との事務委託契約について委託料の増額が可能か伺う前に、令和５年12月の私自身の一般質問において、自治会長との業務委託に関して消費税が含まれておらず、消費税を支払うべきだと申し上げました。その後、さらに詳しい専門家の方に相談させていただいたのですが、結論として、消費税の支払いは必要ないとの見解でした。自治会長職というのは、雇用なのか外部委託なのかというところが焦点でした。自治会長は、当然ですが労働基準法などに該当する労働者には当たりません。雇用には当たらないということです。外部委託であることは間違いないのです。ところが、ここから税法上の取扱いといいますか、国税の解釈になるのですが、自治会長が受領する委託料が所得税法上の事業所得なのか、給与所得に該当するのか。この部分の解釈が重要で、国税庁が大工、左官、とび職等の受ける報酬に係る所得税の取扱いについての通達を平成21年12月に出していました。詳しくはここでは説明しませんが、自治会長はそれらの職務内容に類似するということで、その通達の内容に沿って総合的に判断すると、自治会長の所得は給与所得が妥当ということでした。外注でありながら、税法上は給与に分類されるというなかなかすんなりとは納得できない、法と法のはざまに陥っている感じがします。専門家より法令内容の細かい説明を受け、私の所得税法や労働基準法に対する理解が足りず、認識が間違っていたことが分かりました。この場を借りて、おわび申し上げます。大変御迷惑をおかけしました。ただ、今後もし委託契約の文面や支払い方法を変更することができれば、立派な事業所得となり得ると考えていますが、この件はまた次に持ち越したいと考えています。

それでは、質問します。次年度、自治会長の事務委託契約において委託料の増額が可能かどうか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

自治会長に対する事務委託料について、県内各市の平均的な自治会に対する事務委託料を確認・比較したところ、比較的高い委託料となっていることから、事務委託料の増額は大変難しいものと考えております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　災害発生時、自助を超えた際、共助が必要だと考えています。ここで言う共助は親族や近所、自治会も含めているものと考えていますが、当局のほうも自助・共助が大切とよく発言されていると思います。しかし、年々世帯は細分化し、親族も近くにおらず、自助でどうにもならないときは近所や自治会の共助に頼らざるを得ないと思いますが、年々自治会の地域力が低下しているように感じます。地域力のキーマンは自治会長であり、早急に改善すべき点は自治会長の成り手不足ではないでしょうか。なぜ担い手の不足に陥るのか、根本的な部分を考えていかなければならないと思います。自治会長を魅力ある役割にするための方策をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたし

ます。

自治会長の担い手不足の課題につきましては、自治会の規模や財政力、高齢化など、自治会ごとの抱える問題や課題があるものと認識しております。市といたしましても、現状の事務委託業務や自治会活動への支援の在り方などを精査し、自治会長を中心とした地域力の強化・向上を目指した施策・支援について調査・研究してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　再質問します。

自治会の会長職の担い手不足の課題など、認識はしているが、現時点において約19年間変わっていない事務委託費を見直すこともなく、会長職を魅力ある役職にするための方法はいまだ考えておらず、これから精査し検討したいということでよろしいですか、再度伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

各地域の自治会長は市と地域をつなぐ大変重要な役割を担っていただいていることは十分認識し、大変感謝をしているところでございます。事務委託費の算出根拠といたしまして、均等割額18万円に各自治会区域の世帯数に43円を乗じた金額となっております。これは、毎月広報紙や市からのチラシなどの配布のほか、23項目の業務をその都度必要に応じて業務を担っていただくことになります。これはあくまでも事務委託の範囲における算出であり、各自治会の自主的かつ自律的な活動の中心的な役割を担っております会長職への手当などとは異なります。繰り返しになりますが、市といたしましては自治会活動への支援の在り方や事務委託契約の方法などについて調査・研究してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　分かりました。地域力を高めるために、または持続していくためには自治会長の役割が大変重要かと考えています。早急な調査・研究と、さらに魅力ある会長職となるように市当局にお願いを申し上げ、次の質問に移りたいと思います。

予算に関して。３つ目、本庁舎警備業務契約に関して質問していきたいと思います。令和５年２月定例会において、警備対象施設の住所、みどり町一丁目１番１号のうち本庁舎部分が警備範囲となっており、住所は同じであるものの、市民広場は警備の対象外となっていました。令和７年度の契約において、市民広場も警備の対象に含めてほしいと質問させていただきました。今回の質問も同様の内容での質問となります。可能かどうか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　神田洋一議員の一般質問にお答えいたします。

令和５年２月第167回定例会においても答弁いたしましたが、本庁舎警備業務契約につきましては、基本的にはうるま市本庁舎の警備を目的としております。業務内容といたしましては、庁舎及び敷地内での事故・破壊・盗難防止、夜間出入口での入庁・退庁者の確認や不審者等への対応、庁舎敷地外周の巡視及び必要な処置などとなっております。庁舎周辺の巡回中に緊急事態が発生した場合は、関係機関の担当者へ連絡が行く体制は取られており、目視により市民広場で犯罪行為が確認された場合も警察へ通報することとなっております。今後は、何らかの不審事案があった場合の連絡や通報体制を強化できないか、他市町村の事例等も参考にしながら工夫をしていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　厳しい答弁であるものの、連絡や通報の体制を強化できるよう考えてくださるとお聞きし、安心できました。連絡や通報体制の強化は、庁舎周辺の市民が安心して日常を過ごせる生活圏の形成につながるものと信じています。次年度の契約に向け、十分な調査・研究をもって盤石な警備体制をお願いいたします。

次の質問に移ります。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１４時３６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時３６分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　続きまして、税に関して質問します。日本国内・国外、日本国籍・外国籍を問わず、対象者には納税の義務が発生すると思います。税金の未納に関してお伺いします。国外に居住している方からの税金の未納はありますか。また未納の場合、その対応について伺います。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　神田洋一議員の一般質問にお答えいたします。

国外に居住している方の税の未納はございます。国内に居住している方への対応につきましては、納税通知書送付前に国外に転出した場合は、市に登録のある電話番号などの連絡先に連絡を行います。連絡が取れない場合には、出入国在留管理局などに出入国の記録を照会しております。国外に転出し居所が不明の状況で、御本人への連絡手段がない場合には、納税通知書の公示送達を行っております。その後、督促状の公示送達を行ってから財産調査により差押え可能な財産がないことを確認の上、滞納処分の執行停止を行っております。なお、調査等により国外の住所が確認できた場合は、納税通知書等をエアメールで送付しております。国外からの納付方法としまして、納付書のＱＲコードを読み取ることにより、地方税お支払いサイトからクレジットカードによる納付が可能でございます。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　税の徴収業務は、国内在住者から徴収することも大変かと思いますが、海外在住者へはさらにハードルが高く、難しいことが感じ取れました。海外などのホテルでは、宿泊時にクレジットで支払いができないとデポジットと呼ばれる預り金を求められたりするようです。本市でも、外国籍の方には事前に税金の支払い用のクレジットカードの登録やデポジットを転入時などに求めてはいかがでしょうか、見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

外国籍の方へ転入時などに事前の手続を求めることにつきましては、様々な課題がございまして厳しいものだと思っております。他の自治体の動向も見ながら研究してまいります。御提言ありがとうございます。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　円安の影響や相対的な国内物価の低下により、外国籍の方の流入は増える可能性があります。税は、外国籍であっても公平に徴収する必要があるものの、事務負担や徴収コストが増大にならないように知恵を出し合い、先進事例や国の動向を注視しながら、今後も市民のため、未納者を増やさない取組などの徴税業務をよろしくお願いします。

続きまして、相続登記が完了していない事例において、相続人が国外に居住している場合、固定資産税の通知など、どのような対応を行っているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

相続人が複数いる場合には、国内に居住している方を代表として納税通知書を送付しております。国外に居住している方で住所が判明している方には納税通知書をエアメールで送付しており、住所が確認できない場合には公示送達を行っております。なお、相続人がお一人の場合には課税の対処が厳しい状況でございます。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　相続人が１人の場合、課税の対処が難しいとのことですが、相続した不動産あるいは登記していない不動産など、資産を差し押さえることが可能なのか伺います。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

相続人がお一人で課税の対処が難しい場合には、滞納処分の手続を進めることも困難であり、相続

された不動産などの差押えを実施することは難しい状況でございます。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　ありがとうございます。非常に難しい問題です。固定資産税は市の重要な財源であり、歳出の大きな部分を支えています。縁の下の力持ちである納税課、資産税課の皆様のこれまでと同様に今後の活躍に期待しています。

次の質問に移ります。３番目、修繕などに関して。道路・公園などの維持管理。市のホームページで公民連携による既存公園再整備、いわゆるＰａｒｋ－ＰＦＩの紹介ページで、全国規模程度の事業者の参画を想定する公園として安慶名中央公園が候補に挙げられています。今後の民間活用には、駐車場は大変重要かと感じていますが、現在平時においてチェーンがされ、気軽には駐車できない状態です。付近の住民より、もったいないとの声も度々聞こえてきます。民間の活力を入れるためにも、駐車場の整備を行い、南城市公共駐車場のようにカメラ式車番認証システムのような設備の導入を提案します。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

安慶名中央公園における駐車場については、公民連携による公園再整備により、民間活用に期待しているところでございます。また、議員御提案のカメラ式車番認証システム導入につきましては、他の事例を参考にしながら、費用対効果も含め検討する必要があると考えております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　安慶名中央公園の駐車場の課題は、常時管理することができないため、無料駐車場になってしまい、公園を利用したい方が駐車できないなど、悩ましい問題があると認識しています。南城市公共駐車場のほか、別府公園では、駐車料金が１時間は無料で、その後１時間ごとに金額が課金され、長時間停める方には徐々に負担が大きくなり、公園利用者には配慮した料金形態になっています。当局には、さらに市民に使い勝手のよい、また活気ある公園づくりに引き続き期待しています。

最後の質問に移りたいと思います。学校施設に関して。天願小学校の水泳の授業で、プールの水温が高く、水泳の授業が中止になったという話がありました。水温が高くなる要因として、日よけカーテンが劣化により使用できないことが原因ではないかと考えています。次年度に向け、修繕が可能か伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　神田洋一議員の御質問にお答えします。

小・中学校の水泳授業実施の判断は、児童・生徒の熱中症予防の観点から、日本水泳連盟の水泳指導教本に基づき、各学校において外気温と水温を常時確認し決定しており、天願小学校では今年度、中止が１日ございました。なお、水泳授業は、天候に左右されることも想定し、プールの使用期間を設定しております。日よけテントの修繕には多額の費用を要すること、また限られた予算の中で児童・生徒の安全確保を最優先に、市内各小・中学校の多くの修繕に取り組む必要があることからも、大変厳しいものと考えております。御理解のほどよろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　日本水泳連盟の水泳指導教本にあるように、水温と気温を足した温度が65度以上だと水泳の授業を取りやめているのか伺います。また、日よけテントの修繕は大変厳しいとのことですが、次年度の水泳の授業の熱中症対策としてはどのような対策を考えているのか、併せてお聞かせをお願いします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

議員御案内のとおり、水泳指導教本では、屋外プールの安全の目安として、外気温と水温を足した温度が65度以上になるときは適さないと示されており、各学校で常時確認し判断しております。なお、児童の熱中症対策として、プールサイドの

ひさし下に設置してあるベンチを活用できるほか、学校側と協議し、プールサイドに休憩用の組立式テントが設置できるスペースを確保しております。

○副議長（藏根　武）　神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　ありがとうございます。限られた予算のため、高額な日よけテントの設置が困難とのことですが、応急的な対策としてプールサイドに休憩用のテントの設置を検討しているということで、生徒や児童の熱中症対策への配慮をありがとうございます。

もう１点お願いがありまして、保護者や先生との意見交流の場でいただいた話ですが、朝の交通安全のボランティアの保護者が登校する生徒へ横断歩道を渡るように指導しているそばから、市役所職員と思われる方が道路を渡って行くので、子供たちに横断歩道を渡るように促しにくいとの声がありました。また、市職員も、子供たちにおはようの挨拶もしてほしいという声も別でありました。可能であれば、この２件も御配慮をお願いします。

今後もうるま市の未来を担う子供たちのため、引き続き御配慮をお願いし、今議会での私の質問は以上となります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　以上で本日の日程は終了しました。

次回は、明日午前10時から会議を開きます。

本日は、これで散会します。

散　会（１４時４８分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

副　議　長　　藏　根　　武

３０番議員　　伊　波　　洋

１ 番 議 員　　真栄城　　隆

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（４日目）

◎　令和６年９月18日（水）　　（１０時０１分　開議）

◎　出席議員（26名）

１番	真栄城　　隆　議員	14番	池宮城　善　伸　議員
２番	高　屋　　優　議員	15番	伊　礼　　正　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	17番	仲　程　　孝　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
６番	国　吉　　亮　議員	19番	下　門　　勝　議員
７番	伊　波　良　明　議員	20番	天　願　久　史　議員
８番	神　田　洋　一　議員	24番	國　場　正　剛　議員
９番	平　良　一　雄　議員	25番	大　城　　直　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	27番	佐久田　　悟　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	28番	兼　本　光　治　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	29番	藏　根　　武　議員
13番	玉　城　政　哉　議員	30番	伊　波　　洋　議員

◎　欠席議員（１名）

23番　比　嘉　直　人　議員

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	防災広報対策部長	大　田　義　浩
副　市　長	佐久川　　篤	福　祉　部　長	幸　地　美　和
教　育　長	嘉手苅　弘　美	こども未来部参事	上運天　　健
総　務　部　長	山入端　立　也	市民生活部長	松　岡　秀　光
企　画　部　長	金　城　和　明	市民生活部参事	古　謝　哲　也
財　務　部　長	島　袋　史　朗	経済産業部長	岸　本　　力

農林水産部長	座喜味　達　也	社会教育部参事	兼　城　哲　夫
都市建設部長	名嘉眞　　睦	学校教育部長	大　里　元　児
都市建設部参事	田　場　直　樹	選挙管理委員会事務局長	眞喜志　亮　治
水　道　部　長	座間味　　修	総務政策課長	諸見里　直　樹
社会教育部長	川　端　　登		

◎　事務局出席者

議会事務局長	知　念　義　浩	調査広報係長	伊　禮　君　人
議　事　課　長	石　川　秀　吉	議事係主査	伊　藤　　靖
議　事　係　長	森　根　元　気	調査広報係主任主事	山　城　　太

◎　議事日程第４号
　　第１．会議録署名議員の指名
　　第２．一般質問

◎　会議に付した事件
　　議事日程に同じ

○副議長（藏根　武）　これより本日の会議を開きます。
　本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第４号のとおりです。
　日程第１．会議録署名議員の指名を行います。本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、高屋優議員、糸数昌宗議員を指名します。
　休憩します。
　　休　憩（１０時０２分）
　　～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
　　再　開（１０時０２分）
○副議長（藏根　武）　再開します。
　日程第２．これより一般質問を行います。
　発言時間は当局答弁を含まず、30分以内です。通告がありますので、順次発言を許します。国吉亮議員。
○６番　国吉　亮議員　皆さん、おはようございます。議長の許可を得ましたので、これより一般質問を行っていきたいと思います。事前に大きい項目６点を通告していますので、順次、順番に沿って質問をしていきたいと思います。当局の簡明な御答弁よろしくお願いいたします。
　それでは、早速１番目に入っていきたいと思います。石川地域まちづくり推進計画ということであります。この質問は、これまで特に石川地域選出議員の皆さんが数多く質問してまいりました。さらには、今定例会においても、数多くの議員からこのような質問がされています。その理由としましては、やはりこの石川地域のこれからの発展に対して、市民の方が強い期待を抱いている。それに加えて、我々議員に対しても、いい意味でもすごいプレッシャーや要望、提言等々、様々な声が我々のところにも届いています。そういったことから、今回は質問をしていきたいと思います。そして、令和８年から実際にこれが動いていくということですので、今、現時点ではまだ要望、提案、提言ができる時期だと思いますので、一般質問を行っていきます。
　それでは、早速１番目、石川庁舎周辺整備において、現在どのようなプランを検討して、どのようなことが決まったのか。また、今後は事業を進めていくに当たり、民間企業との関わり方や、今年度どのようなことを取り組んでいくのか伺います。
○副議長（藏根　武）　企画部長。
○企画部長（金城　和明）　おはようございます。国吉亮議員の御質問にお答えいたします。
　石川庁舎周辺の利活用につきましては、令和５年度に策定しました石川ゲートウェイ拠点形成基本計画におきまして、民間事業者との対話を通じ、ターゲットや導入機能、ゾーニング案、今後のスケジュール案などを整理してまいりました。今年度は、引き続き民間事業者とのサウンディング調査を実施し、民間参入の確度を高めるとともに、事業手法や具体的なスケジュールの検討及び公共機能の再配置や代替施設の検討を行うとともに、まちのにぎわいに資する実証イベントを行う予定となっております。
○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。
○６番　国吉　亮議員　これまで分からなかったことが、今、答弁の中で出てきました。最後の部分、まちのにぎわいに資する実証イベントを行うということで、予算書ではこれは見えてこない中身だと思いますので、ちょっとこの辺を詳しく聞

いていきたいと思います。まちのにぎわいに資する実証イベントを行うという答弁でありましたが、実際にどのような内容なのか。この予算規模、またいつ行うのか、また関係団体、どういうふうに行っていくのか等々を教えてください。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

実証イベントにつきましては、今年度の業務受託者より地元事業者への採択を予定しており、時期につきましては12月頃を予定しております。開催内容につきましては、現在調整中ではございますが、予算規模を800万円程度で想定しており、地域と連携したイベントとしたいことから、地元のみほそあきない組合と意見交換を重ね、協力を仰いでいる状況でございます。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　イベントをやるということでした。普通のうるま祭りのようにやるのか、あるいは産業まつりのようにやるのかといったら、多分その祭りとはちょっと違った祭りになると思います。人がどのように入ってきて、どのように動いてという実証なのか、あるいは今後どのような展開をしていって、具体的にこの石川地域が発展するのかという検証だと思いますので、ちょっと期待していきたいと思います。また、関連団体もあるということで、12月にやるということでしたので、ちょっと期待をして見守っていきたいと思います。例えばですね、このイベント内容なんですけれども、石川庁舎周辺で行うと思いますので、例えば石川庁舎の駐車場を開放して、そこにキッズダンスであったり、いろんな方々を集めてイベントを行う。そこで、終わった後に、例えば大抽選会を行って、来た人にこの抽選券が当たって、このイベントが終わって帰るのではなくて、この抽選券を持ってこの石川のまちに飲みに行く、食べに行く、あるいは商品を買いに行くという、ただ来て帰るのではなくて、その後も楽しめるようなイベントにしてほしいなというふうに思います。また、沖縄市ではナイトシアターを行いました。うるま市でも、ぜひこのナイトシアターを行って、例えば映画の最後に、終わった後に番号が出てきたりして、その番号を、来た人が受け取って、受け取るというか理解をして、例えば、市の近くの飲食店に行ってその番号を伝えたらお食事が安くなるよ、あるいは無料で飲めるよ、食べられるよという感じで、プラスアルファのことができたらいいなというふうに思っております。それでは、今後の石川地域はどのようになっていくのか、スケジュールを教えてください。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

令和５年度計画で整理しました想定スケジュールでは、令和８年度をめどに事業者の公募を行っていく予定となっておりますが、今年度の民間事業者との対話を通じ、事業参画の意向、事業手法を整理した上で、さらに具体的なスケジュールについて検討していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　分かりました。これまで定例会のほうで私が提案しましたまちづくり計画は、子供から大人まで、みんなを巻き込んで地域をつくっていくべきですよ。そのためには、地域の声を聞く必要がありますよということで、子供にも聞く機会を設けてくださいということで、皆さんのほうで早速、石川高校との意見交換も行っていただきました。さらには、みほそあきない組合、さらには地域との意見交換会ということで、現状報告、そして地域からの意見を聞いて、今丁寧に進めている段階だと思います。一方で、ちょっと懸念事項というか不安事項がありまして、今後計画するに当たって、全部の機能が残ればいいんです。例えば体育館、石川野球場、石川グラウンド、石川庁舎、石川芸術劇場、プール。そこを利用している方々に対して、今後、個別的な説明が私は必要だと思っています。この人たちには多分まだ情報が行っていない。今後どのようになっていくのかということが多分分からないと思いますので、体育館利用者、野球場利用者、あるいはグラウンド利用者の方々に対しての説明会は行ったことはありますか。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

議員御案内のとおり、石川高校や市民、地元の商工業者に対してワークショップ、説明会を開催してまいりましたが、体育館利用者等を対象とした意見交換は実施しておりません。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　今後は地域住民に具体的プランを提示するとともに、グラウンド利用者、体育館利用者、プール利用者の方々に対して、代替案も示しながら石川地域まちづくり推進計画の説明をしていく必要があると考えますが、所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

今後の石川庁舎周辺の体育施設の在り方に関しましては、現在利用している方々への説明は重要だと考えております。今後、丁寧な説明を心がけていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　石川地域の方々の要望といたしましては、この石川地域、特に石川庁舎周辺の現在の機能、体育館、石川野球場、グラウンド、芸術劇場、プール等々、これはしっかりと、今ある機能は残しつつ、そこからさらに石川地域まちづくり推進計画というふうに発展をするということを本来希望していますので、ぜひ今は要望が言える時期ですので、なるべく多くの機能を残しつつ、新たな発展、さらなる発展というところを要望していきたいと思います。同時に、また丁寧な説明をよろしくお願いしたいと思います。市民から、今どうなっているのかとかクレームや批判を受けるのは市の職員であったり、議員の皆さんが特に多くあると思いますので、私たちも一緒に、皆さんの状況を確認しながら、そして市民の皆さんにも丁寧に説明しながら進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、市民からの要望と２番目の質問に行きたいと思います。１番目、この質問もずっとやってきましたので、もう前振りは省きたいと思います。石川地区公民館トイレの修繕の要望を１点だけ。これまで、違った方々からこのトイレはどうなっているのかという声があって一般質問を上げてきたのですが、今度はまた同じ方から、あれから全然進んでいないけれどということでありましたので、一般質問をします。トイレの改修について要望します。当局の所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　国吉亮議員の御質問にお答えいたします。

現在、石川地区公民館トイレ改修工事の設計業務を進めており、10月完了を見込んでおります。また、本定例会に提案している一般会計補正予算第４号にトイレ改修事業の工事請負費及びそれに伴う工事監理費を計上し、12月中の改修工事発注を予定しております。引き続き、速やかな工事完了へ努力してまいります。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　予算化されて進んでいる状況がありますので、ぜひ引き続きよろしくお願いします。

２番目ですね。ここから次の教育行政の（１）までは、子供たちからいただいた質問を今回は投げています。今回、私のほうで議会報告会を行いました。普通の議会報告会ではなくて、子供向け、小学校・中学校・高校生を集めて、その人たちの声を聞きたいということで行いました。そこで上がってきた声がありましたので、今回一般質問に上げていますので、よろしくお願いいたします。石川中学校２年生、男の子からです。石川中学校運動場の野球部が使用するバックネット付近で雨が降ったとき、決まって水たまりができます。部活動の練習等に支障を来しています。水はけがよくできないか、改善方法について伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　国吉亮議員の御質問にお答えいたします。

石川中学校運動場バックネット付近の整備につきましては、令和６年７月５日に学校側より修繕要望を受けており、現場を確認したところ、表面

の赤土が固くなり、水はけが悪い状態を確認しております。体育の授業や部活動での使用に支障を来すことからも、改善に向けて修繕整備での対応を予定しており、作業日程につきましては学校側と調整し、決定してまいります。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　質問して、結構前に進んでいるなという答弁を受けました。まずは土を入れて確認するというところからだと思います。それで改善できなければ、大規模改修ですね。掘って、掘り起こして修繕していくという流れだと思います。もう１点聞いたのが、野球の試合をやっているとき、ちょうど雨の日だったみたいです。ピッチャーが投げて、ちょっとバウンドして後ろのバックネットに行って、本来であればこのボールが戻ってきたりするんですけれども、水がたまって、ちょうど水のところでボールが動かなかったということもありますので、ぜひ早めの改善をよろしくお願いしたいと思います。

続きまして（３）宮森小学校付近の市道石川18号線カーブミラーの設置を要望ということです。こちらは宮森小学校５年生の女の子からの要望であります。カーブミラーを設置してほしいという要望がありました。当局の所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　国吉亮議員にお答えいたします。

御質問の要望は、小学校付近の市道石川18号線から石川西線に抜ける際のカーブミラー設置でございますが、見通しの悪さや緊急性などを総合的に判断し、カーブミラー設置の必要性について判断してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　宮森小学校の正門から海のほうに抜ける道は、本当に道が狭くて、今日も私は朝に確認してきたんですけれども、今日初めて気づいたことがありました。車が来ると、歩行者が危ないのかなと思ったんです。歩行者も見えづらい。自転車がパッと来たときには、多分あれはもう、本当に事故になる可能性があります。確認したら、数年に一度、やはりこの辺で事故が起こるということもお聞きしています。今日確認したことは、こちらの前から来たときに、右側から入ってくる車とちょうど一緒になって通れないので、この右側の車が後ろに戻る。そして、後ろの車にちょっと渋滞が起こるということを確認しましたので、歩行者だけではなく、こっちの交通面の観点からも、ぜひ早急に検討していただきたいなというふうに思います。

では、次の４番目です。石川野球場ネット修繕の要望ということであります。石川野球場の左中間、全体的に網も含めてちょっと弱くなっています。左中間に関しては、もうこの支柱も弱くなっていますし、網もない状態ということでありましたので、早急にこの改善を要望しますが、当局の所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　国吉亮議員の御質問にお答えいたします。

現在、石川野球場がある石川公園を含めたエリアにおいて、石川庁舎周辺の利活用推進プロジェクトによる再開発が検討されていることから、石川野球場の大規模な修繕については、当該プロジェクトの方向性や進捗状況等を踏まえた判断を要するものと考えております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　最近確認してきたこの支柱が、ちょっともう折れて危ない状態であります。今日は台風ではないですけれども、暴風警報がない台風ですけれども、それで壊れる可能性もあります。そして、落ちてきて、また人に当たるという可能性もありますので、対応をよろしくお願いしたいと思います。現実的に、左中間までボールを飛ばす人は数少ないと思います。今すぐ改修というのは、今おっしゃるようにプロジェクトの計画もあるので検討したほうがいいとは思うんですけれども、ただ、これからキャンプの時期になってきて、石川野球場は大人気です。大学生であったり、韓国チームであったり、その他のチームが使用する確率が増えてきます。そこに向けて、誘

致するという観点からも、これはどちらにせよ修繕しないといけないと思いますので、早めの対応をよろしくお願いしたいと思います。

市民からの要望を問うはこれで終わって、次の３番目、教育行政について伺いたいと思います。こちらも小学生からの声がありましたので、一般質問をしていきたいと思います。小学１年生の子でした。給食時間がちょっと短いとかではなくて、まだ慣れていない児童だったんでしょうね。準備、片づけ、そして食べる時間等々があって、しっかり食べきれないということが前半にあったようです。１学期の初めですね。夏休みが来て、また２学期になったときに、ちょっと忘れがちな子だったんでしょうね。いきなりすぐ、この給食に対応できなくて、また残しがちになったということですので、給食時間は小学校低学年から高学年まで同じ時間だと思うんですけれども、ぜひ低学年は長くしてほしいなという要望で、一般質問をしていきたいと思います。小学校低学年の給食時間について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　おはようございます。国吉亮議員の一般質問にお答えいたします。

各学校の給食時間は週時程に位置づけられており、各校における児童の実態を踏まえて教育課程として編成・設定されるものです。給食時間の変更につきましては、各学校において検討し見直されていくものであり、必要に応じて変更は可能なものと考えております。議員御案内のように、給食時間内で食べ終えられない児童へは個に応じた配慮と柔軟な対応が必要と思われますので、教育委員会としましても、各学校と課題を共有しながら、引き続きおいしく、楽しい給食の時間となるよう努めてまいります。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　大きい項目２番の（２）から大きい項目３番の（１）まで、児童・生徒の声でありました。しっかり、これをまた私も丁寧に報告をしていきたいと思います。引き続き、皆さんのほうでも取り組んでいただくよう要望いたします。

次に（２）不登校生徒についてということです。現状確認をちょっとやっていきたいと思います。現在の本市における不登校の児童・生徒数、令和４年度、令和５年度、令和６年度の小学校・中学校の人数を教えてください。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

令和４年度３月末、小学校208人、中学校223人。令和５年度３月末、小学校287人、中学校323人。令和６年度につきましては、１学期終了時の７月末時点で小学校114人、中学校150人となっております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　再質問いたします。

不登校児童・生徒において、他市・他校へ転校した人数を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　再質問にお答えいたします。

学籍担当課に確認しましたところ、令和４年度、他市への転校は、小学校及び中学校ともにゼロ人。市内において他校へ転校した小学校は２人、中学校が１人となっております。令和５年度も他市への転校はいませんが、市内において他校へ転校した小学校が１人、中学校が５人となっております。令和６年度現時点におきましては、保護者の申請内容を確認したところ、他市への転校が小学校ゼロ人、中学校ゼロ人。市内において他校へ転校した小学校及び中学校ともにゼロ人となっております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　現在、令和６年度は転校した数がゼロということで、両親の都合で転校するということもあります。いじめによって転校するということもありますが、転校しないほうがいいですので、ぜひこのゼロの取組、皆さんの頑張りもあると思いますので、続けていけたらなというふうに思っております。それでは、お聞かせく

ださい。転校した理由は様々あると思いますが、理由と原因を教えてください。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　再質問にお答えいたします。

児童・生徒に関する個々の理由や原因につきましては、児童・生徒の個人情報保護の観点から、お答えすることはできませんが、転校についての一般的な理由として共働き、転居など、あるいは経済的理由及びその他の場合においては、いじめ・不登校の実態が認められる場合や、複合的な理由で教育的配慮の必要な場合でございます。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　今回この一般質問をした理由としましては、現状は不登校がどうなっているのかなという確認の１点と、もう１点は、この不登校児童・生徒を今後なるべく少なくしていくという取組を皆さんのほうでも今現在やっているとは思うんですけれども、さらに行っていってくださいねという確認と、もう１点は、転校する方がいないほうがいいですので、その取組をしてほしいということでありました。こういった質問をこれまで私がしてこなかったので、今後転校に関する質問等々がないように、皆さんの今取り組んでいる内容をそのまま進めてほしいなと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

それでは、４番目の項目に行きたいと思います。予算の内訳についてということです。これまで、各常任委員会や一般会計予算書等で大きな予算は確認できたんですけれども、ちょっとした、内々とした細かい部分の予算の内訳というところまでは確認していなかったので、確認していきたいと思います。（１）国保税における未就学児の対象人数と徴収金額について伺っていきたいと思います。３歳児から保育の無償化が始まっている一方で、ゼロ歳から２歳の保育料は、今は各家庭の自己負担となっています。現在、燃料費の高騰、食料品の高騰、様々な物価高騰で、今各家庭はすごい苦しい状況に陥っています。その負担軽減を保育料でもしてほしいという思いから質問をしていきます。ゼロ歳から２歳児までの対象人数と徴収対象額、保育料について伺います。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１０時２９分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時２９分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　失礼いたしました。国保税における未就学児の対象人数と徴収金額について教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　国吉亮議員の一般質問にお答えいたします。

令和５年度末の国保税における未就学児の対象人数は、延べ2,278人。未就学児に係る均等割額の合計は1,276万8,425円となっており、徴収金額につきましては、おおよそ1,200万円となっております。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１０時３０分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時３１分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　ありがとうございました。

次、（２）に行きたいと思います。保育料におけるゼロ歳から２歳児までの対象人数と徴収金額について伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　おはようございます。国吉亮議員の御質問にお答えいたします。

令和６年３月１日時点のゼロ歳児から２歳児の園児数は2,651人、そのうち保育料徴収対象者は1,722人。令和５年度の保育料は約４億4,300万円となっております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　分かりました。次に、ちょっと再質問をさせてください。３歳児からは

保育の無償化を実施しています。うるま市においても、ゼロ歳から２歳までの保育の無償化、あるいは半額補助を行ってほしいとの声があるが、当局の所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

現時点では、ゼロ歳児から２歳児までの保育料の無償化、あるいは半額の補助につきましては、継続的に安定した財源を確保していかなければいけないことから、大変厳しいものがあると考えております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　大変厳しいですね。今聞いたら、もう補助できる金額ではないということが分かりました。今、市が保育料に対する金額が低ければ、ぜひうるま市のほうでも保育の無償化を検討してくださいということを言いたかったんですけれども、あまりにも額が大き過ぎたのでちょっと現実的ではないということが分かりました。

次に（３）に行きたいと思います。次年度から給食費が半額になった場合の１人当たりの年間負担金額を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　国吉亮議員の御質問にお答えいたします。

沖縄県が示しています中学生の給食費を対象とした、給食費半額補助制度を活用いたしますと、うるま市の中学生の給食費が現在月額5,000円ですので、月額2,500円となり、年間２万7,500円となります。次年度の学校給食費につきましては、県からは具体的な補助交付要領などが示されておりませんので、県の補助制度の提示を待ちながら、物価高騰による食材費の値上がりなども考慮し、試算していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　分かりました。現在は月額2,500円という試算が皆さんのほうで出ているとは思うんですけれども、今後も多分物価高騰がさらに続いていくと思うので、値段が変わる予想もされるのかなというふうに思っております。

再質問を市長に行っていきたいと思います。これまで、給食に関連して、市長のほうでは様々な施策を展開してきたと思います。例えば、要保護世帯、準要保護世帯等々に対して、この給食費ということの無償化を行ってきたと思います。さらには、この物価高騰による支援等々も行ってきたと思いますので、これまでの取組を教えてください。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　国吉亮議員にお答えをいたします。

これまで、生活困窮及び生活支援の必要な世帯については、就学支援などを拡充することで給食費無償化につなげております。要保護世帯105人に対して135万6,000円、準要保護世帯3,905人に対して２億84万9,000円、特別支援世帯286人に対して727万1,000円となり、全小・中学生、小学校で5,789人、中学校におきましては2,493人の約52％を生活困窮、生活支援を必要とする児童・生徒に対して、給食費の無償化につなげております。また、市独自の施策といたしましては、依然として続く食料の物価高騰の中、令和５年度より１食当たり29円、総額6,613万円の補助。令和６年度は１食当たり29円、総額6,623万円の補助を実施し、２か年間で合計１億3,236万円の支援を行っているところであります。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　分かりました。ちょっと数字の確認ということで、かなり大きな額にこれまで取り組んできたんだなということが数字で見て取れました。本来、この給食費に関して再質問してやっていこうかなと思っていたんですけれども、現在県議会が始まっていなくて、そこで予算が決まっていないので、私もしっかりとした質問ができませんし、答弁もちょっと今後の予定ということで厳しいのかなというふうに思いました。今後、県議会が状況も変わりましたので、どのようにこの給食費の無償化が次年度以降進んでいく

のかということも私も注視して見ていきたいと思います。我々の要望といたしましては、段階的にもちろん給食費を無償化していく。さらには、小学校・中学校、全額無償化していくという気持ちは一緒ですので、ぜひこの取組も我々うるま市議会からも、私も声を出していきたいと思います。

次の項目に移りたいと思います。大きい項目５番目、歳出削減対策への新たな提案ということで、これもこれまで提案してきた内容であります。温室効果ガスを削減することはもちろん、電気料金の大幅削減が期待できる炭化水素ガスを、現在使用しているフロンガスから切り替えるべきだと提案してきました。その後の進捗状況、私が懸念しているトラブルが何かなかったかということや進捗状況を教えてください。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　国吉亮議員の御質問にお答えいたします。

炭化水素ガス導入の進捗状況につきましては、令和６年２月にうるま市立海の文化資料館へ試験的に導入を行っております。現時点において、問題なく使用している状況でございます。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　安心しました。他県では既にこれが導入されていて実績があるんですけれども、沖縄県ではまだ数が少ない。加えて、他県と沖縄県の違いというのは、台風があるかないかというところで台風に持ちこたえられるような機能があるのか。あるいは、こちらは海の文化資料館ということで、海が近いということで、塩害のトラブルもないかなという心配があったんですけれども、今順調に運営しているということで、安心をいたしました。

それでは再質問、他市町村の導入実績です。前回は八重瀬町等々があったと思います。それからどのようになっているのか、他市町村の状況も教えてください。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

沖縄県内における他市町村の導入実績につきましては、八重瀬町の南の駅やえせ及びぐしかみこども園、読谷村のユンタンザミュージアムで導入していることが確認されております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　新たに読谷村でも導入が進められたということが分かりました。では、今後試験的導入ではなくて、全庁的な導入、例えば小学校・中学校、うるま市の公共施設で、うるま市が直営で管理しているところに導入を進めてほしいと考えますが、所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

うるま市立海の文化資料館の導入検証や他市町村での導入状況、検証結果などを踏まえ、検討してまいります。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　分かりました。ぜひ、試験的導入から全庁的導入、あるいは、まだ１年を通しての結果が出ていないので、皆さんのほうでも判断しづらいということもありますので、もう少し結果を待ってみたいなというふうに思います。

それでは最後の項目、６番目に行きたいと思います。今後、実施に向けて話し合ってほしいということです。要望とか提案というところではなく、本当に今、ゼロからのスタートで話し合ってほしいという意味合いで質問していきたいと思います。近年、気温の上昇で、これまで考えられなかったことが起こっています。熱中症の患者や死亡者数は、2010年以降大幅に増えています。昨日の一般質問の神田議員からの質問でもちょっと私はびっくりしたんですけれども、プールの温度が上がり過ぎてプールの授業ができなかったということがありました。これは、私は初めて聞きました。また甲子園では、今年度から暑さ対策として午前の試合と午後の試合を行うということで、２部制も導入されました。これまで、この暑さということで、いろんなところで対応が変わってきています。ここから質問内容に入りたいと思います。８月の夏休みのときに、ちょうど夏休みだったので、子供たちが公園で遊んでいるのかなと思ったら、遊

んでいない子供を公園で見かけました。何で遊んでいないのかと聞いたら、公園の遊具が熱いので、遊べないよということで、実際に触ったら相当熱かったです。時間もちょうど２時から３時ということでありましたので、質問していきたいと思います。夏場に公園の遊具が日差しにより熱くなり、子供たちが遊具を利用できなくなっている現状があります。そこで、遊具に日よけを設置することで、夏場の利用も可能となると考えますが、当局の所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

議員御提案の遊具に日よけを設置することにより、夏場の遊具利用に有効であると認識しております。しかしながら、既設遊具への設置となりますと、大型の屋根が必要であり多大な費用を要することから、財源確保が大変厳しいことや、台風時の維持管理についても課題があると考えております。今後、遊具設置の検討の際には、財源確保や安全面、維持管理面などを総合的に判断するため、事例研究に努めてまいります。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　この公園の遊具の上に日よけということで、全国的にもまだまだ導入されていないところが実際のところであります。うるま市においても、もちろんこれを設置しているという場所はないと確認しています。今要望したのは、これから既存の建物にこの日よけを設置してほしいということと、これから新たに造る公園に対しては、日よけも設置で進めていくんだよということを皆さんのほうで今検討してほしいなということで質問を出しています。時代によって、この公園の在り方も変わってきています。当初、公園とは、子供たちが思いっきり遊ぶ場所の公園。その次の流れといたしましては、大人の健康のため、健康づくりをするための器具を置いて、大人も子供も遊べる公園。そして最近では、インクルーシブ公園、もう誰でも使えるような公園ということになってきました。今、変化の時代にちょうど来ていると思いますので、ぜひこの日よけを今後設置していくよう、話合いを行ってほしいということを伝えて、次の質問に移りたいと思います。

高校１年生の子とちょっと話す機会がありました。現在抗がん剤治療を行っている子で、何か不安なことはないかというふうに聞いたら、今も生きるか死ぬかということも心配だが、将来、やはり結婚して家族を持ちたいんだというふうなことがありました。希望を持ってやったら進めるよというふうに伝えたら、いや、実際抗がん剤治療を行ったら、精子の低下、あるいは精子が出なくなるという時期が必ず来るというふうにおっしゃっていました。ぜひ、一つでも要望に応えていきたいということで、今回質問をしていきたいと思います。若年者における抗がん剤治療を行っている方に対しての精子凍結の支援、うるま市としてどのように行っていくのか。あるいは、沖縄県と他県含め、このような支援があるのかどうか、教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　国吉亮議員の御質問にお答えいたします。

御質問の支援につきましては、沖縄県がん患者等妊よう性温存療法研究促進事業の中で、かかる費用の一部について助成が受けられる制度がございますので、そちらでまず御案内したいと考えております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　私も検索したんですけれども、探せなくて、実際に出てこなかったんですけれども、いい情報を本当にありがとうございます。それを彼にも伝えていきたいと思います。現在行っているがん治療に加えて、精子を残していきたいと彼は要望をしていました。しかし、それにはまた予算がかかるということで、沖縄県が補助をしているが、結果自己負担が出てくるということでしたので、ぜひ皆さんに話し合ってほしいこと。若年者における県の補助金に加えて、自己負担分を、うるま市が今後独自の支援事業として

行っていくことを今後話し合ってほしいと考えますが、所見を伺います。
○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。
○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。
議員御指摘のとおり、がん患者におかれましては様々な御負担があると思います。市独自の助成金等につきましては、すぐに実施するには厳しいものがございますが、国や県や他市町村の動向を注視しつつ、関係部署とも情報を共有し、調査・研究してまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。
○６番　国吉　亮議員　すぐに対応するのは厳しいということは私も重々承知はしているんですけれども、そういった声があったので、今議会に取り上げています。
それでは、最後の質問です。他市町村に移動可能な広域的なコミュニティバスの導入ということですが、皆さんのほうでは、この広域的導入について現在どのような考えを持っているのか、またどのような取組を行ってきたのか伺います。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。
市町村をまたぐ広域的な公共交通の導入検討につきましては、沖縄県全域に関することは沖縄県地域公共交通協議会、中部圏域に関することは中部市町村連携交通会議において議論を行っているところでございます。公共交通サービスの充実に向けて、引き続き沖縄県、関係市町村、バス会社と議論を重ねてまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。
○６番　国吉　亮議員　すみません、大変失礼いたしました。私は最後の質問と言ったのですが、あと１個残っていますので、残り２つの質問をしていきたいと思います。現在、皆さんのほうでもバス会社と協議を進めているということで、話合いを進めているということで、一安心いたしました。
再質問をさせてください。中部市町村連携交通会議において、うるま市としてどのような要望や提案、現時点での市の考えなど、どのような議論を行ってきたのか教えてください。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質問にお答えいたします。
今年の７月に中部市町村連携交通会議における第１回ワーキンググループが開催されておりますが、その中でうるま市の計画や課題について情報共有をしております。議員御質問のうるま市としての要望・提案につきましては、今後の中部市町村連携交通会議及びワーキンググループにおいて行うことを予定しております。
○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。
○６番　国吉　亮議員　分かりました。
再質問させてください。うるま市における交通の最上位計画に位置づけられてありますうるま市交通基本計画の中に、他市町村に移動可能な広域的なコミュニティバスの導入と明記された文言はありますか。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質問にお答えいたします。
うるま市交通基本計画には、バス路線を補完する交通手段としてコミュニティバスの導入検討の記載がございますが、他市町村に移動可能な広域的なコミュニティバスとしての記載はございません。
○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。
○６番　国吉　亮議員　ぜひ、今後皆さんのほうで話し合って、この最上位計画にも入れるのか入れないのかという議論も含めながら進めていってほしいと思います。今後、免許を返納する方が増えてくる可能性があります。免許を返納したいのだが、ちょっと移動スペースが狭まるという方から質問を受けたので、今回質問を投げております。
それでは、最後の質問に行きたいと思います。石川庁舎における夜間駐車場の設置。令和５年９月第170回定例会において質問し、石川庁舎の夜間駐車場の設置を要望し、検討する必要があると

の答弁でした。あれから１年が経過しましたが、その後、当局においてどのような取組、あるいは話合いを具体的に行ってきたのか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　国吉亮議員の御質問にお答えいたします。

石川庁舎の夜間駐車場の設置につきましては、本来の駐車場機能を適切に確保し、管理・運営する必要があること。また、夜間駐車場の設置にかかる費用や管理方法、その費用対効果及び今後の石川地域まちづくり推進計画との整合を図る必要性など、様々な課題がございます。具体的な方向性はまだ見えておりませんが、引き続き関係課と協議してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　再質問します。

沖縄市コリンザ近くにある沖縄市中央公共駐車場は、同管理規則第３条において、周辺商店街及び公共施設を利用する者の駐車需要に設置されている。また、北谷町でも同じような駐車場を設置しています。今後、うるま市としても駐車場運営に関する条例を条例化すべきだと考えます。石川庁舎駐車場夜間利用についての見解を再度伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　再質問にお答えいたします。

議員御指摘のとおり、沖縄市中央公共駐車場及び北谷町営駐車場は、条例や規則においてその目的が明記されております。石川庁舎駐車場を夜間駐車場とする際には条例化が必要であると考えられますが、様々な課題に対して、関係課も含めて協議してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　国吉亮議員。

○６番　国吉　亮議員　以上で終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　暫時休憩します。

休　憩（１０時５５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時０７分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　議長の許可を得ましたので、今回、大きい項目８件に関して質問してまいります。簡明な御答弁、よろしくお願いいたします。

では初めに１件目、クルーズ船受入れ旅客ターミナル建設について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　宮城一寿議員の質問にお答えいたします。

クルーズ船受入れ旅客ターミナルにつきましては、沖縄県が令和４年３月に策定した中城湾港港湾計画において中城湾港新港地区内にクルーズ船専用岸壁を整備すると位置づけられておりますので、専用の岸壁整備と併せて旅客ターミナルが建設されるよう、計画の着実な推進に向け、引き続き沖縄県に対して働きかけてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問いたします。

現在、東埠頭の岸壁延伸が事業化され、令和６年度から令和11年度にかけ進められていることは理解しておりますが、旅客ターミナルについても同時並行で進めていくことができないか伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

中城湾港港湾計画では、貨客の分離を図ることで、旅客の安定的な受入れ環境を実現するため、クルーズ船専用岸壁の整備が記載されておりますが、具体的な整備時期等は定められておらず、現時点では事業化には至ってございません。クルーズ船専用岸壁等の整備は国や沖縄県の判断となりますが、コロナ禍以降、中城湾港へのクルーズ船の寄港実績がない状況でもありますので、東埠頭の岸壁延伸と同時並行で進めていくことは難しいと思慮いたします。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　では、次の質問に移ります。２番目の教育行政について質問してまい

ります。あげな中学校内武道場の活用について伺います。校内の武道場を剣道育成のため使用できないか、関係者が３年前から使用をお願いしておりますが、行政は把握しているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　宮城一寿議員の御質問にお答えいたします。

令和３年６月に、うるま市剣道連盟関係者から当時の生涯学習スポーツ振興課に学校の武道場を利用したい旨の相談があったことを確認しております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　では、再質問いたします。

武道場設置の目的について伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

中学校においては、体育の授業や部活動など教育環境を確保する目的で設置しております。また、平成20年の学習指導要領の改訂により、中学校保健体育で武道が必修化されたことに伴い、整備促進が図られてきたものでございます。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問します。

武道場使用について、教育施設課を私は７月22日及び８月22日に訪問して、行政、あげな中学校代表者及び市内剣道指導者との話合いを提案しました。いまだに話合いがありません。話合いの予定について伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

うるま市剣道連盟との調整につきましては、利用する時間帯や条件について学校側とスポーツ課職員を含め、三者で令和６年６月に協議を行っていることを把握しております。あげな中学校の武道場は、これまでもうるま市剣道連盟が利用していた時期がありましたが、学校側より戸締りや私物保管など、施設利用や管理面での課題の報告も受けておりますので、これまでの経緯や課題整理が整い次第、課題解決策と今後の利用について速やかに協議を進めてまいります。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　早めに話合いの日程を決め、私にも日時の連絡をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

では、次に移ります。教育行政についての（２）労働安全衛生法に基づく安全衛生委員会について伺います。職員の働き方改革に伴う各学校の安全衛生委員会の状況を伺います。50人以上の職場は、労働安全衛生法に基づき、安全衛生管理者・責任者１人を配置して、職場の働き方改革及び安全衛生委員会が義務づけられています。各学校の安全衛生委員会の設置の現状を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　宮城一寿議員の御質問にお答えいたします。

現在、市内の小・中学校で教職員等が50人以上在籍する学校は伊波小学校、天願小学校、田場小学校、兼原小学校、高江洲小学校、中原小学校、与勝中学校、あげな中学校、具志川中学校、具志川東中学校の10校となっており、具志川東中学校を除く９校で安全衛生委員会が設置されております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　労働安全衛生法に基づく安全衛生委員会設置は義務です。具志川東中学校が安全衛生委員会を設置していない理由について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

具志川東中学校におきましては、支援員等の年度途中からの配置により職員数が50人を超えてきたため設置ができておりませんが、企画委員会を毎週開催しており、学校の様々な問題について管理職を含めて話し合っております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　９校の安全衛生委員

会は年何回開催しているのか伺います。また、職場の働き方改革の問題も含め、先ほど答弁のあった様々な問題等についても伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

９校の安全衛生委員会につきましては、今年度は各校５回程度開催する予定となっております。また、働き方改革等の諸問題としましては、超過勤務者の改善や教育課題解決に向けた組織的対応の在り方、部活動の土日地域移行に係る課題などがございます。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問いたします。

安全衛生委員会での働き方改革、他の問題対策について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

安全衛生委員会では、一例として１、教職員の健康障害防止、健康保持・増進のための対策。２、長時間にわたる労働による教職員の健康障害の防止対策。３、教職員の精神的健康の保持・増進を図るための対策などについて審議する機関となっております。沖縄県教育委員会が作成した沖縄県公立学校における働き方改革推進計画「みんなの学校！ピースフル・プラン」では、沖縄県教育庁の推進体制として、沖縄県公立学校働き方改革推進本部が設置され、別途沖縄県公立学校教職員メンタルヘルス対策検討会議が設置されております。同様に、各学校におきましては、働き方改革による業務改善等を推し進めることにより、長時間労働を改善するとともに、校内安全衛生委員会等において適切に勤務状況報告や情報交換等を行っていくことが大切とされております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問します。

各学校での働き方改革での勤務状況報告や情報交換等を受けて、校内安全衛生委員会での対応について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

各学校では、長時間労働の傾向が見られる教職員がいた場合は心身の健康障害などを防ぐため、ケース情報を共有するとともに、対応策等について検討しております。また、学校における働き方改革の取組目標「私たちのピース・リスト2023」を基に、学校が中心となって取り組むことについて協議を進めていると伺っております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問します。

市内小・中学校10校に産業医は配置されているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

安全衛生委員会と同じく、９校に配置しております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問してまいります。

教職員の精神疾患による休職者数について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

精神疾患による休職者数は６人となっております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　では最後に、教育長に伺います。働き方改革で大事なことは、労働安全衛生法で示されている産業医の勧告・指導・助言権など、どう組織として活用し、メンタル不調者の減少につなげていくか、本市の取組について伺います。

○副議長（藏根　武）　教育長。

○教育長（嘉手苅　弘美）　宮城一寿議員の御質問にお答えいたします。

産業医が学校を巡視し、業務や職場の衛生状態

に有害のおそれがあるときは、教育委員会に対し教職員の健康管理等について必要な勧告をすることとされております。教育委員会は、勧告を受けて要因の分析や改善策を検討してまいります。また、必要に応じて学校長へ改善についての指導・助言を行い、教職員にとって快適な職場環境の形成を促進し、メンタル不調者の減少につなげてまいります。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　答弁ありがとうございました。次回は、教職員と産業医との話合い等について確認してまいります。

では、次の質問に移ります。３番目の仲嶺・上江洲区について伺います。県道224号線、具志川環状線の現状について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　宮城一寿議員の御質問にお答えいたします。

県道224号線道路整備事業の進捗状況について沖縄県中部土木事務所に確認したところ、現在の事業進捗率は事業費ベースで86％、用地取得率は98.6％である。令和６年度の工事については７月に契約済みであり、未整備である２か所の道路改良を予定しているとの回答がございました。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　県道224号線の道路拡幅支援について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

現在、当該道路整備事業を実施しております沖縄県より具体的な支援・協力依頼は寄せられてはおりませんが、早期事業完了による安全で円滑な道路交通の確保は、本市といたしましても重要であると認識しております。今後、依頼がございましたら、連携・協力してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　提言として、この道路拡幅場所には貴重な石文、石垣があります。琉球王朝時代の技術で先人が建設した石文と石垣を残すための支援として検討をお願いし、次の質問に移ります。

では、大きい項目４番目、川田区について伺います。ハブ出没住宅周辺の樹木・雑草整備について伺います。初めに、字川田区457番地付近にハブが出没し、安心した生活が送れないとの相談を受けました。行政はハブ出没について把握しているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　おはようございます。宮城一寿議員の御質問にお答えいたします。

今年７月24日、当該地域の住民よりハブの捕獲に関する相談を受けており、ハブ捕獲器の設置を行っております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問します。

ハブ出没住宅周辺の樹木・雑草整備について伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　再質問にお答えいたします。

ハブの出没等、ハブの生息のおそれのある樹木・雑草等が繁茂した土地につきましては、うるま市ハブ対策条例第３条の規定により、土地の所有者または管理者がハブの生息地とならないよう整備し、良好な状態で管理を行うものとされております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問します。

ハブ対策について伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　再質問にお答えいたします。

ハブ対策につきましては、沖縄県全体の対策として沖縄県ハブ対策事業基本計画に基づき、沖縄県・市町村・県民がそれぞれ役割分担の下、ハブ対策を実施するものとされており、本市のハブ対策といたしましては、ハブ対策条例の制定、草木が繁茂する土地所有者への環境整備に関する通知、

ハブ捕獲器の設置、周知啓発等を実施しております。
○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。
○１６番　宮城　一寿議員　では、大きい項目５番目の字具志川について伺います。具志川グスク整備について。自治会と行政とのグスク整備の話合いについて伺います。
○副議長（藏根　武）　社会教育部長。
○社会教育部長（川端　登）　宮城一寿議員の御質問にお答えいたします。
具志川自治会との話合いにつきましては、令和６年２月第173回定例会において答弁したとおりでございます。今年度に入ってからは、具志川自治会と具志川グスク整備の話合いにつきましては開催をしておりません。なお、平和学習での利用などでは常に情報共有をしております。
○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。
○１６番　宮城　一寿議員　再質問します。
市の文化財指定から１年になります。地域の皆様は、平和学習の場として具志川グスクの整備を望んでおります。グスクの壕は、戦争犠牲者の集団自決の場となっております。行政の整備対応について伺います。
○副議長（藏根　武）　社会教育部長。
○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。
令和６年２月第173回定例会でも答弁したとおり、具志川グスク周辺には個人有地などもあり、市単独での早急な整備は厳しい状況であります。教育委員会では、平和学習の際に事業者へ車両の駐車許可の依頼や自治会の草刈り作業のサポートなど平和学習の活用に協力しており、今後も自治会と協力・連携していきたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。
○１６番　宮城　一寿議員　２番目の児童・生徒の登下校時の安全確保について伺います。この場所は具志川3011番地付近の道路で、県道８号線、県道37号線への車両抜け道で、朝夕の車両通行が増えております。道路幅が狭い上、児童・生徒の登下校時の安全確保が必要です。注意喚起、放置車両の通行禁止等の立て看板設置はできないのか伺います。
○副議長（藏根　武）　市民生活部長。
○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。
御質問の道路につきましては、道路幅員が狭く、人と車が交差する際には危険となる可能性があることから、地域自治会及び近隣小・中学校から現状等をお聞きしながら対応策等を検討してまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。
○１６番　宮城　一寿議員　対応を検討するのではなく、対応できないか、もしお答えできるならお願いします。
○副議長（藏根　武）　市民生活部長。
○市民生活部長（松岡　秀光）　答弁しましたとおり、対応策等を検討してまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。
○１６番　宮城　一寿議員　危険な場所ですので、この対応検討がいつまで続くのかが示されておりませんけれども、早めの対応をよろしく、子供たちの命を守るためにも立て看板が必要ですので、早めの設置をお願いし、次の質問に移ります。
続いて、６番目の勝連・平敷屋地区について伺います。市道勝連２－１号線崩落道路整備について伺います。まず初めに、市道勝連２－１号線崩落はいつ発生したのか、現状について。この場所は、建設委員会でも調査いたしました。崩落が激しい状況でした。今年の12月からはサトウキビ出荷準備・運搬に必要な道路です。整備が急がれております。復旧に向けての市道勝連２－１号線崩落道路整備の対応について伺います。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。
令和６年６月11日から18日にかけて、断続的な大雨により道路延長約43メートル区間において、高さ20メートル、幅50メートルに及ぶ地滑りが発生し、危険回避のため、全面通行止めの措置を講じております。現在、災害復旧に係る実施設計を

行っており、令和７年１月頃に工事発注し、同年９月完成を目標としております。
○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。
○１６番　宮城　一寿議員　再質問します。
　現在、全面通行止めとなっておりますが、片側通行の対応はできないのか伺います。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質問にお答えいたします。
　当該道路は道路幅員が狭く、地滑りによる影響を回避しつつ片側交互通行は困難でございます。地域の利用者の皆様には大変御迷惑をおかけしますが、早急な災害復旧に努めてまいりますので、御理解をお願いいたします。
○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。
○１６番　宮城　一寿議員　提言として、来年１月からということですけれども、前倒しで令和６年度から工事を着工し、早めの復旧をお願いし、次の質問に移ります。
　２番目のホワイト・ビーチ地区の夜間サイレンについて伺います。市民から問合せがあり、８月27日火曜日午前１時、午前４時にホワイト・ビーチ内からサイレンが鳴り、緊急事態のサイレン下、通報もなく、区民が不安になっている。前日の昼間でもサイレンが鳴っている。行政でサイレンの目的、意図について確認し、平敷屋区民に知らせたのか伺います。市民が安心して生活できるような対応をお願いいたします。
○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　宮城一寿議員にお答えします。
　御指摘のホワイト・ビーチからのサイレン音につきましては、同施設関係者に照会したところ、当該サイレンについては、必要なメンテナンスのために実施したもので特に警戒すべきものではなかったが、地元への事前通告は行っておらず、申し訳ありませんでした。今後は、近隣住民に不安を与えないよう、事前に地域にも連絡したい旨の回答がありましたので、地元自治会に対し、その内容を伝えたところでございます。なお、今後も住民からの指摘がございましたら、関連施設等に照会するなど、迅速な対応及び情報提供に努めるとともに、住民生活に支障のない時間帯で実施することについての要請を検討してまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。
○１６番　宮城　一寿議員　大きな問題は、メンテナンスのために夜間の午前１時と午前４時に鳴らすのが非常識ではないかと思っております。文書での要請について伺います。
○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。
　今回の件につきましては、先ほども答弁いたしましたように、当該施設からは近隣住民に不安を与えないよう、事前に地域にも連絡するといった旨の回答がございましたので、現時点では文書での要請を行う予定はございませんが、再度同様なことがあった場合には、改めて文書による要請等も検討してまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。
○１６番　宮城　一寿議員　再度発生したら文書で要請するということを検討するということですけれども、二度と起こさないためにも、初めに文書でもって記録を残すためにも、文書の要請が私は必要だと思っておりますので、二度と起こさないための対応を今後取ってください。
　では、次に移ります。大きい項目７番目の島しょ地域地区別課題について。まず初めに、１番目、津堅島について。津堅277番地付近の農道整備について伺います。失礼しました。アギ浜港の現状について伺います。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。
　アギ浜港につきましては、令和６年７月に実施された港湾整備に係る市町村ヒアリングの場において、防波堤かさ上げ及び埠頭用地浸食対策を継続要望いたしましたが、現時点まで対策実施には至っておりません。令和５年度にも同様の要望を

行っており、沖縄県港湾課から、アギ浜港は定期航路がないことから、定期航路のある津堅港の整備を優先的に検討しているところである。予算措置の状況や他事業の進捗を踏まえながら、引き続き整備計画等について検討していきたいとの回答がございました。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　議長、休憩願います。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１１時３９分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時４０分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　では、再質問します。

アギ浜港内の船揚げ場の現状について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　アギ浜港内における漁船の対応につきましては、移動の貼り紙、所有者が確認できているものに関しては移動通知書を送付しております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　２番目の津堅277番地付近の農道整備について伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　宮城一寿議員の一般質問にお答えします。

津堅277番地付近農道4090号については、降雨時に水がたまり、通行に支障となっておりましたので、今年７月に補修工事を発注し、現在補修工事は完了しております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　私も津堅島へ行って、９月６日に現場を確認いたしました。補修工事、ありがとうございました。ＪＡの皆さん、地域の皆さんに代わってお礼申し上げます。

次の質問に移ります。島民の声で、防災行政無線整備について伺います。これまでも津堅島の島民の声を踏まえ、防災行政無線の増設をお願いしてきましたが、さきの４月３日、台湾地震による津波避難に関する放送も聞こえなかった、聞き取りもできなかったという声で、今回質問に上げました。津堅島における防災行政無線の増設について伺います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

津堅島の防災行政無線につきましては、整備当時の設計に基づき、現在２基のスピーカーが配置されておりますが、今年４月３日の津波避難を呼びかける放送の際に一部地域で聞こえない、聞き取りづらいといった声が上がっておりました。その後、担当職員による現地調査を行い、現在スピーカーの増設を含め、対応に向けた予算措置等について検討しているところでございますので、御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問いたします。

予定として、いつまで検討し対応できるのか伺います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

現在、次年度での予算化に向けた調整を行っており、想定どおり予算化された際には、次年度４月以降に対応してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　次年度４月以降、対応よろしくお願いします。

次に、島民の声として、粗大ごみ回収について伺います。ごみ回収の現状と粗大ごみの回収について伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

津堅島でのごみ回収は、燃やせるごみが毎週月曜日と木曜日、資源ごみ・燃やせないごみ・有害ごみが毎週水曜日の回収となっております。島内で回収されたごみにつきましては、その日のうちに、フェリーを利用し中部北環境施設組合まで搬

入しております。次に、粗大ごみ回収につきましては、粗大ごみを搬出する方が自治会にて受付を行い、処理券購入後、粗大ごみに貼付けし、公民館に仮置きを行います。ある程度たまった後、市の環境政策課と回収日の日程を調整し、粗大ごみの回収を行っております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問します。

フェリー欠航による粗大ごみ回収について伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

さきにも述べさせていただきましたが、津堅島での粗大ごみ回収につきましては、うるま市環境政策課と津堅自治会において常に連携を図り、日程調整を行いながら回収日を決定しておりますので、フェリーの欠航等による影響はございません。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　島しょ地域の地区別課題の２番目の浜比嘉島について質問します。旧比嘉小学校の現状及び活用について伺います。旧比嘉小学校については、地域の避難所として指定されておりますが、さきの４月３日の台湾地震による津波避難の際は、鍵もなく、使えない。また、敷地内も雑草が生い茂っている状態だったと聞いておりますが、現状はどうなっているのか。また、今後の活用などの計画について伺います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

旧比嘉小学校の施設のうち、現在でも残っております旧特別教室棟につきましては、浜比嘉島における指定避難所に指定されており、従来入り口の鍵につきましては、地元の浜及び比嘉自治会でも保管しておりましたが、さきの４月３日の台湾地震による津波警報の際には、その所在が不明であった旨の報告があったため、現在は地元の２自治会と確認の上、保管・管理をしていただいております。また、同施設につきましては、長期間にわたり放置されていたことから、改めて室内やトイレなどの清掃や敷地内の草刈りなども実施しており、９月現在、いつでも利用できるように整えているところでございます。なお、旧比嘉小学校跡地につきましては、避難拠点施設としての整備を計画しているところでございますが、現在当該施設予定地の一部は個人所有地で、その所有者が亡くなり相続が停滞していることから、現在その課題を解決するための検討をしているところでございます。当該計画につきましては、地元自治会、住民等の皆様の要望などを踏まえ、進めてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　では、３番目の平安座島について伺ってまいります。うるま市文化財保存強化取組について伺います。平安座島では、旧３月３日に行われるサングヮチャーの伝統行事があります。うるま市の文化財保存活用地域計画が国の文化庁から認定を受けました。魅力ある伝統行事の平安座島サングヮチャーの観光に向けた取組について伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

サングヮチャーは平安座島の３月行事の総称で、漁師の島ならではの独特な風習であります。今後の観光活用につきましては、地元との合意形成が必要であると考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　再質問します。

文化財保存強化に向けた平安座島への支援について伺います。また支援内容について、平安座島で対応すべきアドバイスもあれば、お願いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

平安座島にはサングヮチャーやトゥダチ墓など、貴重な文化財が残っております。それらの貴重な文化財の保存・活用や文化財指定につきましては、地元や所有者の御理解と御協力が必要であります。教育委員会としましても、保存に向けて、文化財

保護の観点や整備手法などについてアドバイスをしていきたいと考えております。また、文化財指定支援等につきましては、今後平安座自治会の対応を待って、進めてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　ありがとうございます。ひとつ、また平安座からの支援があれば、よろしく対応をお願いします。

次に、２番目のグレーチング整備について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

議員御質問の箇所は、市道与那城18号線彩橋小中学校正門前及び平安座郵便局前の側溝グレーチングでございます。現場確認を行ったところ、老朽化による破損が原因で異常音を発しておりましたが、早急に修繕を行い、現在異常音は改善しております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　９月10日に立会いで修繕を確認いたしました。ありがとうございました。

では、次の宮城島について伺います。桃原漁港しゅんせつ工事の現状について伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

桃原漁港については、令和２年度に漁港施設18施設を点検調査及び施設の機能診断を実施し、桃原漁港機能保全計画書を策定しております。点検調査により、マイナス1.5メートルの泊地、マイナス2.0メートルの泊地に土砂の堆積が確認され、漁業者の施設利用に支障を来すおそれがあることから、水産関連の補助事業を活用したしゅんせつ工事に向けて沖縄県と協議してまいりました。現在、補助事業の活用が厳しい状況であるとのことであります。しゅんせつ工事には多額の費用を要しますので、国庫補助等を活用した事業でなければ大変厳しいことから、今後財源確保による事業化に向けて、引き続き検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　地域の漁民が困っておりますので、しゅんせつ工事に向けた迅速な対応をお願いし、次の質問に移ります。

伊計島について伺います。この件は、去る中村市長と地域意見交換会で、自治会から要請があったのかどうか伺います。伊計漁港入り口の不法開発の現状についてです。お願いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　宮城一寿議員の御質問にお答えいたします。

去る７月29日に行われた市長と伊計自治会による意見交換会において、伊計自治会より市有地への占有問題の早期解決についての要望がございました。市といたしましては、顧問弁護士と相談し、問題解決に向け取組を行うと回答いたしております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　伊計自治会からの要望に応えるためにも、早期解決に向けて迅速に取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いします。この件に関しては、以上で終わります。

最後の８番目の市民の声について伺います。１番目に、ドリフト行為防止対策について質問いたします。市内暴走、ドリフト行為対策は、どのような策を取っているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

うるま警察署及び石川警察署へ確認したところ、監視カメラの設置や警察による夜間パトロール、検問の実施など、夜間における暴走、ドリフト行為の抑制に取り組んでいると伺っております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　州崎の暴走、ドリフト行為対策の現状について伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたし

ます。

州崎地区周辺には、現在、監視カメラを４つの橋梁にそれぞれ１か所ずつ、同地区内の道路に４か所の計８か所に監視カメラを設置しております。うるま警察署において、夜間パトロールや橋梁付近での検問を実施するなど、暴走、ドリフト行為対策を行っていると伺っております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　２番目の南海トラフ地震に備えて。４月３日の台湾地震による津波避難の際は、自主防災組織や市民から様々な課題・改善点などに関する声が上がっていたと思うが、これらの反省点を踏まえ、南海トラフ地震におけるうるま市の位置づけと、市としての対応をどう備えていくのか伺います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

先日、気象庁より南海トラフ地震臨時情報が発表されましたが、同地震による津波などの被害が想定される防災対策推進地域に本市も指定されておりますので、今後も南海トラフ地震に関する情報発信を継続してまいりたいと考えております。また、さきの４月３日の台湾地震による津波避難の際の反省点でもありました避難先の備蓄倉庫の飲料水などが利用できないといった点につきましては、現在備蓄倉庫内の物品について、周辺の自主防災会の判断で利用できるよう、鍵の管理などについて調整を進めているところであり、避難先の設備やトイレなども利用できるよう、施設所管部署などと調整を図っているところでございます。さらに、現在自主防災会などの関係団体に対する防災講習会の実施や避難訓練等を通した連携の強化に取り組んでおりまして、今後も広報紙やホームページなどを活用し、市民への情報提供や意識啓発の徹底を図ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　最後の市民の声、３番目のエイサー会館建設について質問してまいります。８月31日と９月１日に行われました本市のエイサーまつりは、２日間で約12万5,000人の熱気あふれる祭りになりました。ちびっ子から大人によるエイサーは、うるま市浜比嘉島が発祥の地と言われております。うるま市にエイサー会館を建て、観光ＰＲ及び人材育成の観点からも必要で、エイサー会館の建設に向けた取組について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

エイサー会館の建設につきましては、整備の必要性について検討を要するものでありますが、隣接市に類似施設があることや、施設整備費並びにランニングコストなどを考えますと、大変厳しいものと考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　確認の意味で、再質問いたします。

うるま市のＰＲのため、エイサーのまちうるま市を全国的にＰＲするため、会館建設に取り組んでいただきたいのですが、再度御答弁お願いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

エイサー会館建設については、先ほど申し上げたとおり、大変厳しいものと考えておりますが、この３年間で延べ８団体の青年会を県外へ派遣し、うるま市エイサーの魅力を発信するとともに、市のプロモーションにも貢献していただく取組を通じて、青年会活動の活性化や担い手の確保につながっており、また町なかでの道ジュネー方式で開催した第19回うるま市エイサーまつりでは、まちのにぎわい創出や地域活性化に意欲的な姿勢で各青年会が運営面から主体的に取り組みながら、県内外から御来場いただいた大変多くの皆様へうるまのエイサーを感動体験していただけたものと実感をしております。したがいまして、施設整備によらずとも、現在行っている取組においても県内外へ向けたうるま市エイサーの魅力発信や観光のＰＲ、人材育成の観点も含め、可能であると考えております。

○副議長（藏根　武）　宮城一寿議員。

○１６番　宮城　一寿議員　12時になりました。これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　午前の日程をこの程度にとどめ、午後１時30分より会議を開きます。

暫時休憩します。

休　憩（１２時０１分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時３０分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　皆さん、こんにちは。議長の許可を得ましたので、一般質問、会派かけはしより國場正剛でございます。よろしくお願いいたします。今回、大きな項目で５点上げております。順序よく質問してまいりたいと思います。

まずは、うるま市文化財保存活用地域計画についてお伺いします。去る７月の新聞報道で、文化財保存活用へ認定、うるま市地域計画、文化庁から県内初ということで、記事を目にしました。うるま市内には未指定文化財が3,270件あり、登録が進んでいない状況にあると記されていました。まずは、文化庁長官の認定を受けた経緯についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　國場正剛議員の御質問にお答えいたします。

平成30年に文化財保護法が改正され、文化財保存活用地域計画の策定が位置づけられました。近年の過疎化、少子高齢化等の社会状況の変化を背景に、各地域の貴重な文化財の滅失、散逸等の防止が喫緊の課題となっております。従来、価値づけが明確でなかった未指定文化財を含めた有形・無形の文化財をまちづくりに生かしつつ、文化財継承の担い手を確保し、地域社会総がかりで取り組んでいくことのできる体制づくりを整えることが求められております。本市におきましては、同計画策定に向け県内でもいち早く取り組み、文化庁との協議を重ねながら、去る７月19日に文化庁から認定を受けました。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　県内でもいち早く取り組んだということで、文化庁長官の認定を受けております。この記事の中で、認定されたことで文化財保存に関する国の補助事業を活用する際、補助率が加算されるなどのメリットが記載されていますが、補助率加算について伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

本計画を策定することにより、具体的な活用方策が記載されている場合、文化庁関連事業の優先採択や観光拠点整備事業で従来の補助率に５％加算されるなどの優遇措置が講じられることとなっておりますが、現時点では具体的な情報がないため、今後情報収集をしていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　御答弁によると、今は具体的な情報がないとのことでありますが、我々は今後、会派かけはしの政務活動調査において文化庁と勉強会を予定しております。その中で、補助率加算の件についての情報が得られれば、共有していきたいと考えます。

それでは、次にまいります。今後、地域住民に対して文化財の大切さをどのように伝えるのか。また、文化財の保存・継承の取組について伺います。さらに具体的な取組があれば、併せて伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

本計画につきましては、地域に眠る未指定文化財も網羅した保存活用計画となっております。本計画では、４つの関連文化財群をストーリーとして示しており、ストーリーごとのパンフレットなどを作成し、地域ごとの魅力を市内外に発信し、文化財の大切さを伝えていきたいと考えております。また、文化財の保存・継承につきましては、現在実施しております伝統文化・民俗芸能伝承活動事業を通して、伝統芸能をサポートするととも

に、庁内関係部局と連携して各種イベントにおいて発表の場を創出し、保存・継承・発展に取り組んでまいりたいと考えております。さらに、次年度より関連文化財群の一つでありますグスクと村落の形成のまちから安慶名城跡の将来的な整備に向けた試掘調査を実施する計画であります。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　休憩をお願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１３時３６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時３６分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　このただいまの答弁の中に、４つの関連文化財群とありましたが、私のほうから御紹介させていただきます。１つ目は、海の国として活躍するまち。２つ目は、グスクと村落の形成のまち。３つ目は、歌と芸能を生み出すまち。４つ目は、戦後復興発祥のまち。以上、４つの関連文化財群に分類されている中で、グスクと村落の形成のまちから、安慶名城跡の将来的な整備に向けた試掘調査が次年度より行われるという御答弁がありました。地域に暮らす一人としては、非常にうれしく思います。しっかりと試掘調査を行っていただきますよう御要望申し上げ、調査結果の報告を楽しみに待ちたいと思います。

ひとつ、部長。このパンフレットというんですか。この資料の中の３番の歌と芸能を生み出すまちの中で、写真が獅子舞なんですね。しかし、この中に伝統的なエイサーや獅子舞という文言がないのかなと私はちょっと物足りなく思っています。昨日、同僚議員から獅子舞の案件が出ておりました。せっかく獅子舞の写真が載っているので、ここに獅子舞の文言を入れたら、さらにこの内容が濃くなるのかなと思っておりますので、次に改訂する場合には、ぜひ獅子舞の文言を入れていただければと思っております。よろしくお願いします。この件については終わります。

２番目の質問に移らせていただきます。福祉行政の中で、孤独死についてお伺いします。孤独死、孤立死とも言うんでしょうか。社会的な孤立や孤独感を抱える人が、自宅などで他者に発見されることなく亡くなる現象ということで、そこでお尋ねします。沖縄県及びうるま市の孤独死の状況についてお伺いします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　國場正剛議員の一般質問にお答えいたします。

沖縄県及びうるま市の孤独死の状況につきまして関係機関へ確認したところ、詳細なデータがなく把握ができませんでしたが、警察庁の資料で、警察での取扱いとされた死体のうち、自宅において死亡した一人暮らしの者の数値としては、令和６年１月から３月の間で沖縄県では184人となっており、そのうち65歳以上が126人というデータがございます。なお、その際の死因ですが、早期発見された場合は病死と判明されるのが大半であり、その際にも本人が孤独かどうかという精神的・主観的概念としての実態は把握されておりません。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　なかなかデータがないということでございます。警察庁の資料ではありますが、沖縄県では184人中65歳以上が126人ということで、高齢者が多いのかなという印象を受けております。私の考えでは、非常に多いのかなと思っております。それでは、質問に移らせていただきます。この孤独・孤立化を防ぐ対策に向けたうるま市の取組についてお聞かせください。お願いします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　再質問にお答えいたします。

孤独・孤立対策に向けては、現在進めている重層的支援体制の整備の中の一つとして、人と人とのつながりを実感できるための施策の推進とした連携の取組を検討しているところでございます。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　孤独死を防ぐために

は、地域のつながりを強化することが重要だと考えます。重層的支援体制の整備の中で、コミュニティ活動や見守りサービス、孤立感を軽減するための支援や窓口相談の設置も必要と考えます。これまでの答弁において、詳細なデータはないということ、警察庁の資料で、自宅において死亡した一人暮らしの者、令和６年１月から３月の間で184人、うち高齢者が126人。孤独死と言えるかどうかは分からないですけれども、高齢者が多いということを先ほどから感じております。この取組を重層的支援体制の中で検討していくことを理解しました。今回この質問を取り上げたのは、うるま市内で福祉事業を経営している方が、日頃の福祉業務の中で、誰にも看取られずに亡くなる、恐らく孤独死と思われる案件を目の当たりにして、その方は心を痛めて、自らこの孤独死というテーマに取り組もうと動き出しているとの情報を耳にしました。これは地域で耳にした情報です。この取組は、まだまだ道半ばだと聞いておりますけれども、この体制が整い次第、この事業者は本格的に取り組んでいると伺っているんですね。その際には、官民で取り組める部分があれば、執行部のほうにも御協力をお願い申し上げたいと思います。この質問はこれで閉じます。

３番目の質問に行きます。都市建設。安慶名地域排水修繕について伺います。安慶名二丁目付近にある排水路について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　國場正剛議員の御質問にお答えいたします。

安慶名二丁目付近にある排水路は、深さ約１メートル、幅約１メートルの断面があり、雨水や生活排水を処理する排水路となっております。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　去る６月定例会の終わりでしたかね。そのあたりで、付近住民より排水路の蓋が陥没しているとのことで、私も近所に住んでいるため陥没状況を確認しましたが、現在はどのようになっているのかお伺いします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質問にお答えいたします。

地域住民の通報により現場確認を行った結果、経年劣化による鉄筋の腐食が見られ、コンクリートが剝がれ落ちたことによる排水路蓋の崩落でございました。緊急性の高い修繕工事と判断し、約19メートル区間の排水路蓋の修繕を行っております。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　排水路の修繕は行っているということで、質問いたします。排水路の蓋の取替えは完了していると考えていいのか、お伺いします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

今回、緊急性の高い約19メートルの区間について修繕を行っておりますが、下流側約20メートル程度の区間についても修繕工事が必要と判断しており、引き続き対応してまいります。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　今回、緊急性の高い約19メートルの区間。今後、下流側約20メートル程度の区間についても修繕工事ということで理解いたしました。しかしながら、この排水路は私が見たところ、総延長は相当あります。起点はちょっと分からないんですけれども、終点は恐らく安慶名闘牛場入り口を過ぎた給油所の手前あたりだと思われます。私が物心ついたときからあったと思われますので、設置から50年は経過しているのではないかと思われますが、非常に安全面の管理も難しいかと思います。近隣住民の安心・安全なまちづくりのためにも、今後もさらなる安全点検をよろしくお願いいたします。以上、この質問は閉じます。

４番目の質問に入ります。雨水幹線について。安慶名第２雨水幹線の整備についてお伺いします。この案件は、令和元年６月第133回定例会の一般質問で、当時中村正人議員が取り上げております。その後、令和４年９月第162回定例会において私

が取り上げてまいりました。それでは、質問いたします。安慶名第２雨水幹線の整備について伺います。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　國場正剛議員の御質問にお答えいたします。

安慶名第２雨水幹線の整備につきましては、安慶名第１雨水幹線へバイパス管、管径1,350ミリメートル、延長約241メートル、令和４年度から令和６年度に工事を行い、整備は完了しております。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　当時の答弁書を振り返り読み返すと、答弁どおりほぼ順調な整備が行われていることが確認できました。それでは、安慶名第２雨水幹線整備の効果についてお伺いします。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　お答えいたします。

排水能力が不足している安慶名第２雨水幹線の排水量を低減させるため、安慶名第１雨水幹線へのバイパス管を整備することで、浸水被害の軽減を図る効果がございます。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　排水能力が不足している安慶名第２雨水幹線の排水量を低減させるため、安慶名第１雨水幹線へのバイパス菅を整備することで、浸水被害の軽減を図る効果があるとの御答弁でありました。これまで、雨水幹線の側壁を超えた雨水が隣接する宅地や畑へ流れ込む状況があり、堆積する土砂や雑草を除去し、越流の防止を図ってきたことも理解しております。

それでは、質問いたします。今後の安慶名排水区における整備計画についてお伺いします。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　お答えいたします。

今後の計画といたしましては、令和６年度から令和７年度にかけて安慶名第３雨水幹線から安慶名第１雨水幹線へバイパス管、管径900ミリメートル、延長約379メートルの工事を予定しております。バイパス管の設置箇所につきましては、県道224号線具志川環状線沿いの旧又吉商店付近から市道203号線あげな中学校線及び市道119号線安慶名平良川線のあげな中学校付近までの地中に管を設置する予定でございます。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　今後の計画が、県道224号線沿いから市道203号線あげな中学校線及び市道119号線あげな中学校付近までということが分かりました。今回の整備において、一部道路のアスファルトがきれいになりました。さらには、横断歩道がカラー舗装されてきれいになっております。水道部に何度か伺った際に、工事完了の際には横断歩道をカラー舗装できないかと地域の声を届けてまいりましたが、予算との兼ね合いがあるということで即答はいただけませんでしたが、今回、横断歩道３面のカラー舗装が整備されたことに対して感謝申し上げます。私は、ほぼ毎日のようにこの地域を朝・夕と歩いているのですが、私の感じた範囲では、カラー舗装の影響だと思われますが、横断歩道直前の停止線で一時停止する車両が多くなっていると私は感じています。さらに、先ほどの答弁で、今後の計画の中にあげな中学校付近までの地中に管を設置するとのことでしたが、その付近にも横断歩道がございますが、しかも事故の多い地点でもございます。そこの部分ももしできるのであれば、併せてお願い申し上げます。さらには、都市建設部長がいらっしゃるので、参事は今日はいらっしゃらないのですが、お二方にもお願い申し上げます。今後、このような横断歩道にかかるような工事があった場合、カラー舗装をぜひ御検討くださいますようお願い申し上げます。特に学校周辺においては、安心・安全な通学路の実現に向けて、お願い申し上げます。答弁は求めません。この件については終わります。

それでは、最後の質問に入らせていただきます。教育行政。小・中学校建て替え状況及び今後の予定についてでございます。小・中学校の建て替え事業について、現在取り組んでいる事業と今後の整備予定について伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　國場正剛議員の御質問にお答えいたします。

学校施設の整備事業としましては、現在具志川小学校校舎増改築事業に取り組んでおります。今年度で校舎の完成を見込んでおり、次年度予定の運動場等の屋外環境整備工事で事業完了となる計画でございます。また、令和５年度に高江洲中学校と具志川東中学校の基本調査業務を実施し、今年度は引き続き高江洲中学校の基本設計を進めていくほか、兼原小学校基本調査業務に着手しております。今後の整備予定につきましては、現在進めている基本調査や基本設計を基に、事業計画を策定していくことになります。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　平成30年12月第129回定例会であげな小学校の校舎全面建て替えについて、私のほうが一般質問をしております。当時の答弁では、今後、平成31年度以降に策定される学校施設長寿命化計画に基づいて改修や改築の計画が立てられることになりますと答弁されております。その後に、あげな小学校の校舎整備計画がどのように示されているのか、お伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

あげな小学校の整備につきましては、令和２年度に策定しました、うるま市学校施設長寿命化計画で令和７年度以降を予定としております。基本的には、本計画で校舎整備計画を策定してまいりますが、現在進めている事業の進捗状況や市の優先施策、財政状況等を見極めながら現計画の見直し業務を進めており、あげな小学校校舎整備計画についても、見直し業務の中で決定してまいります。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　平成30年12月第129回定例会では、あげな小学校の全面建て替えの陳情要請はないとの答弁であったが、その後の要請について伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

令和６年２月６日に、あげな小学校の教育環境整備と校舎全面建て替えについて、学校長及びＰＴＡ役員の連名による要請を受けております。校舎整備につきましては、先ほど答弁いたしましたとおり、うるま市学校施設長寿命化計画に基づきながら計画を検討していくこととしております。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　要請を行うことにより、市の計画に影響を与えることがあるのか伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

要請内容の教育環境整備につきましては、学校や地域の方々から多くの要請がございます。限られた予算の中で、教育委員会としましては全小・中学校児童・生徒の安全確保を最優先に取り組んでおります。校舎整備につきましては、現在進めている事業の進捗状況も勘案しながら、うるま市学校施設長寿命化計画に基づいて進めてまいりますので、整備計画の見直しが生じるなどの影響はないものと認識しております。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　要請をすることが、整備計画に見直しが生じるなどの影響はないということが確認できました。執行部の整備計画に対するぶれない姿勢が確認できました。

それでは、質問を続けます。学校長が連名して要請することに私自身は違和感を覚えますが、見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

学校長連名による要請につきましては、これまでも他校からの要請を受理した事例もございます。学校側や保護者を代表する皆様の声として受け止めております。

○副議長（藏根　武）　國場正剛議員。

○２４番　國場　正剛議員　私が違和感を覚えたということで質問させていただきましたが、過去に平成26年12月頃、内容は違うのですが、ＰＴＡ役員として私も要請行動を行ったことがあります。そのときに、当時の校長、教頭先生に要請文書への連名をお願いしたところ、断られた経緯がありまして、このような質問をしております。理由としては、学校側の立場にいるので、ＰＴＡ役員を中心にやってくださいと言われたことが記憶にありましたので、質問させていただきました。ただいまの答弁で理解いたしました。あげな小学校におきましては、私自身も確かに老朽化が進んでいると感じております。初めて質問に取り上げたこのときの答弁では、築34年から32年が経過しているとのことでした。今では、それにプラス５年ほどたっていることになります。過去には、校舎の軒先のコンクリートが剝離して、通路や運動場の一部に破片が落ちたり、校舎屋上のフェンスが台風の影響で倒れるなどありました。最近ではクーラーの故障がありました。私もこの件は、父母の要請で現場に駆けつけて、業者とこの原因について話し合ったこともあります。これも本当に短期間、３日間ぐらいで修理が完了して、本当に早急な対応に感謝申し上げるところでございます。また、児童玄関の雨漏りの修繕、これも非常に迅速な対応で、終了しましたと報告を受けております。しかし、このようなことがあって、校舎に関しては老朽化を私も感じております。屋外整備に関しては、これまでに防球ネット及びバックネットの整備をしております。最近では、屋外照明のＬＥＤ化。この屋外照明に関しては、私自身非常に思い入れがありまして、父母の時代から指導者になって現在まで約20年ほどたっていますが、その当時から設置されていて、当時は木柱でした。しかしながら、経年劣化で腐食しましたが、当時の父母有志で、この柱を鉄製の柱に変えて、水銀灯も度々故障を繰り返しておりましたが、その都度、これは行政の力を借りずに頑張ろうということで、水銀灯を修繕してきました。あるときは、浜中学校ですかね。廃校になったところから水銀灯を譲り受けて、みんなの力で修繕をして維持してきましたが、昨年、ついに行政の力を借りなくては対応できなくなりました。当時の担当者と交渉を重ね、設置するという約束を取りつけていたんですけれども、いつの間にか退職されて区長になっていらっしゃいました。それで、またこの要請が白紙に戻るのか非常に心配でしたけれども、担当者に近い職員とここまで交渉していたよと、約束していたよというお話をさせていただきました。それで、このＬＥＤ化が実現しました。なぜ、私がこの電灯に思い入れがあるのかと言うと、これから日没が早くなって、冬場にそこで活動している子供たちが帰るときには真っ暗なんです。なので、この状況で、特に低学年とかはランドセルも忘れて帰るぐらい真っ暗なんです。なので、早めの設置を長きにわたりお願いしていたところ、設置されたということで、子供たちにとっての環境が改善されたことを感じております。この校舎建て替えの件ですけれども、私もできるだけ早い時期に建て替えしてほしいなと思っておりますけれども、整備計画があることもやはり議員として理解しています。計画に沿って速やかに行っていただければ非常にありがたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

今回、大きな項目５点を取り上げてまいりました。当局の簡明なる御答弁、誠にありがとうございました。以上、私の一般質問をこれで終わります。

○副議長（藏根　武）　次の質問者、玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　皆さん、こんにちは。玉元哉世でございます。議長の許可を得ましたので、一般質問をさせていただきます。よろしくお願いします。

では、大きい項目１点目であります。地域課題の進捗についてということで伺ってまいります。まず、新赤道公文式交差点についてですが、この質問は何度か質問で取り上げておりますが、現在の進み具合をお聞きしたいと思います。では、令

和６年３月に合同会議を行うとのことで答弁がありましたが、合同会議の内容はどのように進めていくのか、また呼びかけは関連部署含めてどこにしていくのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　玉元哉世議員の御質問にお答えいたします。

当該交差点に関する合同会議につきましては、新赤道自治会、赤道自治会、市民協働政策課、維持管理課、うるま警察署、学校等との話合いの場を設けるため、現在、関係機関と調整を行っているところでございます。その合同会議で早期に対策が取れること、時間を要することなどを確認し、事故等の未然防止を最優先に、連携して取り組んでまいります。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　まずは関係機関で合同会議を行わないことには、前に進まないと思いますので、危険除去を早急に進めるためにもよろしくお願いします。

では続きまして、赤道小学校体育館整備について伺ってまいります。赤道小学校体育館については、前回の６月定例会でも質問してきましたが、まず現在進めている長寿命化改修設計の進捗状況を伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　玉元哉世議員の御質問にお答えいたします。

改修設計につきましては、令和６年６月に業務委託を契約し着手しております。現在は、改修内容について工事範囲の確認、調整等の作業を進めており、内容が決定次第、図面作成、工事費用の積算、概略工期設定等の手順で進め、今年度内で業務を完了する予定でございます。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　設計については、学校の意見は十分反映しているのか。そして、どのように意見を取り入れて設計を進めているのかを伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

長寿命化改良工事となるため、大規模な工事に制限等がありますが、主に施設を利用する学校教職員の要望・意見等を確認しながら、可能な限り設計に反映するよう調整しております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　学校側の意見をできるだけ反映できるよう進めていただければと思います。

では再質問いたしますが、令和７年度に工事を予定していると前回の答弁でありましたが、具体的な工事期間をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

工事期間につきましては、現在進めている改修設計の中で改修内容を踏まえた設定となるため、設計業務の進捗に合わせて決定してまいります。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　体育館を使用する側の不便も今後伴ってくると思いますが、工事期間中の体育館は使用禁止になると思われますが、体育の授業や、そして放課後に体育館で練習を行っているバスケットボール、バレーボールなど、屋内のクラブ活動はどうするのかお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

工事期間中の体育の授業は運動場を使用することになりますが、クラブ活動は利用可能な他の施設で行っていただくことになります。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　今後の事業スケジュールについて、事業概要等含め、地域への説明会の実施予定はあるのか。そして、予定しているのであれば、いつ頃の予定なのか。また、説明会の予定がなければ、学校周辺地域の皆様へ事前に周知していただきたいと考えるが、どのように考えていますでしょうか。お願いします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

今回の事業は現在の屋内運動場を長寿命化するための工事であり、設備機器や内外装仕上げ等を一新し、大規模な修繕工事を行う予定となっております。そのため建物位置、規模、アリーナ部分の配置などの変更はないことから、地域への説明会等の予定はございません。なお、工事着手前には、書面等で保護者や学校周辺の地域の皆様へ周知していく予定としております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　建物の工事ももちろんですが、設備機器なども学校側の意見の反映をしっかり取り入れていただければと思います。今後も、この公文式リアラ交差点前と体育館については一般質問でやっていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。この質問については終わります。

次に、大きい項目２番目です。赤道区・米原区の課題についてであります。まず、赤道区石電設前道路整備についてでございます。市道赤道４―15号線ですが、市民からの要望で当該道路の整備の依頼がございました。どのような状況だったのか、何が原因なのか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　玉元哉世議員の御質問にお答えいたします。

当該道路は、市道赤道４―15号線でございます。地域住民より、路面が常に水浸しの状態であるとの通報があり、現地を確認しますと、湧水が原因で染み出ていたと考えられます。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　では、現在どのようになっていますでしょうか。また、課題解決はできている状態でしょうか、伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

歩道内の湧水箇所に有孔管を敷設し、側溝へと導く工事を行った結果、現在、市道上には湧水がなく、課題は解決したものと考えております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　私も現場のほうを確認させていただきました。現在はしっかり整備され、問題ないと思っています。ありがとうございました。

では続きまして、米原区のアガチャ歯科前交差点についてであります。アガチャ歯科交差点信号機設置についてということで市民から声も受けておりますが、市当局から見た当該交差点の現状と課題、そして信号機設置についてはどうなのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

当該箇所における現状等について、うるま警察署へ事故の発生件数を確認したところ、令和３年１月から令和５年12月の間に人身事故ゼロ件、物損事故７件が発生したことを確認しております。現時点において、市民からの相談等はございませんが、令和６年７月25日付で沖縄県警察本部より当該箇所への信号機の設置が決定した旨の文書を受理しております。なお、信号機関連の工事につきましては、令和６年８月１日から令和６年９月30日までとなっております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　当該交差点は赤道小学校、具志川中学校の生徒、また高校生など、他の学校にも通う、この地域では生徒のメインの通学路、基幹交差点と言ってもいいくらいの交差点であります。私自身も安全性に懸念を感じる交差点でしたので、信号機設置がされることは付近住民の安心・安全に大きく寄与するものだと思います。設置の方向とのことですので、この質問については終わります。

次の質問、大きい項目３点目であります。勝連城跡周辺整備事業についてであります。まず、本市の観光客誘致について方向性を伺いますが、本市の観光客数について伺います。また、勝連城跡

への入場者数、県内を代表する首里城、そして中城城跡、座喜味城跡、今帰仁城跡の観光客の比較について伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　玉元哉世議員の御質問にお答えいたします。

令和５年１月から12月までにおける男女20歳から69歳までの県外から本市への来訪者数は、191万2,630人となっております。また、令和５年１月から12月までの県内各城跡への来場者数につきましては、勝連城跡が９万7,196人、首里城が136万8,153人、中城城跡が９万4,698人、座喜味城跡が15万7,887人、今帰仁城跡18万1,365人となっております。なお、首里城は136万8,153人のうち、有料区域への来場者数は88万8,000人となっております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　令和５年１月から12月までの来場者数について、勝連城跡は来場者数が９万7,196人、本市への来訪者が191万2,630人。本市への来訪者でどれぐらい勝連城跡に来ているのかというところを見ると、約５％。本市へ来訪者が来ても、勝連城跡へ行くのは５％ということが分かりました。まだ95％の人が勝連城跡へは訪問していないということになると思いますけれども、沖縄県の城跡と比較しても、首里城、座喜味城跡、今帰仁城跡の来場者数が多く、５つの城跡中４番目の来場者数で、これからまだまだ来場者数を増やせる余地はあるのではないかと感じましたが、再質問いたします。

どのようにすれば来場者に来てもらえるのか。また、現在実行していること、考えていることがあれば、教えてください。また、勝連城跡とほかの城跡との違い、観光のセールスポイントはありますでしょうか。私が思うに、勝連城跡の一番のセールスポイントは、やはり絶景、景観を見渡すことができるところが、ほかの城跡と比べると唯一無二の付加価値ポイントだというふうに思いますが、見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

来場者数の増加に向けましては、現在毎月のイベント開催により訴求力を高めながら、あまわりパークでの新たなライブパフォーマンスの創出や勝連城跡でのナイトコンテンツの創出、雑木等の伐採業務などの魅力向上、集客強化に資する業務を実施しております。今後に向けましては、勝連城跡周辺の施設と連携した多拠点周遊型サービスの造成の検討や教育旅行の目的地となるよう、旅行事業者への営業活動を行ってまいります。勝連城跡のセールスポイントとしましては、出土品や歴史背景に触れながらライブパフォーマンスを鑑賞するなど、隣接するあまわりパークと一体となって、歴史や文化、観光を体験できるところでございます。また勝連城跡は、現代版組踊肝高の阿麻和利のグスク公演による歴史的な臨場感あふれる芸能舞台が開催できるほか、頂上である一の曲輪からは周囲360度の絶景の景観を見渡すことができ、元日には多くの市民が訪れる初日の出を拝める県内屈指のスポットとなっております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　勝連城跡は、頂上で周囲360度を見渡すことができる初日の出を拝めるスポットで、ほかの城跡にはない魅力ある付加価値を、ほかの城跡と差別化を図るためにも付加価値ポイントを十二分に使っていったほうがいいと思います。例えば、初日の出といえば勝連城跡をアピールしていけるような、例えばですけれども、初日の出は勝連城跡のＣＭを打つとか、当局の見解を伺います。そして、クリスマスではイルミネーションをするとか、あと沖縄県内外へのアピールとしてやっていくのも知名度アップを図れると思います。首里城の一番でなくても、特色ある施設を目指していけばいいのかなというふうに思いますが、見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

勝連城跡が持つ他の城跡にはない付加価値のアピールとしまして、メディアによる発信や、議員から御提案のありましたＣＭ制作などについても

今後検討していきたいと考えております。勝連城跡につきましては、歴史文化的な価値を保全活用しながら、県内でも有数の景勝地並びに芸能の発祥地として、県内における歴史と文化、観光の拠点のとなるよう、他の世界遺産の城跡にはない特色ある施設を目指してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　勝連城跡周辺整備事業の今後の予定スケジュールについて教えてください。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

勝連城跡周辺整備事業につきましては、令和６年８月にＰＦＩ事業の優先交渉権者が決定しております。令和６年12月に事業契約に係る議会の議決を得た後、本契約を締結する予定となっております。令和７年度からは、文化観光施設並びに勝連城跡公園の設計、令和８年度から９年度にかけては建設を行い、令和10年４月に事業区域の全面供用開始を予定してございます。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　では、次の質問に移ってまいります。マイクロツーリズムについて伺ってまいります。年度パスポートをもっと推進してほしいと思っております。また、数年前はコロナ禍があったように、観光産業の売上げに大きな打撃を受けることも、お客さんが少なくなってきたときに、そのことも踏まえて、うるま市の観光業が打撃を受けないように、近隣市町村、南部、北部の方々にも何度でも足を運んでもらうために、県内のお客様にもっとうるま市を知ってもらうことが必要だと思います。県内客数の増加対策を考えていくべきだと思っていますが、見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

県内客数の増加対策の一環として、令和５年10月から県民を対象とした県民割、令和６年４月からは年度パスポートの導入を実施してございます。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　令和６年４月から年度パスポートの導入実施の確認ができました。その販売実績を確認させてください。また、購入しているのは市民が中心なのか、どのような方々が購入しているのか。また、年度パスポートはまだまだ県民・市民への認知度がちょっと低いのではないかと感じていますが、うるま市広報、あとうるま市公式ＬＩＮＥ、またインスタグラムなどのＳＮＳで発信していったほうがいいと思いますが、そのことについて伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

令和６年９月３日時点で、年度パスポートは77部の販売実績となっております。購入者別の内訳につきましては、うるま市民47部、うるま市民を除く県民25部、県外３部となっております。年度パスポートにつきましては、うるま市公式ＬＩＮＥやあまわりパークインスタグラムなどの各種ＳＮＳによる周知・発信を強化し、うるま市民や県民に向けた認知度向上を図ってまいります。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　早速、９月に入って、うるま市公式ＬＩＮＥに年度パスポートについての発信がされていました。スピード感のある対応、ありがとうございます。私がなぜこの質問をしたのかと言いますと、勝連城跡付近に住まわれる方からも、こういったパスポートがないのかというお話があったんですけれども、既に存在していたというそういったこともありましたので、私自身も正直分からなかったので、こういったところでちょっと認知度アップをもう一度やっていったほうがいいのではないかなと感じましたので、質問しました。

続いて、当該周辺の不法投棄の状況について伺ってまいります。勝連城跡周辺の不法投棄がございますが、ここ数年で増えていますでしょうか、減っていますでしょうか。また、どのような物が投棄されていますか。まずは、現状の確認からさせてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　勝連城跡周辺の不法投棄の状況につきまして、お答えいたします。

不法投棄物量としては、ボランティア活動や撤去作業により減少しておりますが、投棄の件数につきましては微減となっております。主な投棄物は、家電を中心とした一般家庭ごみや、廃材及び廃タイヤなどの産業廃棄物が混在している状況でございます。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　今後、勝連城跡の麓の海岸線の道路を観光客も頻繁に通ることが想定されます。私も約１か月ほど前に現場を見てみましたが、想像しているよりちょっとごみが多いように感じています。今後、うるま市の観光の強化を考えたときには美観は必須であると考えますが、勝連城跡周辺のごみ投棄がされないよう、どのような対策を実施していますでしょうか。また、カメラの設置件数、看板の設置等はどのようにされていますか、伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

投棄物につきましては、投棄物からの個人情報や監視カメラでの映像を警察署へ提供を行い、不法投棄を行った者の特定につなげております。さらに、重点地区につきましては看板の設置や抑止テープを設けるなど、不法投棄の抑止に努めております。対策といたしましては、市内の投棄常習箇所を中心に、13基の監視カメラの設置や看板等の設置、監視パトロール等を実施しており、うち勝連城跡周辺に７基の監視カメラ及び13枚の看板等を設置しております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　カメラ設置で、投棄の減少効果は出ていますでしょうか。効果があれば、内容を教えてください。同時に、今後の取組や啓発活動などについても教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

監視カメラの効果により、新たな不法投棄そのものがなくなるなど、一定の効果が出てきておりますが、新たな不法投棄が見つかる場合もあることから、粘り強く対応していくことが必要と考えております。今後の取組につきましては、今年度内に策定を予定しております不法投棄防止推進計画に基づき実施していくことになりますが、現在行っております広報紙への掲載や大型ビジョンでの動画配信、自治会向けの看板等の提供、うるま市商工会会報紙を利用した事業者向けの周知などの啓発活動と併せて、所管警察署との連携の下、不法投棄は犯罪であることを市民に対してアピールすることで、不法投棄の未然防止に努めてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　抜本的な改善をするにも簡単なことではないと思いますが、やり方、方法を変えるなど、試行錯誤されていることも当局からは聞いております。例えばですけれども、四国のある自治体では、看板の注意喚起の文書の内容を変えたら大きな改善が見られたという事例もありますので、コストをかけずにやるというのもありだと思いますので、こういった注意喚起の看板の文章の内容ということも提案の一つとして、ぜひ検討してみてください。よろしくお願いします。この質問については終わります。

休憩をお願いします。

○副議長（藏根　武）　暫時休憩します。

休　憩（１４時３３分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時４５分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　大きい項目４番目であります。期日前投票所について伺っていきます。まず、現状から確認させてください。直近の選挙の期日前、当日の投票率について伺います。

○副議長（藏根　武）　選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（眞喜志　亮治）　選

挙管理委員会委員長から答弁に関する委任を受けておりますので、私事務局長のほうから玉元議員の一般質問に答弁させていただきます。

直近の選挙は、令和６年６月16日に行われた沖縄県議会議員一般選挙で、期日前投票の投票率は16.26％、当日投票の投票率は29.98％となっております。また、令和４年10月２日に行われたうるま市議会議員選挙での期日前投票の投票率は17.75％、当日投票の投票率は31.31％となっております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　今年に行われた直近の県議会議員選挙で、期日前投票率は16.26％、あと当日投票が29.98％。おととしの直近のうるま市議会議員選挙での期日前投票の投票率は17.75％、当日投票が31.31％。ほぼ、期日前投票率は15％から20％以下で推移していることが確認できました。では、期日前投票所について伺いますが、現在行われている投票所を教えてください。

○副議長（藏根　武）　選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（眞喜志　亮治）　お答えいたします。

期日前投票所は、具志川地域がうるま市役所本庁舎、石川地域が石川保健相談センター、与那城地域が与那城地区公民館、勝連地域が勝連シビックセンターに設置しております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　期日前投票所は具志川、石川、与那城、勝連、各地域ごとに期日前投票所が配置されていますが、最も人口が多い具志川地域では１か所であります。期日前投票所は、具志川地域でも北側の地域にこの期日前投票所は位置していると思います。では、具志川、石川、与那城、勝連、地域別の有権者数と、具志川エリアでも具志川北と具志川南で期日前投票を比較したときに実績はどうなっていますか、伺います。

○副議長（藏根　武）　選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（眞喜志　亮治）　お答えいたします。

令和６年の沖縄県議会議員一般選挙での有権者数は、具志川地域が６万24人、石川地域が１万8,996人、与那城地域が9,420人、勝連地域が１万594人となっております。また、令和４年のうるま市議会議員選挙での有権者数は、具志川地域が５万9,157人、石川地域が１万8,959人、与那城地域が9,433人、勝連地域が１万515人となっております。

具志川地域の期日前投票の実績につきましては、具志川地域の投票所を県道10号線を境に南北で分けた場合、令和６年の沖縄県議会議員一般選挙での期日前投票者数は、北の地域で5,744人、南の地域で4,290人。期日前投票の投票率は、北の地域が19.05％、南の地域で14.36％となっております。また、令和４年のうるま市議会議員選挙での期日前投票者数は、北の地域で6,428人、南の地域で4,028人。期日前投票の投票率は、北の地域が21.58％、南の地域が13.71％となっております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　今年６月の県議会議員一般選挙では、期日前投票率は、うるま市役所の近くの北の地域が19.05％、期日前投票所が近くにない南の地域の期日前投票が14.36％で、約５％の開きがあります。うるま市議会議員選挙においては、北の地域が21.58％、南の地域が13.71％となっており……休憩お願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１４時５１分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時５２分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　北の地域が21.58％、南が13.71％で、約８％ぐらい開きがございます。この差は、距離的なことが要因している可能性もあるのではないかと数字で見ると感じますが、では、さらに細分化した内容をお聞きします。赤道区、新赤道区、宮里区、江洲区の具志川最南端エリアと具志川地域の期日前投票所周辺エリアの投票実績の比較について伺います。

○副議長（藏根　武）　選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（眞喜志　亮治）　お答えいたします。

令和６年の沖縄県議会一般選挙での具志川最南端エリアでの期日前投票者数は1,508人、期日前投票の投票率が12.73％。うるま市役所本庁舎期日前投票所周辺エリアでの期日前投票者数は3,355人、期日前投票の投票率が19.92％となっております。また、令和４年のうるま市議会議員選挙での具志川最南端エリアでの期日前投票者数は1,350人、期日前投票の投票率が11.47％。うるま市役所本庁舎期日前投票所周辺エリアでの期日前投票者数は3,657人、期日前投票の投票率が22.10％となっております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　前回の市議会議員選挙では、具志川最南端エリアでの期日前投票が11.47％、最北端で22.10％で約10％の開きがあることが分かりました。では、この期日前投票を具志川の北と南で比較して、当局はどのように感じておりますか、伺います。

○副議長（藏根　武）　選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（眞喜志　亮治）　お答えいたします。

具志川最南端エリアとうるま市役所本庁舎期日前投票所周辺エリアの期日前投票率に開きがあることにつきましては、期日前投票所までの距離的な要因も考えられますが、他の地域の期日前投票所では、期日前投票所から遠い地域でも期日前投票の投票率が高い地域もあることから、様々な要因があると考えられます。期日前投票は、選挙の当日に仕事や用事で投票所に行けない方などが対象となっており、選挙により投票率の変動がございます。当局といたしましては、期日前投票所の活用について引き続き周知するとともに、投票環境の整備についても引き続き検討してまいります。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　議長、休憩お願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１４時５５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時５６分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　期日前投票の実績で、具志川北と南で実績に開きがあることから、那覇市、宜野湾市のように期日前投票所を最南端エリア、大型量販店、そして商業施設などにて行うことはできないのか、今後の取組があれば、併せてお願いします。

○副議長（藏根　武）　選挙管理委員会事務局長。

○選挙管理委員会事務局長（眞喜志　亮治）　お答えいたします。

商業施設等での期日前投票の実施につきましては、二重投票を防止する観点から、期日前投票システムのネットワーク環境整備や地域的なバランス、人員の確保など、様々な課題がございます。令和６年の沖縄県議会議員一般選挙では、商業施設等での実施を想定した期日前投票システムの検証を行いましたが、安定的な通信に課題が出ております。今後行われる選挙においても、引き続き期日前投票システムの検証を行うとともに、期日前投票を商業施設等で実施している他市の情報収集を行い、様々な課題について調査・研究を行ってまいりたいと思います。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　期日前投票の検証を行っているということで、前向きな答弁だと思っています。引き続き、期日前投票のシステムの検証をお願いします。この質問については終わります。

次にまいります。大きい項目５番目です。本市のペーパーレス化及び経費節減活動についてであります。ペーパーレス化は、2019年４月から施行されました働き方改革の具体策の一つに含まれており、ペーパーレス化を実現することで、文書に関わる業務が効率的になることと思います。例えば、契約書や領収書なども紙として保存する必要がなくなり、電子化することで、いつでもどこでも業務を行えるようになります。働く人の業務効

率を上げるためには、一人一人の持つ情報をいかに素早く連携できるかが重要になるため、検索性や情報の一元化、情報の見える化が求められるようになりました。ペーパーレス化を推進していく上で、本来注力すべき業務の時間を創出し、働く人のゆとりをつくることができると考えています。また、紙という資源を減らすことができるため、地球温暖化など、ＳＤＧｓ、環境保護の観点から、さらには経費、コスト節減にもつながると思います。では、質問しますけれども、本市のコピー用紙の削減活動について伺いますが、コピー用紙の削減などペーパーレス化について取り組んだ活動内容を数年間振り返って教えてください。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　玉元哉世議員の御質問にお答えいたします。

コピー用紙の削減活動については、業務効率化の取組も関連することから、全体的な取組を含めて御説明をいたします。まず、コピー用紙削減につながる取組ですが、令和２年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大を大きな契機として、行政事務のデジタル化と行政手続のオンライン化を本市ＤＸ推進方針に位置づけ、業務の効率化や非対面による申請手続等の環境整備とその運用に全庁を挙げて積極的に取り組んできました。その主な取組としましては、紙資料などの電子化によるタブレット端末やノート型パソコン、会議室のモニターを活用したペーパーレス会議の推進、サイドブックスをはじめとする庁内での電子文書の共有及び電子決裁の推進、内部情報系システム統合や事務フローの見直しなど、業務効率化に伴うペーパーレス化を進めております。また、各種給付金等におけるプッシュ型の支給手続や、本年度においては児童扶養手当の現況届においてＱＲコードを活用した電子手続などにも取り組み、行政手続のオンライン化によるペーパーレス化に取り組んでおります。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　しっかり取り組んでいることが分かりました。では、このような経費節減活動を通して、数字で見るとどのくらいの削減効果が表れているのか、確認させてください。それと、年間のコピー用紙枚数とその費用を伺いますが、コピー用紙の削減結果を教えてください。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

ペーパーレス化の成果としまして、サイドブックスを活用した書類の閲覧活用は、昨年９月から本年８月までの１年間で集計した場合、943万枚の紙資源の削減効果、また電子化された書類等を共有することなども含め、令和５年度決算の印刷製本費は、前年度と比較して1,000万円程度削減されております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　年間で1,000万円、数年にすると相当な額になると思います。私がこの質問で言いたいことは、庁内で使用するペーパー削減もそうですが、有事の際、台風・水害・地震など、不測の事態に備えたＤＸ化を進めていかなければならないと思っております。

では、次の質問にまいります。各検診・健康診査の送付について伺いますが、毎年市民に届く健診等の通知はどのような内容となっているのか、対象者も教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　玉元哉世議員の御質問にお答えいたします。

各種健診等の通知の内容につきましては、がん検診受診券や特定健診受診券、長寿健診受診券、健診案内の健診ガイドとなっており、19歳以上のうるま市民約10万人の対象者に対し送付しております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　市民の声として、社会保険の方などは通知が来ても利用しないので、無駄ではないかという声がありました。どのように考えていますか、伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

19歳から39歳までの市民は、加入保険にかかわらず、集団健診で生活習慣病予防健診の受診が可能であること。また、がん検診では、加入保険にかかわらず、20歳以上の市民が対象となることから、通知することによる受診勧奨に努めているところでございます。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　では、19歳以上の全市民に対する通知等にかかる経費について伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

通知等にかかる経費につきましては、令和５年度決算において健診ガイド等印刷封入封緘業務委託料408万6,000円、通信運搬費731万2,000円となっております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　実際には受診券を利用しないと思われている方々へ通知をしない、あるいは必要な方に限り申込み制にするなど、改善策を行えば、ペーパーレス化や経費・労力等の節減につながると考えられますが、そのような認識はないか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

議員御提言の申込み制などの改善策につきましては、郵送料の値上げや事務合理化の観点からも、先進事例等を調査・研究しながら、関係部署と連携を図り、今後の課題として取り組んでまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　申込み等にするなど、市民が困ることが生じないかなどをしっかり精査した上で、ぜひとも健診検査券の送付について見直しを図っていただきたいと思います。

最後に、ＤＸ推進についての今後の取組を伺います。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

ペーパーレス化をはじめとするＤＸ推進につきましては、感染症の感染拡大期や自然災害の発生時における行政事務の継続かつ効率的に実施する上では、行政情報のデジタル化とそのデータのバックアップは不可欠であり、市民サービスの向上と職員の働き方改革においても重要な取組であることから、本市のＤＸ推進方針を柱として、行政事務のデジタル化による業務効率化及びペーパーレス化に引き続き取り組んでまいります。

○副議長（藏根　武）　玉元哉世議員。

○１２番　玉元　哉世議員　ペーパーレス化については、またやり過ぎも逆にストレスになる場合もあります。最近、私も視力のほうが非常に悪くなっておりまして、ちょっとストレスを感じたりすることもありますので、逆に紙のほうがいいということもありますので、私の言いたいことは、明らかな無駄をなくしていくということであります。

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　以上で本日の日程は終了しました。

次回は、明日午前10時から会議を開きます。

本日は、これで散会します。

散　会（１５時０７分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

副　議　長　　藏　根　　武

２番議員　　高　屋　　優

３番議員　　糸　数　昌　宗

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（５日目）

◎　令和６年９月19日（木）　　（１０時０１分　開議）

◎　出席議員（26名）

１番	真栄城　　隆　議員	14番	池宮城　善　伸　議員
２番	高　屋　　優　議員	15番	伊　礼　　正　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	17番	仲　程　　孝　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
６番	国　吉　　亮　議員	19番	下　門　　勝　議員
７番	伊　波　良　明　議員	20番	天　願　久　史　議員
８番	神　田　洋　一　議員	24番	國　場　正　剛　議員
９番	平　良　一　雄　議員	25番	大　城　　直　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	27番	佐久田　　悟　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	28番	兼　本　光　治　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	29番	藏　根　　武　議員
13番	玉　城　政　哉　議員	30番	伊　波　　洋　議員

◎　欠席議員（１名）

23番　比　嘉　直　人　議員

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	防災広報対策部長	大　田　義　浩
副　市　長	佐久川　　篤	市民生活部長	松　岡　秀　光
教　育　長	嘉手苅　弘　美	経済産業部長	岸　本　　力
総務部長	山入端　立　也	農林水産部長	座喜味　達　也
企画部長	金　城　和　明	都市建設部長	名嘉眞　　睦
財務部長	島　袋　史　朗	都市建設部参事	田　場　直　樹

水道部長	座間味　修	学校教育部長	大里元児
社会教育部長	川端　登	総務政策課長	諸見里直樹
社会教育部参事	兼城哲夫		

◎ 事務局出席者

議会事務局長	知念義浩	調査広報係長	伊禮君人
議事課長	石川秀吉	議事係主査	伊藤　靖
議事係長	森根元気	調査広報係主任主事	山城　太

◎　議事日程第５号

第１．会議録署名議員の指名

第２．議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）

第３．議案第72号　令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）

第４．議案第73号　令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）

第５．議案第74号　令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）

第６．一般質問

◎　会議に付した事件

議事日程に同じ

○副議長（藏根　武）　これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第５号のとおりです。

日程第１．会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、伊盛サチ子議員、金城加奈栄議員を指名します。

日程第２．議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）を議題とします。総務委員長へ委員会審査の報告を求めます。伊波良明総務委員長。

○総務委員長（伊波　良明）　皆さん、おはようございます。これより総務委員会委員長報告を行います。

令和６年９月19日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

総　務　委　員　会
委員長　伊波　良明

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
議案第70号	令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）	原案可決

続きまして、審査の経過と結果を御報告いたします。

議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）について。初めに、消防関連について、委員から「防火衣購入事業、備品購入費1,000万円の減額補正理由について」質疑があり、当局から「当初、購入する防火衣が多いため、石油貯蔵施設立地対策等交付金基金を活用し、３年に分けて購入していく計画であった。しかし、当該基金の性質上、３年に分けて購入することが難しいため、令和７年度に一括で購入する計画へと変更を行った。そのため、今回の予算については、全額減額補正をさせていただいている」との答弁がありました。

次に、財務部関連について、委員から「資産マネジメント課管理費の手数料、土地測量委託料、弁護士訴訟委託料の補正内容について」質疑があり、当局から「手数料及び弁護士訴訟委託料は、今定例会に上程している、議案第76号　訴えの提起（土地明渡請求事件）に関連する裁判費用等として計上している。また、土地測量委託料については、現在、市有地の売却を予定しており、その土地を分筆するための費用として計上している」との答弁がありました。

また、委員から「債務負担行為、市民税課管理費、人材派遣委託料の内容について」質疑があり、当局から「当該委託料は、申告時期において会計年度任用職員を任用することが難しくなっている状況があり、業務を円滑に進めるため、人材派遣の委託を行い、業務に携わっていただいている。申告期間中の派遣人数は７人で、具志川・石川・勝連・与那城地区の４か所に派遣している」との答弁がありました。

次に、防災広報対策部関連について、委員から「歳入、市町村支援事業補助金2,162万7,000円の増額理由について」質疑があり、当局から「当該補助金は、不発弾処理等に係る県からの補助金となっており、今回、増額した主な理由は、給食センターの磁気探査の内容がある程度決定したため、決定した内容に伴う増額分を計上したものである」との答弁がありました。

次に、企画部関連について、委員から「総合体育館整備事業、アドバイザリー業務委託料4,052万7,000円を全額補正減とした理由は」との質疑があり、当局から「当初、令和６年度に事業を完了する予定であったが、履行期間を令和７年度まで延長することになったため、今年度の支払いに係るものは全額補正減させていただいている」との答弁がありました。

また、委員から「債務負担行為、総合体育館整備運営事業（ＰＦＩ事業）の期間が令和７年度から令和26年度と長期間になっており、また、限度額も207億6,503万円と高額になっている。この20年間の事業の進め方、金額の内訳はどうなっているのか」との質疑があり、当局から「令和７年度からの４年間は施設建設を行い、施設建設を終えた後の16年間は維持管理運営業務を行うこととしている。限度額については、施設整備にかかる分が約163億円、16年間の維持管理運営にかかる指定管理料が約43億円を想定している」との答弁がありました。

次に、総務部関連について、委員から「ＬｏＧｏチャット導入事業システム使用料150万6,000円の増額理由は」との質疑があり、当局から「現在、ＬｏＧｏチャットについては、600人分のライセンスを取得しているが、会計年度任用職員等も利用したいとの要望が出ている状況があるため、今回、追加で900人分のライセンスを取得する費用を予算計上している」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、議案に異議があり、委員１人から反対討論が行われ、その後、挙手による採決に付したところ、賛成多数で、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

なお、他の常任委員会に分割付託されました補正予算につきましても、原案のとおり可決したとの報告を各常任委員長から受けております。

○副議長（藏根　武）　ただいま総務委員長の報告が終わりました。

議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）は、分割付託となっております。

これより議案第70号について、各常任委員長へ委員会審査の報告を求めます。

初めに、建設委員長へ委員会審査の報告を求めます。真栄城隆建設委員長。

○建設委員長（真栄城　隆）　それでは、建設委員会委員長報告を行います。

議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）のうち、建設委員会へ分割付託されました関係分について、審査の経過と結果を御報告いたします。

初めに、水道部関連について、委員から「歳出８款４項４目下水道事業会計負担金・補助金事業について、補助金が減額となった理由は」との質疑があり、当局から「主に汚水処理に係る経費の増額に伴い、負担金で賄う経費の割合が増えたため、負担金は増額となり、補助金は減額となった」との答弁がありました。

次に、都市建設部関連について、委員から「歳出２款１項５目庁舎西棟外壁タイル及び屋上防水改修事業について、減額となった理由は」との質疑があり、当局から「週休二日制の対応に伴って工事費が増額となり、予算補正後の発注となるため、工期が翌年度までまたがることから、歳出を減額とし債務負担行為で計上している」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本委員会に分割付託されました関係分につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　次に、教育福祉委員長へ委員会審査の報告を求めます。幸喜勇教育福祉委員長。

○教育福祉委員長（幸喜　勇）　教育福祉委員会委員長報告を行います。

議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）のうち教育福祉委員会へ分割付託されました関係分について、審査の経過と結果を御報告いたします。

初めに、社会教育部関連について、委員から「小学校管理費（教育施設課）及び中学校管理費（教育施設課）の調査業務委託料について」質疑があり、当局から「与那城小学校と高江洲中学校、伊波中学校において、受電設備にある変圧器やコンデンサーに低濃度ＰＣＢが含まれている可能性があるため、それを調査する内容となっている。調査の結果、低濃度ＰＣＢが含まれている場合は適切に処分を行う」との答弁がありました。

次に、学校教育部関連について、委員から「新石川調理場整備運営事業、磁気探査委託料について」質疑があり、当局から「年度当初において未確定だった新調理場の建物基礎位置が確定した。建物基礎位置が確定したことにより、必要な磁気探査の調査範囲が決定し、その調査範囲における水平磁気探査及び鉛直磁気探査の調査や解析費用となっている。実施に当たっては、沖縄県の補助事業活用を予定しているため、庁内関係課と調整を行っているところである」との答弁がありました。また、委員から「契約の方法は」との質疑があり、当局から「運営事業を担っている事業者と随意契約を行う予定である」との答弁がありました。

次に、こども未来部関連について、小規模保育事業所管理費（みほそ第二）の補正予算に関連して、委員から「同園について、現在は市が直営で事業を運営しているが、再度、指定管理を行う予定はあるのか」との質疑があり、当局から「現時点では、令和７年度も市が直営で事業を行うことを考えており、その後については今後調整を行っていきたい」との答弁がありました。

次に、福祉部関連について、地域生活支援事業の補正予算に関連して、委員から「本事業の必須事業として手話奉仕員養成研修事業があるが、その内容は」との質疑があり、当局から「入門講座を１年間受講した後、基礎講座をさらに１年間受講して手話通訳に必要な知識を習得する内容となっており、現在６人が受講している」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本委員会に分割付託されました関係分につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　次に、市民経済委員長へ

委員会審査の報告を求めます。兼本光治市民経済委員長。

○市民経済委員長（兼本　光治）　市民経済委員会委員長報告を行います。

議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）のうち、市民経済委員会に分割付託されました関係分について、審査の経過と結果を、御報告申し上げます。

初めに、市民生活部関連について、委員から「がん患者アピアランスケア事業の事業内容について」質疑があり、当局から「がん患者に対するウィッグと乳房補正具の補助。今回計上している補正予算は、ウィッグの補助が２万円の10人分、乳房補正具が２万円の５人分の左右分、合計40万円となっている」との答弁がありました。

また、委員から「新型コロナワクチン予防接種について」質疑があり、当局から「新型コロナワクチンの予防接種は、前年度までは、国から特例臨時予防接種として10分の10の補助を受けて実施した。今回から実施される予防接種については、定期予防接種になっている。対象者は、65歳以上及び60歳から64歳の心臓に疾患のある方や生活に支障が出ているおおむね障害者手帳１級程度の方となる。期間は10月１日から来年の２月28日を予定、自己負担額は3,000円で、全て医療機関へ予約し接種する個別予防接種となる」との答弁がありました。

また、委員から「防犯対策事業、市の管理する防犯灯78灯について」質疑があり、当局から「以前、米軍属による女性の殺害事件が起きたことにより、防犯カメラの設置と一部防犯灯に充てている事業として国からの補助金があった。市内全域に防犯カメラ71基、その近くに防犯灯78灯設置した」との答弁がありました。

また、委員から「宮城島コミュニティ防災センター管理費調査委託料について」質疑があり、当局から「雨漏りの原因を特定するための漏水調査業務委託料である」との答弁がありました。

また、委員から「後期高齢者医療特別会計繰入金について」質疑があり、当局から「前年度、令和５年度の後期高齢者医療特別会計前年度決算剰余金から保険料の未送金分を除いた額を一般会計に前年度事務費繰り出し分の精算額として繰り入れている」との答弁がありました。

次に、経済産業部関連について、委員から「闘牛場管理費について」質疑があり、当局から「石川多目的ドームの牛舎にある牛をつなぐための柱が腐食しぼろぼろになっているため、ビニールパイプへ取り替えるための費用となっている」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、分割付託されました関係分につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま各委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告がありません。質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議あり」と言う者あり）

異議がありますので、採決は電子表決システムにより行います。

本案は、委員長報告のとおり決定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は原案のとおり可

決されました。

日程第３．議案第72号　令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）を議題とします。

建設委員長へ委員会審査の報告を求めます。真栄城隆建設委員長。

○建設委員長（真栄城　隆）

令和６年９月19日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

建　設　委　員　会
委員長　真栄城　隆

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
議案第72号	令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）	原案可決

引き続き、審査の経過と結果を御報告いたします。

議案第72号　令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）について、委員から「資本的収入の１款３項２目工事負担金について、説明では石川終末処理場、し尿施設更新工事に係る実施設計の経費において、関係団体である近隣市町村からの工事負担金受入れに係る補正増額とのことであったが、その負担割合は」との質疑があり、当局から「金武町と恩納村、それぞれ50％の負担割合である」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は、原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま建設委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告がありません。質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。議案第72号　令和６年度うるま市下水道事業会計補正予算（第３号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第４．議案第73号　令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）を議題とし

ます。

教育福祉委員長へ委員会審査の報告を求めます。

幸喜勇教育福祉委員長。

○教育福祉委員長（幸喜　勇）

令和６年９月19日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

教育福祉委員会
委員長　幸喜　勇

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
議案第73号	令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決

続きまして、審査の経過と結果について御報告いたします。

議案第73号　令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）について、委員から「基金積立金について」質疑があり、当局から「令和５年度の決算剰余金や介護給付費支払基金追加分などについて、うるま市介護保険給付費等準備基金条例に基づいて積立てするもので、積み立てた基金は、必要な介護給付等に予算を充てて事業を運営していく」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま教育福祉委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告がありません。質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。議案第73号　令和６年度うるま市介護保険特別会計補正予算（第２号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第５．議案第74号　令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）を議題とします。

市民経済委員長へ委員会審査の報告を求めます。

兼本光治市民経済委員長。

○市民経済委員長（兼本　光治）

令和６年９月19日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

市民経済委員会
委員長　兼本　光治

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
議案第74号	令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決

引き続き、審査の経過と結果について、御報告申し上げます。

議案第74号　令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）について、委員から「基金積立金の総額について」質疑があり、当局から「令和６年度当初が７億2,136万1,000円で、今回の補正で6,200万円積み立てて、基金繰入金を２億1,103万1,000円に減額しており、今回補正が通れば基金残高は５億7,233万円となる見込みである」との答弁がありました。

また、委員から「基金積立金のピーク時の総額について」質疑があり、当局から「去年13億円まで積み上がっていた」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま市民経済委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告がありません。質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。議案第74号　令和６年度うるま市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議あり」と言う者あり）

異議がありますので、採決は電子表決システムにより行います。

本案は、委員長報告のとおり決定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタ

ンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩します。

休　憩（１０時３６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時４９分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

執行部より発言の訂正の申出がありますので、許可します。農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　おはようございます。発言訂正の申出の内容について御説明いたします。

令和６年９月９日に行いました伊盛サチ子議員への質疑、答弁における私の発言のうち、認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定の質疑の中で、森林環境譲与税基金の活用について答弁した際、「386万2,000円を充当」と発言いたしましたが、正しくは「364万2,000円を充当」でございます。おわびして訂正いたします。申し訳ございませんでした。

○副議長（藏根　武）　日程第６．これより一般質問を行います。

発言時間は当局答弁を含まず、30分以内です。通告がありますので、順次発言を許します。池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　議長、休憩お願いいたします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１０時５０分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時５１分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　皆さん、こんにちは。議長の許可を得ましたので、通告してある大きい項目７点で質問いたします。

まず１点目、前回も取り上げていますうるま市火葬場整備事業についてであります。火葬場建設において伺いますが、今現在のうるま斎苑の火葬炉の築年数、耐用年数、現在の稼働状況を伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　おはようございます。池宮城善伸議員の御質問にお答えいたします。

うるま斎苑の火葬炉は昭和50年に供用開始され、現在までおよそ49年経過しております。現火葬炉の耐用年数は不明となっておりますが、最新の火葬炉の場合でも適切な維持管理の下、30年程度とされております。稼働状況につきましては、本来、炉の長寿命化を図るため、4つの炉のうち、1つの炉を毎日交代で休ませる運用が望ましいとされておりますが、現在、火葬待ちが常態化していることから恒常的に4つの炉の全てを稼働させなければならない状況となっております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　私、大変びっくりしました。昭和50年に供用開始、私と生まれた年が一緒です。毎日、多分800度以上の温度で火葬するといろいろお聞きしていますが、こんなに古く使用しているとはもう驚きました。質問に入ります。８月から９月の初めまで40日間利用できない状況が続いていると伺っております。火葬を行うまでの待機日数が長期化していることで、亡くなられて初七日を過ぎるまで自宅で見ている方が多いと聞いております。市はこのような状況を把握しているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

うるま斎苑の８月１日から９月５日までの間、火葬炉修繕による休場につきましては、事前に同法人から報告を受けたことから、本市といたしま

しては、火葬待ちによる混乱を可能な限り防ぐため、沖縄県へ全市町村宛に広域的な火葬の協力依頼通知の発出及び同法人へ火葬場休場の告知をホームページ等により、事前に広く周知するよう依頼しております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　再質問します。

葬祭場に確認すると、１日４件ぐらいの問合せがあると伺っております。予約が取れずに今帰仁村まで行って火葬をする方がいるとも聞いています。本当に深刻な状況だと思います。私は８月26日に工事の状況を確認しに行きました。現場の方に確認するといつ壊れてもおかしくない状況だと伺いました。そこでお聞きします。火葬場がこのような状況にもかかわらず、いつ頃から火葬場整備事業の計画が進んだのか教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

平成27年度にうるま斎苑側から火葬炉設備の老朽化に伴う修繕費の増加や火葬場経営に関する相談が寄せられ、これまで継続的に協議を重ねてきております。火葬炉設備の深刻な老朽化と、高齢化の進展により需要が高まっている中、安定的な火葬サービスの提供を図るため、令和４年度に本市が事業主体となる現在の火葬場整備計画に着手しております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　改めて質問させてください。

現在、うるま斎苑は火葬を再開しておりますが、火葬炉の老朽化に加え、火葬待ちに対応するための火葬炉に過度に負担がかかる稼働をせざるを得ない状況となっており、今後も突発的な修繕等が発生することが危惧されます。もちろん賛成の意見や反対の意見もあります。私は全国的に火葬場建設や改修工事を早める自治体も増えてきているのも現状です。長期に待つことで、遺族の経済的、精神的負担も大きくなります。私は早めに進めるべきだと考えますが、市長はどのようにお考えなのかお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　池宮城善伸議員にお答えをいたします。

先ほど議員からもありましたように、老朽化をし、長年たった火葬場ですが、約50年と半世紀にわたってこの火葬場を使ってきたということもあり、多くの市民の皆様、多くの方々に活用されてきたと思っております。さらに、今回御指摘のとおり、８月の初旬から９月半ばまでの基幹改良といいますか、機械の修繕をするということで約40日間の停止があったということもお聞きをしております。その際に多くの市民の皆様に不安を与え、御家族の皆様には御心配をかけたということで大変危惧をしている状況であります。今後、市としてしっかりとその対応をすべきということもあり、令和９年度にその整備を完了するということの今まさに計画段階に入っております。市民の皆様方には大変心配をされる方々もおり、さらには環境的な面で御心配をする方々も多くいらっしゃる中でしっかりと説明等も行いながら、この事業をしっかりと進めてまいりたいと思います。今後とも御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いを申し上げます。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　市長、火葬場は急を要するものです。これから急速に進む高齢化社会、待ったなしだと私は思います。私は今年に入り２人の親を亡くしました。当事者になって、非常に大事な問題だと受け止めています。私は整備計画においては、よい決断だったと思います。供用開始が早めにできるようにお願いしたいと思います。

それでは２点目の質問に移ります。県道８号線渋滞対策についてであります。県道８号線渋滞問題に関連する質問ですが、交通が集中する時間帯、朝夕のピーク時においては、交通渋滞をしています。これは日常渋滞ですよ。市民から最近、測量などしているが、何かありますかと連絡がありました。都市計画道路の中で、見直しがあるのかお

聞きします。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。
沖縄県に確認したところ、県道８号線字栄野比から字安慶名までの一部未整備区間において、都市計画道路の区域を確定させるため、中部土木事務所において、現況測量及び道路予備設計を実施しているとの回答がございました。また、県道８号線を含む栄野比具志川線の都市計画の変更については当該成果を踏まえ、次年度以降に検討予定と伺っております。
○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。
○１４番　池宮城　善伸議員　信号機表示と交通実態に合っていない問題について伺います。
以前、私たちのかけはしの同僚議員である玉元議員が取り上げていましたが、青信号の時間帯、その変わり目において、右折車両が曲がり切れずに残ってしまい、事故や渋滞につながっていると思います。そこで確認しますが、右折信号がない４つの交差点について伺います。
○副議長（藏根　武）　市民生活部長。
○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。
御質問のガストうるま店から前原高校へ右折する交差点や川田入り口交差点、サンエー与勝シティ付近にございますヤクルト前の交差点、与勝中学校付近の交差点には右折専用信号機が設置されていないこと。また、うるま警察署から公安委員会へ上申されている交差点でもあることを確認しております。信号機の設置につきましては、当該交差点を含め、沖縄県全体で優先箇所を決定し、かつ予算の範囲内において、設置が決定されることから右折矢印の信号機の設置などは厳しい状況と伺っております。
○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。
○１４番　池宮城　善伸議員　改めて質問します。
上申していることは確認できました。特にヤクルト前の交差点、この数年で人身事故は３件、物損事故も確認しています。貨物車との事故で車が横転するような大きな事故も発生していると聞いております。また、ガスト前の交差点、朝の通勤時間では前原高校向けには時差がなく、曲がれるのはたった１台か２台だと聞いております。信号機表示と実態が合っていない。この場所については、みどり町の選出議員であります神田洋一議員からもいろいろとお聞きしております。この交差点は地元からの要請が出ているのか伺います。
○副議長（藏根　武）　市民生活部長。
○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。
ガストうるま店前の交差点について、地元自治会から令和３年に要請が出ており、うるま市役所からうるま警察署に進達を行っております。うるま警察署に確認したところ、現在検討中と伺っております。また、ヤクルト前交差点につきましては、川田入り口交差点や塩屋入り口交差点を含めて、右折矢印信号機の設置につきましては、地域の方々や中部土木事務所との調整に時間を要しているとお聞きしております。
○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。
○１４番　池宮城　善伸議員　ありがとうございました。この交通安全対策特別交付金という名称で交通違反で捕まった反則金、年間500億円あると言われています。これは国庫に納められた後にいろいろ分配されて、各都道府県、市町村に交付されていると聞いています。こういった交付金を活用し信号機、道路標識、カーブミラー等々とそういったところに使用されていると伺っています。引き続き設置要請に向け、私もそういったところも調べていきながらやっていきたいと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。
それでは、３点目の質問に移ります。これは昨日、うちの先輩議員である國場正剛議員も取り上げておりましたが、重なる部分もあると思いますが、改めて質問をさせてもらいます。
浸水対策として雨水幹線の複数箇所に工事が進められています。整備が終えた区域への効果や今後進める計画をお聞きします。
○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　池宮城善伸議員の御質問にお答えいたします。

安慶名排水区の浸水対策として、令和４年度から令和６年度にかけて安慶名第２雨水幹線から安慶名第１雨水幹線へ接続するバイパス管、管径1,350ミリメートル、延長約241メートルの整備工事を完了しております。効果といたしましては、排水能力が不足している安慶名第２雨水幹線の排水量を低減させ、浸水被害の軽減を図る効果がございます。今後の計画につきましては、令和６年度から令和７年度にかけて、安慶名第３雨水幹線から安慶名第１雨水幹線バイパス管、管径900ミリメートル、延長約379メートルの工事を予定しております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　再質問します。

今後、計画のある場所は道路幅が狭く、狭い道路での施工はどのように進めるのかお聞きします。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　お答えいたします。

安慶名第３雨水幹線の整備工事につきましては、県道224号線具志川環状線、市道203号線安慶名中学校線及び市道119号線安慶名平良川線の地中に管を設置する予定で、工事の一部を開削工事としております。市道203号線安慶名中学校線の道路幅員が狭い箇所につきましては、地面を掘らずに管を設置する推進工法を採用し、整備を行う予定でございます。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　再質問します。

安慶名第２雨水幹線は夜間工事をしておりました。今から始まる工事については通勤・通学でよく利用されている道路でもあります。道沿いは古くから住宅がすごく多く、交通安全を考慮して行うと思いますが、これから行う工事は昼間なのか、夜間なのか、工事期間も教えてください。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　お答えいたします。

令和６年度から整備予定の安慶名第３雨水幹線の施工時間帯につきましては、交通への支障が生じないように、今後、うるま警察署、道路管理者及び関係機関と協議を行い、決定してまいりたいと考えております。工事期間におきましては、令和６年11月から令和７年７月までを予定しております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　ありがとうございました。先ほどもお伝えしましたが、本当に道路の道幅が狭くて住宅が多い密集している場所でもありますから、私、朝毎日交通安全をさせてもらっているのですけれども、そこら辺、区民の方にも説明するようにお願いしたいと思います。

それでは４点目の質問に移ります。ごみ袋についてであります。ごみ袋に関しては、多くの議員も取り上げております。また、多くの議論もなされているとも聞いております。私も西原地域に住んでいるのですけれども、選挙期間中ですか、他市から引っ越ししてきた方から聞いたのですけれども、なぜうるま市は取っ手つきではないのですかと聞きました。最近ではもう本当に目の前の住宅の方々が高齢者でなかなか閉めにくいとそういった話も伺っています。そういった問題をちょっと聞いているものですから質問します。燃やせるごみ袋については、令和元年に中サイズの取っ手つきになってからもう６年たちます。今後、他のサイズも取り組むべきだと思いますが、見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

燃やせるごみの取っ手つきごみ袋について、令和５年度に開催いたしましたうるま市一般廃棄物減量等推進審議会において、「一般廃棄物処理手数料及び指定ごみ袋の形状の見直し」についての答申があり、今年度の発注分から燃やせるごみ袋につきましては、特大サイズを除く全サイズにおいて取っ手つきごみ袋への変更を行っております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　再質問します。

うるま市のごみ袋については、他市町村のごみ

袋の価格、利便性などを比較しても少し遅れを取っていると思います。今後、本市としては、どのようにするのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　再質問にお答えいたします。

うるま市一般廃棄物減量等推進審議会においては、指定ごみ袋、粗大ごみ手数料価格の見直し、資源ごみ袋の廃止等の意見も上がっておりました。うるま市では住民のごみ減量化への意識を高めることと受益者負担の公平性の観点から有料の指定ごみ袋とし、ごみの排出量に応じて処理費の一部を負担していただいております。今後につきましても、他市の状況を調査・研究等を行い、うるま市一般廃棄物減量等推進審議会に意見を諮りながら検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　他の自治体においてもペットボトルとか、そういったものはもう透明になっているところも実際あります。粗大ごみにおいても、個人差はあると思うのですけれども、本当に量が違う。そういったところにはほかの自治体は値上げにも入っているところも実際あります。そういったところもしっかり議論していろいろと進めていただきたいと思います。

それでは５点目の質問に移ります。平良川３－18号線の道路の状況について質問しますが、今現在、道路の状況がどういう状態になっているのか教えてください。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

平良川３－18号線は、平成９年12月26日の供用開始から約27年が経過しており、経年劣化による舗装の傷みや点在した凹凸がある状態となっております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　市民から、穴ぼこや段差があり走行しづらく、大雨時には水たまりができるぐらいよくない状態。荷物を輸送するトラックが積荷が落ちたのを何度も見ているとの声もあります。今後、整備なども考えているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

当該道路の補修につきましては、予算の範囲内において維持管理に努めておりますが、通常の道路補修では改善されない現状であることから補助金や交付金など特定財源を活用し、道路補修の実施について前向きに検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　ぜひよろしくお願いいたします。この道路ですが、本当に職員の方々も使っていると思いますけれども、本当にこの気づいている方からも声をいただいております。道路沿いには保育園もあり、昼間の時間帯はうるさくないか本当にそういったところも心配もありますので、もっとひどくなる前に改善をお願いしたいと思います。

それでは６点目の質問に移ります。小学校周辺のグリーンベルト化の進捗についてであります。学校周辺では、通学路緊急対策工事として令和６年10月21日までと記載された看板がありますが、工事の進捗状況を教えてください。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

本年度の通学路緊急対策工事では、あげな小学校、高江洲小学校、南原小学校、平敷屋小学校周辺において、グリーンベルトの施工を実施しております。工事の進捗状況といたしましては、８月末時点で約70％となっております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　再質問します。

学校周辺の今後の計画をお尋ねします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質問にお答えいたします。

通学路緊急対策工事は、国の通達により令和３年度に実施した通学路緊急合同点検結果に基づき、学校周辺の安全対策について、順次整備を行っております。また、令和４年度、令和５年度に実施した通学路合同点検の結果や自治会要請などに基づき、継続的な安全対策を実施してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　あげな小学校も通学路緊急合同点検後、要請も出していると思いますので、確認してまた進めていただきますようよろしくお願いいたします。

それでは最後の質問、次世代エネルギーペロブスカイト太陽電池についてであります。ペロブスカイト太陽電池とはどのようなものか教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　御質問にお答えいたします。

ペロブスカイト太陽電池は、軽量薄型で高い変換効率を持ち、低コストで製造可能な多用途に活用が期待される次世代の太陽電池で、2025年に実用化が期待されておりますが、その一方で耐久性や大面積での安定性に課題があるとされております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　全国的に実証実験が相次いでスタートしています。どの予算を使い、実証が行われているのかお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

いずれも調査した範囲になりますが、東京都、神奈川県、千代田区において、いずれも民間事業者と連携した事業となっており、執務室内の空気室モニタリングソリューションや脱炭素社会の実現を目的にした既存建物へも取り付け可能な発電する窓の開発など実証実験が行われているようです。主な国からの財源につきましては、経済産業省が行っておりますグリーンイノベーション基金等を活用したプロジェクトが進められているとお聞きしております。

○副議長（藏根　武）　池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　私も調べましたが、東京都の大田区のある小学校の校長先生にいろいろとお聞きしました。向こうの小学校では外灯をつけて実証実験をしております。私たちうるま市も防犯灯とか、そういったところがなかなか予算がつかないということもあり、私なりにいろいろ調べさせていただいています。今後もこの実験の結果や照明の状況も聞きながら引き続き私も調査していきながら、今後も取り上げていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

これで私の一般質問を終わりますが、私も10月で２年になります。まだまだ勉強不足だと実感していますが、本当に人の倍、汗をかいて頑張っていきたいと思います。

最後にちょっと言わせてください。市長が就任してもう３年半、その当時はもう新型コロナウイルス感染症が最も多い年。緊急事態宣言もありました。ドライブスルー式のＰＣＲ検査場も設置していただきました。地域の活気を取り戻す政策なども取り入れ、うるま市もよくなったと思っております。これからも引き続き頑張っていただきたいと思います。これにて私の一般質問を終わります。

○副議長（藏根　武）　次の質問者、仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　それでは、皆さん、こんにちは。議長の許可を得ましたので、第179回定例会、一般質問を行いたいと思います。今回は大きな項目で５点通告してございますので、執行部の皆様には簡潔明瞭な御答弁をお願いしたいと思います。

まずは大きな項目１点目、教職員の働き方改革について質問してまいります。うるま市立小・中学校における働き方改革検討委員会が令和４年度に設置をされ、当該検討委員会に関連する令和５年２月第167回定例会での質問において、委員は９人の人数で構成され、令和４年度は年３回の会議を開催したと当時の学校教育部長から答弁を受

けました。その後の働き方改革検討委員会の会議回数などの現状について、まずは確認をしたいと思います。お願いします。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　仲程孝議員の一般質問にお答えいたします。

働き方改革検討委員会は設置規程に基づき、市校長会代表、市教頭会代表、市事務職員協会代表、市養護教諭会代表、臨床心理士、学校教育アドバイザー及び市教育委員会学校教育部長、学校教育課長及び事務局を含む９人で構成しております。また、開催については、規程により委員長が必要に応じて招集するとされており、令和５年度は１回開催しております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　ありがとうございます。令和４年度は３回会議がありましたが、令和５年度は１回ということで確認をしております。それでは続けていきますが、当時の学校教育部長から学校における電話対応時間について見直しを図る答弁がありました。学校への電話連絡については教職員の勤務時間である８時15分から16時45分までにかけていただくよう、また留守番電話機能が設置されている学校については、17時から翌朝８時までの間は自動録音による電話対応となる旨、保護者宛の周知を行っているとありました。学校における電話対応時間について、何かしらの進展があればお聞きしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

学校における電話対応時間については、令和５年１月に各学校長宛てに午後５時以降から翌朝８時までは自動音声による電話対応であること。午後５時以降の緊急対応については、警察署及び消防署へ連絡することについて、保護者への周知依頼をしております。また、学校によっては自動音声による電話対応の時間を就業時刻に合わせて、午後４時45分から午前８時15分までとするなど、学校の状況に合わせた対応となっております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　ありがとうございます。学校での電話の対応時間につきましては、各学校における電話機能の違いとかもあることから、一概に統一していくことは困難なことは理解しておりますが、方向性はぜひ一致させていただきたいと思います。

続けます。前回の質問当時、検討委員会での内容の周知徹底、状況把握をしっかりとなされることを要望いたしました。これまで当該検討委員会からも提言という形で、学校・家庭・地域に対して周知を行ってきたものだと思います。前回の答弁では、提言内容が学校現場でどのように実践されていくのか、状況把握を行っていく考えがあるかとお聞きしましたが、その後のチェック機能などどのように進めてきたものか確認をしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

検討委員会の委員は、うるま市立小・中学校における各職層代表で構成しており、事前に各組織の意見などを集約し、検討委員会へ参加していただいております。また、委員会で検討された学校行事の精選と見直しや校務の効率化、部活動の適正化などの項目については、教職員や保護者宛てに提言しているところでございます。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　しっかり提言をし、続けていただきたいと思っておりますが、続けていきます。

グループウェアや教職員の働き方改革に関連して、新たに校務支援システムを導入したとの情報を得ておりますが、それらに関連する意見の集約や改善等に向けては、今後どのように行う予定か具体的にお聞きしたいと思います。お願いします。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

校務支援システムにつきましては、令和５年９

月から新しいシステムにて運用開始し、これまでに画面の見やすさや操作のしやすさ、また画面の切り替わりの速さなどについて、よい評価をいただいております。意見の集約につきましては、市内学校事務職員会の代表者との情報交換会において、システム運用に係る要望等を伺い、セキュリティーに配慮しながら改善を図っております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　それでは１点目最後の質問であります。

赤道小学校では県内初となるよいこのあゆみ、いわゆる通知表を廃止いたしました。私は卒業生の一人として赤道小学校学校評価員をさせていただいております。事前の校長先生からの提案に対して、強く賛同した一人であり、個人的に評価をしているところでありますが、今般の通知表廃止の判断について、教職員の働き方改革の側面からどのような効果があると考えているものか、教育委員会の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

赤道小学校は、よいこのあゆみに代わり、学習評価に関する個票を配付しております。他校においても児童・生徒の学習評価を保護者へ伝達することに重点を置きつつ、学校生活の状況を記載する所見欄への記入回数を減らしたりするなど、各校長が適切に判断し、教職員の負担軽減に努めていると伺っております。こうした取組は、教職員の働き方改革の側面から考えますと、業務量精選という一定の効果があるものと考えておりますが、学習状況や評価を保護者へお伝えすることによって、児童・生徒の学習改善や教員の指導改善といった教育の質的改善につなげていくことが最も重要だと考えております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　ありがとうございます。教職員の負担軽減と今答弁にもありましたけれども、教育の質的改善、一見相反する印象も受ける方もいらっしゃると思いますが、全国の事例を見るとそうではない部分もあると私は思っております。その両方を追い求めて、よりよい沖縄の教育を目指していけたらと思っておりますので、それぞれの立場で努力していきたいと思いますので、今後もよろしくお願いします。ありがとうございます。

それでは２点目のうるま市と基地の発刊についてお尋ねしていきたいと思います。まずは、本市の発刊するうるま市と基地について、その概要を確認したいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　仲程孝議員にお答えいたします。

うるま市と基地につきましては、本市における基地の現状等を理解していただくことを目的に、市内における基地の現況、基地関連の財務情報、騒音被害や基地被害など住民生活に与える影響等に関する資料、データを取りまとめたものとなっており、平成18年と平成22年に刊行しているものでございます。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　概要説明ありがとうございます。平成18年に初版の発刊、その４年後の平成22年に改訂版が発刊された後、14年間改訂されておりません。その後も今日まで米軍基地や自衛隊基地、どちらも部隊編成の変更などもあり、その間に基地から派生する事件・事故も積み重なってまいりました。それらを踏まえて資料としてしっかりまとめておく必要があると思われますが、14年間改訂されていないことについて、当局の所見を伺いたいと思います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

うるま市と基地につきましては、法的な制約などはございませんが、議員御指摘のとおり平成22年の刊行以来改訂しておらず、その間、基地に関連した事件・事故なども起こっていることから、改めて市民などに周知し、理解していただくためにもデータなどの更新及び公表等について、速や

かに改訂する必要があると認識しております。
○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。
○１７番　仲程　孝議員　部長からも速やかにという言葉が出ましたので、進めていきたいと思います。令和５年２月定例会でうるま市と基地の続編発刊を求める陳情書が本議会に提出され、総務委員会で審査が行われました。当時の総務委員長の報告によりますと、次年度の早いうちに改訂できるよう取り組んでいると担当課から説明があったと報告されております。次年度とはすなわち令和６年度でありますが、今年度中に改訂版を発刊できるものか、現状を確認したいと思います。
○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。
　うるま市と基地につきましては、現在改訂版の更新に向け、収集した関連データの最終確認などを行っているところであり、年内12月末をめどに改訂版の策定及び公表を行いたいと考えているところでございます。なお、今回の改訂版につきましては、冊子での刊行ではなく、市ホームページでＰＤＦデータ版の公表及び提供とさせていただく予定でございますので、御理解のほどよろしくお願い申し上げます。
○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。
○１７番　仲程　孝議員　今の答弁を整理しますと、12月末をめどにということであります。それから今回からのうるま市と基地については、データ版の公表を予定しているとの答弁がありましたが、データベースについては更新のみであり、早急な対応が現在の資料としては見やすさはあると思われます。ただし、過去のデータとの比較がしにくくなることが懸念されます。資料価値として残していくことも必要であるとの意見が出ることも想定されますが、冊子での提供を要望する市民がいる場合、紙ベースでの発行を検討できないかお聞きしたいと思います。
○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。
　うるま市と基地の改訂版につきましては、先ほどの答弁のとおり、現時点ではデータ版での公表を想定しているところでございますが、紙ベースでの冊子の提供を要望される意見が多数寄せられました場合、改めて紙ベースでの発行も検討させていただきたいと考えておりますので、御理解のほどをよろしくお願い申し上げます。
○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。
○１７番　仲程　孝議員　多数の要望がある場合は検討もしたいということで理解をしていきます。それでは最後ですが、今後のうるま市と基地の継続的な刊行について、当局の見解を伺いたいと思います。
○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。
　うるま市と基地につきましては、先ほども答弁いたしましたように、策定義務はございませんが、本市に所在する米軍基地等に関し、市民に理解していただくための重要な参考資料であり、今後も継続してデータの更新及び公表に努めていくことが必要だと認識しているところでございます。
○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。
○１７番　仲程　孝議員　よろしくお願いします。今答弁でもあったように、法的な策定義務はありません。ただそれによりますと基地ではありますが、本島中部、特に嘉手納基地に隣接と言いますか、近隣の他の市町村自治体でも同様な冊子が重要な資料としてしっかり発刊されていることを私は確認しておりますので、今後も継続的な刊行を私も希望しておきたいと思います。
　次の質問に移ってまいります。次の質問です。３点目にまいります。自治会管理の防犯灯についてであります。まずは、市当局が整備を行い、各自治会において維持管理を行う防犯灯の現在の状況を御案内いただきたいと思います。よろしくお願いします。
○副議長（藏根　武）　市民生活部長。
○市民生活部長（松岡　秀光）　仲程孝議員の御質問にお答えいたします。

平成26年度から整備されましたＬＥＤ防犯灯は7,000灯余りございますが、市が設置を行い、各自治会が管理する防犯灯はございません。市が管理する78灯以外の防犯灯は、市からの補助金を活用し、各自治会において設置し、維持管理を行っております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　ありがとうございます。ここでちょっと私も勘違いと言いますか、市が整備を行っているものだと思っていたのですが、正式には補助金を交付して、各自治会が設置・整備をするということで確認ができたのですが、市の管理する78灯以外の防犯灯については当局が補助金を交付して、設置については各自治会が行い、その後は維持管理についてもこれまで同様に各自治会で行っているということを確認いたしました。平成26年度から各地域に整備されたＬＥＤ防犯灯も最も古いものは、もう10年が経過しようとしております。防犯灯機器の更新に関連する予算が令和５年、令和６年と計上されておりませんが、その理由についてお聞かせいただきたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

令和５年度及び令和６年度に予算計上がされていない理由につきましては、市と自治会との費用負担や役割分担、防犯灯の設置基準、今後の補助の在り方について、庁内で検討をしている状況であることから防犯灯設置に係る予算が計上されておりません。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　役割分担や基準等を今ちょうど検討しているということの理由ということでありますが、様々な事項を検討するために予算が計上されていないということでありますが、先ほども申し上げたように、最も古い地域のＬＥＤ防犯灯は設置からもう10年近くが経過しています。地域のＬＥＤ防犯灯について、設置に関連する不具合などの相談が自治会からあったか確認をしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

令和６年８月に自治会長が来庁し、防犯灯の設置状況及び本体に雨水が浸入したことにより故障したＬＥＤ防犯灯の説明を受けております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　自治会長が来庁して、雨水が浸入したことにより故障したＬＥＤ防犯灯の説明があったということですが、防犯灯設置工事の段階で何かしらの不備があったのではないかと推測しているのですが、本来、考えにくい雨水浸入が理由と思われる故障について、各自治会が維持管理する防犯灯について、調査していく考えがないか伺いたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

ＬＥＤ防犯灯本体の故障の原因につきましては、本体への雨水が浸入したものを含め、複数の原因が考えられますが、自治会が所有する防犯灯全てを調査することは大変難しいものと考えております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　そもそも屋外で使用するものですから、雨水に対してはそれなりに対応がされているはずなのですが、雨水が浸入して故障したということは設置の段階で何かがあったのではないかなとちょっと私は予測をしているところでありますが、今答弁にありますように7,000灯余りの防犯灯全てを調査することは厳しいと思いますが、相談のある自治会に対しては丁寧な対応を求めておきたいと思います。本市における防犯灯関連の経費は先ほどから言っておりますが、設置については市が補助金を交付する。その後の維持管理に係る経費は各自治会で負担すると役割分担が行われてきましたが、関連する防犯灯維持管理の経費について、他市の状況はどうなっているものか御案内いただきたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

防犯灯設置後の維持管理費につきましては、石垣市及び糸満市は本市同様、自治会が負担していることを確認しております。また、そのほかの８市につきましては、修繕費、更新に係る費用、電気料金等の一部、または全額を補助しているとのことです。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　同じ11市でも様々に違いがありますよね。石垣市と糸満市は本市と同様。ほかの８市については、経費の一部または全額を補助しているところもあるということであります。それを念頭に置きつつ、質問を続けていきますけれども、現在各自治会が負担する防犯灯維持管理に関連する経費が総額どの程度になるものか確認をしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

各自治会が管理負担する防犯灯には、防犯灯設置事業補助交付金要綱に基づき設置された防犯灯や、各自治会の予算を活用し自らが設置した防犯灯もあることから、維持管理に関連する経費の総額を把握することは困難であると考えております。防犯灯の電気料金の概算につきましては、防犯灯の電気料金につきまして、市が管理する78灯を参考に算出した場合、１灯当たり１月約260円であることからその金額に7,000灯を乗じて１か月約182万円、年間約2,184万円となります。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　今の金額年間2,184万円、これは電気代のみということで理解します。修繕が幾らかかるかとかはなかなか予測もつきませんので、仮に7,000灯の１年間の電気代が2,184万円になるだろうということであります。それでは続けますけれども、先ほどの答弁では、令和５年度と令和６年度に防犯灯機器の更新に関連する予算が計上されていない理由に市と自治会の費用負担や役割分担、防犯灯の設置基準、今後の補助の在り方について検討している状況とありました。本市と糸満市、石垣市以外の８市については修繕・更新に係る費用、電気料金等の半額や全額を補助している自治体もあるとの答弁もありました。現在、様々に検討を重ねているよい時期でもありますので、将来的に防犯灯維持管理に関する経費を市当局で負担することが検討できないか、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

先ほども答弁いたしましたが、自治会において設置した防犯灯の維持管理を市で行うことは大変難しいものと考えておりますが、防犯灯の電気代等を含む自治会の運営費への補助を目的とした自治会運営振興補助金の交付を行っております。引き続き、今後の防犯灯の設置の在り方や既存防犯灯の維持管理などを含め、庁内で検討し速やかに方針等を示してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　大変厳しいものと考えておりますということであります。それでもいろいろ検討の余地はあると私は思っておりますので、私が市の単独予算で市内全ての防犯灯維持管理ができるとはもちろん想定していません。国の補助事業など活用している自治体があることは私も調査済みではありますので、先ほど御案内いただいた８市の補助内容なども精査を行い、よりよい補助内容になるよう研究をしていただきたい。そして、何より当事者である自治会長の皆様の意見も集約しながら進めていただくことを最後要望してこの質問は閉じてまいりたいと思います。ありがとうございました。

それでは４点目の質問にまいります。ふるさと納税返礼品について確認していきたいと思います。ふるさと納税寄附金を福祉団体などへの活動支援に活用する「思いやり型返礼品」の導入が各地で広がりを見せておりますが、思いやり型返礼品とはどのような返礼品のことを指しているものか、具体的に御案内いただきたいと思います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　仲程孝議員の御質問にお答えいたします。

思いやり型返礼品とは、寄附をすることで自分のためではなく、誰かのためになる。または社会貢献につながる返礼品のことであり、先行事例といたしましては、障害者福祉施設などでつくられた製品で雇用支援につながる支援型、困っている人の手助けとなる商品やサービスを寄附者から寄贈できる寄贈型、それから地域で活躍する団体へ協賛する協賛型、そして、困っている方を直接手助けする参加型、この４つの分類がございます。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　一言で思いやり型返礼品と申しましても、いろいろ支援型、寄贈型、協賛型、参加型、４つ分類があるということで理解をしておりますが、私が調査したところによりますと、思いやり型返礼品に関連した先進事例が全国各地で散見されます。県内他市における思いやり型返礼品の導入事例や導入予定があればお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

県内導入事例としましては、沖縄市において「沖縄市東自治会の公民館活動を応援」と「神獅子のお守り。沖縄市古謝自治会の文化財復元事業を応援」。この２件の協賛型の導入事例があります。また、那覇市では社会福祉協議会を通して子ども食堂の運営を行うＮＰＯ法人に対する協賛型の思いやり型返礼品を導入する予定と伺っております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　県内２市の事例は、両方とも協賛型の事例であります。沖縄市においては自治会活動関連の返礼品が導入されており、那覇市においては子ども食堂の運営に関連した返礼品を導入予定とのことであります。これまでの返礼品同様に商業的サービスだけではなく、返礼品を提供する側の体制づくり等もしっかりと構築しなければならないと思われますが、導入に至るまでの障害をどのように想定しているのか確認をしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

当制度を効果的に活用するためには、庁内関係部署及び関係団体や事業者等への制度の周知や活用方法など、横断的な議論と発想展開による取組体制の構築が必要であると考えております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　今答弁にもありました横断的な議論、非常に大切になってくると思います。そこでお聞きしたいのですが、全国の先進地や沖縄市を参考に今後、本市においても思いやり型返礼品を導入することは可能か、当局の見解をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

当市におきましても、ふるさと納税寄附制度の趣旨である社会貢献、これに着目し積極的な導入に向けた調査・研究に取り組んでまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　積極的な導入に向けたと答弁もありました。ぜひ導入に向けてしっかりと取り組んでいただきたいと思います。そこで再度、思いやり型返礼品取組に対する当局の所見を伺いたいと思います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

まずは年度内において、関係部署と情報共有や意見交換を積極的に行い、思いやり型返礼品で取り組める内容や体制づくりについて検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　ぜひ、よろしくお願いします。従来の本市におけるふるさと納税返礼品についても、体験型返礼品が人気であるとの情報も得ております。昨今では返礼品についても全国的に多種多様になってまいりました。ふるさと納税寄附制度に福祉の視点も交えながら検討してい

ただきたいと思います。

思いやり型返礼品に関する取組は全国的にも事例がまだまだ少ないのが現状でありますが、担当課の皆様には制度策定に向けて、汗をかいていただくことをお願いして、最後の質問に移りたいと思います。

それでは最後に、災害時受援応援計画について確認してまいります。本市が被災した場合の人的・物的な支援を受ける受援及び当市から被災地へ人的・物的支援を行う応援について、体制などを定める具体的な計画について聞いていきたいのですが、全国的には受援・応援を取りまとめた計画を策定した自治体があります。受援・応援計画の概要をまずは御案内をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　仲程孝議員にお答えいたします。

災害時に被災市町村では短期間に膨大な災害対応業務が発生するため、外部からの応援が不可欠となることから、ほかの地方公共団体等から多くの応援職員等が派遣される事例が増えてきており、こうした応援を円滑に受け入れるための計画が受援計画となっております。対して、応援計画につきましては、被災地に対し人的支援などの応援を行う際の計画となっております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　細かに説明ありがとうございました。今年の元日に発生した能登半島地震を受けて、大規模災害に備える準備が重要視され、全国的に災害に関連した計画等が盛んに議論をされております。県内各自治体では受援計画の策定が全国平均と比較して２倍以上の開きがあり、災害時の復旧の遅れにつながりかねないとして、国は早期策定を呼びかけているとの新聞報道がありましたが、本市の計画策定に向けた現状を伺います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

令和５年６月１日時点でのデータになりますが、全国では約75％の市町村が策定済みであるのに対し、県内では約48％に当たる20市町村で策定済み、約52％に当たる22市町村で未策定となっておりました。なお、本市でも調査時点では未策定となっておりましたが、去る令和６年３月にうるま市災害時受援計画を策定したところでございます。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　新聞報道にあった時期と現在とでは多少時間差がありますが、令和６年３月にうるま市災害時受援計画として策定されたということが確認できました。それでは既に策定をされているうるま市地域防災計画との関連性についてどうなっているものか確認したいと思います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

市地域防災計画では、災害の規模等に応じて円滑に応援または受援できるように、応援計画及び受援計画を策定し、事前の準備に努めると定められており、当該受援計画もこの内容に沿って定めたところでございます。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　沖縄県においても、沖縄県災害時受援計画が昨年７月に策定されております。当該計画との関係についても同様にお聞かせいただきたいと思います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

県の災害時受援計画につきましては、法令等に基づく市町村受援計画の上位計画といった位置づけではなく、本市の受援計画との直接の関係性はございませんが、災害時における義援金や災害ボランティアの受入れに当たって、まず県が基本的な窓口を担うものと想定しておりますので、県と密接に協力・連携をする必要があるものと認識しております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　県と密接に連携する必要があるということでありますので進めていきますけれども、本市においても受援計画が策定されたことはこれまでの議論で理解をしております。これまでうるま市においても県外被災地などへの人的派遣や物的支援を行ってきたと思いますが、関連する被災地への応援体制については、現在どのような計画の下、支援を行ってきたものかお尋ねしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

県外被災地への応援につきましては、現在市の計画等に基づく派遣はございませんが、県外被災地への応援はまず被災地から全国知事会を通し、各ブロック知事会、沖縄県の場合は九州知事会への派遣要請があり、その要請に基づき輪番制により派遣する県が決定されることとなっております。先日もこの決定に基づき、沖縄県及び本市を含む県内各市町村から能登半島地震で被害が大きかった石川県七尾市などへの応援要員の派遣を行っているところでございます。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　今の答弁を確認すると被災地への応援体制は現在のところ、沖縄県がある程度まとめ役となっているものだと理解をしながら進めますが、先ほどお聞きしましたうるま市地域防災計画では、災害の規模などに応じて円滑に応援または受援できるように応援計画及び受援計画を策定し、事前の準備に努めると明記されております。今確認しますと、受援計画は策定されていますが、応援計画はまだということですので、本市独自の応援計画策定に向けて議論を加速すべきと考えますが、当局の所見を伺いたいと思います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

現在、本市では災害時応援計画は策定しておりませんが、本市はこれまでに近隣の沖縄市や恩納村並びに友好都市を締結しております岩手県盛岡市や栃木県宇都宮市との間で災害時相互応援協定を締結しており、今後これらの協定に基づき災害時における災害要請なども想定されることから、当該応援計画につきましても策定に向け、検討する必要があるものと認識しております。今後、これらの協定に基づき災害時における派遣要請なども想定されることから当該応援計画につきましても、策定に向け検討する必要があるものと認識しております。

○副議長（藏根　武）　仲程孝議員。

○１７番　仲程　孝議員　災害については、本市が被災した場合、どれだけ被害を小さくするかが最優先であり、様々な議論を経て計画等も策定されてきましたが、一段階ステージを上げた受援・応援計画についてもしっかりと議論を進めていただきたいと思います。

これをもちまして、今定例会、私の一般質問を終わりたいと思います。執行部の皆様には簡潔明瞭な御答弁ありがとうございました。これで一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　午前の日程をこの程度にとどめ、午後１時30分より会議を開きます。

暫時休憩します。

休　憩（１２時０７分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時２９分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　皆さん、こんにちは。今回７項目通告してあります。当局の皆さん、よろしくお願いいたします。

では項目１、地域Ｗｉ－Ｆｉ環境整備等について。これまでの一般質問において、引き続き確認のため質問を行ってまいります。これまでの内容ではネット回線が行き渡らないとのことで質問してまいりました。これまでの答弁内容においては、津堅島内のＷｉ－Ｆｉ環境について、17か所にアンテナを設置。津堅島や平敷屋地区旅客待合所については、新型コロナウイルス感染症の影響で設

置の検討のみの対応とのことでしたが、接続状況の調査を引き続き検討とのことでありましたけれども、伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　金城加奈栄議員の御質問にお答えいたします。

観光客の利便性の向上を目的に、津堅島内に17か所のＷｉ－Ｆｉスポットを設置し、運用を行っておりますが、今年の４月から８月までの利用者数は263人であり、単純平均しますと１か月当たり約53人、１日当たりでは約２人のみの利用状況となっております。この利用状況と観光客の需要等を勘案しますと津堅島内や平敷屋地区旅客待合所へ新たにＷｉ－Ｆｉスポットを整備することについては大変厳しいものと考えております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　広範囲に関わってまいりますが、視点を変えて意見を述べさせていただきたいと思います。今年の４月から８月まで利用者数が263人、１日当たり平均約２人の利用とのことでありましたが、整備は厳しいということで答弁をいただきましたけれども、私もネットの専門家ではございませんが、本市において今後申請手続などの電子申請などにも影響が出てこないかと大変危惧しているところであります。

では、次の質問に移っていきたいと思います。項目２、環境問題について（ＰＦＯＳ・ＰＦＯＡ）について。（１）市独自の湧き水の調査等への進捗状況について伺っていきたいと思います。河川や自治体が管理する湧き水など、公共の水域、水源については今後とも調査を継続していくところでしたが、また、個人地主宅の井戸水等の調査については、状況に応じて検討していくことについて進捗状況としてどうなったのか伺いたいと思います。また、未実施の調査地点についても地元自治会との意見を交わし検討していく予定でしたが、どのようになったのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　金城加奈栄議員の御質問にお答えいたします。

ＰＦＯＳ・ＰＦＯＡに関する市独自の湧水調査につきましては、今年度も計画して実施しており、個人地主宅の井戸水等の調査につきましても、引き続き状況に応じ検討していくこととしております。また、未実施の調査地点につきましても、地元自治会と意見を交わし、調査地点を選定することとなっております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　アカザンガーについて、採取数値はどうだったのか伺います。また、発生源はどこからだったのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

アカザンガーの採取数値につきましては、令和２年度の環境省調査による数値が180ナノグラムパーリットル、令和４年度の市独自の調査数値が150ナノグラムパーリットルとなっております。このアカザンガーの数値の発生源につきましては特定されておりませんが、現在環境省により当該物質に関する知見の集積等が進められており、本市といたしましても継続して最新の知見、情報の収集に努めてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　今後、本市のホームページに採取した場所と数値が見られるようにすべきだと思いますが伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

採取した場所と数値等の公開につきましては、国の食品安全委員会より、当該物質が通常の一般的な食生活では著しい健康影響が生じる状況にはないと評価されている一方、地域の風評被害の懸念も想定されることから地元自治会の意見を踏まえ、検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　今の答弁を聞いて地元自治会の意見を踏まえて検討してまいりたいということでありましたが、私たちの健康にも害を

及ぼしてまいります物質でもあります。飲み水だろうと湧き水や地下水でも同様に、市民への啓発として知る権利としても知らせることが必要だと思っております。

では、次の（２）の質問に移ります。公共施設等での泡消火剤について。本庁舎東棟地下駐車場について、消火剤にＰＦＯＡが含まれているとのことでしたが、取替えの検討を行うための費用など見積りの徴取などを行うなど調査中とのことでしたが、進捗状況について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　金城加奈栄議員の御質問にお答えいたします。

本庁舎東棟地下駐車場の泡消火剤にＰＦＯＡが含まれている件につきましては、万が一東棟地下駐車場において、火災等により泡消火剤が放出する事案が発生した場合には、地下駐車場から敷地外へ流れ出ないよう排水ポンプを停止し対応することとしております。泡消火剤の取替え対応は必要と考えておりますが、見積内容の精査や地下駐車場での他設備機器の更新時期等も考慮しながら、取替え時期につきましては引き続き調査し、検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　では次、項目３に移ります。離島住民等の生活支援について。離島住民への物資・建設資材・車両運搬等への負担軽減について。離島住民への物資・建設資材等への負担軽減について、令和６年２月定例会答弁においては県内外の類似市町村の状況など調査・研究を行い、当該支援事業について、独自事業補助として実施可能か。また、沖縄県の離島振興補助金活用の枠を広げる要請についても関係課と情報共有の上、連携・協議し検討する必要があるとのことでしたが、どのようになったのか伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

当該支援事業につきましては、市の財政状況等を踏まえ検討した結果、市単独事業として補助することは困難であります。また、沖縄県の補助金等の活用枠を広げる要請につきましては、引き続き関係課と情報を共有するなど対応してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　車両運搬等への負担軽減について、令和５年沖縄振興特別推進交付金を活用し、令和６年３月に終了したと伺っております。要望として、市民から引き続き継続してほしいとの声もあります。ぜひ、実現のためにも取り組んでほしいのですが伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

車両運搬等への負担軽減につきましては、令和６年３月末まで津堅島フェリー車両運搬費支援事業を行っておりましたが、事業を始めたきっかけであるコロナ禍の影響が収まってきたこと、また、島内における移動手段としてＥＶを活用した公共交通の導入を目指していることから、当該事業は終了しております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　市民から車両運搬費支援事業の再開を求める声がありますので、事業の再開を再度要望しますが、所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

移動手段の観点から、公共交通の導入と車両運搬費支援を同時に実施することは財政上、大変厳しいものと考えております。ＥＶを活用した公共交通の導入は、車両や運転免許を所有していない方でも利用できるという利点がございます。本市としましては、より多くの方に御利用いただける公共交通の導入を引き続き目指してまいりたいと考えておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　前年度の津堅島フェリー車両運搬費支援事業の利用件数と申請金額を

伺います。また、津堅島フェリー車両運搬費支援事業の再開を再度要望したいと思いますが、伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

前年度における津堅島フェリー車両運搬費支援事業の申請件数は1,886件、支援した金額は513万3,150円となっております。繰り返しとなりますが、津堅島における移動手段としましては、ＥＶを活用した公共交通の導入を目指しておりますので、現時点において、本事業を再開することは極めて困難でございます。御理解のほどお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　では、次の質問へ移ります。

項目４、教育行政について。新石川調理場整備等について。令和５年12月第171回定例会において、公募型プロポーザル方式による随意契約をいたしましたが、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律において、議会の同意議決を得て多数により決定されました。第二調理場については、解体後跡地利用として公共的利用、そして民間活用など検討していくということでもございました。

１点目、今後の石川調理場において、12校の給食提供数について伺います。

２点目、地産地消としてどのように食材提供を考えているのか伺います。

３点目、食中毒が出た場合、調理、配達及び異物混入の対応について、責任はどちらの対応になるのか伺いたいと思います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　金城加奈栄議員の御質問にお答えいたします。

１点目の新石川調理場にて提供予定の給食数ですが、令和８年度の提供食数の推定値で中学校２校で755人、小学校10校で6,218人、教職員等で567人、約7,540食の提供となります。

２点目につきましては、市内の他の調理場同様、市が責任を持って食材を調達し、地産地消に努めてまいりたいと考えております。

３点目の責任及び対応につきましては、事故の発生時の起因によって異なります。リスク分担表では検収後の保存方法に起因する調達食材の異常及び調理・配達業務における異物混入等についてはＳＰＣ事業者となり、食材調達が原因となった場合は、うるま市がリスクを負担することとなっております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　会計検査院ＰＦＩ報告書、会計検査院法（昭和22年法律第73号）第30条の２の規定に基づき、会計検査院長からの内容について説明を伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　金城加奈栄議員の再質問にお答えいたします。

御質問の報告書につきましては、国が実施するＰＦＩ事業について、令和３年５月に会計検査院長から衆議院議長、参議院議長及び内閣総理大臣に対して報告されたもので、内容としましては、主に平成30年度末時点での国におけるＰＦＩ事業の実施状況、ＰＦＩ事業に係る評価の実施状況、モニタリングの実施状況等について検査を行い、その状況を取りまとめたものと認識しております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　県内において、ＰＦＩ方式で行っている市町村はあるのか伺います。また、私もいろいろ調べておりますが、県外ではＰＦＩ方式を導入しての問題が出てきておりますが、提供予定給食数約7,540食とのことでありましたが、想定として食中毒、異物混入などが起こってしまえば約7,540人の給食に影響が起こり得るが、温かい学校給食提供のためにも分散提供するのがよいと考えますが、対応について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　御質問にお答えいたします。

県内における調理場施設の整備・運営へのＰＦＩ方式導入は、本市が初めての実施となります。また、食中毒発生が確認された場合は、沖縄県教育委員会発行の学校給食における管理・指導の手引きに基づき対処することになります。新石川調理場の使用が制限され、受配校への給食提供が厳しい場合は、調理場を介さないパン、御飯、牛乳等の一部給食提供や第一調理場及び与勝調理場にて給食の提供を想定しております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　では、次の５の項目に移ります。

歩道整備について。兼箇段地内、県道36号線旧具志川環状線沿いの歩道整備の進捗状況について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

県道36号線歩道整備につきましては、当該道路整備に係る要請書等を進達しており、進捗状況について中部土木事務所に確認したところ、「現在、当該道路整備箇所に係る地権者等と調整を開始したところである。今後とも、うるま市の協力を得ながら事業化に向けて継続的に関係者等と調整を行う予定である」との回答がございました。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　では、次の質問に移ります。

６、石川庁舎について。石川出張所機能等について。令和５年９月定例会において、合併時の合意事項について、具志川市・石川市・勝連町・与那城町合併協議会において、分庁方式を採用することを決定し、組織及び機構については、合併前の４庁舎を有効活用した組織及び機構とするとの説明。また、石川庁舎周辺の利活用プロジェクトを推進し、公民連携手法を導入する予定であるが、老朽化が進行している石川庁舎の躯体や機械設備など改修に民間投資の可能性は期待できないことから、基本的に更地化を前提とした有効活用を検討とのことでしたが、合併協定書の中で分庁方式を採用すると示していますが、石川庁舎を更地にした場合、新たに建て替えをするのか伺います。また、現在の出張所機能についても残すのか伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　金城加奈栄議員の御質問にお答えいたします。

石川庁舎につきましては、建築から38年が経過しておりまして、老朽化も進行していることから、民間サウンディング調査におきましても、建物を撤去した上での新たな開発について民間事業者が興味を示しているところでございます。石川出張所機能につきましては、周辺公共施設への集約化や複合化、あるいは現在の対象地内に機能として残す方法なども含めて公共施設等マネジメント検討委員会で総合的に検討していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　答弁の中において、民間サウンディング調査とはどういった調査なのか伺います。また、委託業者なのか伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

民間サウンディング調査とは、土地の有効活用を検討するため、民間事業者からの提案や意見を広く求め、事業者との対話を通じて事業手法や市場性を把握する調査となっております。調査の対象となる民間事業者につきましては、本調査を委託しているコンサルタントのネットワークを活用したり、先行する類似開発事例を参考に土地の開発事業者、建設業、維持管理業、運営事業者を含め、幅広い業種を対象として調査を実施しております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　最後に項目７、家賃補助について。住宅確保要配慮者賃貸住宅家賃補助事業等について。沖縄県は本事業について、令和６年６月定例会の補正予算を可決し、予算化し実施に向けて取り組んでおりますが、本市の今後の対応について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　お答えいたします。

本事業は低所得者の高齢者、子育て世帯、障害者、外国人などが入居する専用住宅に対して、家賃の一部を補助する事業となっており、入居の要件として新規の入居者や住宅扶助・住宅確保給付金等を受給している方は対象外などがございます。対象となる専用住宅は、賃貸人の申請により住宅確保要配慮者賃貸住宅として、沖縄県が登録を行った住宅となっておりますが、本市では登録がなく、県内においても数件のみとなっているのが現状でございます。事業を推進するには人員配置や市の負担も伴うため、今後は本事業の効果等を注視し、調査・研究を行ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　答弁の中で調査・研究していきたいということでしたが、お隣の沖縄市では、同様の内容で協議会を立ち上げたと伺っております。本市でも事業化に向けて取り上げられるよう要望しておきます。

以上で今回の私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　以上で本日の日程は終了しました。

次回は、明日午前10時から会議を開きます。

本日は、これで散会します。

散　会（１３時５４分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

副　議　長　　藏　根　　武

４番議員　　伊　盛　サチ子

５番議員　　金　城　加奈栄

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（６日目）

◎　令和６年９月20日（金）　　（１０時００分　開議）

◎　出席議員（26名）

１番	真栄城　　隆　議員	14番	池宮城　善　伸　議員
２番	高　屋　　優　議員	15番	伊　礼　　正　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	17番	仲　程　　孝　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
６番	国　吉　　亮　議員	19番	下　門　　勝　議員
７番	伊　波　良　明　議員	20番	天　願　久　史　議員
８番	神　田　洋　一　議員	24番	國　場　正　剛　議員
９番	平　良　一　雄　議員	25番	大　城　　直　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	27番	佐久田　　悟　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	28番	兼　本　光　治　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	29番	藏　根　　武　議員
13番	玉　城　政　哉　議員	30番	伊　波　　洋　議員

◎　欠席議員（１名）

23番　比　嘉　直　人　議員

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	防災広報対策部長	大　田　義　浩
副　市　長	佐久川　　篤	福　祉　部　長	幸　地　美　和
教　育　長	嘉手苅　弘　美	こども未来部参事	上運天　　健
総　務　部　長	山入端　立　也	市民生活部参事	古　謝　哲　也
企　画　部　長	金　城　和　明	経済産業部長	岸　本　　力
財　務　部　長	島　袋　史　朗	農林水産部長	座喜味　達　也

都市建設部長	名嘉眞　睦	社会教育部参事	兼城哲夫
都市建設部参事	田場直樹	学校教育部長	大里元児
消防長	新垣　隆	総務政策課長	諸見里直樹
社会教育部長	川端　登		

◎ 事務局出席者

議会事務局長	知念義浩	調査広報係長	伊禮君人
議事課長	石川秀吉	議事係主査	伊藤　靖
議事係長	森根元気		

◎　議事日程第６号
　　第１．会議録署名議員の指名
　　第２．一般質問

◎　会議に付した事件
　　議事日程に同じ

○副議長（藏根　武）　これより本日の会議を開きます。
　本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第６号のとおりです。
　日程第１．会議録署名議員の指名を行います。
　本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、伊波良明議員、神田洋一議員を指名します。
　休憩します。
　　休　憩（１０時０１分）
　　～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
　　再　開（１０時０２分）
○副議長（藏根　武）　再開します。
　執行部より発言の訂正の申出がありますので、許可します。防災広報対策部長。
○防災広報対策部長（大田　義浩）　おはようございます。９月17日の糸数昌宗議員への一般質問答弁における私の発言のうち６番目の一般質問、防災行政関連の３点目、防災用品の整備状況に関する質問の中で、令和５年度末における整備数については、備蓄毛布が「500枚」との発言は誤りで、正しくは備蓄毛布が「5,000枚」でございますので、訂正しておわび申し上げます。
○副議長（藏根　武）　日程第２．これより一般質問を行います。
　発言時間は当局答弁を含まず、30分以内です。通告がありますので、順次発言を許します。伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　議長、休憩願います。
○副議長（藏根　武）　休憩します。
　　休　憩（１０時０４分）
　　～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
　　再　開（１０時０５分）
○副議長（藏根　武）　再開します。
　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　市民の皆さん、執行部の皆さん、議員の皆さん、おはようございます。日本共産党会派、伊盛サチ子、これより一般質問を行います。大きい項目で５点を提出しておりますので、皆さんのまた御協力をよろしくお願いしたいと思います。
　まず１点目に、入札制度ということで、入札制度の現状の考えについてということです。まず最初に消防のほうですけれども、入札制度について、去る６月定例会での可決をされた物品の取得であります。はしご付き消防ポンプ自動車の購入、契約金額が２億5,800万円（後に「２億5,080万円」に訂正。）の案件となっております。入札者及び入札結果表の資料は当局からいただいたということはあるのですけれども、その際に、執行員や立会人の職員氏名の部分が黒塗りをされておりました。市の職員が対応されていると思われますが、黒塗りをして公表しない根拠は何か、何に基づいているのか、御説明をお願いいたします。
○副議長（藏根　武）　消防長。
○消防長（新垣　隆）　おはようございます。伊盛サチ子議員の御質問にお答えします。
　国土交通省が公表しております入札及び契約に係る情報公表マニュアルを参考に公表しなければならない事項として規定されていないことから、黒塗りとして非公表としております。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　引き続きまして、予定価格も黒塗りでありました。本市の入札は事前

公表が大半だと思われますが、事前、事後も公表できない理由について伺います。
○副議長（藏根　武）　消防長。
○消防長（新垣　隆）　御質問にお答えいたします。
同じく国土交通省が公表しております公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針によりますと、事後の契約において、予定価格を類推させるおそれがない場合、または事務事業に支障を生じるおそれがない場合に限り、予定価格を公表することとなっております。消防車両の更新事業は今後も継続していくため、当該指針を参考に後年度の契約において、予定価格が類推されると入札に影響を与えるおそれがあるため、契約検査課とも協議・調整を行い、入札の事前、事後においても公表はしておりません。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　はしご付き消防ポンプ自動車落札額が２億2,800万円でありました。その予定価格の決定はどのように行っているのか。また、見積書は何者が提示をし、どのように決定をしているのか伺います。
○副議長（藏根　武）　消防長。
○消防長（新垣　隆）　御質問にお答えします。
うるま市契約規則に基づき、県内の実績のある業者に見積り依頼を行い、提出のあった２者の見積書を参考に設計書を作成し、うるま市事務決裁規程により、市長が予定価格を決定しております。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　契約方法として、６月から初めて制限付き一般競争入札となっておりました。参加したのは１者のみ、この規格のはしご付き消防ポンプ自動車を製造して提供できるメーカーは何社あるのか伺います。また、この規格の消防車の納入実績が他社にあるかも伺います。
○副議長（藏根　武）　消防長。
○消防長（新垣　隆）　お答えします。
本事業の入札対応可能な業者は２者で、当該車両の製造メーカーとしましては、県内代理店等と提携のある業者は、国内で２社となります。また、当該規格の納入実績につきましては、今回不参加の１者を含め、県内では２者となっております。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　それでは、制限付き一般競争入札形態を採用した理由について伺います。
○副議長（藏根　武）　消防長。
○消防長（新垣　隆）　お答えします。
理由につきましては、緊急車両製造の実績や維持管理などの品質確保の観点から、入札参加資格に県内業者及び納入実績などの一定の条件を付した制限付き一般競争入札を採用しております。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　他の自治体がこの規格の消防自動車を購入する際も、同様の方法を採用しているのか伺います。
○副議長（藏根　武）　消防長。
○消防長（新垣　隆）　お答えします。
県内の自治体におきましても同様の入札採用の実績があると伺っております。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　では、入札者及び入札結果表については、先ほども申し上げましたけれども、執行員、そして立会人及び予定価格を黒塗りすることなく情報を公開することが原則だと考えますが、他市の入札結果の公表はどのような状況になっていますか。また、今後の入札結果表の公表の在り方についての見解を伺います。
○副議長（藏根　武）　消防長。
○消防長（新垣　隆）　お答えいたします。
近隣消防本部に確認をしましたところ、公表している消防本部と公表していない消防本部があり、どの消防本部におきましても、公表規程などに基づき対応していると伺っております。今後の入札公表の在り方につきましては、関係法令を踏まえ、総務部契約検査課とも協議・調整の上、対応していきたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　県内の採用もあるということで、それでは公表をされているというと

ころが、ちょっと調べたところ宜野湾市は公表をしております。その入札調書で予定価格及び決定金額を公表している状況がありました。そういったことを含めますと、やはり私としては、公表をしていくべきだと思っておりますので、ぜひまたそのような状況を含めて、今後、協議・調整の上、対応していくということでありますので、ぜひよろしくお願いをしたいと思います。消防については終わりたいと思います。

続きまして、入札制度について、次は、建設工事に係るものであります。令和５年度の建設工事の発注工事入札実績を市のホームページより確認をいたしました。このようにこの2023年の１年分のこの入札をした結果がホームページでありました。その中によりますと、指名競争入札による入札回数は、この１年、2023年の１年で105回行われております。指名業者は1,343者、入札参加業者数が452者、辞退者数が896者、入札不調は21回となっております。そこでこの令和５年度の入札状況について、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　おはようございます。伊盛サチ子議員の御質問にお答えいたします。

令和５年度の建設工事の入札実績について、入札不調が２割発生しております。また、入札参加事業者数が３割となるなど、辞退者数が多いものと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　この指名競争入札の場合は、入札参加資格者名簿等に基づいて事前に登録をしている業者を指名する仕組みとなっておりますが、指名したのに実績は３割しかない。指名競争入札に参加していないということになると思いますが、その要因を伺います。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

令和５年度の入札辞退届を確認したところ、手持ちの事業があり、さらに受注するのが困難なためが一番多く、続いて多いのが、必要な技術者の確保が困難なためとなっております。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　令和５年度105回の入札の結果、落札額の総額が2023年の１年間で58億3,962万8,900円となっております。その平均落札は入札不調の20件を除き、30件の落札率が98％以上となっております。指名された業者の７割が辞退する中で、３割の業者が競争している、落札率に当たっては入札の結果として、高い落札率と思われますが、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

落札率が高いということですが、昨今の建設資材の高騰及び担い手不足による処遇改善の推進によるものと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　それでは一般競争入札や指名競争入札における入札制度の違い、メリットやデメリットについて伺います。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

一般競争入札とは、公告により不特定多数の者を誘引し、入札によって申込みをさせる方法により競争を行わせ、その申込みのうち、最も有利な条件を提示した者と契約する方法となっております。一般競争入札のメリットとしましては、機会均等の原則にのっとり、公平性、透明性などが確保できます。デメリットとしては、不良・不適格業者の参入を防ぐことが難しいものとなっております。

指名競争入札とは、地方公共団体が資力、信用その他について、適切と認める特定多数の競争参加者を通知によって指名し、その特定の参加者で入札により競争を行わせ、最も有利な条件を提示した者と契約する方法となっております。指名競争入札のメリットとしましては、信用力のない業者を排除することが可能となっております。デメリットとしましては、指名される者が固定化する傾向にあります。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　沖縄県や那覇市は一

般競争入札を取り入れております。うるま市ではどういった状況のものになっているのかお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

うるま市では、以前よりうるま市契約規則において、一般競争入札の執行を可能としておりましたが、具体的な契約手続を定めたうるま市建設工事等制限付き一般競争入札に関する試行要綱を令和６年６月１日に施行しております。現在、試行の段階ですので、うるま市中小企業振興基本条例の趣旨を踏まえ、発注方法について関係各課と調査・研究をしております。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　これから当局としては、そういった調査・研究をしていくというふうなことであります。私がこの2023年の１年分の資料に基づいて、今回の質問をして確認をしていっている状況であります。引き続きまた、その状況を踏まえて、また確認をしていきながらやっていきたいと思っておりますので、この入札の件については終わりたいと思います。

それでは、大きい項目２点目、河川対策。天願川河川の拡張改修計画についてであります。2014年（平成26年)、台風第８号による天願川河川氾濫による浸水被害などで、その当時、多大な被害をもたらした経緯があります。また、雨が降り続くと具志川ゴルフ場やその周辺住宅などが隣接をする当該河川からあふれ出て浸水する状況の実態が、いまだにあるとのことを伺っております。抜本的な対策を講ずる目的で事業を行っておりますこの天願川改修計画の予定について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　伊盛サチ子議員の御質問にお答えいたします。

二級河川天願川の河川改修事業を実施しております沖縄県中部土木事務所に確認したところ、現在の事業進捗率は、事業費ベースで84.3%。令和６年度は、キャンプ・コートニー箇所の河川内切土、石積み擁壁整備、工事用道路整備などの工事を予定しているとの回答がございました。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　集中的な豪雨や台風による浸水被害が発生することで多大な被害の発生をもたらす河川におきましては、抜本的な対策のみならず、適切な維持管理も重要であると思います。そこで天願川における現状の維持管理について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

天願川における現状の維持管理について、河川管理者の中部土木事務所で確認したところ、市民からの要望に対する対応や、ボランティア活動の支援を行っており、今後とも適切な維持管理に努めていくとの回答がございました。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　天願川河川氾濫による浸水被害以降、具志川ゴルフ場や隣接する住民の周辺に洪水時の避難誘導のための監視カメラ、水位計などが設置をされている状況にあります。そういった状況を含めて……。議長、ちょっと休憩願います。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１０時２１分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１０時２２分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　続きまして、今、維持管理の件についてお答えをいただきました。

それでは河川周辺に住む市民の生命・財産を守り、安全で安心して暮らせる生活基盤の構築には、当該河川整備の早期実現が必要であると思います。うるま市として、国または県に対して、当該河川早期整備に関する要請を行った経緯があるのか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

平成26年台風８号がもたらした集中豪雨により甚大な被害が発生した状況から、天願川河川整備の早期推進を同年８月沖縄県に対し要請を行っております。また、令和５年度より本市市長が沖縄県治水協会会長に就任しており、天願川を含めた浸水被害が発生している県内河川に対する治水事業予算確保について、沖縄県とともに、関係政府機関及び国会議員へ継続的に要請を行っているところでございます。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　市長が、その治水協会会長ということで、それに沿って沖縄県を含めて、共に関係機関に要請を行っているというふうなことでありますので、この天願川はやはりなかなか改修できていないというふうな状況が長きにわたって続いていると感じております。そういったことを含めますと、やはり国に対する予算的な確保の観点も含めて、また引き続き頑張っていただけるようお願いを申し上げまして、次に移ります。

大きい項目３点目、福祉行政。生活保護受給者や低所得高齢者世帯へのエアコン購入設置費用の補助についてであります。まず、初めに消防庁が公表した今年の５月からの熱中症による救急搬送人員は、６月までに3,000人を超え、65歳以上の高齢者は５割から６割を占めているということであります。９月になっておりますので、さらにそれ以上の救急搬送が増えていると予測をされるところであります。そこで、うるま市における熱中症及び熱中症の疑いの救急搬送人数、高齢者とされる65歳以上の方の搬送人数、また屋内からの搬送した人数をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　消防長。

○消防長（新垣　隆）　伊盛サチ子議員の御質問にお答えいたします。

熱中症及び熱中症疑いの救急搬送状況につきましては、毎年５月から統計を取り始め、本市の搬送状況につきましては、９月８日時点で95人を搬送しており、65歳以上では45人、そのうち屋内からは30人の搬送となっております。昨年度の同事案での搬送は72人となっており、65歳以上は32人、そのうち屋内からは18人となっており、今年度は昨年度と比べ、全てにおいて搬送が増えている状況であります。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　熱中症について、気候変動の影響により体温調節機能が低下をしている高齢者は、特別な配慮と注意が必要であり、家庭のエアコンが命綱となってきます。熱中症対策に有効と言われるエアコン設置についての認識を伺います。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　おはようございます。伊盛サチ子議員の御質問にお答えいたします。

一般的に摂氏28度以上の高温時に熱中症のリスクが高まると言われております。その予防策として、定期的な水分補給と適度の休憩、エアコンなどの機器の活用が挙げられております。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　扇風機などでしのいでいるが、猛暑の中、家にエアコンがないなどといった高齢者世帯での設置状況を把握する必要はありませんか。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　御質問にお答えいたします。

本市では、エアコン設置の統計などの調査は行っておりません。また、エアコン設置は個人の判断と考えられるため、市の調査は特に予定をしておりません。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　令和５年６月に地方公共団体に対し、高齢者に対する熱中症予防行動の働きかけが促されていると思います。その背景には、国の資料によると、熱中症による救急搬送の約５割を高齢者が占めている。また、熱中症による死亡者の約８割以上が高齢者であることなどが挙げられております。地域においては日頃から安否確認、見守り訪問や熱中症の健康被害を防止する呼びかけなどの機会を通して、民生委員など

によるエアコン設置状況の把握ができるのではないでしょうか。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　御質問にお答えいたします。
　議員御案内のとおり、地域では自治会や民生委員、地域包括支援センターなどによる高齢者の見守り活動を実施しておりますが、エアコン設置については把握しておりません。高齢者に対しての熱中症予防については、引き続き関係機関と連携しながら、注意喚起に努めてまいります。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　続きまして、生活保護受給者の状況について伺います。
　エアコン設置のない生活保護世帯からのエアコン設置の要望について伺います。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　御質問にお答えいたします。
　これまでエアコンを設置していなかった生活保護世帯より今年度に入ってから、エアコン設置に関する要望等の問合せが複数寄せられていることを確認しております。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　生活保護世帯におけるエアコン購入に関する基本的な考えについて伺います。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。
　生活保護世帯のエアコン購入に係る基本的な考えとしましては、生活費のやりくりによる預貯金からの購入や、社会福祉協議会の生活福祉資金貸付を利用しての購入を案内しております。なお、保護開始時に持ち合わせがない。長期入院・入所後に退院・退所し、新たに居住を始める際に持ち合わせがない。被災し、ほかの支援等で賄うことができない。転居前の住居はエアコンが設置していたが、転居後の住居に設置がない。犯罪等の被害を受けた者が、転居した際に持ち合わせがないのいずれかに該当する場合で、初めて到来する熱中症予防が必要となる時期を迎えるに当たり、真にやむを得ないと実施機関が認めたときは、冷房器具の購入に要する費用について、６万7,000円の範囲内において、必要な額を認定しております。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　気候変動による猛暑は今後も市民生活に影響を与えることが予測をされます。エアコンの設置がないような状況では、健康被害を招くことにもつながります。生活保護世帯では、経済的な理由によりエアコンを購入したくてもできないというのが現状であります。先ほど、生活福祉資金貸付の制度の案内もありましたが、原則借金をすることになりませんか。生活福祉資金貸付での活用は非常に困難さもあると考えられます。熱中症から命を守る対策として、現時点でのエアコン購入費用を活用して認定を受けている世帯の割合について、どのようになっているのか伺います。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。
　令和６年度の生活保護開始世帯は、令和６年９月17日時点で203世帯あり、その中で、エアコン購入費用の一時扶助を受けた世帯は２世帯であり、割合は約１％となっております。エアコン設置につきましては、生活保護の申請以前で設置済みの世帯が多く見受けられる状況ではございますが、新規調査の訪問において、エアコンの設置がなく、かつ必要性のある世帯については適宜、一時扶助を適用し、生活保護世帯の熱中症対策に対応しております。
○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。
○４番　伊盛　サチ子議員　割合的には１％ということでこの状況からすると低いというように思っておりますけれども、今後、このそういう生活保護の皆さんに寄り添った対応をしていただけますよう、お願いをいたします。
　それでは、今年は高齢者の救急搬送が増えているということで、当初のほうで消防長のほうからもありました。生活保護受給者や低所得高齢者世帯へのエアコン購入設置費用の補助について、新

たな負担を負わせることなく、安心して今後夏を乗り越えるという施策が必要だと考えるが、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

生活保護受給者や低所得高齢者世帯へのエアコン購入設置費用に係る補助事業につきましては、市独自の新たな施策の予定はございません。市としましては、引き続き市民への熱中症予防の注意喚起を図りつつ、関係機関と連携した熱中症対策に努めてまいります。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　啓発活動や訪問どきにおける見守りや声かけの強化は重要であります。早期の対応によって、熱中症から高齢者の命を守る予防策は欠かせないものと思っております。気候変動の影響で今後も猛暑が複雑化するとも言われております。ぜひこのエアコン活用の１つとして、エアコン購入の補助を求めていくものであります。これにつきましては、終わりたいと思います。

それでは、続きまして（２）こども医療費高校卒業までの助成拡充についてであります。こども家庭庁は、こども医療費に対する援助の実施状況（2023年４月１日現在）を発表いたしました。全国では、18歳まで助成をしている市町村は、通院費助成1209か所、69％。入院費はさらに増えて、1,277か所、73％と７割に拡充をされております。県内では、高校卒業までの医療費助成を実施する市町村が３市18町村と21自治体に増えております。今年４月からは18歳未満までのこども医療費に係る国保の減額調整措置が廃止をされました。これまで市町村がこども医療費助成制度による窓口負担軽減を行うと、国は国民健康保険の補助を減額するペナルティーを課していましたが、その制度を変えました。18歳未満までのペナルティー廃止による財源を、助成対象の高校卒業まで医療費無料化のさらなる拡充に活用するなど、財源確保に向けた取組について、現状を伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　おはようございます。伊盛サチ子議員の御質問にお答えいたします。

令和６年４月より、18歳未満までのこども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置、一般的なペナルティーが廃止されたことにより、令和５年度の実績から試算いたしますと、約1,000万円の負担が生じなくなるものと試算しております。こども医療費助成制度を18歳まで拡充した場合、同じく前年度の実績を基に試算しますと、１年間で約7,800万円の増額になるものと想定しております。廃止に伴う約1,000万円の財源を活用しても、約6,800万円の財源を新たに確保する必要があるものと考えており、制度の維持に必要な継続的に安定した財源確保に向け、引き続き検討してまいります。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　それではこども医療費高校卒業までの拡充について、市長の見解を伺いたいと思います。県内でも高校卒業までの医療費無料化に取り組む市町村が増えております。背景には、子どもの貧困率の高さを考えれば、子育て世帯の経済的負担軽減、地域での子育てしやすい環境づくりの観点からも、子ども・子育て支援策として重要な施策の１つとなっております。異次元の少子化対策に向け、全国知事会は令和５年４月、全国一律のこども医療費助成制度の創設を早期に実現するよう求める意見書を継続的に国に提出をしております。全国市長会も令和５年６月に要請を行っております。県内でも国の制度を待つことなく、高校卒業までの対象年齢の拡充が進められております。11市中、名護市、石垣市、南城市、そして、来年の2025年には沖縄市も拡充するという予定になっております。うるま市においても高校卒業までの医療費無料化を進めるべきと考えますが、市長の見解をお願いします。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　伊盛サチ子議員にお答えをいたします。

こども医療費助成制度を18歳まで拡充すること

により、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ることができ、より一層子育てしやすい環境づくりにつながるものと考えております。しかしながら、うるま市は来年で20年を迎えます。その中で就任して３年半になりますが、その中で多くの課題に今取り組んでいるところであります。１つは、学校給食を子供たちにしっかりと与えるということで給食センターの建て替え、老朽化による火葬場の建て替え、さらに総合体育館、地域のまちづくりの活性化のために、勝連城跡周辺の整備、さらに与那城・勝連地区のまちづくり事業、これは石川も一緒であります。石川地区においてもそのようなものであります。さらに、公民館回りを今しておりますけれども、維持管理費用として多くの自治会から要請があり、そういったものに対する予算の確保等々も含めながら、国吉亮議員にもお答えを申し上げましたが、給食費の無償化というようなことで沖縄県が中学校まで次年度からやりたいというようなことに、いきなり我々市町村に対する説明を行ってきました。昨日、その内容の説明をさせていただきましたが、要保護、準要保護、高騰による食材費、さらには特別支援の子供たちに対する我々の負担ということも含めて、我々は今、中学校までの給食費の無償化は、これを行っていくと、３億円余りの負担をしなければならないというようなことであります。高校生の医療費の無償化ということに対しては、大変大事なことであり、今生活が大変厳しい、物価高騰により、家庭の支援を行わなければならないということもございますが、私たちは、何を優先的にやるべきなのか。どういった施策を持って対応していくべきなのか。国に対する考え方、要請、沖縄県の今の政策的な進め方においては、我々市町村としては大変頭を悩めている政策ばかりでございますので、そういったところも含めて、しっかりとこの件に関しては、精査してまいりたいと思います。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　こども医療費無料化、子供たちの命と健康を守り、お金の心配なく安心して、いつ何どきでも病院で医療が受けられると、子育て世代から、今の制度を中学校卒業までの制度がとても喜ばれております。1970年代から始まり、もう50数年間の長期の努力によって、高校卒業までの医療費無料化を実施する到達点を今それぞれの自治体で築いております。課題となるのは、先ほど執行部からの答弁もありました財源の確保、そして市長からも、やはりいろいろなハード面の建設を控えているということで、そういった財源のお話もありました。令和５年度の基金の決算状況を見ていますと、財政調整基金は現時点で52億円余り、そしてこどもゆめ基金８億7,000万円余り、そしてふるさと応援寄附基金が６億8,000万円余りあります。このふるさと応援寄附基金については、私たち昨年、この総務委員会で、敦賀市の行政視察に行ってまいりました。その際に、このふるさと応援寄附基金が、このこども医療費無料化に使われているというふうなことがありましたので、そういった意味では、こういった財源を含めて、再度また市長の見解を伺いたいと思います。ちなみに沖縄市では、この新聞報道でもありました7,000万円余りの負担を見込んでいるということでありました。一般財源を活用してのこの支援をしていくということのお話もありました。その財源について、再度、市長の考えをお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　伊盛サチ子議員にお答えをいたします。

基金の活用については、財政調整基金は裏負担でありますので、まずは総務委員会に所属している伊盛議員なら御理解をしていただいておりますけれども、その内容としましては全体的な予算の足りない分を補っていくというようなことであります。さらに、我々は今、行財政改革に取り組んでおりますので、この財源調達をするためにも、令和７年度はそのような取組も行っております。ふるさと応援寄附基金に関しては子供たちの派遣費、さらには多くの教育費に係るもの等々を含めて多くの種類の事業等もあります。そういった意

味でも、基金はある程度、我々が考えている項目並びに内容等も含めて、基金を捻出するものに対しては制限をかけているところもございます。私が先ほど申し上げたとおり、給食費等々の部分に関しても、沖縄県がしっかりと考えて政策にのって公約にのって、これを沖縄県の責任において無償化をする。今回のこういった医療費等々も含めて沖縄県がしっかりその辺の政策を持って出すというようなことを行っていただき、さらには一緒になって国に要請をしておりますので、この医療費の問題は今後、多くの皆さんの御意見、さらには御支援等も受けながら、令和７年度に向けて精査してまいりたいということであります。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　続きまして、（３）小規模保育事業所の補助金返還についてであります。このことにつきましても、新聞報道で知り得たというふうな状況でありました。うるま市小規模保育事業所で、目的に沿わない補助金の受給があったというような報道でもありました。令和２年度から令和４年度までの補助金返還の経緯はどのようになっていたのかを伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

市立みほそ第二小規模保育事業所の当時の指定管理者であります特定非営利活動法人ぷろぷは、令和２年度から令和４年度にかけて、補助金の目的に沿っていない補助金使用があり、保育補助者雇上強化事業及び保育環境改善等事業合わせて約600万円の返還が生じております。経緯といたしましては、勤務実態や業務内容の調査を行ったところ、補助事業の配置要件や目的に沿っていないと判断し、同法人への確認を経て、令和６年１月29日付で補助金の取消しと返還を命令しております。補助金返還につきましては、一部返還が始まっており、令和７年１月までに全額返還される予定であります。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　指定管理制度は公の施設をノウハウのある民間事業者等に管理をしてもらう制度であります。指定管理者を選定する段階では問題がなかったのか伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

令和４年度に実施しました、みほそ第二小規模保育事業所の指定管理者の選定に関しましては、適正な審査の下行われ、問題はございませんでした。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　この補助金事業の配置要件、そして目的に沿っていないということでありましたけれども、その事業目的や配置要件等について伺います。また、補助金受給に当たり、書類等に不備がなかったのか、市は発覚するまでどのように対処してきたのか、なぜ３年間見過ごす状況に至ったのか、お願いをいたします。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

保育補助者雇上強化事業は、保育補助者を雇い上げることにより、保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止、保育人材の確保を行うことを目的としており、保育に関する40時間以上の実習を受けた者か、これと同等の知識、技能を有する者を雇い上げることが実施要件となっております。提出された当該交付申請及び実績報告の書類に不備はなく、適正に処理しているものと捉えておりましたが、先ほど答弁いたしましたとおり、令和５年度に勤務実態や業務内容の調査を行ったところ、補助事業の配置要件や目的に沿っていないことが判明したため、補助金の取消しと返還命令を行っております。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　今後、市としてはどのように指導し再発防止を講じていくのか、お聞かせください。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいた

します。

今回の補助金返還を踏まえ、補助事業に係る法人の認識にそごが生じないよう、分かりやすく丁寧な説明を行い、また説明会の開催など、補助事業の適正執行に努めております。併せて保育所などにおける勤務実態などを確認するため、実地調査などを行うことで、再発防止に努めてまいります。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　この小規模保育事業所というのは、ゼロ歳児から２歳児未満の乳幼児をやはり預かっていて、このことによってやはりうるま市の待機児童も解消されているというふうなことを認識しております。この保育事業に関する集団指導の中で、適切な運営の強化を図っていけるよう、そしてやはり実施主体でありますうるま市は、このようなことがないよう再発防止の重要性をしっかりと認識をしていただきますよう、お願いをいたしまして、次に移りたいと思います。

続きまして、農業振興。（１）うるま市勝連内間川田原貯水池ポンプ場の補修状況についてであります。旧勝連町での土地改良関連事業で設置をされた川田原貯水池が現在稼働停止となっていることで、農家の利用者からポンプ場が利用できず、他の場所から農業用水を幾度となく運搬作業をしながら畑仕事をしなくてはならないとの苦情が寄せられてきました。早急に対策が求められていくと思いますけれども、川田原貯水池ポンプ場が使用できない原因や、いつ頃から稼働停止になっていたのか、実態調査について伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　おはようございます。伊盛サチ子議員の一般質問にお答えします。

川田原貯水池ポンプ場については、昭和62年度から平成元年度に川田原土地改良区で実施した農村総合整備モデル事業と同時期に設置され、約35年の経過による老朽化や、令和５年８月の台風６号による影響で、貯水池ポンプが故障したため、昨年から稼働を停止している状況でございます。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　農家の利用状況の把握や、これまでの維持管理について伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

これまでの維持管理については、令和５年７月まで平安名区自治会で行っておりました。また、農家利用状況について確認したところ、利用者28人のうち26人が畑散水で川田原貯水池ポンプ場を利用しておりますが、畑散水26人が農家であるか把握はしていないとのことであります。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　農家の方々の利用状況は、他の貯水池ポンプ場より料金設定が安く、250リットル10円。他の場所は25円というふうなことがあるために、近隣や市外からも利用する方々も多く、順番待ちをしながら、この川田原貯水池ポンプ場を利用されてきた経緯があります。令和６年度予算に川田原ポンプ場水源切替事業、工事請負費が900万円計上されております。約１年半が経過をしておりますが、その進捗状況が現場に行っても見えない状況であります。川田原貯水池ポンプ場の発注に向けた補修整備の計画について伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

川田原貯水池ポンプ場の補修整備計画については、今年度補修工事を実施する予定でございます。現在、平安名ガーから与勝地下ダムかんがい用水への切替に伴う与勝地下ダム土地改良区とのかんがい用水使用及び維持管理等の協議を進めており、協議が整い次第、補修工事を発注したいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　与勝地下ダム土地改良区との協議事項の進捗状況について伺います。

１点目、協議が遅れることがあれば、発注時期にも影響が及ぶなどもあります。

２点目、具体的な発注時期、完了時期、利用開始についてお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

協議の遅れによる工事発注時期への影響は受けますが、今年度の完成及び利用開始を目指しておりますので、早急に与勝地下ダム土地改良区と協議を進めてまいりたいと考えております。また、具体的な発注、完了、開始につきましては、10月末までには補修工事を発注し、令和７年３月中旬に補修工事を完成させ、３月末までには利用開始を予定しております。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　この川田原貯水池ポンプ場は、これまで長きにわたり平安名区自治会での維持管理を担ってきました。しかし、月平均の収支は電気料や修繕費等の経費に要し、ポンプ機械の老朽化に伴い、今後の維持、運営は困難となりました。川田原ポンプ場の水源切替をする機会に、これからの継続的に安定した維持管理ができるようしっかりと協議を図って、与勝地下ダムとの協議を図っていただき、農家の方々に、さらには料金設定についても理解をいただけるよう要望いたしまして、次に移りたいと思います。

それでは大きい項目５．環境対策ということであります。うるま市昆布の米陸軍貯油施設「金武湾第３タンクファーム泡消火設備」の撤去についてであります。2021年６月10日、うるま市昆布にある米陸軍の貯油施設泡消火用貯水槽からＰＦＡＳを含む汚染水が流出したことが、汚水槽のマンホール蓋が老朽化をし、大雨の影響で漏れたということとなっています。事故発生後の６月末に県と国、米軍の３者は、貯水槽周辺の立入調査と採水を行い、その結果は暫定指針値50ナノグラムの1,600倍に当たる８万ナノグラムが検出をされました。ちなみにこのときに、ドラム缶12缶の水が流れたということの報道もありました。汚染水は排水路を通じ、天願川に流れ込んでおり、地域住民からは健康への不安、公表の遅れに対する怒りの声が上がったことが報道されておりました。汚染水流出事故から３年が経過をしております。米陸軍貯油施設、金武湾第３タンクファーム泡消火設備老朽化施設の撤去の要請について伺います。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　伊盛サチ子議員の御質問にお答えします。

金武湾第３タンクファームの泡消火設備の撤去時期につきましては、昨年６月に米側から2024年米国会計年度中の処分完了を見込んでいる旨の声明が発表されていると伺っておりますが、今回撤去時期等につきまして、改めて沖縄防衛局に照会しましたところ、米側に確認中であり、情報が得られ次第、提供させていただきますとの回答があったところでございますので、今後、提供される情報に注視してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　この施設は令和２年から貯水槽を含む消火システムは稼働を止めているというふうな経緯もあります。実質的に2024年ということでありますので、当局としては早めに施設が撤去されるよう、随時防衛局と連絡を取り合って、そして報告をしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。これにて私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　暫時休憩します。

休　憩（１１時００分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時１５分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

先ほどの伊盛サチ子議員の一般質問の中で、訂正の申出がありますので許可します。伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　先ほどのはしご付き消防ポンプ自動車の金額につきまして、私のほうで２億5,800万円ということを申し上げましたけれども、正確には２億5,080万円でありますので、訂正をいたします。

○副議長（藏根　武）　次の質問者、玉城政哉

議員。

○１３番　玉城　政哉議員　市民の皆様、執行部の皆様、そして議員の皆様、10時を過ぎたので、こんにちは。これより、会派かけはし、やる気、元気、玉城政哉、一般質問を始めさせていただきます。では、議長の許可を得ましたので、大きい項目５項目へ移らせていただきたいと思います。

まず初めに、小学生の不登校問題についてです。本市の小学生の不登校について、現状の把握とその正確なデータはどのようになっているか伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　玉城政哉議員の御質問にお答えいたします。

不登校の現状把握につきましては、毎月、全小・中学校の長期欠席等の状況に関する調査を実施・集計し、県へ報告しております。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では、質問２でございます。

本市における小学校の不登校児童の人数について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

令和６年度１学期終了時点で、小学校は114人となっております。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　114人の不登校の子供たちがいるということで、今回、この114人の不登校の子供たちのこれから調査していくのですが、114人の不登校の要因。なぜ、この114人のうるま市内で不登校が出てくるのか。それについて、また次回の議会でもちょっと調査をしながら、また質問させていただきます。また、この114人が、この小学校で114人、これは中学校になって、この114人の連鎖が起きてしまうと。また、中学校のほうでも影響が出ますので、この要因については、また次回、一般質問で取り上げさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、次の質問です。不登校児童のうち、学校に登校はできるが、なかなか教室に入れない児童がいると思います。学校内での居場所について伺います。また、居場所では、どのような支援体制が行われているか伺います。お願いします。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

学校内にある空き教室を活用し、不登校児童及び登校できるが、教室に入れない児童に対し、学習の機会を確保し、社会的自立を促すため、校内自立支援室を設置し、自立支援員を配置しております。校内自立支援室は、教室に入らない児童の学校内での居場所であり、それぞれに応じた学習支援とともに、家庭、学級担任、スクールソーシャルワーカー等と連携した学級復帰支援を行っております。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では、不登校児童・生徒に対する文部科学省のガイドラインに基づく具体的な支援は、どのように行われており、今後、本市の対策はどのように計画されているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

文部科学省では、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策としてＣＯＣＯＬＯプランが策定され、不登校の児童・生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境整備、心の小さなＳＯＳを見逃さず、チーム学校で支援する、学校をみんなが安心して学べる場所にすることなどが示されております。こうしたプランや本市の状況を踏まえ、本市におきましては、学校生活応援課を設置し、取組の強化に努めているところです。具体的な取組としましては、学校と連携し、初期対応の強化として、スクリーニングによる不登校実態の分析に基づいたきめ細やかな支援体制の構築と、関係機関との連携強化に取

り組んでいるところです。また、各学校においては、未然防止としての魅力ある学校づくりの推進や、不登校児童・生徒に対する丁寧な関わりやきめ細やかな支援に努めているところです。今後の本市の対策としましては、不登校児童・生徒が登校復帰しやすい環境づくりとして、学校外の居場所や学びの場づくり、保護者への支援相談の実施。生徒指導担当者、教育相談担当者、校内自立支援員及びスクールソーシャルワーカー等への研修等を実施し、学校内外の支援体制を強化してまいります。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では、大きい項目の２番、学習困難を抱える児童・生徒についてでございます。本市における小・中学校での学習や行動面で、困難を抱える児童・生徒に対する支援として、作業療法士、理学療法士、個人支援などの専門職による支援が発達障害者支援法や、特別支援教育ガイドラインに基づき、どのように提供されているか伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

本市におきましては、通常学級に在籍する学習や行動面で困難を抱える児童・生徒及び特別支援学級に在籍する児童・生徒について、作業療法士による巡回訪問を実施し、個別に助言をいただき、指導支援の充実に努めております。また、言語聴覚士による言語指導の必要な児童の言語訓練及び巡回指導の実施及び各学校へ特別支援教育支援員を配置し、個々に応じた学校生活及び学習活動上のサポートを行っております。合理的配慮の例としましては、通常学級で学ぶ聞こえに困り感のある児童・生徒へ、音の反響を抑えるため、廊下と教室を分ける壁の設置や、歩行に困難な児童・生徒のための手すりの設置などがございます。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では、大きい項目３番、若年無業者問題と学力保障、そして、就業支援について質問させていただきます。本市における中学校卒業後進路未決定の人数を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

令和５年度中学校卒業時の進路状況調査の結果、本市の進路未決定者は53人でございます。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では、中学校卒業後、進路未決定の子供たちが再度高校受験を目指したいと思った際の支援策と成果、今後の方針を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

進路未決定者の支援につきましては、保護者の同意がある場合において、中学卒業後も家庭支援員が高校進学や就職などの支援を行っております。本人の得意、不得意を把握し、進学希望を確認した上で、学校見学への同行支援及び通信制高校などについての情報提供を行っております。令和５年度家庭支援員による既卒者支援の実績としましては、支援した11人のうち進学を希望した２人につきましては、通信制高校へ進学しております。今後も中学校在籍中から相談ができるよう、各中学校へ相談支援について周知を行い、関係機関と連携し、相談者の問題解決に向け取り組んでまいります。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では、次の質問です。中卒の方々が高卒資格を取り、キャリアアップを目指したい際のリカレント教育についての市の支援策と成果、今後の方針を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

高卒資格取得に関しましては、こども未来部で実施をしておりますひとり親家庭高卒認定取得支援事業や、ひとり親家庭生活支援事業において、特にひとり親世帯の保護者を対象として実施しており、昨年度は４人が登録し、そのうち２人が高

等学校卒業認定試験に合格しております。また、経済産業部におきましては、若者就業支援プログラム事業や、資格試験等受験料支援事業などを通して、若年層の学びの充実を図るほか、ハローワークが提供する各種職業訓練へとつなげております。引き続き、ハローワーク沖縄や市役所内に設置をしておりますふるさとハローワークとの連携強化を図り、支援に努めてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　次の質問へまいります。若年層の学びを図るため、中学校側にも若者就業支援プログラム事業や、資格試験等受験料支援事業などの情報提供、情報共有ができているのか伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

若者就業支援プログラム事業につきましては、市内中学校のスクールソーシャルワーカーや、生徒指導の先生などへ直接事業内容を説明し、情報共有に努めております。また、資格試験等受験料支援事業につきましては、対象を高等学校以上の学生等としていることから、中学校に対しての周知を行ってはおりませんが、市内高等学校、市外の専門学科高校、専門学校、大学へ訪問し、事業説明を行っているほか、ホームページ、広報紙、ＳＮＳ、デジタルサイネージを活用し、情報共有を行っております。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では続いて、大きい項目４です。「地域包括支援」を通じた孤立予防対策について。本市における高齢者の社会参加を促進し、孤立を防ぐために、どのような具体的なプログラムが提供されているか伺います。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　玉城政哉議員の御質問にお答えいたします。

本市では、介護予防教室や高齢者の通いの場であるミニデイや高齢者のサロン活動、体操サークル活動等で介護予防を通して集まることで、様々な情報を交換しながら交流の場になっております。また、ふれあいコール事業や食の自立支援サービス事業では、定期的に電話をかけたり、配食サービスの提供で、生活状態や健康状態の確認を行いながら、触れ合いの機会となっております。そのほか自治会や民生委員、うるま市社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの協力を得ながら地域での見守りを行うことで、孤立予防につなげております。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では、次の質問へまいります。地域包括支援センターにおいて、高齢者が地域で孤立しないようにするための支援体制について、本市の取組を伺います。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　御質問にお答えいたします。

地域包括支援センターは、高齢者の総合相談体制を構築しながら、気になる高齢者にはアウトリーチによる見守りを行っているほか、地域の多様な主体と連携し、多職種協働による個別の支援を検討する地域ケア会議等で、支援体制とネットワークの構築を図っております。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では、次の質問です。孤立予防のために、地域社会と連携を強化するための施策があるか伺います。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　御質問にお答えいたします。

生活支援体制整備事業による地域づくりにおいて、地域資源を整理し、既存の取組や、多様な組織等が連携することで、地域住民同士で互いに支え合うための活動が推進され、孤立予防にもつながるものと考えております。そのため、多様な組織で地域資源、地域課題について情報の共有を行い、地域づくりにおける意識の統一を図りながら、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりの強化を推進してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　次の質問です。本市として、高齢者福祉計画に基づき、今後どのような追加支援策を計画しているか、具体的な展望を伺います。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　御質問にお答えいたします。

高齢者の孤立予防策につきましては、生活支援体制整備事業による地域づくり事業を促進するとともに、分野や属性を超えた様々な地域の担い手と包括的に支援策を研究してまいります。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　では、大きい項目５です。県道沿いの街路樹伐採についてでございます。前原高校のフェンス沿いの県道８号線、そして、田場224号線ほっともっと前の街路樹伐採について、県へ要請し、早めの伐採を依頼できないか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　玉城政哉議員の御質問にお答えいたします。

議員御指摘の県道８号線、224号線における街路樹につきましては、危険性除去の観点から中部土木事務所へ早急な対応について要請してまいります。

○副議長（藏根　武）　玉城政哉議員。

○１３番　玉城　政哉議員　この県道８号線前原高校の県道沿いです。前回の私の一般質問でも、ここ、ちょうど今の時期です、これから冬になるとこの歩道が暗くなります。そしてまた、スクールゾーンでもありまして、高校生の部活の帰りでたくさんの子供たちが、このスクールゾーン、歩道を利用しております。このやはり暗いものですから、やはり街路樹が生い茂って暗くなっているものですから、早めの子供たちの安心・安全を守るために、早めの街路樹の伐採を行ってほしいなと思っております。９月の初旬に中部土木事務所のほうへまいりまして、この件と224号線における、街路樹の伐採につきましては、要請に行ってまいりました。やはり子供たちの通学路にもなっておりますので、早めの伐採を早急にまた、維持管理課のほうも中部土木事務所と連携を取りながら、早めの環境整備をお願いしたいと思っております。よろしくお願いします。

では、今回の第179回９月定例会では、５項目を課題にしてきました。以前の定例会では、中学校の不登校問題を課題にしましたが、今回は小学校不登校問題について、そして学習困難を抱える児童・生徒について、若年無業者問題と学力保障、若年就業支援について、交通予防対策についてを課題に挙げてみました。不登校の小学生へどうケアできているのか。不登校児童・生徒の居場所を提供できているのか。また、文部科学省のガイドラインに基づく具体的な支援ができているのか。学習困難を抱える児童・生徒へどう展開されているのか、多数の質問をしました。教育現場での、その子に応じた学習支援、家庭との連携、教育現場における環境整備、就業支援プログラム、誰一人取り残さない支援体制等々、行政の職員、教育現場の職員の手厚い支援が行き届いていると感じました。これからの未来を抱える子供たちへの日々の環境づくりと、今という時期を過ごす子供たちのそばで寄り添ってあげることが、現在の負の連鎖を引き剝がす要因にもなるかもしれません。また、孤立予防対策では、日々生きがいを感じさせるように、ミニデイ、サロン活動、ふれあいコール事業を通じ、健康状態の確認等々の高齢者の総合相談体制を構築し、気になる高齢者へは、いつでもアウトリーチができる見守り体制、生活支援体制整備事業による地域づくりと、地域の担い手と包括的支援策などの奉仕ができる手厚いあらゆる支援を引き続き継続していただきたいと思います。よろしくお願いします。

また、地域の環境整備も、市民の安心・安全を守りつつ、行政職員と連携し、情報を共有しながら、うるま市に住んでよかったと言われるまちづくりを目指してまいりたいと思います。これで、会派かけはし、玉城政哉、一般質問を締めさせていただきます。どうもありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　次の質問者、伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　それでは、議長の許しを受けましたので、会派希望のいぶき、伊礼正、通告書に沿って、一般質問させていただきます。グスーヨー　チューウガナビラ。うるま市議会、希望のいぶき、伊礼正。クンガチヌ議会に当タティ、うるまウマンチュヌ日々ヌウムタクトゥ、イチンクトゥユアジカティチョーイビークトゥ、チューヤナダヤシク、イチャイハンチャイヤファヤファトゥ、ウニゲーいたしたいと思います。それは、第１点目に、うるま市文化財保存活用地域計画についてお伺いをいたします。

まず初めに、４つの関連文化財群と７つの文化財保存活用地区はどこかお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　伊礼正議員の御質問にお答えいたします。

文化財保存活用地域計画では、未指定を含めた文化財を幅広く保存活用するために、本市の歴史的特徴を踏まえ、海の邦として活躍するまち、グスクと村落の形成のまち、歌と芸能を生み出すまち、戦後復興発祥のまちの４つの関連文化財群に分類しております。

次に、その関連文化財群のストーリーと連動し、文化的な空間が形成された区域などを、文化財保存活用地区として設定しております。具体的には、島しょ地域の伊計島、宮城島、平安座島、浜比嘉島、津堅島と海中道路、具志川照間の７つを文化財保存活用地区として設定しております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　次に、歌と芸能を生み出すまちとは具体的に何を示すのかお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

本市には、御嶽やグスク、海で神々に祈るウムイなどが多く残っております。また、近世琉球で活躍した平敷屋朝敏をはじめとした歌人が、和歌や琉歌を残しております。その後、琉球古典音楽や沖縄民謡が発展し、伝統的なエイサーや沖縄民謡の歌手、演劇や劇団などが生まれており、それら民俗芸能を含めた関連文化財群であります。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　次に、琉球古典音楽や民謡、演劇や劇団などとうるま市との関連をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

本市の津堅島には三線の始祖と称えられる赤犬子生誕の地や、字田場には三線音楽の確立者で琉球古典音楽の祖と言われる湛水親方（たんすいうえーかた）のゆかりの地、さらに工工四（くんくんしー）を考案し、琉球古典音楽の隆盛を支えた世禮國男（せれいくにお）は平安座島出身であります。また、戦後沖縄の大衆芸能の発展に努めた小那覇舞天（おなはぶーてん）は沖縄のチャップリンとも呼ばれ、沖縄芝居の黄金期を築き上げた乙姫劇団の創設や、民謡アイドルの草分け的存在のフォーシスターズの結成に携わるなど、本市には歌と芸能に関するストーリーが多く残っております。このように、本市は琉球古典音楽や民謡、劇団等と関わりの深い地域と考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　それでは、具体的な保存活用とは何なのかお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

歌と芸能を生み出すまちの具体的な保存活用といたしましては、これまで実施されているうるま市エイサーまつりや文化協会主催による文化祭などのイベント、そして地域伝統行事の継続と発展のために、庁内関係部局や民間団体、企業と連携し、支援制度や発表の場を整備することが必要であると考えております。また、歌と芸能に関する文化財調査やリーフレットの作成、文化財指定や登録が今後必要になってくると考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　それでは再質問をさせていただきます。

具体的な保存活用地区のほうに、島しょ地域のいわゆる限界集落も含まれております。限界集落

における文化財保存活用の具体的な考えをお伺いいたします。また、具志川照間文化財保存活用地域には、御存じのとおり、イグサの田んぼが広がり、文化的景観として、大変貴重なものと考えております。昨年のイグサの収穫量と生産農家数をお伺いいたします。また、この文化的景観を保存するために、イグサ農家の後継者づくりが必要だと思います。どのように考えているかお伺いをします。さらに、歌と芸能文化の保存活用には、うるま市文化協会の使命と責務も重要であると思います。その支援策をお伺いいたします。さらに、文化活動への補助金額等もお願いします。御存じのとおり、照間イグサは1964年の東京オリンピックの柔道会場にも使われております。さらに、時の中曽根内閣のときには皇居にも、うるまの照間のイグサをモチーフにした琉球畳が献納されており、そういう貴重なものでもあります。それでは再質問、よろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　御質問にお答えいたします。

高齢化率の高い島しょ地域における文化財保存活用につきましては、各島々に残る歴史遺産の詳細な調査を実施し、必要に応じて、文化財指定や登録が必要であると考えております。また、地域の伝統行事や民俗芸能の保存・継承を支援するため、本市では、伝統文化・民俗芸能伝承活動事業を創設しております。さらに、各地域の文化財を活用するために、地域ガイドの体制づくりを図っていく必要があると考えております。

次に、具志川照間文化財保存活用地区におけるイグサ生産農家数と収穫量について、イグサ生産組合に確認したところ、昨年度のイグサの収穫量は16.6トンでございまして、生産農家数は現在11戸とのことでございます。このイグサ生産農家の後継者育成につきましては、担当部局に確認したところ、イグサ農家の機械化による栽培の負担軽減や、今年度においては、織り機の導入に向けて、現在調整中であると伺っております。また、教育委員会におきましても、イグサの動画コンテンツを制作し、学校教育や生涯学習へ活用し、人材育成を進めていくことが必要であると考えております。

次に、文化協会への支援策につきましては、315万3,000円の補助金を交付しております。今年度は初の試みとして、文化協会と連携し、わくわくうるま市文化体験教室を通して、次世代を担う子供たちに文化芸術に直接触れることにより、多くの感動体験を得て、文化芸術への関心を高める事業を実施しております。また、文化活動への補助金といたしましては、先ほど述べました文化協会のほかに、ジュニアオーケストラへ22万5,000円、ふるさと芸能デー事業に50万円の補助金を交付しております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　その中の島しょ地域の伊計島、宮城島、浜比嘉島、津堅島は、先ほど申し上げましたけれども、限界集落であり、今後の文化財保存活用に当たり、担い手の確保が大変厳しいと思っております。限界集落の10年後、20年後を想定したときに、島そのものが存在するかも大変危惧されます。令和元年に施行されましたうるま市島しょ地域振興推進委員会が設置されておりますが、委員会の具体的な動きがいまいち見えないのが気になります。著しい人口減少に歯止めをかけるような委員会の使命が発揮されるよう期待をしていきたいと思います。戦前は、いにしえの時代から、先ほど答弁されましたとおり、沖縄の歌、三線、芸能に関しては、うるま市を抜きにして語れません。戦後も御存じのとおり、教育の文化の発祥地、うるま市石川からです。芸能文化もさらにそうです。そういう歴史を踏まえても、今後の文化財保護、特に歌、三線、芸能のほうにはお願いしたいです。私も三線を趣味としている１人ですけれども、琉球古典音楽湛水流保存会の事務局長としても、これまでも三線文化の保存・発展・継続に微力ながら関わりを持たせておりました。そして、個人的にも、全国三線普及機構といって、例の３．11の岩手県、福島県、宮城県をはじめ、東京都、大阪府、神奈川県等々、これま

で約30件も超すところで、三線普及機構として沖縄の三線文化をしっかりと全国に知らしめてきました。その意味からもぜひ、貴重な文化であるうるまのこの伝統芸能を、いま一度、バックアップのほうをお願いしたいと思います。また、さらにせんだって行われましたうるま市エイサーまつりに関してもですけれども、若者が情熱を燃やして、エイサーに、この姿は何とも言えません。さらに、夜な夜な練習するエイサーのあの遠くから聞こえる指笛、はやし等々が日本の音風景100選の中に、何と平敷屋と屋慶名エイサーが選出されております。それだけうるまには、伝統芸能に対する高価なものが存在するということで、いま一度、一緒にお互いに見ていきたいと思います。昭和54年には、東京国立劇場主催の日本の太鼓に沖縄のエイサーを代表して、屋慶名エイサーがその舞台を組んでおります。私もその一人の歌の団長として組ませてもらいました。さらに、2002年のシドニーオリンピックの前夜祭にも案内を受けております。そして、東京都庁へのオープンの際にも屋慶名エイサーは御案内を受けて、そのエイサーの演舞を披露しております。こうやって世界をまたにかけて、日本国をまたにかけて、私たちの若い世代が、時代を担う青年が芸能にかける姿は、これは本当に誉れですよ。それをまたいま一度、うるま市長が目指している青年を育てる意味からも、ぜひ一緒に頑張っていければなと思います。もう１つだけです。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１１時５５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時５６分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

暫時休憩します。

休　憩（１１時５６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時３０分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　議長、休憩お願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１３時３０分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時３１分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　次に、ハラスメントについてお伺いいたします。

まず、令和３年全国地方公共団体1,788団体の68％で、今ハラスメント調査を実施されています。令和６年度現在ではおそらく70％以上が実施している「ハラスメント調査」をうるま市でできない理由をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　伊礼正議員の御質問にお答えいたします。

さきの令和６年２月定例会において答弁いたしましたとおり、全職員を対象としたストレスチェックテストと職員満足度調査、ＥＳ調査をそれぞれ毎年実施しており、その中で、「職場で自分がハラスメントにあっているか」や、「あなたの所属する室・課等では、ハラスメントがあると感じますか」などの質問を設定し、ハラスメントの実態把握に努めております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　では、自治体職員のハラスメントの防止策について、単独条例を制定している自治体が、令和６年８月現在で62市町村あります。うるま市でのハラスメント防止条例の制定の考えはないかお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

本市においては、「うるま市職員ハラスメント防止規程」や「うるま市職員ハラスメント防止に関する指針」などを定めており、これらに基づき必要なハラスメント防止対策を行っております。現時点においては、条例制定の予定はございませんが、他の自治体の状況を注視しながら、必要に応じて検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。
○１５番　伊礼　正議員　先ほどハラスメント防止規程、ハラスメント防止に関する指針を制定しているということですけれども、－－浸透しているかどうかというのも、やはりチェックをする意味からも私はもうハラスメントの調査をすべきではないかと。一歩、二歩踏み込んで、風通しのいい職場をつくるというのは、やはり企業のこれはもう法的な責任もあります。そして、職員がその力を遺憾なく発揮できるように環境整備、まずはそれが一番ではないかなと思います。それは議会と職員と一緒になって、未来のうるま市をつくっていくのだという観点からも私は欲しいかなと思います。現代のこの社会の流れでは、これはもう避けては通れないのではないかなと思っていますよ。－－－公人であれば公務内、公務外であってもやはり公務員としての姿勢で私は社会に参加をしてほしいなと思います。こういう意味からも職場だけではなくて、職場以外でもしっかりとした公務員、うるまを代表する職員、私たち議員もそうですけれども、その姿勢をしっかりと植えつけていかないことには、この問題はまだまだ厳しくなるのではないかと思います。－－－
○副議長（藏根　武）　暫時休憩します。

休　憩（１３時３６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時４２分）

○副議長（藏根　武）　再開します。
伊礼正議員。
○１５番　伊礼　正議員　タイガース２軍キャンプについてお伺いをいたします。
今年２月のキャンプ時に球場に足を運んだ客数をお伺いいたします。
○副議長（藏根　武）　経済産業部長。
○経済産業部長（岸本　力）　伊礼正議員の御質問にお答えいたします。
令和６年２月に具志川野球場で行われました阪神タイガース２軍キャンプ時の来客者調査では、１万5,090人となっております。
○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。
○１５番　伊礼　正議員　今年２月の沖縄県内におけるキャンプ経済効果は、県内で178億円と言われておりますが、うるま市での経済効果は幾らだったのでしょうか、お伺いいたします。
○副議長（藏根　武）　経済産業部長。
○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。
うるま市における昨年度のキャンプ・スポーツ合宿では、宿泊費や飲食費などによる直接効果としての市内消費額は約１億2,280万円であり、そのうち阪神タイガースの市内消費額は、約5,632万円。その他、具志川野球場でのキッチンカーの売上げで約168万円、市内12店舗で実施した阪神応援メニューの売上げで約58万円となっております。また、あまわりパークやうるマルシェ、ぬちまーすなど、市内各所を対象としたスタンプラリーでは、513人が参加しており、周遊先での消費活動にもつながったと考えております。
○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。
○１５番　伊礼　正議員　行政を主体とした応援団は立ち上がっているのかをお伺いいたします。
○副議長（藏根　武）　経済産業部長。
○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。
現在、行政を主体とした応援団は立ち上がって

おりませんが、協力会として立ち上げている市町村では、観光協会や商工会などと連携した運営を行っており、徴収した会費で横断幕作成や、キャンプイベント、キッチンカー出店の取りまとめなどが行われているようであります。協力会につきましては、今後、関係する団体と調整の上、立ち上げに関する検討を進めていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　では、甲子園球場でのうるま市民デーを設定し、うるま市民を含め、沖縄から応援ツアーの企画ができないかお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

甲子園球場でうるま市民デーなどの冠ゲームを行う際には、来場者特典や出展・ＰＲブースなどを含めると、概算で1,000万円を超える規模になることを球団側から確認をしております。応援ツアーの企画・検討に当たっては、協力会が実施主体となり、阪神球団側や旅行事業者との調整、予算面も含めた様々な調整が必要となることから、協力会立ち上げ後において、取り組むことになると考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　では、再質問をさせていただきます。

協力会、いわゆる応援団を来年のキャンプに間に合うような立ち上げができないかお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

協力会につきましては、関係する団体との調整に時間を要するものでありますので、次のキャンプまでの立ち上げは厳しいと思いますが、検討を行ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　新年度における予算もしっかりと計上できて、せっかくプロ野球の球団がうるま市でキャンプを張って経済効果の一翼を担ってくれています。やはり地元うるま市から出向いていって、さらにうるま市をアピールする機会ができるのではないかなと思っています。今朝早く、アメリカからグッドニュースが入ってきました。例の大谷選手、６打数６安打、３ホームラン10打点、２盗塁ということです。いやが上にも野球はもう全世界で盛り上がっております。その小さな力でも、プロ野球がうるま市に来るということは、少年野球、中学・高校野球の青少年に与える夢と希望というのは、多大なものが私はあると思っております。どうか、うるま市民を挙げて、行政を挙げて、しっかりとそのキャンプを盛り上げながら、さらに今年以上の経済効果が発揮できるような形でお願いをしていきたいと思います。実は宜野座のほうからも１軍と２軍一緒に何とかできませんかというお話が来ていますけれども、少し待ってくださいよということで、待たしております。そういうことでさらなるプロ野球の経済効果を期待していきたいと思います。

４番目にですけれども、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定をされていますけれども、対策推進地域の役割は、地震災害の対策だけに限られているのかお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　伊礼正議員にお答えいたします。

南海トラフ地震に基づく対策推進地域は、震度６以上が想定される地域、津波高３メートル以上で、海岸堤防が低い地域及び防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮に基づき、現在、関東から九州・沖縄地区にかけて多くの市町村が指定されており、基本的には津波など地震災害の対策を担うものとされております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　津波の怖さというのは、チリ津波で私も体験をさせてもらいました。小学校１年のときであります。その際に何と地球の裏側の地震の影響で、津波がやってきました。現在の屋慶名区のあの大通り、潮で道路が寸断されま

した。生活のためにサバニを使って、しばらくはやっていました。そういうことがあります。そして、地震災害において、人命救助には、やはり消防防災ヘリもその役割は重要だと思われますけれども、県内の孤立する可能性のある集落が８つもあります。うるま市の８集落が予想されますけれども、その災害救済に対しての消防ヘリの導入はどうでしょうか。お伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

本市には平安座島、浜比嘉島、宮城島、伊計島といった島しょ地域に８自治会及び離島である津堅島に１自治会ありますが、大規模災害時には海中道路の寸断や港湾機能の喪失などにより、当該自治会が孤立する可能性は十分あるものと認識しております。現在、そのようなケースが発生した場合、海上保安庁や自衛隊などと協力連携し、救急搬送などの人命救助や物資搬送などに取り組むことも想定しているところでございます。なお、議員御指摘の県消防防災ヘリにつきましては、具体的な導入方法等に関し、まだ議論中であり、現時点で具体的な運用方法等について、申し上げることは困難でございますので、御理解くださいますようお願い申し上げます。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　ぜひ、消防防災ヘリを導入に向けて前向きに検討されることをお願いしたいと思います。2011年３月11日に御存じのとおり、東日本大震災が発生をしております。その半年後に全国三線普及の一環で宮城県、岩手県、そして福島県を回ってきて、岩手県の例の奇跡の一本松、この目で確かめてきました。そこにはやはりまた東日本大震災追悼施設が造られております。そこでもお花を添えて、ちょうどその時、三線も持っていましたから、１曲琉球古典音楽を奉納しながら、御霊に対して、その追悼の意を表してきております。万が一、発生した場合に、沖縄でも、もう自然のことですから、ないとも言えません。目の前で、沖縄県民、うるま市民、または愛する家族が助けを求めているときに、そのヘリが１機でもあれば１人でも多くの人の命が救われるのではないかなと思っています。これはぜひ、うるま市を挙げて、取り組んでほしいなと希望いたしたいと思います。県からも、この説明には、これまで10回ほど訪問されていると思います。市長へ説明３回、担当者へ７回という資料もございますけれども、前向きに命どぅ宝というのがあります。私も、この年になると、いかに健康が一番で、命こそ宝というのが、しみじみと分かる年になっておりますので、これは、次代を担ううるま市の皆さんのほうにも、決して、それは人命が大事だということを私たちが今、口を言葉として出していかなければいけないのではないかなと思います。

続きまして、２市２町合併についてお伺いをいたします。来年は合併20年を迎えます。合併に当たり２市２町の均衡のある発展を目指しました。これまでの19年は均衡ある市政運営と考えるか、お伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　伊礼正議員の御質問にお答えいたします。

本市の合併後のまちづくりにつきましては、新市の建設を総合的かつ、効果的に推進することを目的として策定されました新市建設計画に基づき、実施してまいりました。新市建設計画におきましては、新市の一体性の速やかな確立を図りつつも、市全域の均衡ある発展に資するよう、適切に配慮することと方針を位置づけられております。令和７年の計画期間終了を迎えるに当たりまして、これまで19年間にわたり実施してきましたまちづくりの取組により住民サービスの維持・向上を目的とした新市うるま市の一体性の構築が進んだほかに、その構築に当たっては、旧構成地域の歴史、文化、社会環境を配慮し、地域の特性を生かした均衡ある発展を図ってきたものと認識してございます。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　答弁の中に、新市うるま市の一体性の構築が進んだとあります。一体性

というのは１つです。具体的に何をもってして、一体性として捉えているのかお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

本市におきましては、合併以降、新市建設計画、当該計画を包含・反映したうるま市総合計画に基づきまして、市一体としての総合的なまちづくりの観点で、道路や公園などの社会インフラ、小・中学校の教育環境整備、健康福祉を増進する拠点や、コミュニティーの拠点整備等を進めてまいりました。また、新市の一体性の醸成につきましては、市民一人一人が地域を愛する気持ちを持ち、まちづくりに積極的に参加することが重要であることから、２次にわたる総合計画において、市民協働のまちづくりを将来像の重要な柱として位置づけ、各分野の施策を進めてきたところでございます。そのような取組を行ったことにより、市の一体性の構築が推進されたものと認識してございます。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　合併後の２市２町における全てのハード・ソフト事業名と、事業費を各地区ごとにお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　伊礼正議員の御質問にお答えいたします。

２市２町における全てのハード・ソフト事業名と事業費を各地区ごとに、事業費を算出することは大変厳しいものでございます。その理由といたしましては、事業はうるま市全体の均衡ある発展を対象とした事業が多数となっていることにより、地区別の集計等が困難な状況でございます。しかしながら、合併特例債を活用した事業の特例債の発行額に対しては、地区ごとの算出が可能でございますので、そちらのほうでお答えさせていただきますことを御理解くださいますようお願いいたします。合併特例債活用額は、令和５年度決算時点で、総額428億3,980万円のうち、うるま市全区域に係るもので100億5,820万円。主なものとしては、統合庁舎建設事業、地域振興基金造成事業がございます。

次に、具志川地区で180億4,619万円。主なものとして、総合福祉センター建設事業、具志川運動公園整備事業などがございます。

次に、石川地区では69億3,130万円。主なものとしまして、ＩＴ事業支援センター建設事業、石川中学校校舎改築事業がございます。

次に、与那城地区で15億9,120万円。主なものとして、宮城島コミュニティ防災センター建設事業、旧桃原小学校跡地緑地広場整備事業がございます。

次に、勝連地区でございます。28億2,699万円。主なものとして、勝連小学校校舎増改築事業、南原小学校校舎増改築事業がございます。

次に、与那城、勝連両地域に共通するものとして、33億8,592万円。主なものとして、与勝調理場整備事業、与勝中学校校舎増改築事業がございます。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　それでは再質問をさせていただきます。

地域の特性を生かし、均衡ある発展を図ってきたものと認識しているが、何をもってして均衡あるか、先ほどの特例債の数字等々も含めて、お伺いをいたしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

地域の特性を生かした均衡ある発展を図ってきたという、どういった均衡が何をもって均衡があるかという御質問にお答えいたします。

新市建設計画におきましては、地域の特性を生かした上で、地域全体の均衡ある発展を実現することとしておりまして、新市域を地形、都市機能、地域資源等で共通要素を持つ７つの地域に分類し、それぞれの地域特性を踏まえた、まちづくりの方向性が提示されております。当該方向に基づき、まちづくりの取組を進めてきたことにより、各地域の均衡ある発展が図られてきたと認識してございます。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　それでは再質問の１つに、合併後のうるま市市道の整備状況をお伺いいたします。やはり合併は、当初の目的に生活環境の整備も１つは含まれていたと思います。お伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　各地区における代表的な路線についてお答えいたします。

具志川地区においては、川崎ルーシー河線、昆布栄野比線、上江洲中央線など、石川地区においては、石川34号線、石川西線、石川44号線など、勝連地区においては、勝連２－52号線、勝連４－76号線、勝連１－33号線など、与那城地区においては、与那城99号線、与那城107号線屋慶名橋、与那城26号線などがあり、各地区において均衡が取れるよう整備してきたものと考えております。引き続き、市域を連絡する道路網として整備を推進しつつ、各地域の交通状況を踏まえ、均衡が取れるよう整備を図っていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　新市建設計画は来年で切れると思います。その後も新しいうるま市づくりをどのように考えておられるかお伺いをしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

新市建設計画につきましては、合併特例法に基づく合併特例事業の期間が令和７年度で終了することを踏まえまして、現行計画の期限であります令和７年度をもって終了することとなっております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　分かりました。ありがとうございました。では、続きまして、具志川新火葬場についてお伺いをいたします。

まず１点目に、具志川新火葬場について、火葬場を運営している公益財団法人うるま斎苑の代表の理事は、中村正人市長でしょうか。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　伊礼正議員の御質問にお答えいたします。

公益財団法人うるま斎苑の代表理事は、中村正人うるま市長ではございません。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　新火葬場建設地の自治会に、これまで２度の説明会を開いたが、住民からは市の進め方や、建設予定地などに不満の声が上がっていたとのことですが、具体的にどのような不満の声が上がっていたのでしょうか、お伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

令和５年２月１日に開催しました具志川自治会住民を対象とした説明会では、新火葬場の県道からの視認性、見え方についての御意見がございました。

令和５年12月22日に開催しました市長と具志川自治会による意見交換会におきましては、住宅地から近いこと。また、うるま市墓地等の経営許可等に関する条例施行規則に基づく火葬場の設置場所の距離の基準を緩和することについて、御意見をいただいております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　建設予定地に中村正人後援会の役員が所有する土地があるとちまたのうわさがあるそうですが、その真実をお伺いします。やはりその真実をしっかり払拭しないことには、これまで３年半、中村正人市長がうるま市民の先頭になってきて、ぐいぐいと県下でも、うるま市ここにあるということで走ってきておりますけれども、あらぬうわさが出てきたら、市長の名誉にも傷がつくのではないかなと思っております。その辺、お伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

建設予定地に議員御指摘の方が所有する土地はございません。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　再質問をさせていただきます。

公益財団法人うるま斎苑の代表理事の期間をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

中村市長の代表理事期間といたしまして、令和３年11月22日から令和６年６月10日までとなっております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　それでは、地方自治法第142条と公益財団法人うるま斎苑の属性及び代表理事の法的地位をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

地方自治法第142条では、「普通地方公共団体の長は、当該普通地方公共団体に対し請負をする者及びその支配人又は主として同一の行為をする法人の無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役若しくはこれらに準ずべき者、支配人及び清算人たることができない」としております。市と公益財団法人うるま斎苑につきましては、請負関係及び主として同一の行為をする法人ではないことから地方自治法第142条の規定には当たらないと判断しております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　再質問をさせていただきます。

市長判断の公衆衛生・福祉の観点とは何か、具体的にお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

令和６年２月第173回定例会におきまして、宮城議員の一般質問にもお答えしておりますが、公衆衛生上の観点から支障がないとは、御遺体を燃焼する際に発生する大気汚染、悪臭、騒音などに対して、環境保全・公害防止目標値を定め適切に管理することにより、周辺生活環境に支障がないものであると考えております。また、公共の福祉の観点から支障がないとは、社会通念上妥当である人の生活権の保護育成を示すものと考えており、その観点から本事業においては支障はないものと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　再質問させていただきます。

土地購入に当たり、不動産鑑定の見積りは何者で、そして会社名をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

対象地の購入価格につきましては、公共用地の取得に伴う損失補償基準に基づき、土地評価業務を実施し決定しております。本業務は、補償業務管理士及び不動産鑑定士が所属している業者から指名業者選定委員会が選定した10者で入札を行い、落札した株式会社沖縄地所鑑定と契約を行っております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　再質問をさせていただきますけれども、移転先の土地所有者に、中村正人後援会の会長及び選対本部長、その他、役員の３親等の所有する土地がなかったかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　議員の御質問にあります契約者、当事者以外の情報については、答弁を差し控えさせていただきます。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　おかしいですよね。総事業費30億円を要する莫大な事業でありますけれども、公費を投入する、その事業の契約者の名前が分からないというのは、おかしなことですよね。私は調べ上げております。今年の３月13日に、うるま市と当事者と売買の契約が結ばれて、４月１日に所有権がうるま市のほうに移転をされております。その中にも地主の名前はしっかり載っています。私も地元に足を運んで確認をしました。この人はこういう関係ですよというのがあります。今の答弁と相反するのではないかなと思いますけれども、それはそれとしてありがとうございます。

次に、大きな項目７のうるま祭り等案内状送付基準についてお伺いをいたします。産業まつり、エイサーまつりの案内についてお伺いいたします。案内はうるま市選出の県議、うるま市議会議員、沖縄３区の国会議員などへの案内漏れはないか、案内は何を基準の選出かお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

第19回うるま市エイサーまつりの来賓案内の基準としては、祭りに携わる実行委員会の委員や特別協賛をいただいた企業、関係団体、うるま市議会議員、うるま市選出の県議会議員、沖縄３区選出の国会議員などであり、案内漏れはございませんでした。来年１月開催を予定している第20回うるま市産業まつりにおいても、エイサーまつりと同じ基準で来賓案内を行う考えでございます。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　それでは、再質問をさせていただきます。

うるま市エイサーまつりの案内状の発送は、いつ案内の、また方法をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

エイサーまつりでの案内についてですが、市議会議員の皆様へは、議会事務局を通じて、８月26日、連絡ツールであるビジネスチャットエルガナで案内をしております。うるま市選出の県議会議員の皆様には、８月29日直接事務所へお伺いしたり、関係者へ預けたりで御案内をいたしております。また、沖縄３区の国会議員の皆様へは、26日にメールでの案内と28日に事務所職員へ手渡しにより案内をさせていただいております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　このエイサーまつりの案内状でありますけれども、市民からの確認で急ぎ追加でされています。その辺の流れをお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

関係者からの問合せで５件の案内状未発送が発覚したため、すぐさま案内状をお渡ししております。エイサーまつり事前準備の多忙な業務と並行していたため、発送済みと誤認していたことが原因でありますが、今後は同じことが起きないように気をつけてまいりたいと思っております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　うるま市議会議員は、執行部とともにうるま市をつくり上げていきます。沖縄県議会議員は、うるま市の諸問題を県に関わることがあれば、やはりそれを県のほうに届けていきます。さらに、沖縄３区で選出された国会議員もしかりです。沖縄の諸問題もろもろ含めて、国のほうに要請なり申請をしていきます。それを時間差があったとしても市民からの声があって初めて発送するのはいかがなものかと思います。やはりどこであろうが誰であろうが、もう本当はっきりと右左関係ないです。うるま市をつくる、沖縄県をつくる、国をつくるというのは同じ祭りであれば、うるま市のほうからも選出された議員の皆さんですから、等しく、同じに発送するような形で今後お願いをしたいと思います。ありがとうございます。

それでは、うるま市民所得についてお伺いします。県内におけるうるま市の市町村所得ランキングはどうなっていますでしょうか。よろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

沖縄県が令和６年４月に公表しました、令和３年度沖縄県市町村民経済計算において、本市の令和３年度市町村民所得は、41市町村中４番目となっております。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１４時１６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時１８分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

伊礼正議員。

○**１５番　伊礼　正議員**　では、７月26日の執行部主催の勉強会に案内を受けた２人の県議が参加をいたしました。その事前に私たちもその旨の連絡でいいのではないですかと、その代わり、案内しているあの２人はどうされたのですかということをお伺いしたのですけれども、案内を受けなかった２人の県議はなぜでしょう。その理由をお伺いいたします。

○**副議長（藏根　武）**　経済産業部長。

○**経済産業部長（岸本　力）**　お答えいたします。

７月26日に開催した勉強会は、直前まで市議会議員を務められ、新たに県議会議員となられたお二方へ、中城湾港の概要と沖縄県が策定している中城湾港長期構想と港湾計画、東埠頭の岸壁延伸の事業化などの内容に関するレクチャー、すなわち御説明を行わせていただき、そして、共有を趣旨として開催をさせていただきました。

○**副議長（藏根　武）**　伊礼正議員。

○**１５番　伊礼　正議員**　この３月まで市議会議員として、新しい県議として選出されましたからということですけれども、それは私は、執行部の考えではないかなと。中城湾港の事業というのは、大きなプロジェクトであります。せっかくですから４人の県議がおります。しっかりとスクラムを組ませて、要請するものは要請するという形で、今後はぜひ気をつけられてください。あと７月17日、その26日の前にですけれども、私も沖縄県議会の一般質問を見せてもらいました。喜屋武議員、何とこの日に、中城湾港についてしっかりと市民を代表して、一般質問されております。やはり県議は自ら進んでやるのも県議の仕事であります。こういう問題があれば走っていって、そこですよね、皆さんのほうにも区分けしないような形でお願いしたいなと思いますね。よろしくお願いしますね。

それでは、戻って行きます。市民所得についてですけれども、県内における市の市町村所得のランキングをお伺いいたします。

○**副議長（藏根　武）**　休憩します。

休　憩（１４時２０分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時２２分）

○**副議長（藏根　武）**　再開します。

伊礼正議員。

○**１５番　伊礼　正議員**　本市の令和３年度の市町村民所得は県内41市町村４番目ということでありますが、１人当たりの所得も同様かお伺いをいたします。

○**副議長（藏根　武）**　経済産業部長。

○**経済産業部長（岸本　力）**　お答えいたします。

１人当たりの市町村民所得は、41市町村中40番目となっております。

○**副議長（藏根　武）**　伊礼正議員。

○**１５番　伊礼　正議員**　では、所得向上に向けて、現在市政として、どのように取り組まれたかをお伺いいたします。

○**副議長（藏根　武）**　経済産業部長。

○**経済産業部長（岸本　力）**　お答えいたします。

１点目に、雇用者報酬を向上させる取組として、これまで地域雇用人材育成事業、就労支援事業、国際物流産業集積地域中核人材育成事業の実施により、失業者の就業機会の確保や、企業ＯＪＴや、人材育成プログラム提供による雇用者等のスキルアップを促してまいりました。

２点目に、企業所得を向上させる取組として、企業誘致推進事業、域内マッチング支援事業、中小企業等売上拡大支援事業の実施により、生産性の高い企業の誘致や企業間のマッチングによる所得の内製化の促進、市内中小企業等が行う認知度の向上、業務効率化、商品やサービスの価値向上など、売上げ拡大に資する取組への支援を行っております。

３点目に、財産所得を向上させる取組として、上江洲・仲嶺地区での産業基盤整備推進事業や、中城湾港新港地区における国際物流トライアル推進事業、石川地域まちづくり推進事業や、勝連・与那城地域まちづくり推進事業の実施により、各エリアの価値向上を図っております。

○**副議長（藏根　武）**　伊礼正議員。

○**１５番　伊礼　正議員**　それでは再質問をさせ

ていただきます。

石川、勝連、与那城地域まちづくり推進事業と所得向上との関連をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

各地域におけるまちづくり推進事業の進捗は、観光、産業、居住等の多面的な魅力向上を図り、県内外から多くの人や企業、団体、学術・研究機関を引きつける可能性を高めていきます。新たな企業立地による市民への雇用機会創出や、にぎわいによるエリアの価値向上に伴い、個々の不動産価格の上昇や、遊休不動産の再生にもつながり、所得向上にも寄与していくと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　再質問をさせていただきます。

多岐にわたる市民一人一人の所得向上に向けまして、行政として頑張っておられることは本当に理解をしております。それでは、所得向上の取組の成果をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

令和３年度沖縄県市町村民経済計算における10年間の比較では、市町村民所得が平成23年度1,903億3,400万円に対して、令和３年度は2,197億6,600万円で294億3,200万円の増。１人当たりの市町村民所得が、平成23年度162万円に対して、令和３年度は174万5,000円で12万5,000円の増となっており、着実に所得が向上しております。

また、直近の対前年度増加率は、市町村民所得が4.6%、１人当たりの市町村民所得が4.1%と県内11市中３番目と高い水準となっております。さらに、市町村民所得及び１人当たりの市町村民所得の対前年度増加率を伸ばしていくために実施している各種事業の効果検証を行い、より効果の高い取組へとブラッシュアップしていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊礼正議員。

○１５番　伊礼　正議員　市民の所得向上のために、これだけの後押し、プッシュしてきたという成果が本当に目に見えて分かります。今後も私たち一緒に市民の所得向上に向けて、さらには、生活の環境づくりもつけて、議会を通して、また機会あるたびに声を出させていただきたいと思います。本日は２点ほど残しておりますけれども、私の一般質問を終わらせていただきたいと思います。

○副議長（藏根　武）　暫時休憩します。

休　憩（１４時２８分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時４７分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　会派新政クラブ、高屋優です。議長の許可を得ましたのでこれより通告した４点を質問させていただきたいと思いますので、執行部の簡明な御答弁よろしくお願いいたします。

初めに、高江洲中学校区の地域における課題としまして、（１）塩屋区における下原スポーツ広場の活用と塩屋団地緑地帯の課題解決についてでございます。下原スポーツ広場というのは、塩屋区にあるドン・キホーテ裏、橋の下の公園であります。現在、そこの里親制度で塩屋の自治会長が管理をしているところであります。草刈りだとか、トイレの清掃、バスケットコートやテニス場もありますので、そこの鍵の開け閉め、駐車場もありますので、そこの鍵の開け閉めをやっている状況であります。今回、里親制度については神田議員も意見をしていました。この里親制度の見直しについて、今回の一般質問をさせていただきたいと思います。

それでは質問に移ります。下原スポーツ広場における自治会の里親制度では、年間13万2,000円の費用で多くの管理業務を行っていますが、この負担が自治会に過度な負荷をかけている現状について、本市としてどのように認識しているのか伺いたいと思います。

一方で江洲区内にある公園の管理についてはどうなっているのでしょうか。また、自治会が行っている草刈りや施設管理などの業務をより効率的に管理するために、里親制度の条件見直しについ

て本市の見解をお伺いします。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　高屋優議員の御質問にお答えいたします。
公園里親制度は、地域住民と市との合意に基づき、ボランティアとして、公園等の清掃美化等の活動を行う制度でございます。また、江洲区内にあります、なかばる公園、いーしぬめー公園、江洲中央公園につきましては、就労支援事業所と公園維持管理委託業務を締結し、除草作業、低木剪定、園内清掃、遊具清掃、便所清掃の作業を委託しております。御質問にもございました里親制度の見直しにつきましては、社会情勢の変化に合わせ、報奨金額の増額改定に向け、検討してまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　下原スポーツ広場の駐車場周辺の草木の繁茂により、視界が悪化し、交通事故のリスクが高まっています。先日、下原スポーツ広場の駐車場周辺の草木の繁茂を維持管理課が重機を使用して伐採していただきました。このような多額の費用がかかっている現状を改善するために、コスト削減と管理効率化を図る計画はありますでしょうか。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。
議員御指摘のとおり、草木の繁茂により道路の見通しが悪くなることから、長期的なコスト削減と効率化を図るため、コンクリート張りなどによる抑制対策を検討してまいります。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　よろしくお願いします。下原スポーツ広場の管理をより効率的に行うために、本市と民間企業が協働するＰａｒｋ－ＰＦＩの導入をするに当たり、どのようなメリット、デメリットがあるでしょうか。また、石川闘牛場のライフスタイルカフェのようなＰａｒｋ－ＰＦＩの活用や、指定管理方式、民間委託など、ほかの管理方法について検討するのはいかがでしょうか。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。
まず、Ｐａｒｋ－ＰＦＩのメリットといたしましては、民間提案による便益施設の設置による利便性向上、にぎわいの創出、美化清掃を担ってもらえるよう求めることができるなどがございます。
次に、デメリットといたしましては、設置する施設は民設民営であるため、公園内であっても施設利用料を求められたり、公園のにぎわいにより、道路の渋滞や違法駐車、近隣への騒音等が考えられます。
御質問の下原スポーツ広場は、県道36号線高架橋管理のための県有地となっており、Ｐａｒｋ－ＰＦＩや指定管理などによる管理方法については検討しておりませんが、県との管理協定に基づく範囲で、必要に応じ協議してまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　ありがとうございます。よろしくお願いいたします。
続いての質問に移ります。下原スポーツ広場の橋の落書きについて、地域が主体となって消し、高江洲小学校の卒業生が橋の柱に絵を書くイベントを開催したいという要望があります。県道10号線の護岸を利用した平宮護岸アートコンクールと同様に、児童・生徒が地域への誇りを育むイベントとして、毎年実施を目指しておりますが、この点について当局の見解をお聞かせください。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。
議員御提案のイベントにつきましては、児童・生徒が地域への誇りを育み、さらには、落書き防止対策の一翼を担うなど、大変すばらしい取組だと感じております。しかしながら、当該橋脚は県道36号線道路施設の一部であり、道路管理者である沖縄県の判断が必要となることから、今後、中部土木事務所と相談を行う必要がございます。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　ありがとうございます。ぜひ前向きに進めていただきたいと思います。

現在、自治会が年間13万2,000円で多くの管理業務を担っておりますが、負担が大きく、この予算では限界があると考えます。自治会の負担を軽減し、持続的な運営を確保するためには、自治会が収益事業を自由に行えるようになれば、収益源を確保し、自主的な運営が促進されるものだと考えております。加えてほかの地域や公園で里親制度やＰａｒｋ－ＰＦＩの下で収益事業を行い、成功している事例があればそれらを参考にしつつ、より柔軟な制度運用を検討していただきたいと思います。

続いての質問に移ります。塩屋団地の緑地帯においてです。向こうは草木の過度な繁茂やそれに伴う安全性、衛生面の問題が発生している現状を本市はどの程度把握しておりますでしょうか。繁茂した草木によるハブや蜂の発生リスクが高まっており、特に子供たちの安全が懸念されています。この問題に対して具体的な対策や緊急対応策は検討されていますでしょうか。また、これまで住民から寄せられた苦情や要望について、どのような対応が行われてきたでしょうか。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

御質問の緑地帯は、市道塩屋６－160号線の一部でございます。この道路は塩屋団地建築の際、構内道路としての位置づけで整備され、塩屋団地自治会による草刈りなど、維持管理が行われておりました。しかしながら、塩屋団地住民以外の車両の通行が多くなったことから、平成23年４月に市道認定を行っておりますが、引き続き、当該緑地帯については、塩屋団地自治会による草刈りなどの維持管理が行われているものと認識しております。なお、市道管理者といたしましては、車両通行に支障となる緊急時には、草刈りなどの維持管理を行っております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　塩屋団地の緑地帯には桜の木が植えられていますが、現在はほかの草木、ギンネム等が３メートルから４メートルほど成長しているような状況であります、それに覆われていて、その魅力が十分に生かされておりません。桜の木を中心とした美しい景観を再生するための整備計画について本市の見解をお伺いします。塩屋団地の緑地帯にある桜の木を中心に円を描き、それ以外をコンクリートで舗装し、緑地帯の整備をすることで、定期的な草刈りの効率化と住民の憩いの場を提供することが可能であります。このような整備案について本市の見解をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

議員御提案の整備案につきましては、現場確認の上、どのような緑地帯がふさわしいか、整備費用や維持管理の観点から検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　ぜひ前向きに御検討いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

現在の維持管理体制では、住民のみでの環境整備が困難な状況であります。塩屋団地自治会と道路管理者など、関係する皆さんと塩屋団地周辺の環境整備について協議をする場を設けていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

続いての質問に移りたいと思います。（２）川田区土砂崩れ対策の進捗と今後の計画についてであります。この問題に関しては、今まで私は一般質問を何度かさせていただいております。去年の台風第６号、８月に襲ってきた台風第６号によって、この川田区で土砂崩れがあった問題でありまして、１日でも早く復旧をしていただきたいと思っておりますので、ぜひ執行部の皆さんの協力もお願いしたいと思います。

それでは質問に移ります。令和５年８月に発生した川田区の土砂崩れに関して、現在どの程度の危険性が残っていると本市は認識していますで

しょうか。また、過去に中城村奥間で発生した土砂崩れ災害を踏まえ、川田区の現場が同様のリスクを抱えていると市は認識していますでしょうか。さらに、川田区の土砂崩れリスクを過去の災害と同様に高いものと認識し、迅速な対応が必要と考えているのか、本市の見解をお伺いいたします。この地域では実際に住民が避難していると聞いておりますが、その現状と避難住民への支援状況について説明していただけますでしょうか。お願いします。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　高屋優議員の御質問にお答えいたします。

令和５年８月に発生した川田区の土砂崩れにつきましては、発生時点において、直ちに危険性を認識し、土のうによる防止作業を迅速に実施したものでございます。しかしながら、当該傾斜地の下には擁壁があり、土のうが重過ぎると擁壁への影響が懸念されたことから、土のうの量も必要最少程度にとどめるなど、あくまでも緊急的な対策となっており、抜本的なリスク除去には至っていないものと認識しているところでございます。現在は、当該傾斜地の危険性の除去に向けた対応を検討している沖縄県中部土木事務所の委託事業者によって、異常が見られた際に感知するセンサーを取り付け、実際に崩れそうな箇所などを現地調査し、急傾斜地崩壊危険区域の範囲をどこまで広げられるかの調査が行われているところでございます。また、避難確保計画を作成し、避難訓練を実施し、沖縄気象台とキキクル等を用いた気象情報の入手方法等の勉強会を行っております。なお、当該傾斜地に所在しております避難の対象となっておりました老人ホームの入居者につきましては、現在はほかの施設に入居していることから、特に避難のための支援は行わなくてもよい状況となっております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　この件なのですけれども、避難しているのは老人ホームのことではなくて、この土砂崩れがあった周辺地域に住まれている住民が自宅が地盤沈下によってちょっと異常を来しているということで避難をしている。今このお家を出ているということをお聞きしているのですけれども、これについては聞いていますでしょうか。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１５時００分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１５時００分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　現在のところ、こちらのほうでは把握しておりません。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　土砂崩れが起きた老人ホーム施設だけでなくて、周辺地域の住民もとても不安がっているような状況がありますので、ぜひ地域を訪ねて見ていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続いての質問に移ります。うるま市が沖縄県に提出した要望書に対し、これまでに沖縄県が具体的にどのような対応を取ってきたのか。その進捗状況を教えてください。また、県が予定している対策の計画とそのスケジュールについて伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　お答えいたします。

要請先であります沖縄県中部土木事務所に確認したところ、令和６年１月に用地測量や地質調査等急傾斜地崩壊危険区域指定に向けた資料作成を目的とした業務委託の契約を行い、履行期限は11月末を予定しております。その後、資料を取りまとめ、区域指定についてうるま市と協議を行うことを予定しているとの回答がございました。また、沖縄県が予定している対策と計画につきましては、現時点では確定しておらず、今後確定次第、説明がなされるものと認識しております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　もう土砂崩れが起きて１年以上が経過しているところであります。急傾斜地崩壊危険区域に指定された際には、ぜひ、私も

協力をしますので、地域周辺住民への同意だとか、地主の同意だとかを得てその後に、この整備の計画等が行われていくと思いますので、スピーディーに対応していただきたいなと、また沖縄県と連携していただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続いての質問に移ります。国土強靱化計画に基づく防災・減災の予算をこの地域の土砂崩れに活用する可能性を調査しましたでしょうか。もし調査をしていない場合、その可能性を検討し、今後の対策資金として、国の補助金を活用する計画を、県と連携していただけますでしょうか。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

土砂災害警戒区域等の指定につきましては、県所管のため、これまで川田地区等において、土砂崩れ等に関する市独自の調査は実施しておりません。また、議員御指摘の国の補助金を活用する計画につきましても、基本的には県所管と考えておりますので、現時点で県と連携して対応するといったことは想定しておりませんが、今後、当該地区をはじめ、市内における土砂災害警戒区域等における危険防止につきましては、従来どおり県及び市の対応などについて調整してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　ぜひスピード感を持って進めていただけたらなと思いますので、よろしくお願いします。

続いての質問に移ります（３）江洲城跡公園整備計画の具体的な進捗状況と今後の課題についてであります。公園計画の具体的な道筋について、都市公園事業のハード交付金の充当率の問題や、ヌーリ川公園の長期化を考慮した上で、江洲城跡公園整備計画において具体的な道筋を立てることができたのか、進捗状況をお伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

江洲公園の整備手法につきましては、ハード交付金を活用した整備を検討してきておりますが、議員御指摘のとおり、交付金充当率が厳しい現状であることから、新たな整備手法として、防衛事業による江洲グスク史跡指定などを勘案した一部区域を整備することを検討しております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　新たな整備手法として防衛事業とありますが、防衛事業を活用した整備について、防衛局に対して何かしらのアプローチを行ったのか。その成果や今後の見通しについて具体的な説明をお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

沖縄防衛局に対しては、アクセス道路整備も含めた公園整備が可能か、調整を行っているところでございます。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　公園計画予定地の見直しと住宅建設の可能性について、喜屋武力前議員の提案である公園計画予定地を山林側にセットバックさせ、個人私有地での住宅建設を可能にするという案について、どのように公園計画に反映されたのか。具体的な検討内容についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

過年度に実施しました公園基本計画策定業務において、江洲グスクの史跡指定などを勘案した公園予定区域の一部を整備し、同時に道路整備を行う基本計画を策定しております。新たな道路の整備により、公園へのアクセス向上や沿道の土地利用も可能になると考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　約50年という半世紀にわたる開発の遅れは地権者にとって迷惑をかけているような状況でありますので、ぜひスピード感を

持って、こちらの件も併せて前に進めていただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続いての質問、教育行政に移りたいと思います。この３点の終わりに教育長より総括をいただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

高江洲中学校は私の母校でもありまして、現在下原地域というのは商業地の発展によってどんどん人口が増えているような状況であります。子供の数も増えて、生徒数も高江洲小学校及び高江洲中学校も増えているような状況であります。高江洲中学校に関しては生徒が増えて、給食室にパーティションを置いて、教室として利用しているような状況があると伺っております。今回質問をさせていただく内容の中に、大雨が降ったら帰宅せざるを得ない状況だとか、土砂災害警戒区域に指定されているだとか、校舎の建て替えのこともありますので、皆さんの簡明な御答弁いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

初めに、市内で大雨が原因で生徒が帰宅せざるを得ない小・中学校というのは、本市に何校ありますでしょうか。また、土砂災害警戒区域にある学校において、大雨による帰宅が学習権に与える影響について、市はどのように考えているでしょうか。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　高屋優議員の御質問にお答えいたします。

市内のどの学校におきましても、自然災害等の状況によって安全が危惧される場合は、安全確保のため、休校や早期帰宅などの措置を取る場合がございます。土砂災害警戒区域が学校敷地と重なり、大雨による地滑りの危険が心配される学校としまして、高江洲中学校１校を認識しております。また、学校が自然災害等で休校になった場合でも、学習に影響がないよう、学びの保障に努めなければならないと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　大雨により校舎建物に接近している擁壁崩壊のおそれがある校舎は、安心・安全な環境及び状況に反していると思いますが、いかがでしょうか。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　高屋優議員の再質問にお答えいたします。

高江洲中学校校舎裏側の間知ブロック積み擁壁の稼働変化につきましては、令和２年度実施の調査に引き続き、現在、稼働変化の観測記録調査を実施し、安全確認に努めております。

また、現在の校舎位置の課題につきましては認識しておりますので、今後、整備手法取りまとめの中で有効な対策を検討し、取り組んでまいります。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　帰宅した分の学習時間をどのように補習しているのか伺います。また、大雨時に生徒が帰宅しなくて済むように、治水事業による根本的な解決策について市はどのような検討を行っているでしょうか。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

学校の教育課程は、台風襲来など自然災害による休校に備えて予備時数を確保しております。その予備時数を充てて授業を行っておりますので、授業時数や学習内容等への影響はないものと考えております。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

高江洲中学校周辺における治水対策につきましては、令和５年12月第171回定例会においてお答えしましたように、将来的には検討が必要であることは認識しております。しかしながら、治水対策には膨大な事業費を要することや、関係機関との連携による様々な課題の整理等が必要不可欠となることから、長期的な取組になることを御理解いただきたいと思います。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　将来的には検討が必要であることは認識しておりますとありました。ここで市長にお伺いさせていただきたいと思うのですけれども、高江洲中学校は土砂災害警戒区域に指定されていまして、校舎裏の間知ブロックの擁壁も稼働している、様々な問題が現在あります。先ほど伊盛議員の一般質問の中で治水事業、治水協会の会長をされているとお聞きしました。この高江洲中学校の校舎裏の山のほうですが、その水が高江洲中学校に流れてくるだとか、もっと上のほうでは、喜仲地域の雨水が高江洲中学校側に流れてきているというような状況があります。この治水事業を行っていただきたいなと思っているのですけれども、見解をお伺いします。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　高屋優議員にお答えをいたします。

先ほどの川田の件で御質問がありました。地域一帯で危険水域があると思っております。しかしながら、先ほども教育委員会並びに議論を交わしてる内容で、今、人口増加に伴って高江洲中学校の全面的な校舎の建て替えの計画をしております。まずは、学校の適正配置、学校の敷地内にどの位置に校舎を建てるべきなのか。どういったことをやるべきなのかというような安全対策と、そういった確保をまずさせていただきたいなと思っております。それから、校舎裏側の擁壁であったり、地域住民の道路等も含めて、ただいま沖縄県中部土木事務所と協議を図りながら、早急の対策ができるよう、今後とも努力をしてまいりたいと思っております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　ありがとうございます。高江洲中学校の校舎改築について、現在の進捗状況をお伺いしたいと思います。現地での建て替えなのか、移設しての建て替えなのか、どのような方向性で進められているでしょうか。また、改築に伴う予算の確保状況と国や県からの補助金の利用可能性について、市はどのように対応していますでしょうか。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　御質問にお答えいたします。

高江洲中学校校舎につきましては、従来の危険改築事業での整備が困難なため、敷地狭隘条件による検討を行い、改築の可能性について沖縄県教育庁と協議を重ね、現在、文部科学省へ照会中であります。今後の整備手法取りまとめは、文部科学省からの回答を踏まえる必要がございますが、現在の校舎位置から南側県道16号線側へ配置変更となる計画を検討しております。また、事業予算の確保につきましては、庁内関係部署との連携に努めるほか、公立学校施設整備事業における国や県からの補助金として、新増築事業を対象とする公立学校施設整備費負担金、改築・改修事業対象の学校施設環境改善交付金等がありますので、各種補助金の確保に向け、交付要綱に基づき所定の手続を進めていくこととしております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　ありがとうございます。こちらの件も前に進めていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

続いての質問に移らせていただきます。平敷屋小学校の運動場側の既設フェンスについてであります。この質問に入る前に歴史背景を少しだけ説明させていただきたいと思うのですけれども、当時、運動場というのは崖地になっているような状況でありました。

地域住民が力を合わせてトラックを準備して土を集めて、石を積んで、そこに土を入れて砂を入れて運動場を造ったという歴史背景があります。もう思いの詰まった校舎でありまして、運動場でありまして、そこがおろそかになっているという地域の声がありましたので、質問をさせていただきたいなと思っております。また、この件に関しては、大城議員も前回から取り上げている内容でありますので、こちらも前に進めていただきたいなと思っております。

それでは質問に移ります。平敷屋小学校の運動

場側の既設フェンスはいつ撤去されましたか。また、撤去されるまでどのような経緯があったのかお伺いします。現在、内側に設置されている仮設フェンスの安全性について、市はどのように評価しているでしょうか。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　お答えいたします。

令和元年度に防球ネット整備工事を行った際、既設フェンスが工事に支障を来し、経年による劣化が進行していたことから、再設置が困難と判断し撤去処分をいたしました。現在の仮設フェンスの安全性につきましては、腐食がないことや、補強材を含めた固定状況から、安全は確保されていると考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　令和５年９月定例会で、整備計画を策定中と答弁がありましたが、現時点での進捗状況について教えてください。関係部署との協議の進捗状況はどのようになっていますでしょうか。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

関係部署との協議を進め、小学校外周フェンス・ブロック塀改修事業を計画し、今年度当初予算に設計業務委託料と工事請負費を計上しております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　既設フェンスが設置されたのはいつで、その背景について市はどのように把握しているでしょうか。施工に関わった方々や、その歴史的背景について市の認識をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

撤去しました既設フェンスにつきましては、旧勝連町で設置したものと認識しておりますが、設置時期や経緯等詳細については把握しておりません。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　既設フェンスの復元について、何年度をめどに計画されているのか教えてください。関係部署との協力体制について、どのように進められているのかも併せてお聞きします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

先ほど答弁いたしましたとおり、関係部署との協議を進め、今年度当初予算を計上しておりますので、今後、設計業務に着手し、完了後、工事を実施していく予定としておりますが、整備の年次計画につきましては、設計業務の中で工事費を算出し、決定していくこととしております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　早期実現を期待します。ありがとうございます。

続いての質問に移りたいと思います。公立学校の理想的な学級数と児童・生徒についてであります。この件に関しては議員の皆さんにも興味を持ってもらいたい内容であります。意図としては与勝第二中学校の生徒数の減少についてであります。

それでは質問に移ります。公立中学校の理想的な学級数と児童・生徒数について、当局はどのような基準を持っているのか説明してください。

また、市内の小・中学校がこの理想的な規模に達しているかどうか、現状を説明いただけますでしょうか。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　高屋優議員の御質問にお答えいたします。

法令上、学校規模の標準は、学級数により設定されており、小・中学校とも12学級以上18学級以下が標準とされておりますが、特別の事情があるときはこの限りではないという弾力的なものとなっております。本市の小・中学校の学校規模は、小規模校から大規模校、島しょ地域の小中併置校まで多様であり、その教育上のよさや課題、地域

の状況もそれぞれ異なりますので、理想的な学級数と児童・生徒数を数値でお示しすることは難しいと考えております。また、児童・生徒数に基づく学級編制につきましては、法令等によって基準内に編制されております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　理想的な生徒数を基準内に達しているという一方で、与勝第二中学校における生徒数の減少は大きな課題だと認識しております。現在、生徒数は何人になっているでしょうか。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

現在、与勝第二中学校の生徒数は、１年生38人、２年生20人、３年生が18人となっており、入学者は増加傾向にございます。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　この生徒数に関しては、部長、課題だと認識しておりますでしょうか。どのようにお考えでしょうか。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　学校規模としては小規模でございますが、徐々に入学者が増えてきているので、その課題というか、入学者、在校生の人数が増えていくという傾向はあると認識しております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　過去の答弁の中に、うるま市学校適正配置に向けて、配置担当を設置し、今後の在り方について検討するとありましたが、どのように検討したのか、これまでの進捗をお伺いいたします。また効果があれば教えてください。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　高屋優議員の御質問にお答えいたします。

令和元年７月29日にうるま市教育振興推進委員会が組織され、与勝第二中学校における現状と課題、今後の在り方について諮問し、令和２年２月20日に学校存続の答申を受けております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　学校存続の答申を受け、令和６年までこれまで４年間教育委員会が努力してきたことをお伺いさせてください。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１５時２２分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１５時２３分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

与勝第二中学校の生徒の学習権の保障を第一に、与勝第二中学校の在り方を含め、保護者や地域住民の皆さんが学校運営への参画や支援及び協力を促進するため、平成31年度より与勝第二中学校区の各学校において学校運営協議会を発足しております。その中で、地域の子供たちを中心に置いた学校運営の改善や児童・生徒の健全育成に取り組むことなどについて熟議していただいております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　学校、保護者、地元自治会、教育委員会が与勝第二中学校について考える協議会発足について検討するとありましたが、現在どのような進捗でしょうか。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

議員御質問の協議会は、当時の市議会定例会において、学校存続のための協議会を設置してはどうかという提案でございました。先ほど申し上げましたとおり、うるま市教育委員会では、その後、令和元年７月に学校関係者、保護者、地元自治会を委員としたうるま市教育振興推進委員会を発足し、諮問を行い、与勝第二中学校に関しては学校存続の答申を受けております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　このまま進めると与勝第二中学校の存続を危惧します。校舎の修繕、整備など生徒数の減少につき後回しにならないか心配であります。生徒増につながる通学区域の再編に

ついて審議はされてきたでしょうか。
○副議長（藏根　武）　学校教育部長。
○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。
　教育委員会の対応としましては、うるま市学校適正配置後期計画に基づき、勝連平敷屋、与那城饒辺、与那城安勢理を通学区とし、新たに与那城屋慶名を調整区域として、通学区の弾力化を進めてまいりました。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　最後に、過去の答弁で与勝第二中学校の特色ある学校づくりの取組について調査・研究すると答弁があったのですが、その内容についてお伺いします。
○副議長（藏根　武）　学校教育部長。
○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。
　与勝第二中学校においては、海をテーマにした探究学習の中で、平敷屋漁港の協力を得て特産物のモズクを利用した料理レシピづくりに取り組むなど学校、地域の特色を生かした学校づくりを進めております。また、小中連携の強化や運動部活動の活性化に取り組んできたことで、入学者が増加傾向にあるほか、ネット部活動など、市内他校の中学生と共に学ぶ場づくりにも取り組んでいるところでございます。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　ありがとうございました。この件に関しては私も継続して調査・研究してまいりたいと思います。丁寧な対応を引き続きお願いいたします。教育行政の３点について終了しましたので、総括を教育長よりお伺いさせてください。高江洲中学校の校舎改築、そして平敷屋小学校の既設フェンスの修繕について、最後に与勝第二中学校の生徒数減少についてであります。よろしくお願いします。
○副議長（藏根　武）　教育長。
○教育長（嘉手苅　弘美）　高屋優議員の御質問にお答えいたします。
　高江洲中学校については、治水について根本的に解決しなければならないと考えていますが、先ほど部長から答弁がありましたように、非常に時間とその予算がかかるということでしたので、それまで、子供たちの安全確保を第一に、水だとか、それから台風等々については注視していって、子供たちの安全管理第一に考えていきたいと思っています。
　それから、校舎建築につきましては今、県と協議を済ませた後、現在、文部科学省の回答待ちになっています。できる限り校舎改築ができるよう、これについても要請を続けていきたいと思っています。
　それから与勝第二中学校につきましては、部長の答弁にありましたとおり、中学校１年生38人、２年生20人、３年生18人です。小学校との連携で、少年野球の子供たちが中学校で野球部が結成されたら、与勝第二中学校に行くというふうなことで、現在、野球部をスタートして、与勝緑が丘中学校に受験した子供も合格したにもかかわらず、与勝第二中学校を選んでいる子供がいます。ほぼほぼ平敷屋小学校からは、今現在、与勝第二中学校へ進学している生徒が多くなっています。それについては、学校側の小規模ならではの機動力、例えばアリーナでバスケット大会があったときに、子供たちを全員連れてバスケットを見に行ったり、与勝第二中学校でなければできないような活動、魅力ある学校づくりに今取り組んでいて、生徒数を増やすというような努力をしています。今後も与勝第二中学校については、今行っている様々な特色ある学校づくり、小規模ならではの自慢できる学校づくりを学校とともに取り組んでまいりたいと思います。どうぞ御理解、それから御支援よろしくお願いいたします。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　教育長、どうもありがとうございました。
　続いての質問に移らせていただきたいと思います。福祉行政に関してです。高齢化社会になり、地域包括支援センターへの相談はどんどん増えているような状況であります。一方で、介護福祉業

界において居宅介護支援事業者だとか、福祉事業者の皆さんも、地域包括支援センターと連携をしながら事業を行っているところではありますが、福祉事業者の皆さんの経営が逼迫しているというような状況も見受けられて今回の一般質問に至りました。簡明な御答弁よろしくお願いいたします。それでは質問に移りたいと思います。

地域包括支援センターの機能強化についてであります。本市が地域包括支援センターへ委託している包括的支援事業の詳細をお聞きします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　高屋優議員の御質問へお答えいたします。

包括的支援事業には、総合相談、地域包括支援ネットワーク構築、実態把握等を業務とする総合相談支援業務、高齢者虐待や消費者被害の防止及び対応、判断能力を欠く状況にある方への支援等を業務とする権利擁護業務、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを介護支援専門員が実践できるよう、地域の基盤を整えながら個々の介護支援専門員へのサポートを業務とする包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、要支援者等が介護予防や日常生活支援を目的に、適切な総合サービスが提供されるよう必要な援助、プランニングの作成を業務とする介護予防ケアマネジメントが位置づけられております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　地域包括支援センターへの相談件数、その増加率についてお伺いいたします。具体的に１人当たりの相談対応件数や職員の業務負担はどのようになっているでしょうか。また、地域包括支援センターへの介護予防ケアプラン作成の依頼業務はどのくらいありますか。また、地域包括支援センターが対応できず、居宅介護支援事業所へ委託している状況は把握されているでしょうか。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

令和５年度地域包括支援センターの相談件数は、延べ２万7,363件で、前年度比6.7％の増加となっております。１人当たりでは、月108件で１日５件ほどの相談を受けている状況にあります。また、地域包括支援センターにおいて、介護予防支援や介護予防ケアマネジメントでプラン作成を行った件数は延べ7,027件で、居宅介護事業所に委託し、作成を行った件数は延べ5,945件となっております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　地域包括支援センターにおける職員の業務負担や課題について、これまで何かしらのお話などありましたでしょうか。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

相談や介護予防プランの作成件数が増加にあり、業務負担となっている専門職の人材確保が厳しいなどについての話がございました。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　介護予防ケアプラン作成業務が増加している一方で、報酬単価が低いために、居宅介護支援事業所との契約が進まず、質の高い支援が難しい状況にあります。この状況を市として何かしらの支援が検討できないかお伺いします。例えば、市独自で報酬単価への上乗せやプラン作成に係る人員配置の創出など、本市はどのような方針をお持ちでしょうか。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

介護予防支援費の基本報酬は、国において定めておりますので、市単独の報酬単価の上乗せは厳しいと考えており、介護報酬については、国の動向を注視しながら、必要な要望を行ってまいります。また、令和６年度制度改正により、居宅介護支援事業所も指定を受けることで、指定介護予防支援事業所として、直接介護予防プランの作成が可能ですので、多くの事業所が指定を取っていただけるよう、アプローチを行ってまいります。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　要支援の方のケアプランを作成するに当たって、月々約4,000数百円ということをお聞きしております。一方で介護のケア

プランを作成する際には約１万円ほど月々発生するということで、この価格差があって、居宅介護支援事業所もなかなか手をつけるのが難しいというような状況をお聞きしております。一方で宮古島市のほうでは、市独自で要支援のケアプランを作成して市独自の上乗せ料、約2,000円というのを行っているが、こちらに関してお聞きしたことありますか。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

その情報については伺っております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　続いての質問に移ります。居宅介護支援事業所に対して、指定介護予防支援事業所の指定を取得するようアプローチをした際に、何か問題点や課題はありましたでしょうか。また、介護予防プラン作成に関して、要支援者のプランニング作成の報酬単価が低いため、居宅介護支援事業所との委託契約が進まないと聞いておりますが、この点について当局はどのようにお考えでしょうか。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

基本報酬単価の低さや、受け持ち件数の関係などが大きな課題でありますが、プラン作成で煩雑さがあるとの意見もございます。今後は、要支援者のプラン作成で、簡易的なプランの作成の方法など、負担軽減の方策を検討してまいります。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　地域包括支援センターの機能を強化するため、包括的支援事業に係る追加の人員配置や委託料の増加が必要だと考えますが、市として検討できるかどうかお伺いします。また予算の恒常的な確保についても、併せてお伺いします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

地域包括支援センターの職員数につきましては、うるま市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例に基づき、基準を定めております。本市では、圏域ごとに基準の人員数の３人に１人を加えた計４人の人員配置の委託料になっており、委託料は、国が示している人員基準を基に、近隣市町村や同人口規模の市を参考に設定する必要があると思われます。また、包括的支援事業に係る地域包括支援センターの運営費は、国、県、市、第１号被保険者の保険料を構成とする地域支援事業交付金を特定財源として確保しております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　基準の人員数が３人に対して１人を加えた計４人の配置に関する委託料についてですが、条例を定めたときに比べ、高齢者の数が増加し、相談数などのサービスも年々増えていると考えます。私が提示している課題というのは、地域包括支援センターの人手不足に伴う高齢者に対するサービスの低下であります。この点について本市の見解をお伺いします。また、地域包括支援センターの運営費に関して、国や県に対して財源増を求めたことはありますでしょうか。従来に比べて人口構造が変化し、人手不足に伴う高齢者サービスの低下が懸念される中で、本市の見解をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

本市といたしましても、議員御指摘の課題については懸念するところでありますので、地域包括支援センターとともに、業務の見直しによる負担軽減に向けた取組と、人員の定着に向けた方策についての検討を行ってまいります。また、国や県に対しては、必要な要望を行ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　本市としても国や県に対して必要な要望を行っていきたいと確認できました。私も地域事業者の皆さんと一緒になって動いてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。地域包括支援センターの強化に向けた具体的な工程表や予算計画について本市の考えをお伺いいたします。また、委託費用負担に

関する地域包括支援センターとの協議の場を設置することについても見解を伺います。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。
　今回、本定例会第179回定例会の９月補正において、介護予防支援緊急対策事業費を計上しております。この事業では、包括職員が相談業務に注力できる体制になるための人員経費や業務効率化など、受託法人の負担軽減策に対し補助を行うことで、包括全体の安定的な運営を後押しする事業であり、第９期介護保険事業計画の間、実施する予定となっております。また、地域包括支援センターとの協議の場におきましては、毎年度、定期的に市と受託法人による法人連絡会を開催し、意見交換を行っております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　９月補正予算において、介護予防支援緊急対策事業を組んだ経緯についてお伺いいたします。また、第９期介護保険事業以降に関して今回の補正額を計上することについて検討していただけないでしょうか。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。
　経緯につきましては、これまで相談件数の増加やプラン作成業務に係る業務負担などの課題について支援策の検討を重ねており、今回、介護予防支援の現状を踏まえた対策事業として計画しております。なお、第９期介護保険事業以降については、国の動向を注視しながら、実施内容を検討し、必要な要望を行ってまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　ありがとうございました。
　最後に、現在地域包括支援センターが委託をしている包括的支援事業に関して、来年度彼らがもし受託をしないというような判断になった場合、どうされるでしょうか、お聞かせください。
○副議長（藏根　武）　休憩します。
　休　憩（１５時４２分）
　～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
　再　開（１５時４２分）
○副議長（藏根　武）　再開します。
　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　御質問にお答えいたします。
　このようなことがないよう努めてまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　ありがとうございます。よろしくお願いいたします。
　以上（１）を終わりたいと思います。
　次（２）に移らせていただきます。自治会における高齢者サークル活動への支援についてであります。この件に関しては健康寿命を延伸させて、先ほど話したように要支援だとか介護だとかに頼らない福祉医療に頼らない健康づくりを市としても後押ししていただきたいと思って質問をさせていただきたいと思います。本市における地域介護予防活動支援事業の詳細をお聞きします。併せて本事業の過去３年間の予算と執行額もお聞きします。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　高屋優議員の御質問にお答えいたします。
　本事業は、高齢者が自立した生活を送るために必要な運動で、生活スキルの維持・向上を目指し、住民同士の交流の促進にもつなげている事業になります。令和５年度は６団体から補助金の申請がありました。また、過去３年間の予算額と執行額については、令和３年度は予算額180万2,000円に対し、執行額79万9,212円。令和４年度は予算額132万1,000円に対し104万3,101円。令和５年度は予算額95万4,000円に対し78万2,021円となっております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　令和５年度の執行率は約82％ですが、これを100％に近づけるためにはどのような工夫が考えられるでしょうか。また、高齢者サロン活動については、６団体で78万2,021円の予算を執行しているとのことですが、６団体は具体的にどのような活動が行われたのかもお伺

いします。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。
　令和５年度の６団体は、健康づくり、三味線やカラオケなどの余暇活動、介護予防や趣味等の幅を広げるための講座等の活動を行っております。また、この事業を多様な組織・団体に活用していただくため、効果的な周知方法を検討し、執行率を上げていきたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　本事業を通して、高齢者の健康状態や介護予防に具体的な効果が見られたでしょうか。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。
　事業の参加者からは、体操を継続することで体力の維持及び筋力アップ、また、集うことにより様々な情報交換の場になっていると活動に対する効果等を伺っております。運動を継続することは日常生活の活動性を高めることができ、また、他者とのコミュニケーションや交流の機会となることから、参加者の健康状態や介護予防に効果的な通いの場であると認識しております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　沖縄ではユイマールや模合といった地域のつながりが健康長寿に大きく貢献しているという研究結果があります。これらの活動は孤独を防ぎ、精神的・社会的な安定感をもたらすことで、結果として長寿につながるとされています。また、沖縄は長寿地域「ブルーゾーン」としても世界的に注目されており、社会的なつながりが健康寿命を延ばす要因として認識されています。こうした観点を踏まえ、本市における地域介護予防活動支援事業においても、運動要素だけでなく、社会的つながりを持つことで健康寿命を延ばす効果が期待できると考えますが、当局の見解を再度お伺いしたいと思います。お願いします。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。
　議員からの御指摘がありますように、地域には、高齢者の交流の場が多様な形態で存在しております。そのような場に、介護予防に資する健康づくりや栄養改善、認知症予防等の活動を加えていただく視点を持ちながら、当該事業の有効性を広げていきたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　介護予防や予防医療の観点から本事業で定める高齢者サロンは、すばらしい取組だと思います。しかしながら高齢者サロンを開所するに当たり、週２回以上または月８回以上の開所、さらには、１回当たり原則90分以上開所するという基準は高過ぎるかと考えます。基準を緩和し、介護予防に資する事業として、高齢者が自主的に運営する通いの場に対して積極的に支援する施策や予算措置について、本市はどのような見解をお持ちでしょうか。
○副議長（藏根　武）　福祉部長。
○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。
　本事業の基準につきましては、厚生労働省報告書「介護予防ガイド」を参考に基準を定めております。御指摘の基準につきましては、本事業が介護保険法の地域支援事業の介護予防・日常生活支援総合事業に位置づけられており、フレイル予防の観点から、週１回の活動の基本は維持する必要があると考えております。そのほか、市の実情に合った基準の見直しや予算措置については、今後検討してまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　高屋優議員。
○２番　高屋　優議員　現在の地域介護予防活動支援事業は基準が高いため、令和５年時点６団体のみが予算の執行対象になっていると考えられます。フレイル予防の観点から、週２回以上の基準を週１回以上に緩和することで、多くの高齢者が介護予防に参加しやすくなり、この事業の執行率も100％に近づくと考えます。また、予算措置については、全てを無料にするのではなく、参加者が一部費用を負担することで、健康意識が高まる効果も期待できるため、助成や８割補助などの形で見直すことも有効だと思います。市民が望む事業については、財政運用の透明性や地域住民の意

見を反映する観点からも、前向きに御検討いただければ幸いです。当局の見解をお伺いします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

当該事業は、介護予防の地域展開を目指し、介護予防に資する住民主体の通いの場などの活動を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に支援することを目的としています。今後は、介護予防の視点も考慮しつつ、基準や補助割合等について、近隣市町村の現状を把握しながら検討を行ってまいります。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　ありがとうございます。期待しておりますのでよろしくお願いいたします。

続いて（３）、こちらに関しても先輩方がアクティブに動き健康寿命を延ばしてほしい思いから質問をさせていただきたいと思います。

75歳以上の高齢者の本市主催の教室・講座参加対応についてであります。健康支援課が主催する運動教室や料理講座において、参加年齢の上限が74歳とされていますが、この年齢制限を設けた理由や基準を教えてください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　高屋優議員の御質問にお答えいたします。

健康支援課で行っている運動教室や料理講座につきましては、国民健康保険の保健事業として国保財源を活用しているため、国民健康保険加入の上限であります74歳までを対象としております。また、腎臓病や高血圧などの生活習慣病発症予防のために現在行っている減塩教室では、生活習慣病予防健診及び特定健診の対象者である74歳以下の方を対象とし、保健指導等に結びつけられるために、若い世代をターゲットとして呼びかけながら事業を実施しております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　現在の75歳以上の市民も依然として元気であり、運動教室や料理講座などに積極的に参加したいと希望する方が多くいらっしゃいますが、このようなニーズに対して、本市はどのように対応する予定でしょうか。お願いします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　御質問にお答えいたします。

参加を希望する声があるのは承知しておりますので、教室や講座等が定員に満たない場合には、国民健康保険未加入者や75歳以上の参加も可能として、柔軟に対応しております。本市におきましては、75歳以上の方が参加可能な教室や講座等が多数ございます。まず、介護保険事業において、全ての高齢者の介護予防活動が継続して取り組めるよう自治会を含め、地域の多様な場で、健康づくり教室や体操サークルなどへの支援を実施しております。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施において、65歳以上の高齢者の集会の場に出向き、口腔ケアなどの講話や運動等を取り入れた健康教育、健診結果を踏まえた健康相談等を実施しております。また、健康うるま21推進事業において、健康づくりに関する市民講座や料理教室を実施しており、75歳以上の方も受け入れております。そのほかにも事業の目的等は異なりますが、教育委員会などで主催する生涯学習やスポーツや文化などの各種教室や講座等も開かれ、高齢者の参加が可能なものも多数ございます。これらの教室や講座等に積極的に御参加いただき、生きがいづくり、健康づくりにつなげていただきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　75歳以上の市民の参加を認めるために、年齢上限の見直しを検討することは可能でしょうか。お願いします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　御質問にお答えいたします。

国保事業としての教室や講座等につきましては、先ほども申し上げましたとおり、国民健康保険税を財源とした事業であるため、年齢上限の見直しは大変厳しいものと考えております。本市におきましては、国民健康保険事業以外にも、75歳以上

の方が参加可能な教室や講座等が多数開催されておりますので、まずはそちらを御案内できればと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　この75歳以上の方が参加可能な教室や講座等なんですけれども、これらというのは広報うるまに掲載がされているのでしょうか。お聞かせください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　お答えします。

これらの情報については、広報うるまのほうにも掲載してございます。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１５時５５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１５時５５分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

本日の会議時間は、議事の都合によりあらかじめ延長したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本日の会議時間を延長することに決定いたしました。

高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　部長、ありがとうございました。

最後の項目、帯状疱疹ワクチン接種の公費導入についてお聞きしたいと思います。近年、帯状疱疹が徐々に蔓延しているとの報告がありますが、本市における発症状況や発症予防のために現状、どのような対策が取られているかお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　高屋優議員の一般質問にお答えいたします。

帯状疱疹の発症状況につきましては、統計等がないため把握が難しい状況であります。発症予防につきましては、予防方法等の周知啓発で対策を行っておりますが、個人個人での対策が重要であり栄養バランスのよい食事、十分な睡眠、適度な運動、ストレスを減らすなど、免疫力を低下させないことが大切であります。また、発症や重症化を抑えるためのワクチン接種も有効とされております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　厚生労働省は帯状疱疹ワクチンを定期接種に含める方針を示しています。また、東京都では2023年度より接種費用を公費で補助する取組が始まっていますが、本市としてはどのように対応を検討しているでしょうか。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　御質問にお答えいたします。

議員御指摘のとおり、現在、厚生労働省の専門家委員会において、定期接種化の方針で議論・検討がされておりますが、定期化を見据えますと、現段階においての公費補助は大変厳しいものと考えております。今後は国の動向に注視しながら、定期接種化されることを前提に、その実施に向けた準備を行ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　帯状疱疹は発症後に痛みが長期化するケースも多く、市民の生活の質に大きな影響を与えています。当局はどのように認識していますでしょうか。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　御質問にお答えいたします。

帯状疱疹の発症は、その後の合併症として、帯状疱疹後神経痛のように長期にわたる治療が必要となる場合もあることから、ワクチン接種により発症や重症化を抑える効果が期待でき、予防接種をする意義は大きいと認識しております。先ほども答弁いたしましたが、定期接種化を見据えますと、現段階においての公費補助は大変厳しいものと考えております。定期接種となった際には、接種に対する医療費抑制の程度や公費助成による財政負担なども比較検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　再度お聞きします。

東京都では、帯状疱疹ワクチン接種に対する補助事業として、生ワクチンと不活化ワクチンの接種費用をそれぞれ補助しております。本市においても同様の補助制度を導入することは可能でしょうか。お伺いします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　御質問にお答えします。

先ほども答弁いたしましたとおり、本市においては、現段階での公費補助は大変厳しいものと考えております。現在、国においての議論では、定期接種へ位置づける方針となっており、今後は対象年齢やワクチンの種類について最終判断していくようでございますので、定期接種となった際には、公費助成についても検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　ありがとうございます。以上をもちまして福祉行政の質問を終え、最後の項目、経済活性化に向けての質問に移らせていただきます。

高さ制限撤廃の進捗と建蔽率の見直しについてであります。景観計画の高さ制限撤廃の進捗についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　高屋優議員の御質問にお答えいたします。

景観計画の高さ制限見直しに向けた改定の進捗といたしましては、現時点で庁内の内部委員会、景観みどり審議会、各地区における住民説明会、パブリックコメントを実施しており、改定の原案作成まで完了しております。今後は、原案を基に再度、内部委員会、景観みどり審議会に諮り、年内で市の都市計画審議会での意見聴取を実施したいと考えております。景観計画の改定の公告につきましては、年明けを予定しております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　経済活性化に向け、用途地域見直しに伴う建蔽率や容積率の規制緩和について、本市における経済活性化を図るために、用途地域を見直し、建蔽率や容積率を上げ、民間投資を促進するために、規制を緩和すべきではないでしょうか、当局の見解をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

建蔽率及び容積率制限に関する法的趣旨は、地上空間に空地を確保すること及び周囲の道路や上下水道等の都市インフラ施設にかかる負担をコントロールすることにより、周辺環境の悪化防止を図るものでございます。建蔽率及び容積率制限につきましては、住環境、都市インフラ能力及び市全体の都市計画と密接な関係があることから、見直しについては、慎重な検討が必要だと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　部長か参事にお答えいただきたいと思っているのですけれども、高さ制限を撤廃しただけで、どのような民間需要を喚起することが期待できるでしょうか。お願いします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　今回、景観計画の高さの撤廃ですけれども、民間投資の需要喚起ということで民間建築物について、特に高さの制限の撤廃がありますので、かなり高層の建築物とか、そのあたりも建設されるものと考えておりますので、そのあたりでかなり活性化に関わると思っております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　例えば小さな面積において、容積率、建蔽率が限られている場合においては、高さが建てられないと思うのですけれども、それに関してはどう思いますか。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

先ほども申し上げたように、都市インフラ施設にかかる負担をコントロールさせるというところでの建蔽率、容積率の意味合いもございますので、

やみくもに高さを撤廃する、制限を見直すというのは大変難しいかと考えております。

○副議長（藏根　武）　高屋優議員。

○２番　高屋　優議員　ありがとうございました。州崎地域に隣接する下原地域や勝連南風原地域では、農業振興地域の除外を進め、企業誘致や人口増加につながるよう民間業者によるマンション投資等も含めた促進をするべきだと考えます。現在行われている農業については集約化を図り、利用されていない耕作放棄地も合わせて活用すべきだと思います。守るべき農業は守りつつ、都市化に向けた計画を積極的に進めていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上をもちまして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　以上で本日の日程は終了しました。

次回は、９月24日火曜日午前10時から会議を開きます。

本日は、これで散会します。

散　会（１６時０４分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

副　議　長　　藏　根　　武

７番議員　　伊　波　良　明

８番議員　　神　田　洋　一

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（７日目）

◎　令和６年９月24日（火）　　（１０時００分　開議）

◎　出席議員（26名）

１番	真栄城　　隆	議員	
２番	高　屋　　優	議員	
３番	糸　数　昌　宗	議員	
４番	伊　盛　サチ子	議員	
５番	金　城　加奈栄	議員	
６番	国　吉　　亮	議員	
７番	伊　波　良　明	議員	
８番	神　田　洋　一	議員	
９番	平　良　一　雄	議員	
10番	真　壁　朝　弘	議員	
11番	幸　喜　　勇	議員	
12番	玉　元　哉　世	議員	
13番	玉　城　政　哉	議員	
14番	池宮城　善　伸	議員	
15番	伊　礼　　正	議員	
16番	宮　城　一　寿	議員	
17番	仲　程　　孝	議員	
18番	又　吉　法　尚	議員	
19番	下　門　　勝	議員	
20番	天　願　久　史	議員	
24番	國　場　正　剛	議員	
25番	大　城　　直	議員	
27番	佐久田　　悟	議員	
28番	兼　本　光　治	議員	
29番	藏　根　　武	議員	
30番	伊　波　　洋	議員	

◎　欠席議員（１名）

23番　比　嘉　直　人　議員

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	防災広報対策部長	大　田　義　浩
副　市　長	佐久川　　篤	福　祉　部　長	幸　地　美　和
教　育　長	嘉手苅　弘　美	こども未来部長	上　原　利恵子
総　務　部　長	山入端　立　也	こども未来部参事	上運天　　健
企　画　部　長	金　城　和　明	市民生活部参事	古　謝　哲　也
財　務　部　長	島　袋　史　朗	経済産業部長	岸　本　　力

農林水産部長	座喜味　達　也	社会教育部長	川　端　　登
都市建設部長	名嘉眞　　睦	社会教育部参事	兼　城　哲　夫
水　道　部　長	座間味　　修	学校教育部長	大　里　元　児
消　　防　　長	新　垣　　隆	総務政策課長	諸見里　直　樹

◎　事務局出席者

議会事務局長	知　念　義　浩	調査広報係長	伊　禮　君　人
議　事　課　長	石　川　秀　吉	議事係主査	伊　藤　　靖
議　事　係　長	森　根　元　気	調査広報係 主任主事	山　城　　太

◎　議事日程第７号
　　第１．会議録署名議員の指名
　　第２．一般質問

◎　会議に付した事件
　　議事日程に同じ

○副議長（藏根　武）　これより本日の会議を開きます。
　本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第７号のとおりです。
　日程第１．会議録署名議員の指名を行います。
　本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、平良一雄議員、真壁朝弘議員を指名します。
　休憩します。
　　休　憩（１０時０１分）
　　～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
　　再　開（１０時０２分）
○副議長（藏根　武）　再開します。
　日程第２．これより一般質問を行います。
　発言時間は当局答弁を含まず、30分以内です。通告がありますので、順次発言を許します。真栄城隆議員。
○１番　真栄城　隆議員　皆さん、おはようございます。連休明けの一発目でございます。16番目になりますので、一般質問は今日から後半戦になります。今日はコロナ関連で３件、それから防災・減災関係の質問、また健康支援関連の２件、合計６点についてお聞きいたします。議長の許可をいただきましたので、簡明なる答弁をよろしくお願いします。
　まず、１点目の保育事業ですが、こども誰でも通園制度についてお聞きいたします。本市は、今年４月１日時点において県内11市においては初となる待機児童ゼロを達成し、保育に携わる市内各施設の皆様、市長をはじめとする担当部署の職員、そして私たち議員も大変大きな喜びに包まれました。年度途中の待機児童課題は依然残りますが、次なる課題は保育の質の向上であります。保育士が生き生きと働ける環境を整備するため、今年度から４歳から５歳児の保育士配置が30人から25人に、何と76年ぶりに見直されました。また、利用しやすい保育サービスを目指し、こども誰でも通園制度がモデル事業として取り組み始められました。今日はこども誰でも通園制度について、事業説明と本市の意向をお聞きいたします。
○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。
○こども未来部参事（上運天　健）　おはようございます。真栄城隆議員の御質問にお答えいたします。
　令和８年度から全ての自治体で本格実施を予定しておりますこども誰でも通園制度は、保育所などを利用していないゼロ歳６か月から２歳までの乳幼児を対象に、保護者の就労要件にかかわらず１人当たり月一定時間までの利用可能枠の中で柔軟に利用できる新たな給付制度となっております。同事業への本市の取組状況は、令和８年度の本格実施に向けて、本年度は制度の調査・研究を行っており、令和７年度はこども誰でも通園制度の試行的事業に取り組み、本格実施に向けて準備を進めていきたいと考えております。なお、今年７月に行いました同事業への保育施設等によるアンケート調査では、回答のありました44施設中13施設が実施を検討していると回答を得ております。
○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。
○１番　真栄城　隆議員　このこども誰でも通園制度の特徴は、親の就労にかかわらず子供を預けることができるとの説明でありました。令和７年度より試行的事業も実施意向と伺いましたが、施設数、利用負担額、利用者予定数、利用者のニー

ズについてお伺いいたします。
○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。
○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。
先行実施しております那覇市や浦添市の実施方法を参考に、施設数を検討してまいりたいと考えております。また、利用者負担額は１時間当たり400円程度、利用者数は実施する施設数に応じて定めていきたいと考えております。利用者ニーズにつきましては、昨年度未就学児の保護者を対象に行った調査では約70％の保護者が「利用したい」と回答しております。
○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。
○１番　真栄城　隆議員　県内で最も早く先行実施を行っている浦添市では、７月から１施設でスタートしました。しかし10月には早くも３園増やす予定と聞いております。ニーズが大変高い事業だと推測しておりますが、本市の保育ニーズから、施設数は広範囲の地域特性も考慮し、４施設以上の実施施設数が適切と考えますが、いかがでしょうか。
○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。
○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。
令和８年度こども誰でも通園制度の本格実施に備えて、現在、調査・研究中でございます。次年度実施予定の試行的事業の実施方法などにつきましては、議員御提言の地域特性も含めて検討してまいりたいと考えております。御提言ありがとうございます。
○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。
○１番　真栄城　隆議員　保育所などに通っていない未就園児の家庭では親が疲弊し、不安や悩みを誰にも相談できない孤立化が増えております。月10時間とはいえ、親が休息を取ったり、子育てについて保育士から助言を受けられることから、よりよい育児環境を整えることが期待できます。また、子供にとっても集団遊びの経験で社会性が身につくと言われております。これまで乳幼児への支援が手薄でしたので、この制度には大変大きな期待を持っております。本格実施の前にニーズと効果を検証していくことが重要ですので、次年度から試験的実施をよろしくお願いします。
続きまして２項目め、児童手当の拡充について伺います。来月から児童手当法が改正されます。改正の主な内容の説明をお願いします。また、新たに児童手当の受給対象となる高校生年代、さらに多子加算の算定方法の変更によって手続が必要となる世帯への周知方法や手続状況をお伺いします。
○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。
○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。
児童手当法の改正に伴い、令和６年10月より５点の拡充が行われます。１点目に所得制限の撤廃。２点目に支給対象児童の年齢を中学生から高校生年代に延長。３点目に第３子以降の手当額を月額１万5,000円から３万円に増額。４点目に第３子以降の算定に含める対象年齢を高校生年代から大学生年代に延長。５点目に支給回数を年３回から年６回払いに変更となります。
また、今回の改正に伴い新たに申請が必要な方といたしまして、１点目に所得上限限度額以上の所得があるため、支給対象外となっている方。２点目に高校生年代の児童のみを養育している方。３点目に新たな多子加算の算定対象となる18歳年度末以降22歳年度末までの子と高校生年代までの児童の合計人数が３人以上の方などとなっております。申請が必要な方の１点目と２点目に該当する可能性のある方に対しましては、８月20日付文書にて手続の案内を行っております。本通知は約1,900人へ送付しており、９月10日時点で約1,000人からの申請がある状況となっております。申請が必要な方の３点目に該当する可能性のある方への周知につきましては、住民基本台帳をベースに抽出し、９月中旬をめどに申請案内を通知する予定となっておりますが、別居している子などのいる世帯など、把握が難しいケースがあるため、市広報紙やホームページ、ＬＩＮＥなどを活用し周知を図ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　細かい答弁ありがとうございます。所得制限の撤廃、中学３年生までの支給が３年延びて高校卒業年代までの拡大、第３子以降は倍増、給付間隔の短縮等、今回の児童手当の大幅拡充は、多くの方から喜びの声が届いてまいります。第１子が受け取る児童手当は、遡ってみると25年前までは３歳未満までが支給対象で、合計18万円でした。今回の拡充により高校生年代まで支給されることから、最大245万円と大幅増額となっております。第１子だけの支給額でも大きくアップしておりますが、多子世帯３人以上はさらに大きな支給となり、さらに社会全体で子育てをする環境整備が整ってまいります。今回質問に取り上げた理由は、申請の必要な方への通知と申請がしっかり行われているのかの確認であります。所得制限の撤廃で新たに支給される方や、高校卒業年代まで延びたため、再び児童手当対象となる方が市内には1,900人。９月10日現在、申請があったのが過半数を超えたとありますが、仮に申請手続が遅れた場合、支給に影響はありますでしょうか。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

今回の改正に伴う申請手続につきましては、申請猶予期間が令和７年３月31日までとされておりますので、その期間内に申請があれば、令和６年10月に遡って支給することが可能となっております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　改正後最初の支給が12月予定となっておりますので、少しでも多くの対象者が足並みそろえて給付開始となるようお願いいたします。

次に、第１子年齢引上げにより新たに多子加算の算定対象となる方の申請であります。住民基本台帳をベースに抽出し、今月中旬をめどに申請案内を通知する予定と伺いましたが、実施状況をお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

申請が必要な方の先ほど答弁いたしました３点目に該当する可能性のある方への申請案内通知につきましては、本日、約830世帯に対し発送する予定となっております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　本日発送予定とのことであります。大変ありがとうございます。よろしくお願いします。しかしながら、３点目に該当する申請が必要な方で、新たに多子加算の算定対象となる18歳年度末以降22歳年度末までの子と高校生年代までの児童の合計人数が３人以上の方という文言が非常に分かりづらい文言となっております。例えば、３人兄弟の一番上のお兄ちゃんもしくはお姉ちゃんが今年３月に高校を卒業してしまい、今までは末っ子の弟や妹が今年の春から第２子となる数え方だったけれども、改正により、来月からは高校を卒業したお兄ちゃん・お姉ちゃんも第１子として数えますよ。そのためには、申請手続をしてくださいとのことになります。申請に気づいてもらうよう、ちょっと大変ではありますが、市民の子供世帯の方が、もしかすると我が家は子供が３人いるけれど、申請すれば児童手当が増えるかもしれないと思う御家庭は、一度市役所に聞いてみるという問合せ番号の案内や窓口設置を検討する必要があるのではないかと思いますが、今後の申請状況も鑑みながら御検討のほどよろしくお願いします。

続きまして３点目、こども政策。こどもの貧困アンケートについてお聞きいたします。沖縄県の子供の身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態、いわゆるウェルビーイングの実現を目指し、教育・保健医療・福祉分野などの研究機関設置を目指す取組が始まっております。これまで自民党・公明党の議員連盟が発足しており、沖縄県に支援拠点「（仮称）国立こどもまんなかウェルビーイングセンターｉｎ沖縄」設立に向けた調査・研究費用１億7,500万円が来年度の沖縄

関係概算要求に計上されております。子供の貧困は、将来の社会を担っていく彼ら・彼女たちの夢や希望を失うリスクとなり、社会的損失であると言わざるを得ない課題であります。今回、うるま市のこども貧困対策推進計画が発表されましたが、基礎資料となったアンケート調査結果についてお聞きいたします。貧困の調査で一般的に使われる相対的貧困率のほかに、剥奪指標による分析が行われております。剥奪指標について具体的説明を求めます。

○副議長（藏根　武）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　おはようございます。真栄城隆議員の御質問にお答えいたします。

剥奪指標とは、過去１年間で経済的理由により電話・電気・ガス・水道料金、家賃や住宅ローン、校納金、クレジットカードやほかの借金の支払いが２つ以上できなかった世帯を生活困難世帯と定義したもので、生活困窮の状況を多目的に把握するための調査指標でございます。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　貧困の実態を捉えようとするいい項目かと思いますが、さらに項目を増やすものとして学習塾、インフルエンザワクチン接種等の支払いが滞った設問ではなく、希望するが費用負担が厳しく、利用などを諦めた場合も生活困難世帯とすべきではないかと思いますが、いかがでしょうか。

○副議長（藏根　武）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

剥奪指標につきましては、第２期沖縄県子どもの貧困対策計画において主要指標として示されているものに、生活を行う上で必要な最低限の支払いについて、市の独自指標として家賃やクレジットカードの支払いに関する項目を加え、調査しております。また、議員の御質問にあります学習塾に関しましては、その他の項目として習い事などの状況で調査されております。本計画は、令和９年度までの４年計画となっております。今後、こども計画等の策定に合わせ、統合を視野に見直す予定となっておりますので、その際は、提案のありました質問項目について検討させていただきたいと思います。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　貧困調査では、子供の心の貧困についても調査を行っております。具体的な説明を求めます。

○副議長（藏根　武）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

経済的貧困が子供の心の貧困にどのように影響しているのかの把握に努めるために調査をしております。具体的には「頑張れば報われる」「家族に大事にされている」などの質問に対し、否定的な回答を２つ以上した子供を心の貧困状態と定義し、分析しております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　低所得や生活困難世帯のほか、一般層でも心の貧困状態を抱える子供の多さに貧困問題の難しさを感じております。半世紀前のことですが、私たちが子供だった頃、物が今ほどなく、半ズボンで校庭や砂利道を走り回っておりました。ほぼ毎週転ぶのが当たり前でしたから、膝は年中傷だらけで、小学校卒業までじゅくじゅくしたかさぶたの膝であったと記憶しております。今から比べると物がない時代。周りも貧困が普通でありました。ただし、心の貧困はそれほどなかった印象があります。比較できる過去に行われた心の貧困調査はありませんでしょうか。

○副議長（藏根　武）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

本市の過去に行われた子供に関する調査につきまして、心の貧困調査は行われておりません。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　児童精神科医で臨床心理学者の滝川一廣氏は、社会全体が貧しく周りも多かれ少なかれ貧しさを共有していたときには、その貧しさをばねに、その克服を目指して学業に

励むという在り方が定型となったのに対し、周りの豊かさからこぼれるように貧困化している場合は、その貧しさはばねとしては効かず、むしろ士気喪失をもたらすと指摘しております。実に鋭い視点であり、現在の子供の貧困は昔の貧困とは違うということを鋭く指摘しております。

次に、貧困対策推進計画の中には就職につながる資格取得等の支援として、生活困窮世帯の15歳から30歳までを対象にした若者就業支援プログラム事業があります。事業内容と実施状況を伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

若者就業支援プログラムは、沖縄産業開発青年協会が資格取得の養成機関となり、約半年間の技能訓練を通して青少年の健全育成を図り人材を育成することを目的とした事業であり、主に建築や土木関係の12種類の資格取得が目指せます。支援人数は平成30年度８人、令和元年度は６人、令和２年度は11人、令和３年度は９人、令和４年度は12人、令和５年度は９人となっております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　若干飛躍してしまいますが、この資格取得支援の対象を児童扶養手当受給者の事由の８割以上を占める離婚後の資格取得支援に事業として実施できないか伺います。これは、離婚による養育費の支払いが極めて低いため、打開策として提案するものであります。養育費受領率の低さは全国的にも課題となっております。一部自治体では市が立替えをしたりする事例があります。６月に成立した改正こどもの貧困対策推進法には、養育費受領率向上が明記されております。そこで、所得の低い支払い義務者の賃金の上昇を目的に資格取得支援の対象者とする提案であります。いかがでしょうか。

○副議長（藏根　武）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

ひとり親に対する資格支援といたしまして、母子家庭等対策総合支援事業がございます。看護師や理学療法士等の修業期間中におきまして、生活費に対する給付事業や指定講座受講に対する受講経費の６割補助、またはパソコン講座の実施など、資格取得に向けた支援をひとり親家庭へ実施しているところでございます。また、議員の御質問にもございますように、国では子供の貧困の解消に向けた対策に関する大綱において、ひとり親世帯の養育費受領率等に関する指標及び当該指標の改善に向けた施策が明記されております。議員御提案の件につきましては、子供の貧困の解消に向けた対策として調査・研究してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　では、次の質問に移ります。自治体こども計画策定のためのガイドラインについて伺います。私もちょっと意外だと思ったのは、日本が子どもの権利条約に批准して30年が経過するそうですが、子供の権利を定めた法律がなかったそうです。国連から何度も催促があり、ようやく昨年４月、こども基本法ができて大いに期待しておりますが、国のガイドラインに沿ってうるま市版こども大綱の策定が重要だと思っております。所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

うるま市版こども大綱の策定につきましては、こども基本法において、国はこども施策に関する大綱を定め、市はこども大綱を勘案して当該市町村におけるこども施策についての計画を定めるよう努めるものとされております。本市におきましては、本市版こども大綱ではなく、こども計画策定について今後検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　この指針には、子供や若者、子育て当事者への意見聴取の大切さが指摘されております。地元で暮らす子供の意見から、大人では気づかない地域の特色や課題に合った政

策が期待されております。ファシリテーター派遣も行っているとのことですので、積極的に活用し、こども施策策定をよろしくお願いいたします。

４項目め、防災・減災。（１）高密度ポリエチレン管について伺います。防災・減災について一般質問を行いますが、今日は水道・トイレに絞ってお聞きいたします。今年のお正月に起こった能登半島地震では、ライフラインの復旧の遅れが大きな問題となりました。揺れの大きかった輪島市では、地震から１か月たっても市内のほぼ全域の約１万戸で断水が続いていると読売新聞の報道にありました。地震の揺れに対し、水道管の老朽化が問題となっておりますが、水道管の素材にも耐震性の強弱があると聞いております。地震に強い水道管についてお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　おはようございます。真栄城隆議員の御質問にお答えいたします。

水道管の素材につきましては、一般的に鋼管やダクタイル鋳鉄管などの鉄管と、ポリエチレン管や塩化ビニール管などの合成樹脂管に分類されますが、耐震性は水道管の素材よりも継ぎ手の構造が重要であり、現在はＧＸ形継ぎ手のダクタイル鋳鉄管と融着継ぎ手の水道配水用高密度ポリエチレン管が耐震性のある水道管として多く利用されております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　では、再質問します。

一般的に、耐震性に重要なものは水道管の素材と思っておりましたが、ただいまの答弁では継ぎ手の構造とありました。なぜ、継ぎ手の構造がより重要なのかお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　お答えいたします。

一般的な水道の管路は、１本の長さが４メートルから６メートルの管をつなぎ合わせた構造となっておりますが、これまでの震災で地盤沈下などによる管への影響は、管そのものが破壊するのではなく、継ぎ手が外れることにより管が破断した事例がほとんどでございます。このような従来の水道管の弱点である継ぎ手を地震時にも外れにくくした構造が耐震継ぎ手であり、耐震管と分類されております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　輪島市の水道管の総延長は約600キロメートルであります。本市の水道管の総延長距離をお聞きします。また、高密度ポリエチレン管を推奨しているとのことでありますが、施工実績もお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　お答えいたします。

本市の水道管の総延長は、令和５年度末現在、約775キロメートルでございます。また、高密度ポリエチレン管の実績といたしましては、平成19年度から採用しており、現在管路延長は約116キロメートルで、総延長に対する割合は約15％となっております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　ダクタイル鋳鉄管も耐震性が高いようでありますが、ダクタイル鋳鉄管の布設はありませんでしょうか。使用していれば、施工実績もお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　お答えいたします。

本市のダクタイル鋳鉄管の延長は約498キロメートルで、総延長に対する割合は約64％となっており、うち耐震適合性のある管路は約120キロメートルで、総延長に対する割合は約15％となっております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　耐震性が高いのは、高密度ポリエチレン管とＧＸ形継ぎ手のダクタイル鋳鉄管であることを認識いたしました。今後も順次耐震性のある水道管に交換すると思いますが、２種を使い分ける採用条件についてお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　水道部長。

○水道部長（座間味　修）　お答えいたします。

高密度ポリエチレン管とダクタイル鋳鉄管の使い分けについてですが、まず口径において、高密

度ポリエチレン管については日本水道協会規格で口径50ミリメートルから口径150ミリメートルのため、それ以外はダクタイル鋳鉄管となります。また、使用水圧について、高密度ポリエチレン管の使用圧力が0.75メガパスカル以下の使用となっており、それ以上の水圧となる場合についてはダクタイル鋳鉄管を使用しております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　ものづくり企業が集積する本市東海岸の州崎地域の中に、高密度ポリエチレン管の生産を行っている企業があります。先月には、建設委員会全員で所管事務調査も行ってきました。本市でも耐震適合性の高い水道管へ移行していることが確認できました。今後も防災・減災に強いインフラ整備を要望するとともに、長寿命化も今後は考慮していただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

続きまして２項目め、マンホールトイレについてお聞きいたします。このマンホールトイレに関しては、令和３年12月にも一度お聞きしております。広域避難所の一つである具志川運動公園内に防災トイレが使用できるマンホールトイレの整備が可能かどうかお聞きしておりました。答弁では、今後関係部署と調整を行い、検討したいと答えております。あのときから約３年近く経過いたしました。いよいよ防災機能を備えた総合体育館が着工されようとしております。改めてマンホールトイレ整備についてお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　おはようございます。真栄城隆議員にお答えいたします。

現在、整備に向け取り組んでおります新総合体育館につきましては、基本計画を策定したところではございますが、同計画においてはマンホールトイレについても20基の整備を想定し盛り込んでいるところであり、新総合体育館の整備に併せて同施設の敷地内に設置する見込みとなっております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　大変明快な御答弁ありがとうございます。そのテンポでもう一つ質問いたします。お隣の沖縄市では、避難所に指定している美東小学校で災害用トイレを設置していると聞いております。また、本市でも与勝第二中学校体育館整備の際に５基設置したとのことでありますが、まだまだ整備が必要だと感じておりますので、今後整備が検討されており、かつ市の避難所として指定されております兼原小学校での設置検討はいかがでしょうか。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

指定避難所等におけるマンホールトイレの設置につきましては、避難所における生活環境の維持といった点から効果があるものと認識しておりますので、議員御提言の兼原小学校での設置につきましても関係部署と検討・調整してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　本市は、石川－具志川断層系による地震が想定されております。また、南海トラフ巨大地震による最大津波４メートルと想定であります。「天災は忘れた頃にやってくる」は寺田寅彦の言葉でありますが、異常気象や混乱した台湾地震の津波避難などは、裏を返せば、災害が身近になっているともいえます。防災・減災ともに目指して頑張ってまいりましょう。よろしくお願いします。

続きまして、アピアランスケアについて質問を行います。最初に、このアピアランスケアに対する執行部の認識を伺います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　真栄城議員の御質問にお答えいたします。

アピアランスケアにつきましては、一般的には医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアと言われており、がん医療の進歩により治療を継続しながら社会生活を送るがん患者が増加している中において、アピアランスケアの必要性が認識

され始めている状況と考えております。
○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。
○１番　真栄城　隆議員　一昔前までは、がんにかかるとほぼ死亡宣告に等しいものでありました。しかし、日進月歩に発展する医学はがん患者の生存率を極めて高い状態まで持ち上げております。アピアランスケアと関連いたしますので、がんの罹患状況とがんの生存率の推移をお聞きいたします。
○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。
○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。
公益財団法人がん研究振興財団のがんの統計2024年版によりますと、がんの罹患者数は男女ともに増加傾向にあり、男性では肺がん、大腸がん、前立腺がんの割合が増加しております。女性では肺がん、大腸がん、乳がんの割合が増加しており、特徴としましては、女性の乳がんは40歳代後半から60歳代後半、子宮がんは20歳代以上の若い年代の罹患率が大きく増加しております。また、全てのがんにおける５年相対生存率が1990年代後半から上昇しており、2006年から2008年の診断例では62.1％、2009年から2011年の診断例では64.1％と多くの部位で生存率が伸びており、議員御指摘のとおり、医療技術の進歩が大きく貢献しているものと考えております。
○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。
○１番　真栄城　隆議員　生存率の上昇とともに、がんとの共存が定着し始めております。最初に答弁いただいたアピアランスケアが必要不可欠となっております。そのため、県内自治体ではアピアランスケアに対する助成制度を行っている自治体がありますが、実施自治体をお聞きいたします。
○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。
○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。
アピアランスケアに対する助成制度がある県内自治体は那覇市、浦添市、糸満市、豊見城市、南城市、沖縄市、宮古島市、石垣市、南風原町、恩納村、北谷町、北中城村、与那原町、そして本市を含め合計14市町村となっております。
○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。
○１番　真栄城　隆議員　続きまして、（２）頭髪補整具（ウィッグ、帽子等）、乳房補整具（補整下着、補整パッド、人工乳房）の購入費助成について伺います。今議会で審議されておりました議案第70号　令和６年度うるま市一般会計補正予算（第４号）に予算計上されているがん患者アピアランスケア事業助成金40万円、大変ありがとうございました。予定する実施内容について、再度お聞きいたします。
○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。
○市民生活部参事（古謝　哲也）　真栄城議員の御質問にお答えいたします。
がん患者アピアランスケア事業の内容につきましては、がん患者の心理的・経済的負担軽減及び療養生活の質の向上を目的として、がんと診断されてその治療を受けた、または現に受けている者で、当該治療による外見を補完するウィッグや乳房補整具等の購入費用に対し２万円を上限として助成しております。助成対象につきましては、令和６年４月１日以降に購入したものから適用する予定としております。
○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。
○１番　真栄城　隆議員　１人当たり上限２万円、合計40万円補助とあります。20人の方への支援となりますが、根拠となった数値はありますでしょうか。
○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。
○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。
この事業につきましては、沖縄県の助成制度に基づき実施されるものでございまして、県が示す算定において、アピアランスケア支援事業先行実施県の令和３年度実績を参考に、各市町村の罹患数に対するアピアランスケア支援事業申請実績件数の割合を２％から５％と仮定して、その中央値でございます20人が根拠となっております。
○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。
○１番　真栄城　隆議員　今回アピアランスケア

事業を取り上げた経緯がございます。友人が、がんになりました。入院、手術、抗がん剤投与と治療を受け、がん治療そのものは経過が順調でありました。しかし、抗がん剤の副作用は別物で、激しい吐き気や脱毛に苦しみました。病院からはウィッグの購入を勧められましたが、その際沖縄市在住なら助成金があったのにと言われ、さらにショックを受けておりました。そのことを市長をはじめ、担当職員へ６月定例会最終日にお伝えいたしました。そして、早速補正予算を組んでいただき、同僚議員の多数の賛成もありまして、事業開始となります。私の友人は助成対象となりませんが、とても喜んでいただいております。このアピアランスケア助成は年度途中からのスタートでありますので、対象となる市民の方へ周知することが喫緊の課題となってまいります。４月に遡って対象とすること、精神的にきつい治療を受ける方への周知でありますので、配慮する文面も必要かと思いますが、今後の周知取組をお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

議員御指摘のとおり、年度途中の事業開始となりますので、先行している自治体を参考に、市ホームページやＬＩＮＥ、広報紙などで速やかに周知していく予定でございます。また、配慮を要する健康相談や事業詳細につきましては、医療機関や健康支援課へ直接お問い合わせいただき、しっかりと対応してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　この制度は、実は私も反省しております。それは、ウィッグや乳房補整具は女性の案件で触れづらい意識が働いてまいりました。助成制度は、以前より知っていてもなかなか質問に持って行くことができず、後回しにしておりました。ぜひとも速やかな周知をよろしくお願いいたします。

最後に、帯状疱疹ワクチンについてであります。（１）年齢別の帯状疱疹発症率についてお聞きいたします。80歳までに３人に１人がかかるとされている帯状疱疹ですが、中高年には気をつけたい病気として定着しております。発症すると、皮膚に痛みやかゆみを感じ、発疹が帯状に現れる病気です。この疾患には年齢別による発症率に特徴がありますので、１点目、年代別の帯状疱疹発症率をお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　真栄城隆議員の一般質問にお答えいたします。

本市における帯状疱疹発症率につきましては、74歳以下の国民健康保険加入者における令和５年度の数値になりますが、20代から40代が0.497％、50代が0.813％、60代が1.336％、70歳以上74歳までが1.833％となっております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　国保加入者の帯状疱疹発症率の結果、大変ありがとうございます。全国的には、宮崎県皮膚科医会が行っている宮崎スタディという帯状疱疹の大規模疫学調査があります。1997年から現在まで毎年行っている調査でありまして、その報告でも50歳代から発症率が上昇し、70歳代でピークを迎え、80歳代までには３人に１人が発症すると報告されております。御答弁いただいたように、うるま市の国保加入者でも傾向性は同じであります。このように年齢が上がると発症率も上昇する要因を改めて確認するため、御答弁願います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

帯状疱疹は、水痘・帯状疱疹ウイルスが原因で、日本人成人の90％がウイルスを体内に保有していると言われております。加齢や疲労、ストレスによる免疫力低下により発症しやすくなるといわれております。ほとんどの方がウイルスを保有している中で、加齢とともに免疫力が低下することが、高齢になるにつれて発症率が上昇する要因と考えられております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　帯状疱疹は、体内に潜伏しているウイルスが原因で発症するため、水ぼうそうとして他者へ感染させるリスクがあります。水ぼうそうにかかったことがない人や予防接種をしていない幼児に感染させてしまう場合があります。国立感染症研究所感染症疫学センターによると、水ぼうそうの入院患者の約３割は帯状疱疹が感染源だったと報告しております。しかしながら、この帯状疱疹が特に厄介な病気として認知されているのは、実は合併症ではないでしょうか。この合併症についてお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　真栄城隆議員の御質問にお答えいたします。

帯状疱疹の合併症の一つに、皮膚の症状が治った後も痛みが残る帯状疱疹後神経痛があり、長期にわたる治療が必要となる場合もあります。そのほかにも、顔面麻痺を引き起こすラムゼイ・ハント症候群、目の合併症、髄膜炎、脳炎など様々な合併症が知られております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　では最後に、公費助成について伺います。

帯状疱疹に罹患すると、様々な日常生活に支障を来すほか、悪化すると長期入院される方もおります。また日本全国では、65歳以上ですが、年間42万人と推計される患者には１人当たり６万2,000円、全体で260億円の直接医療費がかかるそうであります。ほかにも、60歳以上の方が通院や入院のため失う労働生産性は47億円にのぼると推計されております。そのため、公費助成を行う自治体が増えておりますが、導入状況をお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　真栄城議員の御質問にお答えいたします。

公費助成を行っている自治体につきましては、全国保健医団体連合会の令和６年５月15日時点、帯状疱疹ワクチン接種費用助成自治体一覧の情報によりますと、全国で657自治体となっており、うち県内は４自治体となっております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　本市の公費助成制度について、これまで検討課題としてきたのかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

令和４年10月に、九州市長会総会を通して、帯状疱疹ワクチンを早期に定期接種に位置づけるよう、国へ要望しております。また、令和４年８月と同年11月、令和５年７月に中部市町村行政事務研究会において、帯状疱疹の公費導入状況について課題共有を図っております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　再質問いたします。

独自に接種費用を助成する自治体が増える後押しもあり、厚生労働省専門委員会では、国内使用の生ワクチンと不活化ワクチンの安全性や有効性を確認し、費用対効果が期待できるものとして定期接種に加わる見通しと聞いております。この情報に対し、執行部への情報提供の有無をお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　再質問にお答えいたします。

国等からの通達や説明等の正式な文書はございませんが、厚生労働省等のホームページ情報などから、帯状疱疹ワクチンの定期接種化について厚生労働省の専門家委員会にて議論・検討を行っていることを認識してございます。今後は、対象年齢やワクチンの種類について最終判断していくようでございますので、国の動向に注視しながら、定期接種化されることを前提に、その実施に向けた準備を行ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　真栄城隆議員。

○１番　真栄城　隆議員　これまでも帯状疱疹ワクチン接種の補助については、先行する自治体同様、本市の取組を要望・提案させていただきました。市としても国への要望を行っていただいてお

ります。いよいよ国の公費による定期接種が始まる見通しとなってまいりました。準備のほどもよろしくお願いいたします。

以上にて、私の今回の一般質問を終了いたします。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　暫時休憩します。

休　憩（１０時５２分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時０７分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　議長、休憩をお願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１１時０７分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時０９分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　議長の許可を得ましたので、一般質問を始めたいと思います。よろしくお願いします。

まず１点目でございますが、与那城社会福祉センター機能回復補修事業についてであります。機能回復補修事業の内容をお聞きいたします。与那城社会福祉センターは旧与那城村・町役場跡地にあり、屋慶名地域の中心地になっております。旧与那城村・町行政運営や伝統文化の発祥の地であります。現在は社会福祉センターと屋慶名自治会の行政運営等が行われております。それでは、与那城社会福祉センターを改修して、どのような機能を考えているのかお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　兼本光治議員の御質問へお答えいたします。

与那城社会福祉センターは平成７年から築29年が経過しており、エレベーターを含み空調設備も劣化が激しく、センターの利用は不便かつ危険性がありましたので、センターの改修事業により設備等の機能を回復し、市民が安全に利用できるようにしたいと考えております。また、これによりセンターの複合的な活用を検討し、地域福祉の拠点となるよう考えてまいります。

○副議長（藏根　武）　兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　与那城社会福祉センターは29年が経過しているということで、経年劣化が激しく、機能回復を進め、エレベーターを含む空調設備の機能・機器を改修するということでありました。また、市民が安心して利用できるよう、地域福祉の拠点の場所として取り組むとありました。現在、与那城社会福祉センターは屋慶名大通りの道路拡幅工事が行われております。与那城社会福祉センターの工事期間中には、安心・安全な対策をお願いしたいと思います。与那城社会福祉センターの機能回復補修事業が、地域に親しみを持てるような福祉センターの事業取組に期待をしております。

続けて行きます。（２）でございます。地域福祉センター事業の拠点事業についてお聞かせください。地域福祉の拠点として考えているとのことでありますが、具体的なものをお聞かせください。お願いします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

改修後の与那城社会福祉センターでは、これまでの福祉的相談窓口や高齢者などの要支援者への取組だけではなく、コミュニティーの形成や福祉団体等の活動、研修、各相談等が行えるよう、世代間を超えて活用し、地域の福祉力が向上できる場として複合的な活用を考えております。

○副議長（藏根　武）　兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　これまでの福祉事業のほかに、地域福祉力の向上の場所として複合的な活用を考えているということでありました。私はここで生まれた者として、参考になればと思い、情報提供の案内をしたいと思います。与那城社会福祉センターの周辺には屋慶名大通り、屋慶名河川を挟み100年余を超すフクギが立ち並び、琉歌にも歌われている屋慶名クワディーサー節の石碑が建立されております。県内では最も貴重とされ

ている神様であるトゥーティークの拝所、ウブガー、屋慶名産院所跡地、与那城村の神様の拝所。中でも、勝連城主９代目茂知附按司の拝所やイシガー、平和学習に利用できる民間防空壕、さらに与那城監視哨跡、屋慶名闘牛場と、多くの名所があります。今私が申し上げた９件は徒歩で30分から40分ぐらい。車に乗ってではなくて歩いて。この福祉センターの周辺にそれだけの名所があるということであります。中でも、この勝連城主９代目は、今現在、阿麻和利が大分盛んに宣伝されて、９代目の名前がなかなか世に渡らないんですけれども、この９代目が屋慶名のちょうどこの近くに祭られております。その祭られている拝所の中の大きな桐の箱の中に、当時茂知附按司が着けていただろうという服、営業で村回りに行くときの服が祭られております。その祭られたものが、現在屋慶名エイサーの大太鼓の衣装になっております。そういう文化もあります。よろしくお願いしたいと思います。

続けます。与那城社会福祉センターを利用する皆さんに施設内以外の周辺を散歩コースとして利用するような福祉事業を提案します。ぜひ、検討されてください。部長も時間があれば、私が案内したいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

次に（３）から（５）です。１階の機能から３階は、一括してお聞きいたします。与那城社会福祉センター１階から３階の利用について、どのように使っていくのか、その計画をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

機能回復補修事業が完了し、３階のホール部分は、これまでのように各団体の活用を考えております。２階及び１階部分は、総合的な相談へ対応する機能を残しながら、福祉に係る支援団体の調整、また各種研修のほかコミュニティーの形成のための場、また自習室など、複合的な活用ができるよう、機能の整理を行っているところでございます。なお、１階の一部にて活動しております屋慶名自治会の部分に関しましては、現在工事のため安全なスペースに移設しておりますが、工事完了後、元のスペースに戻る予定となっております。

○副議長（藏根　武）　兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　まず３階のホールについては、各団体の活用を考えているとありました。現在、３階のホールは劣化が激しく、エレベーターや空調設備が効かない状態になっております。屋慶名地域の行事等々で利用できないことが続いております。今回、機能回復補修事業において早急に取り組んでいただけるよう要望したいと思います。次に２階・１階について、総合的な福祉に係る支援団体の整備と複合的な活用とありました。与勝地域の福祉サービスの向上をよろしくお願いいたします。次に１階部分について、現在活動している屋慶名自治会に関しては、工事終了後も元の場所に戻す予定となっているとありました。与那城社会福祉センターの親しみのある施設として、また屋慶名自治会の事業継続をよろしくお願いいたします。

次に（６）与那城地区公民館の機能移転計画をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　兼本光治議員の御質問にお答えいたします。

与那城地区公民館は築46年が経過し、老朽化が進行しております。昨年度実施した耐力度調査において、構造上危険な状態の建物と判定されており、早急に安心・安全な施設へ公民館機能を移転する必要があると考えております。

○副議長（藏根　武）　兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　与那城地区公民館の老朽化が進み、地区公民館機能確保が必要なため、福祉部と連携をして与那城社会福祉センターへ移転確保をし、安心・安全な生涯学習の場を確保するという事業であるということですが、現在与那城地区公民館は経年劣化が著しく、機能低下が進み、生涯学習の事業が厳しい状態にあります。今後は、与那城社会福祉センターへ機能を移転させるとありました。与那城地区公民館移転を、市民

の皆さんへ移転お知らせの周知をよろしくお願いしたいと思います。この件については、例えば行事等で地区公民館はどうなっていくのかとか、何で土日は貸さないのかとか、そういう意見がありますので、ぜひ市のあらゆる連絡網、広報とか情報網で流していただきたいなと思っております。よろしくお願いします。

（7）与那城地区公民館の移転は一時的な計画でしょうか、お聞きします。与那城地区公民館について、過去の当局の答弁で、令和６年の解体を見込んでいる。移転については、与那城地域内での移転を検討しているとの答弁がありました。与那城社会福祉センターへの移転計画ですか、お聞かせください。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

先ほど答弁したとおり、与那城地区公民館は老朽化が進行しているため、新たな公民館機能の確保が必要であります。そのために、福祉部と連携の上、与那城社会福祉センターへ公民館機能を移転し、一時的な計画ではなく中長期にわたり当該地域の安定した生涯学習の場を確保したいと考えております。また、当該地区公民館に係る解体は令和７年度を予定しております。

○副議長（藏根　武）　兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　答弁の中で、与那城地区公民館は今後、中長期にわたり生涯学習を社会福祉センターへ機能移転をするとありました。今後は市民の皆さん、各地域、各団体が一体となり、充実した活気あふれる生涯学習の場をよろしくお願いいたします。

次に（8）でございます。市民や福祉事業、屋慶名自治会の土日祝日、時間外における活用の取扱いについてお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

与那城社会福祉センターの活用については、現在、公共施設等マネジメント庁内検討委員会においてセンター機能や運用方法等について協議しているところでございます。その中で、土日祝日や時間外での借用・活用方法等について検討していく予定となっております。

○副議長（藏根　武）　兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　答弁の中で、公共施設等マネジメント庁内検討委員会の中で検討を予定しているということであります。市民の皆さんが利用する際には、土日祝日、時間外の利用についての多くの意見・要望を取り入れていただきたいと思います。特に、地区公民館では生涯学習もそうではあるのですが、土日、また時間外の５時後に集まっていろいろやる活動がありますので、今私が申し上げた土日祝日、時間外を議論してもらいたいなと思っております。よろしくお願いします。

うるま市の活性化を図るには、大きな役割を持つ各地区公民館の活発な活動が大きな役割を持ちます。使い勝手のよい与那城地区公民館の事業に期待をいたします。

続けます。今後の事業計画についてお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

与那城社会福祉センターの補修工事が完了した後、令和７年４月の開所予定に向けての事業計画については、地域共生社会の実現の観点から各分野の事業計画も調査・研究し、世代間やジャンルを超えた複合的な活用方法及び管理・運営について庁内で検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　与那城社会福祉センターの令和７年４月の開所に向けて、今進めているところということであります。機能回復補修事業に期待をしております。よろしくお願いしたいと思います。この件については、終わります。福祉部長、皆さん、ありがとうございました。

２点目、まずモニターのほうに示しているのですが、与那城町役場跡地の交差点になります。十字路交差点です。画面から見ると、もともとここにはフェンスがあったということが見受けられます。その画面が今の状態であります。子供たちが

部活動、日曜日にいろいろと試合があるときに、これには勾配がついております。２メートル余りの勾配がついているのですが、転んでけがをした場合大変だということで、今回一般質問に取り上げております。また、フィールド内にあるベンチですが、度重なりこういう状態で屋根が抜けていて、何回も対策はしているのですが、いつもこういう状態になるということであります。また、その後ろで応援とか、試合を観戦している方々が、このベンチがあるがゆえに試合があまり見られないんだという意見もあります。この件については、時間がかかるのであれば撤去していただきたいという質問になっておりますので、よろしくお願いしたいと思います。それでは、与那城総合公園多種目球技場の整備についてお聞きします。多種目球技場のフェンスとフィールド内にあるベンチ整備について。令和５年、台風６号が襲来し、球技場を囲むフェンスが広範囲にわたり倒壊しております。令和５年９月定例会の答弁では、当面の間利用者の安全を確保するためにフェンスの撤去を行い、年次的に建て替え等の検討をすると答弁がありました。その後、多少のフェンスに取替え工事が取られましたが、現在の現地の状況についてお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　兼本光治議員の御質問にお答えいたします。

まず１点目の与那城多種目球技場の外周フェンスについては、一部破損している状況を確認しており、特に安全上の問題がある箇所から今年度の修繕費において早急に対応してまいります。２点目の球技場フィールド内に設置されているベンチにつきましては、議員御指摘のとおり、屋根の一部が剝がれていることを確認しており、現在緊急的な対応を手配しているところでありますが、海岸に近く塩害や強風、さらには台風により直接影響を受ける場所であることや今後の維持管理面を踏まえますと、修繕または撤去の方向で検討してまいります。

○副議長（藏根　武）　兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　部長、すみません。フィールドの説明でちょっと足りなかった分を申し上げますので、よろしくお願いしたいと思います。多種目球技場のフィールド内に設置されているベンチは、現在画面のようなことになっておりますので、よろしくお願いしたいと思います。また競技者からは、修繕に日数を要するのであれば、撤去をしてもらいたいという要望の声もありますので、よろしくお願いしたいと思います。進めます。

外周のフェンスについては、今年度修繕費で対応することで調整を進めているとありました。久しぶりにいい答弁を聞いております。前向きな答弁、ありがとうございます。よろしくお願いして、この件については終わりたいと思います。

次に大きな項目３でありますけれども、これは屋慶名の無名橋の画面に移り変わっております。この無名橋は、今画面に映っているところのちょうどスロープのかかった歩道に当たります。極端にここで道が狭くなっております。この橋へ上っていくスロープをどうにか片づけて、この設備を考えることで、この道幅がその道なりになって、幅が大きくなります。このスロープの歩道を検討することによって、ここから屋慶名第三橋まで約200メートルぐらいあるのですが、住宅地が広がるということで質問をしております。この橋は、このスロープのある反対側にほとんどお家が建ち始めております。今私が申し上げているところの、このスロープからの湾岸道路に向かっていくところには、ただ１件しかお家が建っていない状態であります。どうにかこのスロープの工事を検討することによって住宅地が大きく広がりますので、その件についての一般質問であります。よろしくお願いしたいと思います。

大きな項目３、屋慶名河川（無名）橋についてであります。屋慶名河川無名橋については、琉球政府前後に架けられた、老朽化が著しい無名橋であります。橋の高さが70センチメートル。これは一番高いところで130センチメートルあります。橋の幅が10メートル、長さも10メートルあります。

これは恐らく、当時はここから道を入れて車を通すという予定があったと思うのですが、この老朽化で車ももう通れない状態になっております。次の計画をしても、恐らく建て替えなどいろいろ考えられているところだと思うのですが、まずこの橋をどうにかしてくれという地域住民からの要望があります。進めていきたいと思います。

屋慶名地域には湾岸道路側に屋慶名第三橋が完成し、また県道37号線屋慶名大通りに設置された屋慶名橋も完成しております。当局の架橋事業に屋慶名地域から称賛の声があります。現在、屋慶名地域の河川には５つの橋が架かっております。その中で最も危険な無名橋についてお聞きいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　兼本光治議員の御質問にお答えいたします。

議員御案内の屋慶名川に架かる橋は、隣接する市道から約70センチメートルの段差があるため、車の通行ができず、主に歩行者専用の橋となっております。なお、経年劣化によるコンクリート剝離や鉄筋の露出などがあり危険な状態となっていることから、橋の撤去に向けた検討を行ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　兼本光治議員。

○２８番　兼本　光治議員　屋慶名無名橋は復帰前後に架けられた橋で、経年劣化が著しく、危険な状態であります。地域住民からの聞き取りから、日常で橋を渡る人が少なくなっているようであります。以前は、地域住民の方々が集まる夕涼みの場所、情報交換をする橋であったが、最近では橋の劣化や亀裂が多く、危険を感じて地域住民が集まらなくなっているようであります。また、橋のスロープ道路を撤去することによって、河川周辺に広範囲にわたり住宅地が生み出されます。屋慶名地域、屋慶名河川無名橋の今後の計画・検討をよろしくお願いして、これで私の一般質問を終わりたいと思います。ありがとうございます。

○副議長（藏根　武）　次の質問者、大城直議員。

○２５番　大城　直議員　皆さん、こんにちは。会派かけはし、大城です。議長に許可を得ましたので、一般質問を３項目ですが、これから行いたいと思います。

まず最初に、津堅港整備についてであります。津堅港の整備につきましては、今までも多くの議員から景観の問題であったり、雨水流入による漁業への影響などから、早期の整備要請について取り上げられてきましたが、港湾管理者である沖縄県は港湾整備に対して取り組んでいない状況であります。津堅港は島の玄関口であり、多くの方々が出入りする港であるにもかかわらず、港湾広場の整備がなされていない状況にあります。再度、港湾管理者である沖縄県に対し早急な整備要請ができないのか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　大城直議員の御質問にお答えいたします。

沖縄県港湾課へ津堅地区における港湾広場の整備について問い合わせたところ、中城湾港津堅地区の広場等は、船舶による輸送貨物を一時的に保管する施設として整備している。当該箇所の舗装整備は厳しいと考えている。今後の対応については、現地の利用状況や市との意見交換を踏まえ検討したいと考えているとの回答がございました。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　整備は厳しいと考えているが、今後の対応に関しては意見交換を踏まえて検討したいと。少し前向きではありますよね。それであれば、やはりもう一度お願いをすべきだと思っていますので、ぜひよろしくお願いいたします。これについて、渡嘉敷島であったり、座間味島の港はきれいに整備され、気持ちいいんです。それに比べて、津堅港は見劣りがします。ですから、港湾整備に関してはどんどん要請すべきだと思っていますので、よろしくお願いいたします。それに、港湾広場の整備は津堅島民の願いであります。津堅に行くたびに、整備してくれ、何とかしてくれという声がありますので、どんどん県に要請していただきたいと思います。

再質問します。管理者の沖縄県は、今までも要

請を強く受け止めていないように感じてなりません。うるま市でも、本気で整備に取り組んでいただいてほしいと思っております。そのためには、市も財源を持ち出してでも県に津堅港の整備要請をしていただきたいと思いますが、見解をお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

港湾施設につきましては、港湾管理者でございます沖縄県による整備が望ましいと考えておりますので、引き続き地元や関係団体の意向について強く要請してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　うるま市の財源を持ち出してでもと言いましたが、県が整備するのは当たり前だと考えております。ただ、県にやってくれと任せるのではなく、うるま市のほうでも取組として、例えば、津堅島は昔からハマスーキという木が４枝あります。津堅島に自生するハマスーキがたくさんあったと。もともとビーチのほうにはいっぱいハマスーキがありました。ですから、津堅の港、玄関口となるところに、市のほうでハマスーキを植える計画がありますので、一緒にやりましょうよと言うぐらいはお願いできないかなと思っていますので、よろしくお願いいたします。それと、津堅港に関しましては、岸壁のほうの車止めも以前の議会でも取り上げて要請をしております。それもまだされていませんので、重ねてお願いいたします。

次に進みます。大きい項目２、漁港整備についてであります。（１）平敷屋漁港の整備についてですが、平敷屋漁港の製氷機が現在故障し、漁師が困っていると相談がありました。漁港の製氷機の整備について伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　大城直議員の一般質問にお答えします。

平敷屋漁港の製氷機については、事業供用が昭和54年３月１日で、約45年が経過しております。老朽化による建物のコンクリート剝離や製氷機設備の故障で、現在は使用ができない状況となっております。製氷機の整備方法について管理者であります勝連漁業協同組合に確認したところ、漁業者からの氷の需要が少ないため、現段階では製氷機の整備は考えていないとの回答がございました。今後需要が増えていくのであれば、製氷機整備の検討を考えていきたいと伺っております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　この製氷機なんですけれども、製氷機が稼働している頃は、船を近づけていってベルトコンベアで船に直接氷を積んでいたんです。それから漁に出ていたと。今は、冷凍庫に大きい袋で保管されている氷を出して、自分で船まで運んでいって自分で積んで、それから漁に出ているんです。やはり、漁師からすると利便性が悪くなったというふうに感じていると思うんです。ですから、こういう状況を何とかしてほしいということが漁師からの意見、お願いでありますので、そこら辺も酌んでいただきたいと思います。また、この祝日の休みの日、あるいは朝早く、あるいは夜中に漁に出るときも、そのときはお店のほうで、コンビニあたりで購入して漁に出ているみたいですので、そこら辺もやはり、こういう整備ができればうまくいくと思っていますので、よろしくお願いいたします。

再質問いたします。漁業協同組合は、需要が増えれば整備要請を検討するということであります。勝連漁業協同組合は、浜の活力再生プランで今年モズク加工所が出来たばかりで、続けての補助は厳しいのではないかと考えている節もあります。基地周辺整備事業等、防衛関連の予算の補助メニューが充てられないのか伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

勝連漁業協同組合から製氷機整備の御相談があった場合には、沖縄防衛局を含め関係機関と調整してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　漁業協同組合からの相談を待つのではなく、浜プラン以外に防衛予算関連でこの予算が充てられるものがあれば、行政からもアプローチをしてほしいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に（２）モズク加工処理施設の整備についてであります。同施設は今年度完成し、現在は本格的に稼働しておりますが、先日市民経済委員会でも視察に行ってまいりました。モズク加工施設自体はきれいに出来上がっていましたが、周辺整備に関してはフェンスもなく、アスファルト舗装も中途半端であります。きちんとした周辺整備ができないのか伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

勝連漁業協同組合のモズク加工処理施設は、浜の活力再生プランに基づき、勝連漁業協同組合を事業主体とした水産業強化支援事業を活用し、モズク加工処理施設の整備を実施しております。一部のアスファルト舗装については、勝連漁業協同組合の費用負担で実施しており、またフェンス等については補助対象外となっていることから、実施しておりません。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　浜の活力再生プランは国・県の補助事業だったと思うんですが、なぜ周辺整備費用まで入っていないのかということが理解できないです。ですから、やはりこういう事業の場合は、建物を建てるだけではなく、周辺整備に関しても充ててほしいとお願いをしたほうがいいと思いますので、そこら辺も含めて、今後は取り組んでいただきたいと思います。

次の質問です。モズク加工品の販路につきましては、コストコとの取引の話もあるようです。施設整備が中途半端な状態で、今後の取引に何らかの影響を及ぼすのではと懸念しております。追加で周辺整備ができないのか伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

勝連漁業協同組合に確認したところ、現状の施設で、コストコとの取引に影響を及ぼすことはないとの回答がございました。また繰り返しになりますが、追加整備の相談があった際には、国・県など関係機関と協議を図り、対応してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　追加の整備要請がある場合には、対応をよろしくお願いいたします。

次に大きい項目３、水産業についてであります。（１）水産業の現状について。今年度に入り、モズク加工所が完成し稼働している状況にありますが、残念なことに、今年のモズク漁は不漁であったと聞いております。全国一のモズクの生産地を誇るうるま市でありますので、モズクが不漁であった原因調査も必要かと思っております。当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

今年のモズク漁については、例年より海水温度が高かったことが要因の一つではないかと認識しております。また日照時間が短い、天候不良、海水温が下がらないなどの理由からもモズクの収穫量が減少したと考えられます。モズク漁に限らず、安定的に生育できる生産技術が求められていることから、モズク漁師及び漁業協同組合としっかり意見交換を行いながら、沖縄県水産海洋技術センターや各関係機関などから情報収集を図って、対応してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　モズクの不漁に関しては、今年の高温による一過性のものであればよいのですが、地球温暖化が叫ばれている昨今であります。高温が続くことも考えられます。その際には、やはり専門機関への調査依頼をお願いいたします。宮古島のほうで育てられているモズクは、暑さに強い培養種のモズクみたいであります。実際に浅場で養殖されているのを見てまいりました。

行政も、生産者と視察に行かれてはと思っております。

そこで再質問いたします。モズク漁に関しましては、ある程度の条件整備も整いましたが、魚漁については課題が山積しております。現在、魚漁師が頭を悩ませているのは、魚を競りに出しても、魚自体の価格が低迷し、価格がなかなか上がらないということが悩みであるみたいです。そのことと、また燃料高騰による漁業者離れが進んでいます。そのことにより、競りの魚が少ないことで仲買業者も少なくなり、魚の値段が上がらないことに拍車をかけています。まさに負のスパイラルであります。漁業者に対する補助メニューがないのか伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

現時点で価格低迷や燃料費高騰に対する補助メニューはございませんが、漁業協同組合と意見交換を行い、支援策等について検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　競りに関しましては、勝連漁業協同組合と与那城町漁業協同組合の両漁業協同組合とも競り時間をずらすなどの工夫もしております。しかし、仲買業者が増えないのが現状であります。市内の漁業協同組合は同じような課題を抱えているようであります。漁業協同組合が協力し、課題に取り組む必要があると思っております。

次に、漁業関係者の育成についてでありますが、漁業者、特に魚漁師の方々を苦しめているのが釣り人であります。一昔前までは、漁船をチャーターして深場に行って底物を釣っていた釣り人が、近年では釣りの形態も変わってきております。小型船舶の普及により小型ボートやジェットスキーなどで釣りをする人が増え、特にうるま市のリーフが魚の狙い目、漁場となっております。漁師よりも多くの魚を釣り上げているのが現状であります。彼らを準組合員として育成するのもありだと思っております。行政からの働きかけができないかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　御質問にお答えいたします。

一般の釣り人を準組合員として組合に加入させることについては、まずは漁業協同組合側の意向が重要になってくると思います。漁業協同組合から各種相談・要望等がございましたら、必要に応じて対応してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　現在は、この釣り専用のジェットスキーも販売されている状況です。彼らを準組合員として登録することにより、彼らが釣り上げた魚を競りに出してもらうというような流れに持って行くということも必要かなと感じております。そのことにより、魚種も増え、競りの活性化につながると思いますので、これは漁業協同組合も助かることだと思っております。ですから、行政からもこういうことみたいですよとか、あるいはこの現状を教えるのもやはり行政の務めかと思っていますので、よろしくお願いいたします。

次の質問です。モズク漁師については、収入が比較的安定していることから、担い手も大丈夫みたいでありますが、魚漁師については60代以上のベテランが多く、若手の育成が厳しい状況と聞いております。安定した収入が得られるような仕組みづくりと、浜の活力再生プラン等のソフトメニューがないのかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

浜の活力再生プランには、漁獲量増大や高品質化、商品開発等による収入向上に資するメニューや、省エネ型エンジンの導入等によるコスト削減に資するメニューなどがございます。いずれにしても、漁業協同組合が主体となってプランを策定する必要があることから、漁師及び漁業協同組合からの意向調査が必要であると考えております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　漁業協同組合は、浜の活力再生プランでモズク加工所ができたばかりでありますので、追加の要請は厳しいだろうと思っているように感じております。収入向上に資するメニューがあれば、ぜひ紹介をしていただきたいと思います。

次に進みます。（３）育てる漁業の推進についてであります。育てる漁業については、中城村と大宜味村におきまして陸上養殖が行われておりますが、うるま市でも、個人の水産業者が海上に漁網を張り、ネット養殖を行っております。育てる漁業を推進するためにも、ネットを張っての海上養殖あるいは陸上養殖に対し、補助メニューがないのかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

漁業協同組合が主体となる場合、先ほども申し上げました浜の活力再生プランに養殖業のメニューがございます。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　漁師の中に海上養殖をやりたいと話している方がいますので、相談があれば、その際はよろしくお願いいたします。

では、最後の項目に移ります。（４）水産業の活性化についてであります。これまで水産業の現状や課題について質問してまいりましたが、魚漁師の現状と課題解決に目を向ける必要があると考えております。魚漁師の収入を安定させるためには、多くの魚を１か所に集めることが大事であると考えております。そうすることが競りの活性化にもつながり、仲買業者も増え、魚の価格を押し上げる要因につながると思っております。うるま市内の漁業協同組合が協力し競りを開催することにより、水産業の活性化ができると思っておりますが、官民一体での取組ができないのかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

競り市場の設置につきましては、現在の各漁業協同組合の漁獲量や今後の計画などを踏まえた上で、設置にかかる建設費用や管理費用を含め、費用対効果を検討し事業化することになると考えておりますが、本市としましてはうるま市内の全漁業協同組合が競り市場の整備等を要望しているのかを確認する必要があると考えております。そのため、各漁業協同組合から現状の運営方法や将来計画等の意見交換の場を設けることを検討したいと考えております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　競りを開催している漁業協同組合では、競りの時間帯をずらしたりして工夫をしていますが、仲買業者がなかなか増えず、魚の価格低迷が続いている状況のため、漁師はほかの市の競りに魚を納めていると聞いております。何とかならないかなと思っております。

そこで質問いたします。交通の利便性がいい照間漁港を整備し、うるま市内の漁業協同組合が協力して競り市場の開設ができないのか伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

繰り返しになりますが、競り市場の整備については漁業協同組合などにおける事業計画等を確認しながら、今後整理していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　大城直議員。

○２５番　大城　直議員　競り市場の整備に関しましては、市内の漁業協同組合との協力、あるいは多額の予算を要するとは思いますが、水産業の活性化には必要だと思っております。この照間漁港整備に関しては、勝連漁業協同組合とこういうやり取りをしているときに、こういうことができればという話も出ていましたので、それを質問してみました。また、この３漁業協同組合が協力すれば、新しく整備するのではなく、各漁業協同組合で持ち回りをして競りも開催できるのではと思っておりますので、行政から働きかけをお願い

し、各漁業協同組合で協力しながら１つの場所に多くの魚を集めて、仲買業者を呼んで、魚の値段が安定するような仕組みづくりをアドバイスしてほしいと思っております。

これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　午前の日程をこの程度にとどめ、午後１時30分より会議を開きます。

暫時休憩します。

休　憩（１２時１１分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時３０分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　市長をはじめ、執行部の皆さん、こんにちは。本日４人目、午後一番の一般質問であります。議長の許可を得ましたので、今回５項目、ちょっと多いかなと思いましたけれども、一問一答方式でよろしくお願いをいたします。

まず、消防行政から伺いたいと思います。新型コロナウイルス感染症が落ち着いたと思いましたら、またインフルエンザが流行り、そして今年は特に熱中症ということで、いろいろな形で消防職員も大変だったと思いますが、救急需要の現状と取組についてです。救急出動件数と平均現場到着時間の推移について、まず伺います。また、これはもう全国的な事業だと思いますが、＃7119事業導入による救急出動件数と、救急隊員負担軽減への影響と効果について伺います。一番大事なのは市民への周知だと思いますので、その周知方法も重要になると考えますが、併せて取組・対応等について伺います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　消防長。

○消防長（新垣　隆）　こんにちは。佐久田悟議員の御質問にお答えいたします。

本市における令和５年中の救急出動件数は8,613件で過去最高となり、令和元年の7,085件から1,528件の増加となり、令和６年中におきましても昨年の同時期と比べて増えている状況でございます。平均現場到着時間につきましては、令和５年が9.5分となり、令和元年の8.8分に比べ現場到着時間が0.7分延びており、要因としましては救急出動が重複したことと考えております。また救急安心センター事業＃7119につきましては、去る９月１日から県を主体に運用を開始したばかりで、その効果などにつきましては現在把握できておりませんが、今後注視していきたいと考えております。

周知方法につきましては、リーフレットの配布や市ホームページ、ＳＮＳ、広報うるま、大型ビジョンなどを活用して実施しているところであり、これらを継続して実施していきたいと思います。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　細かい報告、どうもありがとうございます。特に＃7119事業については、これはもう地域の皆様方への周知活動ですよね。自治会長連絡協議会などを通した周知の徹底等もまたよろしくお願いを申し上げます。

関連する再質問を行っていきたいと思います。救急業務というのは、一秒でも早く現場へ駆けつけて、処置をして病院へ搬送するということが大きな任務だと思いますけれども、現場へ行ってからの救急現場での対応、そして病院での対応、待機して事務処理など、現場へ行って帰ってくるまでの流れが一連の業務だと思います。それを踏まえますと、職員の業務時間短縮、業務効率化など負担軽減に向けて、ＩＣＴとか、それからタブレット、デジタル機器などの導入・活用もこれからは重要だと考えますが、消防長の見解を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　消防長。

○消防長（新垣　隆）　お答えいたします。

救急活動におけるＤＸ化につきましては、病院選定や傷病者の情報連絡、報告書作成などに対して有効とされており、１件の救急出動に対する活動時間の短縮と救急隊員の負担軽減が期待されております。本市におきましては、令和８年度の沖縄県消防指令センターの全体更新に伴い、新システムの運用開始に合わせて資機材の整備や活用方

法など、調査・研究中であります。
○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。
○２７番　佐久田　悟議員　これは消防だけではなくて、ほかの部署でも、福祉部関連ではケアマネージャーの事務処理等の多さに、そういったＩＣＴとかデジタル化というものを導入することによって負担軽減に結びつくと思いますので、ぜひともまたよろしくお願いを申し上げます。

それでは、関連する質問を続けてまいります。先ほど消防長より報告がありました。出動件数が大幅に増えてきていると。職員の皆さんの日常的な訓練や講習会、また特殊技能資格取得などの教育研修会などへの参加等への影響はないのか気になりますが、現状と課題について、職員育成のためにもしっかりと対応して取り組むべきだと考えますが、見解を伺いたいと思います。よろしくお願いします。
○副議長（藏根　武）　消防長。
○消防長（新垣　隆）　お答えいたします。

現状、訓練や講習会、資格取得、教育研修などへの参加につきましては、救急出動件数の増加による影響はございません。しかし、全国の消防本部同様、本市でも救急出動件数の増加に伴い、救急隊員の労務管理は大変重要な課題となっております。先ほども答弁しましたとおり、救急活動のＤＸ化による救急隊員の労務管理、さらには定年延長職員の活用、臨時的な救急隊増隊など、現状の課題研究と課題解決を図りながら、消防行政全般での職員育成に取り組んでいきたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。
○２７番　佐久田　悟議員　ぜひともよろしくお願いを申し上げます。

それでは続きまして、消防業務の職場環境体制強化への取組について伺いたいと思います。御存じのように、消防業務というのは専門性が高く、職員数、職員育成、消防資機材充足整備などへの対応というのは大変重要だと考えます。国から示される消防の整備指針や定数条例など、うるま市消防行政の現状はどうなっているのか。規程に沿った消防環境体制が取られているのか。そして、研修などを通して人材育成、業務意欲を高め、職員の能力に応じた適材適所の配置など、業務を継続できる職場環境構築も重要ですが、現状と課題等があれば、これからの対応・取組について伺いたいと思います。ちなみに、国が発行しているこの、総務省ですかね、消防施設整備計画実態調査というものがありますよね。沖縄県内を見てみますと、うるま市消防本部の消防職員の算定数、そして算定比率が64.5％ということで、本来であれば、もっと職員がいて、そういう危険業務ですから、対応しないといけないのかなと。この数字はどうなんだろうという感じで見ましたけれども、県内のほとんどが50何％から60何％、県内の平均自体が64％ということで、やはり各消防地域もそういった面ではこのパーセンテージで、全国的な平均は79％となっておりますので、やはり全国から見ると、ちょっと沖縄県の消防職員数は厳しいのかなと感じましたけれども、それを踏まえまして、消防長としての見解を伺いたいと思います。
○副議長（藏根　武）　消防長。
○消防長（新垣　隆）　お答えいたします。

近年の消防を取り巻く環境は、想定外の風水害や新型コロナウイルス感染症などの新興感染症等、複雑・多様化しており、これまで以上に専門的で高度な知識や技術が必要と考えております。現在、火災・救助・救急と兼任で現場活動を行っておりますが、特に増加傾向にあります救急隊につきましては、選任化による配置が可能かなどを調査・研究しております。将来に向けた本市の消防力強化につきましては、副市長を委員長に関係部課長級で構成する、うるま市消防体制在り方検討委員会を定期的に開催しながら、議員からあります職員数や車両等の配置、さらに前年度は消防署所について消防力適正配置調査を行うなど、国が示した消防力の整備指針に照らし合わせ、市民にとって有益である消防行政サービスが提供できますよう、職場環境の整備、労務管理、人材育成など現状と課題を多角的に分析・調査・研究しながら、職員一丸となって消防力の強化に努めていきたい

と考えているところでございます。
○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。
○２７番　佐久田　悟議員　ぜひとも、また若い職員の皆さんのためにもしっかりと取り組んでいただきますよう、お願いをいたします。今回議案第77号でもありました、救急車への追突事故は機材への衝突ということで、消防職員への被害がなかったので本当によかったですけれども、やはり危険と隣り合わせの消防職員の皆さんだと思います。また、特に最近では消防や警察、先生方もそうですけれども、公務労働で専門的技術や技能が伴う重要な職場、人材が本当に足りていないということで、全国的にも問題となっております。調べましたら、県外のほうでは、やはり24時間勤務が厳しい、せっかく救急資格を持っているこの消防職員、特に若い方々ですけれども、その確保を目指して、平日の一般的な勤務時間の午前８時15分から午後５時15分までのデイタイム救急隊というものが発足されて、どんどんそれが増えているそうです。せっかく救急資格を持っているんだからということで、やはり何らかの事情で辞めてしまう職員が多いということで、子育てにも集中できるし、それから家の方の介護がある職員などには物すごく喜ばれて、このデイタイム救急隊は物すごく県外でも普及してきているそうなんですが、ぜひ検討等もよろしくお願いを申し上げます。うるま市のこの実態・現状に合った必要な職員体制や職員育成、自信と誇りを持って、今後継続できる職場環境にこれからも取り組んでいただきますよう、提言をいたします。

またうれしいことに、県の今年度の救急医療関係功労者知事表彰ということで、私たちのうるま市消防本部の又吉警防課長が個人表彰されまして、ますますこれからの若い職員の見本になると思います。また、指令センターという大きな業務も始まります。これからも職員の皆様方のために、消防長を中心にして頑張っていただきますよう提言をいたしまして、消防業務の質問を終えたいと思います。ありがとうございました。

続きまして２項目め、教育行政です。学校施設の環境改善に向けた取組ということで、今年度は本当に全国的に異常気象、猛暑が続いて、熱中症特別警戒アラートが連日発表されて、お亡くなりになる方々もいらっしゃいました。熱中症の危険性が大きく注目されましたが、熱中症対策として、学校業務で特に子供たちに影響はなかったのかどうか。授業や行事、部活動において、今日のこの暑さでやっていいのかどうかとか、実施可否の判断基準、これは市の熱中症対策指針というものもちゃんとあると思うんですけれども、どれぐらいの影響があったのか、そしてどういった対応・取組をしたのか、まずは伺いたいと思います。よろしくお願いします。
○副議長（藏根　武）　学校教育部長。
○学校教育部長（大里　元児）　佐久田悟議員の一般質問にお答えいたします。

環境省が示している暑さ指数が31度を超えたときの活動を危険とし、33度を超えるときに熱中症警戒アラートが発令され、涼しい場所以外での激しい運動や長時間の運動が原則中止とされております。この熱中症警戒アラートが、今年度において沖縄本島に初めて発令されたのは令和６年６月25日であります。この日から１学期の終了日までに熱中症と思われる体調不良の報告を１件受けております。講じた対策といたしましては、令和６年４月18日付で発出した「学校における危機管理体制の再確認及び安全指導の徹底について」にて、熱中症アラートを確認した後の校内周知方法の確認を依頼するとともに、熱中症への対応を示したウェブページを周知したところでございます。
○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。
○２７番　佐久田　悟議員　細かな答弁ありがとうございます。

それでは具体的に、例えば体育館を活用する場合、体育の授業や部活動、イベント等や学校行事等でも使われると思いますが、特にこの暑くなる時期、体育館活用への影響があったのか、どういった対応を行ったのか伺います。
○副議長（藏根　武）　学校教育部長。
○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたし

ます。

市内各小・中学校におきましては、熱中症対策として水分補給の徹底、休憩時間の確保、運動時間の短縮、活動場所の工夫、児童・生徒の体調管理、大型扇風機やミストシャワー、テントの設置などの環境整備、保護者や教職員への情報発信など、対応を行っていると確認しております。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　そんなに大きな影響はなかったですけれども、やはり体育館を活用するという、この暑さの中ですから。

次の質問は再質問ですけれども、提言を踏まえて、ちょっと質問したいと思います。公立学校での普通教室の空調設備設置率も、全国的には96％近く設置しているそうなんですが、今回のように異常気象や大規模災害が頻発する中、特に石川県能登地方では先週からの豪雨による大きな被害があり、また大きな被害を被っているわけですが、だからこそ、避難所となるこの学校体育館の環境改善に向けた空調設備の設置へ向けた取組が全国的にも今進められているという報道もありました。児童・生徒への安心・安全な教育環境整備と、それから災害時には避難所となるこの体育館への空調設備の整備計画というのは重要だと考えますが、本当に自主財源が厳しい状況だと分かりますけれども、教育、そしてイベントとかいろんなところに活用される、ましてや防災の観点からも大変重要だと考えます。それぞれ教育部局、それから危機管理防災部局の答弁を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　佐久田悟議員の御質問にお答えいたします。

議員御提言のとおり、小・中学校における体育の授業や部活動のほか、学校行事開催時など、熱中症対策の面から体育館への空調設備設置は有効であると認識しております。しかしながら、体育館は広い空間であるため、十分な効果を得るための設備を導入する必要があり、設備費用だけでなく維持管理費用もかさむため、費用対効果の検証や事業の優先度を慎重に検討する必要があり、現時点では、設置に向けての整備計画策定は大変厳しいと判断しております。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　佐久田悟議員の御質問にお答えいたします。

市地域防災計画では、市内の小・中学校のうち15校の体育館を地震・津波時における指定避難所としており、高齢者をはじめ、多くの市民の避難所として使用されるケースを想定した場合、夏場における熱中症対策及びストレス対策などの観点から、空調設備の設置につきましては十分効果があるものと認識しておりますが、ふだんは学校施設として使用される点を踏まえますと、導入費用やランニングコストの面なども考慮せざるを得ないため、導入については、先ほど社会教育部参事が答弁したとおりであると認識しております。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　今の現状では厳しいという答弁でありました。財源的なものでは物すごく厳しいということは理解をしておりますが、部長の答弁にもありました、体育館としての教育的な施設なので、避難所としての活用ということでの設備設置は厳しいということだったんですけれども、もう今は、教育施設の体育館を災害避難所として使用するのか、あるいは災害避難所として体育館はあるんだという形で、逆に言えば、そういう考え方も今は多くなっているそうです。ここは、元々災害避難所としてあって、それをふだんは教育施設として子供たちが利用するんだと。全国的なこの災害からすると、この体育館がまずは一時避難所として、多くの方々が集まって避難してくるわけですから、財源的なものも、学校施設整備基金というものを立ち上げて設置したり、これまでの同僚議員からの質問、その答弁にもありました、緊急防災・減災事業債とか国庫補助金である学校施設環境改善交付金ですか、あとはまたふるさと応援基金とか寄附金とか、いろんなことも工夫しながら、やはり県外等の市町村ではどんどん取り組んでいるところもあります。国も、

それに向けて何らかの形で補助等を多くして、やはり体育館のこの避難所としての機能、特に沖縄県は暑さ対策が重要ですから、そういったものを踏まえますと、財源確保というのは本当に重要な問題ですけれども、ぜひまた国の動向等も注視しながら取り組んでいってもらいますよう、提言をしておきます。ありがとうございました。

それでは３番目の項目、不登校対策についてです。教育相談体制の取組とか、不登校児童・生徒の健康状態把握の取組ということで、玉城政哉議員からの質問にもありましたけれども、まずは教育支援センター相談室のうるま市としての取組の充実について伺いたいと思います。特に不登校児童を抱える保護者にとっては、やはり自分の子供のことですから、何で自分の子供だけ、普通に同じように友達と一緒に学校へ行けないんだろうとか、いろんな形で心理的・精神的にも大きなストレスを抱えていると思います。自分の子供だからこそ、ついつい強く当たってしまったり、自分の子供ではあるんだけれども、その対応をどうしたらいいのか分からない。そういった形で、今は不登校の原因が多様化・複雑化している中で、不登校児童・生徒の保護者からの学校における相談と、そして教育支援センターの機能強化のためにうるま市として設置した、この学校生活応援課における相談の現状について、まず伺いたいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　佐久田悟議員の御質問にお答えいたします。

学校における相談につきましては、主に子育ての悩み、児童・生徒の学校生活の悩み相談等があり、担任をはじめ、教育相談、スクールカウンセラーが支援を行っております。また、学校生活応援課では学校に関する相談、対人に関する相談、生活行動に関する相談などの教育上の問題や悩みを持つ児童・生徒と保護者の相談に応じ、支援を行っております。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　それでは、関連する再質問を行います。

今答弁にありましたけれども、それでは学校生活応援課での相談件数と相談改善件数、そういうふうにしてよくなったというような件数について伺いたいと思います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

令和５年度の相談件数は176件、相談回数延べ1,986回となっております。相談改善件数については、相談件数176件中、良好終結53件となっております。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　ありがとうございます。そういった相談件数の多さにも親御さんの本当に悩んでいる姿がありますが、９月20日、先週の新聞の教育欄に奈良県天理市での記事があったんですけれども、保護者対応に疲弊する教職員の負担を減らそうと、奈良県天理市では子育て応援・相談センターを設置し、学校外で最初の相談対応から福祉部門も併せた具体的な支援まで対応する取組を行っているそうです。全国的にも本当に珍しい、教職員の先生方の働き方改善の鍵になるとも言われていますが、この天理市は、2023年度に保護者対応への負担などが理由で休んだり退職した教職員が14人もいたということで、やはり親御さんへの対応というのが、これを見ても全国的にもやはり大変なんだろうなということがあると思います。保護者が希望したときに速やかに相談ができるよう、うるま市として支援員はしっかりと配置されているのか。支援体制への取組も重要だと考えますが、学校とこの学校生活応援課の連携も併せて、見解と対応について伺いたいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

学校生活応援課の教育相談「ふたば」では、臨床心理士の職員２人のほか、教員免許保有者、公認心理士等の会計年度任用職員６人を配置し、合

計８人で教育相談を担当しております。また、学校にはスクールカウンセラーを配置し相談体制を整えているほか、学校からの要望や緊急性の高い事案につきましては、２人の臨床心理士が直接訪問し、相談支援に当たっております。

学校と学校生活応援課の連携につきましては、子供たち一人一人の状況によって必要な支援が異なることから、個々に応じた支援をするため、学校との連携は大変重要だと認識しております。当該児童・生徒の相談及び支援状況については、保護者の同意の下、相談報告書を所属校へ提出し、学校との情報共有会議を行っております。今後も、本人との関係づくり、本人理解及び校内支援体制に生かせるよう、学校と連携してまいります。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　答弁ありがとうございます。この間出されました、令和５年度事業対象ですけれども、教育委員会の事務点検・評価報告書がありました。教育相談事業の中でも、外部評価委員の皆さんから、内部評価は適切である、登校渋りや不登校が増加傾向にあるため、相談員の増員については検討してほしいという、外部評価委員の皆さんからもそういったしっかりした報告がありますので、そういった不登校に対する職員等の配置等もよろしくお願いを申し上げます。

それでは関連する質問ですが、不登校児童・生徒の健康診断。通常からなかなか学校に行けないですから、この不登校の子供たちの健康状態はどうなっているんだろうかと。やはり、いろんな形で学校に行けないわけですから、健康診断を受けられていない児童・生徒も多い可能性があるのではないかなということで、質問いたしました。身長や体重のほか、もちろん成長のチェックとか、いろんな形の健康診断が大事だと思いますが、まずは不登校児童・生徒の健康診断の受診状況を踏まえた上で、健康状態というのはしっかりとうるま市として把握されているのか伺いたいと思います。お願いします。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

児童・生徒の健康診断については、毎年全児童・生徒に保健調査票を提出してもらい、定期健康診断とともに健康状態を把握しております。また、保健調査票の提出ができず、健康診断が受けられない児童・生徒につきましては、学級担任やスクールソーシャルワーカー等が家庭訪問をし、保健調査票を届け、後日提出してもらうなどの対応を行っております。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　分かりました。なかなか厳しい現状もあるかもしれませんけれども、学校に通えない児童・生徒でも、やはり学校内外でしっかりと健康診断の機会を提供していく、情報を与えていく。これは保護者にとっても重要なことだと思いますけれども、不登校対策の取組の一環として、これも本当に重要だと考えます。そうすることによってこの不登校の児童・生徒の健康状態を把握することにより、家庭での状況が見えてくる場合も本当にあると思います。その点について、見解と対応について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　御質問にお答えいたします。

児童・生徒の健康診断は、学校生活を送るに当たり支障があるかどうか、全ての子供たちの健康状態を把握し、子供たちの健康の保持・増進を図るために、健康教育に役立てる重要な役割だと認識しております。健康診断に関する情報提供につきましては、所属校の養護教諭から学級担任やスクールソーシャルワーカー等を通して、文書による周知や保護者連絡ツール「スクリレ」を活用して情報を提供しているところでございます。

健康診断実施については、実施期間中以外に予備日を設定、また予備日に健診が受けられなかった場合、他市町村との合同健診日を設けております。歯科検診及び内科健診については、学校医及び学校歯科医との連携の下、担当校医の医療機関で直接受診ができるように、受診環境も整えております。また未受診の児童・生徒については、受

診を促しつつ、保護者からの連絡があった際は、各学校へ問い合わせて対応しております。健康診断、歯科検診及び内科健診の受診時間につきましても、関係機関と調整し対応しているところでございます。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　ありがとうございます。各学校の養護教諭の先生方も本当に大変だと思いますけれども、特に学校に通えない子供たちの健康状態の把握というのはいろんな面で大変かもしれませんが、その健康状態を把握することで、その子の状況だとか家庭の状況、親との関係性とかも見えてくる場合もあると思いますので、しっかりとした取組をよろしくお願いを申し上げまして、この点の質問を終えたいと思います。ありがとうございました。

４番目、障害者支援施策について伺いたいと思います。まず、障がい者のグループホームの現状です。うるま市における障がい者数の推移について、まずは伺います。これまでの一般質問でも何回か伺ってまいりました。また、うるま市には障がい者のグループホームがどれぐらい設置されて、どれぐらいの方々が利用しているのか、まずその現状について伺いたいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　佐久田悟議員の御質問にお答えいたします。

本市における令和５年度末の各種障害者手帳所持者数は、身体障害者手帳では4,887人と前年度より68人の減少、療育手帳で1,656人と前年度より100人の増加、精神障害者保健福祉手帳で2,325人と前年度より135人の増加となっております。また、市内の障害者グループホームの設置状況は、令和元年９月時点では14事業所でしたが、直近の令和６年７月時点では20事業所に増加しており、利用定員数は356人となります。グループホームの利用者におきましては、令和４年度は236人だったのに対し、令和５年度は271人となっております。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　細かな御報告ありがとうございます。

再質問を行います。障害者グループホームへの入居を希望しても、いろんな事情で入居ができない、入りたくても入れない待機者数がどれぐらいいらっしゃるのかちょっと気になります。またその場合、市からのいろんな形でのアドバイス、対応、取組について、どういった現状なのか伺いたいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

直近の状況として、令和６年７月１日時点でのグループホームのサービス支給決定者数は270人であるのに対し、同月の利用者は251人となっております。本市においては、個々のサービス支給決定者に対する入居に至らない理由については把握してございませんが、入居先が見つからないなどの入居に関する相談がございましたら、担当する相談支援専門員等と連携し、グループホームに関する情報提供等を適宜行っております。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　特に親亡き後の障がい者の方々への支援、待機者情報の情報集約や利用実態を把握して、入居希望者へのこの支援体制強化に取り組んでいただきますよう、提言をしておきます。

続いての関連する質問です。年々増加しております、病気などによっていろんな障害が出てきますけれども、脳血管疾患等の脳溢血などの後遺症によって、中途障害者支援というそうなんですけれども、中途障害者支援として、社会参加や活動の場、仲間づくり、地域との交流、生活訓練の場の情報提供などの支援が重要と考えます。県外ではそれに取り組んでいる市町村も多く見られますが、うるま市における対応と取組について、見解を伺いたいと思います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　福祉部長。

○福祉部長（幸地　美和）　お答えいたします。

障がい福祉課では、障害のある方々に対し、窓

口において障害福祉サービスの提供に関する御相談だけではなく、専門的な知識を有する委託相談支援員による生活全般に関する御相談についても対応しております。本市といたしましては、生活の中で突如障害を負ってしまった方やその家族に寄り添い、信頼関係を構築した上で、個々のニーズを尊重しながら社会参加、活動の場、仲間づくり、地域との交流、生活訓練の場などに関する必要な情報を提供して、最適な自己決定を支援することのできる相談支援体制を構築してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　県外の自治体では、進んでいるところはもう中途障害者地域活動センターというのを設置して、具体的にそういった方々が専門的に支援サービスに取り組んでいるということがありますので、研究して、また担当部局としても取り組んでいただきますよう、よろしくお願いを申し上げます。

この障害者支援施策の最後の質問です。今年はオリンピックもありました。またパラリンピックもありました。いろんな形で感動をいただきましたけれども、パラリンピックが行われる前に、各市町村に共同通信社がパラ競技などの障がい者スポーツに関するアンケートを行ったそうです。関心を高めて普及させるために必要な課題で一番多かったのが、やはり学校やイベントなどでのスポーツ体験や情報発信、そして次に、車椅子のまま競技ができるような体育館などの施設の整備、あとは指導員やボランティアら人材確保も重要だという、そういった結果が新聞報道でもありました。特に、私たちうるま市では車椅子マラソン、御存じのように喜納翼選手が精いっぱい頑張りました。また、ゴールボールというんですかね、目の不自由な方々のサッカーに似たような形のああいう競技も、見ていて本当に感動いたしましたけれども、うるま市で計画されている新たな屋内スポーツ施設、体育館、障害のある方々でもパラスポーツに親しめるような本市の取組や、各種大会などの情報一元化をして広く市民に向けた広報、発信する取組、運営面での取組やパラスポーツ用具の配備など、障がい者や高齢者の方々も気軽に利用しやすい拠点施設となるような整備計画を取り入れることも重要だと考えますが、担当部局の見解を伺います。よろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　佐久田悟議員の御質問にお答えいたします。

障害者スポーツの普及促進としての情報一元化をはじめ、市民に向けた情報発信や広報につきましては、これまでのところ十分に行われていない状況でありましたので、今後は関係部署と連携を行い、情報発信に努めてまいりたいと思います。障害のある方々に対するスポーツ推進の取組としましては、令和３年度からボッチャ大会を継続的に開催し、うるま市身体障がい者協会やにこキッズ連絡会が御参加の下、スポーツを通じた交流が行われております。また、うるま市身体障がい者協会が主催する運動会では市スポーツ推進委員の派遣を行い、運営やサポートなどに取り組んでおります。ほかにも、パリ2024パラリンピック開催前の８月初めには、喜屋武児童館へスポーツ課の職員が出向き、喜納翼選手が参加する車椅子マラソンやボッチャ競技などを周知するための勉強会・体験会を開催しております。うるま市総合体育館の整備計画においては、利用者の利便性を考慮したスポーツ用具の整備を含め、障害のある方や高齢者の方も快適に利用できる施設となるよう、取り組んでまいりたいと思っております。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　ぜひとも高齢者の方々も利用しやすいような新しい施設、そういったものも計画に入れていただきますよう、またぜひ喜納翼選手とうるま市の子供たちとの交流や、教育現場でもそういった活躍の場や経験を生かした講演会等の開催も併せてお願いをしておきます。

最後の質問、５項目めです。保育行政。法人保育所の運営適正化につながる行政指導の取組ということなんですが、８月下旬に新聞報道にありました、小規模保育事業所の目的外受給による補助

金返還要求について、新聞報道で具体的な内容は分かったんですけれども、もう少し議会への丁寧な情報提供とか、そういったものも必要だったのではないかと考えますが、まずその件について見解を伺いたいと思います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　佐久田悟議員の御質問にお答えいたします。

今回の補助金返還に関する新聞報道につきましては、令和６年２月の第173回定例会において伊波良明議員への一般質問に対する答弁と、記者が直接法人へ聞き取りした内容が報道されております。御理解のほどよろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　答弁にもありました、今年の２月定例会で伊波良明議員が一般質問をして、その中で細かなやり取りはあったと思うのですけれども、ただ、その２月定例会での結果、前年度からそういうものがあったということでの一般質問のやり取りがあって、何で今頃、この８月下旬のついこの間の新聞にこういったものが載るのかなということで、やはり内容的には、一般質問の答弁の中でのあれでしたから、各議員ともそんなに大きなこととは受け止めていなかったと思います。新聞報道という形であれだけ出ると、やはりいろんな市民の方々から議員である私たちに連絡が来るわけです。新聞に載っていたけれども、県内でもこういったものが載っているけれども、うるま市は大丈夫なのかということで、返還までこうやって記事も載っているということで、やはりそういった面では、議会で私たちにもしっかりとした内容、こういった状況でまた新聞報道もあるかもしれないということで、私たち議会への対応というのも、当局からの説明等を踏まえて、よろしくお願いをしたいと思います。

この不適切な会計処理の原因と課題点を踏まえて、それでは今後の改善策、これからの指定管理事業に関する見解を伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

今回の補助金返還事案の要因は、法人が補助事業の目的や要件を十分に理解することなく活用したことが大きな要因と考えております。今回の事案を踏まえ、補助事業に係る法人の認識にそごが生じないよう、分かりやすく丁寧な説明を行い、また説明会の開催など、補助事業の適正執行に努めております。併せて、保育所などにおける勤務実態などを確認するため、実地調査などを行うことで再発防止に努めてまいります。また、今後の指定管理者選定につきましては、引き続き候補者の事業の持続性、管理運営能力が確認できる選定に取り組むとともに、事業開始後もしっかりと連携してまいります。

○副議長（藏根　武）　佐久田悟議員。

○２７番　佐久田　悟議員　よろしくお願いを申し上げます。各部局と事業等、うるま市のいろんな事業、今はもう指定管理というのが、やはり民間の皆さんの力も借りてということで、行政もいろんな形で活性化していこうという考え方なんでしょうけれども、事業者を募集して、選定委員会に諮って、プロポーザル審査などの事業者選定を経て、最終的には私たちはこの議会で決定するわけです。だからこそ、やはり指定管理を私たちも認めた以上は、私たち議会・議員にも責任はあると思います。だからこそ、いろんな市民の方々からこうやって聞かれた場合は、しっかりとした説明をしないといけない。事業が始まってから、この事業内容、会計管理、市民サービスはどうなっているのかとか、やはり事業を担当するこの関係部局の職員は、今参事から答弁のありました、事業開始後もしっかりと連携してチェックしていきます、管理していきますと。やはり、これが一番重要だと思います。指定管理が決まって、それが議会で承認されて、それで終わりではなくて、その指定管理事業者が何か年、最高でも５か年間を超えて指定管理を受けて、それが本当に市民サービスに直結しているのかとか、いろんな会計管理もそうですけれども、そういった面では担当部局

の職員の皆さんがしっかりした対応、取組、そういったものを反省点として取り組んでいただきますよう提言をして、私の一般質問を終えたいと思います。

本日、一番最後の一般質問でした。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　以上で本日の日程は終了しました。

次回は、明日午前10時から会議を開きます。

本日は、これで散会します。

散　会（１４時１８分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

副　議　長　　藏　根　　武

９番議員　　平　良　一　雄

１０番議員　　真　壁　朝　弘

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（８日目）

◎　令和６年９月25日（水）　　（１０時０１分　開議）

◎　出席議員（26名）

１番	真栄城　　隆　議員	14番	池宮城　善　伸　議員
２番	高　屋　　優　議員	15番	伊　礼　　正　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	17番	仲　程　　孝　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
６番	国　吉　　亮　議員	19番	下　門　　勝　議員
７番	伊　波　良　明　議員	20番	天　願　久　史　議員
８番	神　田　洋　一　議員	24番	國　場　正　剛　議員
９番	平　良　一　雄　議員	25番	大　城　　直　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	27番	佐久田　　悟　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	28番	兼　本　光　治　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	29番	藏　根　　武　議員
13番	玉　城　政　哉　議員	30番	伊　波　　洋　議員

◎　欠席議員（１名）

23番　比　嘉　直　人　議員

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	防災広報対策部長	大　田　義　浩
副　市　長	佐久川　　篤	市民生活部長	松　岡　秀　光
教　育　長	嘉手苅　弘　美	経済産業部長	岸　本　　力
総務部長	山入端　立　也	農林水産部長	座喜味　達　也
企画部長	金　城　和　明	都市建設部長	名嘉眞　　睦
財務部長	島　袋　史　朗	都市建設部参事	田　場　直　樹

社会教育部長	川　端　　登	総務政策課長	諸見里　直　樹
社会教育部参事	兼　城　哲　夫		

◎　事務局出席者

議会事務局長	知　念　義　浩	調査広報係長	伊　禮　君　人
議　事　課　長	石　川　秀　吉	議事係主査	伊　藤　　靖
議　事　係　長	森　根　元　気		

◎　議事日程第８号
　　第１．会議録署名議員の指名
　　第２．一般質問

◎　会議に付した事件
　　議事日程に同じ

○副議長（藏根　武）　これより本日の会議を開きます。
　本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第８号のとおりです。
　日程第１．会議録署名議員の指名を行います。
　本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、幸喜勇議員、玉元哉世議員を指名します。
　休憩します。
　　休　憩（１０時０１分）
　　～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
　　再　開（１０時０３分）
○副議長（藏根　武）　再開します。
　日程第２．これより一般質問を行います。
　発言時間は当局答弁を含まず、30分以内です。通告がありますので、順次発言を許します。下門勝議員。
○１９番　下門　勝議員　皆さん、おはようございます。会派津梁下門でございます。藏根武副議長の許可をいただきましたので、通告してある５点について、通告に従い一般質問を行います。簡明な御答弁をよろしくお願いいたします。
　早速行きます。まず大きな項目１点目、勝連総合グラウンド及び周辺整備等、総合的な整備に関連する事項について伺ってまいります。これまで勝連総合グラウンド及びその周辺の一体的な再整備の必要性を様々な観点から提案をしてまいりました。根拠として、特に勝連地区の１人当たり公園面積が低いことや、公園が拝所敷地内に整備され、狭隘で薄暗く子育て世代が楽しく集えるような公園ではないことなどです。また、うるま市の他地区の公園整備に遅れをとっている。そういったことも含めて思っていました。そこで勝連総合グラウンド周辺の再整備に向けた一体的な整備の基本構想について概要を伺います。
○副議長（藏根　武）　都市建設部長。
○都市建設部長（名嘉眞　睦）　おはようございます。下門勝議員の御質問にお答えいたします。
　令和５年度に勝連グラウンド施設等再整備構想を策定し、今年度には、同再整備基本計画策定業務に取り組んでおります。基本計画では、多様な世代が楽しめる空間づくり、広域避難場所としての防災機能強化、官民連携の導入を目指した魅力的なサービスを持続的に提供を視野に、庁内幹事会、委員会及び地域住民を対象としたワークショップを開催し、勝連総合グラウンドの再整備に関する方向性等を検討してまいります。
○副議長（藏根　武）　下門勝議員。
○１９番　下門　勝議員　今回の再整備構想の策定に当たり、これまで提案をしてきた事項をおさらいしながら、幾つか要望しておきます。まず、多様な世代が楽しめる空間づくりとして野球ができる環境や照明灯もぜひ実施していただきたい。また、みんなが楽しめ交流できる空間として、バリアフリーが備わった近代的な大型コンビネーション遊具や休憩施設なども整備していただきたいと考えております。それから、広域避難場所としての防災機能強化については、昨今の自然災害の状況を鑑みると、地震や津波災害に備えておく必要が高まっています。屋慶名などの海抜が低い地域から多くの市民が避難しても、避難場所としてしっかり機能するように防災公園機能の強化に取り組んでいただきたいと思います。そこで、今述べたことについての所見と整備構想の範囲、そ

れから官民連携の考え方と整備後の運営などについて、分かる範囲で御答弁ください。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

議員御提言につきましては、今後行われる庁内幹事会、委員会及び地域住民とのワークショップなどで、しっかり取り組んでまいります。整備範囲につきましては、現勝連総合グラウンドを中心に周辺公共施設等も含めた範囲を想定しております。また、官民連携の導入や運営手法についても公園施設やキャンプ施設などの運営実績がある民間事業者サウンディング調査を行い、関係課の意見を踏まえ今年度行われる基本計画策定の中で検討してまいります。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　整備の範囲といたしましてＢ＆Ｇなど、周辺公共施設を含めた範囲が想定されますことから、市民からの要望をここで伝えておきます。

昭和57年に設立された少年少女の道場、勝連道場があります。それが昭和60年に泉武館と改名されました。初代館長の恩師が、子供たちが柔道を通して礼節を学び、精神的にたくましく成長する場、泉から水が湧き出るように、道場から元気な子供たちがどんどん育っていく場、として命名した泉武館が、これまでＢ＆Ｇにある武道場を長年練習場として活用しております。そこで基本計画の策定の中で、Ｂ＆Ｇ道場の存続、もしくは代替道場の確保に取り組んでいただきたいと思いますが、当局のお考えをお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

基本計画を策定するに当たり、同センター敷地の活用可能性についても検討してまいりますが、施設の在り方に関しましては、関係各課と連携しながら検討する必要がございます。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　武道に励む子供たちを応援するためにも、武道場の存続、もしくは練習場の確保について、関係者と連携をして取り組んでいただくようにお願いしておきます。

次に関連質問でございますけれども、勝連総合グラウンドや周辺施設が整備されると交通量の増加が見込まれます。そこで歩道もなく狭隘で危険なアクセス道路がありますが、同構想と同時進行で狭隘部分など、道路拡張整備に取り組むことができないかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

議員御指摘のアクセス道路につきましては、令和５年度に策定しました基本構想において、周辺施設と連携できるよう歩道設置や狭隘部における道路拡張について検討しております。今後の勝連総合グラウンド再整備に併せて、道路整備の事業化についても引き続き検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　次年度は、いよいよ合併20周年を迎えます。これまでも基本事項である均衡ある発展に取り組んではきておりますが、公園整備に関しては、勝連地区は他の地区に遅れをとっている現状がございました。しかし今回、当局の頑張りと中村市長の英断により、地域の念願である再整備に向けた計画が動き出します。感謝を申し上げます。

それからＢ＆Ｇの武道場で頑張る泉武館の子供たちのためにも、練習場の確保に関してしっかりと取り組んでいただきますように重ねてお願いを申し上げて、この件につきましては終わります。

次に大きな項目２点目、防災・災害対策等、避難所等の環境整備に関連する事項について、お伺いしてまいります。昨今は、地球温暖化やエルニーニョ現象などによって異常気象となり、日本各地で集中豪雨や記録的な暑さで猛暑が続き、気温も40度前後など危険な暑さでありました。このような異常気象の最中に災害が起きると、指定避難所での暑さ対策、冬場の防寒対策は二次被害を

防ぐためにも大切であります。そこで夏場、冬場の避難所における寒暖対策について、どのような対策がとられているかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　おはようございます。下門勝議員の質問にお答えいたします。

避難所における夏場対策につきましては、空調設備による対応が効果的と考えており、現在本市で整備に向け取り組んでおります避難拠点施設機能を持つ新総合体育館のアリーナにつきましては、空調設備の設置を予定しているところであります。なお、ほかの避難所につきましては、空調設備がなく、また新規設置も難しいことから、現時点では大型扇風機の活用に加え、スポットクーラーの導入などでの対応としているところでございます。また、冬場の寒さ対策につきましては、本市を含む沖縄地方が比較的温暖な地域である点を踏まえ、毛布での対応を想定しているところでございます。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　このような異常気象を鑑みると、災害時に数日間過ごす可能性のある指定避難場所での寒暖対策は、二次被害を防ぐためにも備えていく必要があります。そこで今定例会におきまして、糸数昌宗議員からの質問に対する答弁に、11月上旬の大規模避難訓練の実施を予定とありましたが、その訓練目的と内容をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

11月５日に行われます地震・津波訓練につきましては、県民等の避難行動に特化した県下全域を対象とする実践的な訓練を通して、地震・津波に対する防災意識の啓発や、津波避難計画等の検証を行うことにより、地震・津波災害に係る防災体制の向上を図ることを目的としております。沖縄県と全市町村が主催となり実施する広域避難訓練となっております。また、同訓練につきましては、現在自主防災会をはじめ、幅広い団体へ参加を呼びかけており、これらの参加団体と連携して、自らの身を守る安全確保行動や避難場所などへの避難訓練及び避難を促す広報の実施、各施設利用者の避難誘導など、総合的かつ広範囲にわたる訓練を実施する予定となっております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　災害時における避難所環境が、災害関連死に大きな影響を及ぼすと言われていることを鑑みると、避難所の環境整備は喫緊の課題と言えます。大阪府の八尾市では、災害関連死防止の課題を探るために、猛暑のときに避難所の疑似体験をする取組が行われたようです。実際に体験し課題を見つけ改善することで、災害関連死のリスク軽減になることからも、本市も取り組む必要があると考えております。今年は初の南海トラフ地震臨時情報が発令されリスクが高まっていることからも、万全な体制構築が求められております。11月の避難訓練において不安要素を洗い出し、今後の改善に生かしてほしいと思います。そこで11月の訓練において、不安要素を抽出するための取組や今後の改善に向けた取組についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

先ほど答弁いたしました11月５日の地震・津波避難訓練実施後に参加された団体等の皆様へアンケートを実施する予定となっております。そこで不安な点や課題などについて抽出し、二次災害の軽減に向けた取組として、今後の改善につなげていきたいと考えております。また、避難所生活が長期化した場合のストレス防止や災害関連死の防止につきましては、避難所における生活環境が良好に保てるよう各種防災資機材等の整備など、避難所の環境整備に取り組んでいるところでございます。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　ぜひ今後は、本市独自で、夏場、冬場に各年齢層の健常者や障害者なども参加させた避難訓練を実施し、一泊するなどリアルな体験を通して、実際に何が足りないかを調

査する避難訓練に取り組んでほしいと思います。

次に、今定例会で糸数議員の質問への答弁で、防災備品整備の具体的な基準に基づく整備計画がないことや、保管場所の課題が浮き彫りとなりました。そこで、これも関連質問になりますが、先ほど提言しました夏場、冬場に本市独自の避難訓練を行い実際に何が足りないかを調査して把握し、防災備品、備蓄品等に関する具体的な整備計画を早急に策定していただきたい。そして計画に沿った防災備品、備蓄品や保管場所を整備して、安心・安全な避難所運営ができる体制の構築に早急に取り組んでいただきたいと思いますが、当局の御所見をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　防災広報対策部長。

○防災広報対策部長（大田　義浩）　お答えします。

防災備品などの資機材に関しましては、大規模災害時等における避難所環境の整備といった観点からも、一定数確保していく必要があるものと認識しております。今後は議員御指摘のとおり、避難訓練などを通し、不足している防災資機材などの確認を改めて行うとともに、具体的な基準に基づく整備計画を策定し、庁内の関係部署との調整・協議を踏まえ、同計画に沿った確保に努めてまいりたいと考えております。また、備蓄品の保管場所につきましても、まずは飲料水やその他の備蓄品が長期にわたり良好に保存できるよう、既存の備蓄倉庫の湿度・温度対策や定期的なチェック体制の確立などに取り組んでまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　今回、自然災害の頻発と被害状況を踏まえ、避難訓練を実施し、リアルな体験から課題を抽出して、対策を講じる必要があることから質問をしてまいりました。避難所の環境整備においては、夏場の暑さ対策や冬場の防寒対策が重要であります。また衛生面では、トイレやシャワー施設などの備えが必要です。さらに災害時の電源確保も課題であり、発電機や燃料の確保、太陽光や風力発電といった再生エネルギーの導入など、避難所の環境整備においては多角的な備えが必要であると思います。しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

最後に、避難所の環境整備という観点から、うるま市地域防災計画の中に避難所の設置基準があり、避難所は小・大規模災害時は、宿泊、給食等の生活機能が確保できる施設で、原則として自治会単位として設置するとあり、また耐震・耐火構造の公共建築物、学校、公民館等を利用するとあります。収容基準はおおむね3.3平方メートル当たり２人とすると定められているわけですから、この辺のことも防災の観点から訓練を通してしっかりと調査して、改善に取り組んでいただきたいと思います。特に本島地域に移動できない観光客なども含め、孤立してしまう可能性のある津堅島や旧離島地区におきましては、その辺をしっかりと計画し備えることが二次災害を防ぐ手立てとなると思います。

それから追加して、勝連総合グラウンドが防災公園となれば、屋慶名など低地帯から避難が容易になるための防災道路の整備も重要になりますので、そこら辺もしっかりと取り組んでください。これについては終わります。

次に大きな項目３点目、この件につきましては、これまでも取り上げたことがありますが再度伺います。３点目、市内企業育成等、育成に関連する事項について伺ってまいります。本市から企業へ仕事を依頼する場合、どのような方法で発注されているかまずは伺います。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　下門勝議員の御質問にお答えいたします。

本市から企業への発注方法としましては、地方自治法に基づき一般競争入札、制限付一般競争入札、指名競争入札、随意契約により発注をしております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　さて本市には、うるま市中小企業振興基本条例が制定されております。同条例の趣旨、目的を鑑みた場合、本市における

これまでの入札等の状況を見ると、もう少し同条例を考慮して取り組むべき事案があるように感じております。そこで同条例は、市の責務として市内事業者の受注機会の増大に努めることを目的に制定されております。全ての職員に対し周知徹底させ、責務を全うするよう確実に取り組んでいただきたいが、当局の所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

下門勝議員の御指摘のとおり、うるま市中小企業振興基本条例第５条第２項では、市の責務として「市内事業者の受注機会の増大に努める」とあることから、全庁的に市内事業者への優先的な発注が行われているものと思いますが、改めて公正な競争性を確保しつつ、市内事業者への優先的発注に努めるよう、より一層の周知徹底に努めてまいります。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　市内の中小企業は、これまで地域社会において雇用の創出や所得向上に貢献し、地域の発展と市民生活の向上に大きな役割を果たしてきました。しかし、経済のグローバル化により企業間競争の激化や少子高齢化、人口減少などの課題により、中小企業を取り巻く経営環境は大きく変化し、厳しさを増しております。このような状況に対応し、市内企業の育成を図るためには、条例の趣旨、目的を鑑み、指名競争入札制度などを活用して、市内企業の受注機会を増大させる取組が重要であります。これにより、中小企業の経営を支え、地域経済の持続的な成長を促進することが大きく期待されます。この取組は、条例で市の責務、第５条第２項、「市は、工事の発注、物品及び役務の調達等に当たっては、公正な競争性を確保しつつ、予算の適切な執行に留意しながら、中小企業をはじめとする市内事業者の受注機会の増大に努めなければならない」ということを具現化するものでありますから、庁議等で周知徹底し、各組織の担当レベルまでその意義を浸透させ、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。これについても終わります。

次に大きな項目４点目、水産業振興等、水産業の振興等に関連する事項について伺ってまいります。この件に関しましては、一部大城直議員と重複する部分もありますが、よろしくお願いいたします。

本市では、勝連、与那城、石川、具志川支所、南原の、具志川支所は石川と一緒ですか、南原の４つの漁業協同組合があるが、平成28年の資料によると、漁協が本来行っている事業の収支を示す事業利益について、本市の全漁協においては赤字であるが、経常利益については、事業外利益から補填され黒字となっているようです。しかし今後、持続可能な水産業とするためには、事業利益の赤字解消を図る必要がある。そういうことで平成30年５月には、うるま市水産業振興計画が策定され、これまで様々な取組がなされてきております。そこでまず事業利益の赤字解消が図られたのか伺います。

そしてまた、黒字の要因である事業外利益の内容も併せてお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　おはようございます。下門勝議員の一般質問にお答えします。

うるま市水産業振興計画の策定時に、うるま市の４漁業協同組合とのヒアリング結果による課題への取組としまして、水産業強化事業や離島漁業再生事業を実施してまいりましたが、いまだ事業利益の赤字解消までに至っていないのが現状であります。赤字解消に至らなかった主な要因としましては、令和元年から流行した新型コロナウイルス感染拡大や、水産業強化支援事業の事業採択までに時間を費やしたことが考えられます。また、黒字の要因であります事業外利益の内容については、自衛隊及び在日米軍の行う訓練などによる漁船の操業の制限や、禁止による漁業経営上の損失を被った場合、国による損害補償、外国船の行動調査、監視、漁場調査等を行う外国漁船操業等調査・監視に対する助成事業となっております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　事業利益の赤字という

現状と水産業振興を含めた課題があればお伺いします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

事業利益の赤字の要因は、先ほど答弁いたしました理由のほか、水産物の生産量の減少、売上げの低下、燃料費及び漁具資材費の高騰など、多岐にわたるものと考えております。水産業の振興については、改めて各漁業協同組合と連携強化を図り、諸課題の明確化とその解決に向けた支援対策を各方面から検証していく必要があると考えております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　水産業振興の取組として勝連、与那城、石川、南原の各漁協の現状と、これまでの取組や課題、そして今後の取組があればお伺いをいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

勝連漁業協同組合につきましては、モズク養殖の不作及び単価の低迷が課題となっているため、今年完成いたしましたモズク加工場にて、安定的にモズク加工品を生産すると同時に、うるマルシェなどを活用し、販売促進を推進し、また漁場管理としてデータを収集し、モズクの安定生産につなげるよう関係機関と連携を図っていくこととなっております。

与那城町漁業協同組合につきましては、燃油高騰によるコスト増や漁業資源の減少、魚価の低迷が課題となっております。今後の取組としまして、アーサの養殖場の整備、新規パヤオの設置、またサンゴの養殖を進め地元と連携し、観光漁業に取り組んでいくこととなっております。

また石川漁業協同組合につきましては、燃油高騰によるコスト増と厳しいものの、パヤオ漁において安定した漁獲量となっており、また広域浜プランによる競り価格の統合により、魚価の高騰があったと伺っております。今後の取組といたしまして、後継者の育成、製氷機等の施設整備を行うための浜プランの策定に取り組んでいるところとなっております。

最後に南原漁業協同組合につきましては、燃油高騰や漁獲量の横ばいなど、漁業環境は厳しいものの、漁協が運営する鮮魚直売所においては、年々来客数が増加傾向にあるようです。今後の取組としては、関係機関の協力を得ながら、放流事業の推進並びに乱獲防止による資源管理に取り組んでいくことになっております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　もう一つだけ、各漁協でのハード面やソフト面の主な取組成果があれば、お伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

勝連漁業協同組合につきましては、モズク加工場が新設され、今年の６月に包括連携協定を締結した、ダイタン商事株式会社の名代富士そばへモズクを卸すなど、モズクのＰＲと販路拡大に取り組んでおります。与那城町漁業協同組合につきましては、離島再生支援事業によるサメ駆除や漁場監視密漁対策を行い、沖縄振興基金の補助を活用して大型冷凍庫を新設したことにより、出荷調整が可能となったと伺っております。石川漁業協同組合につきましては、広域浜プランを作成し、競り統合により魚価の高騰につながったと伺っております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　石川漁業協同組合において、広域浜プランを策定して、競り統合により魚価の高騰につながったということを踏まえながら質問してまいりますが、うるま市には３つの小規模市場がありますが、与那城、勝連、石川の漁業協同組合ですけれども、市内で水揚げされた水産物等は各市場に出荷し、そして市場で仲買業者や小売店が買い付けを行い、飲食店や量販店を通じて消費者に供給されていきます。しかし現在のような小規模市場では安定供給が困難になりやす

く、価格競争力の向上と消費者ニーズへの柔軟な対応が課題となっております。また仲買業者が減少し、取引相手が固定化すると、価格形成力が弱くなる傾向があるため、市場での価格形成を維持するためには、一定の仲買業者を確保する必要があります。そこで大城議員からもございましたが、競り市場の統合整備が必要であるとの意見がございます。照間漁港や平安座漁港など、観光振興とリンクできる場所に競り市場及び直売所を兼ね備えた、そして飲食店施設など併設型の整備計画ができないかと考えておりますが、当局の所見をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

議員御提案の競り市場、直売所の施設整備については、各漁業協同組合を含めた推進体制の上で、関係団体や研究機関の指導・助言を得ながら、漁業関係者のニーズに応えられるよう、事業の費用対効果や検証及び水産業環境の変化を見据えながら対応したいと考えております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　第２次うるま市産業振興計画にあるように、基本方針の「地域の強みを活かしたうるまツーリズムの形成」を行うに当たり、地域における受入れ態勢の構築が今、求められております。しかし、観光事業者と市内の各事業者、農水産業者、飲食業、小売業、製造業などとの連携が乏しい状況が指摘されております。課題解決のためには、観光事業者と市内の各事業者との連携・ネットワークを強化し、地域経済全体に波及効果を生む取組が必要であることからも、各漁協の協力が得られ、競り市場の統合整備ができれば、水産業の振興、観光振興に寄与できると思います。今後も様々な観点から検討を重ねていく必要があると思いますが、これについての所見を伺いします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

うるま市の産業振興において、議員御指摘のとおり、農水産業と観光業並びに商工業の連携は重要であると考えております。各漁業協同組合の事業計画や要望等のニーズや課題を共有した上で、経済産業部と連携し、漁業協同組合と市内事業者とのマッチング等を含めた取組について、今後検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　最後に、水産業を今以上に魅力ある産業にするためにも、各事業者間の連携強化が絶対に必要であると考えております。競り市場や直売所の集約について、今後も調査・検討をお願いいたします。

最後に、市内各漁港機能保全や漁港整備、巻上機の整備、水産物の供給基盤整備事業など、水産業振興における様々な事業が現在展開されております。水産業振興にも多額の予算が投入されております。当局と市長の水産業振興に対する思いが伝わってきます。今後も水産業に対する支援の強化をお願いいたしますが、市長のほうから一言お願いいたします。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　下門勝議員にお答えいたします。

先ほど部長のほうからも答弁させていただきました。さらに水産業を活性化するということでは多くの難題もありますが、そういったところを一つ一つ整理しながら、より特徴的なものをしっかりと行っていくと。離島においては養殖をなさっている方々がいる。さらにモズク漁では、全国でも名の通った勝連のモズクであります。そういった特徴があるものを、しっかり我々がコーディネートをして、いかにどのようにして物流をしていくか。そこで水産業が活性化するかということもございます。下門議員におかれましては、先ほど来からの質問の内容等も含めて、多くの激励さらには我々に対する御助言等もございました。それを精査しながら、一つ一つ我々が水産業発展のために、しっかり取り組んでまいりたいと思います。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　次に大きな項目５点目、観光振興等、観光振興等に関連する事項についてお伺いいたします。

肝高の阿麻和利の勝連城公演が来る11月１日に４年ぶりに開催されると伺っております。そこでそのイベントを発展させ、年に一度の「幻の村祭り」とのネーミングで、大々的に祭りをプロモーションできないかと考えております。阿麻和利が年に１度現れる幻の村祭りを開催し、祭りのフィナーレを阿麻和利公演と花火で締めくくり、幻想的でインパクトのある演出を行って、一生の思い出に残るような幻の村祭りをブランディングできないかと考えております。また、勝連城跡のインパクトという観点から、あまわりパーク内に想像上の疑似の勝連城をつくれないかと考えておりますが、可能性を含めて所見をお伺いします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　下門勝議員の御質問にお答えいたします。

議員御提案の幻の村祭りは、現代版組踊「肝高の阿麻和利」舞台の幕開けで演じられるストーリーから発想なされたものだと理解をいたしております。御提案の内容につきましては、現代版組踊「肝高の阿麻和利」のブランド価値や、脚本や演出上の影響等について、関係者の意見を伺う必要があると考えておりますので、御提案として賜らせていただきたいと思っております。なお、議員御承知のとおり、来る11月１日から11月３日までの３日間において、実際の勝連城跡を舞台とした特別な公演として、現代版組踊「肝高の阿麻和利」グスク公演が４年ぶりに開催される運びとなっております。数年越しに開催される幻想的で特別感あふれるグスクでの公演は、現代版組踊「肝高の阿麻和利」と勝連城のブランディングとしても高い効果が期待できることから、開催に当たっては、可能な範囲で支援してまいりたいと考えております。

次に、議員御提案のあまわりパーク内での勝連城の復元についてでありますが、あまわりパークは、勝連城跡周辺整備事業の区域として令和６年８月に建設と運営を担う優先交渉権者が決定しており、今後当該優先交渉権者の提案内容を踏まえて、事業契約を締結する予定であることから、あまわりパーク内での勝連城の復元については現段階においては大変、厳しいものであると考えております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　幻の村祭り構想は、私の考えですけれども、阿麻和利公演と祭りを融合させ、大きく発展させることで、国内外からの注目を集める持続可能なイベントとして魅力的な取組になると個人的には考えております。幻の村祭りのテーマと演出ですが、勝連城の歴史や伝説を中心に阿麻和利が年に一度だけ現れるという伝説をテーマにした物語性の強い、特別なイベントとしてブランディングいたします。そしてこの祭りのフィナーレを、阿麻和利の公演を幻想的に演出しながら、夜空を彩る花火でクライマックスを飾り、壮大な演出で観客に深い感動とインパクトを与え、心に残る体験を提供する幻の村祭りにします。ブランディングのポイントとしては、一度限りの特別感です。幻の村祭りという名前に込められた年に一度だけ現れる祭りという特別感を強調しながら、観客が見逃したくないと思うようなプロモーションを展開します。現場でドローンを活用して撮影し、大型ビジョンを設置して映像を流すなど、様々な取組が考えられます。ＳＮＳ時代にマッチしたプロモーションを行い、幻想的なビジュアルや独自性のある祭りの様子を発信し、国内外にその魅力を拡散させる戦略がとれると考えております。また、観光と地域活性化のために、祭りの内容と地域資源と結びつけ、特産品や伝統文化を知る体験型イベントを組み込んで、観光消費を促進させ、地域経済への波及効果を高める取組も行います。そうすることで、幻の村祭りは、地域の文化や歴史を守りながら、観光振興と地域経済の発展を両立させる持続可能なイベントとして成長させることができ、素通り観光からの脱却だけでなく、市全体が観光で潤う基盤が形成され

ていくと考えております。この提言について、当局の御所見を伺っておきます。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

御提言の幻の村祭りについては、先ほど申し上げたとおりでございますが、これまでにも勝連城跡を舞台とした令和元年度のダイニングアウト、令和２年度の勝連城フェス2021、令和４年度の勝連城跡ポップアップレストラン、令和５年度の現代版組踊フェスで、勝連城跡と阿麻和利が持つブランド力を融合させたコラボイベントとして、地元事業者の参画と地場産品を活用した料理の提供等によるユニークベニューな取組を行ってきており、引き続き魅力的なイベントの実施によるブランディングを図ってまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　分かりました。この提言が幻の質問とならぬように、感動産業特区の一大イベントとしてぜひ検討していただければうれしいです。

次に、本市には風光明媚な自然環境や伝統文化、史跡や歴史など数多くの観光資源がありますが、現在は十分に生かされていない状況もあると思います。そこで本市の豊富で魅力的な観光資源を最大限に引き出すためには、どのような取組が必要であると考えますか。これまでの取組や課題などがあればお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

これまでの取組といたしましては、昨年度は感動産業特区宣言を掲げ、東京都文京区においてシティプロモーションを行っており、今年度は、感動産業特区プロモーション事業として、現代版組踊「肝高の阿麻和利」、闘牛、海中道路などといった、うるまの感動コンテンツ及び多種多様な特産品、地元で活躍する人材など、うるま市の豊富な観光資源について、県外催事への出展やＳＮＳ等を活用した情報発信により、うるま市を訪れたくなるＰＲ活動に取り組んでいるところでございます。また、本市の認知度の向上と訪ねたくなる場所として、認知されることが一番の課題だと考えておりますので、本年度において構築が予定されております感動産業特区うるま市としての、感動を軸に据えたブランディング戦略とコンセプトに基づいた観光振興を図る必要があると考えております。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　次に、本市の観光振興における一番の課題は、素通り観光からの脱却であると思います。現在、感動産業特区宣言を行い様々な取組が行われ、私も「幻の村祭り」を提言しましたが、そこで当局は素通り観光からの脱却について、どのような姿を目指していますか、お伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

素通り観光からの脱却としては、多くの観光客が市内での宿泊や長期滞在により、市内の飲食店や観光施設等の利用による域内での観光消費額を拡大させることで、市内経済に好循環が生まれる状況を想定しております。これまでにも市内滞在型を実現するため、ホテル誘致活動等を行っており、また勝連城跡周辺整備事業や石川地域まちづくり推進計画並びに勝連・与那城地域まちづくり推進計画において、魅力ある観光形成に向けた取組も行っているところであります。また、ホテル誘致活動や受入れ環境の整備も加えて、観光物産協会とも連携・協働し、首都圏を中心としたうるま市の認知度向上及び観光誘客促進を図るプロモーション活動にも取り組んでおり、うるま市への誘客につながるようなツーリズムの創出にも取り組んでいるところであります。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　玉元哉世議員への答弁にもあったように、県外から本市に年間約200万人の来訪者があるが、勝連城跡には約10万人、５％しか呼び込めていませんが、実際には統計以外の来訪者を考えると、もっと経済効果を上げていかなければいけないと思います。ジャングリアがオープンすると、来訪者も倍増する可能性があ

ります。もっと仕掛けが必要だと思います。答弁にあるうるま市への誘客につながるようなツーリズムの創出に取り組むことは大変重要な取組であります。持続可能な観光振興など、素通り観光からの脱却を目指す上で、大きな課題から小さな課題までしっかりと改善していくことが必要です。ハード面での理想的状況を言うと、アクセス道の改善が課題であります。埋もれた観光資源を含めて、主要観光地などへのアクセスが改善され、観光客が訪れやすい環境を整えることが求められております。市長が提案している中部東道路はもちろんのことですが、例えばシルミチュー、仲原遺跡、ジャネー洞などの観光地にも大型バスが容易に到達できる道路や駐車場、そして観光ルートも歩きやすく整備することで、観光バスツアーの誘致の促進が図られるのではないでしょうか。最近は平安名にあるワイトゥイにも写真を撮る観光客の姿がちらほらあります。

ソフト面などでは、インバウンドをターゲットにした場合、地元の特産品を活用したビーガンやベジタリアンなどの対応ができれば、宿泊地や食事場所として選ばれるなど、様々な視点からの取組が考えられます。また、観光名所での展示や案内が多言語対応され、ＡＩ翻訳機器などが導入されるなど、外国人観光客にとっても訪れやすい環境を整え、多様なニーズに応えられる観光地にすることが必要であります。

それから現在取り組んでいる高付加価値な市内観光ツアーや修学旅行向けのコンテンツ、伝統工芸や地域産業体験ツアーなど、ターゲットに合わせた魅力的な観光コンテンツをたくさんつくりあげる必要があると思います。さらにホワイト・ビーチや米軍基地のカーニバルなど定期的に開催されるイベントへの参加ツアーなど、地元コンテンツを最大限活用した取組も必要であると考えております。そこで誘客に向けたツーリズムの創出として、このような取組も必要と考えておりますが、所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

うるまの様々な地元コンテンツを活用した市内観光ツアーの造成につきましては、感動を軸に多彩な観光コンテンツを感動コンテンツとして再編集し、組み合わせることや、効果的なプロモーションによる情報発信も講じつつ、旅行関連事業者と連携した観光ツアーの商品造成にも取り組んでまいりたいと考えております。数多くの御提言を議員からいただいたことに関して、ありがとうございます。参考にさせていただきます。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　ありがとうございます。

私のもう一つのツアーの考え方として、人類の始祖と発展をテーマにした観光ツアーとして、例えば、シルミチュー、アマミチューからスタートして、ジャネー洞での原始的な暮らし、そして仲原遺跡での新たな暮らし、勝連城までの発展を巡る、この人類の発展のツアーなどおもしろいと思います。また史跡や遺跡などがある場所にＱＲコードを設置し、保全を目的とした寄附ができるようにしたＱＲスタンプラリーを数か所に設置して、寄附が一定の金額に到達した場合、食事のクーポンとして一部還元されるような取組もやってみる価値はあると思います。そのクーポンは２日限りで市内の飲食店で使えるようにしていくという取組が有効だと思います。素通り観光からの脱却とは、観光客が単に立ち寄るだけではなく、地元に滞在して地元の魅力に触れて、消費に伴う行動をすることです。ハード面でのインフラ整備、そしてソフト面での体験型観光の充実を進めることで持続可能な観光地としての魅力を高めることが重要であります。この戦略を通じて本市は、経済的にも観光客にとっても価値のある滞在型観光へと進化することができると期待されます。地元市民と行政、観光関連事業者が一体となって持続可能な観光の発展に向けて協力し、地元資源を最大限生かした観光プロモーションが展開できるよう頑張ってまいりましょう。最後に市長、よろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　下門勝議員にお答えをい

たします。

先ほど観光事業について、いろいろと御提言をいただき、誠にありがとうございます。内容と中身に関しては、本当に我々もしっかりと検証し、また取り組めるところはしっかりと取り組んでいきたいと思っております。下門議員がおっしゃるように、西海岸と東海岸比べてみますと、やはり観光客の数としては圧倒的に本島内では西海岸、特に恩納村を中心とすると。今後は北部、本部地域を含めて西海岸のほうにジャングリアができるというようなこともございます。では、我々東側はどうなるんだというようなことを危惧されておりますけれども、そういったところも今検証しながら、いろんなことをブランディングをしている状況であります。御承知のとおり、勝連城跡は、我々の大変すばらしい史跡でございます。それを中心として事業化をし、さらにはそこに事業者等がしっかりと考えを構築するということで、事業計画をしているということがあります。さらにそこは中心的に先ほど部長のほうから申し上げたとおり、阿麻和利を踊られている中高生の皆さんが活躍をしている場もございます。そういった等々を含めながら、私たちはこれからどういった事業に着手をし、どういったところの島しょ地域のすばらしい魅力を発信していくかということもございます。素通り観光と先ほど御指摘がございましたが、コロナ禍でホテルが誘致をするということが大変厳しい状況にございました。あの当時にホテルがうるま市に来たいというようなお話もあったんですが、コロナ禍の最中でその話も消えていったというようなこともございます。今後はこういったところも含めて、ホテルの誘致、さらには離島の活性化、民間で活躍している民泊の方々等も含めて集客をするというような滞在型観光も含めて、しっかりと対応をしてまいりたいと思っております。下門議員におかれまして今後もこういった御指摘等も含めて、御指導、御鞭撻を今後ともよろしくお願いを申し上げ答弁に代えさせていただきます。誠にありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　これで５点についての質問を終わりますが、比嘉議長の早期の回復と、そして藏根武副議長の見事な議会さばきに感謝を申し上げ、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　暫時休憩します。

休　憩（１０時５５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時１１分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　早速始めていきたいと思います。議長の許可を得ましたので、通告してあります３件について質問をさせていただきます。

初めに、石川地域まちづくりについて質問いたします。令和４年度に策定されました、うるま市石川地域まちづくり推進計画については、これまでも多くの議員から何度も質問がありました。決算書を見ますと、令和４年度は約1,405万円、令和５年度は約4,844万円、そして令和６年度は、予算案で約5,555万円と年々増加し、３年間では約１億1,800万円ものお金がかかることになるわけです。ワークショップやアンケート調査による実現のための計画策定の流れが検討されているものだと思いますが、現状は一向に進展が見られません。当然のことながら調査は重要ではありますが、実施計画があまりにも遅いのではないかと危惧をしております。社会的状況の変化が早い中、実施計画が遅すぎると、せっかくの調査も絵に描いた餅になりかねません。ですので、大きな構想で時間を要するよりも、私は最優先事業から少しでもいいですので、着手したほうがいいのではないかと思っているところです。では、質問させていただきます。

（１）石川地域まちづくり推進計画における石川インターチェンジ周辺の交流拠点形成の取組状況について伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　伊波良明議員の御質問にお答えいたします。

石川インターチェンジ周辺の交流拠点形成につきましては、昨年度の住民ワークショップやアンケート調査の結果を通じて、交通結節機能や直売所などの導入機能が整理され、沖縄本島の中央に位置する立地ポテンシャルを最大限に生かし、南北に行き交う人々をワンストップさせる新たな拠点を形成し、地域内へ人流を誘導することで、その効果を地域に波及させるエリアの方向性について整理をしてきたところでございます。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　御答弁では、立地ポテンシャルを生かした、南北に行き来する人々をワンストップさせる新たな拠点とのことでございますが、おっしゃるとおりだと私も思っております。また常に、私も申し上げておりますが、石川地域は観光リゾート地である恩納村からの観光客も少なくありません。その多くの観光客がレンタカーを利用しておりますので、駐車場の整備が喫緊の課題であると考えております。では、再質問いたします。今年度の取組状況について、お伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

今年度におきましては、バス事業者やレンタカー事業者をはじめとした交通関連事業者へのヒアリングを実施し、求められる交通結節機能と役割を整理していきたいと考えております。

また、にぎわいの拠点となります道の駅や直売所につきましては、道路管理者との設置に関する協議や民間対話を通じ、市場性を確認するとともに対象地におきましては、民間所有の土地が含まれておりますので、地権者に対する事業説明を実施していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　先ほども申し上げましたが、喫緊の課題は駐車場の整備だと思っていることから、続けて再質問いたします。

道の駅や直売所、または石川多目的ドーム等への来訪者にとって、一番ありがたいと思うことは、大駐車場の整備だと考えておりますが、見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

現在、導入機能として検討しております道の駅や直売所等につきましては、来訪者規模に応じた駐車場の確保は必須でありまして、加えて交通結節機能の充実を図る観点からも、乗換え拠点としての駐車場確保は必要であると考えております。今後は、導入機能を絞り込んだ上で必要な駐車場規模を検討してまいりたいと考えております。

また、石川多目的ドーム利用者の駐車場につきましては、喫緊の課題でもあることから、経済産業部で実施します石川多目的ドーム機能強化事業の中で、先行して駐車場整備を進めているところでございます。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　喫緊の課題であるとの見解は、よく分かりましたが、駐車場整備については、以前より多くの議員からの要望事項ですので、最優先事業として私も取り組んでいただけるよう強く要望して、次の再質問をいたします。

交通結節機能が充実した様々な交通が集まるような整備をするとのことであれば、周りの国道や県道からのアクセスをよくすることや、さらには市街地へのアクセスも同時に整備する必要があるものと考えております。そこで、地域内への車の流れを誘導するためにも、石川インターチェンジからの市道石川西線につながる市道、仮称ですが石川インターチェンジ線の整備も並行して行うべきだと考えておりますが、見解をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　再質問にお答えいたします。

御質問の道路計画につきましては、さきの第176回６月定例会において、平良一雄議員へお答えしましたように、（仮称）石川インターチェンジ線として概略検討業務や周辺交差点等影響調査業務を実施しておりますが、ハード交付金の交付額減少が続いていることから、新たな整備計画が

立てられない状況でございます。今後、石川インターチェンジ周辺交流拠点形成の取組状況や国庫補助等の財源確保に努めながら検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　なかなか厳しいとの御答弁ですが、石川商業地域へのアクセスの一つとして、位置づけられる幹線道路であると私は考えておりますので積極的な御検討を要望して、次の質問に移りたいと思います。

（２）石川庁舎周辺の利活用及び解体予定の建築物と時期について伺います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

石川庁舎周辺の利活用につきましては、基本的に民間の資金やノウハウを活用した公民連携によるエリア開発を前提にした計画でありまして、これまでの民間事業者との対話から、更地化を前提とした開発について、民間の高い参入意欲を把握している状況でございます。一方で、既存の公共機能につきましては、周辺施設への集約化や計画地に機能を残すかどうかなど、公共機能の在り方については、公共施設等マネジメント庁内検討委員会において、検討していく予定でございます。老朽化した建物の今後の方向性についても、公共機能の再配置の考え方を踏まえ、検討していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　更地化を前提とした開発と、民間の資金や民間の参入によるエリア開発が基本的な考え方であることには、私も全く同感でございます。また、公共機能の再配置に関しては、常々提案させていただいている県営石川団地に隣接する市有地への複合的な施設が望ましいものと考えておりますので、前向きな御検討をよろしくお願いしたいと思います。

では、再質問いたします。石川インターチェンジ周辺と同様の考え方になりますが、石川庁舎周辺の更地後の活用として大駐車場を整備し、その周囲を区割りするなどして、民間への販売を行い、名店街用地として、民間主導で進めていけるようなまちづくりが望ましいと考えておりますが、見解をお伺いします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

議員御提案のあります駐車場を核としたまちづくりにつきましては、当該エリアの開発における利用ばかりではなく、既成市街地への波及及び回遊性を生み出す観点からも、当該エリアに適合するものと考えております。

また先ほども答弁したとおり、庁舎周辺におきましては、民間の資金やノウハウを最大限に取り入れた開発を前提に進めておりますので、民間事業者との対話を通じて、導入機能の絞り込みやゾーニングを検討し、駐車場の規模や位置について整理していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　無料の駐車場があることによって、民間事業者が非常に参入しやすくなることが十分に想定されます。民活によるまちづくりが今すぐにでも私は可能ではないかと考えております。財源をできるだけ使わないまちづくりの御検討を要望して、次の質問に移りたいと思います。

石川地域まちづくり推進計画に位置づけられている国道329号沿道の土地について質問いたします。（３）国道329号沿道の土地利用の現状と今後の活用について伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　御質問にお答えいたします。

石川地域まちづくり推進計画、国道329号沿道の新たな土地利用、検討エリアにおける土地利用規制といたしましては、特定用途制限地域の市街地緩衝地区と、幹線道路沿道地区を都市計画法に基づき指定しております。建築物の用途制限の概要といたしましては、店舗面積が１万平方メートルを超える店舗やパチンコ店などの遊戯施設、一定規模の畜舎や工場等の制限がございますが、その他にも農業振興地域等の規制もございます。ま

た、今後の活用につきましては、当該エリア一帯は、農業振興地域であることから、引き続き農業の振興や新たな産業用地として、土地利用転換の検討が位置づけられております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　昨今の米不足や農産物等の物価高騰の観点からも農業生産の増大に向けて、優良農地や食料自給率の向上、そして安定供給の面から見ても農業振興はさらに推進していかなければならないと考えております。しかし、同時に産業用地の確保も経済振興の立場から重要だと考えております。土地有効利用事業などを活用して集約し、整形、整備後に事業者に譲渡するなど、官公民のパートナーシップでもって、まちづくりが推進できないものか、御検討いただけるよう、これも強く要望して次の質問に移ります。

うるま市ＩＴ事業支援センター条例を読みますと、新たな雇用機会の創出と地域の活性化を図るために、ＩＴ事業支援センターを設置するとありますが、実情はどうなっているのか、私も全く分かりません。一般市民が立ち入ることができる場所は、５号館の食堂、あるいはその２階にある保育施設、そして隣にある体育館だけだと思っておりますが、その他の施設はセキュリティー上、大変厳しいものがあって分からないことから、今回質問させていただきます。

（４）石川赤崎にあるＩＴ事業支援センターの状況について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

令和６年７月末現在のＩＴ事業支援センター、入居企業の状況としては、１号館に３社、２号館に７社、３号館に１社、４号館に１社、５号館に１社の計13社となっており、従業員総数329人、うちうるま市民が126人でございます。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　一般市民も利用が可能な食堂において、時々私も利用するんですけれども、社員らしい方を見受けることがあまりありませんでしたので、社員が少ないものと思っておりました。329人もの社員がいるとのことですので、雇用効果には貢献していることがよく分かりました。では再質問いたします。ＩＴ事業支援センターには、13社の企業が入居しているということですが、どのような企業が入居しているのでしょうか伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

ＩＴ事業支援センター入居企業の業種に関しましては、コールセンターが主となっておりますが、施設管理、経営コンサルティング、システム開発なども一部ございます。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　では、続けて再質問いたします。ＩＴ事業支援センター内にある体育館の入居企業の利用状況や、一般市民の利用状況について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

昨年度の体育館利用実績は、利用件数882件、利用者数３万3,985人、稼働率は41.1％となっております。利用者に関しましては、ほぼ一般市民の利用となっており、ジャザサイズやバスケットボールなどで主に活用されております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　大変よく分かりました。なかなか市民もそこに体育館の施設があることや利用できることが分かる市民は少ないものと思っております。しかし、稼働率が41％ということは、私も意外な数字でしたが、できましたらまだまだ使える数字ですので、市民へのさらなる周知を要望し、広くまた市民に利用していただきたいと思います。では再質問いたします。５号館の利用状況について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

５号館の１階部分は、入居企業の従業員等が利用する食堂、ラウンジとして整備されておりますが、食堂部分は運営事業者がおらず、現在は稼働

しておりません。ラウンジ部分は従業員の共有スペースとして、ランチや休憩などで利用されております。また２階部分は、企業主導型保育事業として、アイビス赤崎保育園が運営し、地域の子供たちを受け入れております。令和６年４月１日現在で総勢45人、そのうち市民30人が利用しております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　食堂に関しましては、これまでも何度か運営事業者のほうが変わっておりましたが、聞くところによりますと、ＩＴ事業支援センターの社員は、大体手弁当が多いとのことですので、やはり食堂としては厳しいのも当然のことかなと思っております。保育施設は、事業所内保育所ですが、市民30人の利用があることは、本市にとっても大変ありがたいものなのかなと思っております。

では、再質問いたします。ＩＴ事業支援センターの今後の在り方について、入居企業と調整を進めているとの話を聞きましたが、その内容について伺います。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　伊波良明議員にお答えいたします。

ＩＴ事業支援センターは、１号館から５号館まで５つの建物がございます。その中で1969年に建築された１号館、３号館、４号館の築55年の３つの建物について、これ以上の長寿命化等の大規模改修が難しく、安全面に課題があることから、令和８年３月末までに退去していただき、解体する方針でございます。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　もともとこのＩＴ事業支援センターは、国立海員学校の校舎を利用しておりますので、古いとは思っておりましたが、令和８年３月までに退去してもらい、解体するということでございますが、そこで再質問させていただきます。１号館、３号館、４号館は老朽化が進んでいるから退去していただくとのことでございますが、そちらに入居している企業の移転等について、どのような対応を考えていらっしゃるのか伺います。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

企業の移転先などにつきましては、市所有の同様な施設がないことから、民間所有の施設などへの移転をお願いしているところでございます。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　では、続けて再質問いたします。ＩＴ事業支援センターの２号館、５号館の今後の在り方及び施設管理手法について伺います。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

２号館、５号館の今後の在り方及び施設の管理手法等につきましては、公共施設等マネジメント庁内検討委員会において、検討してまいります。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　先ほどの御答弁では、民間の施設への入居をお願いしているとのことでございましたが、実は退去せざるを得ない事業者についてですが、その市所有には同様な施設もないこととおっしゃっていましたが、民間所有の施設等への移転をお願いしているということですが、例えば、市所有というか、教育委員会所有の石川中学校にあるランチルームの２階、３階がまだ未使用でございますので、そういったところとか、あるいはまた先ほどＩＴ事業支援センターの中の食堂部分がなかなか開けても、経営できないということで閉まっている状態が多いということで、そこら辺も活用できないかどうか。そういったことも踏まえて、探せば意外にあるのではないかと思っております。それと民間のほうでも、結構大きな面積のある空き家もありますので、そういった情報等の提供も含めて、ぜひ担当の皆さんには誠意を持って対応していただきたいと要望して、次の質問に移りたいと思います。

では２番目、タイムカプセル開封について伺います。昨年の６月定例会においても質問いたしましたが、答弁では、引き続き情報収集や収納品の

特定作業に取り組むとのことでございました。しかし、現場を見た限りではいまだに手つかずのままであり、そろそろ開封に向けて動かなければならないのではないかということで、検討の加速を促す意味で取り上げてみました。希望としては、令和７年５月の連休に予定されている石川みほそまつりにおいて報告やセレモニー等ができたらと考えているところです。さてタイムカプセルは、29年前の1995年12月24日に埋設され、本来は2020年の開封予定でありましたが、恐らく合併時のどさくさに乗じて、忘れ去られたものと思っておりますが、首尾よく来年度はタイムカプセル埋設30周年、旧石川市制施行80周年、そしてうるま市の市制施行20周年の記念すべき節目の年にも当たります。

そこで質問いたします。（１）石川市制施行50周年記念タイムカプセルに納められた中身の特定作業の開封時期について伺います。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　伊波良明議員の御質問にお答えいたします。

御質問のタイムカプセルにつきましては、令和５年６月定例会にも一般質問がございましたが、その後タイムカプセル等の図面を確認ができたことから、現在タイムカプセルの取り出し方法と予算面等を併せて検討を行っているところでございます。

令和７年度は、市制施行の節目にも当たることから、タイムカプセルのセレモニーが令和７年度に実施できるよう年内にタイムカプセルを取り出し、その後に収納品の確認作業を行いたいと考えております。また、タイムカプセルの開封及び収納品を取り出す際は、タイムカプセル記念事業に関わった方々の代表をはじめ、関係者に立ち会っていただき、収納品の内容などの確認を行いたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　私も担当の方に、タイムカプセルの埋設図面を見せていただきました。かなり大がかりな作業になりそうだと思っております。また予算やタイムカプセルの取り出し方法、それも年内には、タイムカプセルを取り出すこと、その際には、当時関わった方々に立ち会っていただき、収納品の確認作業を行いたいとのことが、よく分かりました。では、質問いたします。（２）オープンセレモニーの行事について、見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

旧石川市の閉市記念誌によりますと、タイムカプセルには、旧石川市のまちづくりを示す貴重なものが収納されているとみられていることから、懐かしい旧交を温められ、またこれからの石川地域のまちづくりにもつながるようなセレモニーとして位置づけることが大切であると考えております。

タイムカプセルの行事としましては、開封のセレモニーと収納品のお披露目会などを想定しており、まずタイムカプセルの開封につきましては、記念事業に関わった関係者をはじめ、代表の方々に立ち会っていただき、収納品の内容を確認してまいりたいと考えております。

次に、収納品のお披露目会などにつきましては、収納品の内容や保存状態にもよりますが、石川地域内の公共施設で行うほか、収納品を納めた方が市外、県外に転出されている可能性もあることから、市ホームページでの掲載を含め検討していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　そうですね。タイムカプセルのオープンセレモニーでは、当時の担当職員や関係者の方々が多くいらっしゃることから旧交を温めながら、懐かしい思い出話で盛り上がることは必然だと思っております。さらに収納品に関しては、展示会等を御検討していきたいとのことですので、ぜひ石川歴史民俗資料館等においても、広く石川地域の市民にも見ていただけるような展示会を要望し、実現に向けて取り組んでほしいと思っております。

それから、セレモニー関係者の方々への呼びか

けをどうするのかも大事な作業になると思います。そこで質問いたします。（３）セレモニーでの参列者及び案内状の発送について伺います。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

セレモニー開催の案内方法としましては、まずタイムカプセルの開封につきましては、タイムカプセル記念事業の関係者をはじめ、代表の方々に案内し、立ち会っていただくとともに収納品のお披露目会などにつきましては、収納品を納めた方々を中心に、氏名、住所等が特定できる場合は案内状の発送、特定できない場合も想定されることから、市広報紙や公式ＬＩＮＥ、または各自治会を通して周知するなど、案内方法を工夫していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　前回のこのタイムカプセルの一般質問をしたその後から、意外と地域では私の子供たちが小学校野球クラブだった頃にお願いされて、このタイムカプセルの中に納めたという話も話題になるようになりました。そういうことも考えますと、案内状の発送以外にも皆さん方の考えでは、市広報紙や公式ＬＩＮＥ、または各自治会を通して周知するなど、関係者の方々にセレモニーの情報が行き届くよう、案内方法を工夫したいとのことですので、皆さんの取組を私は評価したいと考えております。また、収納品を納めた方々を中心とした収納品のお披露目会の開催など、二段構えの企画にも思わず関心しきっております。

では、再質問いたします。収納品を広く市民に見ていただけるよう、石川みほそまつりにおいて、セレモニーの一つとして、タイムカプセル開封の報告会や展示会の周知などの企画ができないものか見解をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

収納品のお披露目会などの取組につきましては、収納品の内容及び保存状態などによりますが、多くの関係者に周知されるよう、議員からの御提案も参考に検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　御答弁ありがとうございました。期待以上の御答弁をいただき、大変ありがとうございます。タイムカプセルのオープンセレモニー等がこれからの石川地域のまちづくり推進の一つの起爆剤として位置づけられることができるよう要望して、次の質問に移りたいと思います。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１１時４６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時４６分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　３番目の森林環境譲与税についてでございますが、この質問に関しては、令和４年12月定例会において、松くい虫被害木の駆除に森林環境譲与税基金の活用ができないものか、提案をさせてもらいましたが、基金の活用については、沖縄県及び県森林協会と協議中であるとの御答弁でございました。もともと森林環境譲与税は、人材育成や担い手の確保、それに間伐材等の木材利用の促進や普及啓発等に充てるとされていることから、そう簡単には使えないことが当時分かりました。ということは、現状では本市において、森林環境譲与税は基金に積み立てることしかできないものかなと思っておりました。ところが令和５年度の決算書によりますと、森林環境譲与税1,347万円に対し、基金への積立金が960万8,000円ということにまず驚きました。ということは、森林環境譲与税から364万2,000円が充当されたということになるからです。今、364万2,000円と言いましたけれども、この辺の計算上、誤差がありますが、その誤差に関してもまた後で説明したいと思います。松くい虫の被害木の駆除でも活用できなかったことが、活用できたということは、県や森林協会と協議、確認の上で充当されたのかどうか、質問いたします。

初めに、使途における検討状況について伺い

ます。
○副議長（藏根　武）　農林水産部長。
○農林水産部長（座喜味　達也）　伊波良明議員の一般質問にお答えいたします。
　今回、充当いたしました事業につきましては、沖縄県や沖縄県森林協会へ使途の確認・調整を行い充当しております。
○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。
○７番　伊波　良明議員　では、再質問いたします。
　伊盛議員の質疑応答の中で、森林環境譲与税の活用については、令和５年度は364万2,000円を充当しましたが、今後の計画については庁内の使途検討委員会において、森林環境譲与税の活用及び充当額を検討していくとのことでございました。その使途検討委員会を通せば、県や森林協会を通さなくても大丈夫ということで理解してよろしいのでしょうか伺います。
○副議長（藏根　武）　農林水産部長。
○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。
　庁内の検討委員会において検討しつつ、充当する事業の内容について、検討していきます。使途については、沖縄県や沖縄県森林協会にも調整・確認をさせていただきながら、限られた財源を有効に活用していきたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。
○７番　伊波　良明議員　では、再質問いたします。364万2,000円の使途についてお伺いいたします。
○副議長（藏根　武）　農林水産部長。
○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。
　森林環境譲与税の活用につきましては、令和５年度において、植樹祭の会場設営に119万9,000円、それから森林病害虫防除調査業務に110万円を充当しております。また薬剤注入につきましては、当初156万3,000円を充当する予定でありましたが、契約変更減になる可能性があったため、過充当とならないよう22万円の充当減を行いました。結果134万3,000円を充当しております。なお、充当減額分の22万円につきましては、今後12月定例会以降にて、補正予算にて基金へ積み立てる予定でございます。
○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。
○７番　伊波　良明議員　令和５年度の決算額において、積立金として960万8,000円とありますが、今議会で充当額の訂正がございました。契約変更減になる可能性があるため、過充当にならないように22万円の充当減を行い、充当減額分の22万円につきましては、12月定例会以降に基金へ積み立てる予定であるとのことでございますが、令和５年度の決算のことですので、より細心の注意を払うよう要望いたしまして、次の再質問をさせていただきます。
　森林環境譲与税の活用において、植樹祭の会場設営へ充当したとのことでございますが、植樹祭の詳細や、その活用について、森林環境譲与税の使途目的との整合性について伺います。
○副議長（藏根　武）　農林水産部長。
○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。
　植樹祭の詳細につきましては、防風林の日に、地域関係者や子供たちなども参加を呼びかけながら植樹を行い、森林整備の重要性を理解していただきながら、普及啓発及び人材育成や森林の整備に寄与したものと考えております。森林環境譲与税の目的であります対災害性という面でも重要な役割を果たす森林環境の整備、人材の育成、森林の公益的普及啓発に寄与したものと考えており、整合性は図られているものと考えております。
○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。
○７番　伊波　良明議員　令和５年度決算書において、林業費の歳出が約1,006万円とあります。そのうち、県林業費補助金114万円と森林環境譲与税の活用額、約364万円を差し引きますと、約528万円が一般財源から充当されていることになります。県林業費補助金が少ないように思いますが森林環境譲与税との関連性があるのかどうか。見解をお伺いします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

沖縄県の補助金につきましては、それぞれ補助金の交付要綱に基づき、申請を行いながら交付されるものであり、よって森林環境譲与税との関連はございません。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　よく分かりました。たしか令和４年度までは県林業振興費補助金として、松くい虫対策事業もあったと思います。それも踏まえて当時は全体で約300万円の予算計上がありましたので、今後できましたら担当課においては、そういう松くい虫対策事業費等の活用できる補助金の申請を、しっかりと御検討いただくよう要望して、また次の質問に移りたいと思います。県内他自治体の状況について、お伺いします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　県内の自治体の状況について、お答えします。

国頭村役場、石垣市役所の新庁舎建設の内装資材に県産木材の利用を行っていると伺っております。また国頭村では、辺士名小学校で、小学校１年生へ木製机をプレゼントし、卒業まで使ってもらい、卒業後は家庭へ持ち帰るなどの取組が行われていると聞いております。さらに今帰仁村では、村内の保育園に積み木セット、ままごとキッチンの購入、配付などが行われていると聞いております。その他の市町村においても、様々なアイデアにより、主に県産木材を活用した事例や木工体験などの普及啓発活動の事例があり、各市町村のホームページで紹介、公表されておりますので、御参照ください。なお、森林環境譲与税の沖縄県の事業として行われた事業の具体例につきましても、沖縄県のホームページにて公開しておりますので、御参照いただければと思います。

○副議長（藏根　武）　伊波良明議員。

○７番　伊波　良明議員　御答弁ありがとうございました。森林環境譲与税の活用では、全国的に間伐材等の森林整備関係に最も多く活用されていることからしても、豊かな森林環境に恵まれた国頭村、あるいは石垣市、今帰仁村や読谷村などにおいては、森林環境譲与税の使い道に大変困ることもないものと思っておりますが、正反対の市町村もあろうかと思っております。例えば、浦添市では私有林人口林の面積はないとのことでございますが、木材利用や普及活動に充てていくとのことでございますので、ぜひ類似した他自治体の状況を踏まえながら、これからもうるま市の森林環境への整備や保全、普及活動に向けての取組を要望いたしまして、本日の私の一般質問を終わりたいと思います。御答弁ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　午前の日程をこの程度にとどめ、午後１時30分より会議を開きます。

暫時休憩します。

休　憩（１１時５８分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時２９分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　皆さん、こんにちは。一般質問を始める前に少しだけ、うるま市出身の美ノ海関が皆さんも御存じのように令和６年９月場所で10勝５敗という成績で見事に７月場所に続き、勝ち越しを決めております。おめでとうございます。さらなる飛躍を目指して頑張ってもらいたいと思います。まだ後援会が立ち上げられていないということも聞いておりますので、ぜひ後援会立ち上げの場合に、市長はじめ執行部、それから議員の皆さん、市民の皆さんの協力をお願いしたいと思います。

では、議長の許可を得ましたので、一般質問を始めます。１番目のコストコについてです。コストコホールセールジャパン株式会社が、南城市にコストコ沖縄南城倉庫店を開店しました。皆さんも御存じのようにニュースでも取り上げられております。そこでお聞きしたいと思います。

コストコホールセールジャパン株式会社によると、今後２号店、３号店の開店予定もあるという記事がありました。そこでうるま市として、以前

に石川庁舎跡利用計画に誘致の声もあったと私は聞いておりますけれども、今回も企業誘致することはあるのかどうか、お伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　伊波洋議員の御質問にお答えいたします。

石川庁舎周辺利活用推進に向けた取組について、民間事業者との対話を実施しておりますが、当該事業者を対象としたサウンディング調査の実績はなく、計画地への誘致計画もございません。今年度におきましても、幅広い事業者との対話を実施し、エリアの導入機能について、引き続き検討していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　それでは、石川のほうで今、うわさになっているのは石川庁舎跡に持ってくるのではないかと、今回自衛隊の問題にあった東山カントリークラブ跡にもどうかという、いろんなうわさが飛び交っています。具志川地区では、イオン具志川店の下原のほうにも、何か話があるというううわさも出ていますが、それはうわさということで。それでは次に１事業者として捉えて誘致するとなれば、どのような展開を考えているのかお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　伊波洋議員の御質問にお答えいたします。

誘致に当たりましては、まとまった土地の確保が必要となることから、現在推進しております石川地域まちづくり推進計画や、勝連・与那城地域まちづくり推進計画などと連携、連動させていくことが重要であると考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　今の答弁で、まちづくり推進計画と連携、連動させていくとのことですが、しっかりと議論して方向性を出していかなければいけないと思っております。

コストコ沖縄南城倉庫店の開店による地域交通の問題や地域商業への大きな影響が報道されていましたけれども、そのことについて当局にお聞きしたいと思っております。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

地域に新たな雇用を生み出し、関係人口の増加による経済活性化が見込まれるなど、コストコ沖縄南城倉庫店のオープンは、沖縄県の経済に大きなインパクトを与えているその一方で、報道でもあるように深刻な渋滞問題や、近隣のゴルフ場ではキャンセルが相次ぐなどの問題も発生しております。安心・安全で快適な市民生活の維持と、経済活性化のバランスをうまく図っていくことが大事であり、誘致に当たっては場所や想定される影響を十分に検討する必要があると考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　今、答弁にもありましたように安心・安全な市民生活の維持、地域経済活性化に向けての取組、それから地域事業者との活性化、バランスも大事になってくると思っております。しっかり議論していってほしいと思います。

それでは大きい項目、次の２番目の質問に入ります。運転免許更新時の高齢者講習についてであります。私自身が免許更新となる今年、更新の半年前に高齢者講習の通知が届きました。70歳過ぎたので、この中にも高齢者講習の受講と更新までの流れということで、手順に沿って早めに講習を受けて申し込んでくださいと、書いてあるんですけれども、私は半年もあるということでゆっくりしていたら、なかなか教習所が見つからなくて、これは大変なことになると思って今回、取上げております。それではお聞きしたいと思います。

まず１点目、運転免許更新時の高齢者講習について（義務・条例・法令）ということになっていますけれども、それについてお伺いしたいと思います。高齢者のうち70歳以上に義務づけられている高齢者講習を受けることができず、運転免許を失効しているというケースが出てきております。更新に必要な高齢者講習を受ける人が多過ぎて、講習の予約が取れず更新に間に合わず失効したというケースもあります。70歳以上の高齢者ドライ

バーが、講習を受けられる期間は６か月前から更新期間満了日までとなっております。他県においては、今後２か月、場合によっては４か月も待つこともあるようです。それでお聞きします。先ほど言ったように、運転免許更新時の高齢者講習について、義務なのか、条例なのか、法令なのか、お伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　こんにちは。伊波洋議員の御質問にお答えいたします。

運転免許更新時の高齢者講習につきましては、道路交通法第101条の４の規定に基づき、70歳以上の運転免許取得者に対し免許証を更新する際に、高齢者講習を受講することが義務化されており、さらに75歳以上の方は認知機能検査を受ける必要がございます。また、一定の違反歴がある方は、運転技能検査を受講しなければならないとされております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　平成30年に高齢者講習を受けた人数が全国で約16万人、平成31年はさらに増えて19万4,000人で、令和６年には約30万人を超えると予想されております。実際、高齢者社会に向かっているということで、講習を受ける人数も増えていっていると思います。

それでは道路交通法は、国が決めたルールではありますけれども、法改正に向けて取り組むことができるかお伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

道路交通法は、道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図り及び道路の交通に起因する障害の防止に資することを目的として制定されております。その中で70歳以上の方の特例につきましては、高齢運転者による痛ましい交通事故の発生等を防ぐとともに、交通事故から市民を守るため、リスクの高い高齢運転者に対した制度であることから、現状においては検討はしておりません。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　高齢者だけが目立っているんですけれども、世の中若年アルツハイマーの方もいますし、70歳以下でも結構そういう方もいるので、これ高齢者だけが高齢者講習を受けないといけないのかと思っております。

関連して、再質問したいと思います。うるま市のまず70歳から74歳及び75歳から79歳の年齢階級別労働力人数について、お伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

2020年のうるま市の年齢階級別労働力人数は、概算ではありますが、70歳から74歳は2,100人、75歳から79歳は約630人となっております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　2020年、70歳、75歳以上、約2,700人の方が一生懸命まだ仕事に頑張っている。あれから４年たっていますので、さらに増えていると思います。今後は高齢者社会に向かっていく時代になれば、高齢者の就業労働者も増えていきます。沖縄県はまだまだ自動車社会から脱却しておりませんので、高齢者にとって免許は必要不可欠であります。そこで再質問したいと思います。

70歳から74歳及び75歳以上の高齢者講習等を受けなければならない対象者の人数、高齢運転者の自主返納の人数、高齢者講習等を期限内で受講できず、免許を失効した人数についてお伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

沖縄県公安委員会に確認したところ、70歳から74歳及び75歳以上の高齢者講習対象者の人数、高齢運転者の自主返納の人数、高齢者講習等を期限内で受講できず、免許を失効した人数につきましては、市町村などへの個別の回答は行っていないということでございます。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　そうですね。運転免許更新や皆さんからいつも要請がある信号機の設置要請など、これは警察行政に関連する事項につきましては、沖縄県に属する事務でありますので、地域で県議会に請願、または陳情を提出するなど、県議会の総務企画委員会で議論できるように対応等を検討していくよう要請したいと思います。

それでは自動車学校によっては、６か月先まで予約が入っているところもあり、必要な検査と講習が更新時期に間に合わず、免許を失効するケースが出てきています。そこで再質問したいと思います。県内にある自動車学校における70歳から74歳まで、及び75歳以上の高齢者講習対象者の受入れ可能人数についてお伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

県内にある数か所の自動車学校に確認したところ、70歳から74歳の高齢者講習は１回当たり３人から４人、週に１回から３回、75歳以上の高齢者講習は、１回当たり３人から４人、週に３回から４回開催しているとの回答があり、時期によっても回数を変更するなど、できるだけ多くの高齢者を受け入れられるよう対応しているとのことでございます。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　はがきの中に受講場所一覧ということで、二十五、六か所あるんですけれども、私たちの住んでいるうるま市から近いところといえば、美池、コザ、川畑、あとは近いところ安ゲ名自動車学校、そういう６か所ぐらいしかないんです。それで週二、三回しか受講できないとなると、これはもう本当に期限、早めに申し込まないと大変なことになると思っております。県外においては認知機能検査を県警察が行い、自動車学校はより多くの高齢者講習に対応できるように調整しているところもあるようです。また沖縄県内、うるま市内には鉄軌道も整備されておらず、運転免許がないと買い物や医療機関への受診などに支障を来すことから、運転に問題がない方が免許を失効することがないよう、対応策を講ずるべきだと思います。県内においても沖縄県公安委員会や各自動車学校でも、対応策を検討していると聞いております。高齢者講習は、国が決めた制度であるため、運用による対応策には限界があると思っております。運転免許が失効する前に、相談体制の充実、延長措置などの対応策を検討していただけるよう、県議会議員、国会議員などとも情報を共有するなど、市民の福祉向上に尽力していただけるようお願いしたいと思います。

それでは大きい項目３点目、友好都市締結についてお伺いしたいと思います。

まず１点目、今年度に宇都宮市や東京都文京区との友好都市を締結するとのことであります。これまでの経緯についてお伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　伊波洋議員の御質問にお答えいたします。

宇都宮市との友好都市提携の経緯は、平成27年に宇都宮市にて実施された農産物の拠点化調査や、平成30年に供用開始をしたうるマルシェの指定管理者が、宇都宮市の企業であるということをきっかけに、経済産業部を中心に交流が始まり、宇都宮市にある道の駅ろまんちっく村で、本市の特産ブースの設置や、うるマルシェでの宇都宮フェアなどの実施、本市の企業が開発した電気自動車を宇都宮市の観光地周遊事業での活用、そして宇都宮市のふるさと宮まつりにエイサー団体を派遣するなどの取組を行ってきました。

また、宇都宮ブリッツェンがサイクルツーリズムのイベントを本市で実施したほか、サッカーＪ２の栃木ＳＣもキャンプを行うなど、民間レベルでの交流も広がっていることもあり、さらなる交流の深化を図り、両市間の地域経済の発展や地域力向上を目的として、宇都宮市との友好都市提携に至っております。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　文京区について、お答えいたします。

本市と文京区は、双方の友好都市である盛岡市

とのつながりを縁としまして、令和５年８月に文京区にて、うるま市シティプロモーション事業を実施したことを契機に交流が始まっております。令和６年３月には、文京区で開催されました都市交流フェスタにて、文京区民に向けて本市の物産や観光をＰＲしております。また、令和６年７月30日から８月２日にかけては、本市にて令和６年度東京都文京区中学校平和特派員との交流事業を双方の教育委員会にて実施し、県内での平和学習を通して中学生同士による交流を深めております。本市と文京区におきましては、今後も教育文化をはじめとした分野において、さらなる交流を推進し、地域間の関係性を発展させていくことを目的として、令和６年10月に友好都市を提携することとしております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　それでは、友好都市締結がもたらすメリットは、どういうものなのか。お聞きしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

友好都市提携を結ぶことで、地理や気候、文化、産業、人口規模においても異なる自治体において、お互いが持つ資源や知見などの強みを提供し合い、行政間交流にとどまらず、経済交流、文化交流、人材交流などを進め、それぞれが工夫を凝らすことで、産業振興、人材育成などの地域力向上につなげることができると考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　次に、今後の友好都市締結による計画・取組があれば、お聞きしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

宇都宮市や文京区との友好都市提携後の取組につきましては、先に友好都市提携を行っております盛岡市も含め、経済交流や市職員の交流、教育委員会で行っております小・中学生の交流などが実施、検討されておりますが、引き続き各自治体と積極的に協議を行い計画してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　次に、福岡県飯塚市との友好都市締結を提案したいと思っております。飯塚市とは、うるま市合併以前に旧石川市の時代、児童・生徒の健全育成交流事業として、平成12年から交流を続けてまいりました。私も事業に携わって20年を迎えます。自治会長時代には、地元の曙青年会エイサー、児童・生徒の創作太鼓のみほそ太鼓の皆さん、総勢70人余で飯塚市に交流事業もしてまいりました。また、飯塚市のイイズカコスモスコモンで沖縄芸能フェスティバルと銘打って交流事業をしてまいりました。このことを踏まえて、福岡県飯塚市との友好都市締結を提案したいと思っておりますが、見解をお聞きしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市民生活部長。

○市民生活部長（松岡　秀光）　お答えいたします。

議員から御提案のございます福岡県飯塚市との友好都市締結につきましては、本市との今後の交流状況や両市の全体の意向などを踏まえ、調査・研究してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　皆さんのタブレットに参考までに飯塚市の紹介ということで、記事を載せてありますので御参照ください。飯塚市の市長、武井政一市長は昨年、石川地区の児童・生徒の交流事業、少年の船への事業として、当時教育長として名誉団長の立場で参加されて交流もしました。そのときに教育長も参加いただいて紹介、いろいろとお話をなさったという経緯もあります。当局がしっかりと議論、調査・研究して、姉妹都市提携に向けて取り組んでほしいと思います。私も微力ながら、できる限りの協力はしたいと思いますので、よろしく対応方お願いしたいと思います。

それでは次の最後の質問に移ります。今回、市長選挙について取上げたのは、来年４月に第６回

うるま市長選挙が執行されることが、市民の皆さんに周知されていない現状を考えると、早めに市民の皆さんにお知らせしたほうがいいのかなと思っており取上げております。市民に与えられた選挙に投票する権利、主権者が選挙に参加してほしいと思っております。市長選挙の投票率ですけれども、市の選挙管理委員会から情報をいただいております。これまで５回市長選挙が行われておりまして、第１回と第３回は無投票当選と、２回目のときの最初の選挙です。投票率が62.55％、それから４回目の平成29年、2017年そのときに60.7％、直近の第５回令和３年のときの投票率が55.49％、これは年々下がってきております。また2016年、平成28年に施行されました18歳選挙権ですが、若者の投票が伸び悩んでいるのが現状です。18歳～25歳の若者を今の言葉で言うとＺ世代といいます。その皆さんに若者の投票率が低い理由はなぜだと思いますかというアンケートをしたところ、１番目に多かったのが、「よく分からない」「判断ができないから」というのが40％、２番目に「投票しても政治は変わらないと思うから」これは39.8％、３番目に「投票したい政党がないから」これが37％、その他「優先順位が低い」「面倒だから」「時間がない」「忙しいから」という理由になっております。これからのうるま市の時代を担っていく若者に対して、しっかりと取り組んでいかなければならないと思いました。学校や地域で主権者教育に取り組む時代になっていると思いますので、皆さんも一緒に頑張っていきましょうということであります。

それでは１点目、来年４月に執行されるうるま市長選挙、中村市長には２期目を迎えるということであります。その出馬の予定があるかどうか、お聞きしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　伊波洋議員にお答えをいたします。

来年の令和７年４月に恐らくうるま市長選挙が予定されるのかと思っておりますが、私も振り返って今、３年半過ぎまして、そのことにおいて多くの方々の御意見や後援会と相談をしながら、この件に関してはこれより決めてまいりたいと思っております。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　出馬するとなればということで、２番目に予定していたんですけれども、次期ということで、中村市長一期目３年４か月、これまで頑張っていただきました。その感想、またこれからのうるま市の未来予想図、またこれからうるま市の市政を担っていく決意もあると思いますので、それについてお伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　伊波洋議員にお答えいたします。

出馬となればということでございまして、まだ私の３年４か月の感想ということと、うるま市の未来予想図等々も含めてなんですが、私は就任して、先に皆さん御承知のとおりコロナ禍でありました。コロナをまず対応しなければならない。市民の生命・財産をしっかり守ってということで、未来予想図というよりも、現実的な対応をしっかりやっていかなければならないということから、私の仕事がスタートしたということでございまして、それを何とかやり抜くということで１年以上かかりました。それから多くの事業等も含めて、いろいろなことをやらせていただきながら、コロナ禍においてもやはり子供たちの件だったり、それとまた多くの若者たちに夢と希望を与えるというようなことも怠ってはいけないということもございます。さらに私が一番最初にやりたいと思っていたことは、やはり職員の市民に対する意識の向上を図っていきたいということであります。やはりこの多くの予算をどのようにして市民に対してサービスを提供していくのかということであれば、職員を向上させるということが大事なことであり、部の編成、さらには課の編成、職員の採用等も含めて、しっかりこのような対応をさせていただきました。未来予想図として、これから職員と共にしっかりとつくり上げていきたいと思いますので、御理解のほどよろしくお願い申し上げ

ます。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　では最後の質問です。

私の記憶が定かであれば、以前中村市長は、公的だったのか、私的だったのか分かりませんけれども、石川地域の発展がなければ、うるま市の合併は終わらないという言葉を聞いたと思っております。私は石川からの選出でありますので、今の石川の現状について、市長はどう思っているのか、お伺いしたいと思います。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　伊波洋議員にお答えいたします。

石川地域のみならず、与那城、勝連、具志川ということで、うるま市全体の発展ということでありますので、御理解をいただきたいと思います。さらに石川地域においての御質問でありますので、それに限定してしっかりと説明をさせていただきます。

石川多目的ドームを中心に、観光客や県内来訪者が訪れ、にぎわいを創出する石川インターチェンジ周辺交流拠点形成としての交通結節機能を基盤に、石川多目的ドーム機能強化及び駐車場の整備を進めてまいりたいと考えております。また、石川庁舎周辺に新たな滞在・交流拠点エリアとして、民間活力による石川庁舎周辺の利活用推進のリーディングプロジェクトとして、石川ゲートウェイ拠点形成基本計画も策定を考えております。

さらに令和６年３月に取りまとめておりますが、３月17日にうるま市、沖縄市で開催されましたラリーチャレンジ沖縄において、ビオスの丘の敷地内を活用し、ラリーコースを設定するなど、モータースポーツの可能性を見出し、観光誘客にも今回取り組んでおります。都市建設部においては、同計画のプロジェクトの一つである東恩納周辺の新たな土地の利用に基づき、令和６年度より東恩納地区周辺土地利用基本計画策定に着手し、当該地区への住宅地や産業用地、商業地として土地利用を検討してまいります。

また、石川地区内の市道整備といたしましては、令和３年度から城前小学校の通学路の石川30号線歩道整備事業を実施、令和５年度には、東山２号線、石川２号線、石川５号線において、道路施設老朽化対策舗装修繕工事を実施、完了をしております。本年度は、石川69号線において、道路施設老朽化対策舗装修繕工事の実施予定となっております。さらに、都市公園内の整備といたしましては、令和４年度にあけぼの公園施設長寿命化対策支援工事、石川公園スケートボード施設改修工事を実施し、令和５年度には赤崎公園進入路改修工事を実施、今年度は赤崎公園・前原公園施設長寿命化対策支援工事を実施してまいります。

経済産業部に関しては、観光物産協会、闘牛組合連合会と連携し観光闘牛を開催し、観光客誘客につなげ、さらには石川多目的ドーム機能強化として大型ビジョンを設置し、闘牛の魅力を県内外に発信しております。

また、令和４年度より「うるままるごと音楽祭」と題した音楽イベントを開催し、３年目となる今年度も石川公園多目的広場において、11月30日と12月１日の２日間の日程で開催する運びとなっております。ただいまこの音楽祭にはＨＹの出演依頼をしております。

さらに令和５年度及び令和６年度において、みほそあきない組合が主催する「石川みほそまつり」への支援を行い、地域のにぎわいと地域経済の活性化を推進しております。

教育委員会においては、うるま市指定有形文化財の指定を受けた「嘉手苅観音堂」の老朽化が進み、支柱や屋根に亀裂が入り倒壊の危険性があることから、本年度、嘉手苅観音堂整備事業として、補修工事を行うこととなっております。

また、学校教育アクションプランに基づき、石川小・中学校を含めた市内全域の全クラスに電子黒板導入をしております。

石川地域におきましても、市民に寄り添ったまちづくりを推進してまいりたいと思います。さらに多くの石川地域選出の議員の皆様から、一般質問や質疑等も含めて御提言がございますので、しっかりと受け止めて予算含めて、国・県に要請

をしてまいりながら実施をしてまいりたいと思います。

○副議長（藏根　武）　伊波洋議員。

○３０番　伊波　洋議員　答弁ありがとうございました。

石川庁舎については、平成27年から平成31年にかけて跡利用計画を模索をし、それが決まらず当初、産業基盤整備事業と銘打っていたんですけれども、名前がどんどん変わりまして、最終的に石川ゲートウェイ拠点形成ということで、今年度３月に取りまとめたというところです。統合庁舎になって９年、石川多目的ドームについては、合併時から500台の駐車場を整備していく。それから石川インターチェンジ周辺交流拠点形成ということで道の駅、それからバスセンター、ターミナル等のインターチェンジ整備に取り組むということであったんですけれども、もう合併して来年20年、いまだに日の目を見ることもなく来ております。石川の住民からすれば、やはり形があるものということであれば、では石川は何が変わったんですかというのが本音であると思います。先ほど学校の電子黒板とか、そういうのはうるま市地域で、当たり前にやるべき問題であって、特に石川が変わったと言えば、石川中学校、それから伊波小学校、宮森小学校、城前小学校が今年度新築ということで新しくなりました。そういう見える形であれば、大分変わったなという気持ちにもなるんですけれども、それ以外に変わったのが一向になく、今問題になっているのは逆に石川庁舎がなくなると。石川庁舎周辺の施設も取り壊して更地にして、事業者の提案をして、石川地域にさらに新たな事業者で、石川に発展を持っていくということで計画がされております。石川庁舎、石川会館、それから保健相談センター、体育館や野球場、もうこれが全部取り壊しになって、更地になって、それに代わる石川の発展の礎になるのであれば、それはいいことだと思いますけれども、それに代わる代替えの施設はどうするんですか。もう石川ではその話でもちきりです。それで私も含め、石川出身の議員は、毎回市民から「もっと党派を超えてもいいから、とにかく石川のために頑張ってくれ」と言われております。当然、頑張らないといけないということで、うるま市の発展、それから地元石川の発展のために、今後も頑張っていきたいと思います。

それから市長におかれましては、今後もまたうるま市民の生活の安全・安心のために一生懸命また頑張っていただきたいと思います。これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　暫時休憩します。

休　憩（１４時１４分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時２７分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　議長、休憩願います。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１４時２７分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１４時２８分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　皆さん、こんにちは。会派津梁、天願久史でございます。本日もいつも通り胸元にはコサージュを飾っておりますが、今回お任せにしたところ、淡い色のバラと真っ赤な唐辛子があしらわれております。ピリリと辛い質問を投げかけますが、ピリリと辛い答弁で返されぬよう頑張ってまいります。では早速、質問に移ってまいります。

農水産業振興に関連する事項について、まず水産業の振興についてであります。桃原漁港東側についてであります。漁業従事者の要望等を踏まえ、これまでに議会において、何度か取り上げてまいりました。漁船巻揚げ機及び建屋、さらには給水施設の設置については、既に完了しているとのことですが、当該東側漁港の未整備のままとなっている部分について、今後の整備の考え方についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　天願久史議員の一般質問にお答えいたします。

桃原漁港は昭和45年７月に第一種漁港として指定され、東側の漁港施設については、護岸、物揚場、船揚場、給水施設、漁船巻揚げ機などは整備されておりますが、近年大型漁船の施設利用が多くなったため、漁船の係留施設が不足しており、また港内に入る波を防ぐ施設が未整備であることから、安全に漁船を係留できない状況となっております。そのため、漁業者の安心・安全な漁業活動ができるよう令和５年度に漁港施設を利用しております与那城町漁業協同組合長及び桃原支部との意見交換や港内に入る波の現状を調査、解析をしながら、桃原漁港整備計画を策定しております。現在、令和７年度の水産関連の事業を活用した新規事業採択を目指して、沖縄県と協議をしているところでございます。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

ただいまの答弁で、令和７年度から水産関連の事業を活用した新規事業採択を目指しているとのことですが、新規事業が採択された場合、具体的にどのような整備を計画しているのかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　再質問にお答えいたします。

具体的な整備については、波の影響を考慮した波除堤の新設、また安心・安全に漁船が停泊できるように、物揚場及び浮き桟橋の新設、輸送施設として道路の新設を計画しております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

当該漁港整備が完了した際に、経済効果も含めどのような効果が期待できると考えるのか、所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

物揚場及び浮き桟橋の新設整備による就労環境の改善、また道路整備により車両での物揚場へ進入が可能となることから、漁業活動の負担軽減や業務効率化が期待できるものと考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ぜひまたしっかりと事業を進めていただきたいと思います。

桃原自治会においては、漁業従事者が主体となって地域づくりの活力となっております。ウミンチュが元気になれば、地域も活性化し島しょ地域及び水産業振興にもつながると思いますので、事業採択に向けて取組を強化してくださいますよう要望を申し上げ、この質問は閉じて、次の質問にまいります。

続いての質問であります。病害虫防除資材補助金事業に関連する事項について、伺ってまいります。当該事業の目的及び概要について、確認を含めてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

病害虫防除資材補助金事業につきましては、市内農家に対して、農産物の生育を害し、その生産力を低下させる病原体及び害虫を防除するための資材を購入する費用の一部を補助することで、病害虫の蔓延を防止し、農作物の安定生産を図ることを目的としております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

当該事業の近年の実績及びその推移、さらには補助割合について、お伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

近年の実績については、令和４年度事業費総額7,445万9,000円、そのうち補助金が1,514万4,000円でございます。令和５年度事業費7,830万円、うち補助金2,329万7,000円となっています。今年度、令和６年度事業費、まだ途中でありますが7,854万円のうち補助金が2,356万2,000円となっております。年々増加傾向の推移になっておりま

す。また補助割合については３割以内となっております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　質問を続けます。

当該事業の周辺自治体との補助率の比較についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

周辺自治体では、北中城村が２割補助、金武町は２割補助、宜野座村では１割補助で実施していると確認をしております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

花や野菜、果樹などの生産農家にとりましては、物価高騰や生産資材費、さらには人件費の高騰など、経営環境が厳しい状況にあります。経費の高騰分をそのまま価格に転嫁できないことも、その要因の一つであります。生産現場では常に、病害虫や台風などの自然災害との闘いでもあり、害虫も農薬に負けじと薬剤に対する抵抗性をつけるなど、新たな薬剤開発で農薬資材の価格も上昇しているのが現状であります。生産農家の負担は、さらに増しております。よってこの本市の病害虫防除資材補助金事業は、なくてはならない支援策の一つであります。そこで伺いますが、今後も継続して当該事業を継続することはもちろんですが、生産農家の負担軽減のためにも補助率の引上げを要望しますが、考えをお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　農林水産部長。

○農林水産部長（座喜味　達也）　お答えいたします。

当事業に関しましては、本市の財政状況を考慮しつつ、引き続き継続してまいりたいと考えております。補助率の引上げにつきましては、他市町村の状況と比較して、本市は高い補助率となっていることから、現時点では補助率の引上げは検討しておりませんが、今後の物価や経済情勢等を注視しながら、必要に応じて対応していくことになると考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　大変分かりやすい答弁でありました。本市のこの取組は、生産農家にとりましては、命綱ともいうべき事業であり、近隣自治体からも模範となることから、今後もしっかり継続支援してくださいますようよろしくお願い申し上げまして、この質問については閉じます。

続いての質問にまいります。教育行政に関連する事項についてであります。

（１）具志川小学校校舎改築事業に関連する事項についてであります。当該事業の進捗状況及び今後のスケジュールについて、お伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　天願久史議員の御質問にお答えいたします。

工事の進捗としましては、現在１、２階部分の建具工事及び内装工事、設備工事を行っており、先週の土曜日の９月21日に最上階となる３階部分のコンクリート打設を完了していることから、今後は内外の仕上げ工事を行ってまいりたいと考えております。新校舎での授業再開につきましては、令和７年３月上旬を予定しており、引き続き、外構、屋外トイレ、グラウンド、植栽等の整備を順次実施し、事業全体の完了は令和８年３月末になるものと考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ただいまの答弁で、新校舎での授業再開が令和７年３月上旬とありました。現在６年生の児童の皆さんも予定通りに事業が進めば、わずかな期間ではありますが、新校舎で授業を受けることができますので、事業に遅れなどが出ないよう、よろしくお願いいたします。

続いての質問にまいります。関連して、当該小学校校門から左側、隣接地境界線に存在しますこがねの森の整備についてですが、その進捗状況についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部参事。

○都市建設部参事（田場　直樹）　再質問にお答えいたします。

こがねの森の整備につきましては、懸念されて

おりました隣接地の老朽化した住宅が撤去されたことから斜面の崩壊対策として、土留め擁壁等の工事を令和７年度に予定しております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　これについては、長年空き家として放置されておりました老朽化住宅が、当局の取組によって所有者自ら撤去されたと聞いております。こがねの森の整備は、斜面の崩壊対策として、当時の学校長、自治会長、比嘉直人議長ともども当局に要請した経緯がございます。児童の安心・安全の観点からも令和７年度に工事が予定されているということで一安心であります。今後も関心を持って注視してまいりますので、事業の進捗をしっかりと進めてくださいますよう、よろしくお願い申し上げ、この質問については閉じます。

続いての質問にまいります。具志川東中学校空調機器等改修事業について、伺ってまいります。まず事業の進捗状況及び今後のスケジュールについて伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　天願久史議員の御質問にお答えいたします。

具志川東中学校空調機器等改修事業の進捗につきましては、令和６年８月に電源改修工事と空調機リース契約を締結し、現在工事着手に向けて準備を進めているところであります。

今後は令和７年１月末までに、電源改修工事と空調機の設置完了を見込んでおり、その後５年間の空調機リース期間となってまいります。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　当初の予定どおり、事業が進んでいることを確認いたしました。令和７年１月までに設置が完了し、その後の５年間のリース期間中に、今度は老朽化が懸念される具志川東中学校校舎及び体育館の建て替えについても、しっかりと調査・研究し、取り組んでいただきますよう、要望を申し上げこの質問は閉じて次の質問にまいります。

続きまして、文化財に関連する事項について伺ってまいります。今定例会、幸喜勇議員からも質問がございました獅子舞について、私なりの観点から関連して質問をいたます。

獅子舞は古くから神事や伝統芸能として、五穀豊穣、無病息災、厄払いなど、それぞれの地域の豊年祭や旧暦の８月十五夜などで演じられてきました。近年では様々な事情により、活動ができていない地域などもあるようですが、本市において獅子舞等の団体数の総数及び活動が休止中の団体数について、お伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　天願久史議員の御質問にお答えいたします。

本市の獅子舞の団体数は、教育委員会が把握している団体で15団体となっております。そのうち９団体が活動を休止しております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

活動が休止中の保存会等の団体や自治会の主な理由等について、把握しているのであれば御案内ください。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

活動を休止している主な理由といたしましては、世代交代の際に後継者がおらず、そのまま休止となっている事例や指導者が高齢のため、技術の指導が困難である事例などがございます。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

後継者不足や技術指導が困難なことから、活動を休止している事例などが主な理由であることを確認しました。実は私も地元字具志川にて、約35年ほど前に再結成した獅子舞保存会の初期からの会員であります。私の見聞ではありますが、ほとんどの獅子舞団体の構成として、獅子頭の持ち手及び前足、そして後ろ足役の２人１組による獅子舞担当、さらに棒術や子供などのワクヤー担当、そして三線や太鼓、ドラやボラなどの楽器を担当する者が一体となって演じられており、多いところでは十数人の構成で成り立っております。主役

となる獅子を担当する２人については、地域によって多少異なりますが、後ろ足担当の者が、前足担当の者を担ぎ上げたりする演舞の激しさから、体型や体力にも制約があり、前足担当は体重が軽く小柄で腕力のある者、後ろ足担当は、屈強で足腰の強い者が適当とされており、年齢の経過とともに体力の衰えや、体重増加による離脱、さらには獅子舞の衣装をまとい、蒸し暑い中で演舞のほとんどが前かがみの姿勢で演じられており、体への負担も大きく、腰のけがなどによる離脱もあり、担い手不足に陥っている現状もあるかと感じます。幸喜議員が質問をされておりました全島獅子舞フェスティバルにも、約20年前までは何度も出演しており、さらには県外のイベントにも何度となく出演をしていましたが、ある時期から地域の先輩方より、地域の神獅子を地域外へ持ち出してはいけないとの強い指摘を受け、以来地域外への出演は控えております。しかしながら、それでは獅子舞保存会の士気やモチベーションが上がらず、後継者の育成も停滞していたことから、以前のようにイベントへの出演ができるよう、新たな獅子舞を製作しようと、自治会が働きかけて先に獅子頭を製作したものの、資金難から胴体部分については、獅子舞保存会自ら製作しようと試みました。しかし、材料の選定や調達に難航して数年が経過してしまい、どのように進めるか苦慮していたところ、本市の伝統文化・民俗芸能伝承活動事業が活用できることを知り、獅子の胴体製作に必要な材料調達が可能な企業を紹介いただき、現在新たな後継者として青年会を卒業したメンバーを巻き込んで、保存会も一緒になって獅子の胴体を製作しており間もなく完成いたします。

先日行われました８月十五夜には間に合いませんでしたが、完成の暁には、市内外のイベントにも出演ができるとモチベーションも上がっております。我が具志川獅子舞保存会では、先日の十五夜獅子舞演武の後の反省会の中で、話合いをしておりますが、より獅子の迫力や魅力を発揮できるのは、今回の道ジュネーエイサーのようなイベントが最適であるとの意見が多数ありました。何より、観客を身近に感じ怖がっての悲鳴など、こわごわ触れ合えるような距離感こそ、沖縄の獅子舞の魅力と確認をしております。全島獅子舞フェスティバルにこだわることなく、本市では至るところでフェスやイベントが行われていることから、希望する団体をそれらにつなげることも一つの案だと思いますが、当局の所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

議員御案内のとおり、獅子舞を保存継承するためには、あらゆる機会を活用して、獅子舞を発信し、多くの市民に知っていただくことが重要と考えております。今年度は、宇都宮市ふるさと宮まつりへの、勝連南風原獅子舞の派遣、こども文化祭での上江洲獅子舞保存会子ども獅子舞の出演、うるま市エイサーまつりでの天願獅子舞の出演など、発表の場を創出しております。教育委員会といたしましても、うるま市の獅子舞文化を発信し、保存団体のモチベーションを高めるため、様々なイベント等で出演する機会を設け、獅子舞を披露する場につなげていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

さきの質問で、指導者が高齢のため、技術の指導が困難な事例があるとの答弁がありました。現在、活動ができている団体についても、この先このような事例で活動ができない状況に陥るかもしれません。その対策として、当局において現在の活動や演舞の状況を記録映像として残し、保存しておくことで万が一に備えるバックアップも重要と考えます。各自治会での管理は、数年で自治会長が代わったりする場合もあり、その引継ぎのときのトラブルも懸念されることから、当局のほうで教材として保存管理することが可能かも含めて所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

教育委員会では、全島獅子舞フェスティバルの映像を第１回から記録し保存をしております。また、文化庁では、伝統行事等を次世代に継承する

ために、地域伝統行事・民俗芸能等継承振興事業を実施しており、保存団体がこの事業を活用し、映像を記録保存することが可能であります。

議員御提言のとおり、獅子舞をはじめとした民俗芸能の将来的な保存、継承のために映像の保存は重要であると考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

ただいまの答弁にありました地域伝統行事・民俗芸能等継承振興事業について、具体的に御案内ください。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

当該事業には民俗芸能や伝統行事の記録作成・情報整備事業があり、伝承のための記録映像の作成や情報発信のための普及用映像作成などが対象となります。補助対象経費の上限は500万円で、その85%が補助対象となります。同事業の活用については、沖縄県教育委員会を通じて文化庁に問い合わせる必要がありますので、市教育委員会としましても必要な助言及び支援を行っていきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

本市において当該事業を活用した事例があるのか。あればその実績についても御案内ください。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

文化庁の補助事業を活用し、平成29年度に平敷屋エイサー、平成30年度に津堅島の唐踊りの伝承用の記録映像が作成されております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　続いての質問にまいります。

市内の獅子舞で文化財指定を受けているところがあれば御案内ください。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

市内では、天願獅子舞、勝連南風原獅子舞及び田場ティンベーが市無形民俗文化財として指定されております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　質問を続けます。

指定を受ける際の要件や流れについてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

文化財指定を受ける場合、まずは所有者や保存団体からの申請書の提出が必要となります。その申請を受け、教育委員会より市文化財保護審議会に諮問し、当審議会で調査や審議を行います。その後、同審議会より答申を受け、教育委員会で答申内容の審議を行い、教育委員会の告示で市文化財指定という手続となります。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ただいまの答弁で、まだ指定を受けていない獅子舞団体等については、また今後のその流れを受け取って申請等を進めていければと思いますので、またそれがその団体のモチベーションにもつながると思いますので、またそこはしっかりと周知していただくよう要望申し上げまして、この件については閉じます。

続いての質問にまいります。地域行政に関連する事項について、伺ってまいります。

まず１点目、字具志川区からの市道の安全対策に関する要請についてであります。字具志川自治会から道路安全対策についての要請があったと思いますが、その要請内容についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　天願久史議員の御質問にお答えいたします。

令和６年８月21日付、具志川自治会より道路交通安全対策についての要請がございました。内容といたしましては、県道８号線から県道37号線へ抜ける市道具志川２－77号線、スピード抑制に効果的な物理的対策や道路標識設置など、地域の安全のための署名も添付された要請内容でございました。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

この要請は元議員の天願浩也氏及び周辺住民により当該市道のほとんどの世帯から57人の署名を集めて添付されております。

それでは質問を続けます。スピード抑制に効果的な物理的対策として、どのような対策が考えられるか伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

物理的対策で考えられる手法といたしましては、路面に凸部を設置するハンプ、車両の通行部分の幅員を狭くする狭窄、車両の通行部分の平面線形をクランク状やＳ字状にするシケインがございます。本市といたしましては、交通事故の削減効果及び速度抑制効果が高く、採用事例も数多くあります。ハンプが当該路線に有効な手段ではないかと考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

答弁にあった抑制効果の高いハンプについて、うるま市内での設置事例、もしくは他市町村での設置例を御案内ください。また設置に至る手続や工程についてもお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

本市での設置事例はございませんが、現在市道石川55号線において、ハンプ設置に向けた関係部署との協議を行っているところでございます。

また、他市町村においては、那覇市、浦添市、宜野湾市で設置事例がございます。

次に、設置に関する手続といたしましては、設置予定箇所の選定、地域自治会及び周辺住民への説明、交通管理者への意見照会を経て、必要な予算を確保し設置工事を行う工程になると考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

要請のあった道路は、県道から県道への抜け道道路となっており、スピードを出した車による事故などが懸念されます。特に小さな子供を抱える家族や児童・生徒、高齢者を含む地域住民がよく利用するあしびな一公園に隣接する道路であり、周辺住民の署名活動からも分かるように、交通安全について、大きな不安を感じております。ぜひ早めの対策、検討を強く要望をお願いしますが、当局の考えをお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

ハンプの設置による抑制対策につきましては、今後地域自治会及び周辺住民への説明を行い、対策によるメリット、デメリットについても理解を得ながら、慎重に進めてまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　早めに、この安全対策が進むよう検討していただきたいと思います。これについては以上であります。

続きまして２点目、具志川野球場付近の歩道のガードパイプの維持管理について、伺ってまいります。

当該野球場付近のガードパイプが腐食により著しく損傷しているとの問合せがございました。これについて、当局の所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

御質問の道路は市道具志川暗河線でございますが、現場を確認しますとガードパイプや転落防止柵が経年劣化による腐食、破損が見られることから交通安全対策特別交付金を活用し、修繕を行ってまいります。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　これにつきましても、早めの対策を要望をお願い申し上げ、この質問については閉じます。

続いての質問にまいります。うるま市エイサーまつりに関連する事項について、伺ってまいりま

す。来場者数及び昨年との比較について、まず伺ってまいります。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　天願久史議員の御質問にお答えいたします。

昨年度のエイサーまつり来場者数は、前夜祭を含め３万人であり、今年度の来場者数12万5,000人と比較しますと、９万5,000人の増加となっております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　運営に当たって、行政、警察、青年会、ボランティア等の連携及び業務内容、動員数について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

行政職員484人を動員し、主な業務としては、会場内の放送や救護所、エコステーションの対応、迷惑駐車の対応と監視、規制エリアの案内誘導と雑踏警備、シャトルバスの乗り降り場と臨時駐車場の対応、祭り事務局、遊撃隊などであります。消防本部からは36人を動員し、主な業務としては、露店指導、けが人等への初期対応や搬送などであります。うるま警察署員からは46人の動員をいただき、主な業務としては巡回警備、雑踏警備、事件・事故対策などであります。市青年連合会や青年会からは500人が参加し、祭りの企画運営から事前のビラ配り、そして事前の準備、片づけ、清掃、うちわ配布など、エイサー演舞以外にも積極的な活動をいただいております。市建設連合会からは50人の動員をいただき、主な業務としては会場周辺へのカラーコーン、バリケードなどの準備や片づけ、出店付近の電気関係や水道関係の工事などであります。ボランティア団体からは200人の動員をいただき、主な業務としてはエコ隊としてのごみ拾いや、うちわの配布などの業務であります。

最後に業務委託関係の130人が運営スタッフとして、制服警備や運営補助、演舞エリアの音響や進行、資機材搬入などの業務を行っております。総勢1,446人を動員し、事務局と密に連携しながら、祭りの企画から当日の運営、片づけまでの業務を実施しております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　昨年までの与那城陸上競技場の場合は、事前に大規模な草刈り清掃作業があり、市長をはじめとする職員や議会の有志のメンバー、青年会、企業など、多くのボランティアが総動員で行われ、祭り終了後の片づけについては２日間にまたがるなどありましたが、今回との比較について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

エイサーまつり前の草刈り清掃作業については、県道及び市道、団地周辺や近隣公園は道路管理者や施設管理部署において、草刈り等が行われていたため、与那城陸上競技場での草刈り清掃作業と比較すると軽微なものでありました。

会場の事前準備や祭り終了後の片づけなども市青年連合会や青年会、市建設連合会、事務局において、その日のうちにほぼ完了しております。出店業者においては、翌日までに撤去完了することができております。片づけにおいても、与那城陸上競技場で開催していたときと比較しますと、かなり少ない負担で済んだと思っております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問します。

来場者、青年会、運営スタッフ等からの評価と課題について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

祭り会場において、237人の来場者からアンケートに協力をいただいたところ、約90％の方から「満足」及び「大変満足」との回答をいただいております。

また、周辺飲食店などからは売上げが上がったなど、今後も同じ場所での開催を期待する声をいただいております。主な課題としましては、雑踏対策、演舞の見せ方、迷惑駐車対策などが挙げられます。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ただいまの答弁に出ました課題についての解決に向けた取組、対応について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

今回と同様に、道ジュネー方式で開催することになった場合においては、演舞箇所の追加による滞留の分散化、観覧のルール作り、公共交通手段やシャトルバスを使っての来場を徹底するなどがあると考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ただいまの答弁にございましたシャトルバスの利用者数について、伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

シャトルバスの利用者数は把握はできておりませんが、シャトルバス発着場所として４か所に設置した臨時駐車場の利用状況としては、市民芸術劇場が連日満車で、具志川総合運動公園は利用率約９割、与那城多種目球技場と石川庁舎の駐車場はともに約５割の利用率となっておりました。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　続いての質問にまいります。

出店業者数の昨年との比較及び応募の方法について伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

昨年は露店のみで、市内24店舗、市外８店舗の合計32店舗、今年度の出店数は露店とキッチンカー含め市内20店舗、市外４店舗の合計24店舗で、昨年より８店舗少ない状況となっております。応募方法としては、昨年と同様でしたが、出店料については、１万円値上げをしております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

指定された出店エリア内においては、昨年より８店舗少ない状況を確認しました。指定エリア外の出店も目立っていたことから、出店業者より平等性についての指摘もありますが見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

議員御指摘のとおり、指定エリア外において、出店業者があったことは確認しておりましたが、民有地での出店事業につき、規制の難しさがあるため、祭り運営に影響を及ぼさないよう注意や、重点的に巡回するなどの対応を行ってまいりました。

今回と同様に道ジュネー方式で開催することになった場合においては、指定エリア外での出店について、慎重な検討と対応が必要と考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　質問を続けます。

次年度以降も今回と同じ場所での道ジュネー方式でのエイサーまつりを望む声が多いと感じますが、今回の課題を洗い出しクリアすることで、同場所での開催についても理解が深まると考えますが、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　お答えいたします。

次年度のエイサーまつりの開催地については、今回経験した課題等も含め、主体となる市青年連合会や演者の意見を拝聴しながら、検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　今回もそうですが、やはり主体となる市の青年連合会や各青年会の皆さんが主体的に行うことが望ましいと考えますので、ぜひ意見等を拝聴しながら検討を進めていただきたいと思います。この件については以上であります。

続きまして、観光振興に関連する事項について、伺ってまいります。

３点ございます。まず１点目、議長休憩願います。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１５時１６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１５時１６分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　質問に入ります。

うるま特別感動体験創造事業に関連して質問してまいります。この件につきましては、同僚議員の質疑に対する答弁で、概要等についてはある程度理解をしておりますが、１点だけ関連して質問いたします。当該事業、業務委託先の選定方法について、市内事業者の有無についても伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　天願久史議員の御質問にお答えいたします。

今年３月に観光庁が公募した、特別体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・資質向上推進事業について、４月に市内事業者等から企画提案を受け、調整、作成し、応募した事業提案が補助採択を受けたものであることから、業務委託先は当該事業提案を作成した市内事業者等と契約する予定であります。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ただいまの答弁で、市内事業者と契約する予定ということを確認しました。これまでにない海外の富裕層をターゲットにし、特別な体験を提供するツアーでメニューによっては１人当たり６万円から45万円の料金設定を検討しているということで、庶民中の超庶民の私はとてもびっくりしております。しかしながら、世界にはびっくりするような富裕層はたくさんいると思いますので、市内事業者育成の観点からも大手旅行者と連携して、大きな経済的波及効果を生みだし、本市の観光振興に結びつけるよう、取り組んでいただきたいと思います。

続いての質問にまいります。エンタメを生かした観光振興についてであります。本市在住の漫画家による具志川ビーチを舞台にし、沖縄の方言が随所に飛び交い、伝統文化や沖縄あるあるなどをテーマにした話題の学園ラブコメアニメ、沖縄で好きになった子が方言すぎてツラすぎる。通称「沖ツラ」について、当局の持っている情報があれば伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

沖ツラのアニメについては、令和７年１月より沖縄テレビ、琉球放送、琉球朝日放送等にて、放送開始予定で、豪華な声優陣や、うるま市観光大使のＨＹが主題歌を担当するとのことでございます。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　再質問いたします。

実はこの沖ツラ、単行本の第１巻が発売されたのが2020年７月であり、発売当初から地元、具志川区や県外のアニメオタクの聖地、秋葉原あたりでは話題となっており、主人公の男子高校生とヒロインの女子高校生の出会いの場となった具志川ビーチには、単行本を片手に、聖地巡礼で訪れる県内外からのファンが、防波堤のベンチに座り、単行本を読む姿をよく目にすることがありました。コロナ禍で一時期は閑散としていましたが、コロナ禍が明けテレビ放送が決まったあたりから、再ブレイクし、現在第８巻まで発売されております。県内の書店でも売り場の目立つ場所に陳列され、常に売上げの上位にランクインしております。テレビ放映がスタートすれば、今後ますます聖地巡礼で訪れるファンが増えることが予想されることから、この沖ツラを観光振興に生かせればと考えますが、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

沖ツラを活用した観光振興については、令和７年１月の放送開始に合わせ、現在、観光物産協会のほうで、アニメに登場するロケ地や、市内観光施設等の周遊を促す聖地巡礼マップを作成中でございます。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ぜひ聖地巡礼マップ作成に注力していただきたいと思います。

続いての質問に移ります。放送直後の２月から

は、プロ野球のキャンプがスタートすることから、具志川野球場においても、のぼりや横断幕など、沖ツラを活用することで市内周遊への相乗効果が増すと考えますが、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

沖ツラのメインキャラクターと阪神タイガースのマスコットの装飾について、現在、球団側と交渉している最中でございます。また、球場内にて、聖地巡礼マップを配布するなど、市内周遊を促す取組を検討しているところでございます。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ぜひですね、この沖ツラを積極的に活用して、相乗効果を高める取組を検討していただきたいと思います。

再質問いたします。アニメで紹介され話題となりました具志川島札を沖ツラとのコラボ商品として提案をいたしますがいかがでしょうか。具志川島札とは、皆さん御存じの花札とサイズも遊び方もほぼ一緒でありますが、絵札ではなく漢数字や馬と車が漢字で表記されており、花札より１枚多いのが特徴であります。どこからどう伝わって字具志川区に入ってきたのか。今でも謎とされておりますが、古くから字具志川地域でのみ親しまれているカード遊びで、アニメで紹介された直後、公民館や私にも県外から取材が来ておりました。以前は地域の三角商店で製造販売されておりましたが、あるじがお亡くなりになり製造方法も継承されていないことから、現在は数十年前、当時に購入された限られた方々しか持っていないことから、地元では復刻版が望まれています。唯一無二のこの具志川島札の沖ツラとのコラボ商品について、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

具志川島札の復刻と沖ツラのコラボが可能なのか、まずは、確認した上で検討することになると思います。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ぜひ前向きに検討していただきたいと思います。

実はこの具志川島札についてでありますが、水面下では文化財指定に向けて動いております。まずは保存会を立ち上げ取り組んでいきますので、文化財課の皆さん、教育委員会の皆さん、その際にはよろしくお願いいたします。

質問を続けます。当該アニメの作者、ペンネーム空えぐみさんは、今でも具志川地域に住んでおり、ビーチでのウォーキングや清掃活動、地域の行事にも積極的に参加し、そこで出会った先輩方から方言や沖縄の年中行事、風習などの情報を得ております。７月末には糸数議員が頑張って運営しております石川ハーリー大会にも出場をお願いしたところ、快く引き受けてくださり、腰痛の自分に代わって同僚議員らとともにハーリーを漕いで、見事完走しておりました。本人初めての経験ではありましたが、取材も兼ねてよい体験ができたと大変喜んでおりました。今後のアニメの連載にハーリーのシーンが出てくるのを楽しみに待ちたいと思います。

また、アニメの主題歌を歌うＨＹのボーカルひーでーさんも同地域に住んでおり、同じく当具志川ビーチをよく訪れ、地域行事にも積極的に参加するなど、２人の活躍は地元を挙げて喜んでおります。そういった縁があって、今回の主題歌の運びとなったと、勝手に感じております。

さてＨＹは、本市の観光大使であり、テレビ出演の際には、これでもかというほどうるま市のことを取り上げ、持ち上げＰＲをしております。ユーチューブ等でもメンバーそれぞれが積極的に時事ネタを配信しており、その効果は絶大と考えます。昨年度も大好評だった「うるま大好き音楽祭」やお隣の沖縄市で行われております「SKY Fes（スカイフェス）」など、県内外から多くのファンも呼び込めるようなイベントの開催について、当局の所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えい

たします。

今年度も「うるままるごと音楽祭」に市長から依頼したＨＹの出演が決定しており、県内外から多くのファンを呼び込めるようなイベント等を開催したいと考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　ぜひですね、前回同様、子供から大人まで楽しめ、さらに観光誘客にもつながる本市ならではのイベントに期待をしております。

再質問いたします。海の文化資料館に展示していたＨＹとファンのコラボオブジェや寄せ書きなど、HeartY Museum（ハーティー・ミュージアム）が東照間商業等施設に移設のようですが、その理由と根拠について、さらに今後どのように観光振興に結びつけていくのかについて伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

東照間商業等施設へのHeartY Museum（ハーティー・ミュージアム）移設の理由については、これまでの海の文化資料館内の奥まったスペースでの併設よりも、ＰＲ面やファンが立ち寄りやすい環境であることや、またHeartY Museum（ハーティー・ミュージアム）と連携・連動したイベント企画や物販などの展開が容易に図りやすい環境であることなどであり、観光大使ＨＹの情報発信拠点として整備することにより、ファンをはじめとする観光誘客を狙う新たな観光スポットとすることを目的としております。

去る９月23日に行われたリニューアルオープンセレモニーでは、全国から多くのファンの方が御来場をいただき、また今後のＨＹ全国ツアーにて、HeartY Museum（ハーティー・ミュージアム）のチラシを配布するなど、誘客を促す施策を展開し、全国のファンの皆様がうるま市を訪ねたくなる動機づけにつながるものと考えております。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　私もこのＨＹのHeartY Museum（ハーティー・ミュージアム）、リニューアルオープンセレモニーに参加させていただきました。そこには全国ツアーを回る際に、ＨＹとファンとの思い出が詰まったオブジェなどが展示されておりました。セレモニーでの市長の第一声が「皆さん、色が白いですね」だったことからも分かるとおり、来場者の多くが県外からのファンであり、常にファンとの触れ合いや絆を大切にするＨＹの活動が音楽だけにとどまらず、結成から25年たった今でも色褪せないスケールの大きさを感じました。市長、これについて所見を伺います。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　天願久史議員にお答えをいたします。

第二声ぐらいで言ったのかと思いますが、多くの観光客の皆さんがいらっしゃっておりまして、特に内地からの観光客の方々が多いなと思っておりました。

我々のうるま市が誇るＨＹ、世界に誇るミュージシャンであり、さらには県内外で相当の活躍をしておりまして、それも含めて私はマイクを握りながら、多くのファンの皆さんに訴えましたけれども、いまやテレビや多くのところで活躍をし、さらにその場、その場でうるま市のことをおっしゃっていただいていると。さらに宮城島においては、子供たちと一緒に畑を作り、野菜作りをし、教育の部分に関しても教育委員会とタイアップもしながら、そういった子供たちに対する支援活動もしているというようなこともあり、今後も天願久史議員並びに多くの議員の皆様がＨＹを応援していただきたいと思っております。12月になりますが、「うるままるごと音楽祭」において、先ほど部長からありましたとおりＨＹのコンサートを予定しておりますので、どうぞ皆様で詰めかけていただいてＨＹを応援していただき、さらに東照間商業等施設においてのHeartY Museum（ハーティー・ミュージアム）も活性化させていただきますよう心よりお願いを申し上げたいと思います。

○副議長（藏根　武）　天願久史議員。

○２０番　天願　久史議員　以上です。

○副議長（藏根　武）　以上で本日の日程は終了しました。

次回は、明日午前10時から会議を開きます。

本日は、これで散会します。

散　会（１５時３２分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

副　議　長　　藏　根　　武

１１番議員　　幸　喜　　勇

１２番議員　　玉　元　哉　世

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（９日目）

◎　令和６年９月26日（木）　　（１０時０６分　開議）

◎　出席議員（26名）

１番	真栄城　　隆　議員	14番	池宮城　善　伸　議員
２番	高　屋　　優　議員	15番	伊　礼　　正　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	17番	仲　程　　孝　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
６番	国　吉　　亮　議員	19番	下　門　　勝　議員
７番	伊　波　良　明　議員	20番	天　願　久　史　議員
８番	神　田　洋　一　議員	24番	國　場　正　剛　議員
９番	平　良　一　雄　議員	25番	大　城　　直　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	27番	佐久田　　悟　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	28番	兼　本　光　治　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	29番	藏　根　　武　議員
13番	玉　城　政　哉　議員	30番	伊　波　　洋　議員

◎　欠席議員（１名）

23番　比　嘉　直　人　議員

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　説明のための出席者

市　　長	中　村　正　人	こども未来部長	上　原　利恵子
副　市　長	佐久川　　篤	こども未来部参事	上運天　　健
教　育　長	嘉手苅　弘　美	市民生活部参事	古　謝　哲　也
総　務　部　長	山入端　立　也	経済産業部長	岸　本　　力
企　画　部　長	金　城　和　明	都市建設部長	名嘉眞　　睦
財　務　部　長	島　袋　史　朗	社会教育部長	川　端　　登

社会教育部参事	兼城哲夫	総務政策課長	諸見里直樹
学校教育部長	大里元児		

◎ 事務局出席者

議会事務局長	知念義浩	調査広報係長	伊禮君人
議事課長	石川秀吉	議事係主査	伊藤靖
議事係長	森根元気	調査広報係 主任主事	山城太

◎　議事日程第９号
　　第１．会議録署名議員の指名
　　第２．仮議長の選任を議長に委任する件
　　第３．一般質問

◎　会議に付した事件
　　議事日程に同じ

○副議長（藏根　武）　これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第９号のとおりです。

日程第１．会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、玉城政哉議員、池宮城善伸議員を指名します。

日程第２．仮議長の選任を議長に委任する件を議題とします。

お諮りいたします。日程第３の一般質問に当たり副議長が一般質問を行うため、地方自治法第106条第３項の規定により、仮議長の選任を議長へ委任することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○副議長（藏根　武）　異議なしと認めます。よって、仮議長の選任を議長に委任することに決定しました。

休憩します。

　　休　憩（１０時０７分）

　　～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

　　再　開（１０時０８分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

本日の仮議長に下門勝議員を選任いたします。

休憩します。

　　休　憩（１０時０８分）

　　～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

　　再　開（１０時１１分）

○仮議長（下門　勝）　再開いたします。

日程第３．これより一般質問を行います。

発言時間は当局答弁を含まず、30分以内です。通告がありますので、順次発言を許します。藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　皆さん、おはようございます。本日一般質問最初の与開之会、藏根です。３点通告してありますので、執行部の皆様、よろしくお願いいたします。

まず初めに、こどもの貧困対策についてです。子供によっては、家庭をめぐる問題や環境によって困難に立たされている子供たちがいます。地域との関わりも希薄になり、子供たちが孤立している状況もあります。子供たちが、将来の自立に向けて生き抜く力を育んでいかなければなりません。特に支援を必要としているひとり親世帯や、生活困窮者世帯などは国や県、企業も含め地域の力も借りながら、よりよい支援をし、行政としても事業を行わなければなりません。誰一人取り残さない社会を築くためにも、行政の力も必要になってきます。そこで質問です。本市のこどもの貧困対策推進計画があります。趣旨・目的をお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　おはようございます。藏根武議員の一般質問にお答えいたします。

本市のこどもの貧困対策の趣旨・目的といたしましては、平成30年度に沖縄県において、子どもの貧困対策計画が策定され、令和３年度には第２期計画が策定されております。本市においても、所得の低さ、母子世帯の出現率の高さなど、子供たちを取り巻く現状は深刻であることを受け、貧困の連鎖を断ち、夢と希望を持って成長していけ

るまちを目指し、うるま市こどもの貧困対策推進計画を策定しております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　貧困にも絶対的貧困、相対的貧困があります。絶対的貧困は、食べ物、衣類がない、住む場所に困っている、医療や教育を受けられないといったことです。相対的貧困は、何らかの理由で働けない、働いても賃金が安いなど、十分な所得を得られず生活に困窮していることです。そこで、本市における貧困家庭の割合を伺います。

○仮議長（下門　勝）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

貧困家庭の割合は、世帯の収入から経済状況による影響を分析した額を算出し、県と同様の基準である127万円を基準とした貧困線を基に算出すると、全世帯の28.7%が貧困世帯となります。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　全世帯の28.7%が貧困世帯ということで、本市においては大きな課題であります。このような数字には目に見えないものがあると思います。例えば、貧困であることを自覚していない、自覚していても周りの目を気にして誰にも相談できないなどの要因があると思います。貧困家庭の相談体制の強化が必要だと感じています。そこで、本市のこどもの貧困対策推進計画ではどのような方々を対象にしているかもお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

本市に住む全ての子供と若者及びその保護者、そして子供を取り巻く地域を対象としております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　本市に住む全てとあります。どうしても、子供の貧困ということで私には関係ないと思っている人もいるのではないかと思います。そのおかげで認識不足があり、28.7%という貧困世帯の数字になっているのではないかと考えています。貧困家庭には、現状を把握させることと支援策、改善策を周知させることで改善できることもあると考えています。質問です。対象者の中で、保護者や子供を取り巻く地域とありますが、どのような支援を行っているのか伺います。

○仮議長（下門　勝）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

保護者支援におきましては、パーソナルサポートセンターなどが取り組む生活困窮者自立支援事業や、ひとり親家庭に対する自立促進のためのプログラム事業を活用した支援を行っております。地域支援につきましては、寄附提供などがあった際に地域の自主運営の子供の居場所へ優先にお渡しするよう努めております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　こどもの貧困対策には行政や企業、民間の連携・協力が必要であります。しかし、市民の中には、どのような支援があるのか、貧困対策の事業を行っていても分からない方も多いと思います。貧困家庭や市民へ周知することで、早めの対策・支援ができ、子供の貧困を減少させていくことができると思います。今までも周知してきたと思いますが、子供の貧困は喫緊の課題ですので、周知方法も工夫し、市民全体で支え合える仕組みづくりもお願いいたします。子供の貧困問題は、やはり財源が必要です。うるま市においても、こどもの貧困対策推進計画では多くの事業を実施していかなければならないため財源が必要になりますが、見解をお伺いたします。

○仮議長（下門　勝）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

貧困対策事業の財源確保は課題となっております。安定した事業実施ができるよう、財政当局をはじめ関係課も含め、調整してまいりたいと考えております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　こどもの貧困対策には

多くの課が関わってきますので、財源の確保も大事になってきます。ふるさと納税や企業版ふるさと納税なども、こどもの貧困対策には必要だと思います。また国や県の補助金も活用して、事業を行い、しっかりとした支援をしていただきたいと思います。また、こどもの貧困対策推進計画の基本目標の「こどもが未来に夢を持ち、何ごとにもチャレンジできる環境づくり」とあります。子供たちは、体験をすることで将来の夢につながっていきます。生涯学習・文化振興センターが計画しております夏休みに行われた事業について、どのような事業を行ったのかお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　藏根武議員の御質問にお答えいたします。

夏休みに生涯学習・文化振興センターにて実施した生涯学習講座については、７月28日に陶芸教室を開催し親子27人の参加がありました。また、７月30日に「お父さんと力を合わせてお菓子作り」と題したタルト作りを実施し、親子22人の参加がありました。いずれの講座においても定員を上回る応募があり、抽選にて受講者を決定しております。子供の体験機会の確保については、さきに述べた講座のほかに、去る６月15日と６月16日の両日、文化協会と連携し、わくわく文化体験教室を開催しており、55人の参加がありました。この文化体験教室では、子供たちが文化・芸術に直接触れることにより文化・芸術への関心を高めることを目的にしており、この事業を通じて子供たちの体験機会の創出につなげることができたと考えております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　いろいろな取組を行っているということですが、こどもの貧困対策の一環ではないかと考えています。子供は体験することにより成長します。キャリア教育にもつながり、将来への足がかりになると思います。また、夏休みは親子で過ごす時間が比較的確保しやすいこともあります。親子の絆を深めることにもなります。私は、お父さんと力を合わせてお菓子作りに参加させていただきました。しかし、申込みをしたのは母親です。「申込みをしたから行ってきてよ」ということで、最初は乗り気ではなかったのですが、娘が楽しんでいたので行ってよかったなと思っています。そこで質問です。ニーズの高い事業等、実施回数を増やすことはできないか伺います。また、保護者が申し込むのではなく、子供が直接申込みをするようなプログラムの展開など、子供自身がチャレンジできる取組を考えているのか、お伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　社会教育部長。

○社会教育部長（川端　登）　お答えいたします。

募集定員を超える講座においては、可能な限り定員または講座回数を増やし、応募者が受講できるよう対応しております。また、子供自身がチャレンジできる取組については、各種講座に関する情報の提供方法、あるいは費用負担や保護者の承諾、さらに講座中の安全管理などが課題となりますので、慎重に検討したいと考えております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　もちろん費用負担がありますので、保護者の承諾と保護者の参加も必須にすることが優先です。ただ、子供自身が興味を持ち、選択し、申込みまでやるという流れをつくることで、子供が親に自分の意思を伝え、そのことによっても親子での会話のきっかけの一つにもなると考えています。自ら考え、主体的に行動することもこれからは求められています。事業を行う際には学校現場との連携も必要になりますので、教育委員会全体で考える必要があると思います。慎重な検討をよろしくお願いいたします。子供の貧困は、本市に住む全ての子供と若者及びその保護者、そして子供を取り巻く地域を対象としていることから、多くの関係課で取組を行っていると思います。横の連携など、どのような共通認識の下、支援していこうと考えているのか、お伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

子供の貧困問題は多岐にわたり、福祉分野のみでは貧困の連鎖を断ち切ることはできません。関係部署が相互に連携して切れ目のない総合的な対策の推進を図るため、貧困対策推進計画委員会を設置し、作業部会において各分野での取組等を議論、施策の立案等が行える体制を取っております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　冒頭の趣旨・目的で、貧困の世代間連鎖のない全ての子供たちが夢と希望を持って成長していけるまち、うるま市とあります。各部署がこの理念に基づいて、それぞれが独立するのではなく連携することで、効果や効率といった面でもよくなると思いますので、多くの家庭や子供たちを支援してくださいますよう、よろしくお願いいたします。最後の質問です。こどもの貧困対策は、行政だけではなく、地域とも連携することも必要だと思うが、どのように考えているのかお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　こども未来部長。

○こども未来部長（上原　利恵子）　御質問にお答えいたします。

こどもの貧困対策推進計画の基本目標４では、「重層的に支援するつながりのある体制づくり」を掲げております。子供を見守る支援は、行政だけではなく、自治会、社会福祉法人、民間団体などの支えが必要であり、子供を見守る環境の一つとして子ども食堂の取組をさらに広め、地域社会全体で支援する体制づくりが必要だと考えております。また、効果的な支援が行えるよう、地域の関係機関や団体が意見を言える環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　行政としてもいろんな事業を行い、子供の貧困には力を入れて支援していることも分かりました。貧困の連鎖を断つには経済的な支援や学習支援も必要ですが、私は親子の関係や子供自身のコミュニケーション能力など、社会に適応できる資質を育むことも大事だと強く感じています。子供の貧困問題は、福祉分野だけではなく、おのおのが研究し取り組んでいかなければなりません。私も先進事例などを学んでいきたいと思いますので、共に頑張っていきましょう。

次の質問に移ります。地域活性化についてです。現在、工事が進められている与那城総合公園陸上競技場ですが、完成すれば多くの利用者が市内外から訪れます。そこで、与那城総合公園陸上競技場の周辺整備も必要になってきますので、伺います。周辺にはスケートボードやバスケットコートなどもあり、連日多くの児童・生徒や親子連れが遊びに来ます。何よりも安全対策が必要です。遊具の破損状況や今後について伺います。

○仮議長（下門　勝）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　藏根武議員の御質問にお答えいたします。

与那城総合公園内にございます木製遊具につきましては、平成９年４月に設置され約27年が経過しており、経年劣化による破損が著しいことから、現在は使用禁止としております。今後、危険性除去の観点から早期撤去を行ってまいりたいと考えております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　答弁にあった遊具でけがをした子がいたとも聞いています。早めの撤去をお願いいたします。うるま市内にある遊具で危険性があるものに関して、けが人が出る前に調査し撤去するなり、早めの対応をお願いします。

続いては、旧与那城庁舎の近くにあるテニスコートについてです。休日には部活動でテニスをやっている生徒を見かけますが、テニスコートの活用頻度をお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　藏根武議員の御質問にお答えいたします。

与那城総合公園庭球場の直近３年間の利用者数は、令和３年度3,852人、令和４年度3,120人、令和５年度1,832人、今年度は８月末現在において533人となっております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　利用者数の減少が気になります。利用者を待つのではなく、施設を使用

してもらうためにどうすればいいのか、指定管理者と考える必要もあるのではないかと思います。例えば、あの大きさであれば、ネットを外しフットサルコートで活用させるとか、工夫も必要ではないかと考えています。ぜひ検討よろしくお願いいたします。与那城陸上競技場が完成すれば、陸上やサッカーなどの大会が開催されます。そのときには周辺にも観客が訪れます。周辺には木々が繁茂しています。樹木の剪定を行う予定はあるのかお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

陸上競技場周辺の通路に伸びた樹木の剪定、枝葉や枯損木の伐採については、指定管理者において定期的に行うこととなっております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　競技場内の危険な樹木があれば伐採しないと、小学生たちは木に登り遊んでいます。折れて落下し、けがのおそれがありますので、指定管理者の指導・監督をお願いいたします。次に、陸上競技場には外トイレが２つありますが、トイレの修繕はどのように考えているのかもお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

陸上競技場周辺には２か所のトイレがあり、そのうちの１か所については破損を確認しております。今後、修繕に向け対応してまいります。なお、現在は陸上競技場が改修工事中であるため、この２か所のトイレについてはシャッターを閉め、使用禁止の状況としております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　トイレの整備もよろしくお願いします。陸上競技場の照明整備についてです。令和６年２月第173回定例会でこのような質問を行いました。平安座地区では、石油基地の事故があれば、1,000人以上が屋慶名地区に避難します。そこで、与那城陸上競技場に避難することが予想されます。防災の観点から、与那城陸上競技場の照明や外にあるトイレの整備に石油貯蔵施設立地対策等交付金の活用ができると思いますが、当局の見解を伺いますと、企画部長の答弁は、同交付金の対象施設には都市公園やスポーツまたはレクリエーションに関する施設が挙げられており、県外でもテニスコートのクレーコートをオムニコートに改修し、併せて老朽化した防球フェンス及び照明設備を改修する基金事業の事例もございますので、活用可能と考えておりますとの答弁をいただいておりますが、照明の整備は予定しているのかもお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

陸上競技場内の夜間照明設備については、改修工事終了後に電球の交換を予定しております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　よろしくお願いいたします。防災の面からも必要ですが、人工芝が完成すれば夜間の活用も期待できます。社会人は、どうしても夜間の使用になります。私もシニアでサッカーをやっています。ほぼ沖縄市での練習です。うるま市で練習できれば、お金をうるま市に落とすことができますので、照明の整備もよろしくお願いします。与那城陸上競技場が完成すると、市としてこけら落としなどを考えているのかもお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

改修工事により全天候型トラックへとリニューアルする与那城陸上競技場のこけら落としとしては、工事完成の時期も踏まえ、第23回あやはし海中ロードレース大会を候補に検討を行ってまいります。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　体育協会やうるま市サッカー協会と連携して何かできればと思いましたが、時間もないと思いますので、あやはし海中

ロードレース大会でのこけら落としを期待しております。与那城陸上競技場が完成すれば多くの団体が利用すると思いますが、予約はどのように行うのかお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

陸上競技場管理棟内の総合運動公園事務所の窓口、もしくは電話にて受付を行っており、一般団体の利用につきましては、予約した月から翌月末までの予約が可能となっております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　ぜひ、どの団体にも公平に活用していただくよう、よろしくお願いいたします。

それでは、最後の質問です。未成年などの活用時間についてもお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

未成年者の体育施設の利用時間については、部活動による利用やクラブチームによる利用など、今後様々なケースが想定されることから、教育委員会も含め検討してまいりたいと考えております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　よろしくお願いします。与那城総合公園陸上競技場の周辺整備など改修工事が終われば、市内外から多くの家族連れやスポーツを楽しむ方が訪れます。活気が出てきます。地域活性化にもつながり、経済効果も期待されますので、よろしくお願いいたします。

続いてです。地域活性化についての２つ目の質問は、うるま市エイサーまつりについてです。昨日の天願久史議員の一般質問でも理解はしましたが、地元からの声も含めて質問します。今年のエイサーまつりは、与那城陸上競技場の改修工事に伴うものだと認識している地域の方もおられます。地元からは次年度以降の開催はどうなるかとの声もありますが、今後はどのように考えているのか伺います。

○仮議長（下門　勝）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

次年度のエイサーまつり開催場所につきましては、主体となる市青年連合会や各青年会の意見を拝聴するとともに、地域の事業者などの御意見や、そして来場者数、経済波及効果なども踏まえ検討してまいりたいと考えております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　次年度以降はいろんなことを勘案して開催されるということではありますが、地元からは例年どおりの開催を望む声もあります。今年のうるま市エイサーまつりは例年にない形での開催で、演者と観客との距離も近く、臨場感があり、よかったとの声も多く聞かれました。一方では、演技時間が短く、最初から最後までの流れが見たい、またエイサーの魅力でもある隊形移動等も含めたエイサーが見たいとの声もありました。では現在、改修工事中の与那城陸上競技場は人工芝になりますが、その人工芝で開催した場合、どのようなことが考えられるのかお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

改修工事後の与那城陸上競技場でのエイサーまつり開催については、人工芝上での飲食禁止や重量物設置不可など、維持管理上での懸念点がございますので、従来のような祭りを実施できるのか検討をする必要があると思っております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　地域活性化という観点からも、与勝からうるま市エイサーまつりがなくなると、経済効果など多くの損失につながります。与那城多種目球技場や勝連総合グラウンドでの開催も視野に入れ、検討してもらいたいと思います。去る９月22日に平安座青年会主催によるエイサー祭りが開催され、大盛況に終わることができました。市長はじめ、議員や多くの市民の皆様が平安座島に訪れて盛り上げてくれました。平安座青年

会に代わり、お礼を申し上げます。ありがとうございました。その裏では、平安座青年会が主催・企画され、全てを少ない人数で行っていたため大変だったと聞いています。そこで、島しょ地域振興とつながるような行政の支援ができればと考えています。エイサーだけではなく、伊計や宮城、浜比嘉の伝統芸能を披露するなど、何らかの支援をしてもらいたいと思います。それには、各地域の理解などもありますので答弁は求めませんが、今後はそのような方向での検討もよろしくお願いいたします。

最後に、教育行政についてです。文部科学省は、子供たち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育、ＩＣＴ環境の実現としてＧＩＧＡスクールをスタートさせました。１人１台の端末が配付され、ＩＣＴ教育が強化されています。現代では仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場面でもＩＣＴが使われています。そこで社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校にも取り入れられました。１人１台の端末が配付され３年目になりますが、まず初めに、端末の破損状況についてお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　藏根武議員の御質問にお答えいたします。

端末の破損状況について、自然故障も含めた形でお答えいたします。導入年度である令和３年４月から令和６年８月末日時点において1,801台の破損及び自然故障がございます。まず、破損については294台で、液晶画面の破損や画面パネルの外れ、キーボードと画面を接続する部分のねじ破損が多く発生しております。次に、自然故障は1,507台で、キーボードの不具合が最も多く、カメラや液晶画面の表示の不具合も発生しています。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　かなり多い数の端末が破損・故障していることが分かりました。大切に使って破損・故障することは仕方がありませんが、あまりにも数が多いのが気になります。市が負担した額はどのくらいあるのか、また個人での修理などもあったのかお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

これまでに公費負担した台数は415台となっており、修繕等に要した経費は2,168万7,000円ほどとなっております。また、保護者負担した修繕等の台数は４台となっております。保護者負担につきましては、児童・生徒がわざと破損するような使い方をするなど、故意により破損させた場合を対象としております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　修繕に要した経費も高額です。財源の確保も課題になってくると思います。また、児童・生徒には丁寧な活用と物を大事にすることといった指導もぜひよろしくお願いします。保護者が負担した家庭からはきちんと回収できているのか、またトラブルを避けるためにも、破損した場合の修繕費用を保護者が負担する説明等も行われているのかお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

保護者負担による修繕費用につきましては、保護者と端末取扱業者の間で直接修繕にかかる費用のやり取りを行っていただいております。また、修繕費用の保護者負担の説明につきましては、教育委員会から学校に対し修繕負担の考え方を示しており、その内容を学校から保護者にお便りなどでお伝えするよう依頼しております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　トラブルがないよう、しっかりとした説明をよろしくお願いします。ＧＩＧＡスクールがスタートし３年になりますが、端末も更新時期を迎えると思います。本市として、端末の更新について、いつの時期を想定しているのかお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

本市では、令和８年度に更新を予定しております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　令和８年度に更新を予定しているとありますが、そのときの財源についてお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

端末更新につきましては、文部科学省のＧＩＧＡスクール構想加速化基金管理要領に基づき造成された、沖縄県公立学校情報機器整備基金を活用し、整備してまいりたいと考えております。この整備事業では、児童・生徒が使う端末のほか、予備機を含めた調達経費の３分の２を国が補助し、３分の１を実施者が負担する仕組みとなっております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　３分の１を実施者が負担するとありますが、財源はどのように考えているのかもお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

更新に係る事業費の３分の１に当たる財源につきましては、現在、関係部署と調整しているところでございます。必要な財源を確保できるよう、引き続き関係部署と調整を行ってまいりたいと考えております。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　１人１台の端末を替えるとなると、相当な財源が必要になります。財源をしっかりと確保し、児童・生徒に支障を来すことのないよう、よろしくお願いします。令和８年度の夏休みには更新になるとのことでした。私の息子が、夏休みの宿題を端末を使って行っていました。ローマ字の練習です。終わって送信すると、担任の先生がＰＣ上で採点、チェックしていました。私の時代はノートに書いて練習していましたが、時代の変化を改めて実感しました。学校によって違うと思いますが、夏休みの活用状況はどのようになっていたのかもお伺いいたします。

○仮議長（下門　勝）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

夏休みの活用状況につきましては、各学校、子供の発達段階等を踏まえ、端末の持ち帰りを積極的に行っております。また、デジタルドリルで課題を与えるなどの活用が見られました。

○仮議長（下門　勝）　藏根武議員。

○２９番　藏根　武議員　夏休みにも自学学習や宿題で端末を活用している児童・生徒もおります。令和８年度の夏休みの更新時には、学校現場と連携しスムーズな更新ができるようお願いを申し上げ、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○仮議長（下門　勝）　以上で議長を交代いたします。

暫時休憩いたします。

休　憩（１０時５０分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時０６分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　議長、休憩をお願いします。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１１時０６分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時０７分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　それでは議長の許可を得ましたので、今回は５項目質問をしていきたいと思います。新政クラブ、平良一雄です。よろしくお願いします。

それでは、まず初めに行政改革についてお伺いいたします。2019年、平成31年３月に第４次うるま市行政改革大綱が策定され、令和元年度から令和５年度まで推進してきたと思いますが、その基

本方針と戦略をお伺いいたします。
○副議長（藏根　武）　総務部長。
○総務部長（山入端　立也）　平良一雄議員の御質問にお答えいたします。
第４次うるま市行政改革大綱では、行政経営の改革と組織体制の改革の２つの基本方針を掲げており、さらに基本方針の実現に向け、行政戦略、財政戦略、組織戦略の３つの戦略を掲げております。１つ目の行政戦略については、効率的・効果的な行政経営、事務事業の合理化に取り組み、２つ目の財政戦略では、財政健全化の堅持及び将来財政負担の抑制強化、３つ目の組織戦略では、多様化・高度化する社会情勢に対応できる組織づくりを目指しております。
○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。
○９番　平良　一雄議員　それでは、基本方針２の組織体制の改革を中心に質問をしていきたいと思います。重点改革項目の新しい組織機構の実施ということがありますけれども、近年、新たな部・課・係等の創設に伴って、管理職、係長職の人数が増えていると思いますが、その推移と、併せて課題と効果をお伺いいたします。
○副議長（藏根　武）　総務部長。
○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。
管理職の人数につきましては、令和元年度98人、令和２年度100人、令和３年度100人、令和４年度110人、令和５年度111人。副主幹、係長職の人数は、令和元年度185人、令和２年度186人、令和３年度195人、令和４年度204人、令和５年度216人でございます。本市の行政組織機構は、様々な行政課題に効率的かつ弾力的に対応できる組織づくりを目指し、第２次総合計画の施策の推進や、市長公約の早期実現、また市民にとって分かりやすく利便性の高い機関として市民サービスを安定して提供できる行政組織体制を構築するため、新しい組織機構改革に取り組んでおります。組織機構改革における効果といたしましては、行政組織における各部署の役割を明確にし、その役割に特化した組織とすることで、新型コロナウイルス感染症の出現や度重なる自然災害の発生など、本市を取り巻く環境の変化に伴う様々な行政課題に対して迅速かつ効果的な対応が可能になっているものと考えております。また、各課で行っていた類似事業を集約し、一元的に業務を行う部署を設置したことで、全庁的な観点から統一的かつ計画的な取組が可能となったものと考えております。一方、今後の課題といたしましては、行政課題に迅速に対応していくために、組織づくりと人づくりの両輪で進めていく必要があるものと考えており、組織体制の見直しと併せて職員の資質向上や意識改革なども引き続き取り組んでまいります。また、多くの部署を新設していることから、効果的な施策の推進を図っていくためには、他部署との連携がこれまで以上に求められていく状況であるため、管理職として基本的なスキル等を示したマニュアルの策定に取り組んでおり、管理職のマネジメント能力向上を図ってまいりたいと考えております。
○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。
○９番　平良　一雄議員　ここ三、四、五年でかなり管理職が増えております。ということは、職員も採用せざるを得ないということで、職員数も増えていくということなんですが、この人数については、新しい適正化計画に基づいてやっておられるとは思います。これについては、また今後の推移を見る必要があるのかなというふうに思います。第２次計画の施策の推進、市長の公約の早期実現、そういったところで組織の改革が行われていると思いますが、今後、やはり組織が大きくなれば横断的な取組がさらに必要になってくると思いますので、そこら辺をしっかりやりつつ、管理職の資質もしっかり上げていただきたいというふうに思います。
次の質問に行きます。大綱の４の職員研修の充実、強化及び人事交流の推進に関して、社会の変化や市民ニーズの多様化に伴う住民サービスの煩雑化の中、職員の資質向上、再任用職員の業務経験は継承されているのかお伺いいたします。
○副議長（藏根　武）　総務部長。
○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。
議員御質問のとおり、市民サービスの多様化、

制度の複雑化に対応できる職員の育成は重要な課題と考えております。うるま市では新採用職員研修をはじめ、階層別研修の充実及び市町村アカデミー等、県外研修所での研修により職員の資質向上に努めております。再任用職員の業務経験の継承については、実際の業務を通じて後輩職員の育成を行うことや、再任用職員を講師とした研修の開催など、様々な視点から検討してまいります。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　定年延長になってきますし、その後また再任用職員が増えていきます。そういったところで、経験豊富な職員の経験をしっかり生かしていただきたいなというふうに思います。また、市民の困りごとといえば、最初は友人・知人に相談するわけですけれども、最終的には行政にかかってきます。やはり、私も職員のときに研修を受けた中で行政は最後のとりでというような教訓もありましたので、しっかり行政で解決できる最後のとりでとなり得る人材育成をしていただきたいなと思います。

次に行きます。長期療養職員、早期退職職員の数と退職の理由について、最近の動向をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

長期療養者数につきましては、令和元年度17人で、以降15人程度で横ばいとなっており、令和５年度では13人となっております。また、早期退職者数につきましては、50歳未満の普通退職者として、令和元年度２人で、以降10人を超えない範囲で推移しており、令和５年度は３人となっております。早期退職者の主な理由としましては、別にチャレンジしたい仕事があるとの理由で次の就職先が決まっているケースも多くありました。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　長期療養者については私もこれまで質問してきましたが、当局のほうではしっかり対応をして、その復帰を目指しているとは思います。最近気になるのは、早期に退職していく職員、普通退職の職員がいるということです。そこら辺は、我々の年代と今の年代の価値観の違いもあるかというふうに少し感じております。我々のときは安定した仕事、やはり市民のためになる仕事、そういった使命感がありましたけれども、30代、40代で辞めていく職員、そういった方たちがいるという状況が少し理解できない状況もあるんですけれども、そういったところを当局も検証しながら、人材確保ということもありますので、その辺はなぜそういうことが起きているのかというところをしっかり把握しながら、今後の人事行政に生かしていただければなと思います。

この項目の最後ですけれども、第５次行政改革大綱の策定はあるのかお伺いします。

○副議長（藏根　武）　総務部長。

○総務部長（山入端　立也）　お答えいたします。

第５次行政改革大綱につきましては、令和５年度に策定に向けた取組を行い、令和６年３月に大綱を公表いたしました。第５次行政改革大綱は行政基盤の強化と職員の意識改革の２つを大きな目標としており、さらに組織力の向上、持続可能な行政運営、財政健全化の３つを基本方針に定めて行政基盤の強化、ひいては市民サービスの向上につなげられるよう、引き続き行政改革に取り組んでまいります。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　第５次行政改革大綱が昨年策定されているようですので、この組織力の向上、持続可能な行政運営、財政健全化等、しっかり実施をしていただきたいと思います。この件については終わります。

次に、うるま市財政計画についてお伺いいたします。まず１点目ですけれども、これは一般会計・特別会計歳入歳出決算書や決算に基づくうるま市健全化判断比率等から拾いつつ、質問をしております。まず、実質収支額と単年度収支額、実質・単年度収支額の考え方をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　平良一雄議員の御質問にお答えいたします。

令和５年度の決算額で御説明いたしますと、実

質収支額は、歳入総額から歳出総額を差し引いた額約28億254万円に、翌年度へ繰り越すべき財源約５億8,198万円を差し引いた額、約22億2,055万円の黒字でございます。単年度収支額は、実質収支額から昨年度の実質収支額を差し引いた繰越金の影響を除いた収支となりますが、約12億3,065万円の赤字でございます。実質単年度収支額につきましては、先ほどの単年度収支額から財政調整基金の積立てや取崩し、地方債の繰上償還額などの影響を除いた実質の年度収支で、約23億6,392万円の赤字でございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　それぞれの実質収支額や単年度収支額、実質単年度収支額については、実質収支額については長期的な財政の健全性であったり、単年度収支額については短期的な財政運営、実質単年度収支額については年度ごとの正確な財政状況というところでございます。どの指標を重要視するかというのは具体的な財政評価にはよりますけれども、今後もその推移を見ていきたいというふうに思います。

次に市債の残高ですが、うるま市の市債残高と市民１人当たりの市債残高と、類似自治体との比較をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

当市の市債残高は、令和５年度末現在で約437.4億円でございます。市民１人当たりの市債残高は34万6,000円でございます。また、次に類似団体との比較としましては、沖縄市の市債残高は約425億円で、１人当たりの市債残高は29万8,000円。浦添市の市債残高は約334億円で、１人当たりの市債残高は28万8,000円。宜野湾市の市債残高は約290億円で、１人当たりの市債残高は29万円でございます。なお、市債残高につきましては、類似団体より高い数値となっておりますが、本市は合併市であることから普通交付税措置のある有利な財源である合併特例債の活用が影響しているものでございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　やはり、合併特例債であったりとか、いろいろな財源を活用していろんな事業をしているというところで、市債は類似市町村よりは上がっているということを理解しました。

次に、税収の状況。今年度の税収見込みと内訳、その推移をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

今年度の税収見込みとその内訳、その推移につきましては、市民税・固定資産税・軽自動車税の３税でお答えさせていただきます。今年度の市税の内訳として、市民税が約45億5,163万円、固定資産税が約75億8,899万円、軽自動車税が約５億3,463万円を予定してございます。過去３年間の推移につきましては、市民税が令和３年度約47億5,820万円、令和４年度約49億6,710万円、令和５年度約49億6,988万円でございます。続きまして固定資産税でございますが、令和３年度約67億4,563万円、令和４年度約72億6,825万円、令和５年度約75億6,901万円でございます。続きまして軽自動車税ですが、令和３年度約５億436万円、令和４年度約５億2,124万円、令和５年度約５億2,707万円でございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　市税３税については、顕著に推移をしているのかなと。ただ、市民税が今年度は去年よりは４億円程度落ちるんですが、これについては税制改正に伴うものだと理解しております。

次に４番目、支出の状況ですけれども、まず初めに主要な支出項目の金額と割合、次に今後の支出の増減傾向をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

まず、主要な支出項目の金額と割合についてお答えいたします。令和５年度、性質別歳出決算額における主なものとしまして、扶助費、約283.4億円で割合は39％でございます。人件費、約86.1億円で割合は11.8％。物件費、約85.1億円で割合

は11.7%。補助費等、約75.7億円で割合は10.4%。普通建設事業費、約70億円で割合は9.6%でございます。続きまして、今後の支出の傾向としましては、扶助費、人件費、物件費及び普通建設事業費などの増加を見込んでおります。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　次の質問に行きます。財政力指数や経常収支比率、実質公債費比率などの主要な財政指標と、過去数年の推移をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

財政指数につきましては、それぞれ過去３年間の推移として、財政力指数は、令和３年度0.48、令和４年度0.48、令和５年度0.47でございます。経常収支比率は、令和３年度91.3%、令和４年度92.2%、令和５年度96%でございます。実質公債費比率は、令和３年度6.5%、令和４年度6.3%、令和５年度6.2%でございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　次に行きます。基金の状況。財政調整基金やその他の基金の残高とその推移。次に、基金の取崩しと積立ての計画はあるのかお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

まず、１点目の財政調整基金、その他基金の残高と推移についてお答えいたします。財政調整基金が令和３年度末で約68.3億円、令和４年度末で約63.5億円、令和５年度末で約52.2億円でございます。次に、減債基金が令和３年度末で50.9億円、令和４年度末で50.9億円、令和５年度末で51億円でございます。次に、その他特定目的基金、その他の16基金の合計といたしましては、令和３年度末で約58.6億円、令和４年度末で約62.8億円、令和５年度末で約57.3億円でしたので、基金全体の合計といたしましては、令和３年度末で約177.9億円、令和４年度末で約177.4億円、令和５年度末で約160.6億円で推移してございます。

続きまして基金の取崩しと積立ての計画についてでございますが、各基金の積立てや取崩しにつきましては、毎年度の予算編成において今後の利用を鑑み剰余金等を積立て、使用目的に沿った事業へ充当するため活用しているところでございます。財政調整基金につきましては、予算編成時における財源の不均衡を調整するため活用するものでございます。財政調整基金の積立てにつきましては、災害等に備える目的などもあり、本市の標準財政規模である約310億円の１割に当たる約31億円を下回らないよう、また後年度への主要事業への財源充当を勘案し、積立てや取崩しを行っていく方針でございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　次の質問に行きます。財政計画ですけれども、今後、新石川調理場であったり、総合体育館、消防指令センター、勝連城跡周辺整備事業等、ビッグプロジェクトが控えておりますけれども、今後の財政計画の課題と目標、それに伴う自主財源確保の計画についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

現在の財政計画の課題と目標についてでございますが、現在の財政計画は令和２年度に策定されたもので、令和８年度までの計画でございます。課題といたしましては、新型感染症の影響や社会情勢の変化による物価高騰、また昨今の円安や物価高騰などの影響を受け、財政需要の高まりによる後年度の主要事業を考慮した財源の確保が課題でございます。そのため、歳入・歳出の均衡を図り、持続可能な財政運営を実現するため、目標を設定してまいります。

続きまして、自主財源確保における計画でございますが、令和５年度はコロナ禍に伴う臨時交付金関連の償還金などの特殊要因もあり、実質単年度収支が赤字となっておりますが、今後につきましては決算剰余金を確保し、財政調整基金の計画的な積立てと活用を行っていくことが大切であると考えております。そのため、歳入につきましては適正課税による市税の増収、低利用または未利

用の公有財産の賃貸借や売却、景観計画の見直し等により積極的な民間投資の誘致、ふるさと納税の取組強化などがございます。歳出につきましては、行政経営資源の適切な配分、類似した事務事業のスクラップアンドビルド及び公共施設マネジメントの推進など、引き続き取り組んでまいります。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　うるま市の財政計画ということで答弁をいろいろいただきましたが、内容がちょっと大き過ぎて、私のほうでもなかなかまとめるということはできませんが、やはり幾つかのポイントがあると思います。財政力指数、また経常収支比率、実質公債費比率など、やはりこのうるま市の財政を見る一つの指標となっておりますので、今後も、また次年度の予算編成等においても、そういったことが包含された財政計画になっていくと思いますので、また推移を見ていきたいというふうに思います。

次に行きます。３番目、石川ゲートウェイ拠点形成基本計画についてお伺いいたします。これについては、６月の答弁に基づく質問となっておりますので、よろしくお願いします。まず１点目、石川インターチェンジ周辺における事業区域の確定と民間活力導入調査の進捗を伺う。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　平良一雄議員の御質問にお答えいたします。

今年度の石川インターチェンジ周辺の取組につきましては、事業者サウンディング調査を踏まえた導入機能の絞り込みと、ゾーニングに合わせた事業区域を確定していきたいと考えております。現在は民間活力の導入可否を判断するサウンディング調査に必要な資料を整えておりまして、併せて対象地の地権者調査を行っているところでございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　次に、石川庁舎周辺における民間事業者との対話を通じた事業手法の検討、公共機能である行政窓口機能や体育施設の再配置・代替機能の検討、さらにはまちのにぎわいに資する実証イベントの進捗についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

今年度の石川庁舎周辺の取組につきましては、まちのにぎわいを生み出す実証イベントを予定しておりまして、実施の時期につきましては今年の12月頃を想定しております。内容につきましては、現在調整中でございます。次に、事業手法の検討につきましては、今後予定しております事業者サウンディング調査を通じて市場性を確認するとともに、公民連携による事業手法を整理していく予定でございます。また、庁舎周辺にございます公共機能の在り方につきましては、公共施設等マネジメント庁内検討委員会において検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　庁舎周辺の今後の動向については、市民をはじめ、事業者も関心のあるところであると思います。現在、調査を進めている段階ではあるんですけれども、次年度、この調査が固まった際には、実際にそのまちづくりにおける公募をかけていくのか、それはいかがでしょうか。お願いします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

現時点では、公共機能の在り方について方向性が決まっておりませんので、次年度の公募は予定してございません。公募の時期につきましては、今年度の調査業務におきまして具体的なスケジュールを検討していきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　次年度の石川庁舎周辺、またはゲートウェイである石川インターチェンジ周辺の公募はないということなんですけれども、これは何回も言っていますけれども、民間の対応と行政の対応がずれていくと、せっかくの提案が流れていくという可能性もございますので、その辺はスピーディーに公募をかけられるように対応

していただきたいなと思います。

再質問いたします。実証イベントについては、地元のみほそあきない組合との連携によるイベントを提案したいと思います。地元のみほそあきない組合については、石川庁舎からマックスバリュにかかる銀座通り線を活用したイベントを現在考えているようです。地域の企業と連携してイベントをやれば、さらに実証イベントの中身が充実してくるのではないかと思いますが、その辺の見解をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

計画しております実証イベントにつきましては、地域と連携してまちのにぎわいをつくり上げることが目的でありますので、議員から御提案のあります、みほそあきない組合との意見交換を重ねているところでございます。今後は、地域の協力を仰いでいきたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　それでは次の質問に行きます。石川地域まちづくり推進計画に関連して、東恩納地区周辺土地利用基本計画策定業務が予定されているようですけれども、その内容をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　平良一雄議員にお答えいたします。

御質問の策定業務は、うるま市石川地域まちづくり推進計画におけるプロジェクトの一つである東恩納周辺の新たな土地利用の検討区域約28.6ヘクタールに関して、住み続けたいと思える居住環境と産業振興が調和するまちづくり実現のため、戦略的かつ実効性のある土地利用計画策定を目的とした業務でございます。本年度に住民意識や地権者等の意向調査及び最適な開発の指針となるコンセプトの立案を行い、令和７年度に土地利用基本計画の取りまとめを行う予定でございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　分かりました。東恩納地区については前々から質問をしているわけですけれども、御存じだと思いますけれども、やはり東恩納地区周辺にはどんどん家が建ってきております。その周辺プラス新石川調理場、それができてくると、さらに東恩納地区の利活用の声が上がってくると思います。その地区には市道が３本入っておりますので、そういった整備も含めて、今回の土地利用基本計画の策定をしていただければなというふうに思います。旧石川市のほうで、この東恩納地区については区画整理事業に入る寸前まで調査が進んでおります。地元の方も関心が非常にあるので、これはしっかり地元の意向等も踏まえながら取り組んでいただきたいなというふうに思います。よろしくお願いします。

次に行きます。中部病院建設計画についてお伺いいたします。これは６月にも質問しましたが、６月定例会以降の市の動向、県政の動向、地域の動向をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　平良一雄議員の御質問にお答えいたします。

７月以降の中部病院将来構想に関連することにつきまして、把握している事項を時系列に沿ってお答えいたします。７月２日、病院事業局の職員が本市へ来庁し、中部病院将来構想についてパブリックコメントを行う前に、本市に対し内容等の説明が行われております。７月３日から８月２日まで病院事業局においてパブリックコメントが行われております。７月19日、本市より県議会議長及び県議会文教厚生委員会委員長へ要請書を手交しております。７月26日、うるま市議会に対し病院事業局より説明が行われております。８月１日、パブリックコメントに対し本市の意見を提出しております。９月２日、病院事業局においてパブリックコメントに対する結果公表が行われ、９月付で県立中部病院将来構想が策定されております。そして９月13日、文教厚生委員会の議員11人による中部病院の現状や本市提案の上江洲・仲嶺地区の現地視察が行われております。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　ただいまの答弁につい

ては、市の動向と県政の動向のみが答弁されておりますが、地域の動向として、９月中旬にうるま市民の投稿がありました。タイトルは「中部病院現在地建て替えを」ということで、理由としては、交通の利便性と上江洲・仲嶺地区には高圧線や鉄塔が林立することから、ドクターヘリが困難と見られる等の理由で、現地建て替えの投稿がございました。また、９月24日には志林川・宮里・赤道・江洲区の自治会長、評議員長、赤道通り会長等、中部病院の現地建て替えを沖縄県に請願書をもって提出をしている状況がございます。

次に行きます。市長が移転候補地として提案している上江洲・仲嶺地区の産業基盤整備事業の概要と当初の目的をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　平良議員にお答えいたします。

産業基盤整備事業、上江洲・仲嶺地区は、約20ヘクタールの土地区画整理事業の実施と併せて、都市計画道路、都市公園、上下水道を整備する事業でございます。事業目的は、市内へのさらなる産業集積を図り、雇用の受け皿を確保することでございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　さらなる産業集積を図るということが大きな目的だということで理解をしております。次に行きます。上江洲・仲嶺地区において、企業立地を実現させるために必要な支障物件、送電鉄塔撤去等の取組のため、令和４年度から令和５年度にかけて沖縄振興特別事業推進費補助金を活用し産業基盤効用拡大事業を行っておりますが、その進捗をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

産業基盤効用拡大事業の土地造成に係る盛土材の搬入につきましては、令和４年度に着手し令和７年度に完了する予定となっております。支障物件となります送電鉄塔及び送水管の移設につきましては、令和７年度から設計に着手する予定となっております。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　この仲嶺・上江洲地区には、現状、鉄塔が５本ございます。そのうちの２本、赤と白に塗られた鉄塔がございますが、これは移動できないというふうに聞いていて、残りの３本、灰色の鉄塔が３本ありますけれども、それを移設するということで伺っております。これをやることによって、仲嶺・上江洲地区の企業誘致が進むということで理解をしております。

次に行きます。中村市長が移転候補地として上江洲・仲嶺地区を提案しているが、その理由を改めてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　御質問にお答えいたします。

上江洲・仲嶺地区産業基盤整備事業の用地につきましては、十分な広さが確保でき、事業を推進していく中において、早期に実現可能性が高いものとして提案しております。十分な広さが確保できるということは、現状の病院機能を維持しながら、ヘリポートの設置や基幹災害拠点病院としての強化をはじめ、低層階での新築が可能となり、将来における中部病院の医療機能の強化・発展、中部医療圏域における中部病院が果たすべき役割の強化・発展ができるものと考えております。また、高速道路からの直進性、救急車等のアクセス面、駐車場の確保など、現状の中部病院が抱える問題・課題が容易に解決できると考えてございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　仮にですけれども、移転建て替えとなった場合、周辺の他市町村が手を上げる可能性もございます。沖縄市辺りは、元々は沖縄市にありましたので、手を上げる可能性もございますが、そういったことが想定されるんですけれども、当局の見解をお伺いします。

○副議長（藏根　武）　市民生活部参事。

○市民生活部参事（古謝　哲也）　御質問にお答えいたします。

中部病院の将来構想に当たっては、地域医療機

関との病床数や医療機能の分化・連携などの医療体制、地域の人口構造や医療ニーズの変化など、中長期的な観点から計画されるものであり、中部病院の移転建て替えに当たっては、いわゆる手上げ方式の誘致で行うべきものではないと考えております。本市におきましては、当時の具志川村による土地の無償提供による過去の経緯や、移転候補地の質問の際に答弁しました内容を含め、現在の人口規模、人口圏域、島しょ地域の医療を守る観点からも、本市以外の移転は一切考えてございません。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　時系列の中でも、本市より沖縄県議会文教厚生委員会委員長に要請書を手渡して、９月13日、文教厚生委員会の議員11人が中部病院の現状、上江洲・仲嶺地区の視察をしている状況がございます。また、県議会も開会しております。その中でもまた議論されるものと思っております。地元をはじめ、市民の大きい関心事でありますので、またその推移を見守っていこうというふうに思っております。

最後に行きます。ＰＦＩ事業についてですが、ＰＦＩで整備・建設を予定している事業とその概要をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　平良一雄議員の御質問のうち、教育委員会にて所管する石川調理場整備運営事業について御説明いたします。

本事業は、現在稼働中の石川学校給食センターと第二調理場の施設老朽化を受け、２調理場を統合した新調理場を整備するものであり、内容といたしましては、新たな共同調理場の設計、建設及び維持管理、調理運営を特定事業として選定しております。事業期間は設計、建設の約２年半に調理運営の15年を合わせた約18年間を予定しており、令和５年12月の事業契約締結後、令和８年８月の供用開始に向け、現在、実施設計を進めているところであります。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　企画部で所管しますＰＦＩ事業につきまして、概要を説明いたします。

勝連城跡周辺整備事業は、勝連城跡周辺に物販施設や飲食施設及び都市公園を整備・運営する事業でございます。事業内容といたしましては、文化観光施設あまわりパーク横への物販・飲食施設の設計、建設及び運営、維持管理、また隣接します勝連城跡公園の設計、建設及び運営、維持管理、さらには史跡であります勝連城跡の運営、維持管理を特定事業として選定しており、付帯事業として、事業者による独立採算での自由提案事業も求めております。事業期間は設計、建設の３年間を合わせた18年間を予定しており、現在、優先交渉権者と12月の契約締結に向けて協議を行っているところでございます。

次に、今後公募を予定しておりますうるま市総合体育館整備運営事業は、老朽化した具志川総合体育館を防災機能を有する総合体育館として建て替えるものでございます。事業内容といたしましては、新たな総合体育館の設計、建設と併せて、新たな総合体育館を含めた具志川運動公園全体の維持管理、運営を特定事業として選定する予定としております。事業期間は設計、建設４年、維持管理運営16年の合わせて20年間を予定しており、今月末には募集要項を公表して公募を開始する予定となっております。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　ＰＦＩ事業のプロセスとして特定事業の選定、民間事業者の募集及び選定等、事業の実施の流れになると思いますが、そのプロセスを経る中で留意すべきポイントをお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

留意点としましては、透明性を確保し公正・公平で、かつ客観的な視点によることが重要だと認識しているところでございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　従来の公共事業とＰＦＩ事業を比較した場合、主な相違点をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

主な相違点としましては、施設の設計、建設、維持管理、運営について、従来の公共事業の場合にはそれぞれ個別に公共側が実施する分離発注を行うのに対し、ＰＦＩ事業ではそれらを一体的にＰＦＩ事業者が行う一括発注となります。そのため、施設の管理を請け負う指定管理者が施設の設計段階から関わることができ、運営管理しやすい施設を建設できる点が大きな特徴でございます。発注内容につきましては、従来の公共事業の場合は詳細な仕様書に基づく仕様発注に対し、ＰＦＩ事業では公共が示した性能要件に基づく性能発注となります。責任分担につきましては、従来の公共事業は公共側が責任を負うのに対し、ＰＦＩ事業では双方で分担することになります。資金調達につきましては、従来の公共事業の場合は公共側が調達し、ＰＦＩ事業では民間側が資金を調達することになります。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　ＰＦＩ事業で答弁のあった、それぞれの事業形態と事業方式、併せて総事業費と財源内訳をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　御質問にお答えいたします。

新石川調理場整備運営事業につきましては、事業形態がサービス購入型、事業方式はＢＴＯ方式を採用しております。事業費につきましては約94億6,700万円で、その財源内訳といたしましては文部科学省所管の学校施設環境改善交付金、内閣府所管の沖縄振興特別市町村推進交付金、合併特例債及び関連事業債、その他民間資金からの調達を予定しております。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　続いてお答えいたします。

勝連城跡周辺整備事業につきましては、事業形態は混合型、事業方式はＢＴＯ方式、提案上限額は約32億8,700万円となっております。財源につきましては、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金と地方債を特定財源として、それ以外の分につきましては民間資金からの調達を予定してございます。

次に、総合体育館整備運営事業につきましては、事業形態は混合型、事業方式はＢＴＯ方式、提案上限額は約207億6,500万円を予定してございます。財源につきましては、防衛省所管の防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金と内閣府所管の沖縄振興特定事業推進費及び地方債を特定財源として、その他民間資金の調達を想定しております。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　再質問いたします。

民間資金の調達とありますが、具体的にはどういうものを対象としているのか。また、調達した資金の返済方法についてもお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　社会教育部参事。

○社会教育部参事（兼城　哲夫）　再質問にお答えいたします。

新石川調理場整備運営事業につきましては、各交付金等の対象とならない備品調達費については民間資金からの調達で予定しており、その返済に当たっては、15年間の運営期間にわたり割賦払いにて返済していく予定です。

○副議長（藏根　武）　企画部長。

○企画部長（金城　和明）　お答えいたします。

勝連城跡周辺整備事業につきましては、国庫補助金の対象外となる物販・飲食施設などの収益施設の整備に関して、民間資金調達を予定しております。また、うるま市総合体育館整備運営事業におきましては、補助対象外の施設整備及び補助対象外の備品調達費において、民間資金からの調達を想定しております。両事業ともに、施設整備費として調達した資金につきましては、運営期間にわたりサービス購入費として割賦払いでの返済、一方で、独立採算施設の整備費として調達された資金につきましては、指定管理者の利用料金収入により賄われるものと考えております。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　それでは、ＰＦＩ事業

における民間事業者の募集の際の資格要件をお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

資格要件につきましては、基本的に、入札参加資格を有しているなど従来型の発注方式と同様の要件を設けてございます。また設計、建設、維持管理、運営などの業種ごとに、各法令等に基づいた事業実施に必要な資格を有するもの、当該事業実績や類似事例実績等を要件として、事業特性に応じて個別事業ごとに資格要件を設定してございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　ＰＦＩ事業における特別目的会社、ＳＰＣと言っているようですが、その構成についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

ＰＦＩ事業におきましては、応募事業者は、事業の各業務に当たる複数の企業などにより構成される企業グループとされております。基本的には設計事業者、建設事業者、維持管理事業者、運営事業者、その他自由提案事業実施事業者などで構成され、特別目的会社に出資を予定し業務を請け負うものを構成員、うち最大の出資者であるものを代表企業とし、また出資の予定はしていないが業務を請け負うものを協力企業としております。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　最後の質問に行きます。市内事業者の参加についてお伺いいたします。

○副議長（藏根　武）　財務部長。

○財務部長（島袋　史朗）　お答えいたします。

基本的に市内事業者を構成員、または協力企業として資格要件を設ける場合や、評価審査において参画する市内事業者数や市内事業者の受注額等を加点評価するなど、地域経済に多くメリットをもたらすように、市内事業者の参画等について配慮しているところでございます。

○副議長（藏根　武）　平良一雄議員。

○９番　平良　一雄議員　ＰＦＩ事業についていろいろ聞いてきましたが、この目的としては、新石川調理場が94億円、勝連城跡周辺整備が32億8,000万円余り、総合体育館においては207億円、大きな市の財政が長期間にわたって支払われていくということです。それはいいんですけれども、その事業費がしっかり市内の事業者に回っているか、そこをしっかり検証していただきたいなというふうに思っております。代表企業、構成員、協力企業というふうにありますけれども、しっかりその中に市内業者が入って、その事業で儲けて、市税で還元をしていく、そういう仕組みをしっかり検証していただきたいなというふうに思います。場合によっては、従来の発注方式も考えるべきではないのかなというふうに考えております。その辺を検証・検討しながら、ビッグプロジェクトもそうですけれども、今後の事業についてもしっかり考えていただきたいなというふうに思います。市内事業者への還元、発注、そういうところをしっかり考えながら、事業の発注には取り組んでいただきたいなというふうに思います。

これで私の一般質問を終わります。

○副議長（藏根　武）　午前の日程をこの程度にとどめ、午後１時30分より会議を開きます。

休憩します。

休　憩（１２時０９分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時２９分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次の質問者、又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　皆さん、こんにちは。質問王が危うい又吉法尚です。今議会、私の質問の数より多くの……３人ですかね、たくさんの質問が出ております。質問が多いことは、うるま市のためにいいことかなと私なりに思っております。今回もよろしくお願いします。藏根副議長の下、最後の登壇者となりました。終わりよければ全てまたよしとなりますように今回もお願いしたいと思います。早速行きます。

１番目、2024年度全国学力・学習状況調査、全国学力テストと言われていますが、その結果に関

連する事項についてであります。去る４月18日に行われた全国学力テスト、７月29日に結果が公表されました。私は毎年、公表後のこの議会の中でこの問題を取上げ、沖縄県・うるま市の児童・生徒の学力が少しでも向上するように願っており、学力の底上げにつながればいいと思っております。近年では順位の話はあまりせずに、全国の平均とのポイント差であったり、平均正答率の範囲内であるとか、曖昧な表現ばかりであります。そこで質問いたしますが、沖縄県の小学校６年生国語と算数、中学校３年生国語と数学の全国の順位、そして正答率ランキングを伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　又吉法尚議員の御質問にお答えいたします。

現在行われております全国学力・学習状況調査の結果については、児童・生徒の学習状況を把握し、改善・充実に役立てることを目的としているため、市町村や学校の順位やランキングに関するデータの提供は受けておりません。沖縄県の平均正答率の全国との差については、調査開始の平成19年からの推移を見ますと、小学校６年生国語については5.3ポイント、算数につきましては2.2ポイント上昇し、全国水準に達しております。中学校３年生国語については、マイナス５％以内の全国水準まで改善しております。数学については全国水準には達しておりませんが、平成19年からの推移を見ますと、4.3ポイント上昇しております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　部長の答弁の中にも順位等の発表はなかったんですけれども、ネットや新聞等を見れば、順位は一目瞭然であります。もちろん、今答えられた中で、調査開始より全国とのポイントの差は縮まっているよ、全国水準に近付いているよと、各教科ごとにあったんですけれども、しかし、残念なことに小学校・中学校ともに47番目であるのが現状であります。

２番目、ほぼ毎年全国最下位の続く沖縄県の中で、うるま市の小学校６年生、中学校３年生の学力がとても気になります。県内における学力の現状を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

うるま市の平均正答率の全国との差については、平成19年からの推移を見ますと、小学校６年生国語については4.2ポイント、算数については1.7ポイント上昇しております。中学校３年生国語については２ポイント、数学についても3.9ポイント上昇しており、改善傾向にあるものと捉えております。今年度の正答率の全国との差については、小学校国語でマイナス6.7ポイント、小学校算数でマイナス10.4ポイント、中学校国語でマイナス10.1ポイント、中学校数学でマイナス15.5ポイントとなっております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　部長の答弁で全国との平均の差、沖縄県とのポイントの差の紹介がありました。ちょっと数字を出して見比べないと分からないんですが、沖縄県が改善傾向にある中、我がうるま市は、もちろんポイントの差は縮まっているものの、沖縄県の平均よりも少し差があるのかなという感じがします。特に中学生数学においては、かなり全国とも沖縄県の平均ともポイントの差がある傾向に見られるのかなと感じております。

次の質問に行きます。私は、全国学力テストを毎年実施していることは、授業などの教育活動の改善を目的として行っていると認識しております。しかし、毎年実施することは不要であると私なりに考えております。教員の多忙化や長時間労働につながります。また、各学校で採点する自校採点というものがあるんですけれども、自校採点についても廃止するべきであると思っております。教員の業務負担軽減の考え方も含め、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

学力調査の目的である、児童・生徒の学力や学

習状況を把握し、学習指導等の改善・充実に向けて役立てることは重要であると認識しております。今後、こうした学力調査の問題配信、採点業務をコンピューターを使って行えるよう、調査のＣＢＴ化が進められております。令和７年度以降実施される全国学力・学習状況調査の教科調査についても、順次１教科ずつ、文部科学省ＣＢＴメクビットシステムを利用して行う計画がございます。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　ＣＢＴ化という言葉が出ましたので、ちょっと再質問させてください。

毎年実施されている学力テストは、都道府県単位での平均正答率が公表されるので、教育行政や学校現場をはじめ、どうしても順位争いを動機づけられてしまいます。一時的に無理して詰め込んだ学力より、日常の教育活動をどう効果的なものにするかが大事だと考えております。それから、自校採点についても国の委託業者が採点・分析した結果が８月に届くそうです。夏休み中にじっくりと結果を見て、活用すればいいと私は考えております。市のほうからも、県教育庁に対し教育の業務負担軽減の考え方も含め、この２点を要請してほしいと思います。当局の見解を聞かせてください。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

全国学力・学習状況調査の目的は、先ほど述べたとおりでございます。上記２点の要請につきましては、本調査の結果を踏まえて、教育に関する検証・改善サイクルを確立していくとともに、採点等の業務負担の軽減につきましても、調査のＣＢＴ化に向けて進めていくことで改善につながるものと認識しております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　教員にとっても、改善につながるなら喜ばしいのかなと思います。

最後の質問に行きます。私、毎年申し上げておりますが、2007年から実施されている全国学力テスト、先ほどからあまり言いたくないんですけれども、小・中学校とほぼずっと最下位に低迷している沖縄県。特に中学生の結果が伸び悩む原因として、沖縄県の貧困率の高さや、勉強に向き合う家庭環境の改善が考えられます。親の経済力と子の学力は相関関係にあると私は思っております。中学校では、学習内容が基礎的な小学生より親の経済力が学力に反映されやすいのです。今回の学力テスト、正答率の差は10％の範囲内にあり、大きな差は見られないと説明等ありましたが、最下位は最下位であります。うるま市の応援する力が中学生には特に必要と考えております。当局のこれまで応援してきた事業の内容をいま一度確認するとともに、新たな貧困対策の受験生を応援する力を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

学習内容の定着が不十分な児童・生徒や家庭環境が厳しい児童・生徒等、学習支援を要する児童・生徒につきましては、学力向上支援員を配置し授業における学習の支援・補助、補習指導等に充てております。その際、学校の規模や課題に応じた支援が行えるよう、配置人数や時間につきましても考慮して配置しているところでございます。家庭での子供たちの学習を支えるツールとして、デジタルＡＩドリル等を導入し、児童・生徒の未定着な内容や苦手分野を把握し、課題に応じた学習内容を個別に配信し、児童・生徒一人一人の個別最適な学びの定着が図れるような支援体制づくりを行っているところでございます。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　部長、応援する答弁をありがとうございました。ぜひ、次年度は最下位を脱出したよと報告ができることを願いまして、この質問を終わりたいと思います。これからも小・中学生ともに、特にうるま市の子供たちの学力の応援をよろしくお願いしたいと思います。

２番目、小・中学校閉庁日（業務停止日）及びリフレッシュウィークに関連する事項についてであります。まず初めに、平成31年３月に策定され

た沖縄県教職員働き方改革プランの取組として毎年実施されております、小・中学校閉庁日及びリフレッシュウィーク事業の概要と目的を伺います。また、緊急時の連絡先の周知、保護者からの何らかの連絡等はあったのか、併せて伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

沖縄県教育委員会では、教職員が心身ともに健康でやりがいを持って児童・生徒と向き合う環境を整備する取組の一環として、平成30年度から学校閉庁日を設定しております。具体的には、毎年８月の第２水・木・金曜日を学校閉庁日とし、学校閉庁日を含む毎年８月の第２週をリフレッシュウィークとしております。学校閉庁日の期間中は原則、教育活動を行わず、例えば、教職員の校内研修なども実施しないようお願いしているところです。緊急連絡先の周知につきましては、学校閉庁日の期間にかかわらず、事件・事故が発生した場合やその他の急用の際は、関係機関及び市教育委員会に連絡するよう、各校長宛てに保護者への周知依頼をしております。なお、今年度の学校閉庁日の期間中における保護者からの御連絡はございませんでした。

○副議長（藏根　武）　休憩します。

休　憩（１３時４３分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１３時４４分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　部長、答弁ありがとうございました。

２番目の質問をします。私の認識では、教育活動や部活動は原則停止だと思っておりますが、その期間は守られていたでしょうか、伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

市内中学校において、部活動を行わなかった学校は３校、その他の７校におきましては、週末の大会に備えて限られた時間で練習を行った部活動や、九州・全国大会等へ参加した部活動がございます。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　ちょっと再質問します。

部活動は原則禁止だと校長先生のほうからも各指導者にお願いをしているそうであります。しかし、今答弁にもあったとおり、九州・全国大会があるから練習させてくれないかという部活があるのも事実ではあります。私は小・中学校の体育館を見てきたので、その辺の話をしながら再質問したいと思います。

私は学校閉庁日の８月７・８・９日、水・木・金曜日と学校にも電話をし、きちんとルールが守られているのかなと、地域の１中学校、３小学校をパトロールといいますか、どんな様子かなと見てまいりました。中学校では、正門と駐車場入り口の鍵が閉められ、車が１台もなく、人もいませんでした。ゼロ人でした。ところが３小学校、学校は閉まっているものの、部活動をする体育館の電気はつき、駐車場には車が何台もありました。当局はこの現状を把握しておりますか。次年度以降の考え方も含め、今後の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

県教育庁働き方改革推進課の資料によりますと、学校閉庁日やリフレッシュウィーク期間中は、原則学校内における行事や研修を計画せず、職員が長期休暇を取得しやすい環境づくりを行うことを狙いとしております。議員御指摘のような活動がどのような理由で行われていたのかは把握しておりませんが、委員会としましては今後も学校の働き方改革が推進できるよう、各小・中学校や関係団体等に対して学校閉庁日やリフレッシュウィークの趣旨について引き続き周知してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　今、中学校の部活動

は地域移行等をしていますけれども、まだ学校の先生、教員の先生方が部活動を見たりしています。なので、校長先生から直々にこの週は練習を休んでくださいと言ったら、分かりましたと。もしかしたら、違う場所でやっているかもしれません。中学校は使われておりませんでした。しかし小学校の場合、指導者が外部委託者が多いので、学校側からお願いしても、校長先生がぜひ協力して使わないでくださいと言っても、やはり大会前だから練習させてくださいという言葉が多いそうです。悪いけれども、小学生は１年中大会前です。約１か月半、２か月ないし大会がありますので、どの期間をとっても大会前なんです。テスト休みのない小学生におきましても、１週間、家族と触れ合うリフレッシュウィークができたらいいのかなという考え方もありますので、ぜひ次年度以降は小・中学校合わせて、学校がしーんと静まり返っているような指導というか、助言方をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

３番目。こちらは昨年もお伺いしましたが、学校閉庁日の間、施設内は閉まっていると思いますが、隣接するこども園、学童クラブがあります。その子供たちは運動場、遊具を自由に使用して遊ぶことはできましたか、伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

第170回定例会において答弁した内容の繰り返しにはなりますが、学校施設の一般的・定例的な利用につきましては許可の権限を校長に委ねており、学校管理規則においても、校長は学校の施設及び設備を管理し、その整備に努めなければならないと定めております。学校閉庁日に運動場や遊具を使用する場合は、事前に学校側と調整していただくことで使用が可能となっております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　ぜひ、私のほうからも前もって周知しながら、学校は休みだから自由に運動場を走り回っていいよと、その辺を伝えられたらいいのかなと思いますので、またよろしくお願いしたいと思います。

大きい項目３、ライフジャケット着用による水難事故未然防止に関連する事項についてであります。１、今年も暑い夏がもうやがて終えようとしております。連日、県内外の海・川の事故のニュースが報道されるたびに、またかと苦しい思いをするのは私だけではないはずです。昨年のデータですが、沖縄県の水難事故発生件数は116件、被災者は169人、うち死者は59人でした。そのうち18歳以下は12件、死亡者数は４人、死亡事故はいずれもライフジャケット未使用だったそうです。救える命があるならどうにかしたいという思いから、今回質問をしてまいります。よろしくお願いします。まず初めに、夏休み期間内におけるうるま市の小・中学生の水難事故の件数とその内容を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

夏休み期間内におけるうるま市の小・中学校の水難事故件数は、市内・市外を含めゼロ件となっておりますが、夏休み前に児童の水難事故について１件の報告がありました。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　そうですね。夏休み前に１件の水難事故があって、お母さんが水難救助をして助かったというううれしいニュースも入ってきましたので、ぜひそのような事故がないようにしたいと思っております。

２番目。続きまして、うるま市内小・中学生の子を持つ各家庭のライフジャケット所持率を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

うるま市内小・中学校の子を持つ各家庭のライフジャケット所持率につきましては、把握しておりません。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　そうですね。なかな

か調べることがないので把握はできないと思いますが、参考までに、私は小・中学生の子供がいました。今はもう全員高校生以上になっておりますが、７人家族です。ライフジャケットは７人家族で２枚、お家にあります。そんなに高いやつではないんですけれども。あくまでも参考までに。もしいつか調べられる機会があれば、調べてもいいのかなと思ったりもしています。

３番目。それでは、うるま市各小学校におけるライフジャケットの所持率を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

海洋体験で使用する学校２校が所持しております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　２校ですか。分かりました。ちょっと４番目と関連するので、４番目の質問に行きたいと思います。

国のデータですが、海・川遊びをする際にライフジャケットを着用して事故に巻き込まれた場合、生存率は約９割、非着用者の場合は４割程度だと言われているそうです。ライフジャケットが手軽に手に入れば、助かる命もぐんと増えるのです。私から提案があります。各小学校にライフジャケットを１クラス分配付し、ライフジャケットを着けた着用水泳などをやってみて、実体験をしてみたり、夏休み期間中のレンタル等を行えば、必ずや水難事故の未然防止につながると私は考えております。当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

議員御提案のライフジャケットのレンタルにつきましては、基本的にライフジャケットを使用し水難事故防止に努めることは、各御家庭の判断によるものだと考えております。しかしながら、水難事故の未然防止につきましては、大変重要であると認識しておりますので、これまでも取り組んできているところであります。特に、今年度は、オンラインによるうるま市消防の講習会を市内小学校の６年生を対象に実施しております。その中で、救急救命の方法やライフジャケットの大切さについて学ぶ機会も新たに設けております。今後も、学校及び関係機関と連携し、水難事故の未然防止に努めてまいります。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　ありがとうございます。答弁はいいです。海洋体験で使用する学校２校が所持していると伺いましたので、ぜひ輪番制でもいいですし、各学校にライフジャケット、プールの授業中でも構いませんので貸出しをして、ライフジャケットはこんなに浮くんだよとか、安全なんだよという体験ができたらいいのかなと私は思っております。私の地元の川崎自治会では、子ども会にてビーチパーティーを毎年夏に行っているんですけれども、ライフジャケットを持ってきてねと言っても、やはり持って来る家庭は少ないんです。そこでレンタルしたり、基地の従業員が借りてきたり、やはりそのときに初めてライフジャケットを着けて、こんなに浮くんだ、便利だね、安全だねという声もありますので、ぜひ今後、ライフジャケット着用による水泳学習等ができたらいいのかなと私なりに思っていますので、ぜひ検討できるならお願いしたいと思います。

４番目、熱中症警戒アラートに関連する事項についてであります。似たような質問もありましたが、私なりの視点から質問をしていきたいので、よろしくお願いします。繰り返しますが、今年の夏も特に暑かったです。去年も、今年の夏は暑かったと恐らく皆さん言っていて、さらにそれを上回った暑さでした。年々暑さが増す地球温暖化のために、事前に準備が必要であります。まず初めに熱中症警戒アラートの概要について、当局の見解からお知らせください。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

熱中症警戒アラートは、環境省が示しております暑さ指数が31度を超えたときの活動を危険とし、

33度を超えるときに熱中症警戒アラートが発令され、涼しい場所以外での激しい運動や長時間の運動が原則中止とされております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　私自身も熱中症警戒アラートについて調べてきました。簡潔に言います。私の認識では、広域的に過去に例のない危険な暑さとなり、人の健康に関わる重大な被害が生じるおそれがあること、また自分の身を守るのではなく、危険な暑さから自分と自分の周りの人の命を守ること。特に学校を管理する校長先生や、また管理者等は全ての人が熱中症対策を徹底できているか確認をして、できていない場合は運動・外出・イベント等の延期等を判断することだそうです。ニュース等で、県外の少年野球の大会が、運動場の暑さ指数が超えて決勝戦ができずに、じゃんけんで終わったという悲しいニュースもあったりもしましたけれども、ただし、命には代えられませんので、ぜひ皆さんで熱中症対策をしながら、次の夏を迎えていけたらいいのかなと思っております。

再質問します。それでは、熱中症警戒アラートが発表された地域の体育の授業、運動会練習の対応方について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

熱中症警戒アラート発令中の運動会練習の際は、水分補給等の徹底や休憩時間の確保、運動時間の短縮やミストシャワーやテントの設置、体育館の使用時には大型扇風機を使用するなど、対策を行っている状況となっております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　暑さは、暑いときは暑いな、危険だなと感じるんですけれども、ちょっと今は朝・夕が涼しくなってきて、私も今年の夏は暑かったなと表現はするんですけれども、ちょっと忘れかけたりもするんです。次年度、初夏というんですか、沖縄は梅雨が明けて５月、６月からすぐ暑くなりますので、そのためにぜひ準備方しながら、子供たちの安全を守ってほしいなと思っております。

２番目。それでは、熱中症警戒アラート発令中の部活動、土日の大会等もあるかと思いますが、その大会への参加など、指導方について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

先ほどお答えした運動会練習時の対応と同様でございます。また、大会等への参加につきましては、部員の体調を本人、保護者、指導者が平時より適切に把握し、大会実施要項にのっとり指導していると認識しております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　近年、部活動の監督たちも大分柔らかくなって、水分休憩であったり、熱中症対策も十分行っているとは感じております。昔みたいに、水を飲むな、走れとか、砂を持って走ったりとか、なかなかそういうものは見られないですけれども、やはりスポーツ、勉強ももちろん大事です。学ぶこともたくさんあります。一番は子供の命ですので、命を最優先に考えながら、次の夏も暑さ対策をしながら守っていけたらいいなと思っています。

最後の質問です。最後に、熱中症警戒アラート発令中の登下校の対応方について伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

先ほどの運動会練習等の対応と基本的には同じでございますが、特に下校時には帽子の着帽を促すことや、中学校においては制服だけではなく、体育着やジャージを認めるなど、服装の自由度を認めている学校もございます。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　部長、ありがとうございます。まとめます。福岡県太宰府市では35度以上の猛暑日が何日連続続いたよというニュースも皆さんお聞きしたかと思いますが、沖縄県は風がありますので、なかなか35度にはならないです

が、もしからしたら来年、再来年、朝から35度を超えているよ、下校する16時付近には35度を超えているよということもあるかと予想されますので、ぜひそれに対して事前の準備方、約束事、決まり事を設けておかないと、子供たちは30分かけて歩いて帰る子もたくさんいますので、ぜひ子供たちの体力の安全を考えながら、この対策を事前に準備してほしいなと思っております。

次に行きます。５番目、川崎ルーシー河線道路改良工事に関連する事項についてであります。この質問は、ルーシー河線が早く全面開通することを望む区民の声と、開通後に安全面を心配している地域住民の声と、日に日に相談事が自治会にも、私のほうへも多く寄せられております。心配事を払拭するためにも、簡明な答弁をよろしくお願いしたいと思います。まず初めに、県道８号線との取付工事となり、コープ入り口付近が通行止めとなっておりますが、最近の終了予定は８月31日と明記があったんですけれども、工事完了の予定がありましたが、工事の進捗状況を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　又吉法尚議員の御質問にお答えいたします。

御質問の川崎ルーシー河線道路改良工事では延長約80メートル、幅員12メートルの２車線、両側歩道を整備しており、８月末時点で71.8％の進捗率となっております。当初、６月末の工事完成予定でしたが、電柱の移設や県道内における埋設不明管の照会・確認等に時間を要したことから、10月まで延期しております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　部長、答弁ありがとうございます。私も工事関係者と話をして、10月31日までに終わる予定だよと報告を受けていますので、見守っていきたいと思います。

２番目。２学期も始まりました。仮設道路は簡易的にはあるものの、工事施工箇所付近への道路警備員の配置はまだありません。私は全く見たことがありません。最近では、土砂を積み下ろすダンプの出入りも確認いたしましたが、安全対策について当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

本工事では、県道８号線を施工する際に、安全性を考慮し警備員の配置を予定しております。また、児童・生徒の登校の時間帯には基本工事は行わず、下校の際は可能な限り工事を制限し、最小限の作業を行っております。なお、警備員以外の安全対策としましては、看板等の設置、夜間の保安灯の点灯などで対処しております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　答弁ありがとうございます。今、仮設道路部分を舗装するに当たって、仮設道路がちょうど工事の間を通る変形した仮設道路になっております。小学生たちは理解していないのか、仮設ではない道から工事寄りに歩く姿を毎朝見かけます。この件は、執行部には危険だよ、どうにかしてねと伝えて、現場にも伝えたみたいなんですけれども、それを踏まえながら次の質問に行きたいと思います。

では、予定どおりに行けば10月31日で道路工事は完了いたします。間口の大きい道幅の広い道路になります。登下校する児童・生徒、交通車両、近隣住民の生活、安全確保のために、横断歩道や信号機設置は不可欠だと考えますが、当局の見解を伺います。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

今回整備する交差点では、当初、県道８号線と並行した市道内への横断歩道のほか、信号機設置を想定した県道８号線へ２つの横断歩道を予定しておりましたが、公安委員会との協議の結果、現時点では新規の信号機設置、あるいは移設についても検討していないとの回答があったことから、県道８号線への横断歩道については設置しない予定となっております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　やり取りをする中で

信号機設置はできないよと聞いて、とても残念に思っております。

再質問させてください。信号機設置には多額の費用がかかることは十分分かっております。しかし、この小学校に近い多くの外国人車両が通ると予測されている新しい道路、本当に事故は起こらないのでしょうか。ここは、市を挙げて取り組んでほしいと考えております。うるま市長の見解をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　市長。

○市長（中村　正人）　又吉法尚議員にお答えをいたします。

おっしゃるとおり、川崎小学校近くで通学路でもあります。新しい道路が整備をされると、小学校から出て栄野比付近に帰る、川崎付近に帰る子供たちが横断をしていくということで、横断的なものの横断歩道並びに信号機は必要かと思っております。この事業はもう数十年にわたって整備をされているところで、川崎地区の念願の道路であるということも承知をしております。そういったことから、県が予算の提示をして公安委員会がその予算を持って各市町村に配分をし、信号機の設置ということなんですが、我々うるま市全域においても、多くの議員の皆さんから信号機の設置というようなことの要望等もございます。しかしながら、議員のおっしゃるとおり、この信号機は大変必要だと思っておりますので、今後、県に対してさらに予算を獲得し、早急に信号機設置の要請・要望等をしてまいりたいと思っております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　市長、前向きな答弁ありがとうございます。道路が開通して、車両が何台通るかとか、歩行者が何人いるかとか、あくまでも今は予想の話であります。しかし、我々も子供たちの安全を守るために、子供たちが安全に渡れるまでに、小学校の目の前を一旦渡って、また公文の前、ＪＡの前から迂回して行かせようかとか、ＰＴＡは必ず毎朝立とうねとか、そのように今、話はしていますけれども、やはり押しボタン式の信号機があったほうが安全ではありますし、近くに信号機もあるという難関もありますけれども、ぜひここはクリアしながら、安心・安全が確保できたらいいなと思っていますので、市長、応援方よろしくお願いしたいと思います。

最後です。それでは、道路開通後の川崎187番地付近、元は具志堅商店という商店があったんですけれども、交差点では車道の優先順位が変更すると伺っております。私は、必ず交通事故が少なからず起きるのかなと心配しております。起こさないように、どうにかしたいと考えています。注意喚起の看板、車道の白線の明確化、一時停止のバンプ、ぼこぼこを取りつける等、あらゆる対策をやってほしいと考えております。当局のこの交差点の安全対策の考え方をお聞かせください。

○副議長（藏根　武）　都市建設部長。

○都市建設部長（名嘉眞　睦）　お答えいたします。

今回の工事において、川崎ルーシー河線が優先であることが分かるよう、交差点箇所においても外側線を標示することになっております。また、さらなる安全性を向上させる必要があることから、道路管理者として交差点注意の路面標示を行い、注意喚起してまいります。なお、標識設置については再度公安委員会と協議を行ってまいりましたが、設置は行わないとの判断がございました。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　答弁ありがとうございます。こちらも開通してみないことには、もしかしたら何の事故も起きなかったよとなるかもしれないですし、ただ、現場の様子を見ながら、自治会も挙げて協力を惜しまずに、朝・夕のラッシュ時には交通安全の整理を立たせるとか、いろいろ協力しますので、ぜひ市のほうも温かく応援してください。よろしくお願いします。

６番目、不登校生徒の高校進学に関連する事項についてであります。１、まず初めに昨年度の不登校生徒の高校への進学の現状を伺います。全日制・定時制・通信制とそれぞれ伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　又吉法尚議員の

御質問にお答えいたします。

令和５年度、不登校生徒の高校進学内訳は、全日制14人、定時制14人、通信制45人となっております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　私は誤解していました。不登校の生徒は、もう通信制にしか行けないのかなと勝手な悪いイメージがあったんですけれども、全日制や定時制で頑張っている子も数多くいるという答弁がありました。

２番目。不登校の生徒は、そもそも授業に出席日数が足りていない生徒が多くいますので、通知表に１があっても仕方がないのかなと私も感じております。特に、技能教科と呼ばれる音楽・美術・技術・家庭科・保健体育におきましては、そもそも授業に出席しておりませんので、なおさら厳しくなるのかなと思っております。しかし、何らかの理由で不登校になり、家庭学習を頑張り、勉強ができる生徒がいるのも事実であります。お伺いしたいのは、不登校の生徒で定期テストだけ受けに来る生徒がいると思いますが、成績がいい生徒がたまにおります。しかし、通知表に評定１がある場合もあるんです。その場合、高校進学は可能なのか。不利になりませんか、伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

令和７年度、沖縄県高等学校全日制・定時制課程入学者選抜実施要項の選抜方法によりますと、各高等学校の選抜委員会において調査書、学力検査の成績及び面接等の結果を基に選抜を行うとされていることから、高校進学の合否判断につきましては、希望する高校にて総合的に判断されるものであり、議員御案内の場合におきましても、当然、高校進学は可能であると認識しております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　分かりました。ありがとうございます。私ももし何か相談事があれば、そのように伝えたいと思います。もちろん、学校に行って頑張ろうというのが一番なんですけれどもね。

（３）中学校では、何らかの理由で不登校になりました。しかし、家庭での学習は頑張りました。不登校の生徒の中には、高校に行ったら気持ちを新たに頑張りたい。全日制高校へ進学をしたいと目標を持つ生徒もいるかと思いますが、出席日数も足りない、通知表に評定１がある場合、全日制高校普通科への進学は諦めないといけないですか、伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

沖縄県高等学校全日制・定時制課程入学者選抜実施要項の不登校生徒等の入学者選抜に係る取扱いにおいて、欠席または出席扱いが多い等の理由を説明する必要があると認められる者は、自己申告書を中学校等の校長を経て、志願先高等学校長に提出することができる旨記載されており、自己申告書が提出された場合は、これを選抜資料に加えるものと説明されております。高校の合否判断につきましては、先ほど答弁しましたとおり、各高校にて判断されますが、在籍する中学校の担任や進路指導担当の先生方とよく相談をして、一人一人に合った進路を選択することで、高校進学については決して諦めることではないと認識しております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　皆さんも、不登校の児童・生徒、もしかしたら身近にいる方もいるかと思いますが、いろんな理由があると思います。家庭環境の問題であったり、いじめであったり、申し訳ないですけれども、本人の怠慢であったりと。しかし、やはり学校に行けない理由もいろんな理由があるのかなと思っております。例えば、担任の先生と合わないとか、特に思春期の女の子とか、またもしかしたら教室にお化けが見えて行けないよとか、そういう子もいるかなと思いますので、次はちょっと角度を変えて質問をしたいと思います。

不登校の理由の中に、校区外中学校なら学校に

登校して頑張りたいという理由もあると伺いました。その場合、お互いの校長先生同士の話合いで校区外への転校は可能なのか伺います。

○副議長（藏根　武）　学校教育部長。

○学校教育部長（大里　元児）　お答えいたします。

不登校を理由とした校区変更につきましては、校長同士の話合いのみで決められるものではございません。まず、保護者からの指定学校変更申請書の提出を受け、指定学校変更許可基準に照らし、担当課において保護者及び関係者の意見の聴取や学校長の所見等を確認いたします。そして、関係課において教育的観点より総合的に検討・協議し、校区変更が妥当と判断された場合、担当課で転校の手続を行うことになります。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　そうですね。私は勘違いしていました。お互いの校長同士でできるのかなと思ったら、やはり教育委員会も通しながら、いろんな理由を考えながら、できるかできないかを判断していくよと、まさにそのとおりだと思います。子供たちのために、理由が通れば、ぜひそういうことにも対応してあげてください。

７番目、保育行政に関連する事項についてであります。まず初めに、うるま市の夜間保育の現状について伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　又吉法尚議員の御質問にお答えいたします。

市内に88施設あります認可保育施設のうち、夜８時まで開所している施設は２施設ございますが、ほとんどの施設は夜７時には閉所している状況であります。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　先ほど私が聞いたのは延長保育ではなくて夜間保育なので、次の質問からまた入ります。

２番目。共働きの夫婦で、短期間ではあるが昼間の勤務から夕方の勤務へとシフトが変更になった場合、どうしたらいいですかと私のほうへ相談がありました。近くに親類もいない家庭で、とても困っておりました。このような事例の場合、行政の対応方について伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

保育施設の閉所後などにおける育児支援につきましては、ファミリーサポートセンターなどを案内し、支援していくことになるものと考えております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　私は参事のほうに相談をして、ファミサポの案内を受けて、その家庭にファミサポを紹介しました。

それでは３番目、うるま市ファミリーサポートセンターの育児援助の内容と利用料金、活動時間帯を伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

ファミリーサポートセンターは、仕事と家庭の両立を支援するため、育児援助を受けたい人、通称「おねがい会員」と、援助を行いたい人、通称「まかせて会員」が会員となって、有償ボランティアで援助活動を行う事業となっております。援助内容は主に保育施設までの送迎、子供の習い事への送迎、保護者の就労時の子供の預かりなどとなっております。活動時間及び利用料金は、平日朝の７時から19時までの利用の場合、子供１人１時間600円。それ以外の時間及び土日祝日、年末年始につきましては子供１人１時間700円。宿泊を伴う場合、平日21時から翌日朝の７時までの利用で、子供１人１泊5,000円となっております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　皆さん御承知のとおり、いろんな仕事があります。もちろん日中仕事の方が保育園に預けることは分かっているんですけれども、今回のようにシフト変更になったりする場合もありますので、今の案内では7,000円とか5,000円とか、やはりどうしてもかかってしま

いますので、共働きの家庭はそういう出費も困難かなと思いますので、ぜひうるま市も安価な夜間保育ができたらいいのかなと思っておりますので、またこの件に関しましては次の議会で質問したいと思います。

４番目、保育所補助金不正受給について。時系列で、不正受給が起きた内容と現在の事業所の状況を伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

保育補助者雇上強化事業及び保育環境改善事業補助金について、令和５年11月、市立みほそ第二小規模保育事業所の前指定管理者であります特定非営利活動法人ぷろぷが、令和２年度から令和４年度にかけて補助金の目的に沿っていない補助金使用があることを確認し、令和６年１月、補助金の交付取消しを行い、同年２月末日を期限に補助金返還命令を行っております。なお、同法人より一括返還が困難である旨の申出があり、関係部署も含め精査の上、分納誓約を締結し、一部返還が始まっております。また、市立みほそ第二小規模保育事業所の運営につきましては、同法人より令和６年１月29日付で、指定管理を継続できない事情の申出があり、令和６年４月１日より市が直営にて保育事業を行っております。現在、当該小規模保育事業所の状況につきましては、４月以前から継続勤務していただいている保育士も多く、園児・保育士共に落ち着いた様子で保育が行えている状況でございます。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　再質問します。指定管理者であったＮＰＯ法人の理事長は、「管理不足だった、私の落ち度だ」と不正を認めているみたいですが、うるま市として返還を求めるのは当然のこと、虚偽登録に対し、告訴を検討したりする考えはないか伺います。

○副議長（藏根　武）　こども未来部参事。

○こども未来部参事（上運天　健）　お答えいたします。

告訴につきましては、関係法令などを照らし合わせる必要があり、弁護士なども含めて検討する必要があることから、関係部署と協議してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　８番目、牛のオブジェに関連する事項についてであります。去る４月８日から５月31日までうるま市役所西棟前に展示されていた牛がいなくなりました。うるみんのほうへ逃げて行ったというううわさは聞きましたが、どこに行ったのですか。この事業の概要から伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　又吉法尚議員の御質問にお答えいたします。

牛のオブジェにつきましては、民間事業者によって、闘牛のまちうるま市を盛り上げたいという思いから制作された闘勢琥珀実物大のオブジェであります。このオブジェを制作した民間事業者の御要望により、今年の４月８日から５月末まで市役所西棟の正面玄関前にてお披露目を目的に展示をしておりましたが、期間終了後は持ち主の元へ帰っております。その後、闘牛関係者から闘牛のまちうるま市を広く周知したいとの御提案を受け、うるま市エイサーまつりの際に多くの人の目に触れるうるみん前へオブジェを展示しております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　闘勢琥珀の像は、闘牛のまちうるまをＰＲすること、市を盛り上げることにはうってつけだと私は考えております。子供から大人まで、写真を撮ったりと大好評だったと思っております。今後、またうるみんから戻ってくる予定はありますか、伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

うるみん前からは10月上旬頃撤去する予定であり、その後については、現時点において特に決まってはおりません。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　では、闘勢琥珀のオブジェの価格、設置費、維持費、耐用年数を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

闘勢琥珀のオブジェを制作した事業者へ確認したところ、価格は税込みで165万円、設置費に約10万円から20万円、塗装の耐用年数は約６年から８年、維持費はよっぽどのことがない限りかからないとのことでありました。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　再質問します。約170万円から180万円近くの予算がかかると伺いました。それが高いのか安いのかは私は判断しにくいですが、ぜひ本庁に展示してほしいと考えます。買取りではなく、リースという方法もあるのかなと思います。うるま市のＰＲとして置いてほしいです。当局の考え方を伺います。

○副議長（藏根　武）　経済産業部長。

○経済産業部長（岸本　力）　御質問にお答えいたします。

今後のオブジェの展示・活用については、所有者の意向や設置にかかる価格等を踏まえた上で検討してまいりたいと考えております。

○副議長（藏根　武）　又吉法尚議員。

○１８番　又吉　法尚議員　手綱を引く人、勢子と言うんですか、モデルとなった人も近くにいますので、ぜひ展示できることを願いまして、質問を終わります。ありがとうございました。

○副議長（藏根　武）　以上で本日の日程は終了しました。

明日９月27日は事務整理のため休会となっております。次回は、９月30日月曜日午前10時から会議を開きます。

本日は、これで散会します。

散　会（１４時２８分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

副　議　長　　藏　根　　武

仮　議　長　　下　門　　勝

１３番議員　　玉　城　政　哉

１４番議員　　池宮城　善　伸

第179回うるま市議会（定例会）会議録
（10日目）

◎　令和６年９月30日（月）　　（１０時００分　開議）

◎　出席議員（26名）

１番	真栄城　　隆　議員	14番	池宮城　善　伸　議員
２番	高　屋　　優　議員	15番	伊　礼　　正　議員
３番	糸　数　昌　宗　議員	16番	宮　城　一　寿　議員
４番	伊　盛　サチ子　議員	17番	仲　程　　孝　議員
５番	金　城　加奈栄　議員	18番	又　吉　法　尚　議員
６番	国　吉　　亮　議員	19番	下　門　　勝　議員
７番	伊　波　良　明　議員	20番	天　願　久　史　議員
８番	神　田　洋　一　議員	24番	國　場　正　剛　議員
９番	平　良　一　雄　議員	25番	大　城　　直　議員
10番	真　壁　朝　弘　議員	27番	佐久田　　悟　議員
11番	幸　喜　　勇　議員	28番	兼　本　光　治　議員
12番	玉　元　哉　世　議員	29番	藏　根　　武　議員
13番	玉　城　政　哉　議員	30番	伊　波　　洋　議員

◎　欠席議員（１名）

23番　比　嘉　直　人　議員

◎　欠員３名（21番、22番、26番）

◎　事務局出席者

議会事務局長	知　念　義　浩	調査広報係長	伊　禮　君　人
議　事　課　長	石　川　秀　吉	議事係主査	伊　藤　　靖
議　事　係　長	森　根　元　気	調査広報係 主　任　主　事	山　城　　太

◎　議事日程第10号

第１．会議録署名議員の指名
第２．認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について
第３．議案第76号　訴えの提起について（土地明渡請求事件）
第４．議案第77号　車両事故に係る和解をすることについて
第５．議案第80号　うるま市税条例の一部を改正する条例
第６．議案第81号　アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例
第７．認定第４号　令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
第８．認定第６号　令和５年度うるま市水道事業会計決算認定について
第９．認定第７号　令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定について
第10．議案第68号　令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
第11．議案第69号　令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
第12．議案第71号　令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）
第13．議案第78号　沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾について
第14．議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例
第15．議案第88号　訴えの提起について（建物明渡等請求事件）
第16．認定第３号　令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
第17．議案第79号　物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）
第18．議案第83号　うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第19．議案第84号　うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例
第20．認定第２号　令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
第21．認定第５号　令和５年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
第22．議案第75号　令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
第23．議案第85号　うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
第24．議案第86号　うるま市都市公園以外の公園に関する条例
第25．議案第87号　うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例
第26．議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例
第27．諮問第１号　人権擁護委員候補者の推薦について
第28．諮問第２号　人権擁護委員候補者の推薦について
第29．諮問第３号　人権擁護委員候補者の推薦について
第30．諮問第４号　人権擁護委員候補者の推薦について
第31．諮問第５号　人権擁護委員候補者の推薦について
第32．陳情第７号　うるま市印刷物入札制度改善に関する陳情
第33．陳情第31号　所得税法第56条の廃止を求める陳情
第34．請願第９号　生活道路の整備に関する請願
第35．陳情第29号　県産品の優先使用について（要請）
第36．陳情第30号　違法駐車対策に関する陳情

第37．発議第10号　所得税法第56条の廃止を求める意見書
第38．議員派遣の件
第39．閉会中の継続審査及び調査の申出について
第40．発言取り消しの件

◎　会議に付した事件
議事日程に同じ

○副議長（藏根　武）　これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、タブレットに格納してあります議事日程第10号のとおりです。

この際、諸般の報告を行います。令和６年９月25日付、監査委員から令和６年８月分の例月現金出納検査の結果について報告がありました。以上で諸般の報告を終わります。

日程第１．会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、伊礼正議員、宮城一寿議員を指名します。

日程第２．認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定についてから日程第６．議案第81号　アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例までの５件を一括して議題とします。総務委員長へ委員会審査の報告を求めます。伊波良明総務委員長。

○総務委員長（伊波　良明）　皆さん、おはようございます。これより総務委員会委員長報告を行います。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

総　務　委　員　会
委員長　伊波　良明

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
認定第１号	令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について	認　　定
議案第76号	訴えの提起について（土地明渡請求事件）	原案可決
議案第77号	車両事故に係る和解をすることについて	原案可決
議案第80号	うるま市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第81号	アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

続きまして、審査の経過と結果を御報告いたします。

認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について。初めに、会計課関連について、委員から「会計管理費、役務費505万1,528円の内容と令和４年度実績との比較について」質疑があり、当局から「役務費の手数料は収納に係る手数料となっており、令和４年度と比較すると増えている状況にある。理由としては、令和５年度から納税課、国民健康保険課、介護長寿課、保育こども園課、維持管理課の口座振替に係る手数料を会計課において一元化したことによる増額となっている」との答弁がありました。また、委員から「会計管理費、委託料2,296万2,368円の内容と令和４年度実績との比較について」質疑があり、当局から「当該委託料については、主に指定金融機関事務委託料が増額しており、決算額としては1,720万7,168円で、令和４年度と比べると約410万円の増となった。増えた理由としては、令和４年７月から沖縄銀行に指定金融機関の委託をしているが、令和４年度分に関しては７月から翌年３月までの９か月分の決算額となっており、令和５年度に関しては、令和５年４月から翌年３月までの12か月分となっているため、約３か月分が増額となっている」との答弁がありました。

次に、消防関連について、委員から「歳入、物品売払収入42万2,000円の実績について」質疑があり、当局から「収入の内訳としては、車両２台の売払収入となっており、金額として軽自動車の事務車両が１万5,000円、救助工作車が40万7,000円となっている」との答弁がありました。また、委員から「予防広報車１号・２号購入事業において、当該車両の活用状況について」質疑があり、当局から「当該車両は、平時、消防設備の検査や立入検査に使用されており、また、救急車の救急要請の初期対応のため出動したり、ドクターヘリの誘導に当たったりしている。先日の津波警報の際には、防災行政無線が聞き取りにくい地域において、広報活動を実施しており、多岐にわたり活用させていただいている」との答弁がありました。

次に、財務部関連について、委員から「歳入の市民税が令和４年度と比べ、増額した主な要因に

ついて」質疑があり、当局から「特別徴収のほうが令和４年度に比べ882人増加し、税としては、１億1,300万円増加していることが主な要因となっているが、普通徴収のほうが、令和４年度と比べ、54人増加したにもかかわらず、税としては9,800万円の減になっている状況がある」との答弁がありました。また、委員から「土地売払収入１億332万8,999円と物品売払収入の68万6,790円の概要について」質疑があり、当局から「土地売払収入については、令和５年度において８件の土地売買契約を締結しており、全体面積としては7,698.31平方メートル、10筆の市有地を売却した収入となっている。また、物品売払収入については、経年劣化した公用車12台を売却した収入となっている」との答弁がありました。

次に、防災広報対策部関連について、委員から「衛星通信網整備事業361万9,000円について、購入台数と配備場所について」質疑があり、当局から「購入台数は衛星携帯電話６台となっており、配備場所は本庁舎と、離島・島しょ地域である津堅・比嘉・平安座・伊計・宮城の自治会へ配備している」との答弁がありました。また、委員から「災害対策用備蓄品整備事業905万6,356円の実績について」質疑があり、当局から「当該事業は、災害対策用備蓄品の入替えを行うもので、令和５年度の購入実績が７年保存のレトルト食品１万2,000食、また、７年保存の飲料水１万2,000本、そのほか備蓄用ミルクや大人・乳児用オムツなど、生活用品等の購入を行っている」との答弁がありました。

次に、企画部関連について、委員から「勝連城跡公園整備事業における公有財産購入費3,297万5,146円の実績と現在の進捗状況について」質疑があり、当局から「当該事業の令和５年度の実績として、公有財産購入費については、用地９件分の購入費用に充てており、用地だけの進捗率でいうと、対象の200筆中158筆の契約を行い、金額による進捗率は87.7％となっている。今後、令和６年度から令和７年度にかけて残りの土地を購入していきたいと考えている」との答弁がありました。また、委員から「火葬施設老朽化対策事業の役務費76万8,900円及び委託料2,652万9,740円の実績について」質疑があり、当局から「役務費の内訳として、広告料54万3,400円は、都市計画変更案の公告縦覧にかかる新聞広告の費用となっている。次に、手数料22万5,500円については、令和４年度に取得する用地の土地評価を行ったが、期間が経過しているための時点修正にかかる手数料と、令和４年度に行った既存の火葬場の土地評価において、その評価を確認するための不動産鑑定を行った手数料となっている。次に、委託料のうち工事施工を伴う委託料2,150万8,300円は、火葬場用地の測量業務、分筆業務、物件調査業務と土質調査業務を行っている。その他の委託料502万1,440円は、市が用地を取得したときに残地として残る分があり、その残地補償するための土地評価が１件と、火葬場施設整備に係るＤＢ事業者選定アドバイザリー業務となっている」との答弁がありました。

次に、総務部関連について、委員から「社会保障・税番号制度システム整備等事業（基幹系システム）439万9,000円の概要について」質疑があり、当局から「まず、システム委託料46万2,000円に関しては、市と国のマイナンバーを統括している中間サーバーのシステムに関する保守委託料となっている。次に、交付金393万7,000円については、マイナンバーを所管している国が管理している中間サーバーに係る負担金を支払っているものになる」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、決算内容に異議があり、委員一人から反対討論が行われ、その後、挙手による採決に付したところ、賛成多数で本案は、認定すべきものと決しております。なお、他の常任委員会に分割付託されました決算につきましても、認定したとの報告を各常任委員長から受けております。

次に、議案第76号　訴えの提起について（土地明渡請求事件）について、委員から「今回、訴訟を起こしている土地については、明け渡された場合、何かしらの活用計画はあるのか」との質疑が

あり、当局から「現段階では、活用等の計画はない」との答弁がありました。また、委員から「公有財産検討委員会においても協議されているか」との質疑があり、当局から「当該委員会で審議した結果、今回の訴えの提起となっている」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

次に、議案第77号　車両事故に係る和解をすることについて、委員から「損害額の内訳、保険割合について」質疑があり、当局から「損害は、ストレッチャー架台の破損１台で、金額にして458万5,900円となっており、また、保険負担割合は10対ゼロで、全額、相手方の負担となっている」との説明がありました。また、委員から「事故原因の理由は把握しているか。また、相手方のけがの状況は」との質疑があり、当局から「事故の原因についての詳細は確認が取れていないが、停車していた救急車に関しては、赤色灯とハザードランプを点灯しており、視認性は問題なかったものと考えている。また、相手方のけがについては、大きな外傷は見当たらず、本人は、腰の痛みと左足の擦過傷の痛みを訴えていた。事故後、近隣の病院へ搬送させていただき、その日のうちに帰宅したとの確認が取れている」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

次に、議案第80号　うるま市税条例の一部を改正する条例及び議案第81号　アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例につきましては、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま総務委員長の報告が終わりました。

その中で、認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定については、所管の常任委員会への分割付託となっております。

これより認定第１号について、各常任委員長へ委員会審査の報告を求めます。初めに、建設委員長へ委員会審査の報告を求めます。真栄城隆建設委員長。

○建設委員長（真栄城　隆）　皆さん、おはようございます。それでは、これより建設委員会委員長報告を行います。

認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定についてのうち、建設委員会へ分割付託されました関係分について、審査の経過と結果を御報告いたします。

初めに、水道部関連について、委員から「歳出４款１項８目生活排水対策事業について、合併処理浄化槽設置補助金との説明だが、令和５年度は何件の申請があったのか」との質疑があり、当局から「令和５年度は、30基の申請があった」との答弁がありました。また、委員から「歳出６款１項５目農業集落排水事業特別会計繰出金について、詳しい説明を」との質疑があり、当局から「繰出金1,403万7,000円は、令和５年度農業集落排水事業特別会計への繰出金であり、年間約100万円の使用料だけでは維持管理費等を賄えないことから、その不足分を補うための繰出金である」との答弁がありました。また、歳出８款４項４目下水道事業会計負担金・補助金事業に関連して、委員から「一般会計から下水道事業会計への不足分に対する繰出金であるが、今後の下水道使用料改定の検討について」質疑があり、当局から「令和４年度に料金改定があり、汚水処理費用に対し下水道使用料でどれだけ賄っているのかを示す経費回収率が、改定前は約60％だったのが、改定後は約70％に増加している。中長期的に見て段階的な料金改定が必要であり、次回は令和８年度改定の検討を予定している」との答弁がありました。

次に、都市建設部関連について、委員から「歳入15款１項８目４節法定外公共物使用料について説明を」との質疑があり、当局から「平安座西公園のそばに、市が管理する用地があり、沖電工が現在資材置き場として使用している」との答弁がありました。また、委員から「歳入17款２項１目

１節交通路線維持費補助金について、具体的にどの路線なのか」との質疑があり、当局から「沖縄バスの48番石川読谷線と平安座総合開発の路線が対象になっている」との答弁がありました。また、委員から「歳入18款２項１目１節廃止済行政財産の売払収入について、内容の説明を」との質疑があり、当局から「里道の廃止が16件あり、ほぼ隣接の地権者から土地を一帯的に使用したい旨の申出により売り払っている」との答弁がありました。また、委員から「歳入22款４項７目１節節電キャンペーン奨励金について、内容の説明を」との質疑があり、当局から「令和５年１月１日から３月31日までの間に実施された沖縄電力の節電キャンペーンに参加した。前年度同月の電力使用量から３％以上削減を達成した場合に奨励金が出て、小・中学校含む市内対象施設52施設のうち28施設が達成したことによる歳入である」との答弁がありました。また、委員から「歳出２款１項25目島しょ地域タクシー配車支援事業の支援実績について」質疑があり、当局から「令和５年４月から令和６年３月にかけての月平均で、平安座島が64回、宮城島が15回、伊計島が13回、浜比嘉島が26回となっている」との答弁がありました。また、委員から「歳出６款３項１目水産業施設維持管理事業費について、場所はどこになるのか」との質疑があり、当局から「市が管理しているのは勝連南風原のうみんちゅ広場、勝連比嘉にあるシルミチュー公園の２か所である」との答弁がありました。また、委員から「歳出８款２項２目道路植栽管理事業について詳しい説明を」との質疑があり、当局から「植栽管理してもらっているボランティア団体に支給している。６団体あり、山城自治会、具志川自治会、平良川自治会、ココガーデン通り、前原ソフトクラブ、グリーンガーデンクラブである」との答弁がありました。また、委員から「歳出８款４項３目兼箇段高江洲線道路改築事業について、進捗状況の説明を」との質疑があり、当局から「令和５年度決算において事業費ベースで、73.2%。完成まではあと３年以上を見込んでいる」との答弁がありました。また、委員から「歳出８款４項６目既存公園公民連携整備事業について詳細な説明を」との質疑があり、当局から「道路と公園の維持管理を一括して民間委託することが可能か検証を行う事業である。今年度からは道路・公園包括管理導入事業と名称を変えて実施している」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本委員会に分割付託されました関係分につきましては、認定すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　次に、教育福祉委員長へ委員会審査の報告を求めます。幸喜勇教育福祉委員長。

○教育福祉委員長（幸喜　勇）　皆さん、おはようございます。教育福祉委員会委員長報告を行います。

認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定についてのうち、教育福祉委員会へ分割付託されました関係分について、審査の経過と結果を御報告いたします。

初めに、社会教育部関連について、委員から「教育施設課プレハブ設置事業の内容について」質疑があり、当局から「教育施設課が保管倉庫として使用していた旧宮城中学校校舎の解体に伴い、城前小学校校舎改築時に使用していた仮設校舎のプレハブを一部買い取り、保管倉庫として再設置するための工事費用と、仮設校舎で使用していた空調機器についても備品として買い取りし、兼原小学校で再利用している」との答弁がありました。委員から「教育施設ＬＥＤ化事業について、照明器具等に不具合が発生した場合の対応は」との質疑があり、当局から「令和５年度にモデル事業として田場小学校、中原小学校、伊波小学校の３校を他の学校に先行して校舎内の電球をＬＥＤに取替えを行った。10年間のリース契約となっており、照明器具等に不具合が発生した場合は、リース会社の負担で対応する」との答弁がありました。委員から「うるま市・盛岡市中学生交流事業について」質疑があり、当局から「県立与勝緑が丘中学校を含めた市内に在住する中学２年生を対象に募集を行い、応募のあった11人の生徒が交流事業に

参加した。７月には盛岡市の中学生を受け入れ、うるま市の中学生が本市や沖縄県の歴史・文化の紹介、マリンスポーツなどを通して交流を行った。また、12月には本市中学生が盛岡市を訪れ、盛岡市や岩手県の歴史・文化を学び、スキー体験や、わんこそばを食するなど、両市の歴史・文化や自然を通して、中学生同士が交流を深めることができた」との答弁がありました。

次に、学校教育部関連について、委員から「学校教育課管理費、補助金の県指定研究校補助金について」質疑があり、当局から「赤道小学校と中原小学校の２校が研究校として県から指定を受けた。赤道小学校については、ＳＤＧｓをテーマとした教育活動の推進について、中原小学校においては、学校組織マネジメントを中心とした学びの在り方についてをテーマに研究を行った」との答弁がありました。また、委員から「説明資料では、赤道小学校が15万円、中原小学校が25万円と補助額に違いがあるが、その理由は」との質疑があり、当局から「研究テーマによって県の所管課が異なるため、係る予算にも違いがある」との答弁がありました。委員から「教育ＩＣＴ支援員派遣事業について」質疑があり、当局から「支援員４人で市内小・中学校26校を巡回訪問して先生方をサポートする事業で、ＩＣＴ機器の操作支援や校内における研修会の実施、端末操作に対する相談対応など、授業等においてＩＣＴ機器の効果的な活用を図るための様々な支援を行っている」との答弁がありました。委員から「学校給食施設維持管理費、修繕費の内容について」質疑があり、当局から「５か所の給食センターを稼働する中で生じた故障などに対応するための予算で、学校給食を提供するために必要なボイラーや冷凍・冷蔵庫等、機器の部品交換や取替えなどを行った」との答弁がありました。

次に、こども未来部関連について、委員から「親子通園事業、親子通園教室の参加実績について」質疑があり、当局から「令和４年度は延べ226組の親子の参加があったが、令和５年度については、延べ441組の参加があり大幅に増加している」との答弁がありました。委員から「放課後児童クラブ環境改善事業の補助金について」質疑があり、当局から「本事業は、施設の老朽化に伴う改修や修繕に要する経費の一部を補助する事業で、沖縄県から９割の補助を受けて実施している。１学童当たり200万円を上限として、毎年予算を計上して事業を行っており、補助金の活用については、１学童１回限りとなっている。事業申請のあった学童クラブに対して審査を行った上で補助を行っており、令和５年度は１件の学童クラブに対して補助を行った」との答弁がありました。委員から「若年妊産婦の居場所づくり事業について、事業を実施した結果としてどのようなことが見えてきたと考えるか」との質疑があり、当局から「居場所を利用することによって、安心して妊娠や出産、育児を迎えることができている。また、出産後には就労支援や復学支援といったプログラムもあり、利用者がそれぞれ目標を設定することでその支援を行い、就労につながったケースもあることから、結果として将来を見据えた先の計画を立て、行動している若年妊産婦が増えてきている」との答弁がありました。

次に、福祉部関連について、委員から「重層的支援体制整備事業への移行準備事業、委託料の内容と実績について」質疑があり、当局から「地域ふれあい相談支援業務として、うるま市社会福祉協議会に委託している。内容としては、地域コミュニティソーシャルワーカーを５人配置し、地域からの相談対応や、これらを解決するために、今後、地域でどのような対応ができるかなどを話し合い、アドバイスを行っており、令和５年度の相談実績については、延べ1,694件となっている」との答弁がありました。委員から「障害者自立支援給付事業、社会福祉扶助費について、令和４年度決算と比べて約３億6,000万円程度増加しているが、その要因をどのように捉えているのか」との質疑があり、当局から「要因としては、年々、障害者の数が増加傾向にあり給付対象者が増えたことや、これまで利用できなかったサービスを受けることができるようになるなど、制度の認知が

深まったことも増えた要因の一つだと考えている。また、サービスの種類や支援を行う事業所の数が増えたことで、行き届くべきサービスが支援を必要とする方にしっかり行き届いていると感じている」との答弁がありました。委員から「生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）の実績について」質疑があり、当局から「生活保護世帯などの中学生が高校進学のため、学習塾へ通う際の支援を行う内容で、市内の学習塾に委託して事業を実施している。事業実施に当たって、広報紙等を通して４月から５月頃にかけて周知を図り、課税状況が確定する６月から募集を行ったところ、令和５年度においては46人から申請があり支援を行った。利用者の希望を聞いた上で、塾と相談、調整を行い、市内各地域にある12の塾と契約して事業を実施した」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、決算内容に異議があり、委員一人から反対討論が行われ、その後、挙手による採決に付したところ、賛成多数で本委員会に分割付託されました関係分につきましては、認定すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　次に、市民経済委員長へ委員会審査の報告を求めます。兼本光治市民経済委員長。

○市民経済委員長（兼本　光治）　おはようございます。市民経済委員会委員長報告を行います。

認定第１号　令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定についてのうち、市民経済委員会に分割付託されました関係分について、審査の経過と結果を御報告申し上げます。

初めに、市民生活部関連について、委員から「津堅歯科診療事業について」質疑があり、当局から「津堅島は無歯科医地区で、歯科医に委託して津堅島に行ってもらい、そこで診療を行う事業となっている。現在、月に２回、津堅幼稚園を利用し運営している。令和５年度の受診者数は、延べ162人であった」との答弁がありました。また、委員から「墓地埋葬取扱費用繰替金について」質疑があり、当局から「墓地埋葬法に関する法律で、死体の埋葬・火葬を行う者がいないときは、死亡地の市町村長がこれを行わなければいけないと規定されており、葬儀を行う身内がないものや身内が拒否したもの等については、市が代わって火葬を行うこととなっている。費用については、沖縄県の負担であるが、いったん市で立て替えるための繰替金であり、令和５年度においては９件あった」との答弁がありました。また、委員から「コンビニ交付手数料のキャンペーン実施の進捗について」質疑があり、当局から「他の市町村は、コロナの経済対策の交付金でやっており、本市も物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が残るかというところであったが、今は厳しいということで、ほかのメニューがないか今探しているところである」との答弁がありました。

次に、経済産業部関連について、委員から「就労支援事業の事業内容について」質疑があり、当局から「街角コンタクトセンター就活サポートであえ～るの設置運営に係る事業になっており、令和５年度までは、じんぶん館のほうで運営していた。そこでキャリアカウンセリングや、スキルアップの講座などを行う事業である」との答弁がありました。また、委員から「ふるさと応援寄附金の件数や傾向について」質疑があり、当局から「令和５年度は、寄附金額３億340万8,700円、件数が１万5,655件。令和４年度は、寄附金額２億5,392万3,000円、件数が１万4,166件。令和３年度は、寄附金額２億2,906万6,000円、件数が１万787件。年々徐々に増えてきている」との答弁がありました。

次に、農林水産部関連について、委員から「耕作放棄地再生事業の効果について」質疑があり、当局から「令和５年度は、耕作放棄地の再生事業が７件、面積7,149平米の荒れた農地を畑に再生した。対象は市内全域であるが、令和５年度は、具志川地区の宮里、田場、前原、赤野や石川地区の山城、東恩納で実施した」との答弁がありました。また、委員から「津堅島農業活性化事業の実績について」質疑があり、当局から「主に委託料である。現在、津堅島のほうで水不足的なものがあり、県がかんがい事業を行っているが、まだ工

事が完成していないため、その間の対応として、散水作業をメインに行った」との答弁がありました。

次に、農業委員会関連について、委員から「農業委員報酬費について」質疑があり、当局から「農業委員14人で推進委員16人、合計30人である。会長職務が５万9,000円、副会長が５万3,000円、一般の農業委員が４万6,000円、最適化推進委員は１人当たり４万円となっている」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本委員会に分割付託されました関係分につきましては、認定すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま各委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告がありません。質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。初めに、認定第１号令和５年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

採決は、電子表決システムにより行います。

本案は、認定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は認定されました。

次に、議案第76号　訴えの提起について（土地明渡請求事件）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第77号　車両事故に係る和解をすることについてを採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第80号　うるま市税条例の一部を改正する条例を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第81号　アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例の一部を改正する条例を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第７．認定第４号　令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてから日程第15．議案第88号　訴えの提起について（建物明渡等請求事件）までの９件を一括して議題とします。建設委員長へ委員会審査の報告を求めます。真栄城隆建設委員長。

○建設委員長（真栄城　隆）

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

建　設　委　員　会
委員長　真栄城　隆

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
認定第４号	令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認　　定
認定第６号	令和５年度うるま市水道事業会計決算認定について	認　　定
認定第７号	令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定について	認　　定
議案第68号	令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第69号	令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第71号	令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）	原案可決
議案第78号	沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾について	原案可決
議案第82号	うるま市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第88号	訴えの提起について（建物明渡等請求事件）	原案可決

引き続き、審査の経過と結果を御報告いたします。

初めに、認定第４号　令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について、委員から「歳入のうち、県補助金減額の理由について」質疑があり、当局から「津堅島にある生活排水処理施設について、設備老朽化に伴う更新事業があり、元々令和４年度に実施設計をして、令和５年度に工事を行う予定であった。しかし令和４年度途中で基本設計が必要と判断し、計画を変更して令和５年度に実施設計を行った。そのため、令和５年度に計上していた金額を本年度に移行していることに伴う補助金減額である。本年度に工事を行う」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は認定すべきものと決しております。

続きまして、認定第６号　令和５年度うるま市水道事業会計決算認定について、委員から「令和５年度水道事業会計について、利益が前年度より増になった要因は」との質疑があり、当局から「老朽給水管更新工事として計上していた分が、入札不調等により執行残が発生し、結果として支出が減ったため」との答弁がありました。また、委員から「前年度と比べて有収率はどう推移したのか」との質疑があり、当局から「令和４年度は93.03％、令和５年度は92.77％であり、前年度より0.26％落ちている。要因としては、漏水量が増えたため無効水量が増加したことによる」との答弁がありました。関連して委員から「入札不調等による工事未実施と有収率低下の関連性は」との質疑があり、当局から「漏水量の増加の原因は、年度前半に雨が続き、漏水調査が行えなかった日数が例年より多かったためである。老朽給水管更新工事は漏水防止のための工事であり、現在漏水している箇所を修繕するものではないため、工事が遅れたとしても短期的には漏水量が増えるとは考えていない」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は認定すべきものと決しております。

続きまして、認定第７号　令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定について、委員から「資本的収支における不足額と補填について説明を」との質疑があり、当局から「資本的収支は基本的に支出が多く収入が不足する構造になっている。そのため損益勘定留保資金や減債積立金などで補填して予算を組んでいる」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は認定すべきものと決しております。

続きまして、議案第68号　令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、委員から「減債積立金について詳細な説明を」との質疑があり、当局から「減債積立金とは、企業債の元金償還に充てるための積立金である。自由度は一般会計における財政調整基金よりも低く、企業債の元金償還のためにしか使用できない」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

続きまして、議案第69号　令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

続きまして、議案第71号　令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）についても、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

続きまして、議案第78号　沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾について、委員から「沖縄市による路線認定を行った場合、当市に何らかの不利益はあるのか」との質疑があり、当局から「特に不利益は存在しない」との答弁がありました。また、委員から「当該道路の維持管理はどこが行うのか」との質疑があり、当局から「沖縄市による路線認定が行われた場合、沖縄市の管理となる」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

続きまして、議案第82号　うるま市都市公園条

例の一部を改正する条例について、委員から「今回、都市公園以外の公園についての準用に関する条項を削除し、新たにうるま市都市公園以外の公園に関する条例を新設しているが、都市公園以外の公園について、より詳細な説明を」との質疑があり、当局から「これまで都市公園法に基づく供用開始の告示行為ができない公園を、その他公園と位置づけ、都市公園に準じ維持管理を行っていた。その他公園とは例えば、台帳が未整備であるなどの理由により供用開始の告示ができない公園である」との答弁がありました。また、委員から「建蔽率の改定について、より詳細な説明を」との質疑があり、当局から「これまで、都市公園における建蔽率はトイレやあずまやなどを含めて上限２％であった。建蔽率の制限により、公園に公民館などの集会所を設置しようとした場合、設置が厳しい状況であった。そこで今回、地縁団体が条件に該当する集会所を設置する場合に限り、上限４％に緩和する改定を行っている」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

続きまして、議案第88号　訴えの提起について（建物明渡等請求事件）について、委員から「市営住宅滞納金について、入居した当初から継続して滞納していたのか」との質疑があり、当局から「入居して数か月後から滞納が発生していたが、請求後支払いがあった。その後も断続的に滞納が発生し、今は連絡がつきにくい状態になっており、支払いの見込みがない」との答弁がありました。また、委員から「本人が払えなくなった場合には、保証人に連絡が行くのか」との質疑があり、当局から「本人による支払いが困難であれば、保証人に状況をお伝えして納付書を送付することもある。今回のケースについては保証人も応じていない」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま建設委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告がありません。質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例に対して、討論の申出がありますので、初めに、原案に反対の討論を許します。伊盛サチ子議員。

○４番　伊盛　サチ子議員　皆さん、おはようございます。それでは議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例に反対する立場で討論を行います。

本議案は、市の設置されている都市公園にＰＦＩ事業関連を導入する旨の条例の一部改正でもあります。公園面積の２％建蔽率の建物しか設置できないという原則は、緑地面積やオープンスペースの確保の観点から定められております。うるま市の一人当たりの公園面積は8.57平方メートル。県平均が11.0平方メートルです。緩和により建蔽率２％を４％に引き上げることになると、市民が利用できる面積も減少することになります。公園面積を増やすことを優先すべきであります。また、質疑により、ＰＦＩ事業では民間の資金、経営能力、技術的能力を活用する事業とされ、公募により設計、建設、管理と使用料を含め、選定事業者が提案することができるということなどが追加をされてまいりました。プロセスに基づいてうるま市ＰＦＩ事業者選定等委員会において、優先交渉権者を決定するとされております。公園内に民間施設を設置する際の事業者の公募、選定、施設の面積、公園の管理をどこまで任せるか。また、ＰＦＩ事業の公園の維持管理期間なども含め、市と事業者の協定に委ねられることになり、選定の過程や決定に至るまでには、市民参加の機会が与えられません。様々な機能と役割を持つ公園づくりは、市民の憩いの場と同時に地域づくりに大きな関わりを担ってまいります。ＰＦＩ事業導入を加えた条例の一部改正は公共サービスである公園の在り方を大きく変えることにつながります。民間事業者の収益性を求める公園づくりではなく、市民の暮らしの利益を重視した公園行政を推進すべ

きであります。よって、この議案第82号については反対の討論といたします。議員各位の御賛同をよろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　次に、原案に賛成の討論を許します。池宮城善伸議員。

○１４番　池宮城　善伸議員　議員の皆さん、こんにちは。議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例についての賛成の立場から討論を行います。

うるま市においては、96の公園があります。多くの公園があるにもかかわらず利用者数の少ない公園が多く、管理が難しい状況にあるのではないでしょうか。今回の条例改正は、公園の新たな活用を見出すものであり、今後、都市公園の魅力向上につながると思います。また、建蔽率の緩和により、自治会の集会所を設置することにより、公園と防災機能が一体となった防災時の拠点になると考えます。多くの自治体が今や財政難、公園管理も満足にできない自治体も増えているのが現状です。都市公園の一部を民間活用することによって、維持管理費の確保もでき、多様なニーズへの対応もできることによって、今まで以上に公園が生き生きとし、利用者も増え、人とつながる場になると私は考えます。以上の理由から私の賛成討論といたします。各議員の皆様、御賛同をよろしくお願いします。

○副議長（藏根　武）　次の発言者、下門勝議員。

○１９番　下門　勝議員　皆さん、おはようございます。議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例について賛成の立場から討論いたします。

結論から申し上げます。今回提案されている都市公園条例の一部改正には、多くのメリットがあり、地域コミュニティーの発展や、防災対策の強化に大いに貢献するものと考えております。

まず、公園の敷地面積に対する公園施設における建築面積の割合、いわゆる建蔽率の現行２％という制限についてですが、これは都市公園法第４条第１項の規定に基づき、全国的にも多くの自治体で参酌基準として用いられている数値であります。しかしながら、現代の地域ニーズや自治体のコミュニティ活動拠点としての都市公園の活用事例が増えている現状を踏まえると、現行の２％では地域の需要に対応しきれない部分があります。特に、新規で整備されている街区公園では、自治会に隣接する形で整備が進められており、地域社会との密接な連携が見られます。また、複数の自治会からの要望として、都市公園内に自治会施設として活用できる集会所を設置できないかという相談があったこともあり、地域のコミュニティ活動拠点としての公園利用が強く望まれていることがうかがえます。これを踏まえて、今回提案されている建蔽率上限４％までの緩和という案は、公園の広場面積を確保しつつ、公園機能を低下させない範囲で、地域のニーズに応えようとするものであり、非常に合理的であるといえます。この改正により期待される効果として、地域コミュニティーの活性化が挙げられます。公園内に、集会所が設置されることで、日常的なコミュニティ活動が活発化し、地域住民同士の交流や連携が促進されます。また、災害時には、この集会所を拠点として活用でき、避難所や災害対策の一助となることも期待できます。さらに、公園の里親制度に基づき、自治会が主体的に公園の管理を行うことで、管理の質の向上にもつながり、公園の利用価値が高まります。

次に、ＰＦＩについては、ＰＦＩ事業の可能性を広げ、設計・建設・管理運営、さらに公園使用料を含めた広範囲にわたり、民間のノウハウを生かした提案を取り入れることを目的としております。具体的には、ＰＦＩ事業やパークＰＦＩ事業により、公園を設置・管理・運営する際、民間の柔軟で専門的な知識と技術を導入できるようにするため、公園使用料の設定を事業者の提案に基づく形で、進められるように追加するものであります。この公園使用料についてですけれども、公園使用料とは、ＰＦＩ事業者が市へ支払う公園使用料であることを申し添えておきます。また、公園内に設置されている自動販売機については、公園施設の一部として取扱い、公園施設使用料を徴収

するために、別表第２に自動販売機に係る使用料を新たに追加することとしています。この提案により、公園の運営管理がより効率的かつ、持続的に行われることが期待されます。これらの点を総合的に考慮すると、今回の条例改正案は、地域のニーズに応じた適切なものであり、都市公園の機能を損なうことなく、むしろ地域社会における重要な役割を強化するものであります。よって、この提案に賛成するものであります。以上、これをもって、私の賛成討論といたします。議員諸賢の御賛同をお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　以上で討論を終結します。

これより採決に入ります。初めに、認定第４号令和５年度うるま市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

採決は、電子表決システムにより行います。

本案は、認定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は認定されました。

次に、認定第６号　令和５年度うるま市水道事業会計決算認定についてを採決します。

採決は、電子表決システムにより行います。

本案は、認定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成全員）

賛成全員です。よって、本案は認定されました。

次に、認定第７号　令和５年度うるま市下水道事業会計決算認定についてを採決します。

採決は、電子表決システムにより行います。

本案は、認定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は認定されました。

次に、議案第68号　令和５年度うるま市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてを採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。

本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第69号　令和５年度うるま市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてを採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。

本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第71号　令和６年度うるま市水道事業会計補正予算（第２号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。

本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第78号　沖縄市による区域外道路の路線認定に伴う承諾についてを採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。

本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第82号　うるま市都市公園条例の一部を改正する条例を採決します。

採決は、電子表決システムにより行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は可決されました。

次に、議案第88号　訴えの提起について（建物明渡等請求事件）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。

本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

暫時休憩します。

休　憩（１１時１５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時２８分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

日程第16．認定第３号　令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてから日程第19．議案第84号　うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例までの４件を一括して議題とします。教育福祉委員長へ委員会審査の報告を求めます。幸喜勇教育福祉委員長。

○教育福祉委員長（幸喜　勇）　皆さん、こんにちは。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

教育福祉委員会
委員長　幸喜　勇

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
認定第３号	令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認　　定

事件の番号	件　　名	審査結果
議案第79号	物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）	原案可決
議案第83号	うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第84号	うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例	原案可決

続きまして、審査の経過と結果について御報告いたします。

認定第３号　令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について、委員から「令和４年度決算と比べ包括的支援事業費が500万円程度増額となっているがその理由は」との質疑があり、当局から「物価高騰に伴う地域包括支援センター委託料の増額が主な理由である」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、採決の際に委員一人の退席がありましたが、本案は認定すべきものと決しております。

次に、議案第79号　物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）について、当局から「今回は、設置から８年が経過し老朽化している基幹スイッチを更新する内容となっている。本機器については、教育系ネットワークを構築している機器の中で上位にあり、そこに不具合が発生すると校内全てのネットワークが使用できなくなるため、計画的に機器の更新を行いたいと考えている」との説明がありました。説明を受け、委員から「整備する機器について、雷への対応は」との質疑があり、当局から「雷ガード付きのコンセントを使用するなど、これまで対策を講じながら運用を行っているが、過去に落雷により故障した事例もあることから、それに対応するため今回の機器更新に当たっては予備機１台も含んだ内容となっている」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、採決の際に委員一人の退席がありましたが、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

次に、議案第83号　うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

次に、議案第84号　うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例についても、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま教育福祉委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告がありません。質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。初めに、認定第３号令和５年度うるま市介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

採決は、電子表決システムにより行います。

本案は、認定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は認定されました。

休憩します。

休　憩（１１時３５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時３５分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次に、議案第79号　物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

休憩します。

休　憩（１１時３５分）

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

再　開（１１時３５分）

○副議長（藏根　武）　再開します。

次に、議案第83号　うるま市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第84号　うるま市児童福祉関連複合施設条例の一部を改正する条例を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第20．認定第２号　令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてから日程第26．議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例までの７件を一括して議題とします。市民経済委員長へ委員会審査の報告を求めます。兼本光治市民経済委員長。

○市民経済委員長（兼本　光治）　こんにちは。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

市民経済委員会
委員長　兼本　光治

委　員　会　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
認定第２号	令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認　　定
認定第５号	令和５年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認　　定
議案第75号	令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決
議案第85号	うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第86号	うるま市都市公園以外の公園に関する条例	原案可決
議案第87号	うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例	原案可決
議案第89号	うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決

引き続き、審査の経過と結果について御報告申し上げます。

まず、認定第２号　令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、本案は認定すべきものと決しております。

次に、認定第５号　令和５年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、本案は認定すべきものと決しております。

次に、議案第75号　令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）について、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

次に、議案第85号　うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

次に、議案第86号　うるま市都市公園以外の公園に関する条例について、委員から「都市公園以外の公園で農林水産部関連が管理するものについて」質疑があり、当局から「全部で15公園あり、そのうち農林水産整備課が管理する公園については６公園である。それ以外は、維持管理課やスポーツ課が管理している」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

次に、議案第87号　うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例について、慎重に審査した結果、特段問題とするところなく、

本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

次に、議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例について、委員から「この条例の中にある罰則規定について」質疑があり、当局から「これまでの条例では、保険証の返還の求めに応じない者に対して10万円以下の過料を科するとなっていた。今回、12月２日で新たな保険証は発行しないことが決まっているので、今後はこの返還自体を求めることができないので、そちらのほうから保険証の返還の求めに応じない者に対する罰則規定を削除したいということになる」との答弁がありました。

慎重に審査した結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま市民経済委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。ただいまのところ質疑の通告がありません。質疑なしと認め、質疑を終結します。

これより討論に入ります。議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例に対して、討論の申出がありますので、初めに、原案に反対の討論を許します。金城加奈栄議員。

○５番　金城　加奈栄議員　皆さん、こんにちは。議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例について反対討論を行います。

提案理由について、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行等に伴い条例改正とあります。令和６年12月２日から、これまで利用してきた被保険者証が廃止される動きでありますが、マイナンバー取得、利用、マイナ保険証への移行・利用は強制ではなく、個々の任意であります。マイナ保険証を持たない方については、保険証の代わりに、資格確認書が交付されますが、意思表示ができない重度障害者等など、マイナンバーカードの申請の際、成年後見人を立てることができない場合の対応も不透明であります。全国保険医団体連合会が、今年５月以降に全国の７割の医療機関でマイナ保険証に関わるトラブルが起きていると調査結果を公表しました。調査には37都道府県の１万242医療機関が回答され、トラブルの内容は、漢字が読み取れず黒丸が出る、カードリーダーの接続・認識エラー、資格情報の無効などとなっています。一旦窓口で、患者負担10割を請求した事例も発生、受診せずに帰った事例もあったとのことです。７月のマイナ保険証利用実績は全国が11.13％に対し、沖縄県は4.75％と利用実績が少数といった現状です。医療現場と受診者の混乱が広がるのではないでしょうか。国民健康保険証は、これまでは何の問題もなく利用してきましたが、市民の生命を守り、国民健康保険証の継続を求め、議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例について、反対討論といたします。以上、議員各位の御賛同をよろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　次に、原案に賛成の討論を許します。神田洋一議員。

○８番　神田　洋一議員　皆様、こんにちは。それでは、議案第89号に賛成の立場から討論を行います。

まず１点目、うるま市国民健康保険条例の一部改正の必要について。令和５年６月、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律が国会で成立したことを受け、本年12月２日から紙の被保険者証が廃止されることとなりました。被保険者証の廃止に伴い国民健康保険法に基づき、罰則規定を設けている当該条例の第９条から「被保険者証の返還を求められて、これに応じない場合」の文言を削る必要があり、このたびの改正に至っています。つまり、返還を求める被保険者証そのものがなくなります。そのため、当該条例第９条の一部を削るものであります。

２点目、被保険者証の廃止に伴う不安について。マイナ保険証の登録は強要するものではなく、あくまでも任意とされています。被保険者証の廃止後、マイナ保険証を保有してない方については、当分の間は申請せずとも資格確認書が自動的に交

付され、これまでどおり安心して保険診療を受けることができます。

３点目、マイナ保険証の安全性についてですが、マイナンバーカードを保険証として利用する上で安全性に不安を持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、カードのＩＣチップには保険証の情報や医療情報は入っていません。そして仮に紛失や盗難があった場合でも24時間365日体制で利用の一時停止ができます。また、利用に際しては、暗証番号が必要なため悪用されることもありません。

４点目に、メリットについて。マイナ保険証で受診すると初診料、再診料ともにお安くなります。また、情報提供の同意を行うと、お薬や診療に関する情報、過去の診断結果を担当する医師が確認でき、質のよい医療を受けることが可能となります。そして自分自身でも、スマートフォンなどでそれらの情報をいつでも閲覧できるようになります。さらには、医療費が高額になる場合でも、限度額適用認定証を申請する必要も、窓口に持参することも不要となり、市民の負担は軽減されます。うるま市のマイナンバーカードの申請率は78.1％に上っているものの、令和３年10月から本格運用が開始されているマイナ保険証は、残念なことに登録率は国保加入者の37.1％と低い水準であり、その利用率に至っては5.3％という現状であります。しかし市内医療機関129施設のうち94.6％が資格の確認ができるシステムを導入済みであります。マイナ保険証の利便性は、著しく向上していることから、登録者数及び利用率は今後さらに増加していくことが予想されます。議員の皆様、この流れを止めてはいけません。今回の条例の一部改正を支持し、市民の健康と福祉を向上させるため、議員諸賢の御賛同をお願い申し上げ、私の賛成討論とします。

○副議長（藏根　武）　以上で討論を終結します。

これより採決に入ります。初めに、認定第２号令和５年度うるま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

採決は、電子表決システムにより行います。

本案は、認定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成全員）

賛成全員です。よって、本案は認定されました。

次に、認定第５号　令和５年度うるま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてを採決します。

採決は、電子表決システムにより行います。

本案は、認定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成全員）

賛成全員です。よって、本案は認定されました。

次に、議案第75号　令和６年度うるま市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第85号　うるま市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第86号　うるま市都市公園以外の公

園に関する条例を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議あり」と言う者あり）

異議がありますので、採決は電子表決システムにより行います。

本案は、委員長報告のとおり決定することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は可決されました。

次に、議案第87号　うるま市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例を廃止する条例を採決します。

本案に対する委員長の報告は、原案可決です。本案は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

次に、議案第89号　うるま市国民健康保険条例の一部を改正する条例を採決します。

採決は、電子表決システムにより行います。

本案は、原案のとおり決することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は可決されました。

日程第27．諮問第１号　人権擁護委員候補者の推薦についてから日程第31．諮問第５号　人権擁護委員候補者の推薦についてまでの５件を一括して議題とします。

これより討論に入ります。ただいまのところ、討論の申出はありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。初めに、諮問第１号人権擁護委員候補者の推薦についてを採決します。

本案を適任として答申することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は適任として答申することに決定しました。

次に、諮問第２号　人権擁護委員候補者の推薦についてを採決します。

本案を適任として答申することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は適任として答申することに決定しました。

次に、諮問第３号　人権擁護委員候補者の推薦についてを採決します。

本案を適任として答申することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は適任として答申することに決定しました。

次に、諮問第４号　人権擁護委員候補者の推薦についてを採決します。

本案を適任として答申することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本案は適任として答申することに決定しました。

次に、諮問第５号　人権擁護委員候補者の推薦についてを採決します。

本案を適任として答申することに御異議ありませんか。

（「異議あり」と言う者あり）

異議がありますので、採決は電子表決システム

により行います。

本案を適任として答申することに賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成多数）

賛成多数です。よって、本案は適任として答申することに決定しました。

日程第32．陳情第７号　うるま市印刷物入札制度改善に関する陳情、日程第33．陳情第31号　所得税法第56条の廃止を求める陳情の２件を一括して議題とします。総務委員長へ委員会審査の報告を求めます。伊波良明総務委員長。

○総務委員長（伊波　良明）　では、これより総務委員会委員長報告を行います。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

総　務　委　員　会
委員長　伊波　良明

陳　情　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第143条第１項の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
陳情第７号	うるま市印刷物入札制度改善に関する陳情	採　　択
陳情第31号	所得税法第56条の廃止を求める陳情	採　　択

続きまして、審査の経過と結果を御報告いたします。

初めに、陳情第７号　うるま市印刷物入札制度改善に関する陳情について。本陳情は、うるま市の入札制度について、物品売買の制度から製造請負制度へ資格変更すること。見積り基準価格を制定し、最低制限価格を設けること。入札参加資格の要件の一つとして、県内に本社を置く企業とすることを要望し、当該要望事項を考慮した上で、入札制度の改善を求めるものであります。当該陳情は、令和５年２月第167回定例会から継続審査となっており、慎重に審査を進めてまいりました。

なお、審査を進めるに当たり、陳情者を参考人として招致し、陳情の内容についても説明を受け、また、審査の参考とするため執行部からの意見も聴取しております。その執行部からの意見聴取の中で、委員から「当該陳情が求める要望事項について、市の見解は」との質問があり、当局から「見解として、まず印刷業務発注は案件ごとに事業担当課の判断となる。本市では印刷製本契約の多くが物品売買契約に類似した契約で執行されている状況である。印刷製本の業務内容にかかわらず、全てを物品売買から製造請負へ変更することは現時点で厳しいと考えている。

次に、入札における予定価格は、その業務内容等の仕様書に基づき、複数の業者から見積書を徴取し、比較、精査した上で設定されており、仕様における実態価格を表しているため、見積り基準価格の制定及び最低制限価格の設定は必要ないと考えている。

次に、入札参加の資格要件に当たっては、うるま市中小企業振興基本条例に基づき、市内企業の育成強化と雇用の拡大、促進を図るため、市内事業者の受注機会の増大に努めているところであり、市内事業者、次に県内に本社を置く事業者を優先的に指名している状況である」との答弁がありました。また、委員から「今後、陳情者が求める要望について、検討していく余地はあるか」との質問があり、当局から「陳情者の考えは理解できるため、改めて本市の契約実態を踏まえた上で、県内他自治体の動向を注視し情報収集しながら、足並みをそろえ、可能な限り入札制度の改善に取り組みたい」との答弁がありました。その後、委員会では「地元企業の育成や市内事業者の受注機会の確保を、より一層進めていく必要性があり、また、市も可能な限り改善に向けて取り組んでいく前向きな姿勢が見られるため、採択していきたい」との意見がありました。

慎重に審査した結果、陳情者の願意を了とし、本陳情は採択すべきものと決しております。

次に、陳情第31号　所得税法第56条の廃止を求める陳情について。本陳情は、所得税法第56条の廃止を求める意見書を国へ提出するよう求める内容となっております。

初めに、審査の参考とするため、関連する執行部の出席を求め意見の聴取を行いました。そして執行部からの意見聴取の内容を踏まえ、委員会では、「所得税法第56条は、配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない規定であるが、当該条文がつくられた時代と現代では、家族経営の形態や働き方は、大きく変わっている。また、家族の労働も、適正に評価されるべきであり、当該条文は現状にそぐわないため、廃止を国へ求めるべきではないか」との意見や「同法第57条において、青色申告や白色申告で控除することができるが、申告形式で控除に差が出ることは、同一労働にもかかわらず、労働を適正に評価していないように感じる。家族従業者の労働を適正に評価し、労働実態に応じた税制にすべきではないか」との意見がありました。

慎重に審査した結果、陳情者の願意を了とし、本陳情は採択すべきものと決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま総務委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。初めに、陳情第７号うるま市印刷物入札制度改善に関する陳情を採決します。

本陳情に対する委員長の報告は、採択です。本陳情は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本陳情は採択とすることに決定しました。

次に、陳情第31号　所得税法第56条の廃止を求める陳情を採決します。

本陳情に対する委員長の報告は、採択です。本陳情は、委員長報告のとおり決定することに御異

議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本陳情は採択とすることに決定しました。

日程第34．請願第９号　生活道路の整備に関する請願を議題とします。建設委員長へ委員会審査の報告を求めます。真栄城隆建設委員長。

○建設委員長（真栄城　隆）　皆さん、こんにちは。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

建　設　委　員　会
委員長　真栄城　隆

請　願　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第143条第１項の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
請願第９号	生活道路の整備に関する請願	趣旨採択

引き続き、審査の経過と結果を御報告いたします。

請願第９号　生活道路の整備に関する請願について。本請願は、市道具志川２－75号線、具志川２－76号線の丁字路交差点に道路照明施設（歩行者用照明）の設置を求める内容となっております。

初めに、紹介議員から請願の概要について、「当該交差点は、電柱移設に伴い、道路照明施設が移動したため移設前の箇所に照明がなく、横断歩道が暗く危険な状況であるため、道路照明施設の設置を求める請願提出である。実際に現場を確認したところ、朝夕の暗い中、市民がジョギングしている状況があった。また交通量を調査したところ、午後５時から９時までの４時間の間に249台の車両が通過していることを確認した」との説明を受けました。委員から「請願の趣旨は照明施設の設置を求めるものだが、請願の理由は道路整備全般を求めるような内容に思える。請願者の要望としてはどちらか」と紹介議員へ確認があり、紹介議員から「歩行者用照明施設の設置が請願者の要望である」との説明がありました。また、委員から「請願の理由として記載されている人身事故により被害住民が死亡した事例について、事故が発生したのは当該交差点か」との質問があり、紹介議員から「当該交差点ではなく、近隣の交差点である」との説明がありました。また、委員から「防犯灯の設置について、自治会経由で要請をされたのか」との質問があり、紹介議員から「請

願者本人からは、自治会へ相談をしたと聞いている」との説明がありました。また、参考のため、関連する当局の出席を求め審査を行いました。委員から「照明施設について、電気料金などは市の負担なのか」との質問があり、当局から「当該箇所は、以前、小学校周辺ということで防衛予算にて防犯灯を設置している。維持管理は市で行っており、電気料金なども市が負担している」との説明がありました。また、当局から「請願者から、電柱移設後に要望があり、暗くなってしまった横断歩道を照らすため、当該交差点の反対側道路に設置されている防犯灯の向きを当該交差点側に変えた経緯がある。市としても現状できる限りの対策は講じている」との補足説明がありました。当局及び紹介議員からの説明を踏まえ、委員会で検討したところ、委員から「反対側道路の防犯灯を車道に向けるなどの一定の対策が取られており、他の照明灯整備が進んでいない他道路に比べ、著しく暗く緊急性が高いとは言い難い。照明設置を求める請願者の要望は理解できるが、他地域との公平性も踏まえ、趣旨採択とするべきである」との意見や、「当該交差点のみで判断するべきであり、請願者の要望を酌み、採択とするべきである」といった意見がありました。

慎重に審査した結果、本請願につきましては、趣旨採択とすることに異議があり、挙手による採決に付したところ、賛成多数で趣旨採択とすることに決定しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま建設委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより請願第９号　生活道路の整備に関する請願を採決します。

本請願に対する委員長の報告は、趣旨採択です。本請願は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本請願は趣旨採択とすることに決定しました。

日程第35．陳情第29号　県産品の優先使用について（要請）、日程第36．陳情第30号　違法駐車対策に関する陳情の２件を一括して議題とします。市民経済委員長へ委員会審査の報告を求めます。兼本光治市民経済委員長。

○市民経済委員長（兼本　光治）　皆さん、こんにちは。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

市民経済委員会
委員長　兼本　光治

陳　情　審　査　報　告　書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、下記のとおり決定したので、うるま市議会会議規則第143条第１項の規定により報告します。

記

事件の番号	件　　名	審査結果
陳情第29号	県産品の優先使用について（要請）	採　　択
陳情第30号	違法駐車対策に関する陳情	採　　択

引き続き、審査の経過と結果について御報告申し上げます。

陳情第29号　県産品の優先使用について（要請）。本陳情は、県内企業の育成強化と雇用拡大を促進し、県経済の活性化を推進することを目的とした県産品奨励運動の一環であり、地域経済の活性化と地域の雇用のために、議会で県産品愛用及び地元企業優先発注を決議し、県産品の啓蒙啓発に努めることを求める内容となっております。

慎重に審査した結果、陳情者の願意を了とし、本陳情は採択とすることに決しております。

次に、陳情第30号　違法駐車対策に関する陳情について。本陳情は、歩道に設置された点字ブロックの上に駐車された違法車両に対する対策を求める内容となっております。参考のため、関連する当局の出席を求め、審査を行いました。委員から「要請事項にあるポストコーンの設置や、ホームページ上での周知などを、もう少し強化しないといけないと思われるが、市の見解について」質問があり、当局から「違法駐車があったことは確認している。要請事項にあるカラーポストコーンの設置がその現場において、有効な対策なのか、安全上支障がないのかなどを判断する必要があることを関係機関と協議した際に確認した。また、広報紙やホームページでの周知に関しても、場所を限定した周知ではなく、「歩道上の駐車は違反です。ルールを守りましょう」という形での周知を検討している」との説明がありました。

慎重に審査した結果、陳情者の願意を了とし、本陳情は採択とすることに決しております。

○副議長（藏根　武）　ただいま市民経済委員長の報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。質疑の通告がありませんので、質疑を終結します。

これより討論に入ります。ただいまのところ討論の申出がありません。討論なしと認め、討論を終結します。

これより採決に入ります。初めに、陳情第29号県産品の優先使用について（要請）を採決します。

本陳情に対する委員長の報告は、採択です。本陳情は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本陳情は採択とすることに決定しました。

次に、陳情第30号　違法駐車対策に関する陳情を採決します。

本陳情に対する委員長の報告は、採択です。本陳情は、委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、本陳情は採択とすることに決定しました。

日程第37．発議第10号　所得税法第56条の廃止を求める意見書を議題とします。

提出者の説明を求めます。伊波良明総務委員長。

○総務委員長（伊波　良明）

発議第10号

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　蔵根　武　様

提出者　総務委員会

委員長　伊波　良明

所得税法第56条の廃止を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり、地方自治法第109条第６項及びうるま市議会会議規則第14条第２項の規定により提出します。

提案理由

所得税法第56条の廃止を行い、家族従業者の労働を適正に評価し、労働実態に応じた税制とするよう求めるため提案する。

所得税法第56条の廃止を求める意見書

中小事業者は、地域経済の担い手として、日本経済の発展に寄与してきた。

その中小事業者を支えている家族従業者の働き分である自家労賃は、親族間の恣意的な所得分割による租税回避を防止する観点から、所得税法第56条「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない」（条文要旨）により、必要経費として認められていない。

この規定を原則としつつ、同法第57条において「青色申告者」は、帳簿等により家計と事業の分離や給与の実態を確認できることから、家族従業者の給与は必要経費への算入が認められており、「白色申告者」は、事業主の所得からの控除額として、配偶者の場合で86万円、その他の親族の場合は50万円が認められているが、同じ労働に対して、申告形式で差を設ける制度は矛盾しているといえる。また家族従業者は、このわずかな控除額が収入としてみなされるため、社会的にも経済的にも自立しにくい状況となっている。このような状況では、家業を手伝いたくとも手伝うことが困難となり、その結果、後継者不足に拍車をかけ、地域経済の安定と持続的発展に大きな影響を及ぼす懸念がある。

女性の社会進出や働き方改革の推進、多様な就業形態が求められる現代において、家族従業者の労務提供に対する法的な制約は、時代にそぐわないものとなっている。家族による協力をもとにした健全な事業運営が求められる中、所得税法第56条の存在は、実態に即していないだけでなく、個人事業主とその家族の働き方や生活の選択肢を狭めるものである。

よって本市議会は、国会及び政府に対し、家族従業者の労働を適正に評価し、労働実態に応じた税制とするため、所得税法第56条の廃止を行うよう要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和６年９月30日

沖縄県うるま市議会

あて先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、財務大臣

以上、議員各位の御賛同方、よろしくお願いいたします。

○副議長（藏根　武）　以上で提出者の説明は終わりました。

お諮りします。ただいま議題となっております案件については、質疑、委員会付託及び討論を省略し、直ちに採決に入りたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、質疑、委員会付託及び討論を省略し、直ちに採決に入ることに決定しました。

これより採決に入ります。採決は、電子表決システムにより行います。

発議第10号　所得税法第56条の廃止を求める意見書に賛成の議員は賛成ボタンを、反対の議員は反対ボタンを押してください。

（賛成・反対ボタンにより表決）

ボタンの押し間違い、押し忘れはありませんか。

（「なし」と言う者あり）

ボタンの押し間違い、押し忘れなしと認めます。

電子表決システムの受付を終了いたします。

（賛成全員）

賛成全員です。よって、本案は可決されました。

なお、宛先につきましては、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣、財務大臣へ送付することといたします。

日程第38．議員派遣の件を議題とします。

お諮りします。本件は、会議規則第167条の規定により、お手元に配付してあります議員派遣の件のとおり議員を派遣することに、御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、お手元に配付いたしました議員派遣の件のとおり、派遣することに決定いたしました。

なお、派遣の内容に変更が生じた場合は、議長に一任願います。

議　員　派　遣　の　件

令和６年９月30日

次のとおり議員を派遣する。

１　総務委員会県外所管事務調査

（１）目　　的

東日本大震災による被災状況、津波の脅威等を把握するとともに、震災後の防災・減災への取組状況について調査・研究を行い、今後の委員会及び議会活動に資するため

（２）派遣場所

宮城県仙台市

宮城県塩竈市

（３）派遣期間

令和６年10月29日（火）～令和６年10月31日（木）

（4）派遣議員

総務委員会委員

伊波　良明　　國場　正剛　　伊波　洋　　伊盛　サチ子

佐久田　悟　　平良　一雄　　池宮城　善伸　　国吉　亮

議　員　派　遣　の　件

令和６年９月30日

次のとおり議員を派遣する。

１　建設委員会県外所管事務調査

（1）目　　的

コミュニティバス運行事業、ビッグデータを活用した交通安全対策のための道路整備、再生可能エネルギーの導入による購入電力の削減及び売電について調査・研究を行い、今後の委員会及び議会活動に資するため

（2）派遣場所

東京都文京区

東京都杉並区

埼玉県越谷市

（3）派遣期間

令和６年11月５日（火）～令和６年11月７日（木）

（4）派遣議員

建設委員会委員

真栄城　隆　　天願　久史　　下門　勝

玉元　哉世　　真壁　朝弘　　宮城　一寿

議　員　派　遣　の　件

令和６年９月30日

次のとおり議員を派遣する。

１　教育福祉委員会県外所管事務調査

（１）目　　的

青少年支援の取組や離島地域における留学（里親）制度、小・中学校水泳授業における民間委託の取組について調査・研究を行い、今後の委員会及び議会活動に資するため

（２）派遣場所

鹿児島県瀬戸内町
鹿児島県奄美市
福岡県古賀市

（３）派遣期間

令和６年10月23日（水）～令和６年10月25日（金）

（４）派遣議員

教育福祉委員会委員
幸喜　勇　　藏根　武　　神田　洋一
糸数　昌宗　　又吉　法尚　　金城　加奈栄

議　員　派　遣　の　件

令和６年９月30日

次のとおり議員を派遣する。

１　市民経済委員会県外所管事務調査

（１）目　　的

港湾施策、国際交流、野良猫対策について調査・研究し、今後の委員会及び議会活動に資するため

（２）派遣場所

東京都（ＴＯＫＹＯミナトリエ、東京国際クルーズターミナル）

東京都千代田区

（3）派遣期間
令和６年11月11日（月）～令和６年11月13日（水）

（4）派遣議員
市民経済委員会委員
兼本　光治　　高屋　優　　伊礼　正
大城　直　　玉城　政哉　　仲程　孝

議　員　派　遣　の　件

令和６年９月30日

次のとおり議員を派遣する。

１．沖縄県離島振興市町村議会議長会研修会

（1）目　　的
議員の資質向上と議会活動の活性化を図るため。
演題：沖縄県における離島漁業の振興について（仮題）
講師：鳥居（とりい）　亨司（たかし）（鹿児島大学水産学部准教授）

（2）派遣場所
沖縄県市町村自治会館（那覇市）

（3）派遣期間
令和６年10月８日（火）

（4）派遣議員
伊礼　正　　宮城　一寿　　伊盛　サチ子
金城　加奈栄　　真栄城　隆

２．令和６年度市議会議員・職員研修会

（1）目　　的
議員の資質向上と議会活動の活性化を図るため。

講演：第１部「ポストコロナ時代の議会の役割」

講師　髙沖（たかおき）　秀宣（ひでのぶ）（自治体議会研究所所長）

第２部「沖縄の“変化の起点”を目指す『ＪＵＮＧＵＬＩＡ　ＯＫＩＮＡＷＡ』について」

講師　佐藤（さとう）　大介（だいすけ）（株式会社ジャパンエンターテイメント取締役事業開発本部長）

（２）派遣場所

ユインチホテル南城（南城市）

（３）派遣期間

令和６年10月21日（月）

（４）派遣議員

大城　直	池宮城　善伸	幸喜　勇
國場　正剛	玉城　政哉	玉元　哉世
比嘉　直人	平良　一雄	糸数　昌宗
高屋　優	真壁　朝弘	仲程　孝
伊礼　正	国吉　亮	又吉　法尚
宮城　一寿	伊波　良明	神田　洋一
下門　勝	天願　久史	藏根　武
兼本　光治	佐久田　悟	伊盛　サチ子
金城　加奈栄	真栄城　隆	伊波　洋

３．令和６年度中部市議会議長会議員・事務局職員研修会

（１）目　　的

議員の資質向上と議会活動の活性化を図るため。

講演：（仮称）サイバー犯罪と対策

講師　沖縄県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課

（２）派遣場所

アイム・ユニバースてだこホール（浦添市）

（３）派遣期間

令和６年11月20日（水）

（4）派遣議員

大城　直	池宮城　善伸	幸喜　勇
國場　正剛	玉城　政哉	玉元　哉世
比嘉　直人	平良　一雄	糸数　昌宗
高屋　優	真壁　朝弘	仲程　孝
伊礼　正	国吉　亮	又吉　法尚
宮城　一寿	伊波　良明	神田　洋一
下門　勝	天願　久史	藏根　武
兼本　光治	佐久田　悟	伊盛　サチ子
金城　加奈栄	真栄城　隆	伊波　洋

日程第39．閉会中の継続審査及び調査の申出についてを議題とします。

各常任委員会の委員長、議会運営委員長及び各特別委員会の委員長から、会議規則第111条の規定により、お手元に配付してありますとおり閉会中の継続審査及び調査の申出があります。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

総　務　委　員　会
委員長　伊波　良明

閉会中の継続審査及び調査の申出について

本委員会は下記事件について、閉会中もなお継続審査及び調査を要するものと決定したので、うるま市議会会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

１．事項

総務部、企画部、財務部、防災広報対策部、会計課、消防本部、選挙管理委員会及び監査委員の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項

２．理由

これらの事項は重要な事項であるので、閉会中もなお継続して審査及び調査する必要がある。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

建　設　委　員　会
委員長　真栄城　隆

閉会中の継続審査及び調査の申出について

本委員会は下記事件について、閉会中もなお継続審査及び調査を要するものと決定したので、うるま市議会会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

１．事項
陳情第11号　公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情書
陳情第25号　里道の環境整備に関する陳情
都市建設部及び水道部の所管に属する事項

２．理由
これらの事項は重要な事項であるので、閉会中もなお継続して審査及び調査する必要がある。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

教育福祉委員会
委員長　幸喜　勇

閉会中の継続審査及び調査の申出について

本委員会は下記事件について、閉会中もなお継続審査及び調査を要するものと決定したので、うるま市議会会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

１．事項

陳情第24号　「義務教育費国庫負担堅持及び２分の１復元」のための意見書採択を求める陳情

陳情第28号　乳幼児の「命と健康を守る」為の寄り添い支援体制についてに関する陳情

福祉部、こども未来部及び教育委員会の所管に属する事項

２．理由

これらの事項は重要な事項であるので、閉会中もなお継続して審査及び調査する必要がある。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

市民経済委員会

委員長　兼本　光治

閉会中の継続審査及び調査の申出について

本委員会は下記事件について、閉会中もなお継続審査及び調査を要するものと決定したので、うるま市議会会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

１．事項

陳情第16号　健康保険証の存続を求める陳情

陳情第22号　年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

陳情第23号　医療機関への支援に関する「重点支援地方交付金」の活用について（要望書）

陳情第26号　国保運営方針改定にあたり、物価高騰などで困窮した県民生活と医療を受ける権利を守るためにも、保険税（料）引き下げ、減免制度拡充等国保制度改善を求める陳情書

陳情第32号　子どもの医療費自己負担設定で評価する保険者努力支援制度の見直しと国庫負担の増額で国保財政の改善を求める陳情書

市民生活部、経済産業部、農林水産部及び農業委員会の所管に属する事項

２．理由

これらの事項は重要な事項であるので、閉会中もなお継続して審査及び調査する必要がある。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

議 会 運 営 委 員 会
委員長　大城　直

閉会中の継続審査及び調査の申出について

本委員会は下記事件について、閉会中もなお継続審査及び調査を要するものと決定したので、うるま市議会会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

１．事項
議会の運営に関する事項
議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
議長の諮問に関する事項

２．理由
これらの事項は重要な事項であるので、閉会中もなお継続して審査及び調査する必要がある。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

基地対策特別委員会
委員長　國場　正剛

閉会中の継続審査及び調査の申出について

本委員会は下記事件について、閉会中もなお継続審査及び調査を要するものと決定したので、うるま市議会会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

１．事項
　基地提供施設の整理、縮小、返還及び跡地利用に関すること。
　基地周辺における生活環境及び安全対策に関すること。
　その他、基地に関すること。

２．理由
　これらの事項は重要な事項であるので、閉会中もなお継続して審査及び調査する必要がある。

令和６年９月30日

うるま市議会副議長　藏根　武　様

議会広報特別委員会
委員長　平良　一雄

閉会中の継続審査及び調査の申出について

本委員会は下記事件について、閉会中もなお継続審査及び調査を要するものと決定したので、うるま市議会会議規則第111条の規定により申し出ます。

記

１．事項
　議会の広報（ホームページ、ＳＮＳを活用した情報発信等）に関すること。
　議会だよりの編集及び発行に関すること。

２．理由
　これらの事項は重要な事項であるので、閉会中もなお継続して審査及び調査する必要がある。

お諮りします。各委員長からの申出のとおり、閉会中の継続審査及び調査に付することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、各委員長からの申出のとおり、閉会中の継続審査及び調査に付することに決定しました。

日程第40．発言取り消しの件についてを議題とします。

９月20日に行われました伊礼正議員の一般質問について、会議規則第65条の規定により一部発言部分を取り消したいとの申出があります。

お諮りします。伊礼正議員の発言取消しの申出については、お手元に配付してあります申出書の

とおり、許可することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、発言取消しの申出については、これを許可することに決定しました。

お諮りします。今定例会で議決された事件の条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、会議規則第43条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

異議なしと認めます。よって、今定例会で議決されました事件の条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任することに決定しました。

以上で、今定例会に付議された案件の審議は全て終了しましたので、会議を閉じます。

これをもって令和６年９月第179回うるま市議会定例会を閉会します。

閉　会（１２時３５分）

地方自治法第１２３条第２項の規定によりここに署名する。

うるま市議会

副　議　長　　藏　根　　武

１５番議員　　伊　礼　　正

１６番議員　　宮　城　一　寿